

姥塚遺跡
姥塚無名墳

山梨県中央自動車道
埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

1987. 3.

山梨県教育委員会
日本道路公団

姥塚遺跡
姥塚無名墳

山梨県中央自動車道
埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

1987. 3.

序

本報告書は、中央自動車道建設に先立ち発掘調査された一連の遺跡のうち、山梨県東八代郡御坂町井之上・二之宮地区内に所在する姥塚遺跡と姥塚古墳周辺の無名墳について、その成果をまとめたものであります。

御坂町は、隣接する一宮町とともに後期古墳の密集地域で、当遺跡のすぐ北側には東日本最大規模の横穴式石室をもつ県指定史跡姥塚古墳があり、周辺には中小古墳が濃厚に分布しております。律令時代にも政治・文化の中心地として繁栄し、北西には平安時代の国府跡といわれる国衙の地があり、東方金川の対岸一宮町には国分寺・国分尼寺が置かれております。「和名抄」所載の郷が最も濃密に分布するのも、この地方であります。

姥塚遺跡は、金川扇状地の末端に位置し、国道137号線を挟んで西側の二之宮遺跡と連なっており、調査の結果、両遺跡は1つの遺跡として把握すべきものであることが判明いたしました。両遺跡合わせて550軒に近い住居址が発見されましたが、古墳時代から奈良・平安時代に至る集落遺跡としては、もちろん県下最大の規模であります。

このうち姥塚遺跡は、1980年6月から翌81年8月にかけて調査され、その結果、古墳時代前期住居19軒、同中期8軒、同後期88軒、奈良時代6軒、平安時代17軒、年代不明3軒の計141軒の住居址が検出されたほか、古墳時代の周溝遺構4基・土壌・竪立柱穴群・溝・水路などの遺構が発見されました。各住居址や遺構からは各種の遺物が大量に出土いたしました。特に土師器・須恵器・灰釉陶器・土師質土器等について編年研究上の貴重な資料が得られました。また圧倒的に住居数の多いのは古墳時代後期ですが、たまたま姥塚古墳が築造された時代であり、これらの住居に住んだ人たちがその築造に関与した可能性も考えられます。その後、奈良時代には住居数が減少しますが、甲斐国府が国衙の地に置かれたと推定される平安時代には再び増加しており、集落の変遷過程を究明する重要な資料を提供しております。なおここは「和名抄」にいう山梨郡井上郷に属したと思われませんが、この付近の郷の配置はかなり複雑であり、異説も存在しております。

次に無名墳は姥塚遺跡の東側に存在する4基が発掘されました。いずれも古墳時代後期に属しますが、このうち横穴式石室の残っていたのは2号・3号墳の2基で、1号墳はほとんど削平されて周溝だけが残り、4号墳は墳丘と周溝は残ったものの、主体部は攪乱を受けて不明となっております。古墳からは人骨のほか、土師器・須恵器・金環・玉類・鉄製品等が出土いたしました。石室の構造や出土遺物の比較から、一宮町国分の四ツ塚古墳群と類似していることが知られ、姥塚古墳に葬られた首長を盟主とする在地勢力の存在を推定する好資料が得られました。

以上、本報告書の概要を述べましたが、姥塚遺跡は隣接する二之宮遺跡と一体をなしておりますので、別冊で刊行されます同遺跡の報告書と併せてご利用いただければ幸いです。

末筆ながら、種々ご協力を賜わった関係機関各位、地元の方々並びに直接調査に従事していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

1987年3月

山梨県埋蔵文化財センター

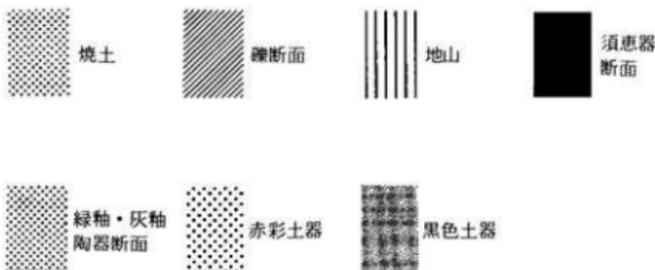
所長 磯 貝 正 義

例 言

1. 本書は1980年度、1981年度に日本道路公団から受託した姥塚遺跡の発掘調査報告書である。
2. 整理作業は1981年度～1986年度の間日本道路公団より受託事業として実施した。
3. 発掘調査は山梨県教育庁文化課が実施し、整理作業は1982年度より山梨県埋蔵文化財センターで行った。整理担当者は文化財主事末木健、保坂康夫、坂本美夫、米田明訓である。
4. 整理作業は1981年～1983年度まで土器洗注記、復元作業を中心にを行い、1984～1986年には遺物実測、遺構トレース、図版作成、執筆作業を行った。執筆者は末木である。
5. 写真撮影は遺構を末木、保坂が行い、遺物は塚原明生（日本写真家協会会員）が行った。なお、写真焼付は(株)ムコヤマである。
6. 本遺跡の石材鑑定は山梨文化財研究所第6研究室長河西学氏に依頼した。姥塚遺跡及び無名墳出土鉄製品の実測は、保坂康夫が行った。無名墳の図面整理は宮沢公雄（現山梨文化財研究所第1研究室長）による。
7. 本書にかかる出土品及び記録図面、写真等は一括して山梨県埋蔵文化財センターに保管してある。

凡 例

1. 挿图中的スクリーン・トーンは次のような内容を示している。



2. 挿図遺構平面図内のPoを冠した数字は、各遺構より出土した土器Naで、挿図出土遺物図中のNaと一致する。

目 次

第Ⅰ章 調査の実施と経過	1
第1節 調査経過	1
1. 発掘調査事務経過	1
2. 調査組織	1
第2節 調査方法	2
第Ⅱ章 遺跡周辺地域の状況	4
第1節 遺跡の位置と立地	4
第2節 周辺の歴史的環境	4
第Ⅲ章 遺構・遺物	5
第1節 住居址	5
第2節 周溝遺構	43
第3節 溝・水路・柱穴群	44
第4節 土壌	45
第5節 出土遺物	46
第Ⅳ章 古墳	47
第1節 姥塚無名1号墳	47
第2節 姥塚無名2号墳	47
第3節 姥塚無名3号墳	48
第4節 姥塚無名4号墳	48
第Ⅴ章 まとめ	49
第1節 集落の変遷	49
第2節 出土遺物について	51
おわりに	52

表 目 次

第1表	住居址他出土土器觀察表	53
第2表	紡錘車、玉、土錘他觀察表	149
第3表	住居址出土鉄製品觀察表	150
第4表	石器類觀察表	151
第5表	住居址出土遺物数一覽表	152
第6表	古墳出土土器觀察表	157
第7表	姥塚無名2、3、4号墳出土金環・玉類觀察表	161
第8表	姥塚無名1、2、3号墳出土鉄製品觀察表	162
第9表	姥塚無名2号墳出土玉類觀察表	163
第10表	住居址時期一覽表	168

挿 図 目 次

<p>第 1 図 遺跡位置図…………… 3</p> <p>第 2 図 二の宮、姥塚遺跡地形図…171～172</p> <p>第 3 図 姥塚遺跡全体図……………173～174</p> <p>第 4 図 1号住居址平面図…………… 175</p> <p>第 5 図 2号住居址平面図、 2号住居址カマド実測図…………… 176</p> <p>第 6 図 3号住居址平面図、 3号住居址カマド実測図…………… 177</p> <p>第 7 図 4、5号住居址平面図…………… 178</p> <p>第 8 図 6、15号住居址平面図…………… 179</p> <p>第 9 図 7号住居址平面図、 7号住居址カマド実測図…………… 180</p> <p>第 10 図 8号住居址平面図、 8号住居址カマド実測図…………… 181</p> <p>第 11 図 9、10号住居址平面図…………… 182</p> <p>第 12 図 11、12号住居址平面図…………… 183</p> <p>第 13 図 13号住居址平面図、 13号住居址カマド実測図…………… 184</p> <p>第 14 図 14、17号住居址平面図…………… 185</p> <p>第 15 図 14、17号住居址カマド実測図… 186</p> <p>第 16 図 16号住居址平面図、 16号住居址カマド実測図…………… 187</p> <p>第 17 図 18、20号住居址平面図、 20号住居址カマド実測図…………… 188</p> <p>第 18 図 19号住居址平面図…………… 189</p> <p>第 19 図 21、22号住居址平面図…………… 190</p> <p>第 20 図 23号住居址平面図、 23号住居址カマド実測図…………… 191</p> <p>第 21 図 24号住居址平面図…………… 192</p> <p>第 22 図 24号住居址カマド実測図…………… 193</p> <p>第 23 図 25、26号住居址平面図…………… 194</p> <p>第 24 図 27、28号住居址平面図、 27、28号住居址カマド実測図… 195</p>	<p>第 25 図 29号住居址平面図、 29号住居址カマド実測図…………… 196</p> <p>第 26 図 30、31号住居址平面図…………… 197</p> <p>第 27 図 32号住居址平面図…………… 198</p> <p>第 28 図 33号住居址平面図、 33号住居址カマド実測図…………… 199</p> <p>第 29 図 34号住居址平面図、 34号住居址カマド実測図…………… 200</p> <p>第 30 図 35号住居址平面図、 35号住居址カマド実測図…………… 201</p> <p>第 31 図 36号住居址平面図…………… 202</p> <p>第 32 図 37、38号住居址平面図…………… 203</p> <p>第 33 図 39号住居址平面図、 39号住居址カマド実測図…………… 204</p> <p>第 34 図 40号住居址平面図、 40号住居址カマド実測図…………… 205</p> <p>第 35 図 41、42号住居址平面図…………… 206</p> <p>第 36 図 43、44号住居址平面図…………… 207</p> <p>第 37 図 45、46、47号住居址平面図… 208</p> <p>第 38 図 48号住居址平面図…………… 209</p> <p>第 39 図 48号住居址カマド実測図…………… 210</p> <p>第 40 図 49号住居址平面図…………… 211</p> <p>第 41 図 50、55号住居址平面図…………… 212</p> <p>第 42 図 51、52号住居址平面図、 51号住居址カマド実測図…………… 213</p> <p>第 43 図 54号住居址平面図、 54号住居址カマド実測図…………… 214</p> <p>第 44 図 56号住居址平面図、 56号住居址カマド実測図…………… 215</p> <p>第 45 図 57、58、61号住居址平面図… 216</p> <p>第 46 図 57、58、61号住居址 カマド実測図…………… 217</p> <p>第 47 図 59号住居址平面図、</p>
--	---

	62号住居址カマド実測図……………	218	第 71 図	89号住居址平面図……………	242
第 48 図	60号住居址平面図、 60号住居址カマド実測図……………	219	第 72 図	90、91号住居址平面図……………	243
第 49 図	62号住居址平面図……………	220	第 73 図	92号住居址平面図、 92号住居址カマド実測図……………	244
第 50 図	63号住居址平面図、 63号住居址カマド実測図……………	221	第 74 図	93号住居址平面図……………	245
第 51 図	64、68号住居址平面図……………	222	第 75 図	94号住居址平面図、 93号住居址カマド実測図……………	246
第 52 図	65号住居址平面図、 64号住居址カマド実測図……………	223	第 76 図	95、96号住居址平面図……………	247
第 53 図	66号住居址平面図……………	224	第 77 図	97号住居址平面図……………	248
第 54 図	67、69号住居址平面図……………	225	第 78 図	98号住居址平面図、 98号住居址カマド実測図……………	249
第 55 図	70号住居址平面図……………	226	第 79 図	99号住居址平面図、 99号住居址カマド実測図……………	250
第 56 図	71号住居址平面図……………	227	第 80 図	100号住居址平面図、 100号住居址カマド実測図 ……	251
第 57 図	72号住居址平面図……………	228	第 81 図	101号住居址平面図、 101号住居址カマド実測図 ……	252
第 58 図	73号住居址平面図、 72、73号住居址カマド実測図…	229	第 82 図	102号住居址平面図 ……	253
第 59 図	74号住居址平面図、 74号住居址カマド実測図……………	230	第 83 図	103号住居址平面図、 102号住居址カマド実測図 ……	254
第 60 図	75号住居址平面図、 75号住居址カマド実測図……………	231	第 84 図	104号住居址平面図、 104号住居址カマド実測図 ……	255
第 61 図	76号住居址平面図、 76号住居址カマド実測図……………	232	第 85 図	105、106号住居址平面図、 106号住居址カマド実測図 ……	256
第 62 図	77、78号住居址平面図、 78号住居址カマド実測図……………	233	第 86 図	107、109号住居址平面図、 109号住居址カマド実測図 ……	257
第 63 図	79号住居址平面図、 79号住居址カマド実測図……………	234	第 87 図	110、112号住居址平面図 ……	258
第 64 図	80号住居址平面図、 80号住居址カマド実測図……………	235	第 88 図	111号住居址平面図、 111号住居址カマド実測図 ……	259
第 65 図	81号住居址平面図……………	236	第 89 図	113、115号住居址平面図、 113号住居址カマド実測図 ……	260
第 66 図	82号住居址平面図、 82号住居址カマド実測図……………	237	第 90 図	114号住居址平面図、 114号住居址カマド実測図 ……	261
第 67 図	83、84号住居址平面図……………	238	第 91 図	116号住居址平面図、カマド実 測図、貯蔵穴セクション図 ……	262
第 68 図	85号住居址平面図……………	239	第 92 図	117、118号住居址平面図 ……	263
第 69 図	86、88号住居址平面図……………	240			
第 70 図	87号住居址平面図、 87号住居址カマド実測図……………	241			

第93図	119、120号住居址平面図……………	264	S1区、STA521+35S1区ビット
第94図	121、122号住居址平面図……………	265	群平面図……………
第95図	123、124、125、126号 住居址平面図……………	266	第116図
第96図	127、128、129号住居址平面図	267	1、2号住居址出土土器……………
第97図	108、130号住居址平面図、 130号住居址カマド実測図 ……	268	第117図
第98図	131号住居址平面図、 131号住居址カマド実測図 ……	269	2、3号住居址出土土器……………
第99図	132、136号住居址平面図、 132号住居址カマド実測図 ……	270	第118図
第100図	133、134、135号住居址平面図、 135号住居址カマド実測図 ……	271	3号住居址出土土器(2)……………
第101図	137、138号住居址平面図、 137号住居址カマド実測図 ……	272	第119図
第102図	139、140、141号住居址 平面図……………	273	3号住居址出土土器(3)……………
第103図	142号住居址平面図 ……	274	第120図
第104図	1号周溝遺構平面図……………	275	3号住居址出土土器(4)……………
第105図	2号周溝遺構平面図……………	276	第121図
第106図	3号周溝遺構平面図……………	277	3号住居址出土土器(5)……………
第107図	4号周溝遺構平面図……………	278	第122図
第108図	1、2号溝平面図……………	279	3号住居址出土土器(6)……………
第109図	3、4、5号溝平面図……………	280	第123図
第110図	6号溝、1号水路平面図……………	281	3号住居址出土土器(7)……………
第111図	1、2号土壌STA522+35S1区 ビット群、2号掘立柱建物址 平面図……………	282	第124図
第112図	6、7、10、11号土壌、 6号住居址内配石土壌平面図…	283	3号住居址出土土器(8)……………
第113図	3号掘立柱建物址STA522+40S 4区ビット群、STA521+30N2区 ビット群平面図……………	284	第125図
第114図	4号掘立柱建物址STA522+55S 7区ビット群平面図……………	285	5、6、7号住居址出土土器…
第115図	STA521+70N4G、STA521+60		第126図
			7号住居址出土土器(2)……………
			第127図
			8号住居址出土土器(1)……………
			第128図
			8号住居址出土土器(2)……………
			第129図
			8、9号住居址出土土器……………
			第130図
			10号住居址出土土器……………
			第131図
			12、13号住居址出土土器……………
			第132図
			13号住居址出土土器(2)……………
			第133図
			14号住居址出土土器(1)……………
			第134図
			14、15号住居址出土土器……………
			第135図
			16、17号住居址出土土器……………
			第136図
			17、18号住居址出土土器……………
			第137図
			19号住居址出土土器(1)……………
			第138図
			19号住居址出土土器(2)……………
			第139図
			20、21、22号住居址出土土器…
			第140図
			23号住居址出土土器(1)……………
			第141図
			23、24号住居址出土土器……………
			第142図
			24号住居址出土土器(2)……………
			第143図
			25号住居址出土土器……………
			第144図
			26号住居址出土土器……………
			第145図
			27号住居址出土土器……………
			第146図
			28、29号住居址出土土器……………
			第147図
			29号住居址出土土器(2)……………
			第148図
			30号住居址出土土器(1)……………
			第149図
			30号住居址出土土器(2)……………

第150图	31、32号住居址出土土器……………	321	第186图	61号住居址出土土器(1)……………	357
第151图	32号住居址出土土器(2)……………	322	第187图	61号住居址出土土器(2)……………	358
第152图	33号住居址出土土器……………	323	第188图	61、62号住居址出土土器……………	359
第153图	34号住居址出土土器(1)……………	324	第189图	62号住居址出土土器(2)……………	360
第154图	34号住居址出土土器(2)……………	325	第190图	62号住居址出土土器(3)……………	361
第155图	34号住居址出土土器(3)……………	326	第191图	63号住居址出土土器(1)……………	362
第156图	34号住居址出土土器(4)……………	327	第192图	63号住居址出土土器(2)……………	363
第157图	35号住居址出土土器(1)……………	328	第193图	64号住居址出土土器(1)……………	364
第158图	35号住居址出土土器(2)……………	329	第194图	64号住居址出土土器(2)……………	365
第159图	35号住居址出土土器(3)……………	330	第195图	64号住居址出土土器(3)……………	366
第160图	35号住居址出土土器(4)……………	331	第196图	64号住居址出土土器(4)……………	367
第161图	36号住居址出土土器(1)……………	332	第197图	65、66号住居址出土土器……………	368
第162图	36、37、38号住居址出土土器…	333	第198图	68、69、70号住居址出土土器…	369
第163图	38号住居址出土土器(2)……………	334	第199图	70、71、72号住居址出土土器…	370
第164图	39号住居址出土土器……………	335	第200图	72号住居址出土土器(2)……………	371
第165图	40号住居址出土土器(1)……………	336	第201图	73号住居址出土土器……………	372
第166图	40号住居址出土土器(2)……………	337	第202图	74号住居址出土土器(1)……………	373
第167图	40、41号住居址出土土器……………	338	第203图	74号住居址出土土器(2)……………	374
第168图	41号住居址出土土器(2)……………	339	第204图	75号住居址出土土器(1)……………	375
第169图	42、43号住居址出土土器……………	340	第205图	75号住居址出土土器(2)……………	376
第170图	44号住居址出土土器……………	341	第206图	75、76号住居址出土土器……………	377
第171图	45、46、47号住居址出土土器…	342	第207图	76、77号住居址出土土器……………	378
第172图	47、48号住居址出土土器……………	343	第208图	78号住居址出土土器(1)……………	379
第173图	48号住居址出土土器(2)……………	344	第209图	78号住居址出土土器(2)……………	380
第174图	48号住居址出土土器(3)……………	345	第210图	78号住居址出土土器(3)……………	381
第175图	49号住居址出土土器(1)……………	346	第211图	79、80号住居址出土土器……………	382
第176图	49、50、51号住居址出土土器…	347	第212图	80号住居址出土土器(2)……………	383
第177图	51号住居址出土土器(2)……………	348	第213图	80、81号住居址出土土器……………	384
第178图	51、52号住居址出土土器……………	349	第214图	81号住居址出土土器(1)……………	385
第179图	52、54号住居址出土土器……………	350	第215图	81、82号住居址出土土器……………	386
第180图	54、55号住居址出土土器……………	351	第216图	82、83号住居址出土土器……………	387
第181图	56号住居址出土土器(1)……………	352	第217图	83号住居址出土土器(2)……………	388
第182图	56、57号住居址出土土器……………	353	第218图	84号住居址出土土器(1)……………	389
第183图	58号住居址出土土器……………	354	第219图	84、85、86号住居址出土土器…	390
第184图	59号住居址出土土器……………	355	第220图	86号住居址出土土器(2)……………	391
第185图	60号住居址出土土器……………	356	第221图	87、88号住居址出土土器……………	392

第222图	88、89号住居出土土器……………	393	第257图	117号住居址出土土器(2)	428
第223图	89、90、91号住居址出土土器…	394	第258图	118、119、120号住居址 出土土器……………	429
第224图	92号住居址出土土器(1)……………	395	第259图	121、122号住居址出土土器…	430
第225图	92号住居址出土土器(2)……………	396	第260图	122、123号住居址出土土器…	431
第226图	92号住居址出土土器(3)……………	397	第261图	123、124、125、126号住居址 出土土器……………	432
第227图	93号住居址出土土器(1)……………	398	第262图	127、128、129号住居址出土土器	433
第228图	93号住居址出土土器(2)……………	399	第263图	130号住居址出土土器……………	434
第229图	94、95、96号住居址出土土器…	400	第264图	131号住居址出土土器(1)……	435
第230图	96、97号住居址出土土器……………	401	第265图	131号住居址出土土器(2)……	436
第231图	98号住居址出土土器(1)……………	402	第266图	132、133号住居址出土土器…	437
第232图	98、99号住居址出土土器……………	403	第267图	133、134号住居址出土土器…	438
第233图	99号住居址出土土器(2)……………	404	第268图	134、135号住居址出土土器…	439
第234图	99号住居址出土土器(3)……………	405	第269图	136、137号住居址出土土器…	440
第235图	100号住居址出土土器(1)……………	406	第270图	138、139号住居址出土土器…	441
第236图	100、101号住居址出土土器…	407	第271图	139、140、141号住居址 出土土器……………	442
第237图	101、102号住居址出土土器…	408	第272图	141、142号住居址出土土器…	443
第238图	102号住居址出土土器(2)……………	409	第273图	1号周溝遺構出土土器(1)……	444
第239图	102号住居址出土土器(3)……………	410	第274图	1、2号周溝遺構出土土器…	445
第240图	102号住居址出土土器(4)……………	411	第275图	2号周溝遺構出土土器(2)……	446
第241图	103、104号住居址出土土器…	412	第276图	4号周溝遺構、 1、3、5号溝出土土器……………	447
第242图	104、105、106号住居址 出土土器……………	413	第277图	5号溝出土土器(2)……………	448
第243图	106号住居址出土土器(2)……………	414	第278图	5号溝出土土器(3)……………	449
第244图	107号住居址出土土器……………	415	第279图	5、6号溝出土土器……………	450
第245图	108号住居址出土土器(1)……………	416	第280图	6号溝、1号水路出土土器…	451
第246图	108号住居址出土土器(2)……………	417	第281图	1号水路出土土器(2)……………	452
第247图	109号住居址出土土器……………	418	第282图	土壤出土土器……………	453
第248图	110、111号住居址出土土器…	419	第283图	グリット出土須恵器……………	454
第249图	111号住居址出土土器(2)……………	420	第284图	グリット出土須恵器、灰軸陶器	455
第250图	112、113号住居址出土土器…	421	第285图	その他出土土器(1)……………	456
第251图	113号住居址出土土器(2)……………	422	第286图	その他出土土器(2)……………	457
第252图	114号住居址出土土器(1)……………	423	第287图	その他出土土器(3)……………	458
第253图	114号住居址出土土器(2)……………	424	第288图	その他出土土器(4)……………	459
第254图	114号住居址出土土器(3)……………	425			
第255图	115、116号住居址出土土器…	426			
第256图	116、117号住居址出土土器…	427			

第289図	その他出土土器(5)……………	460	第307図	3号墳平面図……………	478
第290図	その他出土土器(6)……………	461	第308図	3号墳石室展開図、 遺物出土位置図……………	479
第291図	遺跡内出土紡錘車、玉、土錘、 他……………	462	第309図	4号墳平面図……………	480
第292図	住居出土鉄製品(1)……………	463	第310図	4号墳内、1、2号墓墳平面図	481
第293図	住居出土鉄製品(2)……………	464	第311図	1、2号墳出土土器……………	482
第294図	打製石斧、石鏃、砥石(1)……	465	第312図	2号墳出土土器……………	483
第295図	砥石(2)……………	466	第313図	3号墳出土土器……………	484
第296図	竈内出土石製支脚(1)……………	467	第314図	4号墳出土土器……………	485
第297図	竈内出土石製支脚(2)……………	468	第315図	1、2号墳出土鉄製品(1)……	486
第298図	住居内出土編物用石錘(1)……	469	第316図	2号墳出土鉄製品(2)……………	487
第299図	住居内出土編物用石錘(2)……	470	第317図	2、3号墳出土鉄製品(3)……	488
第300図	住居内出土編物用石錘(3)……	471	第318図	3号墳出土鉄製品(4)……………	489
第301図	住居内出土編物用石錘(4)……	472	第319図	2号墳出土金環・玉類(1)、 3、4号墳出土金環……………	490
第302図	1号墳平面図……………	473	第320図	2号墳出土玉類(2)……………	491
第303図	1号墳内1号石組遺構、1号墳 丘2号石組遺構、3号石組遺構 平面図……………	474	第321図	2号墳出土玉類(3)……………	492
第304図	2号墳平面図……………	475	第322図	姥塚遺跡集落変遷図(1)……	493
第305図	2号墳石室展開図……………	476	第323図	姥塚遺跡集落変遷図(2)……	494
第306図	2号墳、鉄製品、玉類、土器、 人骨出土位置図……………	477	第324図	姥塚遺跡集落変遷図(3)……	495
			第325図	姥塚遺跡集落変遷図(4)……	496
			第326図	姥塚遺跡集落変遷図(5)……	497

图 版 目 次

- | | | | |
|------|---------------------------|------|--|
| 图版 1 | ◦ 遺跡全景 | 图版22 | ◦ 34号住居址 |
| 图版 2 | ◦ 1号周溝遺構及び周辺住居群全景
◦ 全景 | 图版23 | ◦ 34号住居址 |
| 图版 3 | ◦ 1号住居址
◦ 2号住居址 | 图版24 | ◦ 35号住居址 |
| 图版 4 | ◦ 2号住居址 | 图版25 | ◦ 36号住居址 |
| 图版 5 | ◦ 3号住居址 | 图版26 | ◦ 37号住居址
◦ 38号住居址 |
| 图版 6 | ◦ 4号住居址
◦ 5号住居址 | 图版27 | ◦ 39号住居址 |
| 图版 7 | ◦ 6号住居址
◦ 7号住居址 | 图版28 | ◦ 40号住居址 |
| 图版 8 | ◦ 8号住居址 | 图版29 | ◦ 41号住居址 |
| 图版 9 | ◦ 10号住居址
◦ 12号住居址 | 图版30 | ◦ 43号住居址
◦ 44号住居址 |
| 图版10 | ◦ 13号住居址 | 图版31 | ◦ 46号住居址
◦ 47号住居址
◦ 1号墳 |
| 图版11 | ◦ 14・17号住居址
◦ 15号住居址 | 图版32 | ◦ 48号住居址 |
| 图版12 | ◦ 16号住居址 | 图版33 | ◦ 49号住居址
◦ 50号住居址 |
| 图版13 | ◦ 14・17号住居址
◦ 18号住居址 | 图版34 | ◦ 51号住居址
◦ 52号住居址
◦ 54号住居址 |
| 图版14 | ◦ 19号住居址 | 图版35 | ◦ 55号住居址
◦ 56号住居址 |
| 图版15 | ◦ 20号住居址
◦ 21号住居址 | 图版36 | ◦ 57号住居址
◦ 58号住居址
◦ 59号住居址
◦ 61号住居址 |
| 图版16 | ◦ 23号住居址 | 图版37 | ◦ 59号住居址
◦ 60号住居址 |
| 图版17 | ◦ 24号住居址 | 图版38 | ◦ 60号住居址
◦ 61号住居址 |
| 图版18 | ◦ 25号住居址
◦ 26号住居址 | 图版39 | ◦ 62号住居址 |
| 图版19 | ◦ 27号住居址 | 图版40 | ◦ 63号住居址
◦ 64号住居址 |
| 图版20 | ◦ 28号住居址
◦ 29号住居址 | | |
| 图版21 | ◦ 30号住居址
◦ 32号住居址 | | |
| 图版22 | ◦ 33号住居址 | | |

- 71号住居址
- 图版41 ◦ 64号住居址
- 图版42 ◦ 65号住居址
- 66号住居址
- 68号住居址
- 图版43 ◦ 69号住居址
- 70号住居址
- 图版44 ◦ 72号住居址
- 73号住居址
- 图版45 ◦ 73号住居址
- 74号住居址
- 图版46 ◦ 74号住居址
- 75号住居址
- 图版47 ◦ 76号住居址
- 77号住居址
- 78号住居址
- 79号住居址
- 图版48 ◦ 80号住居址
- 81号住居址
- 图版49 ◦ 82号住居址
- 83号住居址
- 图版50 ◦ 84号住居址
- 85号住居址
- 86号住居址
- 图版51 ◦ 87号住居址
- 88号住居址
- 图版52 ◦ 89号住居址
- 92号住居址
- 图版53 ◦ 92号住居址
- 93号住居址
- 图版54 ◦ 93号住居址
- 96号住居址
- 图版55 ◦ 94号住居址
- 97号住居址
- 98号住居址
- 图版56 ◦ 98号住居址
- 图版57 ◦ 99号住居址
- 图版58 ◦ 100号住居址
- 图版59 ◦ 101号住居址
- 102号住居址
- 图版60 ◦ 103号住居址
- 104号住居址
- 图版61 ◦ 105号住居址
- 106号住居址
- 图版62 ◦ 107号住居址
- 108号住居址
- 图版63 ◦ 109号住居址
- 110号住居址
- 图版64 ◦ 111号住居址
- 112号住居址
- 图版65 ◦ 113号住居址
- 图版66 ◦ 114号住居址
- 图版67 ◦ 115号住居址
- 图版68 ◦ 116号住居址
- 图版69 ◦ 117号住居址
- 图版70 ◦ 118号住居址
- 119号住居址
- 121号住居址
- 图版71 ◦ 122号住居址
- 123号住居址
- 124号住居址
- 125号住居址
- 图版72 ◦ 126号住居址
- 127号住居址
- 128号住居址
- 图版73 ◦ 129号住居址
- 130号住居址
- 图版74 ◦ 131号住居址
- 图版75 ◦ 132号住居址
- 133号住居址
- 图版76 ◦ 134号住居址
- 图版77 ◦ 135号住居址

- 136号住居址
 - 137号住居址
- 图版78 ◦ 138号住居址
- 139号住居址
- 图版79 ◦ 140号住居址
- 141号住居址
 - 142号住居址
- 图版80 ◦ 1号周溝遺構
- 图版81 ◦ 2号周溝遺構
- 图版82 ◦ 4号周溝遺構
- 图版83 ◦ 1号溝
- 2号溝
 - 3号溝
- 图版84 ◦ 5号溝
- 6号溝
- 图版85 ◦ 1号水路
- 图版86 ◦ 2号配石土壕
- 11号土壕
 - STA 521+30N2
 - 4号掘立柱群
- 图版87 ◦ 2号住居址遺物
- 3号住居址遺物
- 图版88 ◦ 3号住居址遺物
- 图版89 ◦ 7号住居址遺物
- 8号住居址遺物
 - 9号住居址遺物
- 图版90 ◦ 10号住居址遺物
- 13号住居址遺物
 - 14号住居址遺物
- 图版91 ◦ 16号住居址遺物
- 17号住居址遺物
 - 18号住居址遺物
- 图版92 ◦ 19号住居址遺物
- 20号住居址遺物
 - 23号住居址遺物
- 图版93 ◦ 24号住居址遺物
- 25号住居址遺物
 - 26号住居址遺物
 - 27号住居址遺物
- 图版94 ◦ 29号住居址遺物
- 30号住居址遺物
 - 31号住居址遺物
- 图版95 ◦ 31号住居址遺物
- 33号住居址遺物
 - 34号住居址遺物
- 图版96 ◦ 34号住居址遺物
- 图版97 ◦ 34号住居址遺物
- 35号住居址遺物
- 图版98 ◦ 35号住居址遺物
- 38号住居址遺物
- 图版99 ◦ 39号住居址遺物
- 40号住居址遺物
- 图版100 ◦ 40号住居址遺物
- 41号住居址遺物
 - 43号住居址遺物
 - 44号住居址遺物
 - 46号住居址遺物
 - 47号住居址遺物
- 图版101 ◦ 48号住居址遺物
- 49号住居址遺物
- 图版102 ◦ 51号住居址遺物
- 52号住居址遺物
 - 54号住居址遺物
- 图版103 ◦ 54号住居址遺物
- 55号住居址遺物
 - 56号住居址遺物
 - 57号住居址遺物
- 图版104 ◦ 58号住居址遺物
- 59号住居址遺物
 - 60号住居址遺物
 - 61号住居址遺物
- 图版105 ◦ 61号住居址遺物

- 62号住居址遺物
- 図版106 ◦ 62号住居址遺物
- 63号住居址遺物
- 64号住居址遺物
- 図版107 ◦ 64号住居址遺物
- 65号住居址遺物
- 66号住居址遺物
- 69号住居址遺物
- 図版108 ◦ 71号住居址遺物
- 72号住居址遺物
- 73号住居址遺物
- 74号住居址遺物
- 図版109 ◦ 74号住居址遺物
- 75号住居址遺物
- 76号住居址遺物
- 図版110 ◦ 76号住居址遺物
- 78号住居址遺物
- 図版111 ◦ 80号住居址遺物
- 81号住居址遺物
- 82号住居址遺物
- 83号住居址遺物
- 図版112 ◦ 85号住居址遺物
- 86号住居址遺物
- 87号住居址遺物
- 88号住居址遺物
- 図版113 ◦ 92号住居址遺物
- 93号住居址遺物
- 図版114 ◦ 93号住居址遺物
- 97号住居址遺物
- 98号住居址遺物
- 図版115 ◦ 99号住居址遺物
- 100号住居址遺物
- 101号住居址遺物
- 図版116 ◦ 102号住居址遺物
- 103号住居址遺物
- 図版117 ◦ 104号住居址遺物
- 106号住居址遺物
- 107号住居址遺物
- 108号住居址遺物
- 図版118 ◦ 108号住居址遺物
- 109号住居址遺物
- 111号住居址遺物
- 112号住居址遺物
- 113号住居址遺物
- 114号住居址遺物
- 図版119 ◦ 114号住居址遺物
- 116号住居址遺物
- 117号住居址遺物
- 図版120 ◦ 119号住居址遺物
- 122号住居址遺物
- 123号住居址遺物
- 126号住居址遺物
- 129号住居址遺物
- 130号住居址遺物
- 図版121 ◦ 131号住居址遺物
- 133号住居址遺物
- 134号住居址遺物
- 図版122 ◦ 134号住居址遺物
- 135号住居址遺物
- 136号住居址遺物
- 138号住居址遺物
- 139号住居址遺物
- 140号住居址遺物
- 141号住居址遺物
- 図版123 ◦ 29号住居址遺物
- 41号住居址遺物
- 44号住居址遺物
- 88号住居址遺物
- 47号住居址遺物
- 図版124 ◦ グリッド他出土遺物
- 図版125 ◦ 34号出土土師器底部糸切
- 36号出土土師器底部糸切

- 69号短冊形鉄斧
- 図版126 ◦ 姥塚遺跡出土紡錘車
- 遺跡内出土白玉
- 土玉
- 棒状土製品
- 勾玉
- 図版127 ◦ 姥塚遺跡無名1号墳
- 図版128 ◦ 姥塚遺跡無名1号墳

- 図版129 ◦ 姥塚遺跡無名2号墳
- 図版130 ◦ 姥塚遺跡無名2号墳
- 図版131 ◦ 姥塚遺跡無名2号墳
- 図版132 ◦ 姥塚遺跡無名3号墳
- 図版133 ◦ 姥塚遺跡無名3号墳
- 図版134 ◦ 姥塚遺跡無名4号墳
- 図版135 ◦ 姥塚遺跡無名2号墳出土遺物
- 図版136 ◦ 姥塚遺跡無名2、3号墳出土遺物

第 I 章 調査の実施と経過

第 1 節 調査経過

1. 発掘調査事務経過

- 昭和 55年4月1日 日本道路公団と山梨県教育委員会とで発掘調査委託契約を締結する。
昭和 55年5月20日 文化庁に発掘届を提出する。
昭和 55年6月16日 発掘調査を開始する。
昭和 56年8月1日 発掘調査を終了する。
昭和 56年11月17日 遺物発見通知を提出する。
昭和 57年4月15日 道路公団に精算報告書を提出する。

2. 調査組織

調査主体 山梨県教育委員会

調査機関 山梨県教育庁文化課

調査担当 文化財主事 末木 健

“ 保坂康夫

整理調査員 塚原明生（日本写真家協会会員）・宮沢公雄

調査補助員 渡辺儀訓 金沢道篤 黒沢和彦 羽沢義英 戸内豊（明治大学学生）

作業員・整理員

作業員

福島正幸 花田保夫 鈴木経夫 大沢孝行 鈴木幸子 石原常子 清野さか江 渡辺君子
緒方木水 関本ひで美 高橋周子 土屋春美 荒川たかえ 岩間千尋 能登すみこ
寺戸綾子 渡辺昭子 大鷹よし子 天川紀子 石原辰子 大沢たけ子 飯島澄子 天川初子
三沢静江 天川文江 渡辺とめ子 原しず江 渡辺松子 河野春子 鈴木節子 伊藤とく子
小宮山梅子 和泉幸代 和知広野 篠原輝子 橋田さつ起 渡辺久路 土屋アツ子 雨宮薫
深田竹子 梶原君子 石原静江 芦沢なが子 鈴木米子 江波戸比沙恵 鈴木春恵 杉本勉
田中富江 小島記美子 飯島きみ江 松本強 飯島きく子 広瀬広美 保坂よし子
古屋幸子 深沢幸子 小松義彦 長谷川正彦 伊藤修二 村田一夫 関本利恵 緒方民子
和泉けさ代 田中光江 立川静子 清水春雄 福島房子 鈴木まき 佐藤當俊 松野正士
坂本初江 早川和子 山田康雄 上野信夫 金塚清隆 佐野三男 広瀬徳昭 長谷部剛
後藤まさの 大野節子 三沢広哉 三枝浩一 神宮寺年一 鈴木英子 川井正夫 小沢和樹
鷹野英樹 小沢かつじ 玄間みつ子 古屋かずえ 伊藤朗子 松野緑子 向山吾吾
三沢さなえ 望月たか乃 小笠原睦子 梶原ふじ乃 古屋ひとみ 笠間千鶴

整理作業員

若尾澄子 石川操 土肥正治 若尾悦子 松野和美 広瀬勝子 後藤良美 弦間千鶴
内藤真千子 小笠原睦子 和田宏美 河西学 弦間文代 名取洋子 古屋満喜子 強矢明子
深味義博 平出千恵子 岡田まき子 佐野真美（順不同）

第2節 調査方法

中央道建設用の中心杭 S T A 522+00と S T A 522+40の中心点を結んだラインを発掘調査の中心線とし、S T A 522+00を基準として5 mグリッドを設定した。各グリッドのNOは道路杭の数を利用して呼び、中心線よりも北側ではN 1、N 2～、南ではS 1、S 2～というように呼称することとした。従って、各グリッドは例えばS T A 522+00 N 2とか、S T A 523+65 S 4とか呼ぶことになった。又、国道137号線よりも東側を姥塚遺跡、西側を二之宮遺跡として分けて発掘調査したが、発掘調査の結果、国道下まで遺構が連なり 同一の遺跡であることが判明している。しかしここでは便宜上分けて取り扱うことにした。

発掘調査は、耕作の関係で全面にとりかかることができず、最初にS T A 522+00～522+60の間で、国立神社境内及び宅地を除く畑から始めた。表土は重機によって除去し、この後、作業員によって遺構確認作業を始めた。次にS T A 521+80～522+00の間の畑を調査し、S T A 522+60～524+00の中心線よりも南側の調査を実施した。この後、国立神社境内を調査し、プレハブの移転後に522+60～524+00の北側を調査した。国道137号線沿は住宅が2軒あったが、移転の為に最後の調査地区となった。なお、古墳のうち、無名墳は当初2基を予想していたが、表土を除去したり、地元の方々の話から、最終的には4基の存在が確認された。1号墳はS T A 523+10 S 2杭をほぼ中心にする位置にあり、2号墳はS T A 525+10 N 2を中心点にもつ。3号墳はS T A 524+80 N 6をほぼ中心にもつ位置である。4号墳は1号墳の南東で、S T A 524+35 S 7が中心となる。

調査は、遺構確認が出来た段階で、他の遺構との重複関係を調べ、前後関係の分かるものは新しい住居から掘り下げることにした。住居は原則的にセクションベルトを主軸方向に設定したが、竈等の焼土が不明のものは南北方向で、住居の壁と平行になるように設定した。住居内の遺物は一括土器を残し、小破片は覆土一括として取り上げた。土層実測後、土層の写真撮影を行いベルトを除去し、一括遺物等の残存状態を写真撮影した後に、平板による遺物の出土位置やレベルを実測した。この後、遺物NOをつけて取り上げたが、竈内の土器は竈の図に記述した。

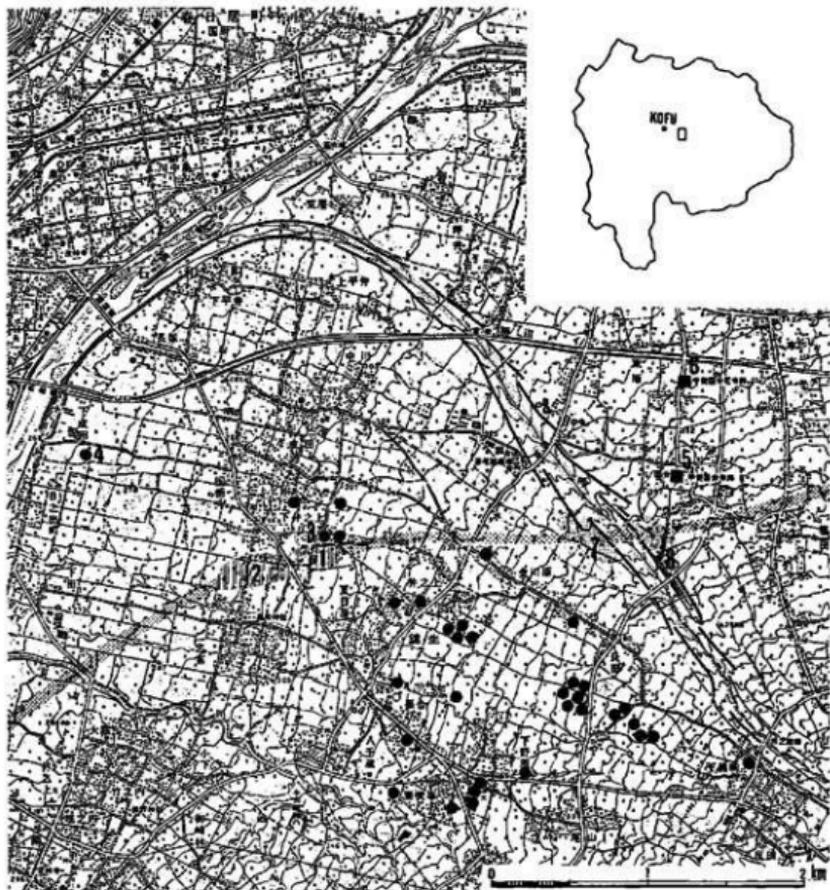
住居のエレベーションは原則として十字にかけ、貯蔵穴・竈・柱穴等が含まれるようポイントを置いた。竈は平面図と断面図を作成し、掘り上げ後の状態は残存状態の良いものに限定した。又、竈側面及び正面図も良好なものに限って作成した。

貯蔵穴で遺物の豊富なものもは微細図を作成したが、他は平面図ですませた。

住居関係での作図は、平面図20分の1、竪実測図10分の1である。

なお、遺跡の西側は黒色粘土層中に住居址が埋没しており、住居の切り合いを確認することが困難であった。従って、面的に遺物を残し、遺物各々の時代や、柱穴位置から住居の規模を出した場合もある。

古墳の調査は、当初から分っていた1号墳と2号墳は石室の位置を求めることから始めたが1・4号墳は集落遺構と近接していたので、表土を面的に除去した後にセクションベルトを残して調査した。又、2号墳・3号墳は、集落址から独立していたので、この部分を作業員によって掘り下げ、遺構の確認を行った。調査経過については第四章第1節以降で示す。



1. 姥塚遺跡 2. 二之宮遺跡 3. 姥塚古墳 4. 亀甲塚 5. 甲斐国分寺 6. 国分尼寺 7. 四ツ塚古墳群
第1図 遺跡位置図

第 II 章 遺跡周辺地域の状況

第 1 節 遺跡の位置と立地

本遺跡は、山梨県東八代郡御坂町井之上・二之宮に位置し、その規模は東西800m、南北も同じ位の範囲があると思われる。甲府盆地東部の金川扇状地先端に近い、標高307mあたりの西面緩傾斜地で、北西側2kmには甲府盆地東縁の大河である笛吹川が流れている。このあたりは、金川の形成した小河川と自然堤防状の微高地が交互に並び、扇を広げた様な状態である。遺跡もこうした微高地上に発達したものと思われ、東西800mの姥塚、二之宮遺跡であっても、完全に連続しているのではなく、小河川で幾つかに区切られている。しかし、STA 522+00より東側の地山は黄色砂質土を住居が掘り込んでいるため、住居の確認が容易であったが、西側は褐色粘土層中に造られており、かつて水分の多い所に推積した粘土層上に集落が拡大していったことがうかがえる。なお、この下層はすぐに礫層となってしまう、これより下に古い時代の遺跡は存在しないと思われる。

第 2 節 周辺の歴史的環境

本遺跡は、県指定史跡として有名な姥塚古墳のすぐ南にあって、一部同一小字名も含まれることから、この遺跡名が付けられたものであるが、この古墳と関係がある、同時期の大規模な集落跡の存在、及び周辺の群集墳の一端が解明できた訳である。この姥塚古墳は6世紀末～7世紀初頭に築造されたものと考えられているが、これ以前の古墳には、御坂町下成田の亀甲塚古墳がある。亀甲塚は鏡、管玉が出土しており、5世紀前半頃の築造とされている。又、6～7世紀の群集墳は、金川両岸に極めて数多く築造されていたと思われるが、今日では、四ツ塚古墳群・錦生古墳群・塩田古墳群など一部の古墳が、かろうじて残っているにすぎない。奈良時代では一宮町国分及び東原に甲斐国分寺と甲斐国分尼寺が建立されており、現在は国史跡として礎石が残っている。平安時代の集落は近辺に数多くあるが、遺跡範囲が不明確なほど、広大な面積をもつものが多い。又、御坂町国術は、平安時代頃の国庁の跡と伝えられる所であるが、遺構・遺物でそれを証明するようなものは、今のところ出土していない。

このように、本遺跡を取り巻く周辺の歴史環境はすぐれており、甲斐古代史上欠くべからざる地位を占めている。従って、本遺跡からの出土品、遺構も注目すべきものと思う。なお、この詳細については、二之宮遺跡の報告書等も参照されたい。

第 III 章 遺 構・遺 物

第 1 節 住居址 (第 3 図)

本遺跡から発見された住居は総数141軒である。これらはいずれも古墳時代以降の住居址群で、耕作によって削平されたものや、お互いに重複しているものが多く、その為に住居のプランや構造の不明なものも多い。又、一部は道路・水路等の為に未調査地区として残さざるを得なかったものもあるので、完全とは言えない。

なお住居説明の記述にあたっては、グリッド位置・規模・主軸方位・プラン・壁高・床面状態・炉又は竈の位置・規模・構造・柱穴・貯蔵穴等について述べる。この他の施設についても、その都度書き加えるつもりである。又、出土遺物は平面図上に記載したが総てではない。遺物分布図が掲載できない為、住居構造を見る上で煩雑とならない程度に出土位置を示している。又、カマドは良好なものだけ図示したので、焼土だけのものは表現していない場合もある。なお、出土遺物の説明及び点数は第5表を参照されたい。

1号住居址 (第4・116図)

S T A 522+35 S 5 に位置し、他の住居址との重複はない。東西5.61m、南北6.12mの方形プランを呈し、主軸はN-29°-Wを示す。壁は北西で3.13cm、南西3.7cmで、他は認められない。壁面はやや外傾斜している。竈は北辺中央に位置するが、焼土が80cm×80cmの範囲に広がっているだけで、構造については不明である。床面には地山の礫が露出しており、凹凸がある。出土遺物は覆土中より甕・鉢などが出土している。時期は古墳時代後期に属するであろう。

2号住居址 (第5・116～117図)

S T A 522+30 S 1 に位置し、他の住居との重複はない。東西7.88m、南北7.96mの方形を呈し、主軸はN-47°-Eを示す。壁は南東16.2cm、北西20.6cm、北20.2cmの高さがあり、壁面はやや外傾している。床面は、中央部はしまっているが、周辺部は軟弱である。竈は北壁中央部に位置し、東西1.31m、南北1.27mの規模である。粘土による構築と思われる、石は無いが、壁寄り両側に甕が直立して置かれていた。柱穴は主柱穴4本で、ビット1は深さ36.3cm、短径20cm、ビット2は深さ51.5cm、長径32cm、短径28cm、ビット3は深さ45.7cm、長径32cm、短径31cm、ビット4は深さ54.5cm、長径31cm、短径29cmである。補助柱穴と思われるビット5は深さ14cm、直径37cm、ビット6は深さ19.5cm、直径44～48cmである。貯蔵穴は竈と反対の南西壁中央に接して位置し、東西1.12m、南北1.13mの方形を呈する。穴は2段に掘られ、上段は2～3cmの深さで、下段は20cmの深さがある。内部から、坏や甕破片が出土した。遺物は竈内部及び貯蔵穴が多く、時代は古墳時代後期に属する。

3号住居址 (第6・117～124図)

STA 522+40SH1に位置し、41号住居址などと重複する。東西4.99m、南北5.2mの方形プランを呈し、N-56°Eの主軸をもつ。壁は東36cm、西27cm、南31cm、北37cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部より南側が良好であるが、北側は41号住居を埋め立てている為に軟弱である。竈は、東北辺壁中央部に位置し、巾73cm、長さ67cmの大きさで、正面袖石には長細い石を立て、袖石中央には長胴甕が横たわっている。おそらく袖石の上に架けたものが土圧で落ちたのであろう。竈中央部には支脚に使用された長方形礎があり、礎などが置かれていた。使用中に放棄された様な状態を示している。柱穴は4本で、ビット1は深さ23cm 直径36cm、ビット2は深さ19cm、直径34cm、ビット3は深さ17cm、直径29cm、ビット4は深さ20cm、直径29cmである。周溝は北西から南西にかけてL字形に掘られ、幅は15cmである。出土遺物は前述したように、竈内部及び周辺に集中する群と、住居中央部に投棄されたように纏っているものがある。土器の時代は古墳時代後期に属する。出土遺物量の多い住居のひとつである。

4号住居址(第7図)

STA 22+30S5に位置し、他の住居址とは重複しない。東西4.9m、南北4.9mの台形を呈し、壁高は東4cm、西6cm、南4.6cm、北6.5cmを測る。主軸は竈が無い為に不明であり、柱穴・貯蔵穴等の施設は無い。又、遺物も無いので時期も不明である。

5号住居址(第7・125図)

STA 522+00S7に位置し、他の住居址との重複はない。東西3.27m、南北3.12mのほぼ正方形を呈し、主軸はN-5°Wを示す。壁は東5.7cm、南5.9cmで他は確認面と等しく、壁面はやや外傾している。床面は中央部がやや良好な他は、荒れている。柱穴は無く、貯蔵穴も無い。竈は北辺壁中央に位置し、袖石粘土造りで、東西48cm、南北53cmの範囲に焼土が分布する、覆土中より古墳時代後期の坏が出土している。

6号住居址(第8・125図)

STA 521+95S7に位置し、南側は一部地区外となっている。現存する規模は東西4.6m 南北3.9mの方形で、主軸はN-10°Eを示す。壁は東13cm、西15cm、北10.5cmで、壁面はやや外傾する。床面の状態はあまり良好ではない。竈は北辺壁中央に位置し、粘土造り、東西66cm、南北10.9cmの範囲に焼土が広がっている。東壁中央付近に半島状の張り出し部を有する壁があり、それに接して集石土壌がある。遺物は住居内全体に散布しており、原位置を保つものはない。又住居内には柱穴、貯蔵穴等の施設は認められない。本住居の年代は出土土器から、古墳時代後期に属する。

7号住居址(第9・125～126図)

STA 522+00S5に位置し、他の住居址との重複はない。東西4.34m、南北4.90mの方形

プランを呈し、主軸はN-7°-Eを示す。壁は東23cm、西19cm、北27.8cmで、壁面はやや外傾している。床面は中央部を除いて軟弱である。なお、南壁中央部が巾1.1m、長さ30cmの規模で南に張り出している。入口部の施設であろうか。竈は北壁中央に位置し、東西60cm、南北76cmの範囲に焼土が広がっている。袖西側には長方体の袖石が直立しており、石を芯にした粘土構築の竈である。柱穴は主軸より東側の2本しか検出されておらず、ピット1は深さ21cm、長径24cm、短径20cm、ピット2は深さ24cm、直径20cmである。出土遺物は古墳時代後期の坏・甕等であり、住居内に分散する。

8号住居址 (第10・127~129図)

STA 522+05 S 3に位置し、他の住居址とは重複していない。東西6.3m、南北6.28mのほぼ正方形プランを呈し、主軸はN-37°-Wを示す。壁は東7cm、西10cm、南10.2cm、北11.5cmで壁面はやや外傾する。床面は地山の礫が露出してゴツゴツしている。竈は西北辺の中央に位置し、焼土中央に支脚に使用されたと思われる長方形の石柱が残る。竈の範囲は東西81cmである。焚口部左側に石が残っているが袖石であろう。柱穴は4本で、ピット1は深さ26cm、直径25cm、ピット2は深さ31cm、直径22cm、ピット3は深さ35.7cm、直径24cm、ピット4は深さ42cm、直径19cmである。出土遺物は住居址内全体から出土しているが、この中で須恵器の坏が時代の決め手となっており、坏・甕・甌等から本住居の時代は、古墳時代後期に属している。

9号住居址 (第11・129図)

STA 521+85 N 2に位置し、13号住居等と重複している。東西4.63m、南北4.02mの台形プランを呈し、壁は東14.8cm、南25cm、北13cmの高さがある。出土遺物は住居内に散乱した状態で、土師器坏は平安時代後期に属する。竈・柱穴等は不明である。

10号住居址 (第11・130図)

STA 21+70 S 2に位置し、12号住居址等と重複する。東西4.65m、南北5.36mの長方形を呈し、主軸はN-10°-Eを示す。壁は東26cm、西26cm、南33cm、北19.6cmの高さが残り、壁面はやや外傾している。竈は北壁中央部に位置し、東西43cm、南北71cmの範囲に焼土が分布する。焼土中には支脚に使用されたのであろうか、石柱が残っている。竈東側には甕などが破損して残り、住居内にも礫や土師器片が散布する。床面の状態は中央部で若干良好な他は軟弱で凹凸がある。柱穴・貯蔵穴は無い。出土遺物には坏、甕などがあり、これから古墳時代後期の住居と思われる。

本住居址から出土した遺物は、前述したように土師器では坏と甕がある。第130図1は内外面赤彩色された坏で、口縁が直立し、体部は浅い皿状を呈する。2はやや大振りの碗といえる坏で、厳密に区別はできないが、供膳形態の組成を担う器種であろう。3・4は高坏であろうか。甕は飽磨き整形と刷毛目整形の2種が見られるが、共存するものである。

11号住居址 (第12図)

STA 521+70S3に位置し、他の住居址等とは重複しない。住居には壁がなく、遺物の分布状態からおよそ方形と推定している。床面状況は悪く、柱穴・貯蔵穴・竈は不明である。

12号住居址 (第12・131図)

STA 521+75S2に位置し、21号住居址等と重複する。小形の方形プランをもつ住居である。東西3.28m、南北3.14mの規模で、主軸はN-13°-Eを示す。壁は東26cm、西30cm、南26cm、北31cmの高さがあり、竈は北壁中央部に位置し、南北1.15m、東西0.54mの範囲に焼土が広がる。焚口部には礎があるが、袖を礎で構築したかどうか不明。柱穴・貯蔵穴等は検出されず、床面上には焼土塊が散布する。出土遺物は高坏・甕などがあり、これから古墳時代後期に属すると言えよう。

13号住居址 (第13図・131図)

STA 521+80NS1に位置し、9号住居址等と重複する。東西5.04m、南北4.91mのほぼ正方形を呈し、主軸はN-31°-Wを示す。壁の高さは西7cm、南13cm、北16.5cmで、竈は北西壁中央部に在り、東西90cm、南北90cmの範囲に焼土が広がる。竈は粘土で構築されていたと思われる。掘り込みの上に20cm程の焼土ブロックが混入し、黒褐色土が推積している。柱穴・貯蔵穴等の施設はないが、遺物量は多く、住居内全体に散布しており、坏・高坏・甕等が出土している。遺物から古墳時代後期に属する。

14号住居址 (第14~15・133~134図)

STA 521+60S3に位置し、17号住居址と重複する。又両側半分は未調査地区に含まれている為に、全体の構造は把握できないが、本遺跡中でも規模の大きな住居のひとつである。発掘された住居は、東西8.28m、南北5.97mで、本来は正方形プランを呈すると思われる。主軸はN-31°-Eを示し、壁は東14cm、西25cm、北17cmの高さがある。壁面はやや外傾している。床面は竈正面部が良好の他はやや軟弱である。竈は北壁中央に位置しており、南北1.7m、東西1.1mの範囲に焼土がある。底面には皿状の掘り込みがあり、袖は粘土で構築されている。支脚は石柱を使用し、支脚上には壁の破片が散乱している。柱穴は1本しか確認されていない。深さ14.5cm、直径35cmの円形プランである。出土遺物には坏・甕などがあり、住居内全体に分布している。本住居の時期は古墳時代後期に属する。

15号住居址 (第8・134図)

STA 521+75N2に位置し、18号住居址等と重複している。東西3.78m、南北3.77mの方形プランを呈し、主軸はN-34°-Eを示す。壁は東21cm、西21cm、北17cmで壁面はやや外傾する。床面は中央南側がやや良好の他、全体は軟弱である。柱穴は不明。竈は良好ではないが、住居中央部から北壁中央部にかけて焼土が広がっている。南北2.3m、東西約1mの範囲であ

る。住居中央には竈が2～3個並んでいるが、あるいはこれが竈の袖石であろうか。そうであるとすれば、住居は全体に南へ移る可能性がある。本住居の時期は古墳時代後期終末から奈良時代初めであろうか。

16号住居址 (第16・135図)

S T A 521+80 N 2に位置し、他の住居址と重複はしていない。東西2.72m、南北2.6mのほぼ正方形をしており、主軸はN-28°-Eを示す。壁は東18cm、西6cm、南14cm、北10cmで、壁面はやや外傾する。床面は水平であるが、あまり良好ではない。竈は石組竈で、袖石、及び天井石が良好に残っている。右袖は長方体の石を4本縦に使用し、左袖は長方体の石4本を縦に使用している。天井に架けた石は3本あったが、このうち2本は竈内部に落ち込んでいた。規模は東西1.1m、南北1.5mである。出土遺物は灰釉陶器杯や土師質土器杯・羽釜があり、平安時代後期に属する。

17号住居址 (第14～15・135～136図)

S T A 522+60 S 3南側に位置し、14号・20号住居址と重複している。又、南側は地区外となっているので、住居址全体は調査できなかった。現存する規模は、東西4.15m、南北5.37mで、ほぼ正方形を呈しているものと思われる。主軸はN-31°-Eを示し、壁は東16cm、西7cm、北12.2cmで壁面はやや外傾する。床面はほぼ良好であるが、床面上には上屋の火災にあって崩壊した炭化材が相当残っており、垂木、板状の材などが見られる。竈周辺には炭化材が無いところから、竈から失火して焼失したものであろう。住居内に残存した遺物も、北西コーナーには、完形品が4点程まとまってあったが、1軒の食器量とすれば少ないので、他は搬出したのであろうか。柱穴・貯蔵穴等はない。竈は北壁中央部に位置し、煙道は住居外へ長く伸びている。焼土の範囲は南北2.1m、東西70cm程であり、住居外の部分は70cmである。住居内の竈部は90cm程で、粘土によって構築されている。出土遺物は、杯・甕・瓶などで古墳時代後期に属する。

18号住居址 (第17・136図)

S T A 521+75 N 2に位置し、15・16・42号住居址等と重複しているため、住居は南東コーナー部分が僅かに残っているだけである。住居の規模、方位は不明で、残存する壁高は東6.4cm、南5.5cmでやや外傾している。出土遺物は、甕と瓶で、これらは古墳時代後期に属するものである。

19号住居址 (第18・137～138図)

S T A 521+85 N 3に位置し、22・26号住居址等と重複する。東西6.27m、南北6.54mで、方形プランを呈し、主軸はN-18°-Eを示す。壁は東20.8cm、西32cm、南13cm、北20cmの高さで壁面はやや外傾している。床面はあまり良好ではなく、柱穴・貯蔵穴等は不明である。竈は

東西60cm、南北50cmで袖石及び支脚の一部が焼土中に残っている。遺物は竈周辺と住居南側に分かれて散布しており、坏・甕等がある。この遺物から本住居の時代は古墳時代後期に属している。

20号住居址 (第17・139図)

S T A 521+55 S 3 に位置し、17号住居址と重複する。東西2.41m、南北2.92mの規模で全体は横長の長方形であったと推定できる。壁高は西4cm、南8cm、北9.7cmで、壁面はやや外傾する。床面は中央部がやや良好であるが、柱穴・貯蔵穴等はない。竈は北壁に位置している。住居外へ煙道部が60cm程張り出し、住居内は東西60cmの規模である。袖石が焚口部両側に立てられ、焚口前には天井に架けられた長方体の石が横たわっている。本住居の出土遺物は、住居南壁に並んでおり、坏・甕が出土する。時代は古墳時代後期に属している。

21号住居址 (第19・139図)

S T A 521+70 S 2 に位置し、12号住居址と重複する。東西2.97m、南北2.65mの規模をもち、方形プランを呈する。主軸はN-35°-Eを示し、壁は東20cm、西3cm、南17.5cm、北3.3cmで、壁面はやや外傾している。床面は軟弱で、柱穴・貯蔵穴等は認められない。竈は東西65cm南北80cmの範囲に焼土が散布しているだけで、石組等は見られない。遺物は、須恵器坏・土師器甕が出土している。時期は平安時代前半になろう。

22号住居址 (第19・139図)

S T A 521+85 N 3 に位置し、19号住居址と重複している。東西5.31m、南北5.26mの方形プランを呈していると思われ、主軸はN-35°-Eを示す。壁は東14.6cm、南15.4cmで、他は削平されている。床面は軟弱で柱穴等の施設は不明。炉等は19号住居に削平されて消失している。柱穴・貯蔵穴は不明、出土遺物は古墳時代前期の器台、台付甕等が出土している。

23号住居址 (第20・140～141図)

S T A 521+80 N 2 に位置し、他の住居址とは重複しない。東西3.06m、南北3.18mの方形プランを呈し、主軸はN-54°-Wを示す。壁は東40cm、西26cm、南33cm、北28cmで、壁面はやや外傾している。竈は北西壁中央に位置し、東西86cm、南北54cmで、焚口両袖入口部には、石柱を使用し、竈本体は粘土で構築されている。竈中央には石製支脚があり、内部には坏・鉢等がほぼ完形で出土している。床面は竈正面あたりが良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴・貯蔵穴は無い。遺物は竈周辺と住居内全体に散布しており、坏・甕・鉢等がある。これから本住居の時代は、古墳時代後期と思われる。

24号住居址 (第21～22・141～142図)

S T A 521+55 N S 1 に位置し、29号住居址と重複する。東西7.1m、南北6.61mの方形

ランを呈し、主軸はN-12°-Eを示す。壁は東40.8cm、西22cm、南34cm、北47cmで、壁面はやや外傾斜している。竈は北壁中央に位置し、東西1m、南北1.3mで、住居外へ40cm程伸びている。竈は両側に袖石を立て、右袖石は6個の長方体礎を使用し、左袖石は4個の長方体礎を使用している。礎の間には粘土が詰められているので、石組を芯とした粘土覆の竈である。床面は比較的良好で、中央部は堅い。柱穴は4本あり、ビット1は深さ44.5cm、短径75cm、長径90cm、ビット2は、深さ26cm、短径52cm、長径67cm、ビット3は深さ44.8cm、直径69cm、ビット4は深さ36cm、短径60cm、長径67cmである。遺物は竈周辺にあるが、坏・甕・甔等は、古墳時代後期の時期に属する。

25号住居址 (第23・143図)

S T A 521+75 N 4に位置し、28号住居址と重複する。東西3.98m、南北3.85mの方形プランを呈し、主軸はN-15°-Eを示し、壁は東13cm、西7cm、南12cm、北9.7cmで壁面はやや外傾する。柱穴は不明で、竈・貯蔵穴等も無い。遺物は南壁寄から、集中して出土し、坏・甕・鉢等が出土している。時期は古墳時代後期である。

26号住居址 (第23・144図)

S T A 521+80 N 3に位置し、19・28・38号住居址と重複する。東西5.04m、南北5.67mの方形プランを呈し、主軸はN-28°-Eを示す。壁は東7cm、西17cm、南9cm、北11cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。住居中央に炉端に使用された枕石があり、焼土は少ないが、枕石の北側が炉であると考えられる。炉は東西30cm、南北30cmである。遺物は住居全体から出土するが器台・高坏・壺・台付甕等が出土しており、これから古墳時代前期に属する。

27号住居址 (第24・145図)

S T A 521+65 N 4に位置し、37号住居址と重複する。西側が水路によって削り取られているので、全体規模は不明であるが、現存する規模は3.5m、南北3.42mで方形を呈すると思われる。主軸はN-86°-Eで、壁は東2.2cm、南11cm、北10cmの高さがあり、壁面はやや外傾している。竈は東壁中央に位置し、巾60cm、長さ65cmの規模で、焚口袖石は南側部分が完全に残っていたが、北側の袖は倒れている。石製の支脚が中央部より出土している。柱穴・貯蔵穴は不明で、遺物は住居内より坏・甕・甔・鉢等が出土しており、古墳時代後期に属する。

28号住居址 (第24・146図)

S T A 521+75 N 4に位置し、25・26・38号住居址と重複している。東西3.87m、南北3.43mのほぼ方形をしており、主軸はN-28°-Eを示す。壁は東17.5cm、西27.5cm、南20cm、北20cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部及び竈前面が良好であるが他は軟弱である。竈は東壁南側にあって南東隅に位置する。巾88cm、長さ1.27mで、半分は住居外に張り出しているが、これは煙道部であろう。竈は石芯粘土覆の構造であろうが、石組は崩れている。

竈の前、南壁に接して長方形の貯蔵穴がある。巾35cm、長さ80cmである。出土遺物は住居の壁に近い部分にあり、灰軸陶器・土師器・甕などが出土している。本住居は、平安時代後期に属する。

29号住居址 (第25・146～147図)

S T A 521+55 N 2 に位置し、130号住居址と重複する。東西4.38m、南北3.67mの方形プランを呈し、主軸はN-19.5°-Eを示す。壁は西33cm、南36cmの高さで他は重複によって不明である。床面は全体に明瞭でなく、柱穴・貯蔵穴等はない。竈は北壁東寄りに位置し、東西1.46m、南北0.84mの範囲に焼土がある。粘土造りの竈である。遺物は住居全体に散布するが、西壁には甕が完形で残っていた。坏・甕等から奈良時代の住居と考えられよう。

30号住居址 (第26・148～149図)

S T A 521+55 N 2 に位置し、24号住居址と重複する。東西3.48m、南北3.91mの方形プランを呈し、主軸はN-34°-Wを示す。壁は東29cm、西17cm、南22cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。柱穴は不明であるが、南隅に方形の特殊な遺構がある。70cm×30cmの皿状ピットの周辺に4～5cmの周提がめぐっている。貯蔵穴というよりは入口部の施設であろうか。又、コーナーには柱穴状のピットがあるが、他のコーナーには存在しないので、入口部施設に伴うものかもしれない。このピットは直径20cm、深さ15cmである。住居の中央西側に焼土があり、これが地床炉であろうか。出土遺物は覆土中に多く含まれ、器台・埴・甕等が出土している。古墳時代前期の住居である。

31号住居址 (第26・150図)

S T A 521+70 N 4 に位置し、37号住居址等と重複する。東西4m、南北3.72mの方形プランを呈すると思われ、主軸はN-14.5°-Eを示す。壁は東10cm、北10cmで、他の辺は確認面と同じである。床面は竈周辺で、良好であるが、全体は軟弱である。竈は東壁中央に位置し、東西42cm、南北47cmの範囲に焼土が残り、竈中より皿・坏などが出ている。出土土器は平安時代中頃のものである。

32号住居址 (第27・150～151図)

S T A 522+30 N 4 に位置し、他の住居との切り合いはないが、北側を水路によって切り取られている。現存する規模は東西4.24m、南北3.72mで方形プランをもつと思われる。主軸はN-27°-Eを示し、壁は東23.8cm、西16.5cm、南22cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。竈は北壁中央に存在したと考えられるが、切り取られているので不明である。柱穴は主柱穴4本、壁柱穴1本で、ピット1は深さ11.2cm、短径46cm、長径52cm、ピット2は深さ12.7cm、短径48cm、長径56cm、ピット3は深さ30cm、短径48cm、長径55cm、ピット4は深さ20cm、直径45cmである。壁柱穴は東壁南寄りに位置し、深さ16.8cm、短径51cm、長径55cmである。貯蔵穴と思わ

れるピットは、西壁南寄りであって、2段に落ち込んでいるが、東西94cmの楕円形の中に、長径65cm、短径40cmのピットがある。この下のピットは、東壁にある壁柱穴と同じ性格のものかもしれない。覆土中には多量の礫が投げ込まれており、この間に土器も含まれていた。出土遺物は、坏・高坏・甕等であり、古墳時代後期のものである。

33号住居址 (第28・152図)

STA 522+20N2に位置し、他の住居址とは重複していない。東西4.8m、南北4.86mの方形プランを呈し、主軸はN-68°-Eを示す。壁は東30.5cm、西29cm、南28cm、北32cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺はやや軟弱である。柱穴は4本で、住居の対角線上に位置し、ピット1は深さ41cm、短径34cm、長径38cm、ピット2は深さ32.4cm、短径26cm、長径34cm、ピット3は深さ50.4cm、短径31cm、長径41cm、ピット4は深さ41.6cm、直径23cmである。貯蔵穴は、西壁中央部に馬蹄形の周堤があり、その内部に深さ70cm、東西75cm、南北80cmの土壇がある。竈は東壁中央に位置し、東西1.45m、南北1.36mの範囲に焼土及び石組が存在する。この竈は袖部を粘土で構築し、天井部を石で架けたもので、例は少ない。竈中央に石製の支脚が直立して残っていた。出土遺物は、坏・甕・長頸壺などがあり、古墳時代後期のものである。

34号住居址 (第29・153～156図)

STA 522+30N3に位置し、50号住居址と重複する。東西4.3m、南北5.32mの方形プランを呈する住居で、主軸はN-16.5°-Eを示す。壁は東33cm、西38.8cm、南34.5cm、北33.8cmの高さがあり、壁面はやや外傾斜する。柱穴は4本で、ピット1は深さ44.1cm、直径55cm、長径61cm、ピット3は深さ41cm、直径52cm、ピット4は深さ31cm、直径49cmである。周溝は西壁から北壁及び、南壁の一部に見られるが全周はしない。特に竈両側は深さ60cm、直径50～60cmの柱穴が各1本ずつ伴い、特殊な住居構造が見られる。又入口部も若干突出している。周溝の巾は21cmである。竈は北壁中央に位置し、東西81cm、南北11.6cmの規模がある。煙道部40cmが住居外へ突き出し、竈本体は両袖に長方体の石を使用する以外は粘土による構築がされる。竈内には甕が残り、その下から土製の支脚が出土している。住居内の遺物は東北隅に集中しており、坏・甕・鉢・甌などがあり、これらは古墳時代後期の遺物である。

35号住居址 (第30・157～160図)

STA 522+30N3に位置し、36・50号住居址と重複している。東西4.91m、南北5.38mの方形プランを呈し、主軸はN-19°-Eを示す。壁は東38cm、西26cm、南28.5cm、北31.8cmで、壁面はやや外傾している。床面は中央部が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は4本で、ピット1は深さ26.7cm、直径31cm、ピット2は深さ28.5cm、直径30cm、ピット3は深さ30cm、直径30cm、ピット4は深さ32cm、直径30cmである。貯蔵穴は南壁中央に位置し、住居壁より若干南に張り出す。東西75cm、南北65cmの不整形で、断面も皿状を呈する。竈は北壁中央に位置

し、東西87cm、南北62cmの範囲で、袖には長方体の礎を使用する他は粘土で構築されている。竈内には礎が破損しており、その下に支脚に使用されたと思われる高坏の脚部が存在した。遺物は竈の前に集中しており、礎なども含まれている。出土遺物には、坏・大坏・甕等があり、これから古墳時代後期に属する。

36号住居址（第31・161・162図）

S T A 522+35 N 3 に位置し、35号住居址と重複し、北側を水路によって切られている。東西6.62m、南北5.97mが現存する規模で、プランは不定形をしている。壁は東31cm、西44cm、南36cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好のほか、周囲は軟弱である。柱穴は不明で、住居内南壁中央近くに深さ10.7cm、直径45cm位のピットが存在するだけである。住居の南に接して礎を多く含んだ土壌があり、これはこの住居によって切られているので、同時代か、それ以前であろう。住居内の遺物は覆土中のものが多く、断面図にも示した通りである。坏・高坏・甕等が出土しており、これから古墳時代後期に属す。

37号住居址（第32・162図）

S T A 521+65 N 4 に位置し、27号住居址と重複する。東西4.24m、南北5.37mの長方形を呈し、主軸はN-19.5°-Wを示す。壁は東22cm、西10cm、南6cm、北17cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。炉は住居中央より若干北側に寄っており、東西36cm、南北42cmの皿状のピットの南側に枕石が置かれる。柱穴・貯蔵穴は見られず、遺物も住居中央部に僅かに見られる。高坏・坏・台付甕等から、古墳時代前期に含まれる住居である。

38号住居址（第32・162～163図）

S T A 521+80 N 5 に位置し、28号住居址と重複する。東西4.03m、南北3.81mの方形プランを呈し、壁は東8cm、西25cm、南26.7cm、北33cmの高さをもち、壁面はやや外傾する。床面は中央部を除き軟弱である。住居内の諸施設は無く、遺物は住居内全体に散布する。本住居からは土師器高台付坏・坏・甕等が出土しており、平安時代後期のものである。竈は28号住居によって削平されている。

39号住居址（第33・164図）

S T A 521+70 N 6 に位置し、他の住居址とは重複しない。東西4.78m、南北4.65mのほぼ正方形プランを呈し、主軸はN-40°-Eを示す。壁は東25.7cm、西46cm、南17cm、北33cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部がやや良好である。柱穴・貯蔵穴等はない。竈は東壁中央よりも僅かに南に寄っており、東西77cm、南北66cmの規模がある。竈は両袖を石で組んだ、石組粘土覆の構造で、右袖は4個の長方体礎、左袖には3個の長方体礎が組まれている。遺物は竈北側で東壁寄りに土師器坏・皿等があり、須恵器甕破片も出土している。出土遺物か

ら、平安時代後期に含まれる。

40号住居址 (第33・164図)

S T A 522+15N4に位置し、45・49号住居址と重複する。東西5.32m、南北5.48mのほぼ正方形で、主軸はN-57.5°-Eを示す。壁は東52cm、南40.8cm、北54.8cmの高さがあり、壁面はやや外傾している。床面は中央部が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は4本で、住居の対線上に位置し、ビット1は深さ40cm、直径40cm、ビット2は深さ41.5cm、短径43cm、長径47cm、ビット3は深さ53.2cm、直径40cm、ビット4は深さ34.9cm、直径47cmである。貯蔵穴は南西壁中央にあり、楕円形(東西70cm、南北56cm)を呈し、深さ10cmである。竈は北東壁中央に位置し、南北1m、東西88cmの規模で、40cm程壁よりも外に煙道部が出ている。竈の両袖焚口部は長方形の礎が使用され、竈本体は粘土で構築されたものと思われる。遺物は竈前面東側に多く、貯蔵穴中にも、高坏・大碗などが出土した。竈前面西側には、礎が多量に投棄されており、このあたりの住居の特徴と思われる。出土遺物は坏・高坏・碗・甕・筒形土器等があり、古墳時代後期に属する。

41号住居址 (第35・167～168図)

S T A 522+45S2に位置し、3号住居址等と重複する。東西5.42m、南北5.12mの方形プランを呈し、主軸はN-11.5°-Wを示す。壁は東35.5cm、西39.4cm、南41cm、北48cmの高さがあり、壁面はやや外傾している。床面は中央が良好であるが、周辺は軟弱である。炉は住居中央北寄りに位置し、東西52cm、南北52cmの円形をしており、南側炉端に円礎3個が並べられている。炉は皿状の断面をもつ。柱穴は4本柱であったと思われるが、1本は水路によって切られており不明。各柱穴は住居の対角線上に位置しており、ビット1は深さ28.5cm、直径32cm、ビット2は深さ15cm、短径23cm、長径26cm、ビット3は深さ40.5cm、直径30cmである。貯蔵穴は南西コーナーにあり、直径78cmの円形で、30cmの深さがある。内部より土器片及び長方形の礎が出土する。遺物は住居西側に多く分布し、器台・埴・壺・台付甕・蓋等が出土しており、これから古墳時代前期に属する。

42号住居址 (第35・169図)

S T A 521+75N2に位置し、15号住居址と重複する。東西3.51m、南北3.25mの台形プランを呈し、主軸はN-17°-Eを示す。壁は東20cm、西13cm、南14cmの高さがあり、壁面はやや外傾している。床面は軟弱で凹凸が激しい。柱穴・貯蔵穴は無い。竈は北壁東寄りに位置し、南北1.12m、東西89cmで、焼土範囲に礎が散乱しており、石組竈であった事が知られる。出土遺物は、土師器坏・蓋・甕等の破片があり、この遺物から平安時代前半に含まれる住居と考えられる。

43号住居址 (第36・169図)

S T A 521+60 N 3 に位置し、他の住居址と重複しない。一部が水路で破壊されているので、旧規模は不明であるが、現存するのは、東西2.16 m、南北3.01 mの長方形を呈する。壁は東17.2 cm、南22.5 cm、北22.6 cmで、壁面はやや外傾している。床面は軟弱で明確に捉えられず、南側には盛り上った部分が存在する。柱穴・貯蔵穴及び炉・竈等はない。遺物は遺構内より全体的に出土し、奈良時代末～平安時代初期と思われる。

44号住居址 (第36・170図)

S T A 522+00 N S1 に位置し、1号水路沿いに立地する。東西3.95 m、南北4.33 mの方形プランを呈し、主軸はN-37°-Wを示す。壁は東15 cm、西13 cm、南20.8 cm、北13 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、火災を受けており、屋根材の炭化材が中央部に残っている。炉は住居北側に位置するが、明確ではない。貯蔵穴は南東コーナーに位置し、東西53 cm、南北50 cmのコップ状を呈するピットで、その外側には巾30 cm、長さ1.6 mの周堤がある。出土遺物は周堤と貯蔵穴の間に台付甕等がある。住居の時間は古墳時代前期に属する。

45号住居址 (第37・171図)

S T A 522+15 N 4 に位置し、40・49号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.02 m、南北2.4 mの長方形を呈し、主軸はN-29°-Eを示す。壁は東18 cm、西23 cm、北22 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は削平されて不明である。遺物は住居の東壁に集中して出土し、遺物には坏・高坏などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

46号住居址 (第37・171図)

S T A 523+10 S 3 に位置し、他の住居等とは重複しない。住居の規模は東西3.61 m、南北3.02 mの長方形を呈し、主軸はN-40°-Wを示す。壁は東18 cm、西7.8 cm、南11 cm、北15 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央西寄りに位置し、東西0.4 m、南北0.4 m、南北0.4 mの規模で、地床炉である。遺物は住居覆土全体から出土しており、遺物には坏・甕・甕・台付甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

47号住居址 (第37・171～172図)

S T A 523+15 S 4 に位置し、1号周溝遺構などと重複する。現在する住居の規模は、東西2.72 m、南北5.13 mの長方形を呈しているが、本来は方形であったと思われる。主軸はN-10°-Eを示す。壁は東20.5 cm、南27 cm、北16 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。貯蔵穴は住居南東隅に位置し、その規模は深さ15 cm、東西98 cm、南北1.03 mの方形プランを呈し、断面は皿形である。貯蔵穴内には直径50 cm、深さ

40cmの円形ピットがある。炉・柱穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の南東隅の貯蔵穴に集中して出土し、遺物には高坏・壺などがある。これらの遺物から本住居は古墳時代前期に置かれる。

48号住居址（第38・39・172～174図）

S T A 523+00 S 6 に位置し、1号周溝遺構などと重複する。住居の規模は、東西5.77m、南北6.12mの長方形を呈し、主軸はN-10°-Wを示す。壁は東56cm、西38cm、南40cm、北49cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ピット1は深さ50cm、短径32cm、長径35cm、ピット2は深さ48cm、短径32cm、長径33cm、ピット3は深さ50cm、短径29cm、長径31cm、ピット4は深さ56cm、短径28cm、長径33cmである。貯蔵穴は住居南壁中央に位置し、一部住居外に張り出す。規模は深さ20cm、東西1.02m、南北1.23mの凸形プランを呈し、断面は平坦である。貯蔵穴の周辺は住居の壁が張り出している。なお貯蔵穴凸部にはピットがあり、深さ50cm、直径30cmの大きさであるが、入口施設なのか、屋根構造に伴うものか不明である。竈は北壁中央よりやや西寄りに位置し、東西1m、南北1.9mの規模で、煙道は住居外に1m張り出す。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしているが、天井の石は熱のため3個に割れて落ちている。又、竈内には甕3個体が残っていた。支脚は石柱を使用している。遺物は住居の壁寄りに分散して出土しており、遺物には須恵器坏・土師器坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

49号住居址（第40・175～176図）

S T A 522+15 N 4 に位置し、40号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.6m、南北5.5mの方形を呈し、主軸はN-5°-Eを示す。壁は東45cm、西36cm、南50cm、北70cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、支柱穴が3本あり、ピット1は深さ72.3cm、短径73cm、長径85cm、ピット2は深さ66.4cm、短径58cm、長径63cm、ピット3は深さ76cm、短径49cm、長径56cm、ピット4は深さ51cm、短径58cm、長径63cm、ピット5は深さ30cm、短径42cm、長径60cm、ピット6は深さ45cm、直径30cm、ピット7は深さ20cm、直径44cmである。周溝は住居北壁を除き東から南・西にかけて幅20～30cm、深さ10cmのものが見られる。竈・貯蔵穴は検出されなかった。遺物は住居の北側に集中して出土しており、遺物には坏・高坏・甕・甔などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

50号住居址（第41・176図）

S T A 522+30 N 2 に位置し、34・35号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.75mの方形を呈し、主軸はN-5°-Eを示す。壁は西14.8cm、北16.8cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は削平されほとんどなく、残存部は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検

出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、遺物には坏・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

51号住居址 (第42・176～178図)

S T A 523+00 S 4 に位置し、52号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.92 m、南北4.38 mの方形を呈し、主軸はN-32°-Wを示す。壁は東20 cm、西38.5 cm、南37 cm、北40.7 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は西壁中央に位置し、東西0.8 m、南北0.6 mの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の西側に集中して出土し、遺物には坏・高坏・甕・瓶・円筒土器などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

52号住居址 (第42・178～179図)

S T A 523+00 S 4 に位置し、51号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.3 m、南北4.45 mの方形を呈し、主軸はN-15°-Eを示す。壁は東33 cm、西22 cm、南32 cm、北34 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の残存部に集中して出土し、甕などがある。遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

54号住居址 (第43・179～180図)

S T A 522+90 S 7 に位置し、1号周溝遺構、54号住居址などと重複し、南半分は調査地区外となっている。現存する住居の規模は、東西3.5 m、南北4.9 mの三角形を呈し、主軸はN-38°-Eを示す。壁は西21 cm、北53 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴の現存するものは1本で、深さ37 cm、短径22 cm、長径29 cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西0.86 m、南北0.78 mの規模である。竈は焚口両袖に長方体の石を立てて築き、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。竈内より、甕が3個体出土し、石製の支脚が存在した。遺物は住居の竈前面に集中して出土しており、遺物には坏・高坏・甕・瓶などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

55号住居址 (第41・180図)

S T A 522+90 S 7 に位置し、1号周溝遺構、54号住居址などと重複する。現存する住居の規模は、東西5 m、南北4.4 mの台形を呈し、主軸はN-52°-Wを示す。壁は西17.2 cm、北17.3 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の炉の周辺が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴の現存するものは1本で、深さ52 cm、短径27 cm、長径31 cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央北西側柱穴間に位置し、枕石をもつ地床炉である。遺物

は住居覆土全体から出土しており、坏・高坏・甕・甔などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

56号住居址（第44・181～182図）

S T A 522+95 S 2 に位置し、1号古墳と重複する。住居の規模は、東西3.76m、南北3.58mの方形を呈し、主軸はN-7.5°-Wを示す。壁は東43.5cm、西45cm、南36cm、北44cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。貯蔵穴は住居東壁中央南寄りに位置し、その規模は深さ20cm、東西43cm、南北57cmの長方形プランを呈し、断面は舟底形である。柱穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁東北隅に位置し、東西78cm、南北58cmの規模で、煙道は住居外に張り出してはいない。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。内部より甕が2個体出土した。遺物は住居の北側から出土しており、遺物には坏・甕などがある。遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

57号住居址（第45～46・182図）

S T A 522+95 S 4 に位置し、58・61号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.75m、南北5mの方形を呈し、主軸はN-12°-Eを示す。現存する壁は東52.6cm、西43.4cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は残存している中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は東壁中央に位置し、東西0.9m、南北1.12mの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖前面に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。内部より甕が1個体出土した。遺物は住居覆土全体から出土しており、坏・高坏・甕・甔などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

58号住居址（第45～46・183図）

S T A 522+95 S 3 に位置し、57・61号住居址などと重複する。現存する住居の規模は、東西4.03m、南北1.1mで、主軸はN-12°-Eを示す。壁は東38cm、西41.6cm、北35.2cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は前面が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央東寄りに位置し、東西1.05m、南北0.77mの規模で、煙道は住居外にわずかに張り出す。竈は焚口両袖部を長方体の石で組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は竈の前面に集中して出土し、坏・甕などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

59号住居址（第47・184図）

S T A 522+85 S 4 に位置し、2号周溝遺構、61号住居址などと重複する。現存する住居の規模は、東西4.33m、南北4.13mの台形を呈し、主軸はN-13°-Wを示す。壁は西19.6cm、南21.5cm、北13cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部炉の周辺が良好であるが、

周辺は軟弱である。貯蔵穴は住居南西隅に位置し、その規模は深さ25cm、東西0.93m、南北1.04mの方形プランを呈し、断面は台形である。貯蔵穴の東には高さ3cm、幅15cm、長さ1.1mの周堤がある。柱穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央北寄りに位置し、東西1m、南北0.6mの規模で焼土が残る。遺物は住居の北側に集中して出土し、高坏・甕・台付甕などがある。これから、本住居は古墳時代前期に置かれる。

60号住居址 (第48・185図)

S T A 522+85 S 2 に位置し、75号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.61m、南北5.64mの正方形を呈し、主軸はN-33°-Eを示す。壁は東52cm、西40cm、南58.4cm、北46.5cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ビット1は深さ41.3cm、短径37cm、長径38cm、ビット2は深さ52cm、短径25cm、長径25cm、長径26cm、ビット3は深さ45.2cm、短径46cm、長径50cm、ビット4は深さ31.2cm、短径31cm、長径35cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.12m、南北0.67mの規模で、煙道は住居外に甕破片を並べて張り出す。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の全面に分布しており、坏・甕・甎などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

61号住居址 (第45~46・186~188図)

S T A 522+30 S 5 に位置し、2号周溝遺構、57・58号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.58m、南北4.77mの正方形を呈し、主軸はN-69°-Wを示す。壁は西41cm、南24.6cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは3本で、ビット1は深さ23.5cm、短径37cm、長径38cm、ビット2は深さ21cm、直径36cm、ビット3は深さ29.3cm、直径41cm。ビット3の位置は中心線に近いので、本住居に伴うものであれば支柱であろう。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は西壁中央に位置し、東西0.9mの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。中央部には石製支脚が立てられ、甕が1個体出土した。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甎などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

62号住居址 (第49・188~190図)

S T A 522+75 S 3 に位置し、79号住居址などと重複する。2号周溝遺構は本住居を避けて造られているので、遺構の前後関係を知る上で重要な遺構である。住居の規模は、東西5.45mの正方形を呈し、主軸はN-23°-Eを示す。壁は東41cm、西47cm、南40cm、北40cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。南壁中央部がやや、くの字状に南に広がっており、ここが入口部であろうか。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ビット1は深さ27.4cm、短径38cm、長径42cm、ビット2は深さ18.5cm、短径24cm、長径31cm、ビット3は

深さ19.8cm、短径31cm、長径32cm、ピット4は深さ48.5cm、短径21cm、長径33cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西0.9m、南北1.92mの規模で、煙道は住居外に巾20cm、長さ1.2m張り出す。竈は焚口両袖部に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・円筒土器などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

63号住居址 (第50・191～192図)

S T A 522+75 S 4に位置し、71・79・84・86号住居址などと重複する。住居の規模は、東西6.33m、南北5.73mの長方形を呈し、主軸はN-54°-Wを示す。壁は東32cm、西51.5cm、南17cm、北53cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西1.2m、南北1.35mの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・瓶などがある。これらの遺物から本住居は古墳時代後期に置かれる。

64号住居址 (第51～52・193～196図)

S T A 522+75 S 6に位置し、68・91号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.88m、南北6.21mの長方形を呈し、主軸はN-42°-Eを示す。壁は東49cm、西34cm、南35cm、北40.6cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。南壁中央部が半円状に突出しており、入口部施設と思われる。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ピット1は深さ27.5cm、短径33cm、長径42cm、ピット2は深さ32cm、短径36cm、長径37cm、ピット3は深さ27cm、短径30cm、長径31cm、ピット4は深さ34cm、短径31cm、長径32cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西1.15m、南北1.32mの規模で、煙道は住居外に30cm張り出す。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、天井には甕を使用している。竈本体は粘土で築く、土器石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・坏・円筒土器・瓶などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

65号住居址 (第52・197図)

S T A 522+70 S 6に位置し、他の住居等とは重複しない。住居の規模は、東西3.08m、南北3.93mの長方形を呈し、主軸はN-52°-Wを示す。壁は東9cm、西8.9cm、南16cm、北11cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央西寄りに位置し、東西0.8mの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口を長方体の石で袖の一部を造り、竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の竈周辺に集中して出土しており、甕・鉢などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

66号住居址 (第53・197図)

S T A 522+65 S 6 に位置し、84号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.71m、南北5.23mの方形を呈し、主軸はN-137.5°-Eを示す。壁は西20cm、南8cm、北17cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部炉の周辺が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は4本主柱で、支柱穴が2本あり、ビット1は深さ29cm、短径42cm、長径43cm、ビット2は深さ30cm、短径50cm、長径66cm、ビット3は深さ35.5cm、短径36cm、長径40cm、ビット4は深さ24.8cm、短径43cm、長径51cm、ビット5は深さ25.5cm、短径27cm、長径35cm、ビット6は深さ27.7cm、直径58cmである。貯蔵穴は住居南隅に位置しているビット6かもしれない。周溝は北から西にかけて幅90cm、深さ8cmの幅広のものが見られる。炉は住居中央南東寄りに位置し、深さ27cm、東西0.5m、南北0.6mの規模である。遺物は住居覆土全体から出土しており、坏・高坏・甕・台付甕等である。これから、本住居は古墳時代前期に置かれる。

67号住居址 (第54図)

S T A 522+95 S 6 に位置し、1号周溝遺構と重複する。現存する住居の規模は、東西3.38m、南北3.71mの台形を呈し、主軸はN-51°-Wを示す。壁は西4cm、南9.5cm、北8cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は西北壁寄りに位置し、東西0.4m、南北0.6mの規模で焼土が広がる。遺物は住居覆土全体からはほとんど出土していない。

本住居は遺構から古墳時代前期に置かれると推定される。

68号住居址 (第51・198図)

S T A 522+75 S 6 に位置し、64号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.36m、南北3.59mの方形を呈し、主軸はN-42°-Eを示す。壁は東26.2cm、西25.6cm、南26cm、北26cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周囲は軟弱である。周溝は西壁から南壁にかけて巾20cm、深さ10cmのものが見られる。柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。炉は64号住居に削られて位置が不明である。遺物は住居の壁寄りに出土しており、坏・高坏・壺などがある。これから、本住居は古墳時代前期に置かれる。

69号住居址 (第54・198図)

S T A 522+90 S 6 に位置し、1号周溝遺構と重複する。現存する住居の規模は、東西3.17m、南北5.41mの方形を呈し、主軸はN-6°-Wを示す。壁は東14cm、南6cm、北4cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周囲は軟弱である。現存する柱穴は2本で、ビット1は深さ29.5cm、短径25cm、長径26cm、ビット2は深さ28.4cm、短径27cm、長径29cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央北寄りに位置し、東西0.4m、南北0.5mの規模で地床炉である。遺物は住居全体から出土しており、壺・甕がある。これから、本住居は古墳時代前期に置かれる。

70号住居址 (第55・198～199図)

S T A 522+60 S 7 に位置し、他の住居等とは重複しない。住居の規模は東西5.2 m、南北5.09 mの方形を呈し、主軸はN-113°-Wを示す。壁は東59cm、西47cm、南51cm、北34cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部炉の周辺が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ビット1は深さ22cm、短径34cm、長径40cm、ビット2は深さ25.7cm、短径42cm、長径44cm、ビット3は深さ50cm、短径37cm、長径45cm、ビット4は深さ17cm、短径37cm、長径41cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央西寄りに位置し、東西65cm、南北60cmの範囲に焼土が広がり深さ10cmの皿状を呈する。遺物は住居覆土から出土しており、坏・壺・甕などがある。これから本住居は古墳時代前期に置かれる。

71号住居址 (第56・199図)

S T A 522+75 S 5 に位置し、63号住居址などと重複する。住居の規模は東西4.7 m、南北5.38 mの方形を呈しているが、東壁中央に巾2 m、長さ1.6 mの方形突出部があり入口部であろうか。主軸はN-35°-Wを示す。壁は西10.2 cm、南32cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が削除されている為不明であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁が西壁であるが、削平されて不明。遺物は住居覆土から出土しており、坏・高坏などがある。これから本住居は古墳時代後期に置かれる。

72号住居址 (第57～58・199～200図)

S T A 522+75 S 7 に位置し、64・73・78・91号住居址などと重複する。住居の規模は重複が多くて不明であるが、およそ東西8.4 m、南北7.5 mの長方形を呈し、主軸はN-50°-Wを示す。壁は東37cm、北34cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱のうち3本が検出されビット1は深さ46.5 cm、直径28cm、ビット2は深さ45.6 cm、短径25cm、ビット3は深さ45.3 cm、短径30cm、長径31cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西0.9 m、南北0.8 mの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・甕などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

73号住居址 (第58・201図)

S T A 522+80 S 7 に位置し、72・91号住居址などと重複する。住居の規模は東西3.77 m、南北3.78 mの正方形を呈し、主軸はN-30°-Eを示す。壁は東36cm、西22cm、南27cm、北32.7 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。現存する柱穴は2本で、ビット1は深さ39cm、短径28cm、長径32cm、ビット2は深さ26cm、短径28cm、長径35cmである。貯蔵穴・周溝等は検出されなかった。竈は北壁中央東寄りに位置し、東西88cm、南北1.3 mの規模で煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で築く構造をして

いる。遺物は住居の北東側に集中して出土しており、坏・高坏・甕などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

74号住居址（第64・211～213図）

S T A 522+75 S 1 に位置し、75号住居址などと重複する。住居の規模は東西4.76m、南北5.42mの長方形を呈し、主軸はN-35°-Eを示す。壁高は東42cm、西45cm、南37cm、北48cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ピット1は深さ43cm、短径21cm、長径23cm、ピット3は深さ53.5cm、短径21cm、長径25cm、ピット4は深さ42cm、短径22cm、長径24cmである。貯蔵穴は住居の南壁中央に位置し、その規模は深さ40cm、東西86cm、南北72cmの円形プランを呈し、断面は舟底形である。周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西84cm、南北82cmの規模で煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口を長方体の石でコの字形に組まれていたと思われ、焚口天井石は竈前面に落ちている。又袖には3個づつ石が使用され、その上を粘土で覆う構造をしている。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢などがある。これから、本住居は古墳時代後期に置かれる。

75号住居址（第60・204～206図）

S T A 522+80 S 2 に位置し、60・74号住居址などと重複する。住居の規模は東西4.93m、南北4.92mの正方形を呈し、主軸はN-15°-Eを示す。壁は東52cm、西41cm、南45cm、北49cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ピット1は深さ27.4cm、短径33cm、長径38cm、ピット2は深さ19.6cm、短径36cm、長径39cm、ピット3は深さ26cm、直径42cm、ピット4は深さ33.5cm、短径39cm、長径41cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西79cm、南北60cmの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖に長方体の石を立て竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の中央から東に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

76号住居址（第61・206～207図）

S T A 522+60 S 4 に位置し、77号住居址などと重複する。住居の規模は東西7.26cm、南北5.21mの長方形を呈し、主軸はN-17°-Wを示す。壁は30cm、西16cm、南33cm、北21cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で支柱穴が1本あり、ピット1は深さ24.5cm、短径30cm、長径35cm、ピット2は深さ30cm、短径26cm、長径27cm、ピット3は深さ21cm、短径29cm、長径33cm、ピット4は深さ19cm、短径24cm、長径27cm、ピット5は深さ35cm、短径37cm、長径42cmである。ピット3は支柱穴か又は棟柱持であろう。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西80cm、南北80cmの規模で煙道は住居外に張り出さない。竈本体は粘土で築き、支脚は石製である。遺物は

住居の北東側に集中しており、坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

77号住居址（第62・207図）

STA 522+65S4に位置し、76号住居址と重複する。住居の規模は東西5.15m、南北4.74mの長方形を呈し、主軸はN-27°-Wを示す。壁は東23cm、南28cm、北21cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で支柱穴が1本あり、ピット1は深さ35.8cm、直径36cm、ピット2は深さ24.3cm、短径26cm、長径28cm、ピット3は深さ11.5cm、短径27cm、長径28cm、ピット4は深さ26cm、長径29cm、ピット5は深さ34cm、短径26cm、長径28cmである。ピット3が支柱穴であろうか、炉は不明である。遺物は住居覆土から出土しており、高坏・台付甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

78号住居址（第62・208～210図）

STA 522+70S7に位置し、78・87号住居址などと重複する。住居南側はほとんど地区外となっている。現存する住居の規模は、東西4.2m、南北2.8mの台形を呈し、主軸はN-18°-Eを示す。壁は西36.8cm、北36cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。竈は壁中央に位置し、東西90cm、南北50cmの規模で煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口袖部に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は竈の前面に集中して出土し、高坏・甕・鉢・甌・円筒土器などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

79号住居址（第63・211図）

STA 522+70S3に位置し、62・63・86・92・94号住居址などと重複する。住居の規模は東西4.72m、南北5.07mの方形を呈し、主軸はN-14.5°-Eを示す。壁は東12.5cm、西38cm、南51cm、北38cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ピット1は深さ20cm、短径24.5cm、長径30cm、ピット2は深さ35cm、短径34cm、長径38cm、ピット3は深さ30cm、短径31cm、長径35cm、ピット4は深さ37cm、短径26cm、長径31cmである。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。住居は火災を受けたと思われる、住居内に炭化材が残る。竈は北壁中央に位置し、東西1.36m、南北1.08mの規模で煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居覆土全体から出土しており、坏・高坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

80号住居址（第64・211～213図）

STA 522+50N3に位置し、95号住居址等と重複する。住居東側は道路の為に未調査であった。現存する住居の規模は、東西7.5m、南北3.87mの台形を呈し、主軸はN-38°-Wを示

す。壁は東28cm、西42cm、北48cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは1本で、深さ29cm、短径28cm、長径39cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西63cm、南北90cmの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は、住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甔等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

81号住居址 (第65・66・213～215図)

S T A 522+45 N 4 に位置し、82号住居址等と重複する。住居の規模は、東西7.07m、南北7.9mの方形を呈し、主軸はN-35°Eを示す。壁は東24cm、西32cm、南6cm、北18cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、支柱穴が1本あり、ピットは深さ36cm、短径30cm、ピット2は深さ39cm、短径31cm、長径32cm、ピット3は深さ23cm、短径33cm、長径36cm、ピット4は深さ35cm、短径26cm、長径29cm、ピット5は深さ20cm、直径28cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.02m、南北1.17mの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は焚口両袖前面に長方体の石を立て、天井部に甕を使用して築き、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の北側に集中して出土しており、遺物には坏・高坏・甕・鉢・円筒土器等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

82号住居址 (第66・215・216図)

S T A 522+40 N 4 に位置し、81、85号住居址等と重複する。住居の規模は、東西4.83m、南北4.42mの方形を呈し、主軸はN-40°Eを示す。壁は東14cm、西17cm、南26cm、北34cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、支柱穴が1本あり、ピットは深さ33cm、短径34cm、長径37cm、ピット2は深さ43cm、短径28cm、長径31cm、ピット3は深さ34cm、短径22cm、長径33cm、ピット4は深さ41cm、短径31cm、長径31cm、長径39cm、ピット5は深さ30cm、短径24cm、長径29cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置していたと思われるが、攪乱を受けて現存しない。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甔等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

83号住居址 (第67・216・217図)

S T A 522+20 N 6 に位置し、49号住居址等と重複する。住居の規模は、東西8.08m、南北7.24mの方形を呈し、主軸はN-55°Wを示す。壁は東38.5cm、西33cm、北36cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。住居南側は溝によって攪乱を受けて不明瞭である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は西壁中央に位置し、東西97cm、南北85cmの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居覆土全体から出土しており、坏・高

坏・甕・鉢・円筒土器等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

84号住居址 (第67・218・219図)

S T A 522+70 S 5に位置し、66、71号住居址等と重複する。住居の規模は、東西4.65m、南北2.84mの長方形を呈し、主軸はN-38°Eを示す。壁は東8cm、南17cm、北18cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は、4本主柱でビット1は深さ42cm、短径24cm、長径25cm、ビット2は深さ32cm、短径21cm、長径25cm、ビット3は深さ44cm、短径24cm、長径25cm、ビット4は深さ39cm、短径26cm、長径32cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炬は北西側柱穴間に位置し、東西40cm、南北40cmの規模で、3個の枕石をもつ。遺物は住居全体から出土しており、壺・高坏・甕・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

85号住居址 (第68・219図)

S T A 522+35 N 5に位置し、82号住居址と重複する。住居の規模は、東西6.72m、南北7.02mの台形を呈し、主軸はN-40°Eを示す。壁は東16.5cm、西27cm、南17cm、北49cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は軟弱である。柱穴で現存するものは6本で、ビット1は深さ53cm、短径33cm、長径48cm、ビット2は深さ32cm、短径34cm、長径35cm、ビット3は深さ46cm、短径63cm、長径65cm、ビット4は深さ41cm、短径66cm、長径72cm、ビット5は深さ61cm、短径71cm、長径73cm、ビット6は深さ47cm、短径46cm、長径48cmである。この柱穴全てが、本住居に伴うものか不明である。貯蔵穴・周溝・炬は検出されなかった。遺物は住居覆土全体から出土しており、遺物には特殊器台、高坏・甕・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

86号住居址 (第69・219・220図)

S T A 522+70 S 3に位置し、63、79、92号住居址等と重複する。住居の規模は、東西5.86m、南北5.66mの台形を呈し、主軸はN-4°Eを示す。壁高は東53cm、西32cm、南45cm、北45cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、支柱穴が2本あり、ビット1は深さ26cm、短径29cm、長径33cm、ビット2は深さ51cm、短径18cm、長径24cm、ビット3は深さ49cm、短径21cm、長径27cm、ビット4は深さ58cm、短径21cm、長径25cm、ビット5は深さ28cm、短径32cm、長径34cm、ビット6は深さ21.5cm、短径22cm、長径26cmである。1と5が支柱穴であろうか。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈の位置は不明である。遺物は、住居覆土全体から出土しており坏・高坏・甕・鉢・甌等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

87号住居址 (第70・221図)

S T A 522+70 S 7に位置し、78号住居址等と重複し、現存する住居の規模は、東西3.5m、

南北1.6mで、主軸はN-20°-Eを示す。壁は西21cm、北25cmの高さがあり、壁面は、やや外傾する。床面は竈周辺が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置していると思われ、東西56cm、南北70cmの規模で、煙道は住居外に30cm張り出す。竈東半分は78号住居址によって切り取られている。竈西袖は長方体の石を芯にして、竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をし、内部より甕が出土している。遺物は竈周辺に集中して出土しており、遺物には坏・甕・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

88号住居址 (第69・221・222図)

S T A 522+50 N 5 に位置し、81号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西1.72m、南北3.74mの長方形を呈し、主軸はN-25°-Wを示す。壁は東12.7cm、南16.6cm、北19cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は1本で、ビット1は深さ23cm、短径30cm、長径31cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は81号住居址に切り取られて不明である。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・壺・甕・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

89号住居址 (第71・222・223図)

S T A 522+55 S 6 に位置し、他の住居址等とは重複しないが、北西側を道路によって切られている。住居の規模は、東西4.56m、南北4.6mの正方形を呈し、主軸はN-115°-Wを示す。壁は東32cm、西37.5cm、南27cm、北31cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の炉の周辺が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴で現存するものは3本主柱で、ビット1は深さ35cm、短径33cm、長径36cm、ビット2は深さ43cm、短径37cm、長径38cm、ビット3は深さ33cm、短径38cm、長径52cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は、住居中央寄りに位置し、東西32cm、南北42cmの規模である。遺物は、住居覆土全体から出土しており、遺物には、坏・高坏・甕・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

90号住居址 (第72・233図)

S T A 522+55 S 7 に位置し、他の住居址等とは重複しないが、南側の大半は調査区域外となっている。現存する住居址の規模は、東西3m、南北1.5mである。壁は東11cm、北13cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は軟弱である。柱穴は1本で、深さ59cm、短径36cm、長径50cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈位置は不明である。遺物は、住居覆土全体から出土しており、高坏・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

91号住居址 (第72・223図)

S T A 522+75 S 7に位置し、64、72、73号住居址等と重複する。住居の規模は、東西6.12m、南北6.83mの方形を呈し、主軸はN-48°-Wを示す。壁は東34cm、西28cm、北36cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは6本あり、ピット1は深さ85cm、短径35cm、長径47cm、ピット2は短径25cm、長径27cm、ピット3は深さ43cm、短径27cm、長径28cm、ピット4は、短径33cm、長径35cm、ピット5は深さ47cm、短径33cm、長径35cm、ピット6は深さ21cm、短径43cm、長径58cmである。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉の位置は不明である。遺物は、住居覆土から出土しており、遺物には坏・高坏・甕・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

92号住居址 (第73・224～226図)

S T A 522+70 S 2に位置し、79、86、93、94、97号住居址等と重複する。住居の規模は、東西5.25m、南北6.1mの長方形を呈し、主軸はN-70°-Wを示す。壁は東26cm、西65.4cm、南57cm、北32cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。住居北壁側は巾80cmの段があり、別住居と重複している可能性もある。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ピットは深さ32cm、直径24cm、ピット2は深さ33cm、短径23cm、長径29cm、ピット3は深さ25cm、短径22cm、長径25cm、ピット4は深さ33cm、短径21cm、長径26cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西82cm、南北96cmの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、遺物には坏・高坏・甕・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

93号住居址 (第74・75・227・228図)

S T A 522+65 S 3に位置し、92号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.82m、南北6.04mの方形を呈し、主軸はN-17°-Wを示す。壁は東57cm、西40cm、南40cm、北46cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。南壁中央部が巾60cm、長さ40cmの方形に突出しており、入口部施設であろうか。床面は、中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱でピット1は深さ54cm、短径31cm、長径32cm、ピット2は深さ44cm、短径30cm、長径36cm、ピット3は深さ47cm、短径22cm、長径23cm、ピット4は深さ31cm、短径24cm、長径28cmである。貯蔵穴は住居南壁中央に位置し、その規模は深さ22cm、東西52cm、南北51cmの円形プランを呈し、断面は舟底形である。この貯蔵穴内には、甕・高坏等の遺物が破片で投げ込まれており(第75図)入口部の埋塞なのか、梯子受穴なのか、検討すべき遺構である。周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西62cm、76cmの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈は焚口両袖部に長方体の石を立て、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甌等がある。これらの遺物から、本住

居は古墳時代後期に置かれる。

94号住居址 (第75・229図)

S T A 522+70S 2に位置し、79、92、97号住居址などと重複する。現存する住居址の規模は、東西3.2m、南北2mで、主軸は不明。壁は東28cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は、住居覆土から出土しており、甌などがある。この遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

95号住居址 (第76・229図)

S T A 522+N 4に位置し、80号住居址と重複する。現存する住居址の規模は、東西3.9m、南北2.2mで主軸は不明。壁は西25m、北23cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は軟弱である。柱穴は1本で、深さ40cm、短径26cm、長径27cmである。炉・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は、住居全体から出土しており、坏・壺・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

96号住居址 (第76・229・230図)

S T A 522+50N 3に位置し、81号住居址などと重複する。住居の規模は、東西5.38m、南北5.5mの方形を呈し、主軸はN-19°-Wを示す。壁は東40cm、南32cm、北31cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は3本で、ビット1は深さ27cm、短径27cm、長径31cm、ビット2は深さ36cm、短径27cm、長径31cm、ビット3は深さ43cm、短径23cm、長径26cmである。ビット1の位置が中央に寄りすぎている。炉・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は、住居覆土から出土しており、高坏・台付甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

97号住居址 (第77・230図)

S T A 522+70N S 1に位置し、92、94、104号住居址などと重複する。住居の規模は東西7m、南北6.18mの長方形を呈し、主軸はN-50°-Eを示す。壁は東16cm、西31cm、南33cm、北38cmの高さがあり、良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。炉は住居中央北東寄りに位置し、東西40cm、南北40cmの規模で、南西側に枕石をもつ。遺物は、住居全体から出土しており、坏・高坏・台付甕・壺等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

98号住居 (第78・231・232図)

S T A 522+95N 3に位置し、4号周溝遺構と重複する。住居の規模は、東西4.81m、南北5.27mの長方形を呈し、主軸はN-13°-Wを示す。壁は東43cm、西36cm、南41cm、北45.7mの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は

4本主柱で、ビット1は深さ36cm、短径29cm、長径33cm、ビット2は深さ42cm、短径31cm、長径37cm、ビット3は深さ33cm、直径33cm、ビット4は深さ33cm、短径26cm、長径27cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.12m、南北1.1mの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は焚口両袖を長方体の石で組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。甕が1個体遺存しており、底部下には石製支脚が立てられている。この位置から、竈は2穴となっていたと思われる。遺物は、住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甌等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

99号住居址 (第79・232・234図)

STA 522+85N2に位置し、103号住居址等と重複する。住居の規模は、東西4.28m、南北4.79mの長方形を呈し、主軸はN-44°-Eを示す。壁は東53cm、西47cm、南39cm、北50cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、支柱穴が1本あり、ビット1は深さ30.4cm、短径27cm、長径35cm、ビット2は深さ20cm、短径22cm、長径28cm、ビット3は深さ8.9cm、短径23cm、長径24cm、ビット4は深さ29cm、短径22cm、長径24cm、ビット5は深さ15cm、短径21cm、長径24cmである。ビット2が支柱穴であろうか。住居東壁に沿って炭化材が残っている。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西1.18cm、南北1.05mの規模で、煙道は住居外に40cm程張り出す。竈は焚口片側を長方体の石で組み、竈本体は粘土で築く石組粘土覆をしている。遺物は住居の南壁側に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

100号住居址 (第80・235・236図)

STA 522+75N2に位置し、103号住居址、4号溝等と重複する。住居の規模は、東西4.55m、南北4.23mの方形を呈し、主軸はN-50°-Eを示す。壁は東49cm、西48cm、南42cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱でビット1は深さ31cm、短径22cm、長径37cm、ビット2は深さ32cm、短径20cm、長径26cm、ビット3は深さ26cm、短径22cm、長径24cm、ビット4は深さ18cm、短径20cm、長径24cmである。炭化材が住居西側に多く残っており、火災を受けた可能性がある。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西72cm、南北83cmの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈は両袖全体と焚口を長方体の石で、焚口天井部の石は前に落ちている。竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甌等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

101号住居址 (第81・236・237図)

STA 521+60N6に位置し、102、119号住居址等と重複する。住居の規模は東西4.55m、南北4.09mの方形を呈し、主軸はN-128°-Eを示す。壁は東16cm、西16cm、南10cm、北23cm

の高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は前面が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴は2本で、ビット1は深さ35cm、短径26cm、長径29cm、ビット2は深さ38cm、短径21cm、長径27cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は東壁南寄りに位置し、東西77cm、南北1.31mの規模で、煙道は住居外に張り出してはいない。竈は全体を長方形の石でコの字形に組み、竈本体は粘土で築き石組粘土覆の構造をしている。遺物は竈の周辺に集中して出土しており、遺物には、灰釉陶器杯・土師質土器杯等がある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

102号住居址（第82・83・237～240図）

S T A 521+60N5に位置し、101、119号住居址等と重複する。住居の規模は、東西6.93m、南北7.05mの方形を呈し、軸はN-62°-Wを示す。壁は東20cm、西13cm、南16cm、北3cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、ビット1は深さ44cm、短径35cm、長径38cm、ビット2は深さ38cm、短径23cm、長径26cm、ビット3は深さ40cm、短径24cm、長径26cm、ビット4は深さ26cm、短径28cm、長径32cmである。貯蔵穴は住居南壁中央に位置し、その規模は深さ55cm、東西1.1m、南北78cmの円形のプランを呈し、断面は逆台形である。周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西1.29m、南北1.02mの規模で、煙道は住居外に張り出してはいない。竈本体は粘土で築き、支脚は石製のものが残っている。遺物は住居の南と北に集中して出土し、杯・高杯・甕・鉢・甔などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

103号住居址（第83・241図）

S T A 522+80N2に位置し、99、100号住居址等と重複する。住居の規模は、東西5.14m、南北5.09mの方形を呈し、軸はN-55°-Eを示す。壁は東39cm、西28cm、南29cm、北30cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本主柱で、支柱穴が1本あり、ビット1は深さ33cm、短径23cm、長径30cm、ビット2は深さ47cm、短径27cm、長径31cm、ビット3は深さ43cm、短径25cm、長径29cm、ビット4は深さ32cm、短径23cm、長径26cm、ビット5は深さ19cm、短径29cm、長径34cmである。ビット5が主柱穴であろうか。貯蔵穴は住居南隅に位置し、その規模は深さ43cm、東西66cm、南北70cmの円形プランを呈し、断面は舟底形である。周溝は検出されなかった。炉は北東側柱穴中央に位置し、東西55cm、南北45cmの規模で焼土が残る。遺物は住居の北側に集中して出土しており、遺物には、杯・高杯・台付甕等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

104号住居址（第84・241・242図）

S T A 522+70N2に位置し、97、105号住居址等と重複する。住居の規模は、東西5.26m、南北4.76mの方形を呈し、軸はN-34°-Eを示す。壁は東43cm、西13cm、南33cm、北33cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は

4本主柱であるが、調査地区外に1本がある。ピット1は深さ23cm、短径24cm、長径25cm、ピット2は深さ37cm、直径25cm、ピット3は深さ29cm、短径24cm、長径26cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東中央に位置し、東西1.12m、南北86cmの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は、円筒土器を使用して築き、竈本体は粘土で構築している。支脚は小円筒土器を使用している。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・甕・鉢・甔等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

105号住居址 (第85・242図)

S T A 522+75 N 2に位置し、104号住居址等と重複する。住居の規模は東西2.72m、南北3.17mの方形を呈し、主軸はN-2°-Wを示す。壁は東27cm、南20cm、北17cmの高さがあり、竈・炉・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は、住居覆土から出土しており、甕等がある。この遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれるであろう。

106号住居址 (第85・242・243図)

S T A 521+45 S 2に位置し、111号住居址等と重複する。住居の規模は、東西4.06m、南北3.43mの方形を呈し、主軸はN-2.5°-Wを示す。壁は西8.3cm、北18cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の前面が良好であるが、周囲は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央寄りに位置し、東西71cm、南北89cmの規模で、煙道は住居外に25cm張り出す。竈は焚口両袖を長方体の石で組み、天井は甕を使用して築いていたと思われる。竈本体は粘土で築く石組み粘土覆の構造をしている。支脚は円柱形土製品を使用している。遺物は住居の北東側に集中して出土しており、坏・甕・鉢・甔等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

107号住居址 (第86・244図)

S T A 251+50 N 6に位置し、120号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西6.24m、南北4.62mの三角形を呈し、主軸はN-21°-Eを示す。壁は東27cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは1本で深さ28cm、短径29cm、長径30cmである。竈・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の南側に集中して出土しており、須恵器坏蓋・坏・甕・鉢・甔等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

108号住居址 (第97・245・246図)

S T A 521+50 N 2に位置し、113、114、130号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西6.83m、南北8.85mの方形を呈し、主軸はN-3°-Eを示す。壁は東20cm、西9.2cm、南6.5cm、北9cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは1本で、深さ35cm、短径31cm、長径32cmである。貯蔵

穴は住居南東に位置し、その規模は深さ42cm、東西94cm、南北1.24mの楕円プランを呈し、断面は舟底形である。遺物は住居の南東側に集中して出土しており、遺物には坏・高坏・甕・鉢・甌・瓶などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代に置かれる。

109号住居址（第86・247図）

S T A 521+45 N 1に位置し、116号住居址等と重複する。住居の規模は東西4.08m、南北4.4mの長方形を呈し、主軸はN-33°-Eを示す。壁は東13cm、西5cm、南4.5cm、北7cmの高さがあり、壁面やや外傾する。尚、南壁中央部が一部分外側に張り出しており、入口部施設と関係するものと思われる。床面は、中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。貯蔵穴と思われる浅いピットが住居南壁中央に位置し、その規模は深さ4cm、東西1.07m、南北92cmの円形プランを呈し、断面は皿形である。これを貯蔵穴とするか、あるいは入口部の何かの施設とするかは今後の検討材料である。柱穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西87cm、南北96cmの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築され、支脚には石を使用している。遺物は住居の北側に多く出土しており、坏・甕・瓶等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

110号住居址（第87・248図）

S T A 521+35 N 2に位置し、123、124、139号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西4.61m、南北4.5mの台形を呈し、主軸はN-30°-Eを示す。壁は東9cm、西3cm、南4cm、北9cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西78cm、南北82cmの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で築いている。遺物は、住居覆土から出土しており、坏・高坏等がある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

111号住居址（第88・248・249図）

S T A 521+50 S 2に位置し、106号住居址等と重複する。現存する住居の規模は、東西7.52m、南北5.72mの方形を呈し、主軸はN-29°-Eを示す。壁は東18cm、西12cm、北27cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが周辺は軟弱である。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東壁中央に位置し、東西1.18m、南北1.6mの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈は破損して旧状をとどめていないが、本来は焚口を長方体の石でコの字形に組み竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしていたものと思われる。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・高坏・甕・鉢・甌等がある。これらの遺物から、本住居は、古墳時代中期に置かれる。

112号住居址（第87・250図）

S T A 521+35 S 2 に位置し、123、125号住居址などと重複する。現存する住居の規模は東西4.98 m、南北3.16 mの方形を呈し、主軸はN-8°-Wを示す。壁は東5 cm、北2.5 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは1本で深さ46 cm、短径87 cm、長径1.05 mである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置していると思われ、東西54 cm、南北0.67 mの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居覆土及び柱穴内から出土しており、遺物には坏・高坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

113号住居址 (第89・250・251図)

S T A 521+50 N 3 に位置し、108号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.81 m、南北3.46 mの方形を呈し、主軸はN-18°-Eを示す。壁は東16 cm、西18 cm、南15 cm、北36 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1 m、南北1.5 mの規模で煙道は住居外に70 cm張り出す。竈は両袖を長方形の石で組み竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしていたと思われる。遺物は住居の北側に集中して出土し、住居覆土全体から出土しており、遺物には坏・高坏・甕・鉢・甎などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代末期～奈良時代に置かれる。

114号住居址 (第90・252・254図)

S T A 521+55 N 3 に位置し、108、130、141、142号住居址などと重複する。住居の規模は東西6.92 mの正方形を呈し、主軸はN-45°-Wを示す。壁は東30 cm、南47 cm、北20 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。南壁の中央やや西寄りが若干半円状に膨らんでおり、入口部に相当するであろうか。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北西壁中央に位置し、東西1 m、南北90 cmの規模で、煙道は住居外に25 cm張り出す。竈は両袖を長方形の石で組み、竈本体は粘土で築く石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、遺物には坏・高坏・甕・壺・鉢・甎などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

115住居址 (第89・255図)

S T A 521+30 N 5 に位置し、127号住居址などと重複する。

住居の規模は東西5.7 m、南北5.26 mの方形を呈し、主軸はN-18°-Wを示す。壁は東4 cm、西2 cm、南3 cm、北2 cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは2本で、ピット1は深さ39 cm、短径20 cm、長径22 cm、ピット2は深さ46 cm、短径21 cm、長径27 cmである。貯蔵穴は住居南西隅に位置し、その規模は深さ16 cm、東西99 cm、南北90 cmの円形プランを呈し、断面は皿形である。周溝は検出されな

った。炉は住居中央北寄りに位置し、東西35cm、南北38cmの規模で南に枕石をもつ。遺物は住居の東側と貯蔵穴内から出土しており、坏・高坏・壺・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

116号住居址 (第91・255・256図)

S T A 521+40 N 2 に位置し、109、110、132、133、135、137～139号住居址などと重複する。住居の規模は、東西7.62m南北7.87mの方形を呈し、主軸はN-26°-Eを示す。壁は東6.7cm、西5.8cm、南2cm、北2cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは3本で、ピット1は深さ66cm、短径42cm、長径45cm、ピット2は深さ55cm、直径38cm、ピット3は深さ31cm、短径31cm、長径35cmである。貯蔵穴は住居南壁中央に位置し、その規模は深さ55cm、東西1.4m、南北1.2mの方形プランを呈し、断面は中心に向かって3段の階段状に落ち込む状態である。周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西0.75m、南北1.5mの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居の全体及び貯蔵穴から出土しており、坏・高坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代中期に置かれる。

117号住居址 (第92・256・257図)

S T A 521+50 N 1 に位置し、135、140号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.46m、南北5.09mの方形を呈し、主軸はN-20°-Wを示す。壁は東13cm、西16cm、南15cm、北6cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴は4本柱で、ピット1は深さ30.6cm、短径32cm、長径33cm、ピット2は深さ39cm、短径32cm、長径35cm、ピット3は深さ24cm、短径35cm、長径36cm、ピット4は深さ32cm、短径38cm、長径39cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西0.63m、南北96cmの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は焚口両袖を長方形の石で組み竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から本住居は古墳時代後期に置かれる。

118号住居址 (第92・258図)

S T A 521+50 N 5 に位置し、126号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.46m、南北3.52mの方形を呈し、主軸はN-114°-Eを示す。壁は東9cm、南9.7cm、北15cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は東壁中央南寄りに位置し、東西35cm、南北30cmの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈は燃焼部奥に石を立て竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居全体から若干出土しており、遺物には坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

119号住居址 (第93・258図)

S T A 521+60N 6 に位置し、101、102号住居址などと重複する。北側は調査地区外となっている。現存する住居の規模は、東西6.88m、南北5.65mの方形を呈し、主軸はN-8°-Eを示す。壁は東9.5cm、西14.5cm、南18cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは3本で、ビット1は深さ21cm、短径17cm、長径22cm、ビット2は深さ23cm、短径20cm、長径22cm、ビット3は深さ21cm、短径19cm、長径21cmである。竈・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居全体から出土しており、坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

120号住居址 (第93・258図)

S T A 521+45N 6 に位置し、107号住居址などと重複する。現存する住居の規模は不明、主軸も明確ではない。壁は東12cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。炉・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、壺・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代前期に置かれる。

121号住居址 (第94・259図)

S T A 521+30N 4 に位置し、122、128号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.68m、南北4.63mの方形を呈し、主軸はN-11°-Eを示す。壁は東12cm、西7.3cm、南6cm、北15cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西53cm、南北60cmの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居の東側に集中して出土しており、坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

122号住居址 (第94・259・260図)

S T A 521+55N 4 に位置し、121号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.4m、南北3.97mの長方形を呈し、主軸はN-12°-Wを示す。壁は東8cm、西4cm、南5cm、北4cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東隅に位置し、東西47cm、南北37cmの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居全体から出土しており、坏・坏蓋・甕・羽釜・瓶子などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

123号住居址 (第95・260・261図)

S T A 521+30N 2 に位置し、110、112、124、125号住居址などと重複する。現存する住居の規模は、東西3.46m、南北5.72mで、主軸は不明。南壁は5.6cmの高さがあり、壁面はや

や外傾する。他は計測できない。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは1本で、深さ8cm、直径45cmである。貯蔵穴は住居北東隅に位置し、その規模は深さ40cm、東西86cm、南北92cmの円形プランを呈し、断面は三角形である。竈・炉・周溝は検出されなかった。遺物は貯蔵穴から集中して出土しており、坏・高坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

124号住居址 (第95・261図)

STA 521+30N2に位置し、123号住居址などと重複する。なお、西側は道路下となって未調査である。住居の規模、主軸は不明。壁高もない。床面は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から若干出土しており、坏などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

125号住居址 (第95・261図)

STA 521+30N1に位置し、112、123、124号住居址などと重複する。大部分が調査地区外となっており、住居の規模は東西1m、南北5.1mが現存する。壁は東9.8cm、南8.2cm、北8cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面の周辺は軟弱である。炉・竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、坏・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

126号住居址 (第95・261図)

STA 521+50N5に位置し、118号住居址などと重複する。現存する住居の規模は、東西5.09m、南北6.24mの方形を呈し、主軸は不明である。壁は東西南北ともに高さがない。床面は中央部が若干良好であるが、周辺は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

127号住居址 (第96図)

STA 521+30N5に位置し、115号住居址などと重複する。住居の規模は、東西2.82m、南北3.06mの方形を呈し、主軸はN-16°-Eを示す。壁は東4.4cm、西7cm、南2cm、北6.3cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物はほとんど出土していない。本住居は平安時代後期に置かれる。

128号住居址 (第96・262図)

STA 521+30N6に位置し、121号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.32m、南北4.53mの長方形を呈し、主軸はN-20°-Eを示す。壁は東9m、南4m、北4.6mの高さ

があり、壁面はやや外傾する。床面は中央部がやや良好であるが、周辺は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は覆土から若干出土しており、甕がある。この遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

129号住居址 (第96・262図)

STA 521+30N6に位置し、134号住居址などと重複する。住居の規模は、東西4.25m、南北3.45mの方形を呈し、主軸はN-29°-Wを示す。壁は東9cm、西8cm、南8cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。なお、住居北側は地区外となっている。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の南側に集中して出土しており、坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

130号住居址 (第97・263図)

STA 521+55N3に位置し、29、108、114号住居址などと重複する。住居の規模は、東西2.65m、南北3.01mの方形を呈し、主軸はN-110°-Eを示す。壁は東6.3cm、西4.8cm、南6cm、北8cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北東隅に位置し、東西0.83m、南北0.81mの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居の南側に集中して出土しており、遺物には坏・甕・瓶などがある。これらの遺物から、本住居は奈良時代に置かれる。

131号住居址 (第98・264・265図)

STA 522+40N5に位置し、126号住居址と重複する。住居の規模は東西5.61m、南北5.45mの方形を呈し、主軸はN-11°-Eを示す。壁は東3cm、南4cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から前面が良好であるが、周辺は軟弱である。貯蔵穴は住居南壁中央西寄りに位置し、その規模は深さ50cm、東西1.2m、南北1mの長方形プランを呈し、断面は逆台形である。柱穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.08m、南北1.48mの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築している。遺物は住居の竈部と貯蔵穴から集中して出土しており、坏・坏蓋・高坏・甕・鉢・瓶などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代中期に置かれる。

132号住居址 (第99・266図)

STA 521+45N3に位置し、116、137号住居址などと重複する。住居の規模は東西5.5m、南北3.54mの長方形を呈し、主軸はN-2°-Eを示す。壁は東6cm、西5cm、南9cm、北10cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部の竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.8m、南北

1.24mの規模で、煙道は住居外に40cm張り出す。竈本体は粘土で構築され、支脚は長方体の石が使用されている。遺物は住居全体から出土しており、坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

133号住居址(第100・266・267図)

S T A 521+40 N 2に位置し、116、139号住居址などと重複する。東西の規模は、東西4.71m、南北3.38mの長方形を呈し、主軸はN-19°-Eを示す。壁は東16cm、西15cm、南23cm、北14cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西1.84m、南北1.06mの規模で、煙道は住居外に張り出さない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居の南側に集中して出土しており、遺物には坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代に置かれる。

134号住居址(第100・267・268図)

S T A 521+30 N 6に位置し、129号住居址と重複する。住居の北側は地区外となっている。現存する住居の規模は、東西2.21m、南北3.76mの方形を呈し、主軸はN-91°-Eを示す。壁は東7cm、南4cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は東壁南寄りに位置し、東西58cm、南北60cmの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居の竈内及び北側に集中して出土しており、遺物には坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

135号住居址(第100・268図)

S T A 521+45 N 2に位置し、116、117号住居址などと重複する。現存住居の規模は、東西1.12m、南北2.67cmの方形を呈し、主軸はN-19°-Eを示す。壁は東11cm、南7cm、北7cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は竈前面がやや良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央東寄りに位置し、東西63cm、南北71cmの規模で、煙道は住居外に張り出していない。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居覆土から出土しており、坏・坏蓋・甕などがある。これらの遺物から、本住居は奈良時代に置かれる。

136号住居址(第99・269図)

S T A 521+40 N 3に位置し、131号住居址と重複する。住居の規模、主軸は不明である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の中央部に集中して出土しており、坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代後期に置かれる。

137号住居址 (第 101・269 図)

STA 521+40N2 に位置し、116、132、138号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.5m、南北3.3mの方形を呈し、主軸はN-13°-Eを示す。壁は東10cm、西8cm、南16cm、北10cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部から竈前面が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西72cm、南北82cmの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈は両袖を長方体の石で組み、竈本体は粘土で築く、石組粘土覆の構造をしている。遺物は住居の北側に集中して出土しており、坏・坏蓋・甕などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代前期に置かれる。

138号住居址 (第 101・270 図)

STA 521+40N2 に位置し、137号住居址と重複する。現存する住居の規模は、東西3m、南北3.3mの方形を呈す。壁は東19cm、南10cm、北7cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部がやや良好である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居の北側から出土しており、遺物には坏・鉢・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

139号住居址 (第 102・270・271 図)

STA 521+35N2 に位置し、110、116、133号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.39m、南北3.78mの方形を呈し、主軸はN-22°-Eを示す。壁高は東23cm、西26cm、南4cm、北22cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴で現存するものは1本で、深さ20cm、短径36cm、長径38cmである。貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西69cm、南北69cmの規模で、煙道は住居外に若干張り出す。竈本体は粘土で構築されている。遺物は住居の北側に多く出土しており、遺物には甕・置竈などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代に置かれる。

140号住居址 (第 102・271 図)

STA 521+50N2 に位置し、29、108、117号住居址などと重複する。住居の規模は不明であり、主軸も不明。東壁は14cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。竈・柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。遺物は住居覆土から出土しており、坏・高坏・甕などがある。これらの遺物から、本住居は古墳時代後期に置かれる。

141号住居址 (第 102・271・272 図)

STA 521+55N3 に位置し、114、142号住居址などと重複する。住居の規模は、東西3.13m、南北2.6cmの方形を呈し、主軸はN-35°-Eを示す。壁は東5.7cm、西3cm、南6cm、北10cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。

柱穴・貯蔵穴・周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西91cm、南北75cmの規模で、煙道は住居外に40cm張り出す。竈本体は粘土で構築し、石製の支脚が立てられている。遺物は住居の北側から出土しており、これらの遺物から本住居は平安時代前期に置かれる。

142号住居址(第103・272図)

S T A 521+55N 4 に位置し、141号住居址と重複する。住居の規模は、東西2.86m、南北2.91mの方形を呈し、主軸はN-25°-Eを示す。壁は東13cm、西8cm、南10cm、北40cmの高さがあり、壁面はやや外傾する。床面は中央部が良好であるが、周辺は軟弱である。柱穴・貯蔵周溝は検出されなかった。竈は北壁中央に位置し、東西62cm、南北1.47mの規模で、煙道は住居外に60cm張り出し、その先端両側には長方体の石が並べられる。竈本体は粘土で構築されている。遺物は竈内に集中して出土し、坏・高坏・甕・鉢などがある。これらの遺物から、本住居は平安時代に置かれる。

第2節 周溝遺構

1号周溝遺構 (第104・273・274図)

S T A 522+90S5、S6、S T A 522+95S5、S6杭を中心部に取り込んで位置し、54・55・48・67・69号住居址と重複する。東西約10m、南北10.5mの不整形円形台状部を取り囲んで、巾1.2m～2.5mの溝が全周する遺構である。周溝はレンズ状の堆積があるが、内部には多量の礫と遺物が投げ込まれており、南側は一部溝が浅くなっている。しかし、方形周溝墓のような土橋ではなく、一応溝は全周すると理解できる。台状部には主体部と思われる遺構は見られない。周溝部から出土した遺物には古墳時代後期の土師器杯・皿・須恵器・甕・手づくね土器・鉢・甌等がある。

又、古墳時代前期の住居址が台状部に残り、古墳時代後期の住居に切られているから、本遺構は古墳時代中頃から後期初頭の間に位置付けられよう。

2号周溝遺構 (第105・275図)

S T A 522+80S4付近に位置し、1号周溝遺構の北西に接する。しかし、1号周溝とは溝を共有せず、溝の巾を減じていることから、1号が古く、2号が新しいと推定できる。中央の台状部は南北10m、東西9.7mの円形を呈し、ほぼ中央に南北1.1m、東西0.8m、深さ25cmの土壌がある。この土壌が本周溝に伴うものかどうかは不明であり、出土遺物はない。溝は北部で巾1.8m、深さ0.5m、西部で巾2m、深さ0.6m、南部で巾2.1m、深さ0.65m、東部で巾1.2m、深さ0.5mであり、レンズ状の堆積が見られる。

本遺構の溝からは須恵器杯蓋・杯・甕・壺・台付甕などが出土しているが、最も古い遺物は古墳時代前期五領式で、新しいものには同時代後期がある。住居の切り合いでは1号と同様に古墳時代前期の住居を切り、後期の住居に切られているので、築造時期は1号遺構とあまり変わらないであろう。

3号周溝遺構 (第106図)

S T A 522+25N6に位置し、北側の大部分が地区外となっている。他の周溝遺構と異なるかもしれないが、方形に溝が巡る可能性があるため、この項に含めた。出土遺物で取り上げるべきものはない。

現存する溝長は、南北3.5m、東西7mで、巾は1.2m～1.5m、深さは20cm～50cmである。

4号周溝遺 (第107・276図)

S T A 522+90N3に位置している方形周溝墓である。規模は1辺8.5mのほぼ方形で、土橋は北隅と西隅の2ヶ所にある。各辺の長さは、北東辺7.6m、南東辺7.6m、南西辺6.5m、北西辺3.8mで、各辺の溝の巾及び深さは、北東で1.6m、深さ50cm、南東1.6m、深さ95cm、南西1.3m、深さ70cm、北西1m、深さ30cmである。溝中からは須恵器高坏脚部及び土師器碗

が出土している。主体部はN-42°-Eを示し、長軸1.1m、短軸0.6m、深さ32cmで、断面形は舟底形である。本遺構の時期は土師器碗から古墳時代中頃と考えられよう。

第3節 溝・水路・柱穴群

1. 1号溝(第108・276図)

4号墳の墳丘裾部西側に位置している。溝はN-50°、Wの方向に伸びており、南端部は巾4.1m、奥行1.8mの張り出しがあるが、溝中は1.5m、長さ10m、深さ30~40cmである。溝中の遺物には、古墳時代中頃の土師器碗と平安時代後期の土師器杯があり、遺構の時期はどちらとも言えない。

2. 2号溝(第108図)

4号墳の北側に位置しているL字形の溝である。長辺7m、短辺4.7mで、溝巾は70cm~1.45m、深さ30~40cmである。遺物は無く、時期不明であるが、恐らく近現代に掘られたものであろう。

3. 3号溝(第109・276図)

4号墳の東側の溝で、ほぼ南北の方向に掘られている。溝の南北の続きは調査地区外、及び未調査地区に含まれ、全体の長さは不明であるが、調査した長さは30m、巾3m、深さ50cmで、溝中には礫が多量に含まれている。出土遺物には古墳時代前期の五領式土器と、平安時代末~中世の土師質土器がある。

4. 4号溝(第109図)

100号住居址の西側で、STA 522+N3に位置する。溝の北西側は道路下に入ってしまうので全長は不明であるが、現存長は5.5m、巾1.3m、深さ35cmである。溝中からは時期判定が可能な土器片は出土しなかった。

5. 5号溝(第109・276~279図)

STA 521+75S7・S8に位置している溝で、一部しか調査ができなかった。溝巾は2~2.5m、深さ20~40cm有り、北側が深くなる。溝中には多量の礫と遺物が含まれており、溝中心部には土器が一行に並んで残っている。出土遺物には古墳時代前期から中期~後期、平安時代末の土師質土器等もあるが、主体は古墳時代前期後半から中頃で、特に土師器甕は特殊なものである。出土遺物には杯・高杯・器台・甕・台付甕・壺などがある。

6. 6号溝 (第110～280図)

5号溝の西側にあつて、S T A 521+70S7付近に位置する。溝と言うには不定形なプランを呈しているが、長軸5.3m、巾1.5～2mである。出土遺物には須恵器甕・古墳時代土師器・有孔土器・高坏・平安時代土師器坏等が出土している。

7. 1号水路 (第100・280～281図)

S T A 522+15N・S1に位置し、ほぼ南北に水路跡がある。姥塚遺跡で最も大規模な水路で、しかも長期間流水があつたものである。溝巾は8～15mもあり、深さ20～50cmである。溝中央部が最も深く、当初は巾10～30cmの砂礫層の流路があり、後に巾が広がつたようである。水路中には礫が多いが礫に混つて土師器が多量に投棄されており、洗場又は祭祀場の要素が考えられよう。出土遺物には古墳時代中頃の筒・壺・坏・後期の坏・甕・須恵器坏・手づくね土器などが多量に出土している。

8. 1号柱穴群 (第111図)

S T A 522+35S1に位置する柱穴群で規則性はない。1号土壌、2号土壌と重複している。

9. 2号堀立柱 (第111図)

S T A 522+35S3に位置しているが、柱穴は7本あり、西側には柱痕が存在しない。遺物址であるか、小屋状の施設であろうか。東西辺は2m、南北辺4mで、1間×3間の建物である。

第4節 土 壌

1. 1号土壌 (第111図)

S T A 522+35S1に位置しており、直径1.5m、深さ35cmの長円形土壌である。土壌中央部に長さ40cm、巾15cmの扁平な石が底面に置かれており、遺物は無い。

2. 2号土壌 (第111図)

S T A 522+35S1に位置し、1号土壌の東に近接する。長軸80cm、短軸55cmの長円形で深さ25cm。遺物は無い。

3. 6号土壌 (第112図)

S T A 522+25S3に位置し、東西方向の長軸2.7m、巾0.85m、深さ35cmである。出土遺物は無い。

4. 7号土壌 (第112図)

S T A 522+30S7に位置し、直径1.25mの円形を呈する。深さ30cmで出土遺物は無い。

5. 10号土壇（第112図）

S T A 521+25 N2に位置し、直径70cm、深さ20cmの隅丸方形土壇で、古墳時代後期の埴及び甕が内部より出土している。

6. 11号土壇（第112図）

S T A 521+40 N2に位置し、137号住居址と重複する。東西1.5 m、南北1.2 mの長方形土壇で、深さは10cmである。土壇中央部に埴及び広口の壺がある。壺は頸部に突帯のある特異なもので、古墳時代中頃に置かれようか。

第5節 出土遺物

各住居及び遺構からの出土土師器及び須恵器、灰釉陶器、土師質土器についての説明は第1表にまとめてあるので、その観察表を参考にしてほしい。又、その他の出土遺物も第5表の住居址出土遺物数一覧表を参考にして、各々の遺物の観察表をあてれば、法量、材質等が分かるようになっている。又、土師器等の編年については後述するが、すでに発表されている編年案を基準として分類したものであり、本遺跡の住居群の重複関係から導き出したものではないので、同一住居に現在含まれているものでも、将来は切り合う別住居に入るものもあるかもしれない。

なお、ここでは特筆すべき遺物について若干述べておきたい。

第291図の紡錘車のうち、4・5は滑石製で刻文が付けられている。4の側面の文様は烏か木葉のようであり、5は鋸歯状文がある。47～49の棒状土製品は甕底部の一部であろうか。第292図19は刀の柄に使用された目釘であろうか、本質部が一部残っている。第293図23は短冊形鉄斧で、古墳時代前期の69号住居址から出土したものである。第298図～301図の編物用石錘は民俗学で『コモ石』と呼ばれるムシロ編の縄を巻く石と考えられる。塩山市西田遺跡をはじめ、二之宮遺跡や本遺跡でも多く出土しており、古墳時代には一般的に使われるようになったものと思われる。

第IV章 古墳

本遺跡範囲及び遺跡の東側に合計4基の古墳が存在する。発掘調査前は2基であると思われたが、結果的に4基となったのは、表土除去結果及び地元の人々の話からである。集落址と古墳群は一部重複するが、STA522+40杭あたりから東にはほとんど住居が存在しないことから、古墳時代中頃から墓域として線引きがされていた可能性がある。

第1節 姥塚無名1号墳(第127図)

STA523+00～523+20、N1～S4の範囲に位置する古墳で、墳丘直径16mの周囲に周溝が巡り、その巾は北側で3.6m、東側4m、南側1.4m、西側3.4mである。南東側には周溝と接して直径2.6mの円形土壇があるが、集水用の土壇として古墳に伴うものであろうか。墳丘は削平されており、ほとんど残っていないが、周溝の墳丘側に多数の礫が残存しており、墳丘を覆っていた葎石が一部残っているものであろう。

主体部の位置は不明であるが、残存墳丘上に礫が集中している地区が北西部にある。長さ8m、巾4.8mの長方形範囲に人頭大礫及び若干の須恵器等があるので、ここが横穴式石室の位置であったかもしれない。入口方位は、N-60°-Wを示しているが、この方向は地区外にある県史跡姥塚古墳の入口方向と対面することになり、他の2・3号墳が南又は南西に開口するの比へ、特異な入口方向を特つものである。このことから、本墳は姥塚古墳を盟主墳とした、関係の強い古墳と言えよう。

本古墳の墳丘上及び周溝部に近世と思われる石組遺構が2基存在する。1号石組遺構は長さ1.1m、巾0.7mの長方形に石を組み、その中に横位屈葬の人骨が1体埋葬されている。2号石組遺構は周溝部南西側にあり、周溝底面より25cm程浮いている。石組は1.4m×1mの長方形に組まれており、石も平面的に敷かれている。

1号墳出土遺物(第311図)には、須恵器杯・杯蓋・土師器杯・碗・高杯及び鎌・刀子等が出土している。これより、本墳は古墳時代後期中頃に位置するのではなかろうか。

第2節 姥塚無名2号墳(第304～306・311・312図)

STA525+5N2あたりが古墳の中心となる。工事や道路の関係で周溝部まで全面発掘することができず、石室部だけの調査となった。この古墳は墳丘の上面が開墾によって削平されていたが、石室下面は残っており、遺存状態の最も良い古墳である。

石室は両袖型横穴式石室で、石室の規模は全長4.55m、玄室長3m、同巾1.7m、袖の出は東側22cm、西側20cmである。羨道は巾1.15m、長さ1.45mで、羨道部全体に閉塞石が詰められている。

石室は地山を20～40cm程掘り下げ、側壁は横口積で、奥壁寄が大型の石を使用し、羨道部側

は比較的小さな石を使用している。奥壁は広口積にして3個の石を横に並べている。羨道部の側壁のうち、西壁は石積が小口積であるが乱雑に積まれている。水管理設の為、破壊されて残存していない。閉塞石の内外面は小口積にしてあり、良好な残存状態を示している。石室の床面は2枚検出されている。上面は20～30cmの礫が玄室西側にだけ敷かれていたが、下面は20～30cmの偏平礫が全面に敷かれている。

遺物は鉄製品、玉類は奥壁側に集中して出土し、これと重複するように人骨も分布している。須恵器や土師器は玄室入口側に多く分布しており、副葬品の置く場所が規制されていたことがうかがえる。なお、古墳前庭部には坏・罍・甕破片などがあり、墓前祭の実施が想定されよう。

出土品には須恵器坏・罍・甕・土師器坏などがあり、金環6個、勾玉10個、管玉6個、棗玉1個、切子玉5個、ガラス玉316個が出土している。鉄製品は直刀3、刀子4、鉄鏃2等が出土している。

第3節 姥塚無名3号墳(第307・308・313・317～319 図)

S T A 524+80 N 6の杭が墳丘中心部に位置するが、この古墳も南側を道路に切られ、西側と北側は畑の区画の為に墳丘裾を切り取られている為、古墳の全体を調査することはできなかった。

墳丘は直径約15～16mの規模であるが、周溝が存在するかどうか不明である。墳丘の裾には葺石が巡り、墓道は特に葺石の残りが良好である。なお、残存している墳丘中段にも部分的に列石が配されているので、かつては全周していたものであろう。墳丘の盛土は50～60cmの厚さで残っており、版築状態が見られる。

石室は奥壁部と東壁が残っているだけで、西壁及び羨道部、袖部は壁石が抜き取られている。石室で特筆すべき点は、奥壁手前に仕切石が並べられており、棺座として使用されたのか、いづれにしても二次的に造られた遺構がある。こうした例は中巨摩郡竜王町竜王新田竜王3号墳や、北巨摩郡双葉町上今井のきつね塚古墳等に見られる。奥壁は3個の石の広口面を並べたもので、東側壁は大小の石を横口で使用し、乱石積にしている。敷石は20～30cmの礫を全面に敷きつめているが、西壁側は一部攪乱を受けている。主軸はN-45°-Eを示している。

出土遺物には土師器赤彩高坏・須恵器罍・提瓶・甕などがあり、特殊なものには鳥形土製品がある。祭祀に使用されたものであろうか。鉄製品は直刀・鏢・刀子・鉄鏃などがあり、それらは石室中央部に分布する。又、金環4個が棺座周辺に分布している。

これらの出土品から本墳は、古墳時代後期中頃に造られたものと思われる。

第4節 姥塚無名4号墳(第309・310・314 図)

S T A 523+35 S 7が墳丘中央にあたる。墳丘は2段に残っており、1mの高さがある。墳丘は直径20.5mの円形で、上段は方形に近い状態で残っている。墳丘中には長さ5m、巾1.8m

の土壌があるが、古墳に伴うものではなく、攪乱坑であると考えている。周溝は北側で5 m、東側で5 m、西側で5 mとはほぼ均一な巾をもち、深さは50cm程度である。周溝中に1号墓壇があり、墳丘上に2号墓壇がある。どちらも近世墓である。周溝内より出土した遺物には須恵器高坏・土師器坏・壺・甕・灰釉陶器があるが、このうち最も古手には古墳時代前期の壺があり、須恵器坏も6世紀前半に含まれるものである。新しい土師質土器も含まれているが、古代の土師器が本墳の年代を決めるものであろう。

横穴式石室を持たないことから本墳は古墳時代中頃より以前に築造されたものであろう。

第 V 章 ま と め

第 1 節 集落の変遷

次節の土器分類によって第10表住居時期一覧表（P 168）を作成した。これを時期別に図示したのが、第322図～326図である。この図を参考にしながら各時代の集落の在り方を概観していきたい。

古墳時代

◦ 前期前半

ほとんどが1号水路より東側と西側に分布しており、水路東側には4軒、西側には3軒である。東群住居中2軒が重複しているので、同時存在は2軒及至3軒と考えられる。従って水路をはさんで、ほぼ同数の住居が存在したのではなかろうか。

◦ 前期後半

水路西側には2軒、東側には10軒となり、東側の住居群が急増する。

◦ 中期前半

水路西側2軒、東側4軒であり、相変わらず東側のグループの勢力が強いことがうかがえよう。

◦ 中期後半

水路の西側で各1軒づつとなり、どちらも小型の住居である。本地区から中心区が移動したのであろう。

◦ 後期第1期

水路東側では2軒が分散して存在するだけで、集落の主体は、水路西側に移ってしまう。水路が流路として利用されていた時代はこのころまでで以降はほとんど埋没して小水路となってしまった。

◦ 後期第2期

水路西側では10軒、東側で3軒があり、前時期の主体部が継続している。

◦ 後期第3期

水路西側で7軒、東側で6軒である。西グループは大型住居と中型住居が混在しているが、

東グループは中型、小型住居が多く、グループの差がありそうである。1号、2号周溝遺構は住居との重複関係から、恐らくこの時期になる前に造られていたものであろう。

・後期第4期

水路西側3軒、東側6軒で、再び東西の数のバランスが崩れ、東グループが勢力を持つ。

・末期第1期

水路西側7軒、東側21軒と急増する。西グループは大型、中型、小型の住居が重複せずに存在するのに対して、東側は大型、中型住居が重複するものが多い。従って、本時期は更に分けられるべきであろうが、東グループの隆盛は頂点に達する。

・末期第2期

水路西側2軒、東側5軒と約4分の1になる。各住居は重複せず、10m以上の間隔をあけて分散している。

・末期第3期

水路西側4軒、東側1軒となり、再び東西の住居数が逆転する。

奈良・平安時代

・I期 水路西側は1軒、東側は0で、東部地域から集落中心が完全に出てしまう。

・II期 住居は1軒も見られない。

・III期 西側に4軒があるが、小型住居でしかも2軒が重複しているので、2時期に分けられる。

・IV期 西側に1軒のみである。

・V期 西側に1軒のみである。

・VI期 西側に1軒のみである。

・VII期 住居はない。

・VIII期 水路西側に3軒あるが、西側の国道137号線沿いに2軒があり、2軒で一単位か。

・IX期 西側に1軒のみである。

・X期 西側に3軒あり、10～20mの間隔が空いて造られている。

・XI期 西側国道寄りに1軒ある。

・XII期 住居はない。

・XIII期 西側に2軒がある。

・XIV期 西側に4軒があり、4軒が5～10m間隔で存在している。恐らく同一時期の集団で、一単位か二単位に分かれるであろう。

・XV期 西側に1軒がみられる。

・XVI期以降 住居地の存在は認められない。

このように時期別の住居群の動きを見ると、水路の東と西で大きくグルーピングができるが、水路東側は、古墳時代末期第1期以降急激に居住地としては利用されなくなる。このことは、1・2・4周溝遺構が造られた時代よりも、後の時代まで住居地として、利用されたものが、この時期以降墓域として規制を受けるようになったものと思われる。

又、奈良・平安時代は水路より西側にだけ住居が見られるが、これらの住居群は二之宮遺跡の住居群変遷とあわせて考える必要があろう。

第2節 出土遺物について

本遺跡の時期分類には、次の文献によった。

- ① 末木、坂本 1984『古墳時代土師器の研究—山梨県』（古墳時代土師器研究会）
 - ② 坂本、末木、堀内 1983『奈良・平安時代土器の諸問題—甲斐地域』（神奈川考古第14号）
 - ③ 坂本 1986『古代末期—中世における在系土器の諸問題—甲斐国』（神奈川考古第21号）
- 特にこの中で、奈良・平安時代の土器編年と古代末期の土器編年の接続は、奈良・平安時代Ⅺ期（10世紀第4四半期）の次には古代末Ⅰ期（10世紀第4四半期）以降を接続させて、時期もⅪ～ⅩⅩ期とした。現在のところ次のように推定しておきたい。

古墳時代

前期前半	（4世紀前半）
前期後半	（4世紀後半）
中期前半	（5世紀前半）
中期後半	（5世紀後半）
後期Ⅰ期	（5世紀末～6世紀初）
後期Ⅱ期	（6世紀第1四半期）
後期Ⅲ期	（6世紀第2、3四半期）
後期Ⅳ期	（6世紀第4四半期）
末期Ⅰ期	（7世紀第1四半期）
末期Ⅱ期	（7世紀第2四半期）
末期Ⅲ期	（7世紀第3、4四半期）

奈良・平安時代

I期	（8世紀第1四半期）
II期	（8世紀第2四半期）
III期	（8世紀第3四半期）
IV期	（8世紀第4四半期）
V期	（8世紀第4四半期後半～9世紀第1四半期前半）
VI期	（9世紀第2四半期）
VII期	（9世紀第3四半期）
VIII期	（9世紀第4四半期）
IX期	（10世紀第1四半期）

X期	(10世紀第2四半期)
XI期	(10世紀第3四半期)
XII期	(10世紀第4四半期前半)
XIII期	(10世紀第4四半期後半)
XIV期	(11世紀第1四半期)
XV期	(11世紀第2四半期)
XVI期	(11世紀第3四半期)
XVII期	(11世紀第4四半期)

各時代の資料は県下各地の出土品を対象として分類、編年したものであるので、本遺跡と整合するかどうか分らないが、大過ないと思われる。

おわりに

発掘調査を行ってからすでに6年の歳月が過ぎた。それ程に大規模な遺跡を1年半程の日程で調査したことへの反省もあるが、それ以上に長時間をかけて整理、報告書作成作業ができたことは大きな喜びである。

中央道に關係する遺跡の発掘調査は1965年の大月市宮谷遺跡に始まるが、本格的には1972年の小沢沢町中原遺跡であり、以後1981年の調査終了まで数多くの遺跡を発掘し、報告することができた。特に1979年から1981年までの間の本遺跡を始めとし二之宮遺跡・釈迦堂遺跡などは、全国的にも注目される成果をあげることが出来たことは、本県の原始・古代文化を知る上で大変な成果と言わなければならない。

これらの報告書は調査された事実と、若干の考察を記述してあるだけなので、一般には分りにくいと思われるが、今後はこの報告書を基に、原始・古代の甲斐の様相を歴史叙述できるよう深めていきたいし、更に、関東中部の文化的特徴を結びつけて、広域的に活用できるよう、資料的価値を高めるのも仕事であろう。

姥塚遺跡は、全国的にも巨大な石室を姥塚古墳築造に關係した集落というだけでなく、奈良、平安時代の国衙とも近接していることで注目されている遺跡である。墨書土器が少ない点や、跨帯具などが少ないこと、又、古墳からは馬具が出土しないなど、幾つかの問題点が明らかになったので、今から地域研究が始まるのだと思う。

本発掘調査及び整理作業については委託者である道路公団東京第二建設局をはじめ、県土木部用地課、道路建設課、御坂町教育委員会並びに地元井之上・二之宮区には御世話になった。深甚なる謝意を表します。

第1表 住居址他出土土器観察表

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
2 号 住居址 1	土師	(口)13.1 (高)3.6 (底)6.5	(外)ヘラケズリ	(外)	(胎)緻密赤色粒子含む (焼)良好 (色)茶色	P-6
	杯		(内)	(内)		
2	土師	12.3	ヘラケズリ後ミガキ		緻密赤色粒子含む	P-2
	杯	4.7	ミガキ		良好 茶褐色	
3	土師	12.3	ヘラケズリ後ミガキ		緻密赤色粒子含む	P-4
	杯	4.65	ミガキ		良好 茶褐色	
4	土師	12.6	ヘラケズリ後ミガキ		緻密赤色粒子含む	P-2
	杯	4.2	ミガキ		良好 茶褐色	
5	土師	15.1	ハケ目		砂粒子含む	P-10
	壺	24 7.3	ハケ目	ヘラケズリ	良好 茶色	
6	土師	22.8	ハケ目		緻密赤色粒子含む	P-1、カマド 内
7	土師	13	ヘラケズリ		良好	P-19、カマ ド内
	甕		ハケ目		雲母少量含む 良好 暗褐色	
8	土師	19.8	ケズリ		石英赤色粒子含む	P-15
	甕		ハケ目		良好 暗褐色	
3 号 住居址 1	土師	12	ヘラミガキ		緻密	P-63
	杯	3.6	ヘラミガキ		良好 褐色	
2	土師	12.3	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密	P-93
	杯	4.5			良好 暗褐色(底部黒色)	
3	土師	12.2	ヘラミガキ		緻密	P-111
	杯	3.9	ヘラミガキ		良好 褐色 焼むらあり	
4	土師	14.2	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子、雲母少量含む)	P-103
	杯		ヘラミガキ		良好 黄褐色(内面黒色)	
5	土師	10.8	ヘラミガキ			P-11
	杯		ヘラミガキ		暗褐色	
6	土師	14	ヘラケズリ		緻密	P-99
	杯		ヘラミガキ		良好 赤褐色(焼むらあり)	
7	土師	13.7	ヘラミガキ		緻密	P-74
	杯		ヘラミガキ		良好 褐色(焼むらあり)	
8	土師	12	ヘラミガキ		緻密	P-119
	杯	3.6	ヘラミガキ		良好 暗褐色	
9	土師	11.7	ヘラケズリ後ヘラミガキ		密	P-97
	杯	3.6	ヘラミガキ		良好 暗褐色	
10	土師	15 6.1	ヘラケズリ		粗い 良好 茶色	P-113

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
11	土師 高坏	(口)15.6 (高)11.8 (底)11.8	(外)ヘラケズリ後ヘラミ ガキ (内)指頭痕跡	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)黒色	P-78
12	土師 坏	11.5	ヘラミガキ 全面ヘラミガキ		緻密 良好 褐色(焼むらあり)	P-25
13	土師 高坏		ヘラケズリ、ヨコハケ 指頭痕跡、ヨコハケ		緻密赤色粒子含む 良好 茶色	P-110
14	土師 高坏	10.8 7.5 8.5	ヘラケズリ 指頭痕		緻密 良好 暗褐色黒色	P-104
15	土師 壺	13.9 21 7.6	ヘラケズリ		粗い砂粒含む 良好焼むらあり 赤褐色	P-126
16	土師 甕	22.2	ヘラケズリ		粗い 良好 暗褐色焼むらあり	P-57
17	土師 甕	17.8	ヘラケズリ		良好 茶色	P-85
18	土師 甕底部	7.5	ヘラケズリ ヘラケズリ	金ヘラケズリ	密 良好 赤褐色焼むらあり	P-80
19	土師 甕底部	9.3	ヘラケズリ	ヘラケズリ	粗い 良好 赤褐色	P-114
20	土師	8.3	ヘラケズリ		粗い部分的に剥落している 良好 赤褐色	P-102
21	土師 小鉢	4.7	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-22
22	土師 甕底部	8.5	ヘラケズリ ハケ目	金ヘラケズリ	やや粗い 良好 外面、暗褐色、内面、褐色	P-100
23	土師 甕	9.5	ヘラケズリ ハケ目	ヘラケズリ	粗い 良好	P-121
24	土師 甕	30.9 29.9 7.8	ハケ目 ハケ目		長石、石英粒を少量含む 良好 茶色	P-106
25	土師 甕	35.4	ハケ目 ヘラナデ不鮮明		粗い 良好 赤褐色内面黒い焼むら	P-122
26	土師 甕	18.4 30 5.5	ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	P-128
27	土師 甕	19.6 28.4 5.8	ミガキ、ケズリ	金ヘラケズリ ヘラケズリ	やや粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色焼むらあり	P-121
28	土師 甕	16	ヘラケズリ		赤色粒子雲母少量含む 良好 暗褐色	P-129
29	土師 甕底部	6.5	ヘラケズリ ハケ目	木葉痕 ヘラケズリ	やや粗い 良好 赤褐色	P-70

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
30	土師 甕	(口)18.6 (高) (底)	(外)ハケ目 (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い (焼)良好 (色)赤褐色	P-120
31	土師 甕	7.5	ヘラケズリ ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	P-88
32	土師 甕底部		ヘラケズリ不鮮明 ヘラケズリ不鮮明	木葉痕	緻密 良好 茶褐色スス付着	P-118
33	土師	7.2	ヘラケズリ	ヘラケズリ	粗い 良好 赤褐色	P-105
34	土師 甕	16.8 29.3 6	ハケ目 ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-123
35	土師 甕	19 33.8 5.2	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		粗い 良好 褐色(焼むらあり)	P-102
36	土師 甕	20.7 27 8	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 褐色	P-88
37	土師 甕	17.8	ハケ目 ハケ目		赤色粒子含む 良好 褐色	P-37
38	土師 甕底部	6.4	ハケ目	木葉痕	粗い 良好 赤褐色	P-107
39	土師 瓶	19.6 21.9 10.2	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		緻密 良好 赤褐色	P-130
40	土師 甕	19.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 赤褐色	P-95
41	土師 小型甕	13.5 13	ヘラケズリ ヘラケズリ		白色粒子含む 良好 赤褐色	P-83
42	土師 小型甕	14 12.5 6.7	ヘラケズリ不鮮明	全ヘラケズリ	粗い 良好 赤褐色(焼むらあり)	P-112
43	土師 小鉢	9.4			緻密 良好 暗褐色	P-22
44	はじ 台付鉢	11.5 15.5 10.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-120
5号 住居址 1	土師 杯	12.2 5.1 6.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	
6号 住居址 1	土師 杯	12.6	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 黒褐色	P-21
2	土師 杯	12.6	ヘラケズリ後ナデ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 黒褐色	P-11

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
3	土師 杯	(口)13.8 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)内、外面丹塗り	P-60
4	土師 杯	15.85	ヘラケズリ不鮮明		緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-27
5	土師 杯	13.2			緻密 良好 赤褐色	P-53
6	土師 小型壺	8.4	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-8
7号 住居址 1	土師 杯	11.2 3.7	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色(内面黒色)	P-151
	土師 杯	14 3.2	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色(焼むらあり)	P-127
2	土師 杯	10.7 3.1	ヘラミガキ		緻密 良好 白褐色(内面黒彩)	P-141
	土師 杯	13.2 3.4	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-148
3	土師 杯	12.8 3.2	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 黒褐色	P-96
	土師 壺	21.8	ハケ目		良好 暗褐色(焼むらあり)	P-110
4	土師 壺	28	ハケ目		やや粗い(石英含む) 良好 黄褐色	P-15
	土師 壺	8.8 10.2 6.2	ハケ目		粗い 良好 暗褐色	P-150
5	土師 壺	14 16.8 6.5	ヘラケズリ		粗い(砂粒子、石英含む) 良好 赤褐色	P-152
	土師 甗	25.8	ハケ目		密 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-149
8号 住居址 1	須恵器 杯	11 4.9	ロクロ水引き		緻密 良好 灰色	P-94
	土師 杯	13.2 4.6	ヘラケズリ		ヘラケズリ 緻密(砂粒少量含む) 良好 丹塗り	P-95
2	土師 杯	13.4 4.8	ヘラケズリ		緻密 良好 明赤褐色	P-88
	土師 杯	13 44	ヘラケズリ ミガキ		緻密 良好 明褐色	P-89
3	土師 杯	12.3 4.6	ヘラによる裏方向のミガキ		ヘラケズリ 緻密 良好 外面、褐色、内面、黒色	P-127

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
6	土師 杯	(口)13.4 (高)4.2 (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密(砂粒を含まず) (焼)良好 (色)黄色褐色	P-109
7	土師 杯	14 4.65	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 明赤褐色	P-105
8	土師 杯	13.8	ヘラケズリ後ヘラミガキ ヘラミガキ		密(砂粒含む) 良好 褐色	P-14 内、外面 朱 彩
9	土師 杯	13.5	ヘラケズリ後ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-118
10	土師 杯	12	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(砂粒を含まず) 良好 内外面とも黄褐色	P-116
11	土師 杯	12.5 4.5	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密(砂粒を含まず) 良好 内外面とも黄褐色	P-93
12	土師 杯	10 3.45 4.4		複数の彫刻	緻密(砂粒を少量含む) 良好 茶褐色	P-91
13	土師 甕	20.1	ヘラケズリ ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密(金雲母、赤色粘土含む) 良好 黄褐色	P-101
14	土師 甕	15.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密(石英、長石粒を多く含む) 良好 暗褐色(焼むら)	P-99
15	土師 甕	18.0	ハケ目 ハケ目		緻密(石英、長石粒を少量含む) 良好 黄褐色	P-103
16	土師 甕	14.4	ヘラケズリ		緻密(金雲母含む) 良好 黄褐色	P-101
17	土師 甕	18.9 32.3	ハケ目 ハケ目	ハケ目、ヘラ ケズリ	緻密(金雲母、長石を含む)	P-100
18	土師 甕	15.9	ハケ目 ハケ目		緻密(金雲母、長石を含む) 良好 茶褐色	P-99
19	土師 甕	18	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 茶褐色	P-48
20	土師 甕	6.0	ハケ目 ハケ目	ハケ目 ヘラケズリ	茶褐色	P-36
21	土師 小型甕	12.2			緻密(砂粒子、雲母少量含む) 良好 黄褐色	P-119
22	土師 甕	18.4	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 茶褐色	P-110
23	土師 甕	7.8	ヘラケズリ		緻密(全体に雲母含む) やや粗い 茶褐色	P-101
24	土師 瓶	16.6	ヘラケズリ	ヘラケズリ	石英長石粒を多く含む軟弱	P-96

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
25	土師 甌	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラナデ	(外) (内)	(胎)黄赤(内外面1-2mm大粒石含む) (焼)良好 (色)黄褐色	P-93
26	土師 壺				緻密 良好 明茶褐色	P-90
27	土師 手捏	3.6		指頭痕	緻密 良好 茶褐色	P-104
9号 住居址 1	土師 杯	11.1 3.25 5.6	ロクロ水引き	同底未切り	緻密 良好 赤褐色	P-6
2	土師 杯	10.6 2.6 4.8	ロクロ水引き	同底未切り	緻密 良好 赤褐色	P-9
3	土師 杯	12.3 3.2 5.4		同底未切り		
4	土師 高台台杯	11.0 5.0 6.3				P-91
10号 住居址 1	土師 杯	12.2 4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 丹塗り	P-4
2	土師 杯	13.6 4.85	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	フク土
3	土師 杯	13.4	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	
4	土師 高台上部	12.8	ヘラケズリ不鮮明 ヘラミガキ		緻密(赤色粒子少量含む) 良好 茶褐色	フク土
5	土師 甕	16.7 30.6 7.7	ハケ後ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 暗褐色(焼むらあり)	P-5
6	土師 甕の口縁	15.4			赤色粒子含む 良好 褐色	フク土
7	土師 甕	16.2			赤色粒子、白色粒子含む 良好 赤褐色	フク土
8	土師 甕	19.6	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色(焼むらあり)	
9	須恵器 小型壺				灰石か、石葉か、白色粒子混合 良好 灰色	P-2
12号 住居址 1	土師 器台	10.7	ヘラケズリ 放射状ヘラミガキ	ハケ目	密 良好 褐色	
2	土師 甕	9.5	ハケ目	木葉痕	やや粗い 良好 暗褐色	P-4

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
13 号 住居址 1	土師	(口)13.5 (高)3.5	(外)ヘラミガキ	(外)ヘラケズリ	(胎)緻密(砂粒子、赤色粒子含む) (焼)良好 (色)暗褐色	P-1
	杯	(底)	(内)ヘラミガキ	(内)		
2	土師	13.5	ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-123
	杯					
3	土師	13.3	ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-159
	杯					
4	土師	12.8 3.55	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	P-4
	杯					
5	土師	12.0	ヘラケズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-35
	杯		ヘラミガキ			
6	土師	14.2	ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-105
	杯					
7	土師	12.8	ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	P-85
	杯					
8	土師	11.6	ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	フク土
	杯					
9	土師	12.6	ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 暗褐色	P-2
	杯					
10	土師	13.4	ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色(赤色粒子少量含む)	P-80
	杯					
11	土師	12.2 3.5	ヘラミガキ	ヘラケズリ後	緻密 良好 黄褐色	P-3
	杯			ヘラミガキ		
12	土師	11.6	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-84
	杯					
13	土師	9.4	ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-4
	高杯					
14		23.6				P-48
	高杯					
15	壺					
16	土師	16 6.5	ヘラケズリ ミガキ	ヘラケズリ ヘラケズリ	粗い(1.5m/n粒子含む) 良好 茶褐色	P-21
	小型甕					
17						
18	土師	14.8	ハケ目		やや粗い 良好 赤褐色	P-94
	甕の口縁		ハケ目			
19	土師	5.8	ハケ目	木葉痕	粗い(赤色粒子、石英含む) 良好 茶褐色	P-110
	甕の底部		ハケ目			

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
20	甕	(口)31.0 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎) (焼) (色)	P-9
21	瓶	14.6	ヘラケズリ			P-16
14号 住居址 1	土師 杯	12.6 4			緻密(赤色粒子含む) 良好 赤褐色	P-5
	土師 手漕	3.1 3	指頭痕		緻密 良好 茶褐色	P-25
3	土師 手漕	8.3 4.6 4.4	ハケ目		緻密 良好 赤褐色(焼むらあり)	P-7
	土師 壺	17.2			緻密(赤色粒子含む) 良好 黄褐色	P-16
5	土師 甕		ケズリ後ナデ不明 横ヘラナデ	底ナデ不明	やや粗い 良好 茶褐色	P-5
	土師 壺	12.6	ヘラケズリ ヘラナデ		緻密(赤色・黒色・石灰雲母含む) 良好 暗褐色(焼むら)	P-22
7	土師 甕の底部	8.6			粗い 良好 黄褐色	P-28
	土師 壺	7.6	ヘラケズリ ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 黄褐色	P-10
15号 住居址 1	土師 杯	14	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-5
	土師 杯	18.7	放射状のヘラミガキ 放射状のヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-4
3	土師 甕の口縁	15.2	ハケ目		やや粗い 良好 褐色	
	土師 甕の口縁	20.4				
5	土師 甕の底部	6.2	ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-3
	土師 甕の底部	11.2		ヘラケズリ ハケ目	粗い 良好 赤褐色	
16号 住居址 1	灰釉 高台付壺	15.2 6.7 7.5			緻密 良好 灰白色	P-3
	土師 杯	12.5 3.5 5.6		底ナデ不明	やや粗い 良好 褐色	
	土師 釜	14.0	ヨコナデ ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	P-1

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
17 号 住居址 1	土師 杯	(口)12.2 (高) 3.3 (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)赤色粒子含む (焼)良好 (色)明茶褐色	P-28
	土師 杯	13			緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-41
3	土師 杯	12.3 3.3 6	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色(焼むらあり)	P-21
	土師 杯	12.2	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-22
5	土師 壺	14.6	ヘラケズリ		緻密 良好 明茶褐色	P-33
	土師 壺	19.7 21 7.5	ハケ目、ヘラケズリ ヘラケズリ、輪積み		緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-1
7	土師 壺	14.3 15.6 6.7	ハケ目、ヘラケズリ	木葉痕	白色粒子含む 良好 褐色	P-2
	土師 瓶	15.3 14 3.5	ヘラケズリ		密 良好 内外面とも黄褐色	P-3
18 号 住居址 1	土師 甕	14.4 15.9 5.2		ヘラケズリ	やや粗い 良好 褐色	P-30 S21+73N2
	土師 甕	23.2 22.9 8.6	ハケ目、ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-33 S21+73N2
19 号 住居址 1	土師 須恵 杯	12	回転ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-5
	土師 杯	13.4		ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	
3	土師 杯	11.9	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 明赤褐色	P-27
	土師 杯	10.1 4.4	ミガキ後、ヘラケズリ		緻密 良好 黒色	P-52
5	土師 杯	11.9 4.6	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-56
	土師 杯	12.7		ヘラケズリ 黒曜石片	緻密 良好 明褐色	P-57
7	土師 杯	14	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 褐色	P-41
	土師 杯	14.1	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 明褐色	
9	土師 杯	13.6	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密(砂粒子、赤色粒子含む) 良好 明褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
10	土師 杯	(口)12 (高) (底)	(外)	(外)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)暗褐色	
11	土師 杯	12.2 4.8	ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-51
12	土師 杯	12.1 4.8	ヘラケズリ皿・ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-1
13	土師 杯	12.1 3.6	ヘラケズリ皿・ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	P-49
14	土師 杯	12.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 明茶褐色	P-10
15	土師 皿	12.7	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-19
16	土師 杯	19.1	ヘラケズリ皿・ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-35
17	土師 高付の杯	19.1	ヘラケズリ		緻密 緻密	P-23
18	土師 甕	16.5	ヘラケズリ不鮮明		良好 暗褐色	P-43
19	土師 甕	15.5	ヘラケズリ ハケ目不鮮明		やや粗い(赤色粒子含む) 良好	P-58
20	土師 甕の底部	7.8	ヘラケズリ		やや粗い(赤色粒子、砂粒子含む) 良好 褐色	P-58
21	土師 甕	15.2	ヘラケズリ ハケ目		緻密 良好 茶褐色	P-27
22	土師 甕	18.6	ハケ目 ハケ目		緻密 良好 暗褐色	
23	土師 壺の底部	8	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い(砂粒子含む) 良好 褐色	P-18
24	土師 甕	18	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-13
25	土師 甕	17.1	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色(スス付着)	P-58
26	土師 甕の底部	6	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 黄褐色	P-36

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
20 号 住居址 1	土師 杯	(口)14.1 (高)4.4 (底)6	(外)ヘラミガキ (内)ヘラミガキ	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密(赤色粒子含む) (焼)良好 (色)暗褐色(焼むらあり)	P-2
	2	土師 杯	12.5 4.1 3.5	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む) 良好 褐色(焼むらあり)
3	土師 杯	13 3.6 5	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	
	4	土師 碗	16.4 8.9	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 黒褐色
5	土師	19.4	ヘラケズリ不詳明		白色、赤色粒子含む 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-3
	妻の口縁 土師	5.15	ヘラケズリ		赤色粒子含む 良好 赤褐色	P-5
21 号 住居址 1	須恵器 杯	15.3			緻密 良好 灰白色	
	2	土師	24.3	ハケ目	やや粗い(砂粒子、石英、 黒色粒子含む)	良好 暗赤褐色
22 号 住居址 1	土師 高杯	9	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	
	2	土師		ハケ目	緻密 良好 茶褐色	
3	土師	9.5	ハケ目		緻密 良好 黄褐色	
	妻の口縁 台付甕の口		ハケ目		緻密 良好 黄褐色	
4	土師	9.3	ハケ目		緻密 良好 暗褐色	
	台付甕		ハケ目			
23 号 住居址 1	土師 杯	12.8	ヘラケズリ		密 良好 丹塗り	
	2	土師	14.4	ヘラミガキ、ヘラケズリ		密 良好 暗褐色
3	土師 杯	11.8 3.9	ヘラケズリ後、ヘラミガキ		密 良好 黄褐色	P-10
	4	土師	13	ヘラケズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 褐色(焼むらあり)
5	土師 杯	15	ヘラミガキ		密 良好 黄褐色	
	6	土師	10	ヘラミガキ		密 良好 黄褐色
7	土師	24	ヘラミガキ		密 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-11
	鉢		ヘラミガキ			

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
8	土師 甕	(口)20 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ハケ目	(外) (内)	(胎)粗い(砂粒子含む) (焼) (色)	P-4
9	土師 甕	17.3			やや粗い 良好 赤褐色(焼むらあり)	
10	土師 甕	15	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い(砂粒子含む) 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-8
11	土師 甕の底部	9.2	指頭痕		赤褐色	P-9
12	土師 甕	19.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		粗い(砂粒子含む) 良好 黄褐色	P-7
13	土師 壺	9.3	ハケ目 ハケ目	木葉痕		P-13
14	土師 鉢	12.4 9.9 6.5	ヘラケズリ 部分的にスス付着	木葉痕	白色砂子,小礫を多量に含み粗い	P-1
24号 住居址 1	土師 ハ	15.2 4.2	ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(砂粒子含む) 良好 丹塗り	P-1
2	土師 ハ	14.5	ヘラケズリ		緻密(砂粒子含む) 良好 丹塗り	
3	土師 ハ	17			緻密 良好 明赤褐色	
4	土師 ハ	17.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	
5	土師 ハ	18.7	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	
6	土師 ハ	12.4	ヘラケズリ		緻密 良好 赤茶褐色	
7	土師 ハ	16.8	ヘラケズリ		緻密 良好 丹塗り	
8	土師 ハ	16.3	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-4
9	土師 ハ	15.3			緻密 良好 茶褐色	
10	土師 甕の口縁	16.9	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 暗褐色	
11	土師 甕の口縁	24.6	ヘラケズリ不鮮明 ハケ目不鮮明		緻密(砂粒子,石英含む) 良好 褐色	
12	土師 甕の底部	10.6	ヘラケズリ不鮮明		緻密 良好 黄褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
13	土師 甕の口部	(口)23.7 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	
25号 住居址 1	土師 杯				丹塗り	P-4
2	土師 杯	11.7 4	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 茶褐色	P-8
	土師 杯	12.1 4.7	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 茶褐色	P-9
4	土師 杯	12 4.7		ヘラズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-10
	土師 杯	12.1 4.3	ヘラズリ後、ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-26
6	土師 杯	11 4.4	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-17
	土師 壺	13.2 7.6 5.1	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-7
8	土師	25			やや粗い(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	
9	土師 壺		ヘラケズリ ヘラナデ		やや粗い 良好 褐色	P-2
	土師 甕		ハケ目、不鮮明	木葉痕	粗い 良好 茶褐色(赤色粒子含む)	P-1
11	土師 甕	19.2	ヘラケズリ不鮮明		粗い(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	P-4
	土師 器台	8.6	ハケ後、ミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-2
26号 住居址 1	土師 器台		脚部に孔があり		良好 褐色	
	土師 罎	16.0 15.45			良好 褐色	P-1
4	土師 甕の口縁	24.8	口唇部に筋文線あり		良好 丹塗り	P-54
	土師 壺	18	ハケ後ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-1
6	土師 小型壺	9.2	ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-11
	土師 小型壺	9.6	ヘラズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-4

番 号	器 種	法 量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
8	土師 台付甕	(口)11.8 (高) (底)	(外)ハケ目 (内)ハケ目	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)暗褐色	
9	甕	20.4	ハケ目		茶褐色	
10	甕	18.0	ハケ目		茶褐色	
11	甕	20.4	ハケ目		茶褐色	
12		12.4	ハケ目		茶褐色	
13		10.6	ハケ目		茶褐色	
27号 住居址 1	土師	12.9	ヘラミガキ	ヘラズリ	赤色粒子含む	P-1
	坯	4.3 4	ヘラミガキ		良好 黒褐色	
2	土師	13.2		ヘラズリ	緻密(赤色粒子含む)	P-9
	坯	4.25 6			良好 褐色	
3	土師	12.65		ヘラズリ	緻密(赤色粒子含む)	P-5
	坯	3.75 4			良好 黒褐色	
4	土師 壺	13	ヘラナデ		小石を多数に含むザラツキ 良好 褐色	P-19
5	土師 甕	15.6	ヘラズリ不鮮明		赤色粒子含む 良好 褐色	
6	土師 壺	7.5	ハケ目	ハケ目	白色粒子含む 良好 褐色	P-20
7	土師		ハケ目、ヘラズリ		良好	P-16
	甕		ハケ目		褐色	
8	土師	8.8	ハケ目	ヘラナデ	緻密	P-3
		6.5			良好	
	小鉢	6.7	ヘラナデ	黒色ハケ目	茶褐色	
9	土師 甕底部		ハケ目	ハケ目	緻密 良好 褐色	P-4
10	土師	15.75	ヘラズリ		赤色粒子含む	P-7
	瓶	10.9	ヘラズリ		良好 褐色(焼むらあり)	
28号 住居址 1	灰釉 台付坯	7.4			緻密 良好	
	土師 台付坯	11.2 3.9 5.8			やや粗い(透明な石含む) 良好	P-5
3	土師 台付坯	8.6			やや粗い 良好 褐色	P-1

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
4	土師 杯	(口)12.6 (高)4.3 (底)5.6	(外) (内)	(外)縦縞 (内)	(胎)やや粗い(赤色粒子含む) (焼)良好 (色)	P-2
5	土師 杯	13.7 3.6 5.5		縦縞	密 良好 (外)茶褐色。(内)黒色	
6	土師 甕	10.8	ヘラケズリ		やや粗い(白色粒子含む) 良好 暗褐色	P-4
7	土師	29.6	ハケ目		やや粗い 良好 褐色	
29号 住居址 1	須恵器 杯	14.1 3.5.	水びき		白色鉱物微粒子若干含む 良好 青灰色	P-1
2	須恵器 杯	14.6 4.0 8.4	ロクロ横ナデ		良好 青灰色	P-8
3	須恵器 杯	17.2 6.5 9.	ロクロ横ナデ ロクロ横ナデ		白色粒子若干含む 良好 青灰色	P-2
4	須恵器 杯	18.1 6.6	ロクロ横ナデ ロクロ横ナデ		白色粒子若干含む 良好 灰褐色	P-15
5	土師 杯	19.1			緻密 良好 茶褐色	
6	土師 杯	11.65	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-11
7	土師 杯	12.4 3.9	ロクロ横ナデ ロクロ横ナデ		良好 茶褐色	P-10
8	土師 甕	25.4 29.7 7.5	ハケ目 ハケ目、ヘラケズリ	木葉模	白色鉱物粒多量に含む 良好 暗褐色	P-1
30号 住居址 1	土師 高杯	9.4 8.1 12.9			やや粗い(赤色粒子含む) 良好 黄褐色	P-1
2	土師 高杯	19.8 11.6	ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-27
3	土師 高杯の台	12			緻密 良好 黄褐色	P-19
4	土師 高杯の脚	11.5	ハケ目 ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-7
5	土師 埴	10	ヘラミガキ ヘラケズリ	ヘラミガキ	緻密 良好 黄褐色	P-1
6	土師 杯	15.5			やや粗い 良好 赤褐色	
7	土師 壺	15.5	ヘラミガキ 指頭押え		緻密 良好 黄褐色	P-38

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
8	土師 壺	(口) (高) (底)7.4	(外)ツズリ流ミガキ不明 (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)茶褐色	P-4
9	土師 壺		ヘラケズリ、ハケ目		やや粗い 良好 赤褐色	P-10
10	土師 甕	17.8	ハケ目		緻密(全体に黒雲母含む) 良好 茶褐色	P-37
11	土師 壺口縁	14	ハケ目 ヘラケズリ		赤色粒子含む 良好 赤褐色	P-36
12	土師 台付甕	14.5	ハケ目		金雲母含む 良好 暗褐色	P-2
13	土師 台付甕	13.1	ハケ目		やや粗い(金雲母含む) 良好 黒褐色	P-24
14	土師 甕の口縁	13	ハケ目 ハケ目		やや粗い(砂粒子含む) 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-4
15	土師 甕の口縁	16.6	ハケ目		赤色粒子含む 良好 茶褐色	P-28
16	土師 甕の口縁	14	ハケ目 ヘラケズリ		赤色粒子含む 良好 暗褐色	P-27
17	土師 甕の口縁	13.2	ハケ目 ハケ目		やや粗い(砂粒子、石英含む) 良好 赤黄褐色	P-36
18	土師 甕の口縁	13.6	ハケ目 ハケ目		やや粗い(砂粒子、石英含む) 良好 白赤褐色	P-13
19	土師 甕の口縁	11.8	ハケ目 ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-4
20	土師 甕の口縁	12.3	ハケ目		やや粗い 良好 暗茶褐色	P-4、P-43、P-27
21	土師 台付甕の台	8.4	ハケ目	ハケ目	やや粗い 良好 赤黄褐色	P-25
22	土師 台付甕の台	7.8			やや粗い(砂粒子、石英含む) 良好 黄褐色	P-27
23	土師 台付甕の台	10	ハケ目		粗い 良好 暗褐色	P-39
24	土師 台付甕の台	8.6	ハケ目		やや粗い 良好 白褐色	P-27

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
31 号 住居址 1	土師 皿	(口)15.5 (高)2.2 (底)6	(外)回転ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密(赤色粒子含む) (焼)良好 (色)褐色	P-5
	土師 杯	5.2	ヘラケズリ不鮮明	ヘラケズリ不鮮明	緻密 良好 (外)褐色(内)暗褐色	P-5
	土師 皿	7	ヘラケズリ 放射状の暗文	ヘラケズリ	緻密 良好 褐色	P-5
32 号 住居址 1	土師 杯	12.6 4.2 6	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-16
	土師 杯	12.8	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 内、外面黒色	P-17
	土師 杯	12	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-4
4	土師 高147mm	11.5	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密 良好 内、外面黒	P-10
	土師 坂	11.2 7.2 7.5	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 褐色	P-11
6	土師 甕	17.7 31.8 5.1	ハケ目,ヘラケズリ ハケ目,ヘラケズリ		白色粒子含む 良好 茶褐色	P-1
	土師 鉢	13.1	ハケ目,ヘラケズリ ハケ目		緻密 良好 黒褐色	P-3
8	土師	19.2	ハケ目 ハケ目		やや粗い(砂粒子含む) 良好 黒褐色	
	土師 甕底部	5.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-12
10	土師 甕	9	ハケ目,ヘラケズリ ハケ目		密 良好 褐色	P-6
	33 号 住居址 1	14.3	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-1
2	土師 杯	14 5.4	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 赤褐色	P-13
	土師 杯	16	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-15
4	土師 杯	13.8 5.8	ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	
	土師 埴	9.8 17.3			緻密 良好 暗褐色	P-10
6	土師 壺	18 27.5 8.4	ヘラケズリ不鮮明		やや粗い(砂粒子含む) 良好 赤褐色	P-12

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
7	土師 壺	(口)17.7 (高) (底)	(外)ハケ目 (内)ハケ目	(外) (内)	(胎)粗い(砂粒子含む) (焼)良好 (色)黄褐色	
8	土師 鉢	6.2			粗い(石英含む) 良好 赤褐色	P-8
9	土師 甌	22.6	ハケ目		やや粗い(石英含む) 良好 暗褐色	
34号 住居址 1	土師 杯	11.9 3.65	ヘラミガキ	ヘラズリ	良好 褐色	P-16
	土師 杯	12.2 3.65	ヘラミガキ	ヘラズリ		P-15
3	土師 杯	11.5 3.8	ヘラミガキ,ヘラズリ	糸切り	赤色粒子を含む	P-22
	土師 杯	12.6 3.9	ヘラミガキ	ヘラズリ		P-15
4	土師 杯	12.4 3.9	ヘラミガキ	ヘラズリ	暗褐色	
	土師 杯	12.2 3.95	ヘラミガキ	ヘラズリ	良好 暗褐色	
6	土師 杯	12.2 3.95	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密(礫粒含まず) 良好 暗褐色	P-22
	土師 杯	12.1 3.75	ヘラミガキ	ヘラズリ	良好 暗褐色	P-21
7	土師 杯	12.4 3.8	ヘラミガキ	ヘラズリ		P-23
	土師 杯	12.9 3.65	ヘラミガキ	ヘラズリ	良好 暗褐色	P-16
9	土師 杯	12.4 4	ヘラミガキ	ヘラズリ	良好 暗褐色	P-16
	土師 杯	12.3 4.2	ヘラミガキ	ヘラズリ		P-21
11	土師 杯	12.5 3.65	ヘラミガキ	ヘラズリ	褐色	
	土師 杯	12.35 4	ヘラミガキ	ヘラズリ	茶褐色	P-3
12	土師 杯	12.35 4	ヘラミガキ	ヘラズリ	黑色	P-15
	土師 杯		ヘラミガキ	ヘラズリ		P-10
14	土師 杯		ヘラミガキ	ヘラズリ	黑色	
	土師 杯	12.3 3.9	ヘラズリ後,ヘラミガキ	ヘラズリ	良好 黄褐色	P-16
16	土師 杯		ヘラミガキ			

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
17	土師 高坏	(口)15.4 (高) (底)	(外)ヘラミガキ (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)丹塗り	
18	土師 高坏		ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密(塵粒含まず) 良好 黄褐色	P-7
19	土師 坏	16.1 6.55	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	粒子細かい 良好 暗褐色	P-18
20	土師 坏	15.5 6.3	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密(砂粒子含まず)	P-9
21	土師 碗	18.3 9.3	ヘラミガキ		緻密 良好 (外)暗褐色(内)茶褐色	P-20
22						P-2
23	土師 壺	18.1 26.5 8.9	ハケ目	木業痕 ハケ目	やや粗い 良好 黄褐色(焼むらあり)	
24	土師 小型壺	13.8 17.3 5.9	ハケ目不鮮明		やや粗い 良好 茶褐色	P-12
25	土師 壺	15.7 17 5.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-13
26	土師 壺		ハケ目		粒子細かい 良好 暗褐色	P-5
27	壺		ハケ目	木業痕	良好 茶褐色	
28	壺				良好 茶褐色	
29	土師 壺	19.6 25.6 11.1	ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-4
30	土師 小型壺		ハケ目、指頭痕 ハケ目	木業痕 指頭痕	砂粒子、雲母含む 赤褐色	P-11
31	土師 壺	6	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 茶褐色	P-20
32	土師 壺	15.1 25.1 5.2	ハケ後、ヘラケズリ	木業痕	やや粗い 良好 暗褐色	
33	土師 瓶	18.2 13.5	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-9
34	土師 支柱	5.3	指頭痕		緻密 良好 茶褐色	P-28

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
35号 住居址 1	須恵器 杯	(口)10.8 (高)3.4 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)白褐色	P-21
2	土師 杯	12 3.7 2	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 褐色	P-5
3	土師 杯	12.3 4 2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 (外)茶褐色(内)黒色	P-9
4	土師 杯	13 3.5	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-32
5	土師 杯	12.45 3.8 9.7	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-43
6	土師 杯	13.2 3.1 11.2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 丹塗り	
7	土師 杯	12.9		ヘラズリ	赤色粒子含む 良好 褐色	P-8
8	土師 杯	13.2 3.6 10.5		ヘラズリ	緻密 良好 明茶褐色	
9	土師 杯	12.4 3.3 5	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 褐色	P-15
10	土師 杯	12.2 3.4	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-29
11	土師 杯	12.8 4.15	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-52
12	土師 杯	12.4	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-12
13	土師 杯	11.8 3.75 4	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 (外)褐色(内)黒色	P-34
14	土師 杯	12 3.9 3	ヘラミガキ、ヘラズリ		緻密 良好 (外)褐色(内)黒色	P-11
15	土師 杯	12.2 3.75	ヘラズリ		緻密 良好 明茶褐色	P-37
16	土師 杯	12.1 4.6 3	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-32
17	土師 杯	13.6			緻密 良好 丹塗り	
18	土師 高杯	12.2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 明茶褐色	P-16
19	土師 碗	18.4 7.3 6	ヘラズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		赤色粒子含む 良好 丹塗り	P-2

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
20	土師 鉢	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎) (焼) (色)	P-30
21	土師 高杯	10.1	ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-40
22	土師 高杯	15.3 16 13.3	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 丹塗り	P-42
23	土師 高杯	14.9	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 (外)暗褐色(内)黒色	P-50
24	土師 円筒	6.2	ヘラケズリ		白色粒子含む 良好 明茶褐色	P-14
25	土師 高杯	14	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-9
26	土師 甕	17	ヘラケズリ		白色粒子含む 良好 黒い褐色	P-28
27	土師 甕	6.5	ハケ目 ハケ目	木葉痕	粗い 良好 赤褐色	
28	土師 甕	6.3			密 良好 褐色	P-6
29	土師 甕	17	ヘラケズリ	指頭痕	赤色粒子含む 良好 茶褐色	P-2
30	土師 甕	8.3	ヘラケズリ ハケ目		密 良好 暗褐色	P-6
31	土師 甕	5.4	ヘラケズリ	ヘラケズリ	粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色	
32	土師 甕	8.8		ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-40
33	土師 甕	15.8 16.75 6.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		赤褐色	P45
34	土師 甕	16	ハケ目 ハケ目		白色粒子含む 良好 茶褐色	P-4
35	土師 甕	18.1 32.4 5	ヘラケズリ		粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色	P-36
36	土師 鉢	16.7	ヘラケズリ		白色粒子含む 良好 明茶褐色	
37	土師 壺	16.6	ヘラケズリ		赤色粒子含む 良好 褐色	P-20
38	土師 瓶	13.5 8.9 7.5	ヘラケズリ ハケ目		粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色	P-42

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
39	土師 円筒	(口) (高) (底)	(外) (内)輪積み	(外) (内)	(胎)粗い・ (焼)良好 (色)明茶褐色	P-1
40	土師 円筒	10	ヘラケズリ 輪積み		粗い(白色粒子含む) 良好	P-47
41	円筒	6.2	ヘラケズリ 輪積み		粗い 良好 明茶褐色	P-44
36号 住居址 1	土師	12.8	ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好	P-44
	杯	3.4	ヘラミガキ		丹塗り	
2	土師	13.4			緻密(赤色粒子含む)	P-9
	杯	3.2		ヘラケズリ	良好 褐色	
3	土師	13.8			緻密 良好	
	杯				黄褐色	
4	土師	11.6	ヘラケズリ後・ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む)	P-37
	杯		ヘラミガキ		良好 褐色	
5	土師	12.2	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む)	P-60
	杯		ヘラミガキ		良好 褐色	
6	土師	11	ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む)	P-30
	杯		ヘラミガキ		良好 褐色	
7	土師	11.3	ヘラケズリ		緻密 良好	
	壺		ヘラミガキ		褐色	
8	土師	13.4	ヘラケズリ後・ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む)	P-2
	高杯	7.5 7.6	ヘラミガキ		良好 丹塗り	
9	土師	13.8	ヘラミガキ		緻密(赤色粒子含む)	P-53
	高杯	10.4	ヘラミガキ		良好 褐色	
10	土師		ヘラケズリ		緻密 良好	P-12
	高杯	14.6	輪積み		丹塗り	
11	土師		ヘラケズリ		緻密(黄雲母含む)	P-54
	高杯	7.6			良好 丹塗り	
12	土師				粗い(砂粒子含む)	P-59
	高杯	8.2			良好 褐色	
13	土師		ヘラケズリ後・ヘラミガキ		緻密 良好	P-16
	高杯	7			丹塗り	
14	土師		ヘラケズリ後・ヘラミガキ		緻密 良好	P-26
	高杯	8			(外)黒色(内)褐色	
15	土師 手捏				緻密 良好 暗褐色	
16	土師 壺	9.6	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-11

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
17	土師 壺	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)褐色	P-4
18	土師 甕	16.6	ハケ目		緻密 良好 黄褐色	P-57
19	土師 小型甕	13.6	ハケ目 ハケ目		粗い(砂粒子含む) 良好 茶褐色	P-3
20	土師 甕	5.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黒褐色	P-59
21	土師	5	ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	P-38
22	土師 甕	6.1		ヘラケズリ	密 良好 褐色	P-56
23	土師 手捏	2.2			緻密 良好 茶褐色	
37 号 住居址 1	土師 高杯		指頭痕		緻密 良好 赤褐色	
2	土師				緻密 良好 赤褐色	
3	土師 杯	16.2	ヘラケズリ ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-4
4	土師 高杯		ヘラケズリ 指頭痕		やや粗い(雲母含む) 良好 暗褐色	P-5
38 号 住居址 1	土師 高台杯	15.7 5.5 7.6			やや粗い(石英含む) 良好 褐色	P-14
2	土師 高台杯	14.6 6.5 7.8			密 良好 (外)褐色(内)黒色	P-2
3	土師 高台杯	10.5 3.7 5.4			密 良好 茶褐色	P-13
4	土師 高台杯				やや粗い(金雲母含む) 良好 赤褐色	P-3
5	土師 高台杯	11.3 4.4 5.5			やや粗い 良好 褐色	P16
6	土師 高台杯	10.4 3.8 5.2			密 良好 暗褐色	P-9
7	土師 杯	13.7 4.1 6.2			やや粗い(砂粒含む) 良好 褐色	P-12
8	土師 杯	13.8 3.3 5.8			やや粗い(砂粒含む) 良好 暗褐色	P-7

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
9	土師 坏	(口)13.6 (高)3.4 (底)5.8	(外)	(外)	(胎)やや粗い(石英含む) (焼)良好 (色)暗褐色	P-10
10	土師 坏	10.8 2.9 4.8			やや粗い(石英含む) 良好 赤褐色	P-8
11	土師 坏	10.6 3 5.4			やや粗い(石英含む) 良好 褐色	P-17
12	土師 坏	11.4 2.9 5.6			粗い(石英含む) 良好 褐色	
13	土師 坏				やや粗い(砂粒含む) 良好 (外)褐色(内)黒色	P-6
14	土師 坏	11.2 2.2 4.6			やや粗い(石英含む) 良好 赤褐色	P-5
15	土師 坏	11.4			やや粗い(石英含む) 良好 赤褐色	
16	土師 坏	5.6			やや粗い(赤色粒子含む) 良好 褐色	
17	土師 坏				やや粗い(石英含む) 良好 褐色(焼むらあり)	P-4
18	土師 坏				やや粗い(石英含む) 良好 暗褐色	
19	土師 坏	15.4	ヘラミガキ		密(金雲母含む) 良好 (外)褐色(外)黒色	P-1
20	土師 坏				やや粗い(金雲母、赤色粒子含む) 良好 赤褐色	
21	土師 甕	30	ハケ目		やや粗い 良好 暗褐色	
39号 住居址 1	土師 坏	10.9 3 4.5		糸切り	やや粗い 良好 暗褐色	P-1
2	土師 坏	10.8 3.2 4.4				P-1
3	土師 坏	11.1 4.3 4.8			緻密 良好 暗褐色	P-1
4	土師 坏	17 3.8 5.3			緻密 良好 茶褐色	P-4
5	土師 坏	10.7 3.3 5.1		糸切り	良好 茶褐色	P-2
6	土師 坏	11.1 3.25 5.4		糸切り	白色粒含む 良好 茶褐色	P-3

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
7	土師 坏	(口)10.6 (高)3.8 (底)5.3	(外) (内)	(外) 堀込 (内)	胎密 (焼)良好 (色)茶褐色	P-5
8	土師 坏	11.6			やや粗い 良好 茶褐色	
9	須恵器				良好 青灰色	P-9
40号 住居址 1	土師 坏	12.8	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 黑色	P-14
	土師 坏	13.4	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 褐色	
2	土師 坏	12.2	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 暗褐色	P-6
	土師 坏	12.8 5.2	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 褐色	
3	土師 坏	8 4.9	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 黄褐色	P-21
	土師 坏	17.2	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 暗褐色	
6	土師 坏	11.8 3.3	ヘラミガキ	ヘラズリ	緻密 良好 暗褐色	P-16
	土師 坏	12.2 3.2	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子多量含む) 良好 茶	
8	土師 坏	15.3 7	ヘラミガキ,ヘラケズリ	ヘラズリ	緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	P-3
	土師 高台付埴	12 11 7.7			緻密 良好 茶褐色	
10	土師 高坏		ヘラミガキ,ヘラケズリ不明		緻密 良好 茶褐色	P-1
	土師 高坏	11.8	ヘラケズリ		緻密 良好 丹塗り	
12	土師 高坏		ヘラミガキ		良好 褐色	P-19
	土師 高坏		ヘラミガキ		緻密(赤色粒含む) 良好 黄褐色(焼むらあり)	
14	土師 高坏		ヘラケズリ,ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色(焼むらあり)	P-15
	土師 高坏	11.7	ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色(焼むらあり)	
15	土師 甕	8.6	ヘラケズリ	木葉痕	密 良好 褐色	P-8

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
17	土師 甕	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	
18	土師 甕	17.1 31.2	ハケ後ヘラケズリ ハケメ		白色粒子を含む 良好 褐色	P-20
19	土師 甕	19.4 36 6.3	ハケ後ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-22
20	土師 甕	17.7	ハケ後ヘラケズリ ハケメ		白色粒子少量含む 良好 褐色	P-12
21	土師 甕	7	ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	P-7
22	土師 甕	14.1 25.1 7	ハケ後ヘラケズリ ハケメ		白色粒子少量含む 良好 茶褐色	P-19
23	土師 円筒		ヘラケズリ 輪積み	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-18
41号 住居址 1	土師 高坏		ヘラケズリ ヘラミガキ		鉱物粒を多少含む 良好 赤褐色	P-6
2	土師 高坏		指頭痕、ハケ目 ヘラケズリ		良好 赤褐色	
3	土師 埴		ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-6
4	土師 壺		ヘラミガキ、ヘラケズリ		白色鉱物微粒を多く含む 良好 黄褐色	P-3
5	土師 台月甕	12.6	ハケ目		やや粗い(金雲母含む) 良好 茶褐色	P-9, P-12 P-13, P-14
6	土師 台付甕	13	ハケ目		やや粗い 良好 茶褐色	P-1
7	土師 台付甕	13 22.1 8.4	ハケ後・ナデ 指頭痕の後、ハケ目		良好 茶褐色	P-9
8	土師 台付甕	12.4	ハケ目		やや粗い(金雲母含む) 良好 茶褐色(焼むら)	P-1
9	土師 台付甕	17	ハケ目		やや粗い 良好 赤褐色	P-5
10	土師 台付甕	9.1	ハケ目		密 良好 茶褐色	P-11, P-12, P-13, P-14

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
42号 住居址 1	土師 環	(口) (高) (底) 8	(外)	(外)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)褐色	P-4
2	須恵器 蓋	22	ヘラケズリ		密 良好 灰白色	
3	土師 壺	12.4			密(赤色粒子含む) 良好 灰茶褐色	P-6
43号 住居址 1	土師 埴	13.4			やや粗い(砂粒子含む) 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-2
2	土師 甕	9.1		雜質あり	密 良好 茶褐色	P-3
3	土師	4.3	暗文		緻密 良好 赤褐色	P-4
4	土師 環	12.4			密 良好 暗褐色	
5	土師 手捏	4.3 3.7 5.2	指頭痕 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-1
44号 住居址 1	土師 高環	9.6			緻密(赤褐色粒子含む) 良好 茶褐色	反転
2	土師 高環				金雲母を含む 良好 暗褐色	P-14
3	土師 高環	18	暗文		緻密 良好 茶褐色	P-17
4	土師 埴	14.6	暗文、ヘラケズリ 暗文		粗い 良好 茶褐色	P-24
5	土師 小型壺	3.2	ヘラケズリ ハケ目		緻密(白色粒子を含む) 良好 暗褐色	
6	土師 壺	7.8	ヘラミガキ ハケ目		緻密 良好 黒褐色	P-28
7	土師 手捏	5	ヘラケズリ 指頭痕		白色粒子を含む 良好 褐色(焼むらあり)	P-9
8	土師 小型壺	6.2 8.2 5	ハケ後、ヘラミガキ 指頭痕ハケ目	ハケ目	緻密(白色粒子含む) 良好 茶褐色	P-27
9	土師 小型壺	5	ハケ目		白色粒子含む 良好 暗褐色	P-5
10	土師 台付甕	9	ハケ目 指頭痕		密 良好 茶褐色	P-8
11	土師 台付甕	17.2	ハケ目		白色粒子、金雲母含む 良好 茶褐色	P-26

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
12	土師 台付甕	(口) (高) (底)	(外)ハケ目 (内)指頭痕	(外) (内)	(胎)緻密(金雲母含む) (焼)良好 (色)茶褐色	P-23
45号 住居址 1	土師 杯	10.8			緻密 良好 丹塗り	
2	土師 杯	13			緻密 良好 茶褐色	
3	土師 高杯	12	ヘラケズリ		緻密 良好 丹塗り	P-3
46号 住居 1	土師 杯	14.4 5.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		微粒子含む 良好 内、外面赤褐色	P-2
2	土師 壺	20.2	ヘラミガキ		密 良好 黒褐色	
3	土師 壺		ヘラミガキ		密 良好 褐色(焼むら)	P-1
4	土師 小型壺	6.8 8 4.4	ヘラケズリ		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-8
5	土師 台付甕	13.2	ハケ目 指頭痕		やや粗い(金雲母含む) 良好 褐色	P-12
6	土師 台付甕	9.9	ヘラケズリ 指頭痕		やや粗い 良好 暗褐色(焼むらあり)	
47号 住居 1	土師 高杯		ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	
2	土師 小型壺	4.1			やや粗い 良好 茶褐色	P-8
3	土師 甕					
4	土師 手捏	3.5 3.7	指頭痕 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-5
5	土師 手捏	3.7			粗い 良好 茶褐色	P-6
6	土師 壺				やや粗い 良好 赤褐色	P-9
7	土師 台付甕	8.7	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
48号 住居址 1	須恵器 坏	(口)17 (高)3.8 (底)	(外)回転ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い(砂粒を含む) (焼)良好 (色)灰白色	P-1
2	土師 坏	12.4 4	ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密(砂粒を含む) 良好 内、外面赤褐色	P-6
3	土師 坏	12.6 3.3	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-17
4	土師 坏	12.5 3.9	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-2
5	土師 坏	13.2	ヘラケズリ		緻密 良好 (外)暗褐色(内)黒色	
6	土師 坏	13	ヘラケズリ		密 良好 (外)褐色(内)黒色	
7	土師 坏	12.3 3.7	ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-2
8	土師 坏	14	ヘラケズリ		緻密 良好 (外)暗褐色(内)黒色	
9	土師 坏	17 3.95	ヘラケズリ		良好 黒色	
10	土師 坏	12.9 4.5	ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密(砂粒を少量含む) 良好 内外面赤褐色	P-8
11	土師 坏	14	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	
12	土師 埴	13 6.1	ハケ後、ヘラケズリ		緻密(砂粒を少量含む) 良好 暗赤褐色	P-3
13	土師 坏	11.2 4.5 5.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	
14	土師 高坏	11.7 7.5 9.3	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 内外面とも黒採	P-7
15	土師 高坏	15.6	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-26
16	土師 高坏		ヘラケズリ ヘラケズリ		良好 褐色	P-27
17	土師 坏	17.2	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	
18	土師 鉢	20	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-7
19	土師 甕	16 24.8 8.4	ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 暗褐色	P-4

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
20	土師 甕	(口)10.8 (高)14.2 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)粗い (焼)良好 (色)褐色(焼むらあり)	
21	土師 壺	13.4			密 良好 暗褐色	
22	土師 壺	18	ハケ目		緻密 良好 丹塗り	
23	土師 甕	15.4	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目		粗い 良好 褐色	
24	土師 甕	14	ハケ目 ハケ目		密 良好 褐色	P-26
25	土師 甕	19 35.8 3.95	ハケ目	ハケ目	粗い(白色粒子含む) 良好 茶褐色	P-3
26	土師 甕	18.4 33.8 4.7	ハケ目、ヘラケズリ ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-25
27	土師 小鉢	12 5.8 7			密 良好	
28	土師 小鉢	12 9.8	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密(金雲母含む) 良好 褐色	P-5
29	土師 甕	16.9				
30	土師	9.3		木葉痕	密 良好 赤褐色	P-15
31	土師 手捏	3.8 4.8	指頭痕		やや粗い 良好 赤褐色	P-28
49号 住居址 1	土師 杯	14.3 4.3	ヘラケズリ 暗紋		密(赤色粒子含む) 良好 丹塗り	P-1
2	土師 高杯	13	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	
3	土師 高杯	13	ヘラケズリ後ナデ		密(赤色粒子含む) 良好 褐色	
4	土師 杯		ヘラケズリ後ナデ		密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	
5	土師 高杯		ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	
6	土師 高杯	14.4			密(赤色粒子含む) 良好 褐色	
7	土師 高杯	14.5	ヘラケズリ ヘラミガキ		やや粗い 良好 暗褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
8	土師 甕	(口)20.7 (高)34.5 (底)5.3	(外)ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)暗褐色	P-5
9	土師 壺	16	ハケ目 ハケ目		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 褐色	
10	土師 壺	16.1			やや粗い 良好 赤褐色	
11	土師 壺	6.8		ハケ目	粗い 良好 褐色(焼むらあり)	
12	土師 甕	24.6			密 良好 赤褐色	反転
13	土師 瓶	16.4 12 5.1	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 褐色(焼むらあり)	
14	土師 円筒	7	ハケ目	指頭痕	やや粗い 良好 褐色	
15	須恵器 甕	26			やや粗い 良好 青灰色	P-10
50号 住居址 1	土師 高杯	16			緻密(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	
2	土師 杯	7.5			密 良好 暗褐色	
3	土師 甕	25	ハケ目 ハケ目		密(大粒砂粒子含む) 良好 褐色	
4	土師 甕	7.6			やや粗い(砂粒子含む) 良好 暗褐色	
51号 住居址 1	須恵器 杯	10 3.6		ヘラケズリ	緻密 良好 灰白色	P-12
2	土師 杯	11.9 3.4	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	
3	土師 杯	13.4 3.4	横ナ字後、ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-2
4			ヘラケズリ後、ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-5
5	土師 杯	12	横ナ字後、ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-4
6	土師 杯		横ナ字後、ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-23
7	土師 高杯	10			緻密 良好 茶褐色	P-7

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
8	土師 甕	(口)17 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ハケ目	(外) (内)	(胎)砂粒子含む (焼)良好 (色)褐色	P-20
9	土師 甕	19.1	ヘラケズリ ハケ目		砂粒多量に含む 良好 茶褐色	P-19
10	土師 円筒	10.7 51.6 10.5	ヘラケズリ 輪積み	木葉痕	やや粗い(砂粒子含む) 良好 赤褐色	P-14
11	土師 甕	30	ハケ目		砂粒を少量含む 良好 褐色	P-8
12	土師 甕	5.6		木葉痕	砂粒を含む 良好 褐色	P-9
13	土師 甕	9	ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-12
14	土師 甕	7	ヘラケズリ ハケ目		粗い(砂粒を多量に含む) 良好 褐色	P-10
15	土師 小鉢	9.3 9.2	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-22
52号 住居址 1	土師 杯	13.6	ヘラケズリ底、ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-9
2	土師 鉢	18.7 7	ヘラケズリ底、ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-10
3	土師 甕	24.1	ハケ目 ハケ目		良好 茶褐色	
4	土師 甕	23	ハケ目、ヘラミガキ ハケ目		やや粗い 良好 茶褐色	P-8
5	土師 瓶		ヘラミガキ		やや粗い 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-17
6	土師 手捏	3.7	指頭痕 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-3
7	土師 甕	21.4	横ナデ 横ナデ		やや粗い 良好 茶褐色	P-8
8	土師 甕	7.1			粗い 良好 茶褐色	P-5
54号 住居址 1	土師 杯	11 3.4 9.8			緻密 良好 暗茶褐色	P-8
2	土師 杯	12.9 3.5 10.3	ヘラミガキ		緻密 良好 黒色	P-7
3	土師 杯	12.4 4.4 10.8			緻密 良好 黒色	P-7

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
4	土師 杯	(口)11.5 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密(砂粒を含む) (焼)良好 (色)黄褐色	
5	土師 壺	15.6 20.2 7.9	ハケ目 ハケ目		密(砂粒子含む) 良好 赤褐色	P-3
6	土師 壺	17.2	ハケ目 ハケ目		やや粗い(金雲母含む) 良好 暗褐色	P-1
7	土師 小型壺	10.7 13.1 7.1	ヘラケズリ ハケ目		やや粗い(砂粒,金雲母含む) 良好 暗褐色	P-2
8	土師 甕	18.8 34.6 4.5	ヘラケズリ ハケ目		密(砂粒子含む) 良好 茶褐色(焼むらあり)	P-1
9	土師 甕	16.6	ハケ目 ハケ目		やや粗い 良好 茶褐色	P-6
55号 住居址 1	土師 杯	11.4	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	
2	土師 高杯		ヘラミガキ ヘラミガキ	ハケ目	緻密 良好 茶褐色	P-1
3	土師 甕	16	ハケ目,ヘラケズリ 横ナデ		やや粗い 良好 茶褐色	P-2
4	土師 甕	6.4		木葉痕 ハケ目	やや粗い 良好 褐色	
5	土師 瓶				やや粗い 良好 褐色	P-3
56号 住居址 1	土師 杯	12 3.8	ヘラミガキ 横ナデ	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-9
2	土師 壺	16	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	
3	土師 小型壺	12.4 14.1 6.5	ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	P-8
4	土師 甕	19 35.4 5.4	ハケ目 ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-2
5	土師 甕	32.9 4.8	ヘラケズリ ハケ目	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-1
6	土師 甕	17.2	ハケ目,ヘラケズリ ハケ目		やや粗い 良好 暗褐色	P-5

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
57 号 住居址 1	土師 杯	(口)12.1 (高)3.75 (底)	(外)へラミガキ (内)	(外) (内)	(胎)密 良好 (色)茶褐色	P-18
	土師 杯	13.4			密 良好 暗褐色	
	土師 壺	11.8	へラケズリ		密 良好 褐色	
4	土師 壺	10.8	へラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 黄褐色	P-19
5	土師 小鉢	14.0			密 良好 褐色	
6	土師 杯	17.2	へラケズリ		密 良好 黄褐色	
7	土師 高杯	10.2			密 良好 暗褐色	
8	土師 壺	15.1 22.6 7.8	ハケ目 ハケ目		やや粗い 良好 褐色	P-1
	土師 甕	17	へラケズリ へラケズリ		やや粗い(砂粒子含む) 良好 茶褐色	
58 号 住居址 1	土師 杯	12.5	へラケズリ		密 良好 赤褐色	P-28
	土師	13	へラケズリ へラミガキ		密(金雲母含む) 良好 暗褐色	P-30
3	土師 壺		ハケ後、ケズリ不鮮明 へラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-2P
4	土師 小型甕	17	ハケ目		やや粗い(石英含む) 良好 茶褐色	
5	土師 甕	18.4	ハケ目		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 茶褐色	
6	土師 小型甕	16.4	ハケ目		やや粗い(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-2P
59 号 住居址 1	土師 高杯	8	全面へラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-5
	土師 高杯	15	へラミガキ ハケ目		緻密 良好 赤褐色	
3	土師 高杯			へラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-8
4	土師 壺	15.4	へラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	P-7

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
5	主師	(口)12.2 (高)15 (底)7	(外)ハケ目	(外)指頭痕	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-1, P-2
	台付甕		(内)ヘラケズリ後、ハケ目	(内)		
6	主師	17.2	ハケ目		やや粗い 良好 褐色	P-4
	台付甕		ハケ目			
7	主師		ハケ目			P-11
	台付甕		ハケ目			
8	主師		ハケ目	指頭痕	やや粗い 良好 褐色	P-1
	台付甕	7	ハケ目			
9	主師		ハケ目	指頭痕	やや粗い(金雲母含む) 良好 暗褐色	P-13
	台付甕					
10	主師	21	ハケ目		やや粗い 良好 褐色	
	台付甕					
11	主師		ハケ目		密 良好 暗褐色	P-14
	台付甕					
12	主師	26			密(金雲母含む) 良好 暗褐色	
	壺					
13	主師		ヘラケズリ		良好 褐色	P-12
	瓶	3.15				
60号 住居址 1	主師	13.1	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 褐色	P-4
	坏	3.1				
2	主師	12.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ		やや粗い 良好 (外)暗褐色(内)黒色	
	坏	3.8				
3	主師	12.6	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	P-7
	坏	3.3				
4	主師	12.1	ヘラケズリ後ヘラミガキ		密 良好 暗褐色	P-9
	坏	3.3				
5	主師	14.4	ヘラケズリ		密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	P-6
	坏	4				
6	主師	16.2	ヘラケズリ		緻密(赤色粒子含む) 良好 暗褐色	P-13
	鉢	7.5				
7	主師	18	ヘラケズリ		粗い 良好 黄褐色	
	甕	31	ハケ目			
8	主師	15.2	ハケ目		やや粗い 良好 褐色	P-16
	瓶		ハケ目			
9	主師				緻密 良好 黄褐色	P-4
	瓶	10.2	ハケ目			

番 号	器 種	法 量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
61 号 住居址 1	土師	(口)12.7 (高)4.1	(外)ヘラケズリ	(外)	(胎)緻密、赤色粒子含む (焼)良好 (色)黒褐色	P-7
	坏	(底)10.8	(内)	(内)		
2	土師	12.4	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-11
	坏	4.0 10.2				
3	土師	12.8	ヘラケズリ		密、赤色粒子含む 良好 焼むら 赤褐色	P-6
	坏	3.85				
4	土師	12.8	ヘラケズリ		緻密 焼むら 良好 茶褐色	カマド P-2
	坏	10.6 3.35				
5	土師	12.9	ヘラケズリ		緻密 焼むら 良好 茶褐色 内面、黒色	P-12
	坏	3.8 11.6				
6	土師	12.7	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-1
	坏	3.5 10.8				
7	土師	13.7	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	P-10
	坏					
8	土師	13.3			緻密 良好 褐色	P-14
	坏	4.6 12.4				
9	土師	12.7			緻密 良好 黄褐色	P-8
	坏	9.9				
10	土師	11.5	ヘラケズリ		緻密 良好 (内、外)丹塗り	P-15
	坏	4.6				
11	土師	14.3	ハケメ、ヘラケズリ		緻密 良好 明褐色	P-27
	高坏					
12	土師	12.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内、外)黒彩	P-2
	高坏	7.35 9.2				
13	土師	11.9	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-11
	高坏					
14	土師	15.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	
	高坏					
15	土師	13.1	ヘラケズリ	無調整	緻密 良好	
	高坏					
16	土師	18.5	ヘラケズリ		密、赤色粒子含む 焼むら 良好 赤褐色	P-4
	高坏					
17	土師	15.5	ハケメ ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-34
	壺					
18	土師	16.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-26
	瓶					
19	土師		ハケメ、ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-5
	壺	9.6				

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
20	土師 甕	(口)17.0 (高)24.2 (底)8.0	(外)ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外)木葉痕 (内)	(胎)やや粗い、金雲母含む (焼)良好 (色)茶褐色	カマドP-1
21	土師 甕	20.0	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-17
22	土師 甕の把手		ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-20
23	土師 瓶	13.4 10.1 5.4			やや粗い 良好 赤褐色	P-25
24	土師 甕	19.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-36
62号 住居址 1	須恵器 埴	7.9	ヘラケズリ		緻密 良好 灰白色	P-31
2	土師 杯	12.4 3.8	ヘラミガキ	ヘラミガキ	良好	P-29
3	土師 杯	12.5 4.0	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ ヘラミガキ	密 良好 褐色	P-3
4	土師 杯	10.3 5.4	ヘラケズリ		密 赤色粒子含む 良好 褐色	P-41
5	土師 埴	10.3 8.0	ヘラケズリ 横ヘラミガキ		密 良好 褐色(内)黒色	P-39
6	土師	16.4	ヘラケズリ 横ヘラミガキ		やや粗い 良好 褐色	P-18
7	土師 高杯	12.4	ヘラミガキ	内ヘラミガキ	密 良好 褐色	
8	土師 甕	25.0	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-10.25.16.36
9	土師 甕	21.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	P-13.14
10	土師 甕	21.6	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-40
11	土師 甕	12.4			良い 良好 赤褐色	P-11
12	土師 円筒	10.5 51.6 9.1	ヘラケズリ 輪積み		やや粗い 良好 赤褐色	P-33
13	土師 甕	17.8 32.7 8.6	ヘラケズリ	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	カマド内
14	土師 甕	9.1	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-12

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
15	土師 甕	(口)18.8 (高) (底)	(外)ヘラケズリ、ハケ目 (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)黄褐色	P-5
16	土師 甕	21.1	ハケ目 ハケ目		良好	P-17
17	土師 小形甕	6.9 8.2 5.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	密 良好 褐色	
18	土師 壺	21.0 11.8	ヘラケズリ後ヘラミガキ 横ヘラミガキ		密 良好 褐色	
63号 住居址 1	須恵器 杯	12.0			緻密 良好 灰色	P-3
2	須恵器	13.0 3.7			緻密 良好 灰色	P-12
3	土師 杯	13.0 3.6	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	
4	土師 杯	14.0 4.6	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-10
5	土師 杯	14.0 4.2	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-10
6	土師 杯	9.6	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	
7	土師 鉢	11.0			密 良好 暗褐色	P-24
8	土師 杯	12.0	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-12
9	土師 高杯	10.4	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-4
10	土師 高杯	16.3	ヘラケズリ		良好 褐色	
11	土師 高杯		ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-29
12	土師 高杯	7.3	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-20
13	土師 高杯	13.7	(外)ヘラケズリとハケ目 (脚部の内側)ハケ目		緻密 良好 暗褐色	P-17
14	土師 鉢	15.0			緻密 良好 赤褐色	
15	土師 壺	20.0	ハケ目、ヘラミガキ ハケ目		緻密 良好 暗褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
16	土師 鉢	(口)21.4 (高)10.3 (底)	(外)ヘラケズリ (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)暗褐色	P-34
17	土師 甕	5.8	ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕		P-23
18	土師 鉢	9.5 5.0	ハケメ、ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 暗褐色	P-1
19	土師 鉢	10.0 9.3 6.8	ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	P-9
20	土師	6.0	ヘラケズリ	木葉痕	緻密 良好 暗赤褐色	P-11
21	土師 甕	6.0	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 暗褐色	P-16
22	土師 甕	4.5	ヘラケズリ	木葉痕	良好 褐色	
64 号 住居址 1	須恵器 杯	10.6 4.75	回転ヘラケズリ		緻密 良好 灰褐色	1/3残 P-5
2	須恵器 杯	11.2 3.35			緻密 良好 青灰色	
3	土師 杯	12.4 3.5	ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	P-1
4	土師 杯	11.6 3.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	静止糸切り	緻密、赤色粒含む 良好 褐色	P-1
5	土師 杯	11.4 3.85	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色(内)黒色	P-2
6	土師 杯	12.2 3.8	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-8
7	土師 杯	11.4 3.9			やや粗い 良好 暗褐色	P-53
8	土師 杯	11.8 4.0	ヘラケズリ ヘラによる沈線		緻密 良好 黄褐色	P-17
9	土師 杯	13.3 3.5	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 黒褐色	P-13
10	土師 杯	12.2 3.7	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 暗褐色	
11	土師 杯	14.2	ヘラケズリ		緻密 良好 黒褐色	P-31
12	土師 杯	12.4 3.8	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 褐色	P-30

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
13	土師 杯	(口)13.9 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)密、赤色粒含む (焼)良好 (色)褐色	
14	土師 杯	11.6 3.4	ヘラミガキ		緻密 良好 黒色	
15	土師 杯	14.0 3.7	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色(内)黒色	P-33
16	土師 杯	13.8	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-41
17	土師 高杯	17.4	ヘラケズリ,ヘラミガキ		密 良好 黄褐色(内)黒色	P-38
18	土師 埴	9.4 6.85	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 黄褐色	P-34
19	土師 埴	12.2	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密、赤色粒含む 良好 黒色	P-10
20	土師 埴	12.0			やや粗い 良好 黄褐色	P-36
21	土師 高杯	12.6	ヘラケズリ	ヘラケズリ (脚部・内面)	密 良好 丹塗り	P-34
22	土師 高杯	9.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ (脚部・内面)	密 良好 茶褐色	P-18
23	須恵器 罍		回転ヘラケズリ 磨面状工具による磨引文		緻密 良好	P-3
24	土師 甕	10.6	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-49
25	土師 甕	15.6			やや粗い 良好 赤褐色	P-48
26	土師 甕	10.8 13.9 6.1	ハケメ,ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い、小石含む 良好 褐色	P-26
27	土師 甕	20.0 27.1 8.7		木葉痕	やや粗い、焼きむら 良好 褐色	P-1
28	土師 甕	19.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-23
29	土師 甕	8.4	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-21
30	土師 甕	19.0	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好、焼きむら 茶褐色	P-46
31	土師 甕	18.0			やや粗い 良好 黄褐色	P-45

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
32	土師 甌	(口)23.0 (高)27.4 (底)10.4	(外)ヘラケズリ後ナデ (内)ヘラケズリ後ナデ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-1
33	土師 円筒	9.6 45.0 10.6	ヘラケズリ 輪積み	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	P-3
85 号 住居址 1	土師 埴	12.9 8.3	ヘラミガキ		緻密 焼きむら 良好 茶褐色	P-3
2	土師 甕	19.4	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-4
3	土師 甕	8.3	輪積み	木葉痕	やや粗い 良好 黄褐色	P-2
4	土師	5.0	ハケメ		粗い 良好 黄褐色	
86 号 住居址 1	土師 鉢	19.4	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-4
2	土師 高杯	16.0	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	
3	土師 高杯	10.0			緻密 良好 黄褐色	フク土
4	土師 壺	11.8			緻密 良好 褐色	P-7
5	土師 壺	11.2			緻密 良好 黄褐色	フク土
6	土師 手捏	3.8	ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	
7	土師 台付甕	13.8	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	
8	土師 台付甕	10.5	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	
9	土師 台付甕	7.9	ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-2
10	土師 台付甕	17.8	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	フク土
88 号 住居址 1	土師 杯	14.0		暗文	緻密 良好 暗褐色(内)黒色	フク土
2	土師 台付甕	13.2			密 良好 暗褐色	フク土
3	土師 器台	9.0	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	フク土

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
4	土師 坏	(口) (高) (底)	(外)	(外)	(胎)密 (焼)良好 (色)赤褐色	フク土
5	土師 壺				密 良好 赤褐色	
6	土師				緻密 良好 赤褐色(外)丹塗(内)黒色	
7	土師				密 良好 暗褐色	フク土
69号 住居址 1	土師 台付甕	11.2	ハケメ		密、金雲母含む 良好 暗褐色	P-1
2	土師 壺	19.0	ハケメ		やや粗い 良好 褐色	焼きむらP-3
70号 住居址 1	土師 器台		ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	
2	土師 壺	22.6	ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	
3	土師 壺	16.4	ヘラミガキ		やや粗い 良好 赤褐色	
4	土師 壺	11.3	ヘラケズリ		やや粗い、焼きむら 良好 暗褐色	
5	土師 台付甕				やや粗い 良好 褐色	
6	土師 台付甕	15.6	ハケメ		密 良好 黒褐色	
7	土師 台付甕	6.7	ハケメ		密 良好 褐色	
71号 住居址 1	土師 坏	12.4 3.5			緻密 良好 灰白色	P-2
2	土師 坏	13.8			密 良好 暗褐色	フク土
3	土師 坏	11.0 2.8	ヘラケズリ		密 良好、焼きむら 褐色	フク土
4	土師 坏	12.0			緻密 良好 赤褐色	フク土
5	土師 高坏	13.8	ヘラミガキ		緻密 良好 黒褐色	
6	土師 高坏	6.4	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	フク土

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
72 号 住居址 1	土師 杯	(口)12.0 (高)3.9 (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)暗褐色	P-3
2	土師 杯	12.4 3.7	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-7
3	土師 杯	13.0 3.5	ヘラケズリ		密 良好 黒褐色	P-6
4	土師 杯	12.5 4.1	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 褐色	P-10
5	土師 杯	12.0 3.4			緻密 良好 黒褐色	P-12
6	土師 埴	11.2 6.1	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色(内)黒色	
7	土師 鉢	20.0	ヘラケズリ		緻密 良好、スス付着 黄褐色	P-1
8	土師 甕	8.1	ヘラミガキ	木葉痕	密 良好 暗褐色	P-2
9	土師 甕					P-9
10	土師 甕	15.8 14.8 8.1	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	P-13
11	土師 甕	12.6	ハケメ		粗い 良好 赤褐色	P-4,8
73 号 住居址 1	土師 杯	11.7 4.8	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	P-7
2	土師 杯	11.8			緻密 良好 暗褐色	P-11
3	土師 杯	11.9	ヘラミガキ、ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	
4	土師 高杯	13.5 15.3 12.2	ヘラミガキ、ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 暗褐色	P-1
5	土師 甕	19.2	ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-8
6	土師 甕	19.1 31.7 7.0	ハケメ ハケメ		粗い 良好 茶褐色	P-4
7	土師 甕	7.5	ハケメ	木葉痕 ヘラミガキ	粗い 良好 暗褐色	
8	土師 甕	8.0	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-3

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
74号 住居址 1	須恵器 壺	(口)13.5 (高)4.0 (底)	(外)	(外)	(胎)密 (焼)良好 (色)灰褐色	P-13
2	須恵器 杯	11.0 3.75			緻密 良好 灰褐色 <small>胴部外面に 外程自然釉</small>	P-15
3	土師 杯	12.5 4.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外)黒彩?	P-9
4	土師 杯	12.5 3.5	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-1
5	土師 杯	10.1 3.3	ヘラケズリ		緻密 良好 黒色	P-16
6	土師 杯	12.8 3.4	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 黒褐色	P-14
7	土師 杯	13.0	ヘラケズリ		緻密 良好 黒色	
8	土師 杯	11.9			良好 褐色	
9	土師 杯	12.0	ヘラケズリ		緻密 良好 黒褐色	
10	土師 杯	12.0	ヘラケズリ		緻密 良好 黒褐色	
11	土師 杯	11.3 4.6	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-10
12	土師 高杯	15.0	ヘラケズリ		緻密 良好 黒褐色	
13	土師 杯	13.4	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 暗褐色(内面)黒色	
14	土師 高杯	13.0			褐色	西方二段あり
15	土師 手捏	2.4	ヘラケズリ		密 良好 褐色	
16	土師 甕	21.0	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	フク土
17	土師 甕	23.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	フク土
18	土師 甕	23.0	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-2
19	土師 甕	7.5	ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
20	土師 甕	(口)18.0 (高)31.6 (底)7.2	(外)ハケメ (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-6
21	土師 甕	18.2 34.8 8.4	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い、砂粒含む 良好 褐色	P-11
22	土師 甕	13.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	フク土
75号 住居址 1	土師 坏	11.6 4.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	密 良好 褐色	P-12
2	土師 高坏	15.1	ヘラケズリ	ヘラケズリ	密 良好 暗褐色	P-6
3	土師 高坏		ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ	密 良好 暗褐色	P-30
4	土師 高坏		ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い、赤色粒含む 良好 褐色	P-22
5	土師 甕	25.2 24.0 10.6	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ		密 良好 褐色	P-5
6	土師 甕	12.2	ヘラケズリ後ナデ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-27
7	土師 甕	7.2	ハケメ		粗い 良好 褐色	P-4
8	土師 甕	7.2	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-9
9	土師 甕	5.0	ヘラケズリ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 褐色	カマド
10	土師 甕	19.0			密、赤色粒含む 良好 赤褐色	P-2
11	土師 甕	19.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-4
12	土師 甕	11.0	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-21
13	土師 甕	13.3 11.1 3.5			やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	P-24
14	土師 甕	8.8	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-7
15	土師 甕	10.5			やや粗い、赤色粒含む 良好 褐色	P-29
16	土師 鉢	14.0 14.0 8.3			粗い 良好 褐色	P-10

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
76 号 住居址 1	須恵器 杯	(口)13.2 (高)4.0 (底)6.8	(外) (内)	(外)MMへラズリ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	P-11
2	須恵器 杯	9.0 4.4		MMへラズリ	密 良好 青灰色	P-2
3	土師 杯	13.8			密, 赤色粒含む 良好 (内, 外)丹塗り	
4	土師 杯	13.0 4.4			密 良好 (内, 外)丹塗り	P-2
5	土師 杯	13.5	へラケズリ		密 良好 褐色	P-9
6	土師 杯		へラケズリ		密 良好 黒褐色	
7	土師 甕	19.8		ハケメ	やや粗い 良好 暗褐色	P-9
8	土師 甕				密, 砂粒含む 良好 赤褐色	P-8
9	土師 甕	7.4	へラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-83
10	土師 甕	9.4			粗い 良好 明褐色	P-8
11	土師 甕	15.3	ハケメ, へラケズリ ハケメ, へラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	P-8
77 号 住居址 1	土師 高杯	9.4			緻密 良好 赤褐色	
2	土師 高杯	12.8	へラミガキ		緻密 良好 暗褐色	
3	土師 甕	16.0	ハケメ へラミガキ		密 良好 赤褐色	
4	土師 台付甕	12.4	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	
5	土師 台付甕	14.0			やや粗い 良好 暗褐色	
78 号 住居址 1	須恵器	15.0			緻密 良好 青灰色	P-8
2	土師 杯	12.0 4.1	へラケズリ		密 良好 (内外面)黒色	P 12
3	土師 杯	11.6 4.8	へラケズリ		密 良好 暗褐色	P-15

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
4	土師 高坏	(口)13.1 (高)15.5 (底)12.0	(外)ヘラケズリ,ヘラミダキ (内)	(外)ハケノ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)(内外)丹塗り	P-9
5	土師 高坏	9.4	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 褐色	P-9
6	土師 高坏	10.6	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 黄褐色	P-16
7	土師 高坏	9.8	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 赤褐色	
8	土師 高坏	8.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-3
9	土師 甕	13.0 17.5 8.0	ハケノ,ヘラケズリ 輪積み		やや粗い 良好 赤褐色	P-19
10	土師 甕	20.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-13
11	土師 甕	18.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-10
12	土師 甕		ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-1
13	土師 甕	16.0 29.3 8.5	ヘラケズリ,ハケノ ハケノ		密 良好 赤褐色	P-20
14	土師 甕	7.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-4
15	土師 甕	6.5	ハケノ,ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	P-6
16	土師 甕	11.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P21
17	土師 甕	22.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	
18	土師 甕	23.0			やや粗い 良好 暗褐色	P-20
19	土師 甕	9.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-4
20	土師 甕	7.8	ヘラケズリ		粗い 良好 暗褐色(内)黒色	P-6
21	土師 甕	23.0 31.0 6.0	ハケノ,ヘラケズリ ハケノ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	P-3
22	土師 甕	24.8 27.0 10.5	ハケノ,ヘラケズリ ハケノ		やや粗い 良好 赤褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
23	土師 円筒	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)輪積み	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)赤褐色	
79号 住居址 1	土師 杯	13.0			緻密 良好 (内外)黒色	
2	土師 杯	9.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 (内外)黒色	
3	土師 杯	13.6			密 良好 (内外)黒色	
4	土師 杯	16.2	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	
5	土師 蓋	14.4	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	
6	土師 杯	14.4	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	
7	土師 甕	20.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	
80号 住居址 1	土師 杯	12.2 4.4	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色(内)丹塗り	P-21
2	土師 杯	11.5 3.9	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	P-22
3	土師 杯	13.6 3.9	ヘラケズリ		緻密赤色粒含む 良好 (内外)黒色	P-21
4	土師 杯	13.5 11.1	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	P-8
5	土師 杯	12.0 4.1	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)黒色	P-1
6	土師 杯	13.3	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ	密,赤色粒含む 良好 黄褐色	
7	土師 杯	12.3	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 明褐色	
8	土師 杯	11.2	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-29
9	土師 杯	11.8 4.05	ヘラミガキ		密 良好 黄褐色	P-12
10	土師 杯	12.0 4.1	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 黄褐色	P-1
11	土師 台付塊	8.5 11.35 9.6	ヘラケズリ	ヘラケズリ, ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)黒色	P-25

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
12	土師 甕	(口)12.1 (高) (底)	(外)ハケメ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い,砂粒含む (焼)良好 (色)黄褐色	P-20
13	土師 甕	5.0	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 黄褐色	フク土
14	土師 甕	25.4	ヘラケズリ ヘラケズリ		密,砂粒含む 良好 赤褐色	フク土
15	土師 甕	20.5	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-19
16	土師 甕	16.2	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-14
17	土師 甕	15.8	ヘラケズリ		緻密,砂粒含む 良好 黄褐色	P-17
18	土師 甕	16.2	ヘラケズリ ハケメ		密,砂粒小石含む 良好 赤褐色	
19	土師 甕	17.9	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-15
20	土師 甕	5.3	ヘラケズリ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	
21	土師 甕	23.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-29
22	土師 瓶		ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	P-11
81号 住居址 1	土師	13.0	ヘラミガキ		緻密 良好	P-1
	杯	4.3			暗褐色	
2	土師	12.0	ヘラミガキ		緻密 良好	フク土
	杯		ヘラミガキ		(内外)黒色	
3	土師 杯	13.0			緻密 良好 (内外)黒色	
4	土師 杯	14.2			緻密 良好,焼きむら (内外)黄褐色	フク土
5	土師 杯	12.0	ヘラケズリ		良好	
6	土師 高杯	10.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外)黒彩	
7	土師 高杯	15.0	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)丹塗り	
8	土師 壺	18.0 7.4	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-9

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
9	土師 高坏	(口)15.0 (高)17.9 (底)13.6	(外)ヘラケズリ,ハケメ (内)	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)(内外)丹塗り	
10	土師 高坏	16.8 13.2 12.7	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	フク土
11	土師 甕	20.6 36.1 6.8	ヘラケズリ		粗い、焼土付着 良好 茶褐色	
12	土師 甕	21.2 32.3 8.5	ハケメ ハケメ	木葉痕	良好 良好 茶褐色	P-15
13	土師 甕	20.1			粗い 良好 茶褐色	カマド
14	土師 甕	6.4	ヘラケズリ	木葉痕	粗い 良好、焼土付着 茶褐色	P-5
15	土師 甕	6.2	ヘラケズリ ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-1
16	土師 甕	9.4	ヘラケズリ		粗い 良好 暗褐色	
17	須恵器 杯	5.8			緻密 良好 灰色	P-7
18	土師 円筒	9.8	ヘラケズリ,輪積み		粗い 良好 茶褐色	
82 号 住居址 1	須恵器 杯	9.4 3.9	ヘラケズリ		密 良好 灰白色	P-22
2	土師 杯	12.8	ヘラケズリ		密 良好 褐色	
3	土師 杯	14.1			密 良好 (内外)黒色	
4	土師 杯	15.7 5.9	ヘラケズリ ヘラミガキ	指頭痕	密 良好 (内外)黒色	P-20
5	土師 甕	15.0	ハケメ		密 良好 褐色	
6	土師 甕	16.0	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	
7	土師 甕	21.6	ヘラケズリ		密,赤色粒含む 良好 褐色	
8	土師 甕	12.4	ヘラケズリ		密 良好 (内外)黒色	
9	土師 甕	18.4 13.8 5.2	ヘラケズリ 指頭痕		やや粗い 良好 (内外)黒色	P-21

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
10	土師 瓶	(口) (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い,赤色粒含む (焼)良好 (色)褐色	
11	土師 瓶	5.4			緻密 良好 褐色	
12	土師 甕	11.7 7.7 6.6	ヘラケズリ ヘラナデ		やや粗い 良好 褐色	P-4
13	須恵器 壺	26.0	ハケメ		緻密 良好 灰白色	P-12
83号 住居址 1	須恵器 杯	10.3 4.0			緻密 良好 灰褐色	P-3
2	土師 杯	11.8 3.7 10.5		ヘラケズリ	緻密 良好 黒褐色	P-1
3	土師 杯	11.9 3.8	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外)黒色	P-1
4	土師 杯	10.8 3.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	P-12
5	土師 杯	11.8	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	
6	土師 杯	10.4	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-5
7	土師 杯	13.4	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	
8	土師 杯	12.6	ヘラミガキ,ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	
9	土師 杯	13.2	ヘラミガキ,ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	
10	土師 杯	9.2			緻密 良好 黄褐色	
11	土師 杯	9.2			密 良好 暗褐色(内)黒色	
12	土師 杯	9.8	ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	
13	土師 杯	10.2			緻密 良好 黄褐色,焼きむら	
14	土師 高杯	25.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)丹塗リ	P-9
15	土師 高杯	19.4	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色,焼きむら	P-17

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
16	土師 高杯	(口) (高) (底)12.4	(外)ヘラケズリ (内)	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)暗褐色	
17	土師 高杯		ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外)丹塗り	P-11
18	土師 高杯	15.3	ヘラケズリ	ヘラケズリ		
19	土師 埴	12.6	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	
20	須恵器 壺	17.6			緻密 良好 灰色	
21	土師 甕	8.8			やや粗い 良好 暗褐色	
22	土師 甕	20.1			粗い 良好 茶褐色	P-10
23	土師 甕	12.2	ハケメ ハケメ		粗い 良好 茶褐色	
24	土師 甕	5.8	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	P-18
25	土師 円筒	5.6	ハケメ、指頭痕 指頭痕、輪積み		粗い 良好 茶褐色	P-4
26	土師 小鉢	9.8 5.1 6.5		木葉痕	やや粗い 良好 暗褐色	
27	紡錘車	2.8 2.2 4.2			やや粗い 良好 茶褐色	
84 号 住居址 1	土師 高杯		ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	密 良好 茶褐色	
2	土師 壺		ハケメ ヘラミガキ、ハケメ		緻密 良好 褐色	P-6
3	土師 甕	14.0			緻密 良好 丹塗り	P-4
4	土師 甕	14.4	ハケメ ハケメ		緻密 良好 暗褐色	P-5
5	土師 甕	8.6 8.35 4.4	ハケメ ハケメ		密 良好 暗褐色	P-20
6	土師 甕	15.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-9
7	土師 甕	16.4	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-2

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
8	土師 甕	(口)14.0 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)暗褐色	
9	土師 甕	22.0	ハケメ		緻密 良好 暗褐色	P-18
10	土師 甕	15.9	ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	P-21
11	土師 甕	20.0	ハケメ ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-24
12	土師 台付甕	10.0		ヘラケズリ	粗い 良好 赤褐色	P-16
13	土師 台付甕	7.6	ヘラケズリ		粗い 良好 暗褐色	P-8
14	土師 台付甕	14.0	ハケメ		密、金雲母含む 良好 暗褐色	P-20
15	土師 台付甕	19.0	ハケメ		密 良好 暗褐色	P-10
16	土師 甕	7.0	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-21
85号 住居址 1	特殊器		ヘラミガキ		密 良好 褐色	フク土
2	土師 高坏	13.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密、3孔 良好 褐色	P-8
3	土師	6.3			密 良好 褐色	P-7
4	土師 台付甕	7.0	ハケメ	ヘラケズリ	密 良好 褐色	
5	高台 土師 台付甕	16.8	ハケメ		やや密 良好 褐色	
6	土師 台付甕	11.4	指頭底		やや粗い 良好 褐色	
86号 住居址 1	須恵器 蓋	14.4 4.0			緻密 良好 灰茶褐色	
2	土師 坏	11.4	ヘラケズリ		密 良好 (内外)丹塗り	
3	土師 坏	12.9	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 (内外)黒色	
4	土師 高坏	12.7	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-12

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
5	土師 坏	(口)15.3 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼) (色)(内)黒色	
6	土師 埴	16.6			緻密 良好 赤褐色	
7	土師 埴	9.1 8.9	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 明赤褐色	P-8
8	土師 甕	16.1	ハケメ ハケメ		やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	
9	土師 甕	17.8	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	P-3
10	土師 甕	6.8	ヘラケズリ ハケメ		密、砂粒含む 良好 黄褐色	P-1
11	土師 甕	8.4			やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	P-2
12	土師 鉢	17.2	ハケメ		やや粗い、砂粒含む 良好、焼きむら 赤褐色	
13	土師 甕	9.4			やや粗い 良好 赤褐色	
14	土師 甕	7.2		木葉痕	やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	P-13
87号 住居址 1	土師 坏	13.8 3.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 (内外面)黒色	P-1
	土師 坏	15.3 6.5	ヘラケズリ		密 良好 褐色	3/4片P-2
3	土師 甕	20.3 32.8 7.35	ヘラケズリ ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	P-1
	土師 坏	16.6 5.15	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 赤褐色	P-4
2	土師 高坏	16.0	ヘラミガキ、ハケメ ヘラミガキ、ヘラケズリ	ヘラミガキ	緻密 良好 赤褐色	P-2
3	土師 坏	12.0 4.8	ヘラミガキ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-8
4	土師 壺	3.6	ヘラミガキ ヘラミガキ、ハケメ	ヘラミガキ ヘラミガキ	緻密、白色粒含む 良好 黄褐色	P-8
5	土師	16.0	ヘラミガキ		緻密、金雲母含む 良好 赤褐色	P-1
6	土師 壺	8.0	ヘラミガキ、ヘラケズリ ハケメ		粗い、雲母、白色粒含む やや不良 赤褐色	P-6

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
7	土師 台付甕	(口)14.0 (高) (底)	(外)ハケメ (内)ヘラケズリ、ハケメ	(外) (内)	(胎)やや粗い、金雲母含む (焼)良好 (色)黒褐色	P-10
8	土師 台付甕	14.9 29.7 9.6	ハケメ、指頭痕 ハケメ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 黒褐色	P-7
89号 住居址 1	土師 高坏	15.4	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-2
2	土師 高坏	21.6	ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-6
3	土師 高坏				密 良好 茶褐色	P-3
4	土師 台付甕	14.2	ハケメ ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-5
5	土師 台付甕	14.8	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-3,5
6	土師 台付甕	12.2	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	
7	土師 台付甕		ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	フク土
90号 住居址 1	土師 高坏				密 良好 暗赤褐色	土壇2
2	土師 台付甕	15.0 7.4	ヘラケズリ		緻密 良好 暗赤褐色	土壇1
91号 住居址 1	土師 坏	12.6 4.0	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	
2	土師	20.4	暗文 暗文		やや粗い 良好 赤褐色	
3	土師	4.4	暗文 暗文		密 良好 焼きむら 褐色	
4	土師 甕	16.0	ハケメ		密 良好 暗褐色	
5	土師 台付甕	12.0	ハケメ		やや粗い、金雲母含む 良好 暗褐色	
6	土師 台付甕	10.0	ヘラケズリ、ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
92号 住居址 1	須恵器 坏	(口)8.6 (高) (底)3.5	(外) (内)	(外)線刻 (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	P-29
2	土師 坏	12.6 3.0	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-11
3	土師 坏	12.4 3.7	ヘラケズリ		密 良好 褐色	
4	土師 坏	14.0	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	フク土
5	土師 坏	12.5 3.7	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	密 良好 (内外)黒色	P-16
6	土師 坏	12.6 3.7	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)黒色	P-27
7	土師 坏	12.0	ヘラミガキ			
8	土師 坏	16.3 6.4	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 黄褐色(内)焼きむらあり	P-15
9	土師 高坏	14.5	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密,雲母含む 良好 赤褐色	P-28
10	土師 高坏	12.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ,ハケメ (脚部のみ)	緻密 良好 赤褐色	P-21
11	土師 高坏	14.6	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 茶褐色	脚部四方に口 穴 P-6
12	土師 埴	8.8 5.15	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 (内)黒彩	内面にコルクフ タ取のしり付者 P-32
13	土師 埴	11.2 6.1	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 赤褐色(内)黒褐色	P-20
14	土師 鉢	13.4	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-18
15	土師	11.0			やや粗い 良好 赤褐色	
16	土師 甕	12.6 12.5 10.0			粗い 良好 褐色	P-25
17	土師 高台付鉢	9.2			やや粗い 良好 赤褐色	P-4
18	土師 甕	17.5 32.0 5.9	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ	木葉痕	やや粗い,雲母,白色粒含む 良好 赤褐色	P-12
19	土師 甕	20.0 32.3 7.15	ヘラケズリ		密 良好 暗赤褐色	P-7

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
20	土師 甕	(口)12.2 (高) (底)	(外) (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い (焼)やや不良 (色)赤褐色	P-25
21	土師 甕	20.4	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-7
22	土師 鉢	13.0			粗い 良好 暗赤褐色	P-17
23	土師 甕	20.0	ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	P-10
24	土師 甕		ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-19
25	土師 甕	12.8 10.6 5.8	ヘラケズリ, 指頭痕	木葉痕	粗い 良好 赤褐色(内)黒褐色	P-30
26	土師 甕	22.0	ヘラケズリ, 輪積み		粗い 良好 赤褐色	フク土
93 号 住居址 1	須恵器 蓋	13.8 3.95			緻密 良好 灰色	P-1
2	須恵器 蓋	13.6	線軸あり		緻密 良好 青灰色	
3	土師 坏	13.0 3.4			緻密 良好 (内外)丹塗り	P-21-B
4	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		密, 赤色粒含む 良好 (内外)丹塗り	P-14
5	土師 坏	13.2 3.7			密 良好 暗褐色	
6	土師 坏	13.7 3.6	ヘラケズリ		密, 赤色粒含む 良好 黄褐色	P-10
7	土師 坏	12.8 3.6	ヘラケズリ, ヘラミガキ ヘラケズリ, ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-17
8	土師 坏	13.6 3.7	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 黒褐色	P-16
9	土師 坏	12.1	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-13
10	土師 坏	14.0 3.7	ヘラケズリ, ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 黒褐色	P-2
11	土師 坏	13.6 3.9			やや粗い 良好 (内外)黒褐色	P-9
12	土師 坏	14.2	ヘラミガキ ヘラミガキ		密, 赤色粒含む 良好 (内外)黒褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
13	土師 杯	(口)14.2 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)丹塗り(内)黒色	772上, 南壁土庫
14	土師 杯	13.6	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 暗褐色、(内外)黒彩	
15	土師 杯	13.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 (内外)黒彩	P-15
16	土師 高杯	19.3 19.6 17.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密、白色粒含む 良好 黄褐色	P-20
17	土師 高杯	12.5 9.5 11.0	ヘラケズリ	ハケメ	緻密、雲母含む 良好 (内外)黒彩	P-4
18	土師 高杯	13.5 10.2 11.0	ヘラケズリ	ヘラケズリ	密、赤色粒含む 良好 (内外)丹塗り	P-21-A 南壁土庫
19	土師 鉢	16.0 7.0	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 暗褐色(内外)黒色	P-8
20	土師 鉢	19.0	ヘラケズリ		密、赤色粒含む 良好 暗褐色	P-8
21	土師 甕	8.5	ハケメ ハケメ		やや粗い、赤色粒含む 良好 褐色	P-21-C
22	土師 甕	16.0 13.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	
23	土師 瓶	17.6 14.3 6.5	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-21
94 号 住居址 1	土師 瓶	11.0	ヘラケズリ ヘラケズリ、ハケメ		緻密 良好 褐色	P-4
95 号 住居址 1	土師		ヘラケズリ後、ヘラミガキ ヘラケズリ、ヘラナデ		良好	P-2
2	土師 甕	15.4	ヘラケズリ		良好	
3	土師 台付甕	10.8	ハケメ ヘラケズリ		良好	
4	土師 台付甕		ハケメ ヘラケズリ		良好	P-1

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
96 号 住居址 1	土師 高坏	(口)12.0 (高) (底)	(外)	(外)	(胎)密 (焼)良好 (色)褐色	P-3
	2	25.7	(内)ヘラミガキ	(内)	密 良好 (内外)丹塗り	P-1
	3			ヘラミガキ	密 良好 丹塗り	P-3
	4	13.8	ハケメ		密 良好 褐色	
	5		ヘラケズリ、ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-2
	6	12.3	ハケメ		密 良好 褐色	P-1
	7	14.5	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	
97 号 住居址 1	土師 高坏	11.7	ヘラケズリ		やや粗い、赤色粒含む 良好 褐色	P-1
	2	12.4	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	
	3	21.0	ヘラケズリ、ハケメ		密 良好 褐色	P-4
	4	8.6	ヘラミガキ		密、赤色粒含む 良好 褐色	P-6
	5	14.9 29.7 10.8	ハケメ		緻密 良好 褐色	P-5
	6	12.0	ヘラケズリ	ヘラミガキ	緻密 良好 明褐色	P-12
	7	4.1	ヘラミガキ	ヘラミガキ	密、石英含む 良好 黒褐色	P-15
98 号 住居址 1	土師 高坏	13.1 4.5	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	密、石英含む 良好 黒褐色	P-5
	2	12.6 4.7	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-5
	3	12.4 3.9	ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 (内外面)黒色	P-2
	4	11.5 4.05	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密、焼きむら 良好 (内外面)黒色	
	5	13.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密 良好 (内外面)黒色	
	6	12.3	ヘラミガキ		緻密 良好 (内外面)黒色	
	7	12.3	ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密 良好 (内外面)黒色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
8	土師 環	(口)12.0 (高) (底)	(外)ヘラミガキ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎)緻密、赤色粒含む (焼)良好 (色)内外面黒色	
9	土師 環	12.75 4.8	ヘラケズリ		密、砂粒含む 良好 内外面黒色、焼きむら	P-1
10	土師 環	12.6 4.3	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 赤褐色、(内)黒褐色	P-7
11	土師 環	10.2 4.4	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	P-4
12	土師 鉢	15.6 6.5	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外面)黒色	P-10
13	土師 鉢	18.2 8.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 明褐色(内)暗褐色	P-6
14	土師 壺	11.15 6.6	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-3
15	土師 高環	14.2 17.1 13.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	輪轆み ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)黒彩	P-9B
16	土師 高環	13.0 15.4 11.7	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	P-9A
17	土師 高環	14.6	ヘラケズリ		密 良好 丹塗(内)黄褐色	P-8
18	土師 高環	13.8 8.7 10.05	ヘラケズリ		緻密 良好 明褐色	P-18
19	土師 甕	15.8 34.6 8.1	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色 焼きむら	P-13 焼土付着
20	土師 甕	16.0			密、小石含む 良好 赤褐色	スス付着
21	土師 甕	14.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	カマドP-1
22	土師 甕	6.5	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 暗褐色	P-16
23	土師 甕	11.1 10.5 5.6	ヘラケズリ ハケメ	ヘラケズリ	やや粗い、砂粒含む 良好 赤褐色	P-13
24	土師 瓶	3.6	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
99号 住居址 1	須恵器 坏	(口) (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	緑釉あり
2	須恵器 蓋				緻密 良好 灰白色	緑釉あり
3	土師 坏	14.0			密 良好 (内外)丹塗り	
4	土師 坏	12.2	ヘラケズリ		密 良好 (内外)丹塗り	
5	土師 坏	13.7	ヘラミガキ		密 良好 (内外)黒色	
6	土師 坏	12.8	ヘラミガキ		密 良好 内外黒色	
7	土師 坏	12.7	ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	P-28
8	土師 坏	13.2	ヘラケズリ,ヘラミガキ		緻密 良好 (内外)黒色	P-17
9	土師 坏	11.4	ヘラケズリ		密 良好 (内外)黒褐色	P-8
10	土師 坏	13.6 5.8 3.2	ヘラケズリ,ヘラミガキ		密 良好 内外黒色	P-2
11	土師 高坏	10.4	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	
12	土師 鉢	20.1 8.2	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-27
13	土師 甕	14.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	
14	土師 甕	18.3	ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-24
15	土師 甕	18.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-30
16	土師 甕	18.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-35
17	土師 手捏	3.1	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色、焼きむら	P-7
18	土師 甕	11.4	ハケメ		緻密 良好 暗褐色	P-10
19	土師 甕	15.1	ハケメ		やや粗い 良好 褐色、焼きむら	P-42

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
20	土師 甕	(口)14.5 (高)34.4 (底)6.2	(外)ハケメ (内)ハケメ	(外)木葉痕 (は裏面のまわりをへ らケズリしていい)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-10
21	土師 甕	6.8	ハケメ		粗い、2m/mの砂粒含む 良好 褐色	P-37
22	土師 甕	10.9	ハケメ	木葉痕	粗い 良好 赤褐色	P-1
23	土師 鉢	20.8			やや粗い 良好 暗褐色	焼むら
100号 住居址 1	土師 坯	12.4 3.6	ヘラケズリ	ヘラケズリ	密 良好 (内外)丹塗り	P-1
2	土師 坯	11.7	ヘラケズリ、ヘラナデ ヘラミガキ		緻密、石英含む 良好 暗褐色	P-1
3	土師 坯	11.9 3.0	ヘラミガキ	ヘラミガキ	密、赤色粒子含む 良好 暗褐色	P-14,17
4	土師 坯	12.45 3.5	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 赤褐色	P-1
5	土師 坯	12.3 3.5	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 赤褐色	P-2
6	土師 坯	12.8 3.7	ヘラケズリ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密、スズ付着 良好 赤褐色	P-3
7	土師 坯	11.9 3.3	ヘラケズリ、ヘラミガキ		密 良好 赤黄褐色	P-5
8	土師 坯	15.4	ヘラケズリ		密 良好 明褐色	
9	土師 坯	12.3 3.65	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ (内)ヘラミガキ	緻密 良好 暗褐色	P-7
10	土師 甕	16.7 29.4 7.1	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 赤褐色	P-13
11	土師 甕	17.2	ハケメ		緻密、小石含む 良好 明褐色	P-8
12	土師 甕	18.9			密、砂粒含む 良好 暗褐色	P-24
13	土師 甕	8.9	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い、砂粒含む 良好 茶褐色	P-25
14	土師 瓶	21.8 26.0 8.9	ヘラケズリ、ハケメ		緻密 良好 茶褐色	P-12
15	土師 瓶	16.0 13.15 5.7	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-16

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
101号 住居址 1	灰釉	(口)14.5 (高)6.7 (底)6.6	(外)	(外)割継未切り	(胎)密 (焼)良好 (色)灰白色	底面に赤い斑が 残る P-4
	台付壺	16.2	(内)	(内)	緻密 良好 灰白色	P-14
	灰釉	16.4			緻密 良好 灰白色	内面は緑釉
4	土師 杯	10.8 3.0 4.8	横ナデ	割継未切り	粗い 良好 赤褐色	P-1
5	土師 杯	11.0 3.05 5.6	横ナデ	割継未切り	やや粗い 良好 赤褐色	P-23
6	土師 杯	11.0			やや粗い 良好 赤褐色	P-12
7	土師 杯	8.4			密 良好 褐色	フク土
8	土師 杯	10.0			密 良好 赤褐色	
9	土師 杯	18.0			粗い 良好 暗褐色	P-15
10	土師 甕	28.0	(内)ハケノ		粗い 良好 黒褐色	P-11
11	土師 甕	14.5			粗い 良好 暗褐色	
12	土師 甕	14.6			緻密 良好 黒褐色	
102号 住居址 1	須恵器 杯				良好	P-48
	須恵器 高杯					
	土師 杯	13.15 4.3	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 (内外)丹塗り	P-16
	土師 杯	15.0 3.45	ヘラケズリ,ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 (内外)丹塗り	P-25
	土師 杯	12.8	ヘラケズリ		密、赤色粒子含む 良好 黄褐色	P-12
	土師 杯	12.2 3.6	ヘラケズリ		やや粗い、赤色粒子含む 良好 暗褐色	P-14
	土師 杯	12.8 5.3 4.5	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-44

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
8	土師 杯	(口)13.3 (高)4.9 (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外)ヘラケズリ (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)黄褐色	P-2
9	土師 杯	11.6	ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-18 (6d)
10	土師 杯	12.6 5.7			密、赤色粒子含む 良好 褐色	P-39
11	土師 杯	14.4	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 褐色	P-33
12	土師 杯	5.2		線刻	やや粗い、赤色粒子含む 良好 褐色	P-34
13	土師 杯	4.4	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色、焼きむら	P-29
14	土師 杯	13.2	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色 焼きむら	P-31
15	土師 杯	14.3			密、赤色粒子含む 良好 褐色	P-32
16	土師 杯	14.8			密、赤色粒子含む 良好 褐色	P-32
17	土師 杯	11.4 5.6	ヘラミガキ		緻密 良好 黄褐色	P-17
18	土師 高杯	14.3 7.75 11.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 赤褐色	P-41
19	土師 高杯	10.6	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-47
20	土師 高杯	14.8	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 赤黄褐色	P-5
21	土師 碗	10.6 8.0	ヘラケズリ 爪状の痕跡		緻密 良好 赤黄褐色	P-48
22	土師 鉢	13.2			密 良好 茶褐色	P-29
23	土師 杯	16.8			やや粗い 良好 褐色	フク土
24	土師 甕	10.5	ヘラケズリ		やや粗い、小石含む 良好 褐色	P-18
25	土師 甕	19.0 28.6 9.0		ヘラナデ	やや粗い、金黄雲母含む 良好 茶褐色	P-17-2カマド
26	土師 甕	17.2 27.9 8.6	ヘラケズリ 輪積み		やや粗い、小石含む 良好 褐色、焼きむら	P-8

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
27	土師 甕	(11)16.2 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い、赤色粒子含む (焼)良好 (色)黄褐色	P-49カマド
28	土師 甕	16.6			やや粗い、小石含む 良好 褐色	P-28
29	土師 甕	15.6			やや粗い、砂粒含む 良好 黄褐色	P-8
30	土師 甕	18.0			やや粗い、小石含む 良好 褐色	フク土
31	土師 甕	16.6	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い、小石含む 良好 暗褐色	フク土
32	土師 甕	17.7 28.4 8.5	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-40
33	土師 甕	25.9	ヘラケズリ		やや粗い、小石含む 良好 褐色	34番底と 同一体か? P-17-2
34	土師 甕	7.6			やや粗い、小石含む 良好 褐色	
35	土師 甕	34.6	ハケメ		やや粗い、小石含む 良好 黄褐色 焼むら	フク土
103号 住居址 1	土師 杯	16.0	ハケメ ハケメ、暗文		緻密 良好 赤褐色	
2	土師 高杯	18.4			良好	
3	土師 埴	16.0	暗文		緻密 良好 赤褐色	
4	土師 台付甕	13.0	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い、焼むら 良好 褐色	P-1
104号 住居址 1	土師 杯	14.1 4.2	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 (内外面)黒色	P-16
2	土師 杯	11.8 4.3	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ	緻密 良好 (内外面)黒色	P-18
3	土師 甕	21.6	ハケメ ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-2.7
4	土師 甕	12.8 13.0 7.0	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 暗褐色	
5	土師 甕	15.9	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 暗褐色	
6	土師 甕	6.8			良好	カマドP-3

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
7	土師 甕	(口)21.2 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)黄褐色	
8	土師 甕	22.2			やや粗い 良好 赤褐色	
9	土師 甕	22.6			緻密 良好 赤褐色	P-1
10	土師 円筒	9.0 16.7	ハケメ、ヘラケズリ 輪積み、指頭痕		やや粗い 良好 赤褐色	P-9
11	土師 円筒	7.5 16.1 5.5	ヘラケズリ 輪積み			カマドP-2
105号 住居址 1	土師 壺	17.0			緻密 良好 赤褐色	P-1
106号 住居址 1	土師 杯	14.0 4.65	ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 明赤褐色	
2	土師 杯	14.6	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	P-1
3	土師 杯	13.0			密 良好 赤褐色	
4	土師 杯	7.0 4.0			粗い 良好 赤褐色	
5	土師 杯	12.6 3.9	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	
6	土師 杯	13.0	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	
7	土師 杯	12.0	ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	
8	土師 埴	12.8 6.4	ヘラケズリ ヘラナデ		粗い やや不良 赤黄褐色	P-3
9	土師 埴	12.6 6.5	ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	
10	土師 鉢	10.0	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	
11	土師 甕	12.0 10.7 7.7	ヘラケズリ ヘラナデ、ハケメ		やや粗い 良好 明赤褐色	
12	土師 甕	5.2	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-1

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
13	土師 甕	(口)21.3 (高)30.5 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	
14	土師 瓶	17.6 13.3	ヘラケズリ (内)ヘラケズリ、ヘラナデ		緻密 良好 黄褐色	P-4
15	土師 支柱	4.6 18.5 5.0			やや粗い 良好 赤褐色	
16	土師 手捏	3.8			やや粗い 良好 褐色	
107号 住居址 1	須恵器 蓋	12.8			良好	
2	土師 短首壺	12.0			良好	
3	土師 杯	14.2	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外)丹塗り	フク土
4	土師 杯	12.6			やや粗い 良好 (内外)丹塗り	P-8
5	土師 杯	16.0			緻密、赤色粒子含む 良好 (内外)丹塗り	
6	土師 杯	12.4			緻密 良好 (内外)丹塗り	
7	土師 杯	12.4			緻密 良好 赤褐色	P-1
8	土師 杯	12.2 3.7	ヘラケズリ	瓦版に遺跡あり ヘラミガキ	粗い 良好 (内外面)黒色	P-2
9	土師 杯	9.0 5.1	ヘラケズリ		緻密 良好 (内外面)黒色	P-12
10	土師 杯	10.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-1
11	土師 壺	13.0 8.4	ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色、一部焼むらあり	P-13
12	土師 壺	10.0			密 良好 黄褐色	
13	土師 甕	7.0		木業痕	粗い 良好 赤褐色	
14	土師 壺	19.6			粗い、小石含む 良好 黄褐色	P-4,5,7
15	土師 甕	20.6	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	フク土

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
16	土師 甕	(口)20.0 (高) (底)	(外)	(外)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)黄褐色	P-10
108号 住居址 1	須恵器 蓋	12.8			緻密 良好 灰白色	P-8
2	土師 杯	13.4 3.5			緻密 良好 (内外)丹塗り	P-25
3	土師 杯	14.6 3.8			緻密 良好 (内外)丹塗り	P-2
4	土師 杯	13.9			緻密 良好 (内外)丹塗り	P-12
5	土師 杯	14.0 4.5	ヘラケズリ		やや粗い 良好 丹塗り(内)黒色	P-13
6	土師 杯	14.8 3.9			緻密 良好 丹塗り(内)黒色	
7	土師 杯	12.7 4.8			やや粗い 良好 (内)黒色	P-2
8	土師 杯	12.7 4.5	ヘラケズリ		やや粗い 良好 褐色	P-4
9	土師 杯	12.8			緻密 良好 黄褐色	
10	土師 杯	15.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	
11	土師 高杯	14.4	ヘラケズリ		密 良好 (内)黒色	P19,20,27
12	土師 杯	13.8 6.8 4.7	ヘラケズリ		密 良好 (外)丹塗り(内)黒色	P-9
13	土師 高杯	11.0			密 良好 黄褐色	
14	土師 高杯	19.2			密 良好 丹塗り、(内)黒色	P-22
15	土師 高杯	14.3 9.8 12.5	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り、(内)黒色	P-19,30
16	土師 高杯	15.6			緻密 良好 丹塗り、(内)黒色	P-10
17	土師 高杯	13.4 10.4 11.0		ヘラケズリ	密、赤色粒子含む 良好 黄褐色	P-24
18	土師 鉢	21.6			密 良好 (内外)丹塗り	P-6,7

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
19	土師 甕	(口)19.4 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密、赤色粒子含む (焼)良好 (色)茶褐色	P-29
20	土師 甕	11.9			粗い、赤色粒石英含む 良好 黄褐色	P-1
21	土師 甕	15.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-14
22	土師 甕	24.8	ハケメ ハケメ		粗い 良好 暗褐色	P-21
23	土師 甕	14.0	ハケメ		密 良好 褐色	炭素吸着
24	土師 甕	14.6 12.6 5.0			良好	P-28
25	土師 甕	26.0	ヘラケズリ		粗い、石英、小石含む 良好 黄褐色	P-3
109号 住居址 1	土師 杯	12.4			緻密 良好 赤褐色	P-1
2	土師 杯	13.6			密 良好 茶褐色	
3	土師 鉢	14.0			密 良好 赤褐色	
4	土師 甕	28.0 7.3	ヘラケズリ、ハケメ ヘラケズリ、ハケメ		粗い 良好 黄褐色	P-13
5	土師 甕	17.0			やや粗い 良好 褐色	P-6
6	土師 壺	8.3			粗い 良好 暗褐色	P-11
7	土師 鉢				緻密 良好 赤褐色	P-5
110号 住居址 1	土師 杯	15.4	線刻		密、赤色粒子含む 良好 黒色	
2	土師 杯	12.4			密、赤色粒子含む 良好 赤褐色	
3	土師 高杯	9.6	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	
4	土師 杯	17.8	ヘラケズリ		良好	P-2

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
111号 住居址 1	土師	(口)14.0 (高)5.0 (底)4.0	(外)ヘラミガキ	(外)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)(外)丹塗り	P-27
	杯		(内)	(内)		
2	土師	14.0 5.8			密 良好 黄褐色	P-26
	杯	2.9				
3	土師	13.8 5.7	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-6
	杯		ヘラケズリ			
4	土師	14.0	ヘラミガキ		密 良好 褐色	フク土
	杯					
5	土師	11.0		ヘラケズリ	密 良好 褐色	フク土
	杯					
6	土師	16.0			内外丹塗り	
	杯					
7	土師	18.0	ヘラケズリ		粗い 良好 黄褐色	P-3
	甕		ヘラケズリ			
8	土師	18.0	ヘラケズリ		粗い 良好 明褐色	P-25
	甕		ヘラケズリ			
9	土師	20.0	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-10,12
	甕		ハケメ			
10	土師	19.8			やや粗い 良好 茶褐色	P-33
	甕					
11	土師	8.0			密 良好 黄褐色	P-4
	瓶					
12	土師	16.5 29.5	ヘラケズリ,指挿組		粗い 良好 茶褐色	P-34
	甕	7.8	ハケメ			
13	土師	19.0			粗い 良好 黄褐色	P-13
	甕					
14	土師		ヘラケズリ		粗い,砂粒含む 良好 茶褐色	P-31
	甕	8.0				
15	土師				粗い,砂粒含む 良好 茶褐色	P-5
	甕	8.2				
16	土師		ロクロ		やや粗い 良好 茶褐色	
	甕	8.0				
17	土師				粗い 良好 茶褐色	P-22
	甕					
18	土師	31.8			粗い 良好 茶褐色	P-23
	鉢					

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
112号 住居址 1	土師 環	(口) (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)(内外面)黒色	
2	土師 環	7.6		糸切り	緻密 良好 赤褐色	P-2
3	土師 環	13.2			緻密 良好 (内外)黒彩	
4	土師 高環	12.0 6.9 8.8	ヘラケズリ		密 良好 (内外)丹塗り	
5	土師 甕	9.4	ハケメ	木葉痕	粗い 良好 黄褐色	
6	土師 甕	21.4	ハケメ		粗い 良好 黄褐色	
113号 住居址 1	須恵器 環	12.0	ロクロ		緻密 良好 灰色	
2	土師 環	11.0			良好 褐色	
3	土師 環	13.4	ヘラケズリ		良好 (外)丹塗り	P-12
4	土師 環	22.0	ヘラケズリ		良好 暗褐色	
5	土師 環	14.0			良好 暗褐色	
6	土師 環	13.4	ヘラケズリ		良好 茶褐色	
7	土師 環	13.4	ヘラケズリ		良好 (内外面)黒色	P-3
8	土師 環	13.9 4.3 9.2	ヘラケズリ		良好	P-9
9	土師 環	13.2	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
10	土師 埴	6.0	ヘラケズリ (内)ヘラケズリ		密 良好 黄褐色(内)黒色	P-2
11	土師 甕	10.2			良好 黄褐色(内)黒色	
12	土師 瓶	16.6	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-4
13	土師 甕	26.6 33.3 10.2	ハケメ、ヘラケズリ (内)ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
14	土師 甕	(口)19.2 (高) (底)	(外) (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	P-4
15	土師 甕	8.2	ヘラズリ,ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-8
16	土師 甕	26.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-14
114号 住居址 1	須恵器 蓋	12.2			緻密 良好 灰白色	P-28
2	土師 蓋	12.8 4.25			やや粗い 良好 暗褐色	
3	土師 杯	11.8			密 良好 丹塗り	P-30
4	土師 杯	13.4			密 良好 丹塗り	
5	土師 杯	12.6			密 良好 丹塗り	
6	土師 杯	12.0 4.25	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	P-63
7	土師 杯	11.2		ヘラズリ	密 良好 茶褐色	P-25
8	土師 杯	13.6			密 良好 暗褐色	P-6
9	土師 杯	13.6			密 良好 黒色	P-54
10	土師 杯	14.0 3.7 6.3			密 良好 暗褐色	
11	土師 杯				密 良好 褐色	P-48
12	土師 杯	12.9			密 良好 黒色	
13	土師 杯	13.2			密, 砂粒含む 良好 褐色	
14	土師 高杯	10.2	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-28
15	土師 高杯	12.4	ヘラケズリ		密 良好 (外)丹塗り(内)黒色	P-2
16	土師 小型甕		ヘラミガキ		密 良好 明褐色	P-48

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
17	土師 埴	(口)12.8 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)茶褐色(内)黑色	
18	土師 壺	14.4	ハケメ ハケメ		密 良好 赤褐色	
19	土師 甕	15.6			良好 茶褐色	P-50
20	土師 甕	15.8	ハケメ ハケメ		良好 茶褐色	P-65
21	土師 甕	14.8			密 良好 (外)丹塗リ(内)褐色	P-9
22	土師 甕	18.5 32.5 6.5	ヘラケズリ,指頭痕 ヘラケズリ	木葉痕	粗い 良好 黄褐色	P-52 P-53
23	土師 甕	17.0 30.0 5.8	ヘラケズリ		粗い 良好	P-52
24	土師 甕	21.8	ハケメ ハケメ		密 良好 茶褐色	P-47
25	土師 甕	5.7			粗い 良好 暗褐色	P-57
26	土師 甕	8.0	ハケメ ハケメ,指頭痕		砂粒,雲母含む 良好 茶褐色	P-36
27	土師 甕	18.4 34.8 5.4	ハケメ ハケメ	木葉痕	石英、長石含む 良好 茶褐色	P-20
28	土師 甕	19.2 33.0 7.1	ハケメ ハケメ		砂粒含む 良好 茶褐色	P-18
29	土師 甕	6.3	ハケメ		粗い 良好 褐色	P-26, 28
30	土師 瓶	5.2			粗い 良好 茶褐色	P-13
31	須恵器 壺	13.8			緻密 良好	
32	須恵器 長瀬壺	10.0			緻密 良好	
115号 住居址 1	土師 高坏	16.0			緻密 良好 茶褐色	
2	土師 高坏	17.2			緻密 良好 茶褐色	
3	土師 高坏	8.0			やや粗い 良好 黄褐色	P-5

番 号	器 種	法 量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
4	土師 甕	(口)13.0 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)褐色	P-3
5	土師 甕	15.2	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	P-6
6	土師 台付甕	19.2	ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-4
7	土師 台付甕	17.0	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	P-2
116号 住居址 1	土師	13.4	ヘラケズリ,ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-27
	杯	5.6 3.4				
2	土師	14.0	ヘラケズリ		密 良好 丹塗り	P-11
	杯		ヘラケズリ			
3	土師	13.0			緻密 良好 茶褐色	
	杯					
4	土師	16.0	ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-35
	杯					
5	土師	15.6	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-3
	杯					
6	土師	17.4			密 良好 暗褐色	P-14
	高杯					
7	土師	16.0			粗い 良好 茶褐色	
	甕		ハケメ			
8	土師	5.1	指頭痕		密 良好 茶褐色	P-17
	手捏	4.3	指頭痕			
9	土師				粗い 良好 茶褐色	P-23
	甕	8.0	ヘラケズリ			
10	土師	18.8			密 良好 茶褐色	P-22
	甕					
11	土師	23.8	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-10
	甕					
117号 住居址 1	土師	10.3	ヘラケズリ		密 良好	P-11
	杯	4.6				
2	土師	12.8				P-12
	杯	3.8				
3	土師		ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-13
	高杯	9.4				
4	土師 甕	20.0	(内)ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	P-8

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
5	土師 瓶	(口)18.0 (高) (底)	(外)ハケメ (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)	P-1
6	土師 甕	18.3 23.8 8.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-10
7	土師 甕	19.8 37.1 5.6	ハケメ ハケメ	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	P-2
118号 住居址 1	須恵器 杯				緻密 良好 青灰色	
2	土師 杯	11.0			やや粗い 良好 褐色	
3	土師 甕	9.2			粗い、金雲母含む 良好 茶褐色	
119号 住居址 1	須恵器 杯	11.5			緻密 良好 灰色	P-7
2	須恵器 高杯	14.8			緻密 良好 灰色	P-6
3	土師 高杯	11.0 7.6 9.8	ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 褐色	P-16
4	土師 壺				密 良好 黄褐色	P-12, P-13
5	土師 甕	15.2			やや粗い 良好 茶褐色	P-12
120号 住居址 1	土師 壺				粗い 良好 褐色	
2	土師 小型甕	9.0	ヘラミガキ, 線刻		緻密 良好 茶褐色	
121号 住居址 1	土師 杯	13.0			緻密 良好 褐色	P-2
2	土師 杯	13.3			緻密 良好 黄褐色	P-6
3	土師 甕	6.6	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	P-14
4	土師 手捏	3.4	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 黄褐色(焼きむらあり)	P-20

番 号	器 種	法 量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
122号 住居址 1	土師 杯	(口)11.7 (高)4.0 (底)5.5	(外)横ナデ (内)	(外)同転未切り (内)	(胎)密,赤色粒含む (焼)良好 (色)黄褐色	P-21
2	土師 杯	11.9 4.1 5.6			緻密,赤色粒含む 良好 茶褐色	P-21
3	土師 杯	14.2 4.2 6.0	横ナデ	同転未切り	緻密,赤色粒含む 良好 茶褐色	P-12
4	土師 杯	10.8 4.2 5.0	横ナデ 暗文	同転未切り	緻密 良好 茶褐色	P-20
5	土師 杯	11.0	ヘラケズリ 暗文	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-17
6	土師 台付杯	10.9 4.5 6.6			緻密 良好 茶褐色	P-5
7	土師 台付杯	7.0			粗い,赤色粒含む 良好 茶褐色	P-15
8	土師 杯	14.4			緻密,赤色粒含む 良好 茶褐色	P-23
9	土師 杯	14.1 2.3 5.0			緻密,赤色粒含む 良好 茶褐色	P-10
10	土師 杯	14.6	ヘラケズリ		緻密 良好 黄褐色	
11	土師 杯	13.4 2.8 5.5			緻密 良好 茶褐色	P-16
12	土師 蓋				緻密,赤色粒含む 良好 茶褐色	P-22
13	土師 蓋	19.0			緻密 良好 茶褐色	P-17
14	土師 甕	14.2	ハケメ		粗い 良好 褐色	P-13
15	土師 甕	11.6	ハケメ		粗い 良好 暗褐色	P-21
16	土師 羽釜	27.2			粗い 良好 暗褐色	P-3
17	灰釉 壺				緻密 良好 緑灰色	P-19

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
123号 住居址 1	土師 杯	(口)11.4 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)	(外) (内)	(胎)密,赤色粒含む (焼)良好 (色)茶褐色	P-1
2	土師 高杯			ハケメ	密 良好 暗褐色	
3	土師 甕	13.0	ハケメ		粗い,砂粒,赤色粒含む 良好 褐色	
4	土師 甕	17.0 24.0 7.5	ヘラケズリ		粗い,砂粒,赤色粒含む 良好 褐色	P-1
5	土師 甕	15.0	ハケメ		密 良好 赤褐色	P-2
6	土師 甕	7.5	ヘラケズリ ヘラケズリ,輪組み		やや粗い 良好 褐色	
124号 住居址 1	土師 杯	13.8			密 良好 褐色	フク土
2	土師 甕	6.6	ヘラケズリ		やや粗い,砂粒含む 良好 黄褐色	フク土
125号 住居址 1	土師 杯	14.8			密 良好 赤褐色	
2	土師 甕	14.0			やや粗い 良好 赤褐色	
126号 住居址 1	土師 杯	13.0	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-2
2	土師 杯	12.6	ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	
3	土師 埴	13.2 7.0	ヘラケズリ,ヘラミダキ ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	
4	土師 甕	10.4	ハケメ ハケメ		粗い,金雲母含む 良好 暗褐色	
5	土師 甕	8.0			やや粗い 良好 茶褐色	
127号 住居址 1	土師 台付埴	8.1			やや粗い,赤色粒含む 良好 褐色	P-1
128号 住居址 1	土師 甕	18.4			やや粗い,砂粒含む 良好 黄褐色	P-1

番 号	器 種	法 量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
129号 住居址 1	土師 杯	(口) (高) (底)4.6	(外)へラケズリ (内)暗文	(外) (内)	(胎)密,赤色粒含む (焼)良好 (色)赤褐色,(内)黒色	
2	土師 杯	6.2	横ナデ	回転未切り	粗い 良好 赤褐色	P-5
3	土師 高台竹杯		へラミガキ	へラケズリ	緻密 良好 茶褐色(内)黒色	P-10
4	土師 杯	14.2			粗い 良好 褐色	
5	土師 高杯	12.0			やや粗い,赤色粒含む 良好 茶褐色	
6	土師 杯	10.2 1.9 5.5	横ナデ	回転未切り	粗い 良好	P-7
7	土師 杯	17.0			密 良好 褐色(内)黒色	
8	土師 甕	7.6	ハケメ		やや粗い 良好 褐色	P-9
9	土師 甕	8.0	ハケメ ハケメ		密,金雲母含む 良好 暗褐色	P-2
10	土師 甕	24.0	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	
130号 住居址 1	土師 杯	16.0 6.1	へラケズリ へラミガキ(筒子全量する)	へラケズリ	緻密 良好 黄褐色	P-1
2	土師 杯	13.1	へラケズリ		密 良好 黄褐色	P-11
3	土師 手捏	5.8 3.4 6.0	指頭痕 指頭痕		密 良好 黄褐色	
4	土師 甕	35.0	へラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-3
5	土師 甕	22.0			緻密 良好 黄褐色	P-7
6	土師 甕	15.6 13.9 7.4	ハケメ ハケメ		やや粗い,砂粒含む 良好 黄褐色	P-3,9
7	須恵器				良好 青灰色	P-2

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
131号 住居址 1	須恵器 蓋	(口)12.0 (高) (底)	(外)ロクロ (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色,自然釉あり	P-7
2	土師 杯	13.0 5.9	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ ヘラミガキ	良好 赤褐色	P-13
3	土師 高杯	14.2			密 良好 赤褐色	P-10
4	土師 杯	13.4 5.0		線刻	密 良好 黄褐色	P-13
5	土師 杯	13.0 6.0	ヘラケズリ ヘラミガキ		良好 暗褐色	P-1
6	土師 杯	10.9 5.3	ヘラケズリ,ヘラミガキ ヘラミガキ		良好 赤褐色	P-9
7	土師 杯	13.9 6.6	ヘラケズリ ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	P-32
8	土師 杯	12.9	ヘラケズリ		良好 赤褐色	P-8
9	土師 杯	14.0 6.5			密 良好 褐色	P-32
10	土師 杯	12.4 6.0	ヘラミガキ ヘラミガキ		良好 赤褐色	P-5
11	土師 杯	14.8	ヘラミガキ		密 良好 褐色	
12	土師 杯	11.9 5.9 4.0	ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-14
13	土師 杯	10.15 5.5	ヘラミガキ ヘラミガキ		良好 茶褐色	P-9
14	土師 高杯	19.0 12.7 16.4			緻密 良好 黄褐色	P-7, 10
15	土師 高杯	10.5		ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	P-3
16	土師 高杯	10.9		ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	P-6
17	土師 高杯	9.2	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラケズリ ヘラミガキ	緻密 良好 褐色	P-4
18	土師 高杯		ヘラミガキ	ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-11
19	土師 高杯	10.2	ヘラケズリ ヘラミガキ		やや粗い 良好 黄褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
20	土師 甕	(口)18.3 (高)27.7 (底)6.7	(外) (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)粗い (焼)良好 (色)茶褐色,口縁部赤彩	P-2
21	土師 甕	18.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 黄褐色	
22	土師 甕	22.2	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い,砂粒含む 良好 褐色(焼きむらあり)	P-3
23	土師 甕	8.5	ヘラケズリ		やや粗い,小石含む 良好 暗褐色	P-12
24	土師 甕	27.4	ハケメ ハケメ		密 良好 黄褐色	P-30
25	土師 瓶	18.8	ハケメ ハケメ		密,砂粒含む 良好 黄褐色	P-17
26	土師 瓶	25.8	ハケメ,ヘラケズリ ハケメ		密 良好 褐色	P-12
27	土師 無蓋壺		ヘラケズリ		良好 暗褐色	P-22
132号 住居址 1	土師 杯	10.7			緻密 良好 黄褐色	
2	土師 手捏	3.8 3.3 4.7	指頭などであげ 指頭痕		密,砂粒含む 良好 茶褐色	
3	土師 甕	15.6			やや粗い,砂粒含む 良好 黄褐色	P-5
4	土師 甕	20.2	ハケメ ハケメ		粗い,砂粒含む 良好 茶褐色	P-9
5	土師 甕	16.0	ハケメ ヘラケズリ,指頭痕		密 良好 明褐色	P-6
6	土師 甕	5.0			やや粗い 良好 茶褐色	P-1
7	土師 甕	9.0		木葉痕	粗い,砂粒含む 良好 暗褐色	フク土
133号 住居址 1	須恵器 杯	13.3 3.9 7.4	横ナデ	トゲナデ	良好 灰白色	P-20
2	須恵器 杯	13.4			良好 灰白色	
3	須恵器 杯	14.9			良好 灰白色	P-22
4	土師 杯	11.4 4.1 7.0			密,赤色粒含む 良好 黄褐色	P-16

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
5	土師 杯	(口)12.4 (高)4.5 (底)9.2	(外) (内)	(外)へラケズリ (内)	(胎)緻密,赤色粒含む (焼)良好 (色)褐色	P-24
6	土師 手捏	2.9 2.8 2.0			やや粗い 良好 暗褐色	
7	土師 甕	21.8	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	
8	土師 甕	8.0	へラケズリ へラケズリ		粗い 良好 暗褐色	
9	土師 甕	25.1	へラケズリ		やや粗い,赤色粒含む 良好 赤褐色	P-11
10	土師 鉢	17.1 8.9 9.8			緻密 良好 褐色	P-2
134号 住居址 1	土師 杯	12.0 4.6		暗文	密,赤色粒含む 良好 (外)茶褐色(内)黒色	P-11
2	土師 杯	16.1		暗文	密,赤色粒含む 良好 茶褐色	
3	土師 杯	14.6 5.5 5.4	へラケズリ		密,赤色粒含む 良好 茶褐色	P-22
4	土師 杯	13.0	へラケズリ		密,赤色粒含む 良好 暗褐色	P-22
5	土師 杯	11.7	へラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	
6	土師 杯	12.0 11.8 4.1	へラケズリ		密 良好 茶褐色	P-12
7	土師 杯	11.7 4.3 4.5	へラケズリ		密 良好 茶褐色	P-28
8	土師 杯	10.5 4.3 4.8	へラケズリ		密 良好 茶褐色	P-29
9	土師 杯	14.2 4.8 4.6	へラケズリ		密 良好 黄褐色	P-19
10	土師 杯	10.8 5.1	へラケズリ		密 良好 茶褐色	P-25
11	土師 杯	13.0			やや粗い 良好 茶褐色	P-15
12	土師 杯	12.0			密 良好 茶褐色	
13	土師 杯	11.0 1.5 4.7			密 良好 茶褐色	P-20

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
14	土師	(口)27.0	(外)ハケメ	(外)	(胎)粗い,金雲母含む (焼)良好 (色)暗褐色	P-23
	甕	(高) (底)	(内)ハケメ	(内)		
15	土師		ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	
	甕		ハケメ			
135号 住居址 1	須恵器 蓋	15.6			緻密 良好 灰褐色	
	土師 坏	14.9 3.4 10.7				緻密 良好 黄褐色
3	須恵器	26.0			緻密 良好 灰褐色	
4	須恵器					
136号 住居址 1	土師 坏	10.2 4.4	ヘラケズリ	木葉痕	緻密 良好 茶褐色	P-8
	土師 坏	12.0 2.3 6.3				
3	土師 台付塊	18.8			緻密 良好 暗褐色	
4	土師 高台付 坏				やや粗い 良好 暗褐色	P-2
5	土師 甕	9.2	ハケメ	木葉痕	粗い 良好 暗褐色	P-5
	土師 甕		ハケメ			
6	土師 甕	30.2	ハケメ		粗い 良好 暗褐色	P-1
	土師 甕		ハケメ			
137号 住居址 1	須恵器 蓋	16.0			緻密 良好 灰色	
	土師 坏	12.6				緻密 良好 茶褐色
3	土師 坏	11.0	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	
4	土師 坏	11.4 5.2 10.8	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	
	土師 坏	15.4	暗文			やや粗い 良好 黄褐色
5	土師 甕	31.8	ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	
6	土師 甕		ハケメ			

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
138号 住居址 1	土師	(口)12.4 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)赤褐色	P-11
2	土師 埴		ヘラケズリ		密 良好 丹塗り	P-9
3	土師 瓶	19.0 11.2 8.4	ヘラケズリ ヘラケズリ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 褐色	P-9
139号 住居址 1	土師 甕	22.0	ハケメ、ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い、雲母含む 良好 赤褐色	P-1
2	土師 甕	21.1	ヘラケズリ		やや粗い 良好 赤褐色	P-12
3	土師 甕	28.8	ハケメ		やや粗い 良好 赤褐色	P-6
4	土師 羽釜	32.8	ハケメ ハケメ		やや粗い、赤色粒含む 良好 赤褐色	
140号 住居址 1	土師 杯	13.0			緻密 良好 茶褐色	
2	土師 高杯			ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	P-4
3	土師 甌	23.6 27.0 8.9	ハケメ、ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	
141号 住居址 1	須恵器 杯	14.0			緻密 良好 青灰色	
2	須恵器 蓋	16.0			緻密 良好 灰色	
3	土師 杯	5.2	ヘラケズリ、線刻 暗文	回転未確認	緻密 良好 茶褐色	P-6
4	土師 杯	12.0 7.0	ヘラケズリ		緻密 良好 茶褐色	P-3
5	土師 杯	13.0	ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	
6	土師 杯	15.0	暗文		緻密 良好 茶褐色	
142号 住居址 1	土師 杯	18.0	線刻		密 良好 赤褐色	
2	土師 杯	12.0			密、赤色粒含む 良好 赤褐色	
3	土師 手捏	2.6			密 良好 褐色	

番 号	器 種	法 量 (cm)	調 整		胎 土・焼 成・色 調	備 考
			器 体 部	底 部		
4	土師 甕	(口)20.9 (高)37.7 (底)11.2	(外)ハケメ、ヘラケズリ (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)暗褐色	
5	土師 甕	15.3 10.4	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ		粗い 良好 赤褐色	
6	土師 甕	23.0	ハケメ ハケメ		粗い 良好 赤褐色	カマド
7	土師 甕	23.0			粗い、2mm位の小石含む 良好 赤褐色	P-5
1号周溝 通 構	土師	12.4			緻密 良好 黄褐色	P-13,7
	杯	4.1				
2	土師 杯	12.0 3.8		ヘラケズリ	緻密 良好 丹塗り	P-4
3	土師 杯	12.8	ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-1
4	土師 杯	11.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 暗褐色	
5	土師 皿	9.8 2.7			密 良好 丹塗り	P-17
6	土師 杯	13.2 2.8 5.5		通底の存在	緻密 良好 暗褐色	
7	土師 杯	13.4 2.5 5.6	ロクロ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	
8	土師 皿	5.0		通底の存在	緻密、砂粒含む 良好 茶褐色	
9	須恵器 杯	7.0		同底未切り	緻密 良好 青灰色	
10	土師 手捏	3.9 6.0		木葉痕	やや粗い、砂粒含む 良好 褐色	
11	土師 甕	12.0 13.8 5.6	ハケメ、ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	
12	土師 甕	15.2	ヘラケズリ ハケメ		粗い、砂粒含む 良好 茶褐色	
13	土師 甕	14.5 17.3 7.6	ハケメ ハケメ、ヘラケズリ	木葉痕	粗い 良好 茶褐色	P-6
14	土師 甕	7.4 8.0		木葉痕	緻密 良好 茶褐色	P-11
15	土師 甕	20.0	ハケメ、ヘラミガキ ハケメ		粗い 良好 茶褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
16	土師 甕	(口)24.0 (高) (底)	(外)ハケメ (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い、砂粒含む (焼)良好 (色)褐色	P-10
17	土師 甕	13.9 10.8 8.4	ヘラケズリ		粗い 良好 黄褐色	P-19
18	土師 瓶	21.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好	P-2
2号周溝 通	須恵器 蓋	14.8 3.8			密 良好 青灰色	P-12
2	土師 杯	12.8 3.5	ヘラケズリ		緻密 良好 暗褐色	P-1
3	土師 杯	9.6 3.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色(内)黒色	P-3
4	土師 杯	12.4 3.65	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-5
5	土師 杯	13.4 3.3	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-14
6	土師 杯	12.0 3.5	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
7	土師 杯	12.6 3.7	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
8	土師 杯	12.8	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
9	土師 杯	12.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-1
10	土師 杯	10.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-11
11	土師	13.75 4.4 4.7	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-13
12	土師 碗	9.8	ヘラケズリ、ヘラミガキ 暗文		密 良好 茶褐色	
13	土師 碗	9.8	ヘラケズリ ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	
14	土師 壺	17.2	ヘラケズリ、ヘラミガキ		密 良好 黄褐色	
15	土師 甕		ハケメ		密 良好 褐色	
16	土師 台付甕	13.6	ハケメ ハケメ、指頭痕		やや粗い 良好 暗褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
4号周清 透 1	須臾器 高坏	(口) (高) (底)14.6	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	P-4
2	土師 坏	13.0 6.0	ヘラケズリ		良好 茶褐色	
1号清 1	土師 坏	14.7 5.5 5.6	ヘラケズリ 暗文	線刻	緻密 良好 茶褐色	P-2
2	土師 坏	12.0 4.5 5.0	ヘラケズリ	墨書あり	緻密 良好 赤褐色	P-1
3号清 1	土師 坏	9.5 2.6 5.4			緻密 良好 暗褐色	P-1
2	土師 台付甕	14.2	ハケメ		良好 褐色	
5号清 1	土師 坏	11.9 4.6	ヘラケズリ		緻密 良好	
2	土師 坏	13.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-28
3	土師 器台	11.2			密 良好 赤褐色	
4	土師 高坏	18.8 13.0 5.0	ヘラミガキ、ハケメ ヘラミガキ	ヘラミガキ 脚部に3孔 ヘラミガキ	やや粗い 良好 黄褐色	P-40
5	土師 高坏	13.8 10.8 14.5		ハケメ、ヘラケズリ 脚部に3孔	緻密 良好 茶褐色	P-41
6	土師 高坏			ヘラケズリ	密 良好 茶褐色	P-26
7	土師 高坏	9.9	ヘラミガキ	ハケメ 脚部に3孔	緻密 良好 丹塗り	P-4
8	土師 高坏	16.0	ハケメ ハケメ、ヘラケズリ		粗い、長石含む 良好 茶褐色	P-39
9	土師 高坏	26.0		ハケメ	やや粗い 良好 茶褐色	P-5
10	土師 高坏	22.0	ハケメ ヘラミガキ		密 良好 丹塗り	P-14、10
11	土師 罐	11.6 10.7 3.6	ハケメ、ヘラケズリ	ヘラケズリ	緻密 良好 明黄褐色	P-32
12	土師 壺				密 良好 茶褐色	P-26
13	土師 坏	12.2 2.8 5.2	横ナデ	同輪ナデ	密 良好 茶褐色	

番号	器種	法量 (cm)	調		胎土・焼成・色調	備考
			器体部	底部		
14	土師 甕	(口)17.0 (高) (底)	(外)ヘラケズリ (内)ヘラケズリ	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	P-6
15	土師 台付甕	17.6	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-13
16	土師 台付甕	12.0	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P15
17	土師 台付甕		ハケメ ハケメ		粗い 良好 茶褐色	P-13
18	土師 台付甕		ハケメ	指頭痕	粗い 良好 茶褐色	P-2
19	土師 台付甕	15.8	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	
20	土師 台付甕	13.0	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	
21	土師 台付甕		ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-6, 34
22	土師 台付甕	13.8	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 褐色	P-20
23	土師 台付甕	8.1	ハケメ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-22
24	土師 台付甕	8.0	ハケメ	ヘラケズリ	やや粗い 良好 茶褐色	P-22
25	土師 甕	14.0			やや粗い 良好 茶褐色	P-1
26	土師 甕	12.9	ハケメ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-8
27	土師 甕	16.8	ハケメ ハケメ、ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	P-21
28	土師 甕	12.8	ハケメ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-8
29	土師 甕	6.2	ヘラケズリ ヘラケズリ	木葉痕	密 良好 茶褐色	P-24
30	土師 甕	14.8	ヘラケズリ ヘラケズリ、指頭痕		粗い 良好 赤褐色	P-12
31	土師 甕	13.5	ヘラケズリ		粗い 良好 赤褐色	P-7

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
6号溝	須恵器	(口)20.0 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)灰白色	P-2
1	壺					
2	有孔土器					
3	土師 高杯	10.2	ヘラケズリ		緻密、砂粒含む 良好 茶褐色	P-7
4	土師 杯	10.8 4.3 4.3	ヘラケズリ		密、砂粒、長石含む 良好 茶褐色	P-1
1号水路	須恵器	8.0 3.6			緻密 良好 灰色	P-1 522+10N1
1	杯	3.4				
2	土師 杯	11.4 4.9 4.6	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	P-37
3	土師 杯	12.8 4.8 6.0	ヘラケズリ、ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 赤褐色	P-50 Y
4	土師 杯	11.8			緻密 良好 褐色	P-50 Y C
5	土師 杯	13.0	ヘラケズリ		粗い 良好 褐色	Y 522+10N1
6	土師 杯	11.6	ヘラミガキ		緻密 良好 褐色	P-35 Y C
7	土師 杯	12.9	ヘラケズリ		密 良好 褐色	P-23 Y C
8	土師 杯	13.1 3.8	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 暗褐色	P-48 Y C
9	土師 杯	11.3			密 良好 茶褐色	P-23 Y C
10	土師 杯	12.0 4.85 5.7	ヘラケズリ、ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-50 Y C
11	土師 杯	13.0 4.0 5.0				P-25 Y
12	土師 杯	12.6 4.3 3.0	ヘラミガキ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	P-1
13	土師 杯	12.5 5.0 5.6			密 良好 茶褐色	P-30 Y C
14	土師 杯	13.4 4.5 5.6		ヘラケズリ	緻密 良好 黄褐色	P-1 522+10N1
15	土師 杯	12.7			緻密 良好 赤褐色	P-19 522+10N1

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
16	土師 杯	(口)11.0 (高)4.7 (底)	(外)ヘラケズリ,ヘラミガキ (内)ヘラミガキ	(外) (内)	(胎)蜜、5mm位の小石含む (焼)良好 (色)暗褐色	P-16 522+10N1
17	土師 杯	4.65 5.5	指頭痕 ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	P-43 F-C
18	土師 小鉢	12.0 6.3 6.1	ヘラケズリ	木裏肌周囲を ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	P-3 522+15NS1
19	土師 杯	14.8 3.8			密 良好 褐色	P-36 F-C
20	須恵器 杯	11.6 4.1 5.8		墨書	緻密 良好 褐色	522+10N1
21	土師 甕	10.0 7.7 2.7	ヘラミガキ ハケメ		密 良好 黄褐色	P-13 522+10N1
22	土師 手捏	4.3 4.2 3.7	指頭痕 指頭痕		密 良好 褐色	S7 P-2
23	土師 手捏	2.2 2.9 3.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	S4, P1, 13
24	須恵器 壺	27.6	自然釉あり		緻密 良好 灰白色	S5, P-15
25	土師 甕	23.8	ハケメ		やや粗い 良好 黄褐色	S6, P-2
土壌 1	土師 杯					9号土壌
2	土師 杯	15.8			緻密 良好 赤褐色	9号土壌, P-1
3	土師 甕	10.8	ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	9号土壌, P-3
4	土師 杯	12.2 3.7	ヘラケズリ,ヘラミガキ		密 良好 内外黒色	10号土壌
5	土師 杯	12.4 4.4	ヘラケズリ ヘラミガキ		緻密 良好 茶褐色	11号土壌, P-1
6	土師 甕	17.8	ヘラケズリ		粗い 良好 黄褐色	10号土壌
7	土師 壺	21.6	ヘラケズリ ハケメ		密 良好 褐色	11号土壌

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
グリット 1	須恵器 杯	(口)14.4 (高)5.05 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	P-33 521+70N1
2	須恵器 杯	12.4 4.5			緻密 良好 灰白色	521+65N2
3	須恵器 杯	9.8			緻密 良好 灰白色	P-6 522+05N1
4	須恵器 杯	9.4			緻密 良好 青灰色	522+85N4
5	須恵器 蓋	11.2			緻密 良好 灰白色	521+50N3
6	須恵器 蓋	10.4			緻密 良好 灰白色	P-1 522+15N2
7	須恵器 蓋	10.6			緻密 良好 青灰色	523+00S3
8	須恵器 蓋	11.4			緻密 良好 灰白色	P-9 521+70N1
9	須恵器 杯	14.0 4.0			緻密 良好 灰白色	521+70N
10	須恵器 高杯	10.4			緻密 良好 青灰色	522+15S7
11	須恵器 蓋	11.6			緻密 良好 灰白色	522+85N5
12	須恵器 蓋				緻密 良好 青灰色	521+90N4
13	須恵器 蓋	14.0 4.0			緻密 良好 灰白色	522+85N4
14	須恵器 蓋	13.8			緻密 良好 灰白色	522+85N4
15	須恵器 蓋	11.6			緻密 良好 灰白色	522+80S5
16	須恵器 蓋	14.0			緻密 良好	521+65N3
17	須恵器 蓋				緻密 良好 灰白色	521+85N4
18	須恵器 蓋	15.6			緻密 良好 灰白色	522+20S5
19	須恵器 蓋	23.5			密 良好 青灰色	P-34 521+70N2

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
20	須恵器 蓋	(口)13.8 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)青灰色	521+85N5
21	須恵器 杯	11.8			緻密 良好 灰白色	522+15
22	須恵器 長頸壺	8.2			緻密 良好 青灰色	P-1 522+1557
23	須恵器 長頸壺				緻密 良好 灰白色	P-4 522+5551
24	灰釉 台付壺	9.2			緻密 良好 灰白色	522+85N5
25	灰釉 台付壺	9.2			緻密 良好 灰白色	P-4 522+1056
26	須恵器 短頸壺	10.0			緻密 良好 青灰色	521+10N
27	灰釉 台付壺	11.8			緻密 良好 灰白色	522+85N4
28	須恵器 壺	21.8			緻密 良好 灰白色	522+15S4
29	須恵器 壺	20.0			緻密 良好 灰白色	P-7 522+1057
30	須恵器 壺	12.2			緻密 良好 灰白色	522+15S4
31	須恵器 甕	39.0	波状沈線あり		緻密 良好 青灰色	522+85N5
32	須恵器 壺	21.0			緻密 良好 灰白色	521+35N2
33	灰釉 台付杯	10.6 2.1 5.6			緻密 良好 灰白色	521+90N5
34	灰釉 台付杯	5.0			緻密 良好 灰白色	521+90N5
その他 出土器 1	土師 壺	16.4	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	523+00S3
	土師 壺	15.2 6.2 4.0	ヘラミガキ ヘラケズリ		緻密 良好 赤褐色	521+85N5
3	土師 杯	11.5 4.55			密 良好 赤褐色	521+35N5
4	土師 高杯	21.8			密 良好 茶褐色	521+70S2

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
5	土師 特殊器台	(口) (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)やや粗い (焼)良好 (色)茶褐色	522+70S2
6	土師 高杯	24.6			密 良好 茶褐色	P-3 521+70N1
7	土師 壺	26.2			粗い 良好 茶褐色	521+95S1
8	土師 壺	18.0			やや粗い 良好 明褐色	522+95J2
9	土師 台付甕	11.6	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+60N5
10	土師 台付甕	14.4	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-4 521+70N1
11	土師 台付甕	11.0	ハケメ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+70N1
12	土師 台付甕	14.0	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-15 522+13N1
13	土師 台付甕	15.0	ハケメ		やや粗い 良好 黄茶褐色	521+75N4
14	土師 台付甕	21.2	ハケメ 指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	P-1 522+13N1
15	土師 台付甕	15.0	ハケメ ヘラケズリ		密、金雲母含む 良好 暗褐色	522+60S-7
16	土師 台付甕	16.0	ハケメ ヘラケズリ		密、金雲母含む 良好 暗褐色	522+60S-7
17	土師 壺	27.4			粗い 良好 黄褐色	522+70S2
18	土師 杯	11.8	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	P-22 522+20S6
19	土師 杯	13.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	P-20 522+20S6
20	土師 杯	11.6 3.95	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	521+80N2
21	土師 杯	12.4 4.45	ヘラケズリ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	521+70N2
22	土師 杯	10.7	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	522+85S3
23	土師 杯	11.7 4.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	521+40N3

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
24	土師 杯	(口)13.4 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)密 (焼)良好 (色)茶褐色	521+95S1
25	土師 杯	13.8 3.4	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	521+5N5
26	土師 杯	11.8 3.65	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	522+95S2
27	土師 杯	14.4	ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	520+80
29	土師 杯	10.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+65N2
30	土師 杯	12.8	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色(内)丹塗り	521+5N5
31	土師 杯	13.0 3.5 5.2			密 良好 灰白色	522+10N2
32	土師 杯	13.0			密 良好 茶褐色	521+20N1
33	土師 高杯	13.7			密 良好 暗褐色	523+00N3
34	土師 杯	8.4			密 良好 茶褐色	521+95S1
35	土師 高杯		ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	521+70S2
36	土師 壺	8.8	ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色(内)黒色	522+95S2
37	土師 鉢	18.0	ヘラケズリ		密 良好 茶褐色	522+95S2
38	土師 甕	17.2			粗い 良好 黄褐色	522+85S4
39	土師 手捏	5.3 3.9 5.2	指頭痕	木葉痕	やや粗い 良好 茶褐色	521+70N1
40	土師 手捏	4.8 4.3 4.2	ヘラケズリ 指頭痕		粗い 良好 茶褐色	522+10N2
41	土師 手捏	3.2 2.2 2.9	指頭痕		粗い 良好 茶褐色	521+85N5
42	土師 手捏		ハケメ		やや粗い 良好 暗褐色	521+60N1

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備考
			器 体 部	底 部		
43	土師 手捏	(口) (高) (底)4.0	(外)指頭痕 (内)ハケメ	(外) (内)	(胎)粗い (焼)良好 (色)暗褐色	521+60N1
44	土師 手捏	3.4	指頭痕		密 良好 暗褐色	521+85N5
45	土師 手捏	2.8 2.1	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+10N4
46	土師 手捏	2.9 3.1	指頭痕		やや粗い 良好 茶褐色	521+90N3
47	土師 手捏	4.0	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+90N4
48	土師 手捏	4.2 3.1 3.4	ヘラケズリ 指頭痕		粗い 良好 茶褐色	521+90N3
49	土師 手捏	4.2 2.9 3.1			やや粗い 良好 茶褐色	521+90N3
50	土師 手捏	2.9	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+90N4
51	土師 手捏	3.3 2.45 2.8	ヘラケズリ 指頭痕		密 良好 茶褐色	521+80N5
52	土師 手捏	4.8	指頭痕		粗い 良好 茶褐色	523+00S3
53	土師	5.5	ヘラケズリ		密 良好 赤褐色	522+55
54	土師 小型甕	10.0 9.1 2.6	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+70N4
55	土師 甕	16.0	ハケメ ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	P-34 521+75N2
56	土師 甕	26.8 27.4	ハケメ、ヘラケズリ ハケメ、ヘラケズリ		やや粗い 良好 暗褐色	522+15S2
57	土師 甕	16.0	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+70N4
58	土師 甕	17.8 28.6 8.0	ヘラケズリ		粗い 良好 茶褐色	
59	土師 甕	19.3	ハケメ		粗い 良好 茶褐色	523+5S3
60	須恵器 甕	19.8	タタキ目 ヘラケズリ		密 良好 黄褐色	521+90N4
61	須恵器 壺	9.0			緻密 良好 青灰色	522+15S7

番号	器種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
62	須恵器 甕	(口)22.0 (高) (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎)緻密 (焼)良好 (色)灰白色	522+10N1 P-2
63	土師 甕	17.2	ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	521+85N52
64	土師 甕	16.8	ハケメ ハケメ、ヘラケズリ		やや粗い 良好 茶褐色	
65	土師 杯	13.2 3.4			緻密 良好 茶褐色	520+45S3
66	土師 杯	15.0 3.4 10.2		ヘラケズリ	密 良好 茶褐色	P-32 521+75N2
67	土師 杯	14.0 2.4 9.6		ヘラケズリ	密 良好 茶褐色	P-29 521+75N
68	土師 杯	14.6			緻密 良好 茶褐色	521+90N4
69	土師 杯	16.8 6.6 10.6	暗文		緻密 良好 茶褐色	521+90N4
70	土師 杯	9.8			緻密 良好 茶褐色	521+90N4
71	土師 杯	13.9			緻密 良好 黄褐色	520+90N4
72	土師 杯	11.0			密 良好 丹塗り	521+75S2
73	土師 杯	12.8 3.9 6.8			緻密 良好 茶褐色	521+9N4
74	土師 杯	11.6 4.1 5.8			密 良好 赤褐色	521+5N5
75	土師 杯	3.9		ヘラケズリ	緻密 良好 茶褐色	521+90N4
76	土師 杯	13.2 3.4			緻密 良好 茶褐色	520+45S3
77	土師 杯	11.6 2.7 5.6	横ナデ	縦筋未切り	密 良好 茶褐色	P-8 521+75N1
78	土師 杯	10.8 3.1 4.8	横ナデ	縦筋未切り	密 良好 茶褐色	520+24S4
79	土師 杯	11.0 2.9 5.2	横ナデ	縦筋未切り	密 良好 茶褐色	P-1 521+75N1
80	土師 杯	10.8 3.4 4.6	横ナデ	縦筋未切り	密 良好 茶褐色	521+90N5

第2表 紡錘車、玉、土錘、他觀察表(第291図)

No	品名	出土地点	法量			重量	材質	No	品名	出土地点	法量			重量	材質
			縦	横	厚						縦	横	厚		
1	紡錘車	33住居	3.4	3.4	1.6	7.2g	土製品	29	土玉	522+05	1.9	2.0	1.5	4.5g	土製品
2	"	78住居	3.3	3.2	2.2	29.3	"	30	"	40住居	1.8	1.9	1.7	3.0	"
3	"	82住居	3.6	4.1	3.5	55.0	"	31	"	"	1.9	2.2	1.9	6.2	"
4	"	86住居	4.3	4.3	1.7	56.3	綠色片岩	32	"	"	2.1	2.0	2.0	6.2	"
5	"	110住居	3.4	3.5	1.6	33.6	滑石片岩	33	"	49住居	1.8	1.8	1.8	5.0	"
6	"	114住居	3.3	3.5	1.6	10.8	土製品	34	"	"	1.9	2.3	1.8	6.6	"
7	"	131住居	—	4.0	2.3	20.3	"	35	"	522+05 N 2	1.8	1.8	1.6	3.8	"
8	"	139住居	5.9	5.7	3.3	144.5	"	36	"	522+00 N 1	1.6	1.7	1.5	3.7	"
9	"	521+35 N 2	—	4.6	1.6	17.8	"	37	"	522+00	2.2	—	1.9	4.5	"
10	白玉	49住居	1.2	1.2	0.2	0.5	滑石	38	"	521+95 S 1	1.1	1.1	1.0	1.1	"
11	"	49住居	1.2	1.2	0.3	0.5	"	39	"	118住居	1.7	—	1.3	2.4	"
12	"	114住居	1.1	1.1	0.4	0.9	"	40	"	136住居	1.4	1.4	1.3	2.1	"
13	"	522+20 N 3	0.7	0.7	0.5	0.4	"	41	"	522+05	1.6	1.5	1.5	3.0	"
14	土玉	521+65	0.9	0.9	0.9	0.6	土製品	42	土錘	41住居	約3.5	2.9	—	21.6	"
15	"	8住居	0.8	0.8	0.8	0.5	"	43	玉	40住居	—	—	—	3.2	"
16	"	118住居	0.9	0.8	0.8	0.4	"	44	管玉	26住居	2.9	—	1.0	2.9	ヒスイ
17	"	114住居	0.6	0.6	1.0	0.4	"	45	"	25住居	2.7	—	1.2	3.5	"
18	"	"	1.0	1.0	0.9	0.7	"	46	"	26住居	2.2	—	0.7	0.9	"
19	"	521+45	0.8	0.8	0.7	0.3	"	47	棒状土製品	122住居	6.0	—	1.8	17.4	土製品
20	"	522+20	0.8	0.8	0.8	0.5	"	48	"	114住居	3.7	—	1.5	5.1	"
21	"	522+10	1.0	1.0	0.9	0.9	"	49	"	122住居	4.4	—	2.4	25.9	"
22	"	522+05	0.8	0.9	0.8	0.5	"	50	勾玉	111住居	4.0	2.7	0.6	10.5	滑石
23	"	108住居	1.1	1.4	1.0	1.3	"	51	"	表採	2.2	1.55	0.6	2.8	"
24	"	133住居	1.1	1.2	1.0	1.3	"								
25	"	19住居	1.5	1.5	1.5	2.8	"								
26	"	"	1.6	1.6	1.4	2.8	"								
27	"	83住居	1.9	1.7	1.6	4.0	"								
28	"	522+10	1.5	1.6	1.5	3.2	"								

第3表 住居出土鉄製品観察表 (第292・293図)

No	出土遺構	種 類	長 さ	摘 要	No	出土遺構	種 類	長 さ	摘 要
1	2住居	鎌	9.1		24	73住居	刀 子	6.6	
2	3住居	工 具	9.0		25	78住居	鋸	3.3	
3	"	刀 子	6.6		26	80住居	刀 子	4.4	
4	"	工 具	2.6		27	81住居	工 具	14.1	
5	4住居	刀 子	4.4		28	93住居	刀 子	7.9	
6	"	工 具	8.6		29	99住居	鎌	7.8	
7	25住居	"	4.1		30	101住居	刀 子	14.6	
8	27住居	く ぎ	13.5		31	"	"	11.3	
9	"	工 具	4.8		32	114住居	扁平鉄製品	3.1	
10	"	く ぎ	1.9		33	129住居	刀 子	15.8	
11	29住居	鉄 鎌	12.1		34	"	"	5.6	
12	"	工 具	3.5		35	"	"	6.5	
13	28住居	"	7.9		36	" F2	工 具	4.0	
14	36住居	刀 子	7.3		37	" F3		2.8	
15	42住居	"	5.2		38	522+30	く ぎ	7.6	
16	48住居	"	6.8		39	131住居	工 具	7.6	
17	49住居	鎌	5.9		40	"	扁平鉄製品	2.6	
18	"	"	1.6		41	"	"	1.9	
19	56住居	しめ 具	3.3		42	"	"	1.9	
20	60住居	鎌	7.2		43	63住居	鉄 鎌	7.7	
21	"	刀 子	5.8		44	"	刀 子	5.3	
22	63住居	工 具	9.8		45	80住居	鎌	11.2	
23	69住居	お の	15.0						

第4表 石器類観察表(第294図~第301図)

番号 図 No	遺構	器種	法量 (cm)			材質	摘要 (重さ)	番号 図 No	遺構	器種	法量 (cm)			材質	摘要 (重さ)	
			長	巾	厚						長	巾	厚			
1	14住	打製石斧	4.9	4.5	0.9	点紋粘板岩		5	64住S-1	編石	15.4	8.6	5.1	花崗岩類	7.55 g	
		打製石斧	9.3	4.8	1.1	"				64住S-2	編石	15.2	9.6	4.3	"	890 g
		打製石斧	7.6	4.9	1.5	"				64住S-3	編石	15.1	8.2	5.5	"	955 g
		打製石斧	9.4	3.35	1.0	粘板岩				64住S-4	編石	14.9	6.4	6.4	"	760 g
		打製石斧	7.6	3.5	1.1	点紋粘板岩				64住S-5	編石	14.1	8.2	5.2	"	750 g
		打製石斧	10.2	5.9	1.5	"				64住S-6	編石	12.5	8.0	4.8	"	610 g
		打製石斧	9.6	6.2	1.9	粘板岩				64住S-7	編石	14.1	6.5	6.9	"	1,030 g
		打製石鏃	5.3	3.2	0.7	チャート				60住S-7	編石	11.65	10.0	7.9	"	1,310 g
		打製石鏃	2.0	1.9	0.4	黒曜石				64住S-8	編石	12.4	9.5	4.8	"	710 g
		打製石鏃	2.0	1.0	0.3	"				64住S-9	編石	12.7	7.9	4.9	"	750 g
		砥石	10.8	8.9	4.6	細粒砂岩				64住S-10	編石	14.0	7.0	5.8	"	630 g
2	36住	砥石	5.7	3.0	2.6	凝灰岩		64住S-12	編石	15.0	8.7	5.3	"	1,110 g		
		砥石	4.5	1.9	2.0	"		64住S-13	編石	13.4	11.4	4.6	"	1,050 g		
		砥石	7.3	3.2	1.5	"		64住S-14	編石	12.7	10.1	4.9	"	750 g		
		砥石	4.5	5.1	3.4	"		64住S-17	編石	14.8	9.5	5.75	"	960 g		
		砥石	4.4	2.0	1.6	シルト岩		64住S-16	編石	13.0	6.6	8.2	"	950 g		
		砥石	3.8	2.5	2.0	凝灰岩		64住S-18	編石	13.2	9.25	6.3	"	1.08 kg		
		砥石	23.4	9.7	6.7	砂岩	3面砥石	64住S-19	編石	12.5	7.3	5.4	"	980 g		
		砥石	13.3	10.1	3.3	"		64住S-20	編石	13.5	10.0	6.65	"	1,100 g		
		すり石	10.7	8.6	3.8	閃緑岩		64住S-21	編石	11.7	8.35	7.0	"	730 g		
		砥石	11.0	4.5	4.5	凝灰岩		64住S-11	編石	14.8	8.0	7.0	"	1,000 g		
		砥石	2.6	2.6	2.6	砂岩		64住S-24	編石	14.4	7.8	5.5	"	850 g		
3	48住	かまど支脚	22.0	7.6	7.2	花崗岩類	1.5 kg	23	30住S-2	編石	16.1	7.4	7.7	"	1,150 g	
		かまど支脚	22.0	7.3	7.0	"	1.7 kg	24	72住S-1	編石	14.3	6.1	3.8	"	450 g	
		かまど支脚	23.1	7.5	6.2	"	1.48 kg	25	102住	編石	17.4	5.0	5.1	"	710 g	
		かまど支脚	23.6	6.7	8.6	"	2.1 kg	26	60住	編石	11.9	11.95	7.85	"	1,450 g	
		かまど支脚	22.3	7.2	6.0	"	1.57 kg	27	60住S-2	編石	12.0	6.1	4.95	"	550 g	
		かまど支脚	20.3	9.1	5.5	"	1.48 kg	28	60住S-3	編石	16.0	7.0	6.95	"	1,220 g	
		かまど支脚	24.0	7.6	6.1	"	1.54 kg	29	60住S-6	すり石	15.3	9.1	8.0	"	1,550 g	
		かまど支脚	28.1	12.5	7.7	"	3.5 kg	30	60住S-8	編石	12.0	7.55	4.0	"	450 g	
		カマド支脚I)	33.3	9.95	8.0	"	4.26 kg	31	60住S-5	編石	15.2	7.55	5.55	"	750 g	
		カマド支脚II)	30.8	9.9	9.75	"	3.35 kg	32	37住S-1	台	24.1	20.3	7.4	閃緑岩	6.85 kg	

第5表 住居地出土遺物数一覧

住居 No	土 師 器							須 恵 器					灰 釉			鉄 製 品			紡錘車	玉	鈴帯	その他特殊遺構																	
	坏	高坏	碗	鉢	甕	瓶	羽織 その他 カマド	坏	蓋	高坏	甕	その他	坏	甕	その他	カマ	刀子	その他																					
2	4				3		ツボ1									1																							
3	10	3		3	23	1	ツボ1										2	工具1																					
4																	1	工具1																					
5	1																																						
6	5						ツボ1																																
7	5				4	1																																	
8	12				11	2	手捏1, ツボ1																															土玉2	
9	2																																						
10	3	1			4																																骨		
12					1		器台1																																
13	8	1			3																																		
14	1				2		ツボ3, 手捏2																															打製石2 骨	
15	2				4																																		
16	1																																						
17	4					1	ツボ3																															1 砥石1	
18					2																																		
19	15	1			8		ツボ1, 皿1																															土玉2	
20	3		1		2																																		
21					1							1																											
22		1			3																																		
23	6				2	5	ツボ1																																
24	9				3		ツボ1																															骨	
25	5		1		2		ツボ1																																
26					1		ツボ1, 器台1 附1																																
27	3				3	1	ツボ2, 小鉢1																																
28	2						台付2, 1																																
29	2				1							4																											骨

住居 No	土 師 器						須 恵 器					灰 軸			鉄 製 品			助産師	玉	袴帯	その他特殊遺物
	坏	高坏	碗	鉢	甕	瓶	羽振	その他 カマド	坏	蓋	高坏	壺	甕	その他	坏	甕	その他				
120					1		ツボ1														
121	2				1		手捏1														
122	9				2	1	蓋2														骨 棒状土製品1, 馬の歯
123	1	1			4		台付坏2														
124	1				1																
125	1				1																
126	2		1		2																打製石斧1 骨(馬の歯)
127							台付土甕1														
128	1																				
129	5	1			3		高台付坏														
130	2				1	2	手捏1						1						3	工具1 その他1	
131	10	7			5	2	無眼ツボ1														工具1 扁平鉄3
132	1				5		手捏1														1
133	2			1	3		手捏1				3										
134	13				2																骨
135	1									1				2							
136	2				2		台付土甕1 高台付坏1														土玉1
137	3				2					1											
138			1			1															
139					3																1
140	1	1				1															
141	4									1	1										
142	2				4		手捏1														磁石1

第6表 古墳出土土器観察表

番号	器種	法量(cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
1号墳 1	須恵器 杯	(口)11.3 (高)4.1 (底)	(外) (内)	(外) (内)	(胎) 密 (焼) 良好 (色) 青灰色	P-9
2	須恵器 蓋	14.0			緻密 良好 青灰色	P-18
3	土 師 杯	10.8 3.85	ヘラケズリ、ヘラミガキ	ヘラミガキ	密 良好 茶褐色	P-27
4	土 師 杯	11.8 3.1 5.4	ヘラミガキ	ヘラミガキ	密 良好 茶褐色	523+15S2
5	土 師 杯	13.6	ヘラケズリ		密 良好 (内外)丹塗り	523+15S2
6	土 師 杯	11.9 3.95 3.8	ヘラケズリ、横ナデ	回転糸切り、周周 ヘラケズリ	緻密 良好 暗褐色	
7	土 師 鉢	16.0 6.3	ヘラミガキ ヘラミガキ	ヘラミガキ ヘラミガキ	緻密 良好 茶褐色	
8	土 師 鉢	16.8		ヘラケズリ ヘラミガキ	密 良好 暗褐色) 黒色	522+15S2
9	土 師 碗	11.6	ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	
10	土 師 高 杯	21.0	ヘラミガキ ヘラミガキ		密 良好 茶褐色	
11	土 師 手 捏	3.3	ハケメ ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	P-5
2号墳 1	土 師 杯	10.0			密 良好 茶褐色	
2	土 師 杯	11.8	ヘラケズリ		密 良好 暗褐色	
3	土 師 杯	12.6 4.2	横ナデ	回転糸切り	密 良好 茶褐色	
4	土 師 杯	12.4 4.3	ヘラケズリ ヘラケズリ		やや粗い、砂粒含む 良好 茶褐色	P-1
5	須恵器 蓋	16.0			緻密 良好 青灰色	P-22
6	須恵器 甕	10.8			緻密 良好 青灰色	P-20
7	須恵器 蓋				緻密 良好 青灰色	P-18, 9, 7, 23 12 P-15, 27, 8

番 号	器 種	法量 (cm)	調 整		胎土・焼成・色調	備 考
			器 体 部	底 部		
8	須恵器 杯	(口) 9.6 (高) 4.0 (底) 4.5	(外) ヘラケズリ (内)	(外)線刻あり (内)	(胎) 緻密 (焼) 良好 (色) 青灰色	P-19
9	須恵器 壺				緻密 良好 灰白色	P-3, 5, 21, 25
3号墳 1	土 師 高 杯	11.0 5.9 8.5	ヘラケズリ		緻密 良好 褐色	
2	須恵器				緻密 良好 灰白色	
3	土 師				密 良好 褐色	
4	須恵器				密 良好 青灰色	
5	須恵器 壺				緻密 良好 灰白色	
6	土 師 杯	11.4 3.4	ヘラケズリ		密 良好 褐色	
7	土 師 杯	7.4 1.7 4.4			やや粗い 良好 褐色	
8	鉄 軸	5.4 5.0 3.6			緻密 良好 茶色	
9	鉄 軸 杯	7.3 1.6 3.7			緻密 良好 茶色	
10	鉄 軸 杯	10.2 2.0 5.0			緻密 良好 茶色	
11	鉄 軸	4.0			緻密 良好 茶色	
4号墳 1	須恵器 杯		ヘラケズリ、波状文あり		緻密 良好 青灰色	
2	土 師 杯	10.8	ハケメ		やや粗い 良好 茶褐色	523+40 S5
3	土 師 壺	10.0			粗い 良好 暗褐色	P-14
4	土 師 高台付杯	8.2			やや粗い 良好 茶褐色	
5	土 師				密 良好 茶褐色	P-18
6	土 師 杯	6.8		回転糸切り	やや粗い 良好 茶褐色	523+35 S3

第7表 姥塚無名2・3・4号墳出土金環・玉類観察表

(単位 cm)

No	品名	出土地点	法 量			重 量	材 質
			縦	横	厚		
1	金環3	無名墳2	2.7	3.1	0.7	22.7g	金属製
2	" 1	"	2.7	3.1	0.8	23.6g	"
3	" 5	"	3.1	3.4	1.0	34.0g	"
4	" 4	"	1.4	1.5	0.4	2.4g	"
5	" 2	"	1.4	1.5	0.4	2.2g	"
6	" 6	"	2.0	2.1	0.5	8.6g	"
7	" 7	"	2.0	2.1	0.4	8.1g	"
8	勾玉	"	3.7	2.0	1.0		メノ
9	" 4	"	2.9	1.5	0.7		"
10	"	" 床下	3.3	1.6	0.7		"
11	"	" 床下	3.3	1.7	0.8		"
12	" 6	"	2.8	1.7	0.7		"
13	"	" 床下	3.0	1.7	0.7	5.7g	"
14	"	"	2.4	1.5	0.5		"
15	"	" 床下	—	2.3	0.8	8.0g	"
16	" 5	"	1.8	1.3	0.7	2.28g	"
17	"	"	—	—	0.8	2.1g	"
18	管玉	"	2.7	—	0.9		"
19	"	"	2.5	—	0.9		"
20	"	"	2.2	—	0.6		"
21	"	"	2.1	—	0.8	2.6g	ヒスイ
22	"	"	2.1	—	0.6	1.4g	"
23	"	"	1.4	—	0.5		"
24	盞玉	" 床下	1.6	—	1.4		水晶
25	切子玉	無名墳2	2.0	—	1.6		"
26	"	"	1.6	—	1.5		"
27	"	"	1.5	—	1.3		"
28	"	"	1.6	—	1.3	2.93g	"
29	"	"	1.5	—	1.2	2.23g	"
30	金環13	無名墳3	3.1	3.4	0.9	32.7g	金属製
31	" 7	"	3.0	3.3	0.9	26.7g	"
32	" 11	"	2.8	2.9	0.5	3.4g	"
33	" 10	"	1.3	1.4	0.3	2.3g	"
34	" 1	無名墳4	2.2	2.3	0.5	11.2g	"

第8表 純塚無名1・2・3号墳出土鉄製品観察表

No	出土遺構	種 類	長さ cm	備 考	No	出土遺構	種 類	長さ cm	備 考	No	出土遺構	種 類	長さ cm	備 考
1	無名墳1	錘	7.0		26	無名墳2	鉄 鍔	7.9		51	無名墳3	鉄 鍔	7.6	
2	"	刀 子	7.6		27	"	"	11.4		52	"	"	7.4	
3	無名墳2	直 刀	28.7		28	"	"	4.8		53	"	"	5.9	
4	無名墳3	"	25.7		29	"	"	5.7		54	"	"	15.7	
5	"	"	30.5		30	"	"	8.6		55	"	"	11.9	
6	無名墳2	刀 子	17.4		31	"	"	5.2		56	"	"	9.2	
7	"	"	13.6		32	"	環状鉄製品	3.4		57	"	"	7.2	
8	"	"	6.9		33	"	"	3.1		58	"	"	11.5	
9	"	"	4.6		34	"	楕円形鈔	4.2		59	"	"	9.0	
10	"	鉄 鍔	14.0		35	"	ヨロイ金具	4.2		60	"	"	11.6	
11	"	"	12.0		36	"	"	2.8		61	"	"	11.1	
12	"	"	13.8		37	"	とめ 具	1.5		62	"	"	9.6	
13	"	"	8.4		38	"	"	1.8		63	"	"	14.4	
14	"	"	12.8		39	無名墳3	"	8.0		64	"	"	14.4	
15	"	"	11.4		40	"	刀 子	4.1		65	"	"	9.0	
16	"	"	13.3		41	"	鉄 鍔	4.1		66	"	"	4.2	
17	"	"	11.3		42	"	"	11.2		67	"	"	4.2	
18	"	"	13.2		43	"	"	7.8		68	"	"	9.1	
19	"	"	11.1		44	"	"	4.8		69	"	"	11.0	
20	"	"	11.1		45	"	"	11.0		70	"	"	10.0	
21	"	"	10.6		46	"	"	7.7		71	"	"	10.1	
22	"	"	12.6		47	"	"	2.5		72	"	"	6.5	
23	"	"	14.2		48	"	"	3.2		73	"	"	8.0	
24	"	"	11.5		49	"	"	4.8		74	"	"	5.7	
25	"	"	7.3		50	"	"	4.3						

第9表 純塚無名2号墳出土玉類観察表

(単位 mm)

No	質	色	径	厚	重(g)	No	質	色	径	厚	重(g)
1	ガラス	青	7.2	5.5	0.47	33	ガラス	青	4.0	2.0	0.03
2	"	"	8.0	6.0	0.59	34	"	"	4.0	2.0	0.03
3	"	"	7.0	4.5	0.35	35	"	"	4.0	2.0	0.04
4	"	"	7.5	5.0	0.37	36	"	"	3.8	2.0	0.03
5	"	"	6.5	3.5	0.21	37	"	"	4.0	2.8	0.04
6	"	"	6.9	5.2	0.12	38	"	"	3.5	3.5	0.04
7	"	黒	7.0	4.2	0.18	39	"	黄	4.0	2.0	0.04
8	"	青	7.3	4.9	0.23	40	"	"	4.0	2.5	0.04
9	"	"	8.0	3.2	0.25	41	"	青	4.0	3.0	0.05
10	"	"	6.9	4.3	0.14	42	"	黄	4.1	2.2	0.05
11	"	"	6.9	4.2	0.14	43	"	青	4.2	1.5	0.03
12	"	"	6.3	5.0	0.15	44	"	"	4.2	3.0	0.05
13	"	"	7.2	4.5	0.12	45	"	黄	3.5	2.1	0.04
14	"	"	6.1	4.2	0.09	46	"	青	4.5	2.9	0.06
15	"	"	4.2	3.7	0.05	47	"	"	4.0	3.5	0.05
16	"	"	4.1	2.9	0.03	48	"	"	4.0	3.0	0.07
17	"	"	3.5	2.6	0.03	49	"	"	4.8	3.3	0.04
18	"	"	3.2	1.8	0.03	50	"	"	4.2	2.7	0.05
19	"	"	3.8	2.2	0.04	51	"	"	4.4	2.9	0.05
20	"	"	4.5	3.5	0.07	52	"	"	4.4	2.8	0.04
21	"	"	4.5	2.9	0.07	53	"	"	4.1	3.3	0.04
22	"	"	3.9	3.0	0.08	54	"	"	4.2	2.9	0.04
23	"	黄	4.2	2.5	0.05	55	"	"	4.1	2.8	0.04
24	"	青	4.5	4.0	0.06	56	"	"	4.0	2.6	0.04
25	"	"	5.0	2.0	0.08	57	"	"	4.0	2.9	0.03
26	"	"	5.0	1.2	0.07	58	"	"	3.8	2.6	0.03
27	"	黄	4.8	2.5	0.04	59	"	"	4.8	2.1	0.03
28	"	青	5.0	2.0	0.06	60	"	"	4.2	3.0	0.06
29	"	"	5.0	2.8	0.06	61	"	"	4.1	3.2	0.06
30	"	"	5.0	3.0	0.09	62	"	"	5.0	3.0	0.05
31	"	緑	4.1	2.2	0.10	63	"	黄	4.1	2.2	0.03
32	"	青	4.0	2.8	0.03	64	"	青	4.3	2.9	0.05

No.	質	色	径	厚	重(g)	No.	質	色	径	厚	重(g)
65	ガラス	青	4.2	2.0	0.04	98	ガラス	青	4.5	2.5	0.06
66	"	"	3.8	2.0	0.03	99	"	"	4.0	2.3	0.05
67	"	"	3.8	2.0	0.03	100	"	"	4.5	2.5	0.06
68	"	"	4.2	2.2	0.04	101	"	"	4.5	2.3	0.05
69	"	"	4.0	2.0	0.02	102	"	"	4.0	2.3	0.05
70	"	"	4.0	3.0	0.04	103	"	"	4.0	2.5	0.05
71	"	黄	3.8	3.0	0.03	104	"	"	4.0	2.5	0.05
72	"	青	3.5	3.2	0.04	105	"	"	4.1	2.0	0.05
73	"	"	3.2	3.0	0.02	106	"	"	3.8	3.2	0.06
74	"	"	3.5	3.2	0.02	107	"	"	4.0	2.5	0.05
75	"	黄	3.4	1.8	0.02	108	"	"	3.8	2.5	0.05
76	"	青	3.5	2.0	0.02	109	"	"	4.2	2.3	0.06
77	"	"	3.2	2.0	0.02	110	"	"	4.0	2.0	0.05
78	"	"	3.1	2.0	0.02	111	"	"	4.2	2.2	0.05
79	"	"	3.0	2.0	0.02	112	"	"	4.2	2.3	0.05
80	"	"	4.0	2.0	0.04	113	"	"	4.0	2.0	0.04
81	"	緑	4.0	1.8	0.03	114	"	"	4.0	2.0	0.04
82	"	青	4.5	3.0	0.06	115	"	"	3.8	2.0	0.05
83	"	"	6.5	5.0	0.23	116	"	"	3.8	2.0	0.04
84	"	黒	7.3	3.0	0.13	117	"	"	4.0	2.3	0.04
85	"	青	6.2	4.2	0.19	118	"	"	3.8	2.3	0.04
86	"	"	6.0	3.5	0.18	119	"	"	3.7	2.2	0.03
87	"	"	5.0	3.0	0.08	120	"	"	3.7	2.0	0.03
88	"	"	5.0	3.2	0.06	121	"	"	3.8	2.2	0.03
89	"	"	4.5	3.0	0.06	122	"	"	4.0	2.0	0.03
90	"	"	4.8	3.2	0.08	123	"	"	3.8	2.0	0.03
91	"	"	4.5	3.0	0.06	124	"	"	3.6	1.8	0.02
92	"	"	4.2	2.3	0.05	125	"	"	3.8	1.8	0.02
93	"	"	4.5	3.2	0.05	126	"	"	3.5	1.7	0.02
94	"	"	4.5	3.0	0.06	127	"	"	3.5	1.7	0.02
95	"	"	4.9	2.5	0.05	128	"	"	3.3	1.8	0.02
96	"	"	5.0	2.7	0.06	129	"	"	3.5	1.8	0.02
97	"	"	4.5	2.8	0.06	130	"	"	3.2	2.0	0.02

No	質	色	径	厚	重(g)	No	質	色	径	厚	重(g)
131	ガラス	青	3.5	2.0	0.03	164	ガラス	青	4.0	2.3	0.02
132	"	"	3.5	1.9	0.03	165	"	"	4.0	2.4	0.03
133	"	"	5.2	3.1	0.07	166	"	黒	12.0	9.0	2.15
134	"	"	5.0	3.2	0.07	167	"	青	7.3	4.0	0.18
135	"	"	4.1	3.3	0.07	168	"	"	6.3	6.0	0.26
136	"	"	4.8	3.2	0.06	169	"	"	6.5	5.5	0.25
137	"	"	4.5	2.9	0.06	170	"	"	6.0	6.0	0.27
138	"	"	4.8	3.3	0.05	171	"	"	6.2	5.4	0.22
139	"	"	5.0	2.9	0.06	172	"	"	6.5	3.2	0.18
140	"	"	5.1	3.0	0.05	173	"	"	6.1	3.0	0.18
141	"	"	4.1	3.4	0.05	174	"	"	6.0	4.5	0.18
142	"	"	4.8	3.8	0.05	175	"	"	6.2	3.0	0.15
143	"	"	4.9	3.3	0.06	176	"	"	5.6	4.0	0.19
144	"	"	5.0	3.0	0.05	177	"	"	6.0	4.3	0.18
145	"	"	4.1	3.3	0.04	178	"	"	5.5	2.9	0.13
146	"	"	4.8	3.2	0.05	179	"	"	5.6	3.1	0.16
147	"	"	4.2	3.1	0.05	180	"	"	6.0	3.1	0.15
148	"	"	4.8	3.4	0.05	181	"	"	4.5	3.0	0.08
149	"	"	4.5	3.3	0.05	182	"	"	5.0	3.0	0.08
150	"	"	4.8	3.0	0.05	183	"	"	4.5	2.5	0.07
151	"	"	4.5	2.3	0.04	184	"	"	4.6	2.8	0.07
152	"	"	4.3	3.5	0.05	185	"	"	4.2	3.0	0.06
153	"	"	4.5	2.8	0.05	186	"	"	4.1	3.0	0.06
154	"	"	4.5	2.8	0.05	187	"	"	4.2	3.1	0.06
155	"	"	4.2	3.0	0.05	188	"	"	4.3	2.2	0.06
156	"	"	5.0	3.0	0.06	189	"	"	4.2	3.0	0.06
157	"	"	3.9	2.8	0.03	190	"	"	4.0	3.0	0.06
158	"	"	3.3	2.8	0.04	191	"	"	4.5	3.0	0.07
159	"	"	3.8	2.6	0.04	192	"	"	4.0	3.0	0.07
160	"	"	3.8	2.3	0.02	193	"	"	4.3	2.9	0.06
161	"	"	3.3	2.0	0.02	194	"	"	4.5	3.0	0.06
162	"	"	3.8	1.9	0.02	195	"	"	4.0	3.0	0.06
163	"	"	3.5	2.0	0.03	196	"	"	4.5	3.0	0.06

No.	質	色	径	厚	重(g)	No.	質	色	径	厚	重(g)
197	ガラス	青	4.5	2.5	0.06	230	ガラス	青	4.5	2.3	0.05
198	"	"	4.0	3.0	0.06	231	"	"	4.7	2.7	0.05
199	"	"	4.2	2.5	0.06	232	"	"	4.3	2.8	0.05
200	"	"	4.0	2.5	0.06	233	"	"			
201	"	"	4.0	2.5	0.06	234	"	"	4.3	3.0	0.05
202	"	"	4.0	2.5	0.07	235	"	"	4.3	2.7	0.05
203	"	"	4.0	2.4	0.05	236	"	"	4.0	2.5	0.05
204	"	"	4.2	2.1	0.06	237	"	"	4.1	2.3	0.05
205	"	"	4.0	2.0	0.06	238	"	"	4.2	2.5	0.06
206	"	"	4.0	2.5	0.06	239	"	"	4.0	2.3	0.05
207	"	"	4.0	2.1	0.05	240	"	"	3.8	2.0	0.05
208	"	"	3.8	2.2	0.05	241	"	"	4.0	2.7	0.05
209	"	"	4.5	2.0	0.05	242	"	"	4.0	3.2	0.05
210	"	"	4.0	2.5	0.06	243	"	"	4.2	2.1	0.05
211	"	"	3.5	3.0	0.05	244	"	"	4.1	2.8	0.05
212	"	"	3.5	2.2	0.05	245	"	"	4.0	2.8	0.05
213	"	"	3.1	2.0	0.04	246	"	"	4.0	2.8	0.05
214	"	"	3.1	2.0	0.03	247	"	"	4.0	3.0	0.05
215	"	"	3.8	2.2	0.02	248	"	"	4.0	2.8	0.06
216	"	"	3.9	2.4	0.02	249	"	"	4.0	2.8	0.05
217	"	"	6.3	5.5	0.20	250	"	"	4.0	2.8	0.05
218	"	"	6.5	4.3	0.20	251	"	"	4.0	2.5	0.05
219	"	"	5.8	4.2	0.17	252	"	"	4.0	2.5	0.05
220	"	"	6.2	4.3	0.21	253	"	"	4.0	2.0	0.04
221	"	"	5.5	4.2	0.13	254	"	"	3.5	2.3	0.03
222	"	"	4.7	3.0	0.08	255	"	"	3.7	2.3	0.04
223	"	"	4.8	3.2	0.08	256	"	"	3.8	4.0	0.03
224	"	"	5.0	2.5	0.06	257	"	"	3.5	2.3	0.03
225	"	"	4.7	2.5	0.05	258	"	"	3.8	2.0	0.02
226	"	"	4.5	3.0	0.06	259	"	"	3.8	2.5	0.03
227	"	"	4.8	3.3	0.08	260	"	"	3.5	2.2	0.03
228	"	"	4.8	2.8	0.06	261	"	"	3.5	2.3	0.03
229	"	"	4.3	2.2	0.04	262	"	"	3.5	2.0	0.03

No	質	色	径	厚	重(g)	No	質	色	径	厚	重(g)
263	ガラス	青	3.3	2.0	0.03	290	ガラス	青	4.0	2.8	0.07
264	"	"	3.5	1.8	0.03	291	"	"	4.5	3.0	0.07
265	"	"	3.5	2.0	0.03	292	"	"	5.0	2.8	0.06
266	"	"	3.3	1.8	0.02	293	"	"	4.0	2.5	0.06
267	"	"	4.0	4.5	0.27	294	"	"	4.0	3.0	0.07
268	"	"	6.5	4.2	0.20	295	"	"	4.0	2.9	0.06
269	"	"	6.0	4.0	0.19	296	"	"	4.0	2.9	0.06
270	"	"	5.0	2.8	0.08	297	"	"	4.0	2.0	0.06
271	"	"	4.3	3.0	0.06	298	"	"	3.8	2.5	0.07
272	"	"	4.5	2.5	0.06	299	"	"	4.2	2.9	0.05
273	"	"	4.0	3.2	0.07	300	"	"	4.0	2.0	0.04
274	"	"	4.5	2.7	0.06	301	"	"	4.5	3.0	0.06
275	"	"	4.5	3.0	0.06	302	"	"	4.5	2.5	0.05
276	"	"	4.5	3.0	0.06	303	"	"	4.0	2.7	0.04
277	"	"	4.0	3.0	0.06	304	"	"	4.3	2.7	0.05
278	"	"	4.5	2.5	0.07	305	"	"	4.0	2.5	0.05
279	"	"	4.5	2.8	0.07	306	"	"	4.0	2.3	0.05
280	"	"	4.7	3.0	0.07	307	"	"	3.8	2.0	0.03
281	"	"	4.5	3.0	0.07	308	"	"	3.5	2.0	0.02
282	"	"	4.0	2.8	0.07	309	"	"	3.8	2.0	0.03
283	"	"	4.5	3.0	0.07	310	"	"	3.2	2.0	0.03
284	"	"	4.5	2.3	0.06	311	"	"	3.5	2.2	0.03
285	"	"	4.5	2.5	0.06	312	"	"	3.7	2.2	0.03
286	"	"	4.0	3.0	0.07	313	"	"	3.8	2.0	0.03
287	"	"	4.0	2.2	0.06	314	"	"	3.3	2.0	0.02
288	"	"	4.3	3.0	0.07	315	"	"	3.5	2.0	0.03
289	"	"	4.0	2.8	0.07	316	"	"	3.5	2.5	0.03

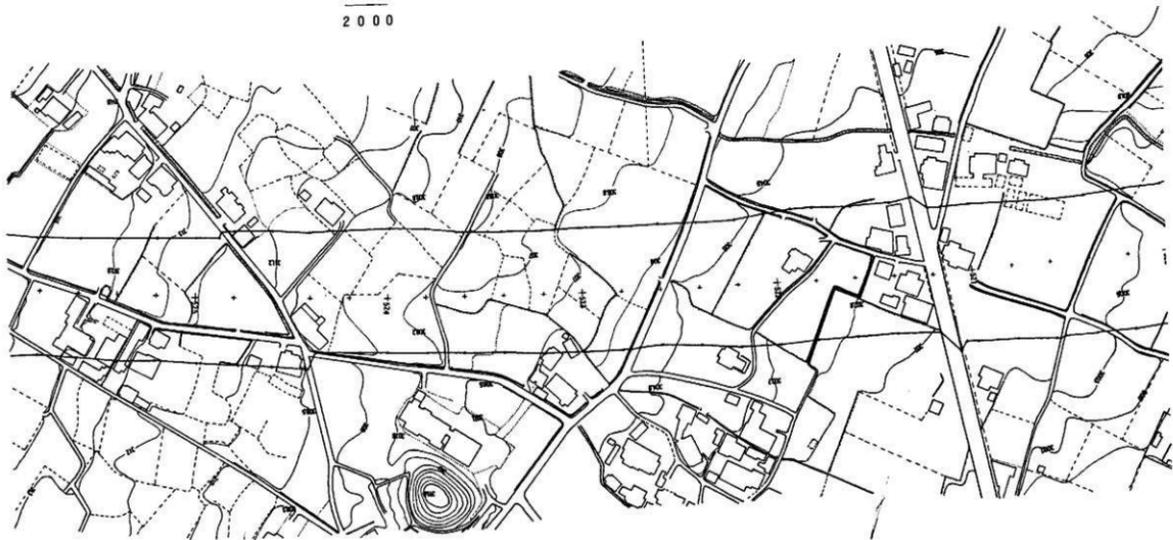
第10表 蛇塚遺跡住居時期一覽

住居址番号	時 期	住居址番号	時 期
1	古墳時代末期Ⅲ	33	古墳時代後期1
2	" 後期2	34	" 末期I
3	" 末期1	35	" 末期I
4	不 明	36	" 末期1
5	" 末期Ⅲ	37	古墳時代中期前半
6	" 末期Ⅱ	38	奈良・平安時代XIV
7	" 末期1	39	" XV
8	" 後期2	40	古墳時代末期I
9	奈良・平安時代XVI	41	" 前期後半
10	古墳時代後期2	42	奈良・平安時代VI
11	不 明	43	" Ⅲ
12	古 墳 時 代	44	古墳時代前期前半
13	古墳時代後期3	45	" 後期3
14	" 後期3	46	" 前期後半
15	奈良・平安時代I	47	"
16	" XV	48	" 末期Ⅱ
17	古墳時代後期3	49	" 末期I
18	" " 4	50	"
19	" " 2	51	" 末期I
20	" 末期Ⅱ	52	" 後期2
21	奈良・平安時代IX	53	欠 番
22	古墳時代中期前半	54	" 後期4
23	" 後期2	55	" 末期I
24	" 後期3	56	" 後期4
25	" 後期1	57	" 末期I
26	" 前期前半	58	" 後期1
27	" 末期1	59	" 前期前半
28	奈良・平安時代XV	60	" 後期3
29	" IV	61	" 末期1
30	古墳時代前期後半	62	" 末期1
31	奈良・平安時代Ⅷ	63	" 末期I
32	古墳時代後期3	64	" 末期I

住居址番号	時 期	住居址番号	時 期
65	古墳時代末期Ⅰ	98	古墳時代末期Ⅰ
66	" 前期前半	99	" 後期Ⅲ
67	不 明	100	" 後期Ⅲ
68	" 前期後半	101	奈良・平安時代ⅩⅤ
69	" 中期前半	102	古墳時代後期Ⅰ
70	" 前期後半	103	" 中期前半
71	" 末期Ⅱ	104	" 末期Ⅱ
72	" 末期Ⅰ	105	" 中期後半
73	" 後期Ⅲ	106	" 後期Ⅱ
74	" 末期Ⅰ	107	" 後期Ⅱ
75	" 末期Ⅰ	108	" 後期Ⅲ
76	" 末期Ⅰ	109	" 後期Ⅰ
77	" 前期後半	110	" 後期Ⅲ
78	" 後期Ⅲ	111	" 後期Ⅰ
79	" 末期Ⅰ	112	" 後期Ⅲ
80	" 末期Ⅰ	113	" 末期Ⅰ
81	" 後期Ⅳ	114	" 末期Ⅰ
82	" 末期Ⅱ	115	" 前期後半
83	" 末期Ⅱ	116	" 中期後半
84	" 前期前半	117	" 後期Ⅳ
85	" 前期前半	118	" 後期Ⅱ
86	" 後期Ⅳ	119	"
87	" 末期Ⅰ	120	" 前期前半
88	" 前期後半	121	" 末期Ⅰ
89	" 前期後半	122	奈良・平安時代Ⅷ
90	" 後期Ⅱ	123	古墳時代末期Ⅰ
91	" 前期後半	124	" 後期Ⅳ
92	" 後期Ⅳ	125	" 末期Ⅲ
93	" 後期Ⅳ	126	"
94	" 後 期	127	奈良・平安時代Ⅷ
95	" 前期後半	128	古墳時代後期Ⅳ
96	" 中期前半	129	奈良・平安時代Ⅹ
97	" 中期前半	130	" Ⅲ

住居址番号	時 期	住居址番号	時 期
131	古墳時代後期 I	137	奈良・平安時代 X
132	” II	138	古墳時代末期 I
133	奈良・平安時代 III	139	奈良・平安時代 X
134	” XI	140	古墳時代後期 2
135	” III	141	奈良・平安時代 X
136	” XIV	142	古墳時代末期 III

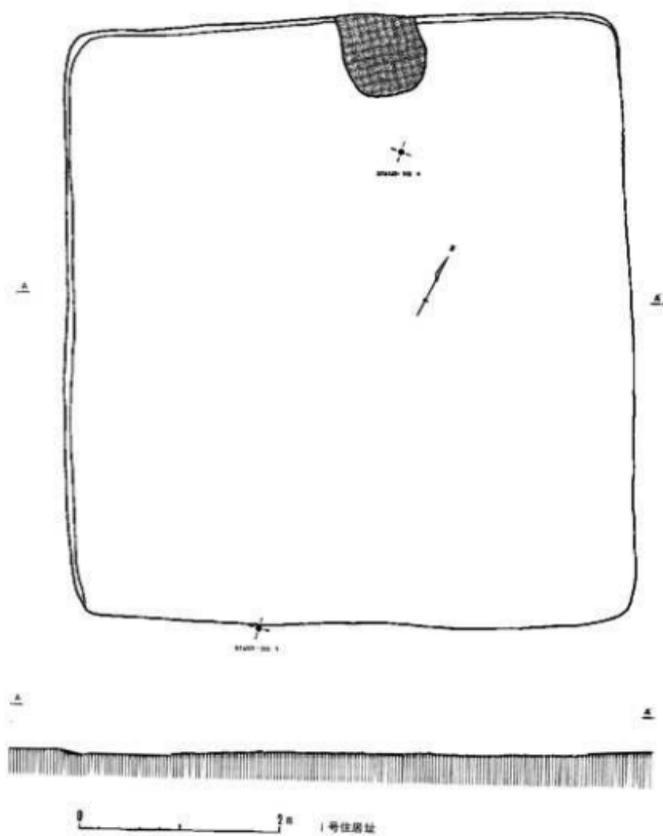
$\frac{1}{2000}$



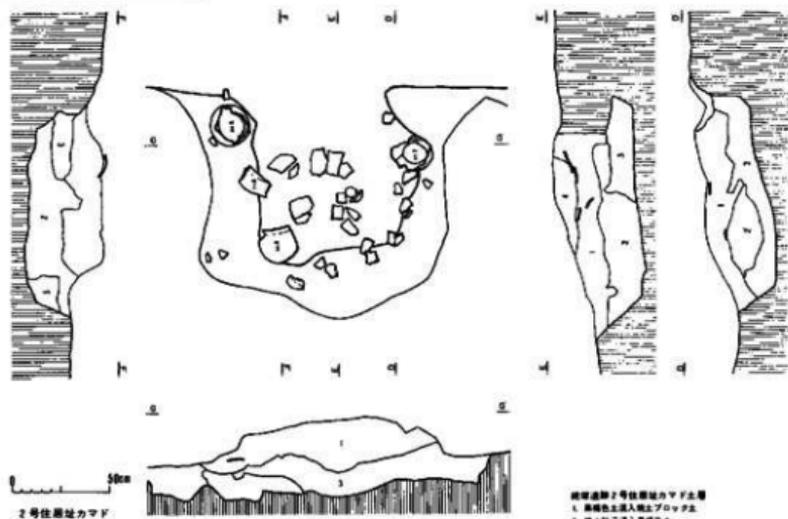
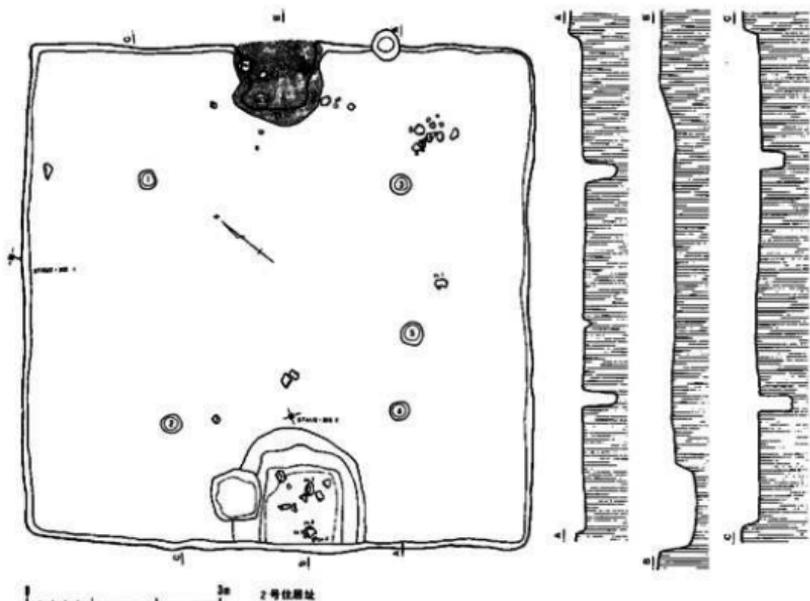
第2圖 二之宮、地保邊跡地形圖



第3図 縄塚遺跡全体図

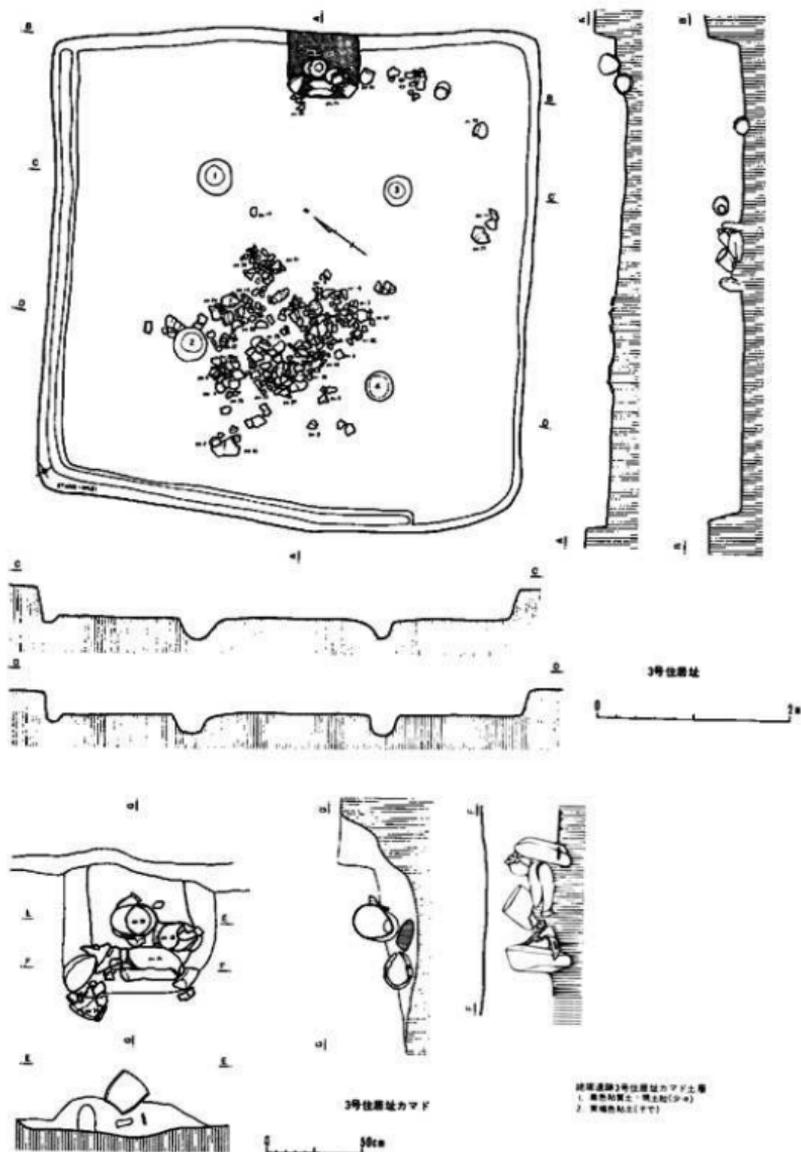


第4图 1号住居址平面图

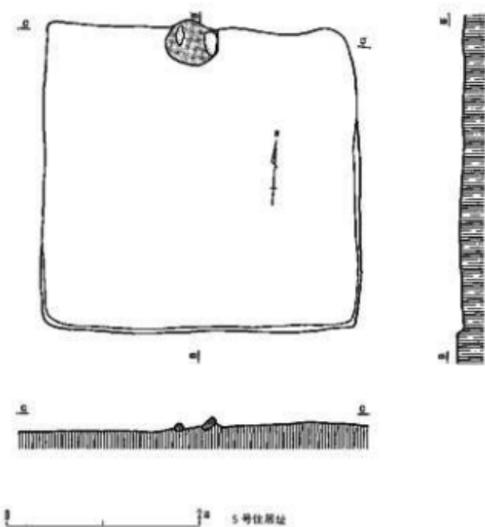
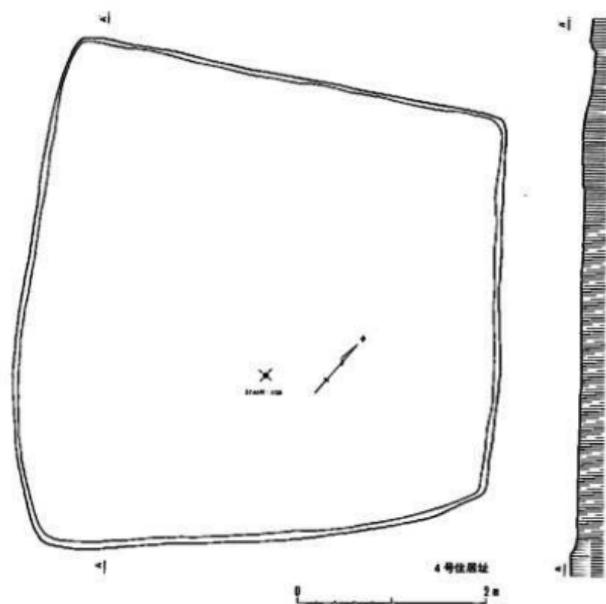


- 群馬道野2号住居址カマド土層
1. 赤褐色土混入焼土・ブロッサ土
 2. 焼土粒平混入赤褐色土
 3. 焼土粒平混入堆積土
 4. 焼土ブロッサ混入堆積土
 5. 焼土ブロッサ混入堆積褐色土
 6. 褐色土

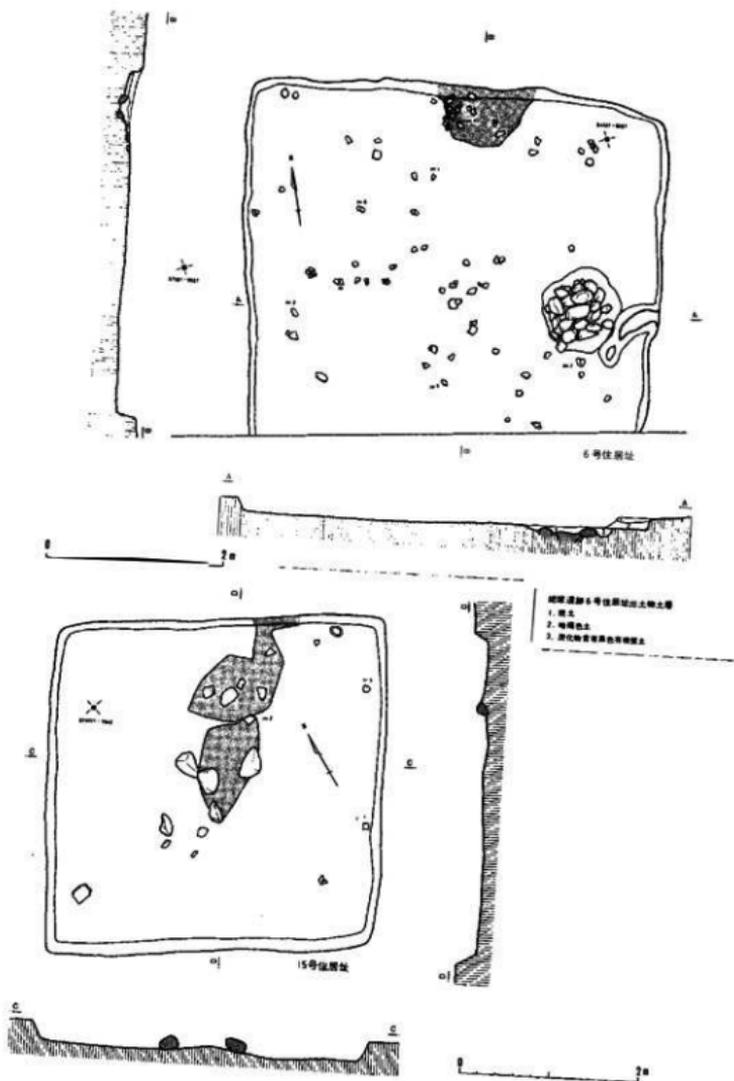
第5図 2号住居址平面図、2号住居址カマド実測図



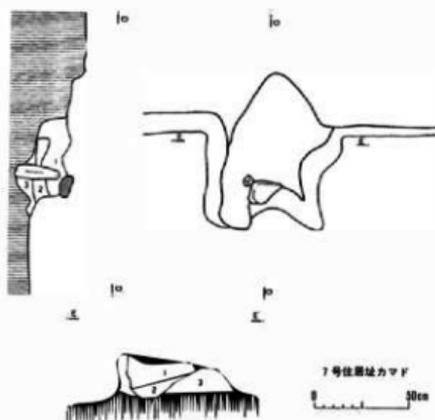
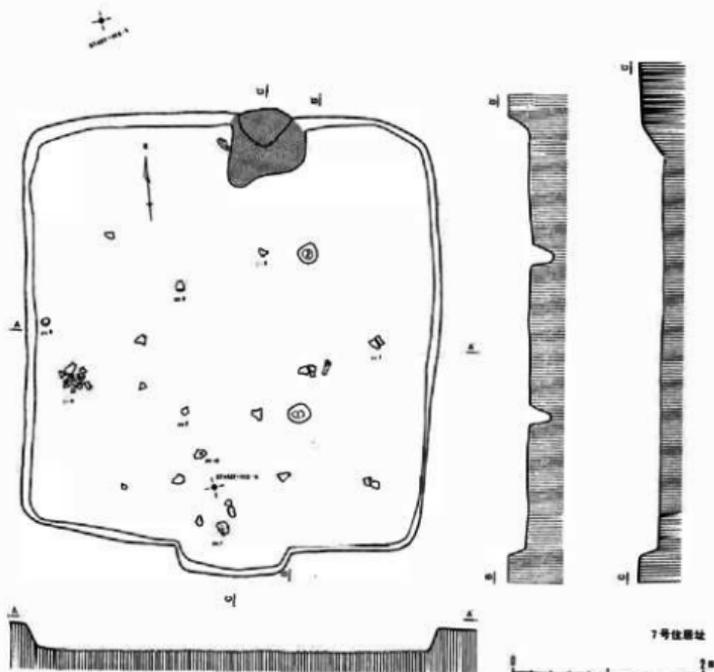
第6図 3号住居址平面図、3号住居址カマド実測図



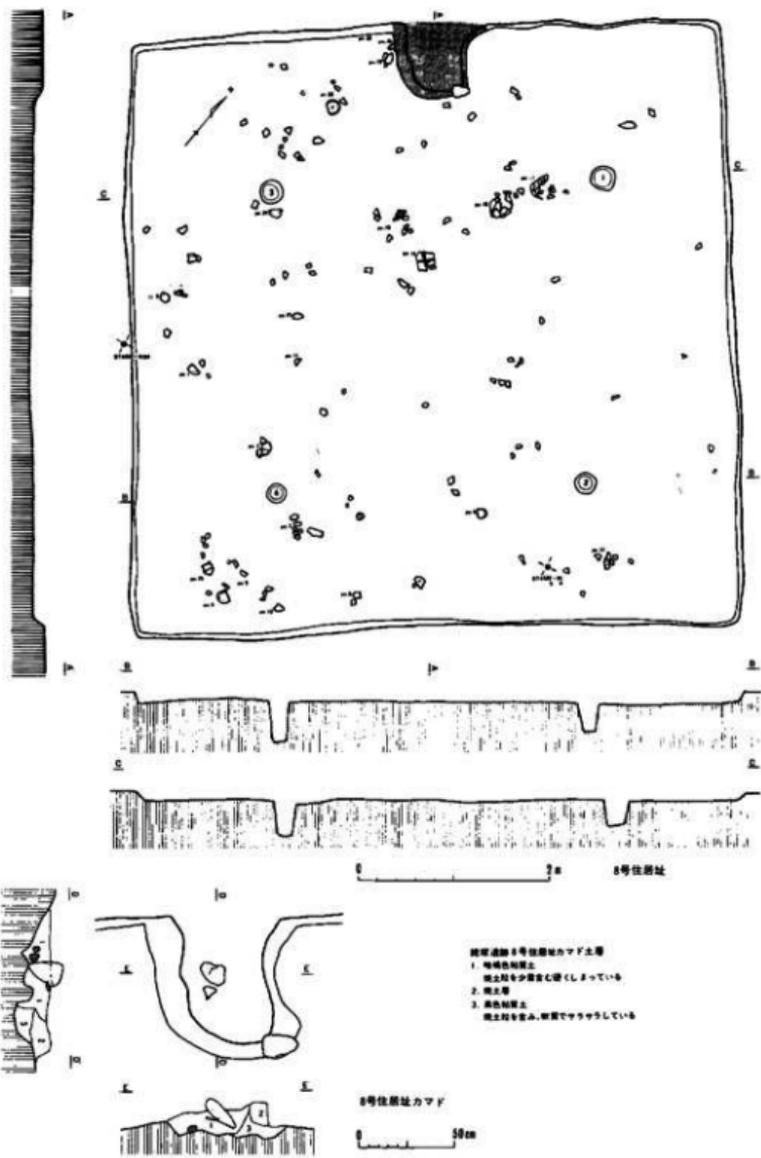
第7图 4、5号住居址平面图



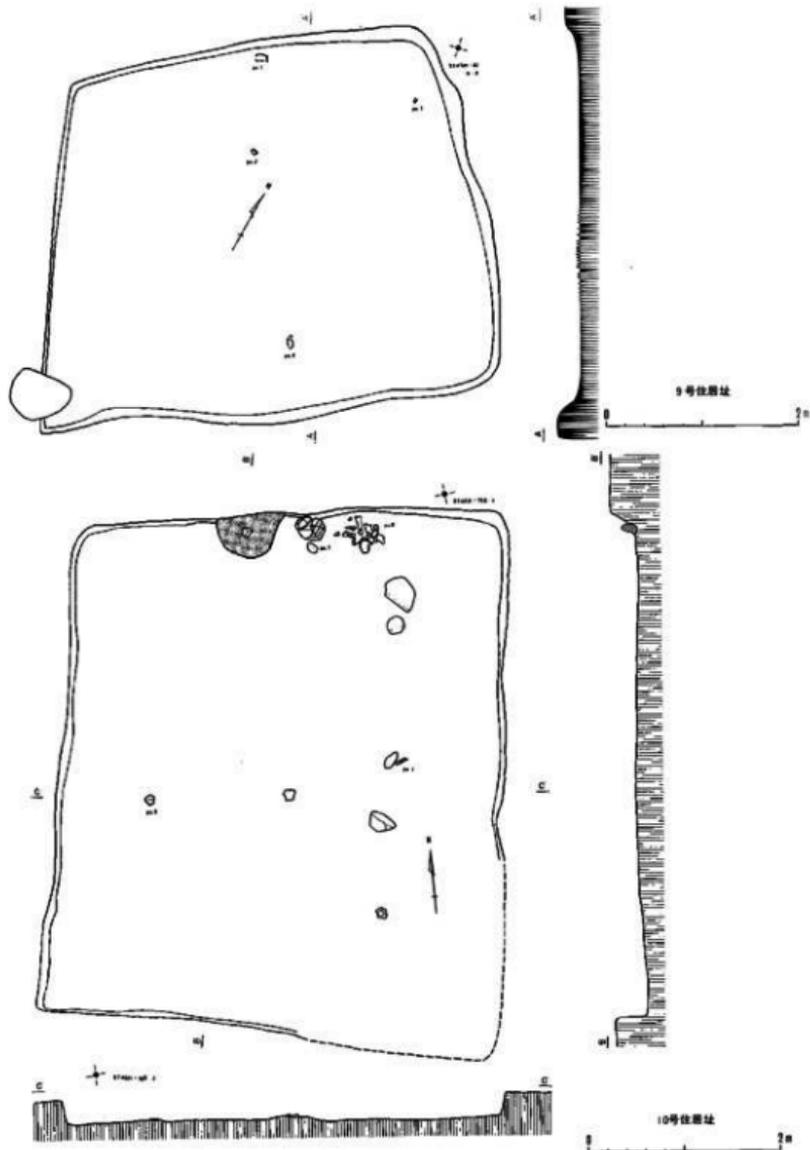
第8图 6、15号住居址平面图



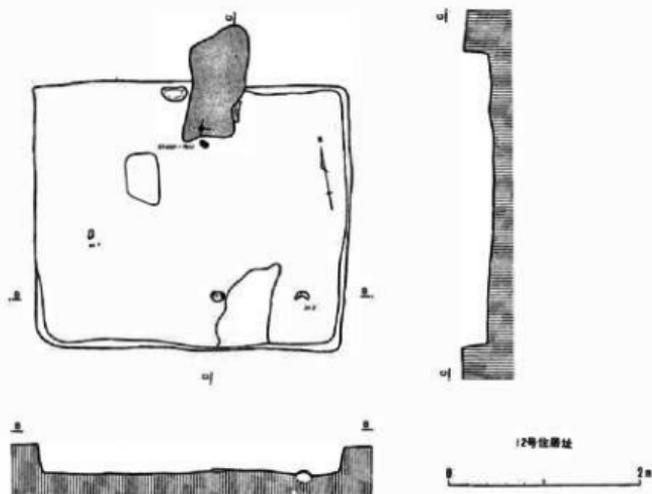
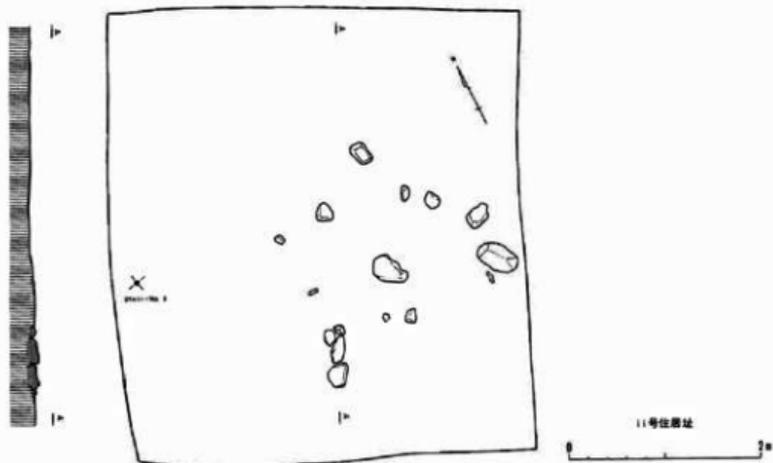
第9図 7号住居址平面図、7号住居址カマド実測図



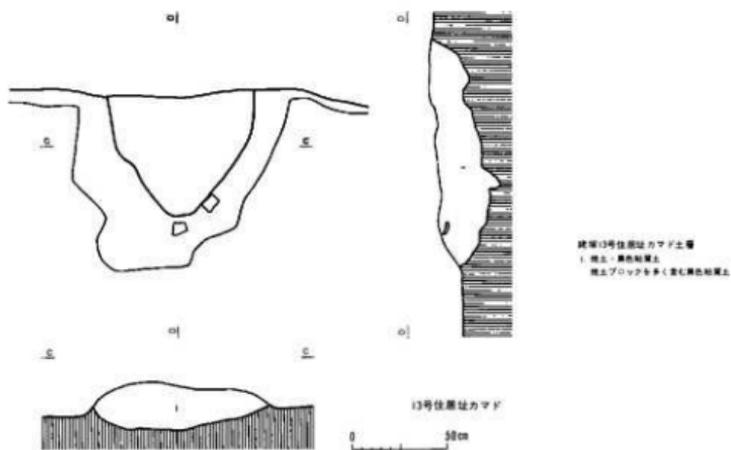
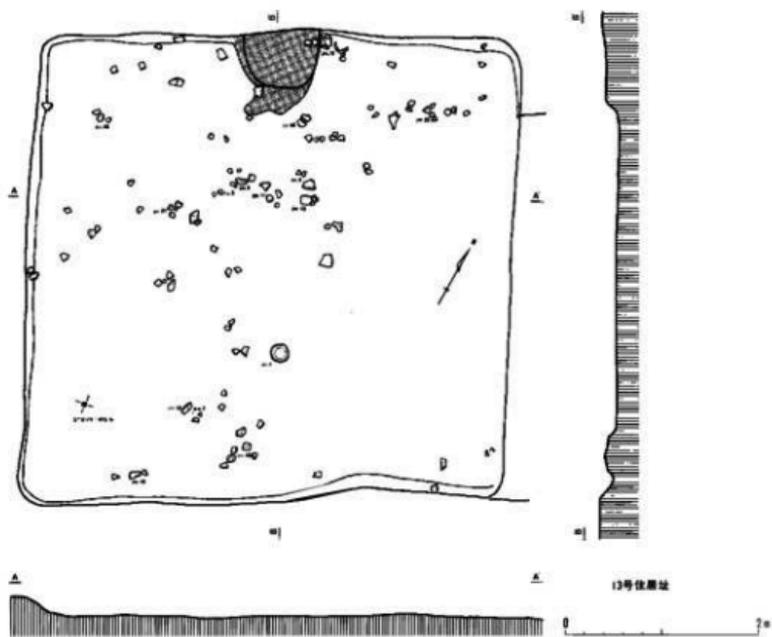
第10図 8号住居址平面図、8号住居址カマド実測図



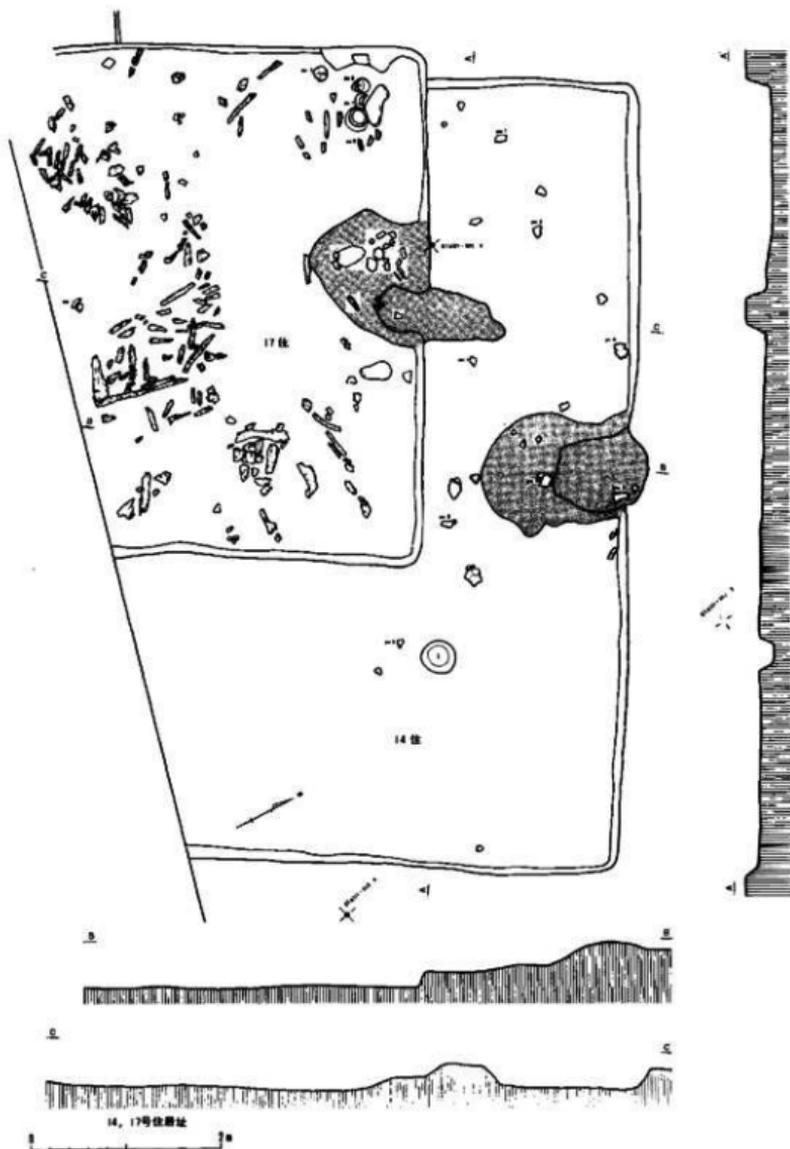
第11图 9、10号住居址平面图



第12图 11、12号住居址平面图



第13図 13号住居址平面図、13号住居址カマド実測図



第14图 14、17号住居址平面图

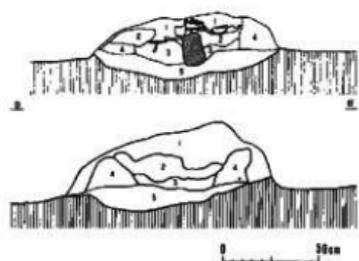
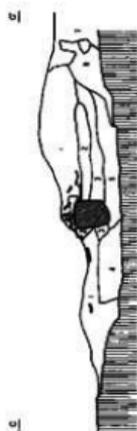
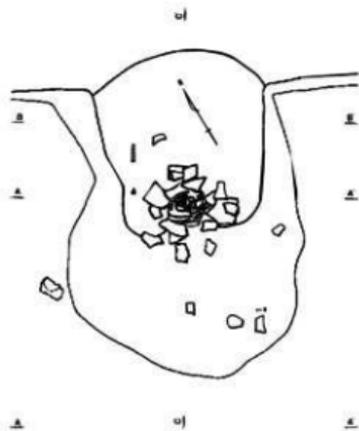


図14 14号住居址カマド土層

1. 黒色粘質土・焼土層
2. 焼土層
3. 黒色粘質土・焼土層
【1・2層より焼土の割合が多い】
4. 黄褐色粘土(7・8層の黒色粘質土が少量混入)
5. 黒色粘質土(1・2層の黒色粘質土より厚)
【焼土の割合は全く少ない】
6. 焼土層(6層より下の層のもの)
7. 黒色粘質土(1・2層の黒色粘質土より明るい)
8. 黄褐色粘質土
(カマドのせて面)

14号住居址カマド

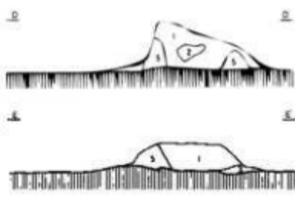
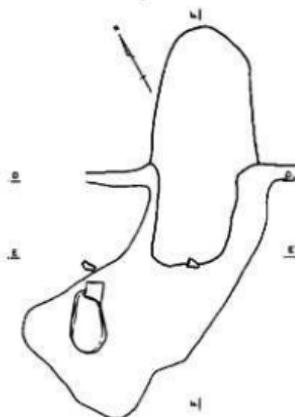
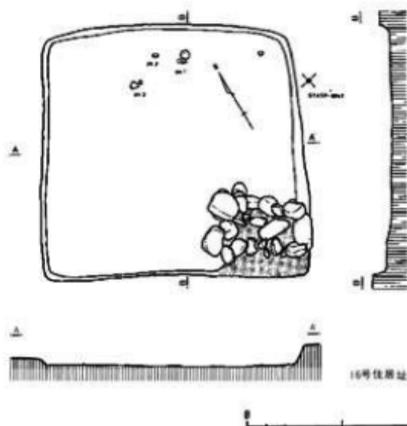


図17 17号住居址カマド土層

1. 黒色粘質土・焼土層
【深部の黒色粘質土に少量の焼土混入】
2. 焼土層
3. 黒色粘質土
【1層の黒色粘質土より厚(より粘質で硬質、焼土は少ない)】
4. 焼土層
【17層の深部が焼けたもの】
5. 黄褐色粘土
(カマドのせて面)

17号住居址カマド

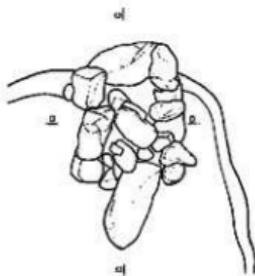
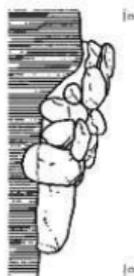
第15図 14、17号住居址カマド実測図



16号住居址カマド土層

1. 黄砂粘層土
2. 黄砂粘層土(流石ブロック)
3. 地土

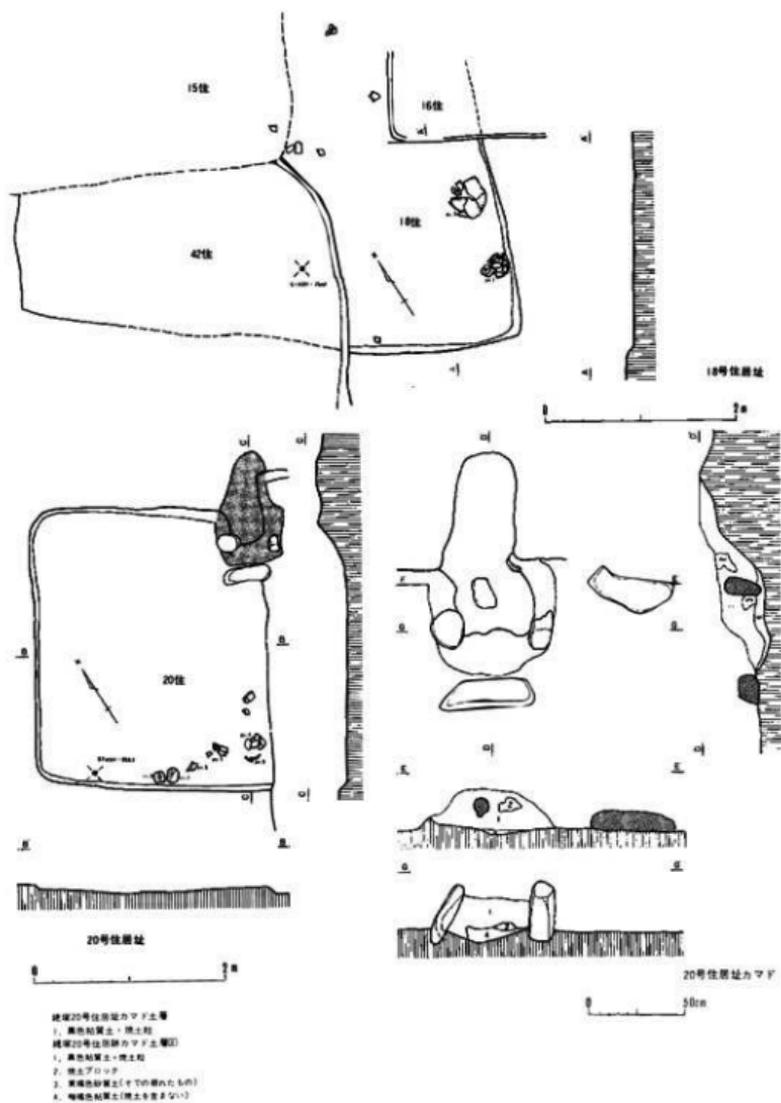
(断面黄砂粘層土が削けた上)



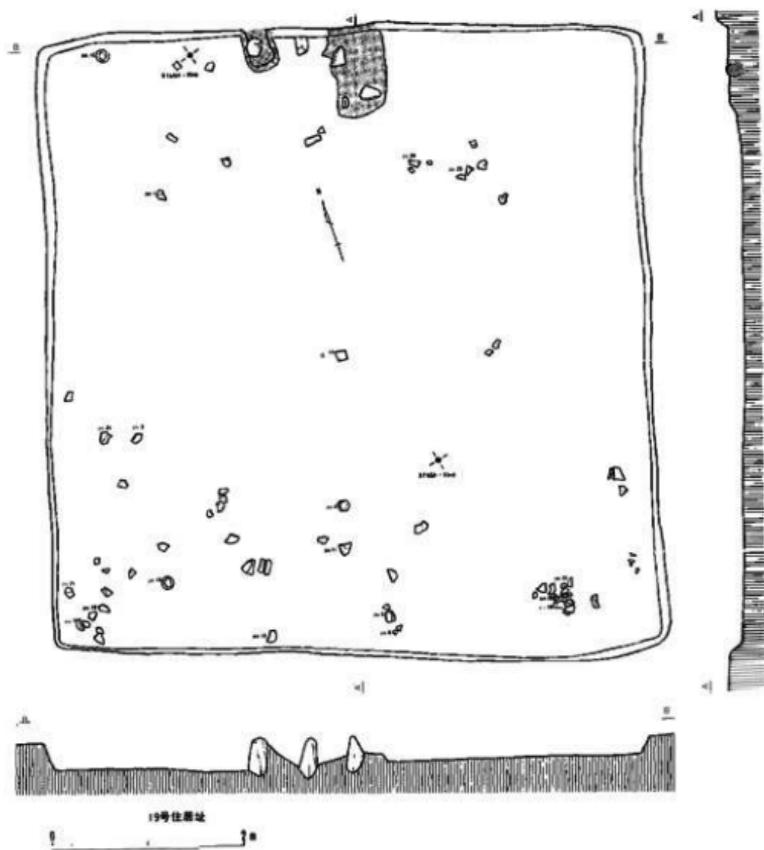
16号住居址カマド

0 30cm

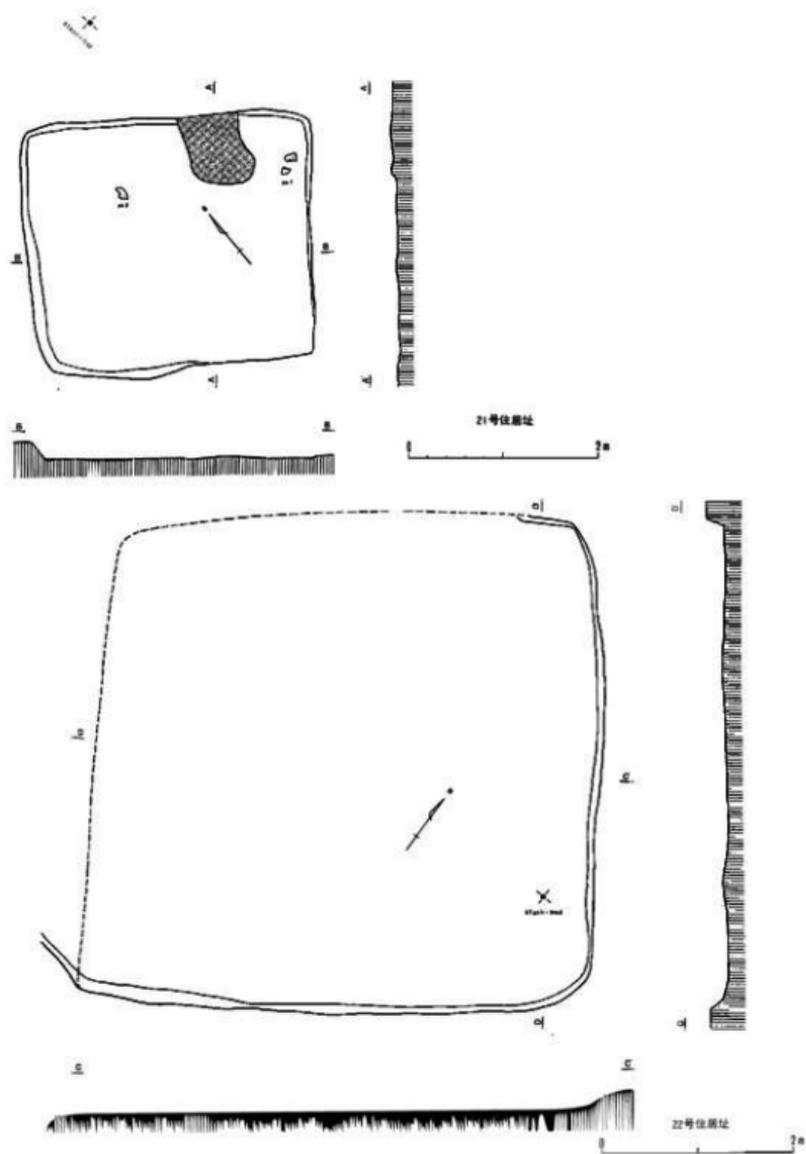
第16図 16号住居址平面図、16号住居址カマド実測図



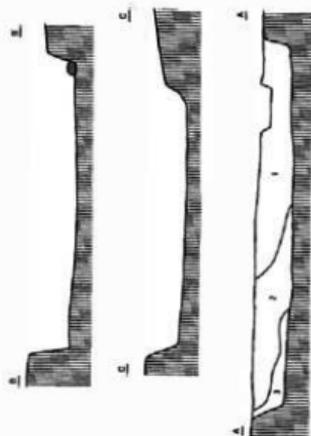
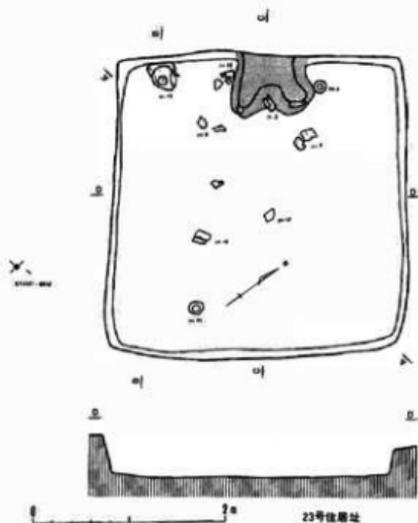
第17図 18、20号住居址平面図、20号住居址カマド実測図



第18图 19号住居址平面图

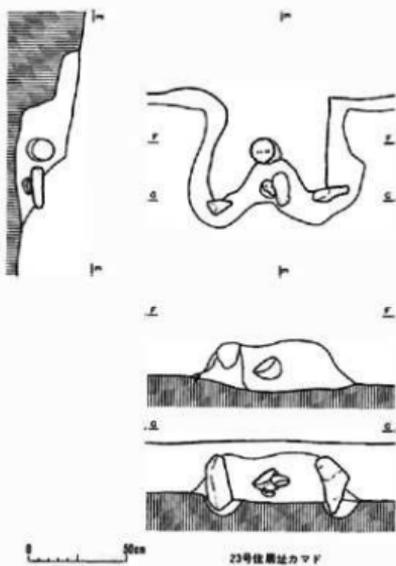


第19图 21、22号住居址平面图

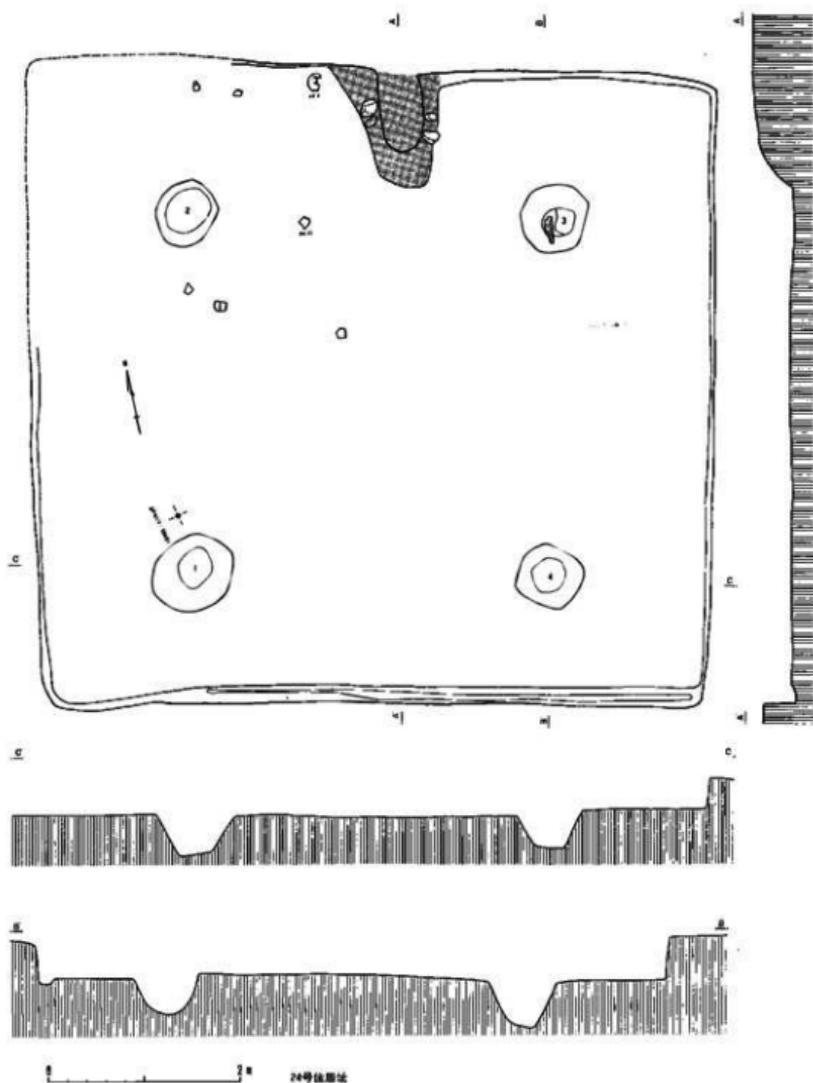


23号住居址土層

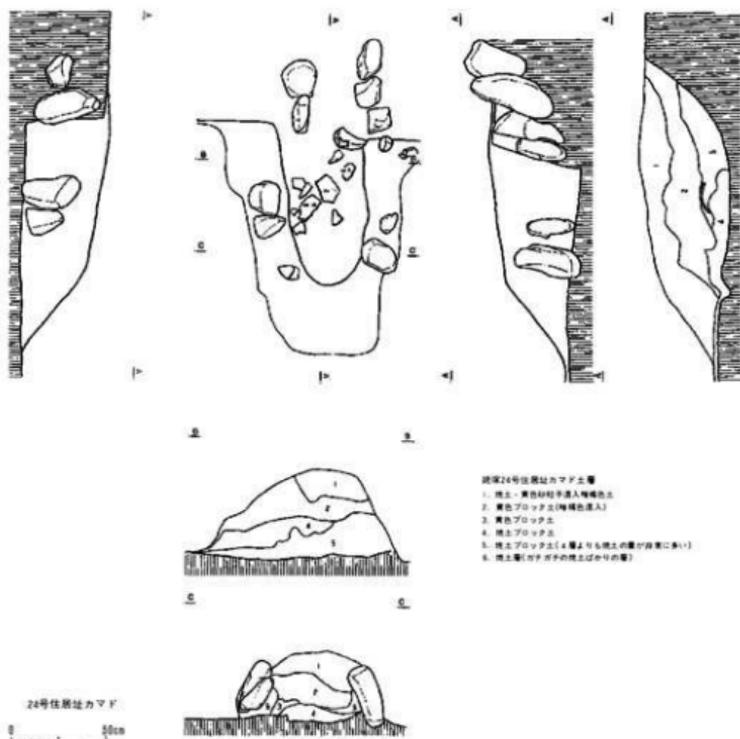
1. 黒色粘質土・中砂質・軟質
2. 黒色粘質土・粘
 入部大から階部大の厚さ多く重じ、黒色粘質土は土層と同じ
3. 黄褐色砂質土・軟質



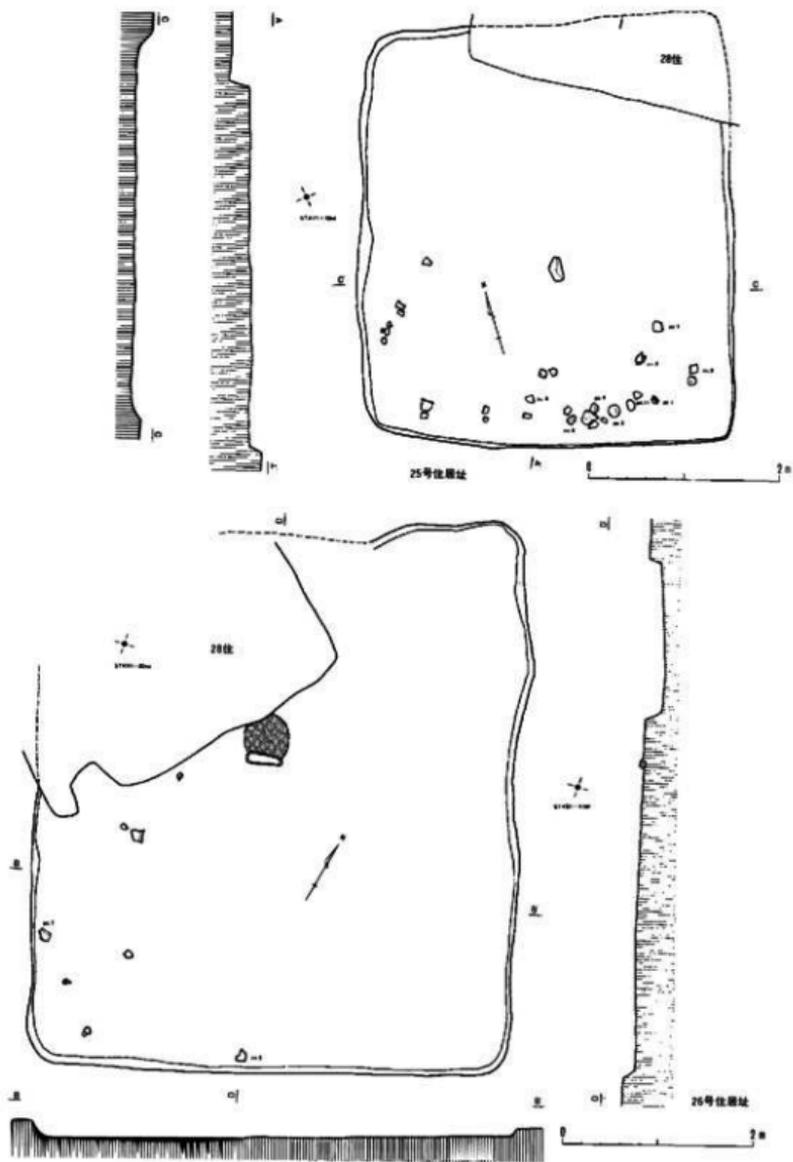
第20図 23号住居址平面図、23号住居址カマド実測図



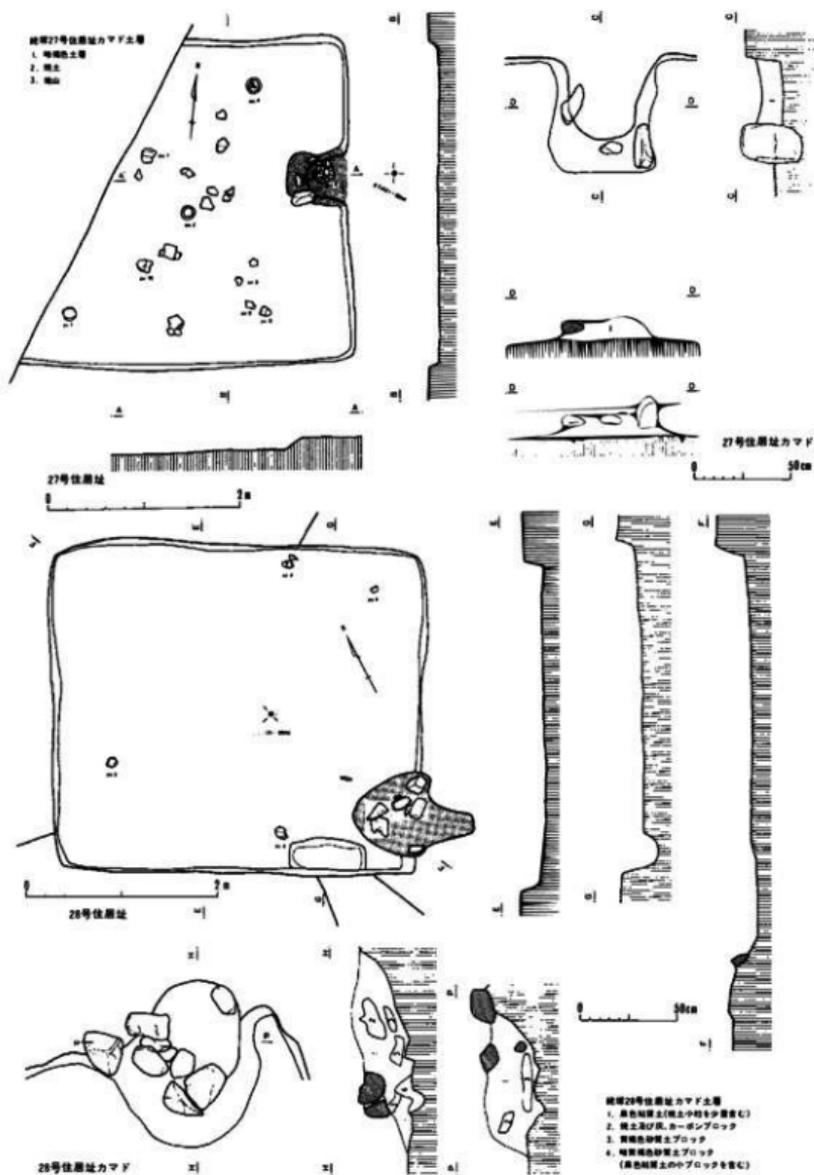
第21图 24号住居址平面图



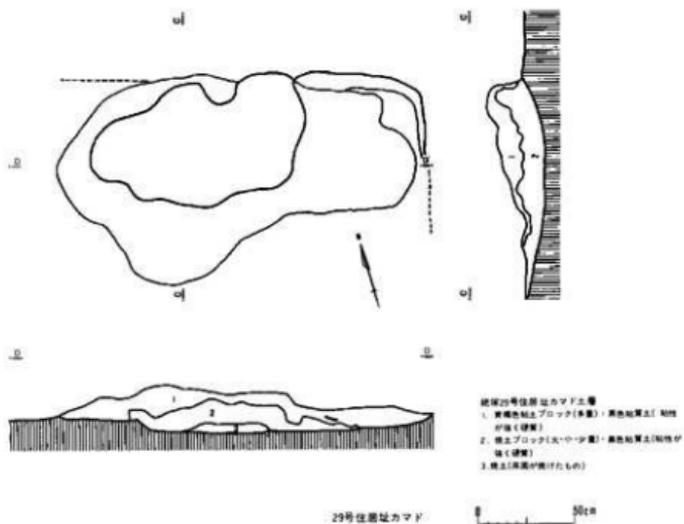
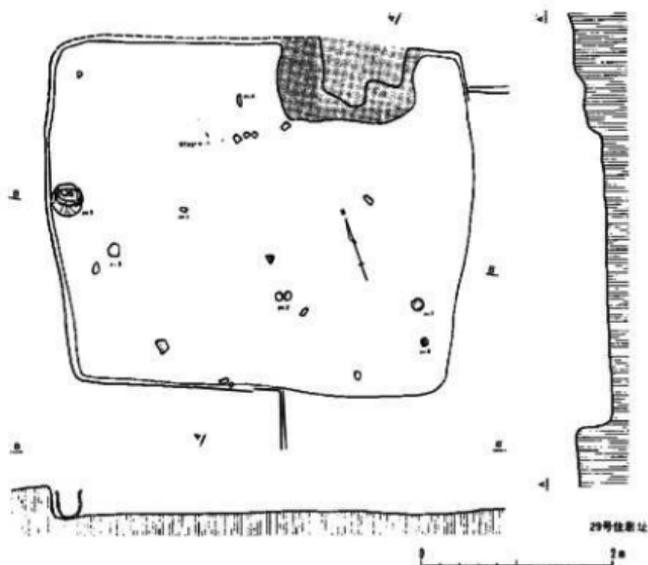
第22図 24号住居址カマド実測図



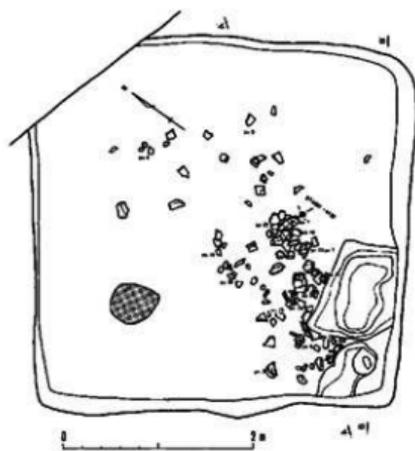
第23图 25、26号住居址平面图



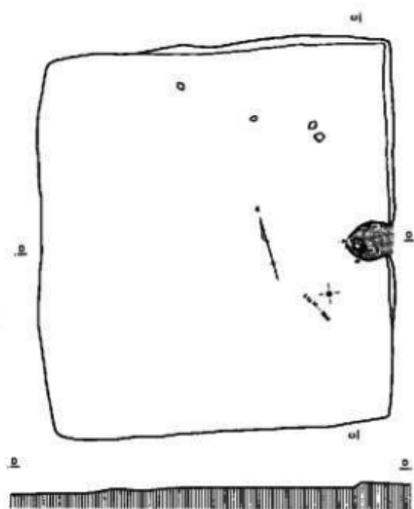
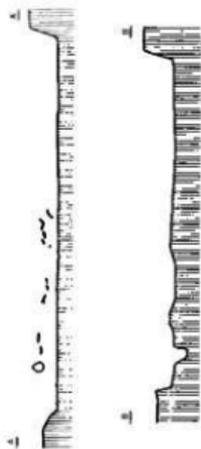
第24図 27、28号住居址平面図、27、28号住居址カマド実測図



第25図 29号住居址平面図、29号住居址カマド実測図



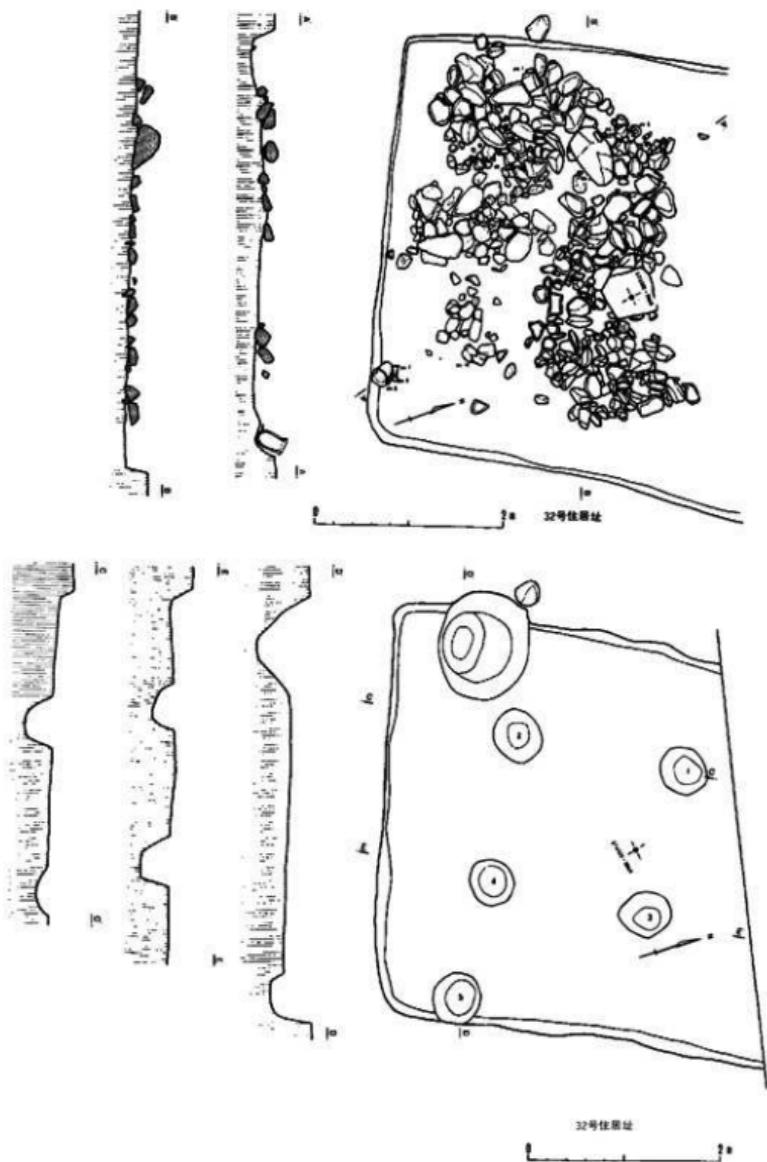
30号住居址



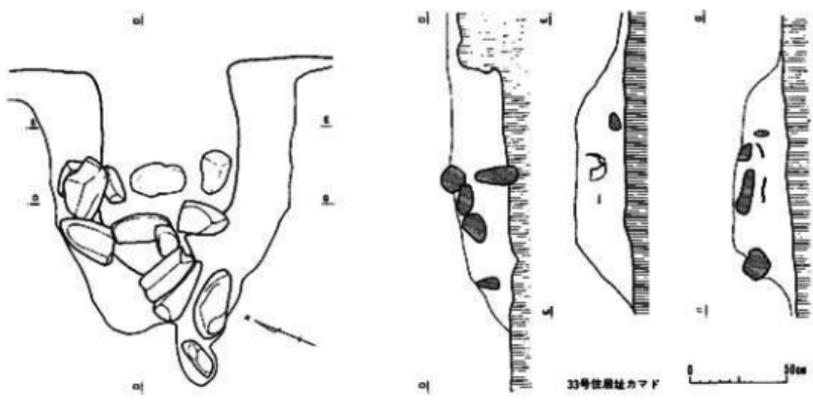
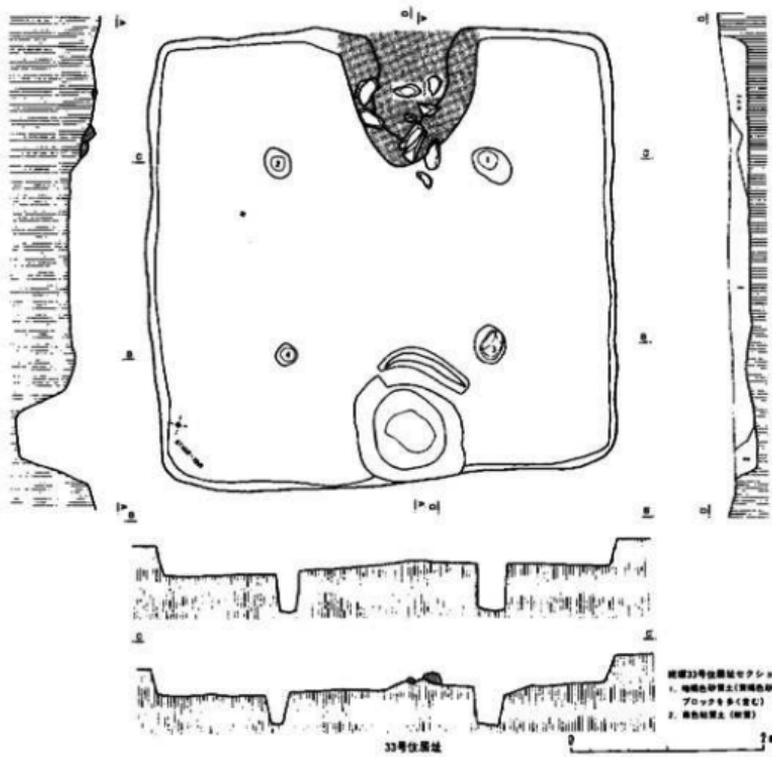
31号住居址



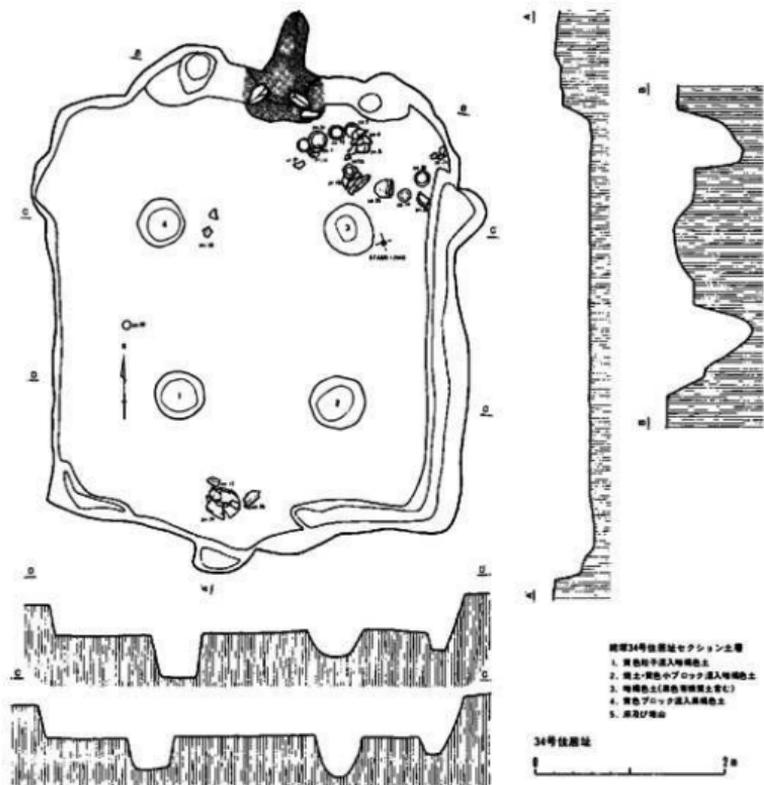
第26图 30、31号住居址平面图



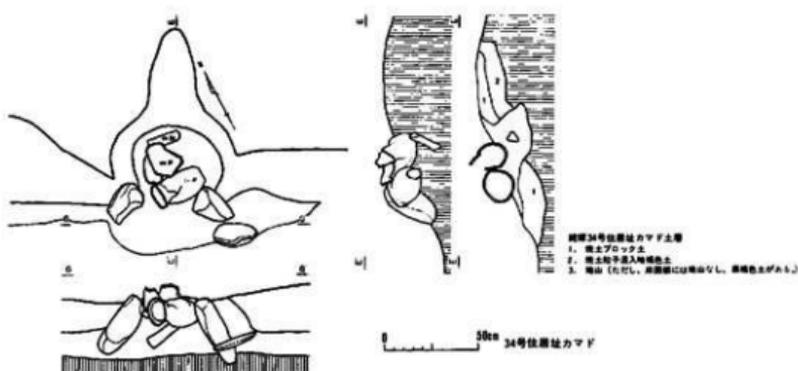
第27图 32号住居址平面图



第28図 33号住居址平面図、33号住居址カマド実測図

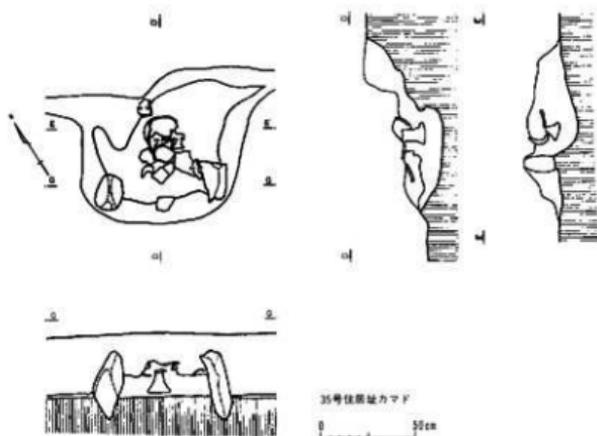
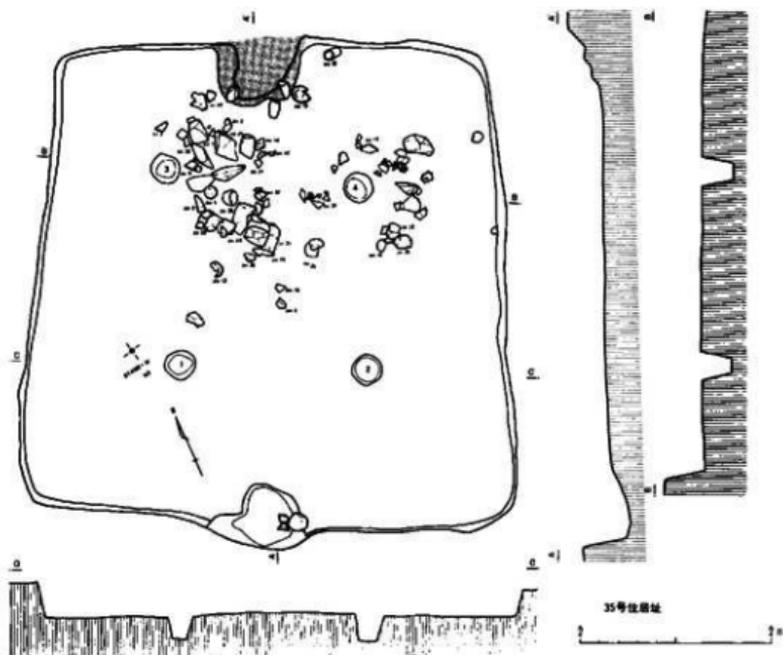


- 前掲34号住居址セクション土層
1. 黄褐色平直入り堆積物土
 2. 黄土・黄褐色小ブロック混入堆積物土
 3. 均褐色土(原色等積層上層に)
 4. 黄褐色ブロック混入堆積物土
 5. 灰及び堆積

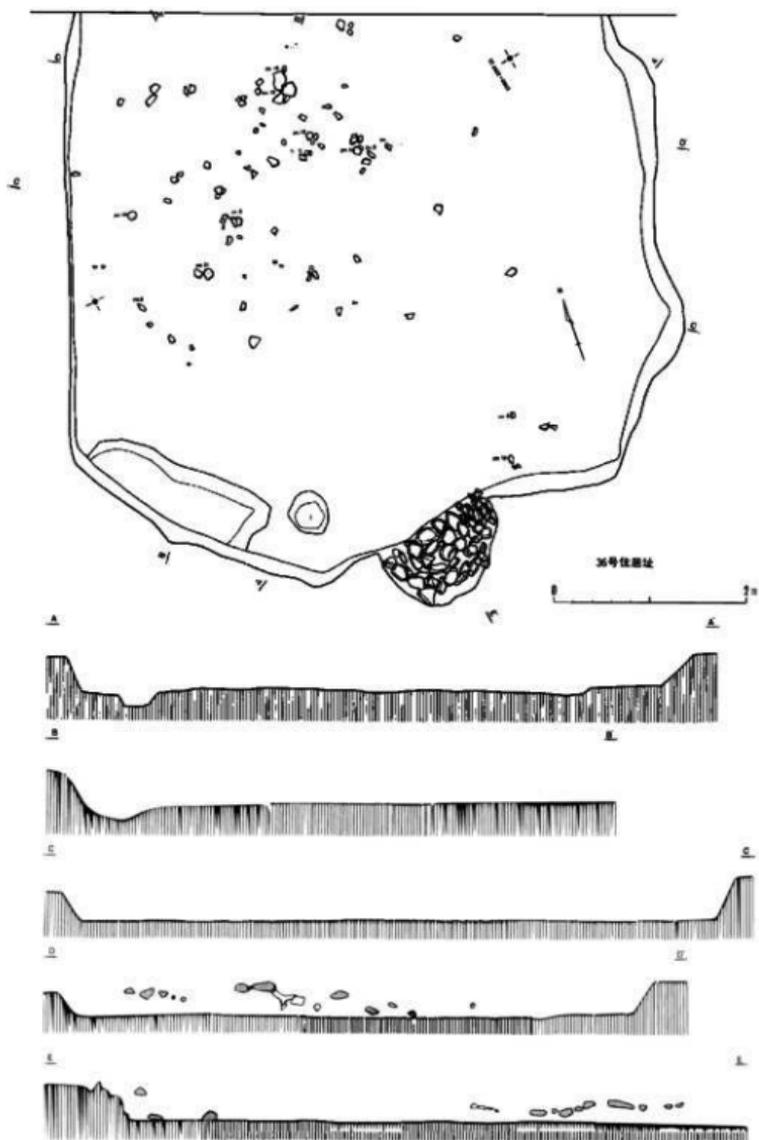


- 前掲34号住居址カマド土層
1. 黄土ブロック土
 2. 黄土中平直入り堆積物土
 3. 陶器(ただし、黒曜石には検出なし、黄褐色土が中心)

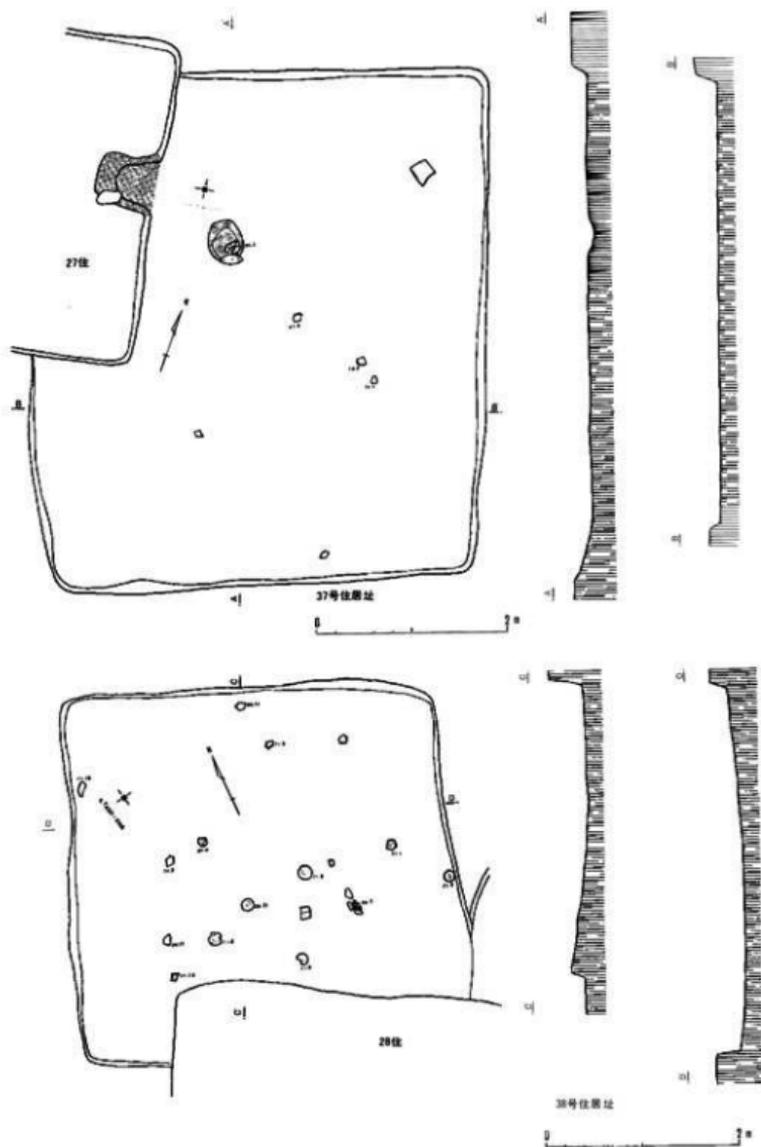
第29図 34号住居址平面図、34号住居址カマド実測図



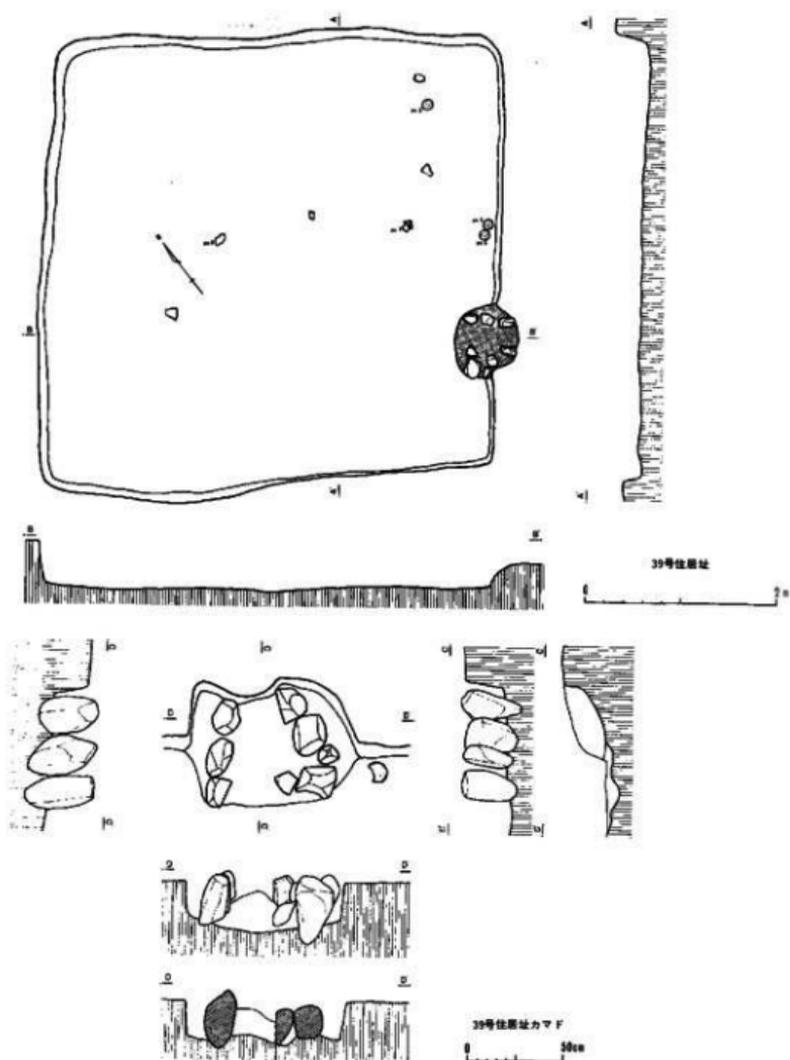
第30図 35号住居址平面図、35号住居址カマド実測図



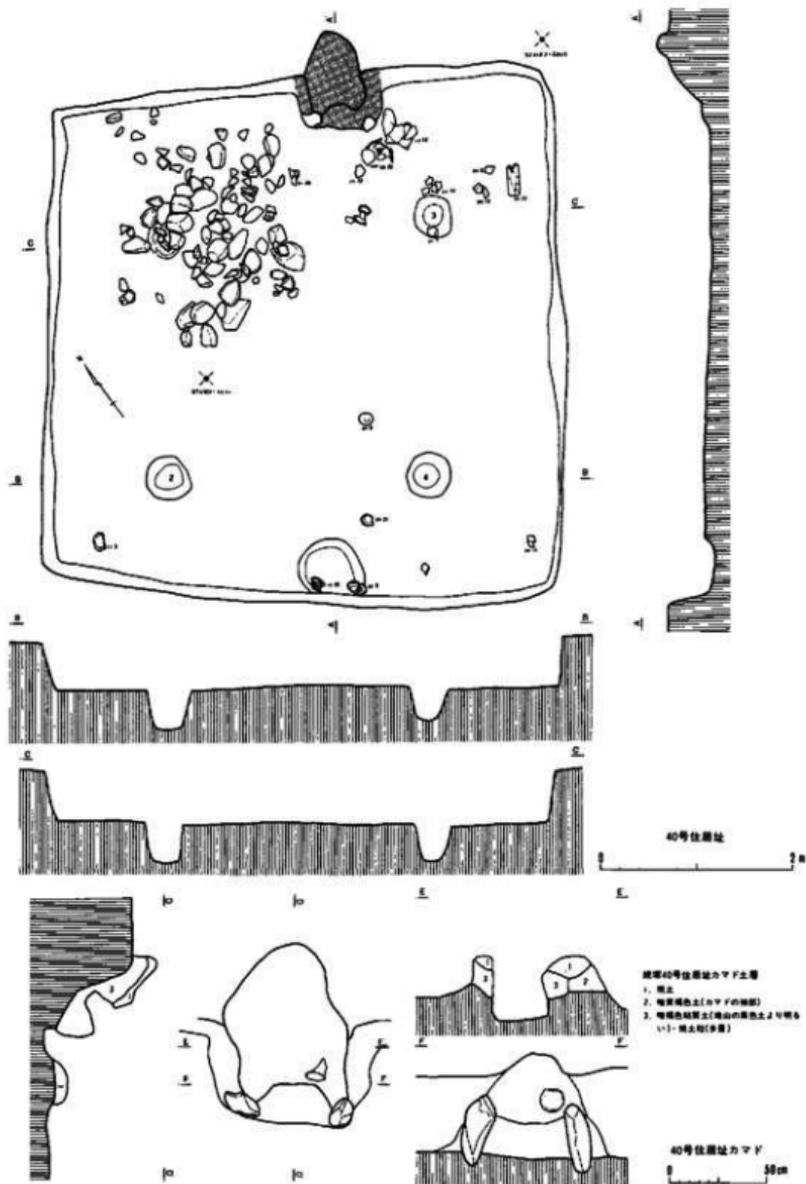
第31图 36号住居址平面图



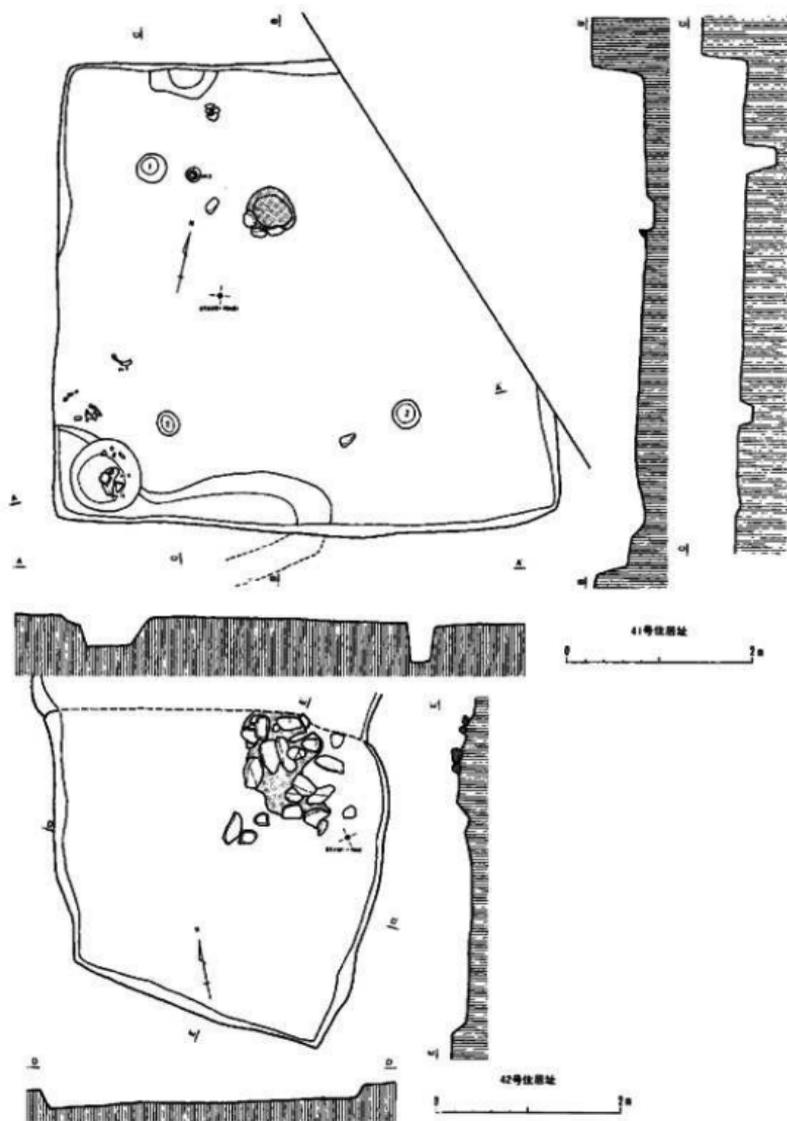
第32图 37、38号住居址平面图



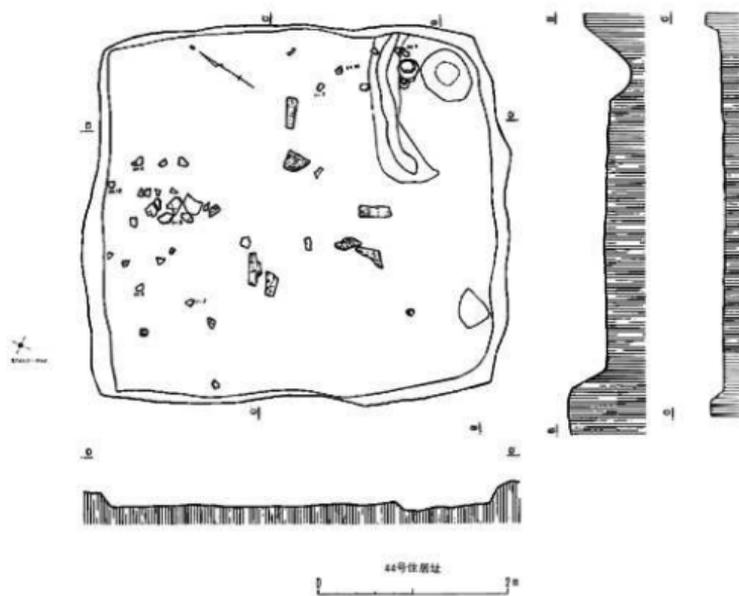
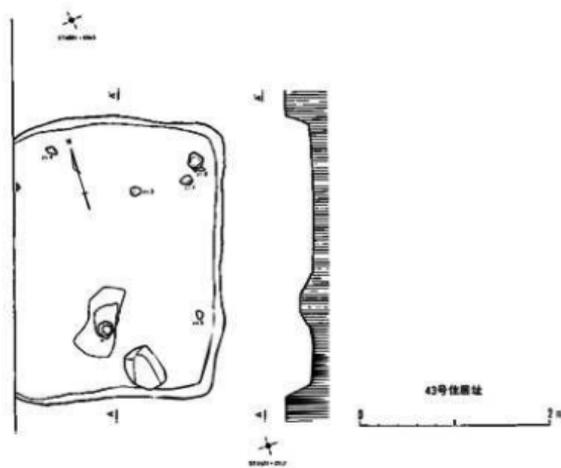
第33図 39号住居址平面図、39号住居址カマド実測図



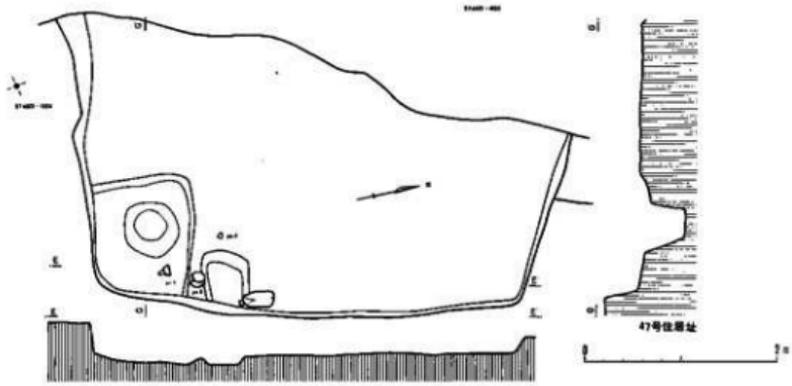
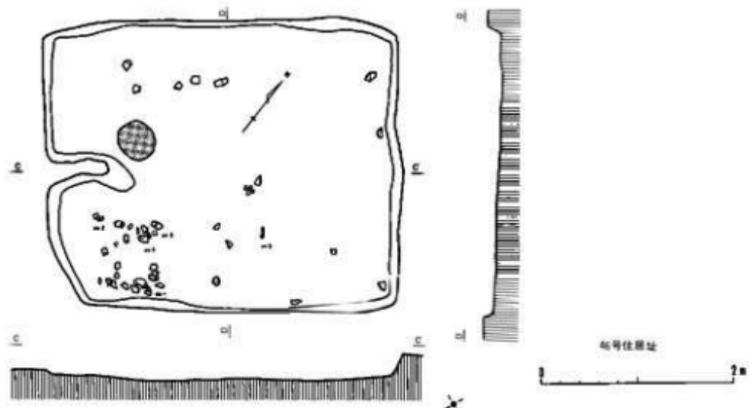
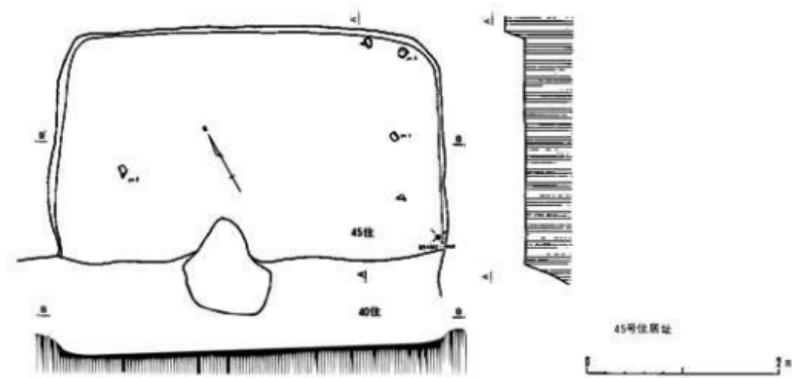
第34図 40号住居址平面図、40号住居址ナマド実測図



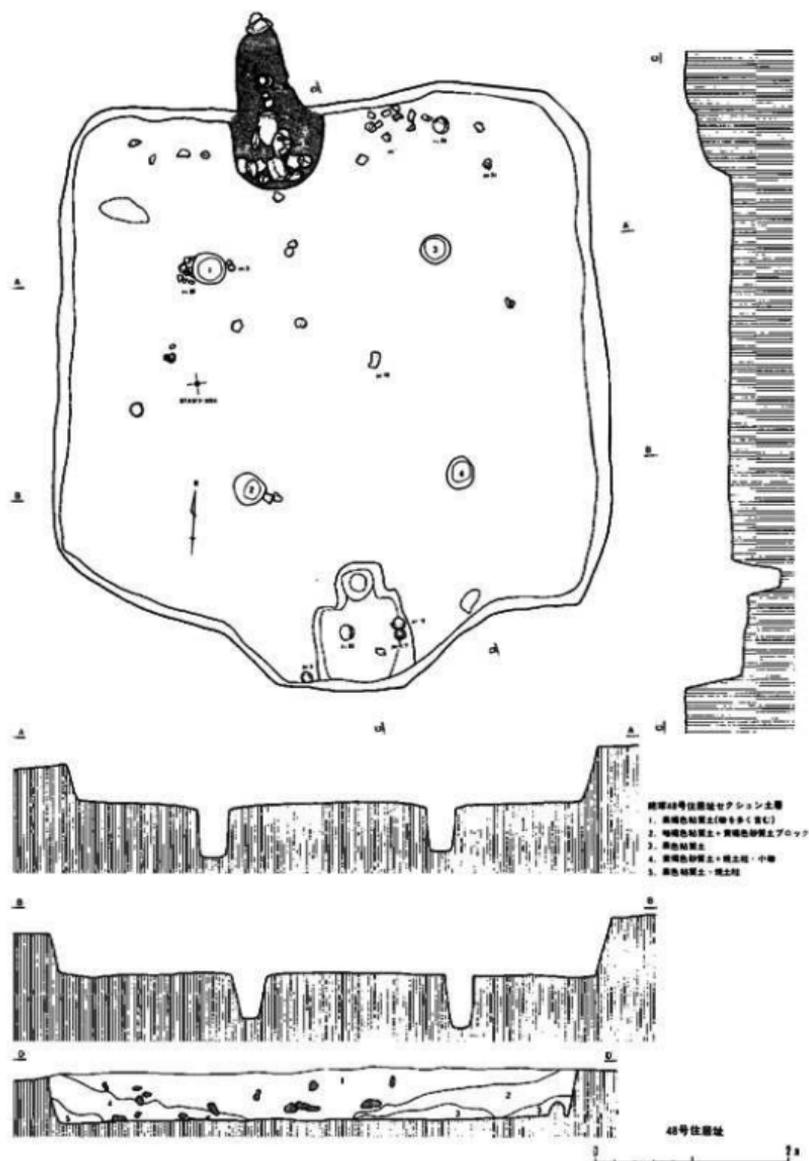
第35图 41、42号住居址平面图



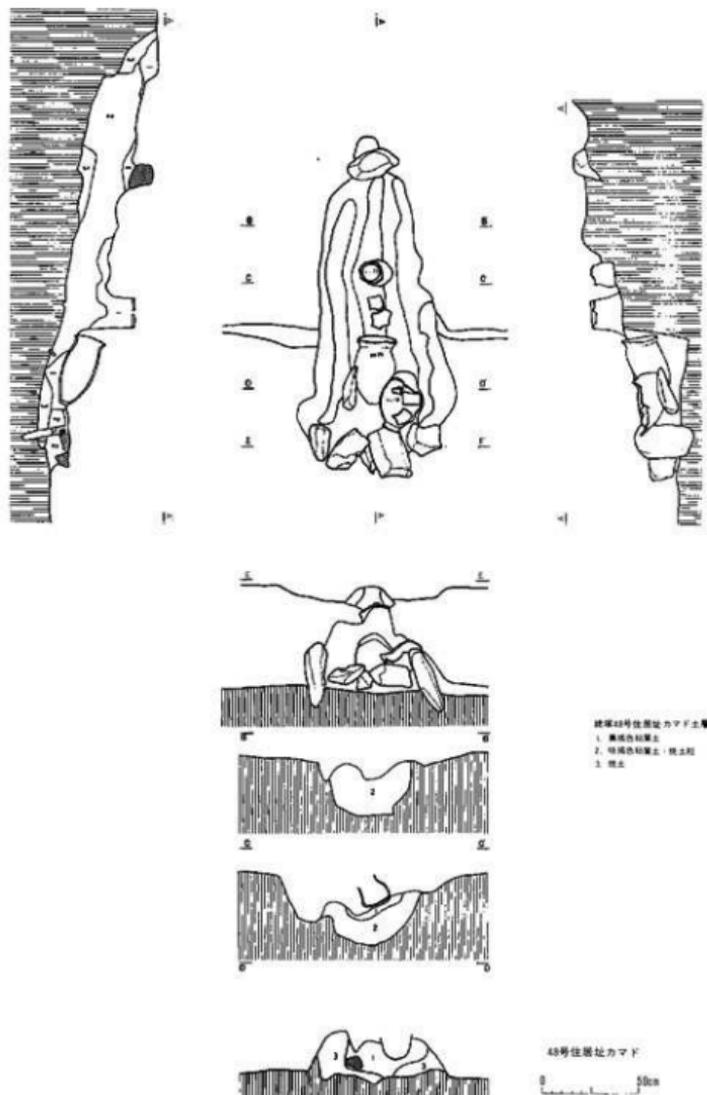
第36图 43、44号住居址平面图



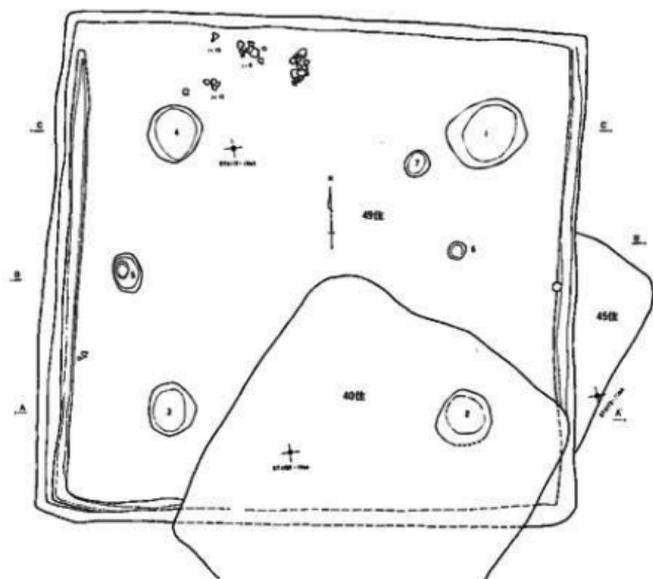
第37图 45、46、47号住居址平面图



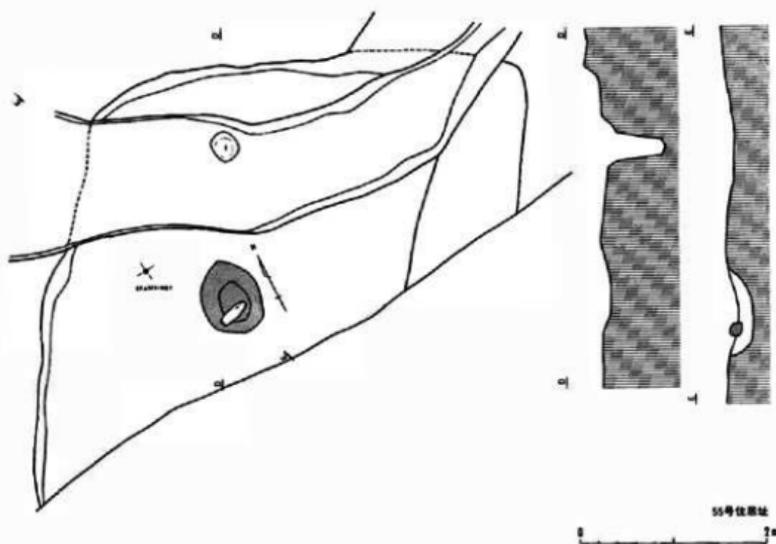
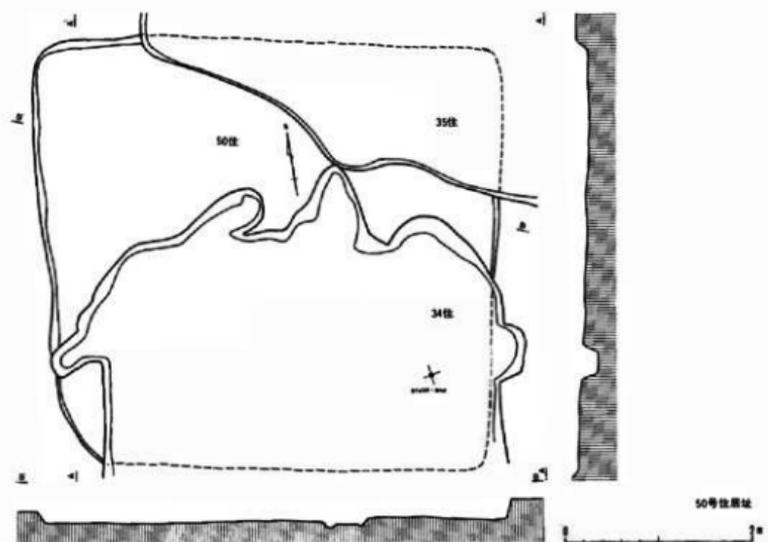
第38図 48号住居址平面図



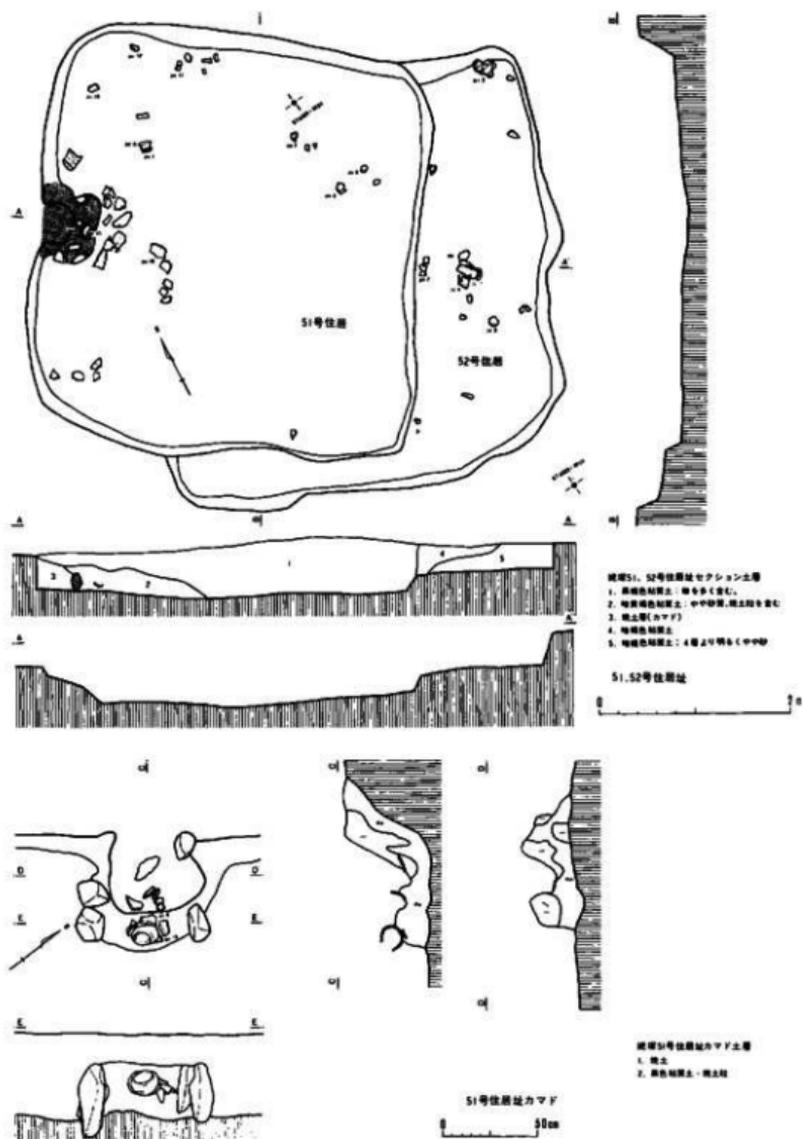
第39図 48号住居址カマド実測図



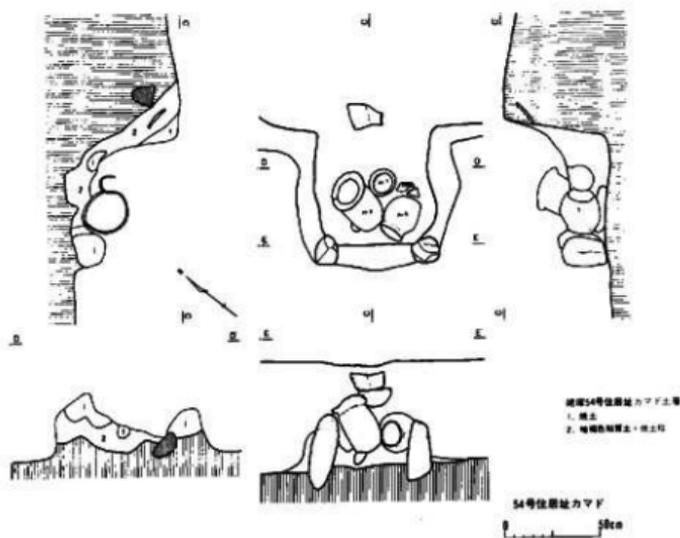
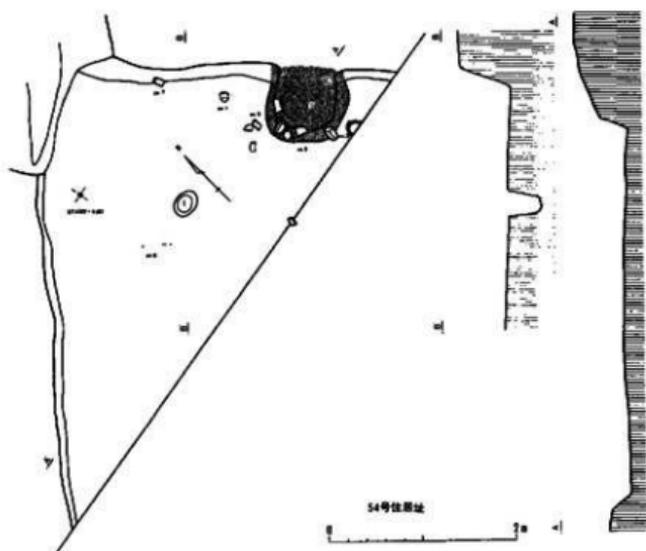
第40图 49号住居址平面图



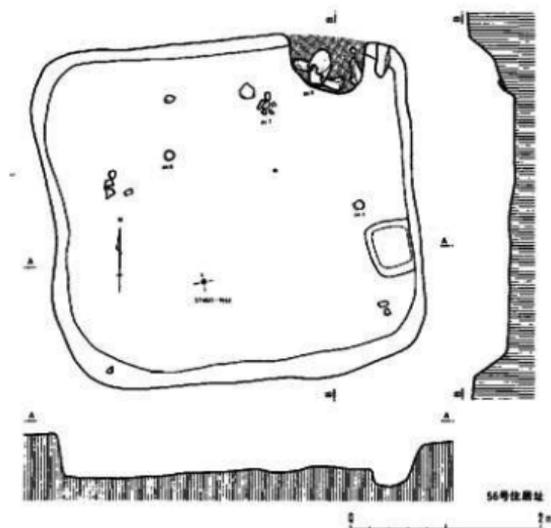
第41图 50、55号住居址平面图



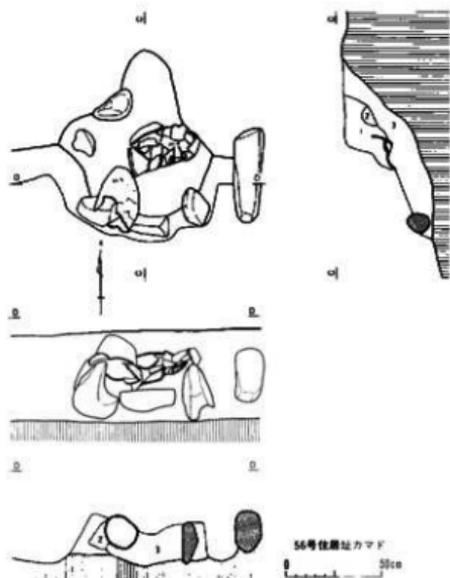
第42図 51、52号住居址平面図、51号住居址カマド実測図



第43図 54号住居址平面図、54号住居址カマド実測図

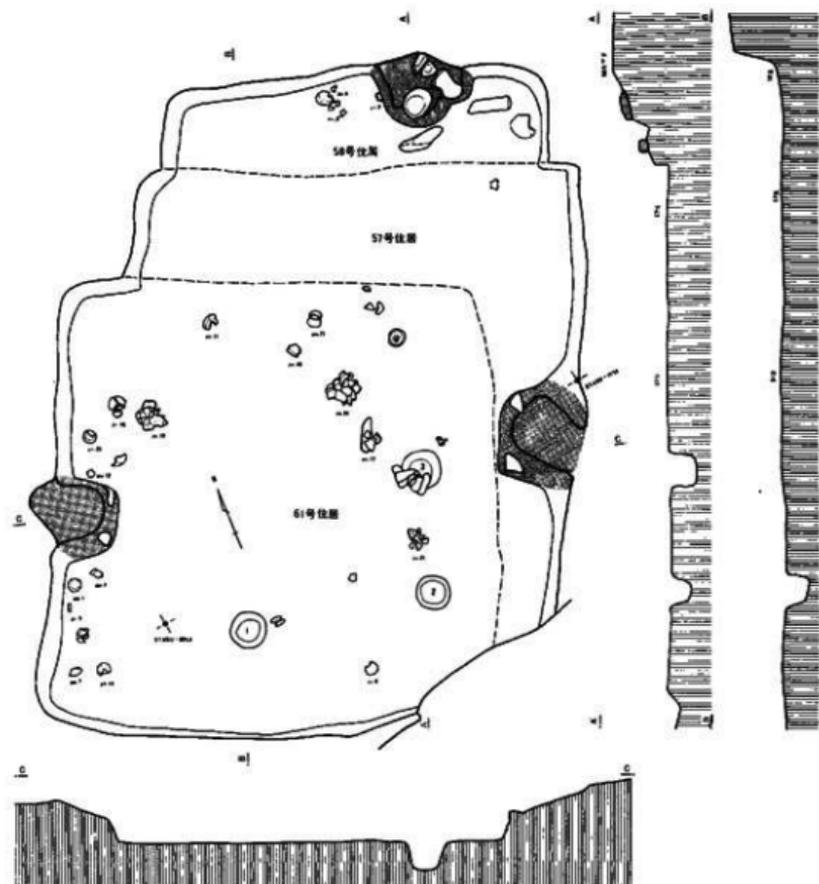


- 図解56号住居址セクション土層
1. 柱石土
 2. 埴輪色粘質土
 3. 赤色粘質土
 4. 埴輪色粘質土(埴輪多く含む、やや砂質
2層より明るい)
 5. 埴輪色砂質土
 6. 埴輪色粘質土(2層より明るくやや砂質)



- 図解56号住居址カマド土層
1. 埴輪色粘質土
 2. 粘土層
 3. 粘土層

第44図 56号住居址平面図、56号住居址カマド実測図

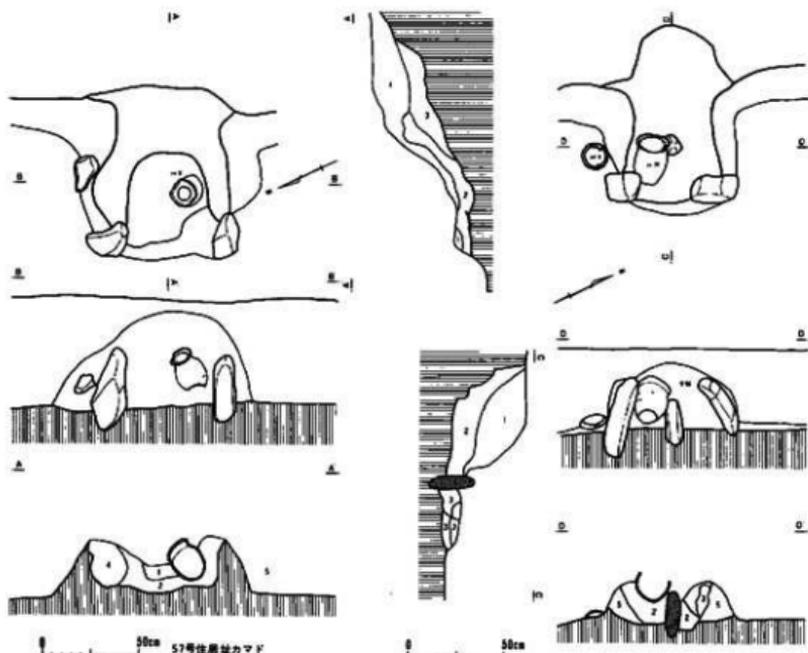


57, 58, 61号住居址

経緯58-61号住居址セクション土層

1. 埴輪土
2. 埴土流入埴輪土
3. 埴輪土(1)層上の埴輪土
4. 埴土ブロック流入埴輪土
5. 埴土ブロック流入埴輪土
6. 埴土ブロック流入埴輪土
7. 埴輪土
8. 埴土ブロック流入埴輪土
9. 埴土砂層土
10. 埴土砂層土

第45図 57、58、61号住居址平面図



57号住居址カマド

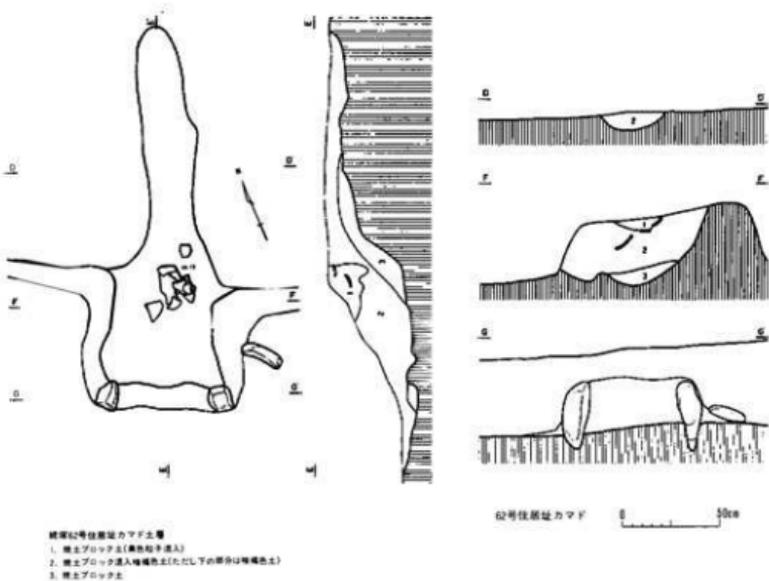
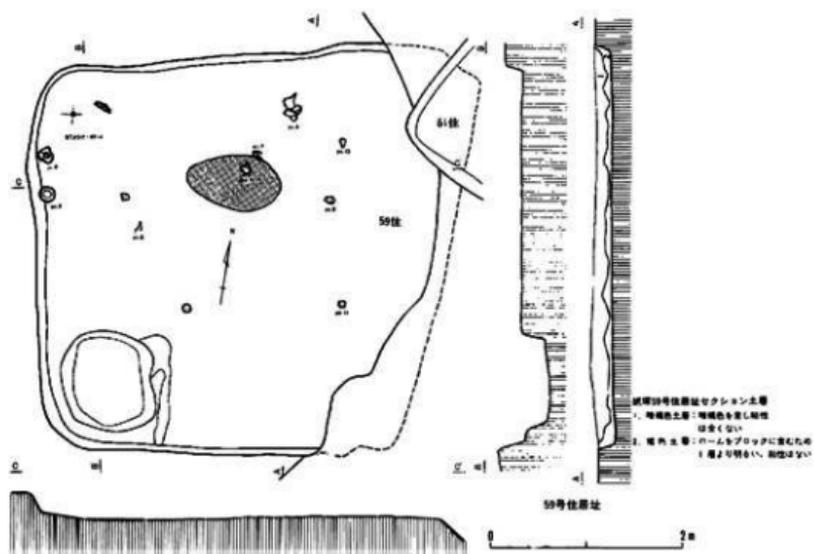
58号住居址カマド

61号住居址カマド

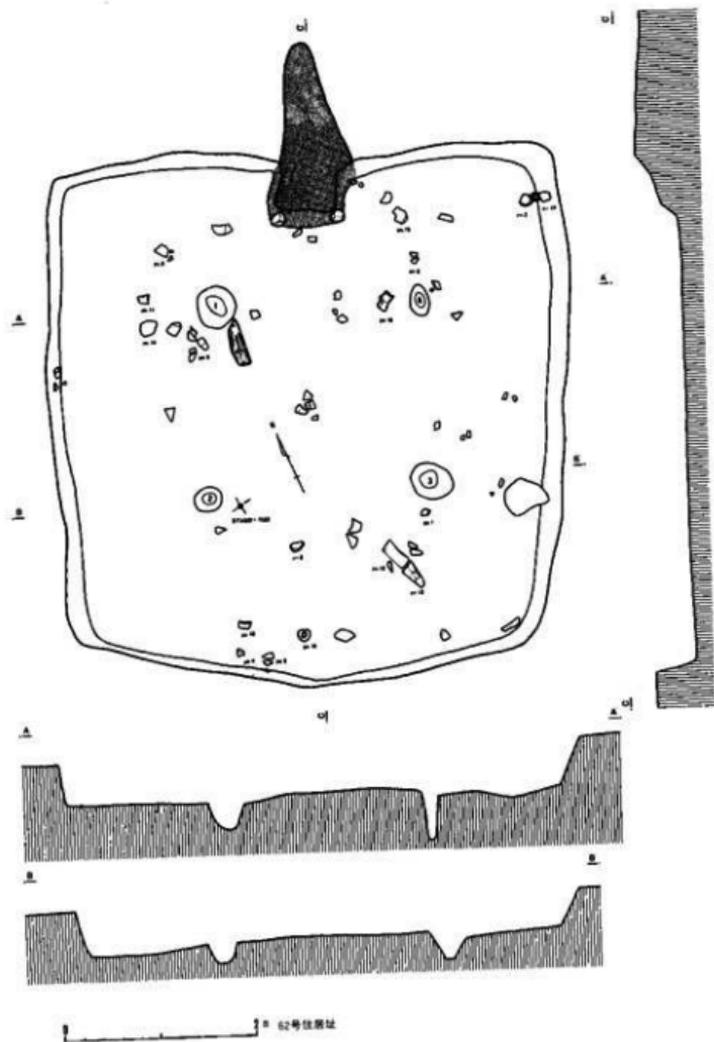
- 61号住居址カマド土層
1. 暗褐色土層 焼土粒を多量に含む。粘結なし
 2. 赤褐色土層 焼土を多量に含む
 3. 褐色土層 焼土の量は2層より多くない
2層より粘い
 4. 褐色土層 焼土はブロック状に含む
2層より粘い
 5. 暗褐色土層 1層と類似する。1層より粘い
焼土粒は若干含む
- 61号住居址カマド土層
- 粘結なし
1. 褐色土層 焼土ブロック状に若干含む
 2. 褐色土層 1層に類似するが焼土は含まない
粘結なし 粘り強い
 3. 暗褐色土層 焼土を多量に含む粘結なし
粘り強い
 4. 赤褐色土層 2層と類似して粘結なし
粘り強い
 5. 暗褐色土層 粘結なし 焼土粒を多量に含む
 6. 暗褐色土層 焼土粒を多量に含む1層より粘い。粘結なし
- 61号住居址カマド土層
1. 暗褐色粘質土(やや砂質) 焼土粒(多量)
 2. 褐色粘質土 焼土粒(少量)
 3. 粘土
 4. 赤褐色粘土
 5. 暗褐色粘質土(1層より粘い)

50cm

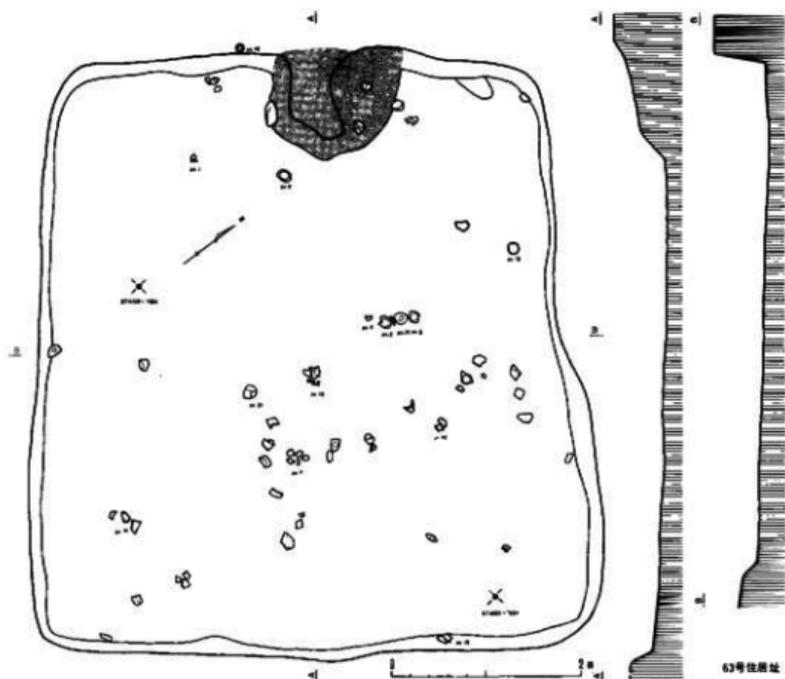
第46図 57、58、61号住居址カマド実測図



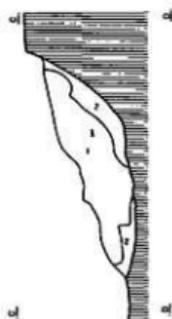
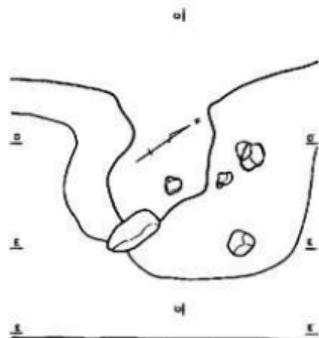
第47図 59号住居址平面図、62号住居址カマド実測図



第49图 62号住居址平面图



63号住居址



63号住居址カマド

50cm

63号住居址セクション北壁

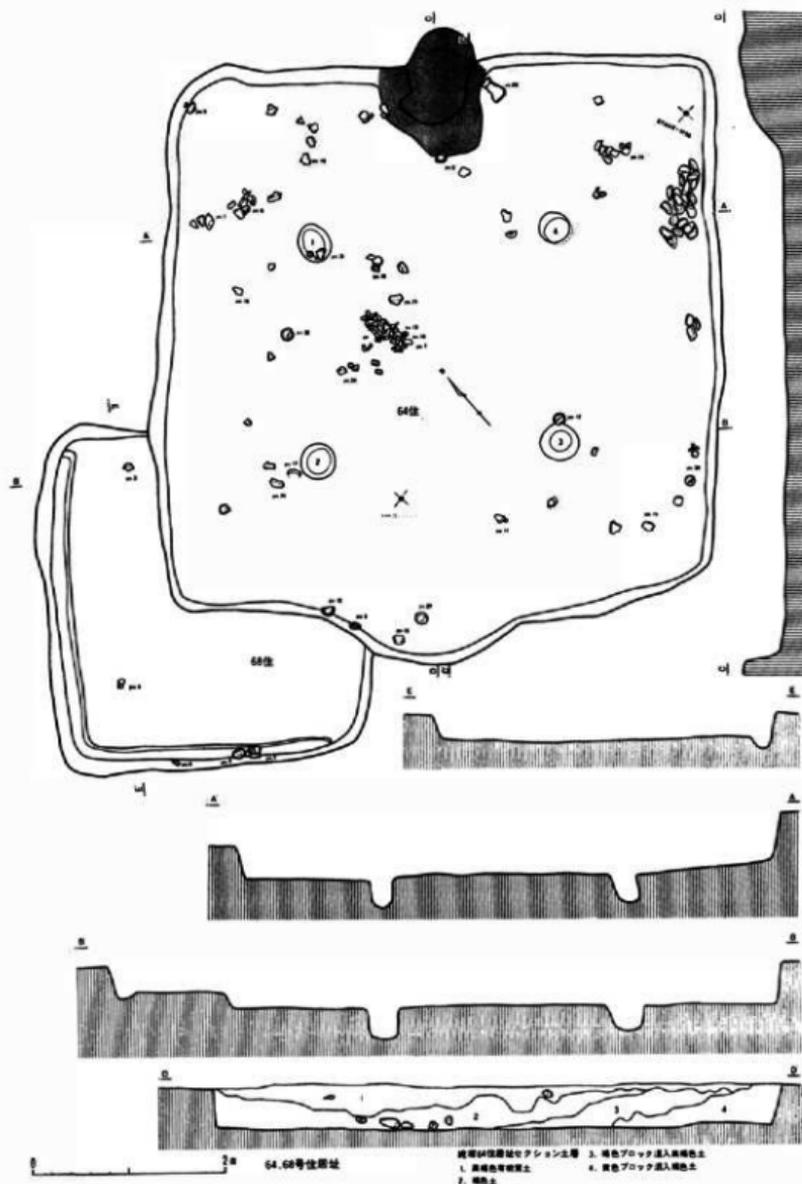
- 1層は土器が多く集み、4層より階梯は緩いが3層より強い
- 2層は4層と地層が近い
- 3層は紫色の土の層に比へ粘性が弱く、水分が少なく石を多く含む
- 4層は一般粘性が強く中は石が多く、のりを含んであり一帯色の黒い土層であった

- 1層 堆積土層
- 2層 堆積土層
- 3層 堆積土層
- 4層 堆積土層

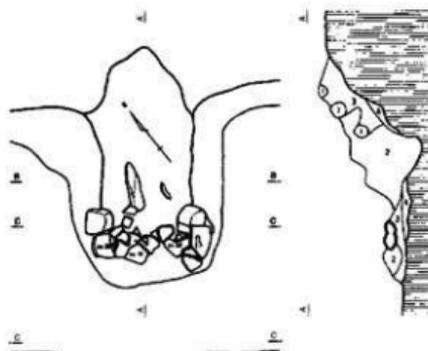
63号住居址カマド北壁

1. 堆積粘質土・焼土(多量)
2. 黒粘粘質土・焼土(少量)

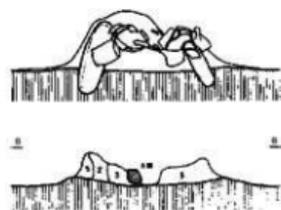
第50図 63号住居址平面図、63号住居址カマド実測図



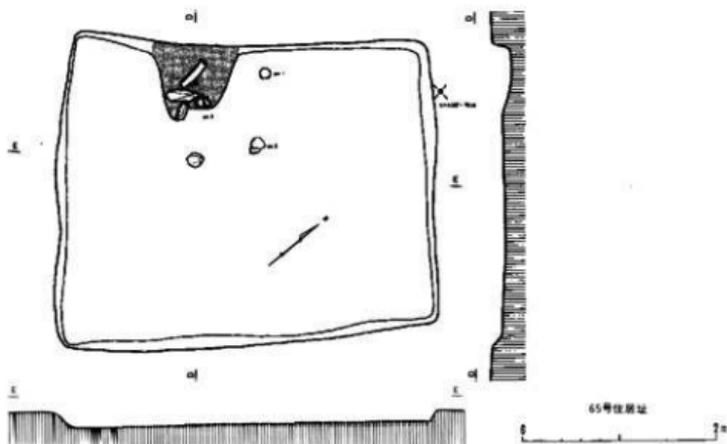
第51図 64、68号住居址平面図



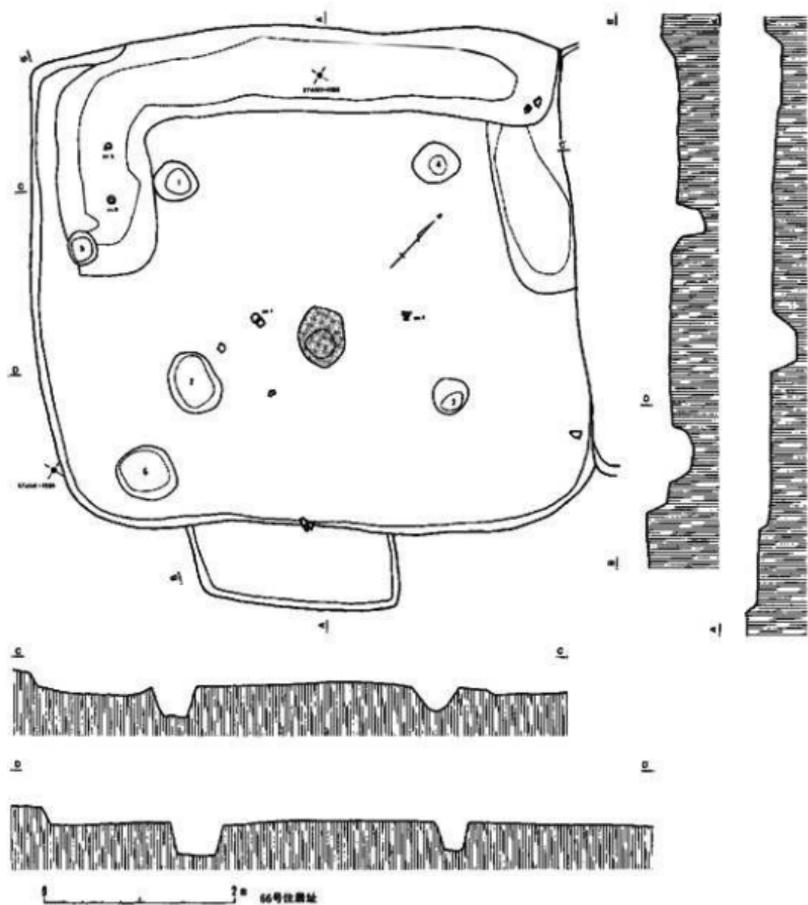
- 64号住居址カマド遺構
1. 焼土(燻煙を蓄えレンガ状の構造)
 2. 焼土(燻煙を蓄えず燻煙の地上の逃げたもの)
 3. 赤色粘土上、焼土粒
 4. 焼土(燻煙が逃げたもの)
 5. 黄褐色粘土



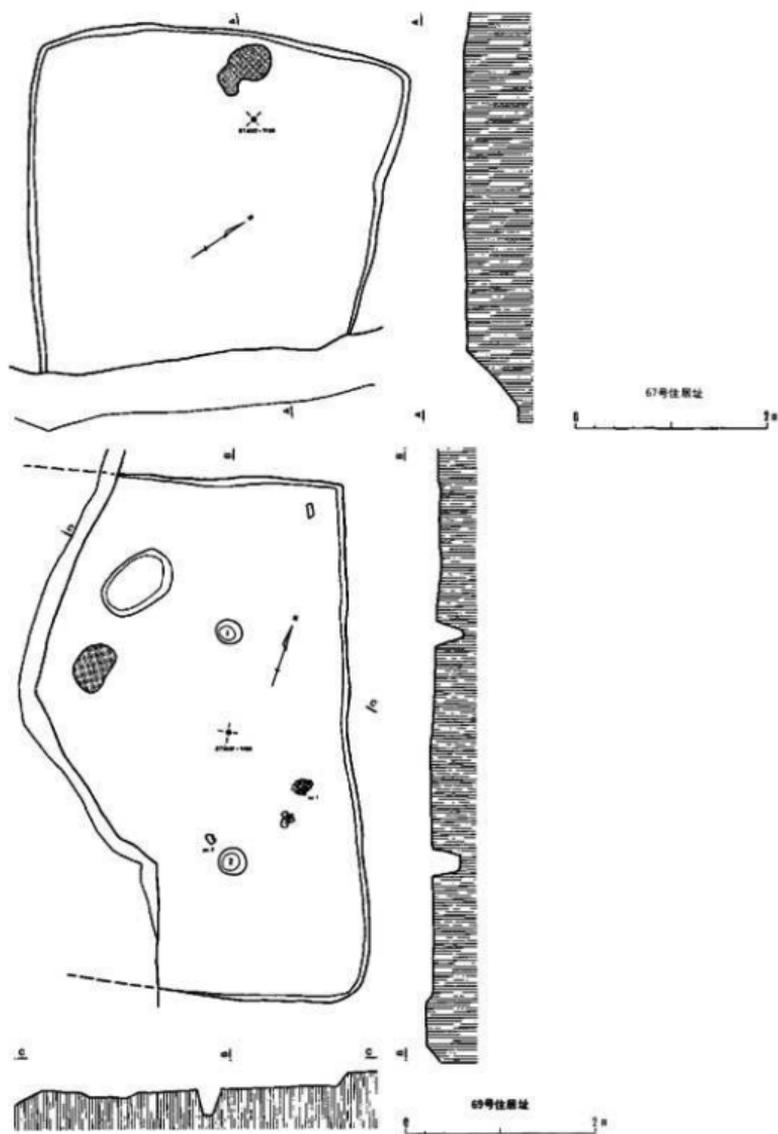
64号住居址カマド
0 50cm



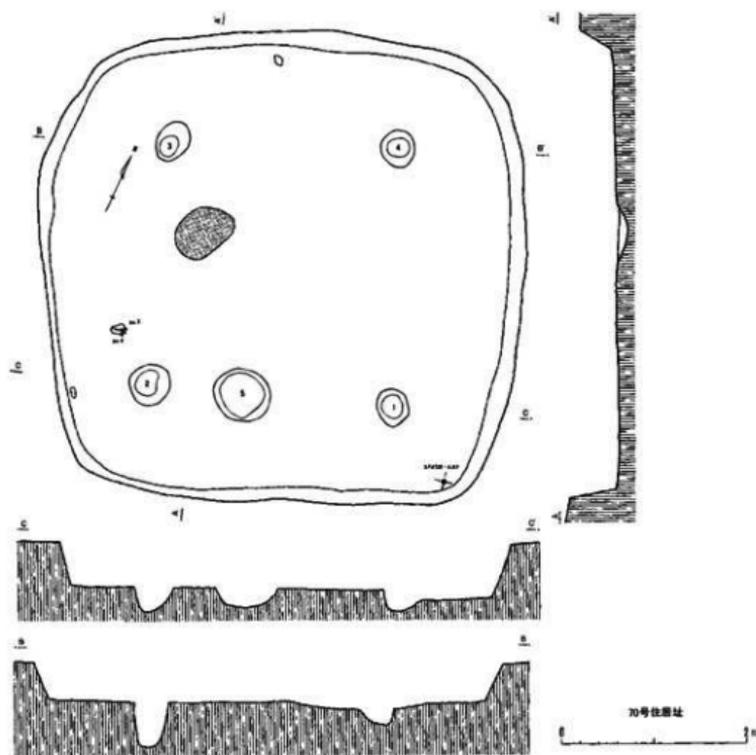
第52図 65号住居址平面図、64号住居址カマド実測図



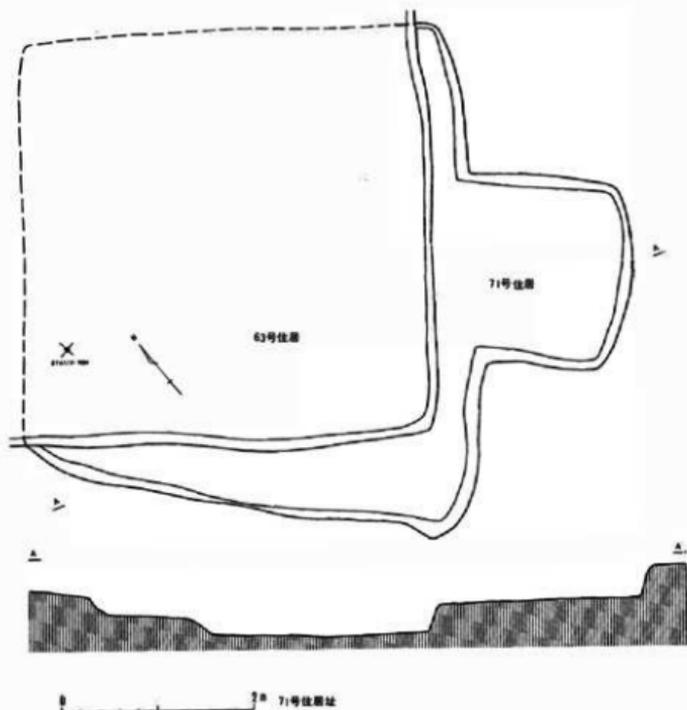
第53图 66号住居址平面图



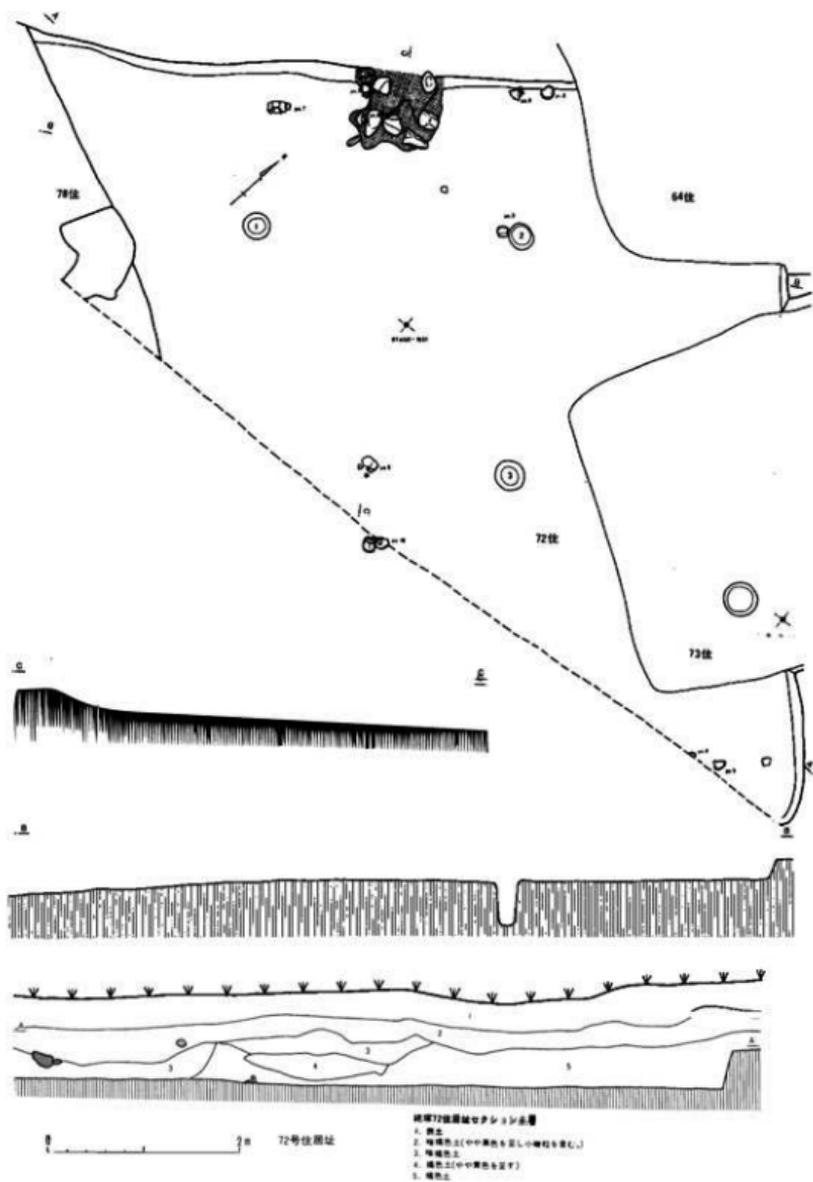
第54图 67、69号住居址平面图



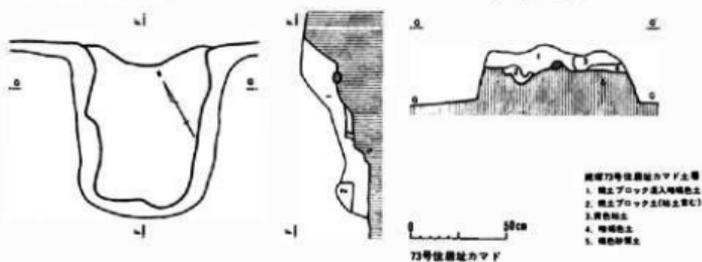
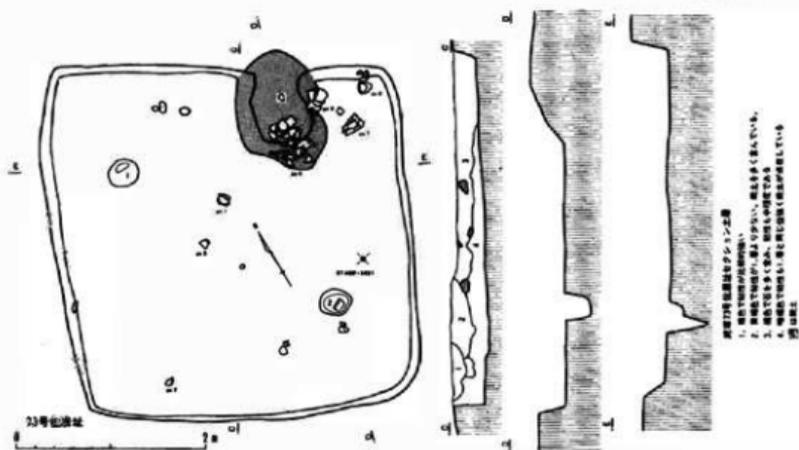
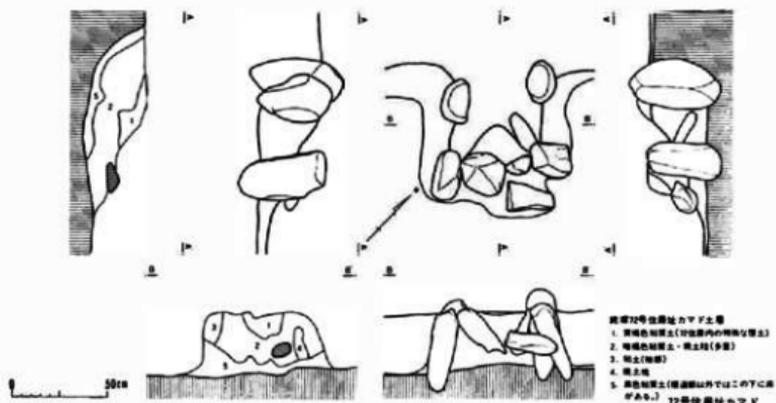
第55图 70号住居址平面图



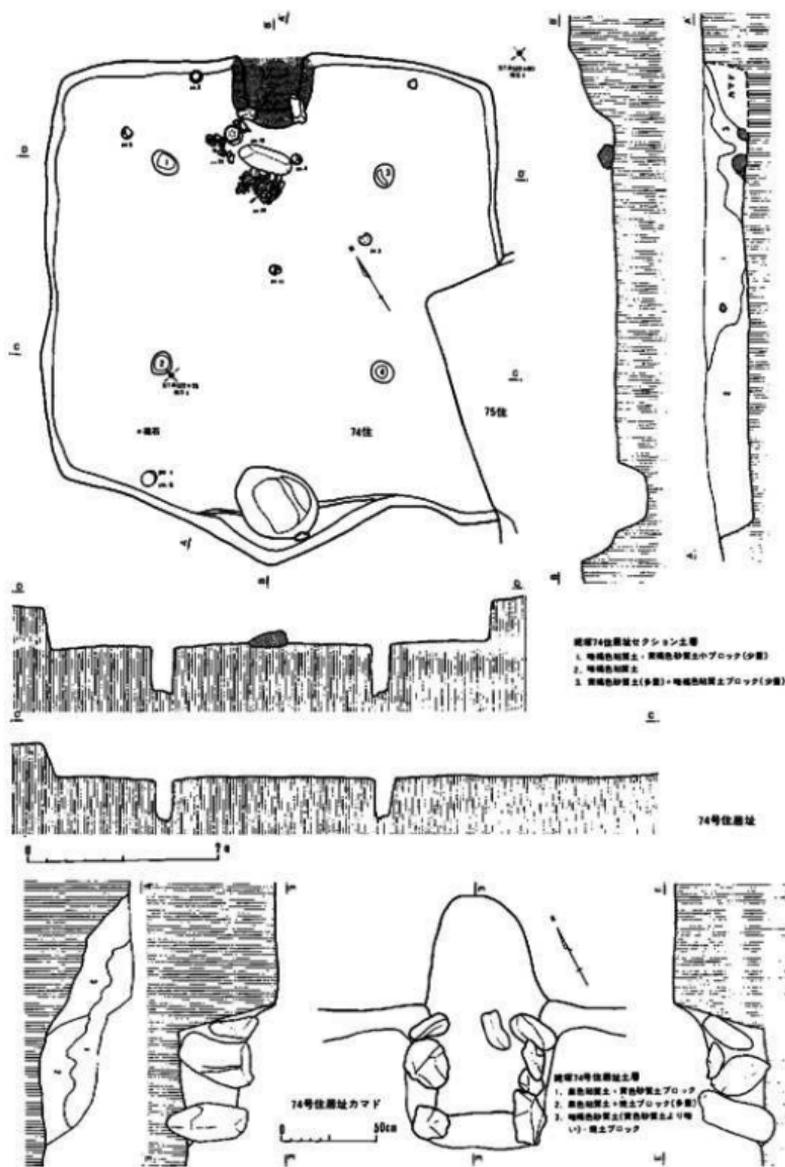
第568图 71号住居址平面图



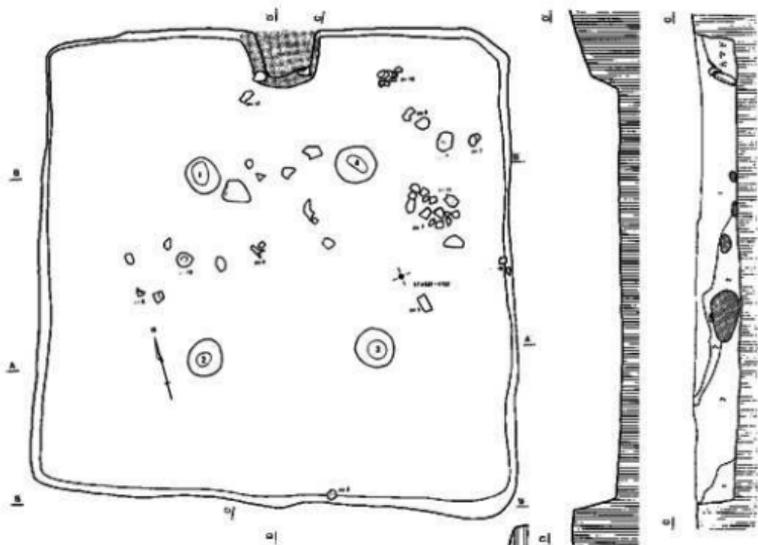
第57図 72号住居址平面図



第58図 73号住居址平面図、72、73号住居址カマド実測図



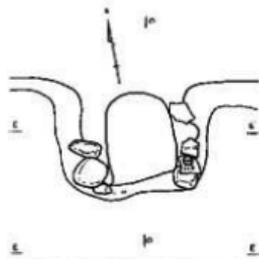
第59図 74号住居址平面図, 74号住居址カマド実測図



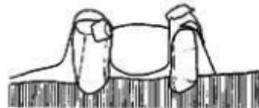
- 調査75号住居址セクション土層
1. 暗褐色粘質土(やや砂質) - 黄褐色砂土ブロック
 2. 暗褐色粘質土
 3. 暗褐色粘質土(1.層の暗褐色粘質土より明るいやや砂質) - 黄褐色砂土ブロック
 4. 暗褐色粘質土(1.層より暗い(1.層のそれより暗い))

0 2m

75号住居址



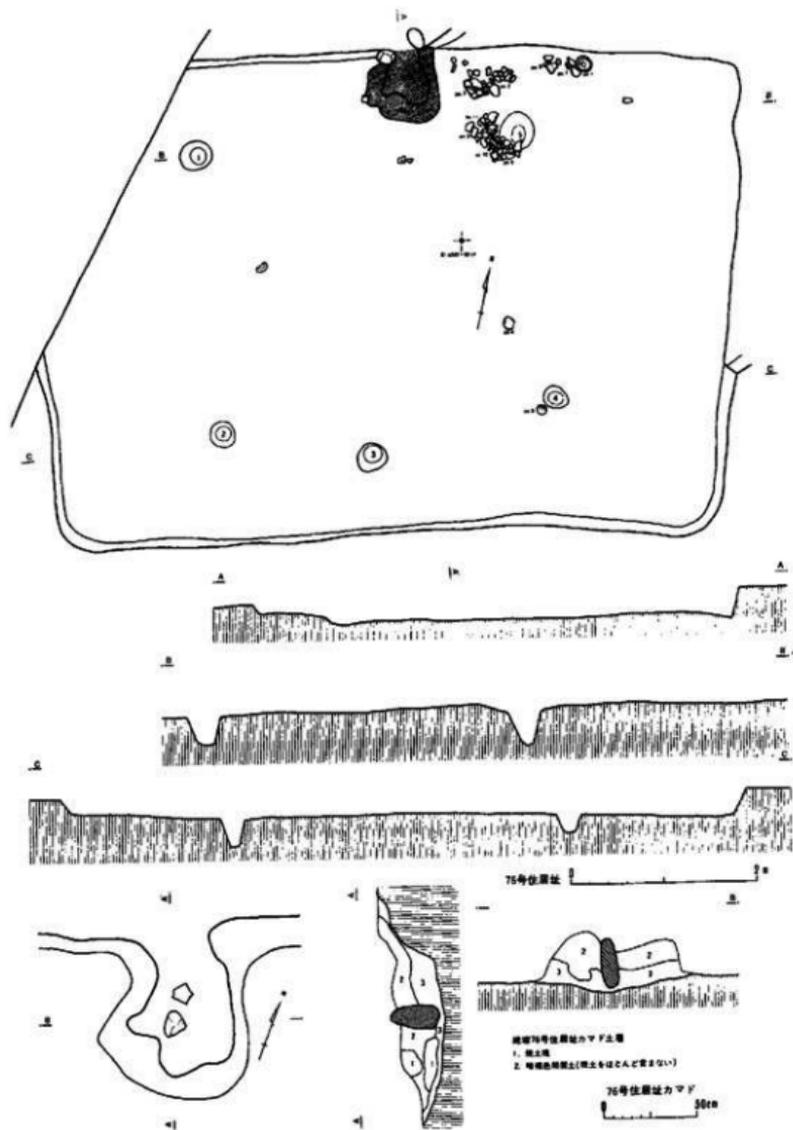
- 調査75号住居址カマド土層
1. 暗褐色砂質土
 2. 黄褐色粘質土 - 暗褐色砂土ブロック - 暗褐色粘質土
 3. 暗褐色砂質土 - 粘土ブロック



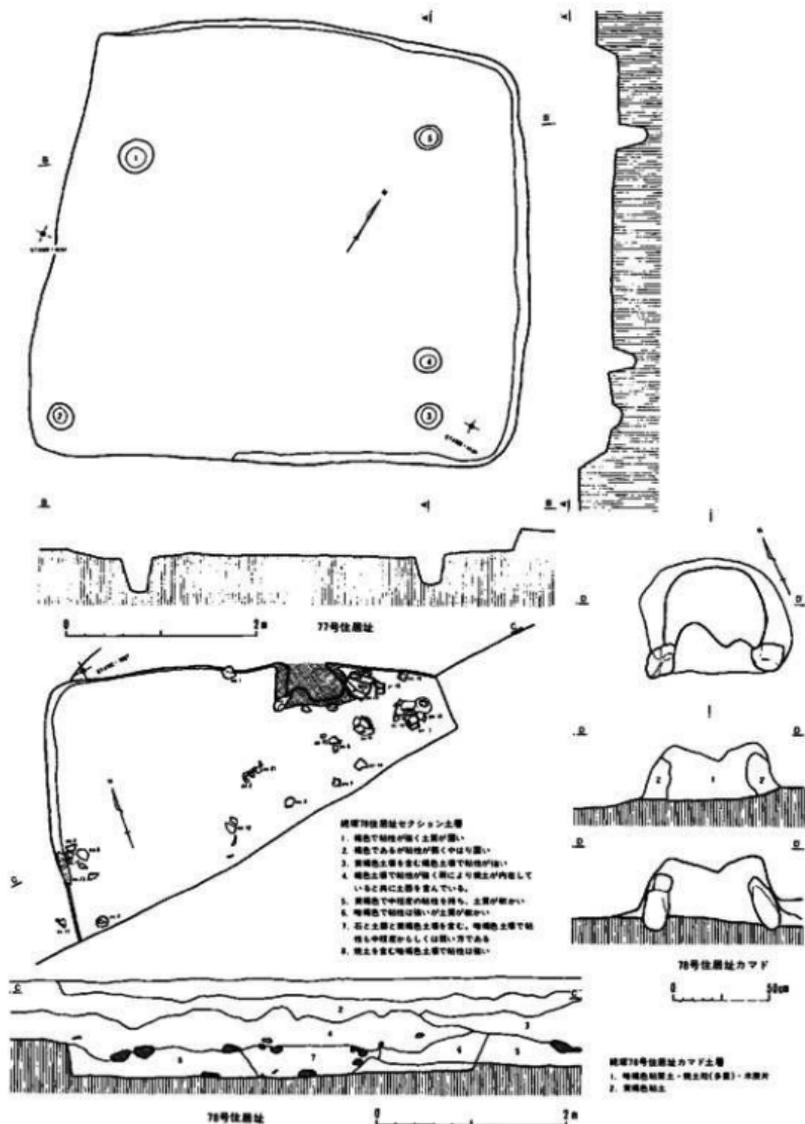
75号住居址カマド

0 50cm

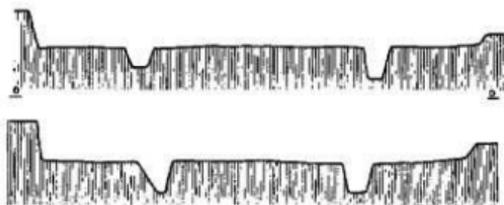
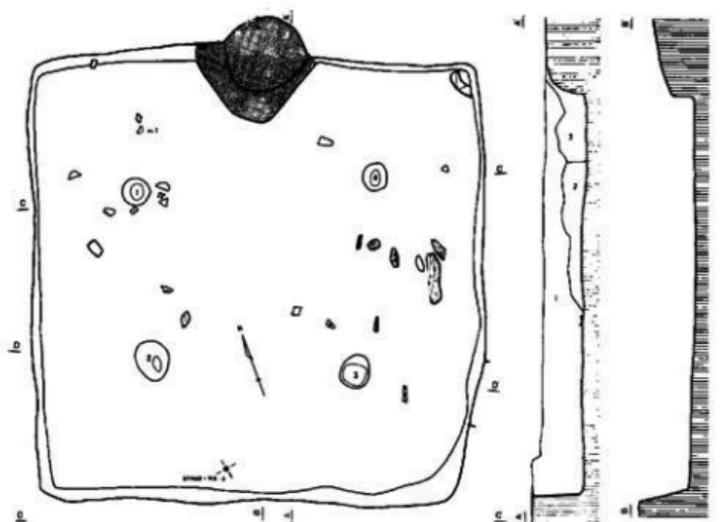
第60図 75号住居址平面図、75号住居址カマド実測図



第61図 76号住居址平面図, 76号住居址カマド実測図



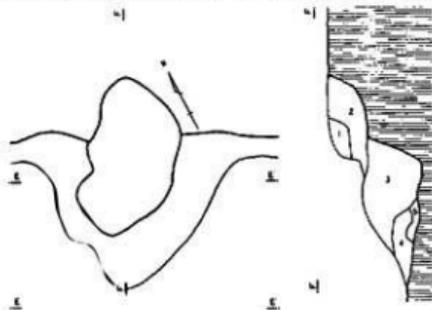
第62図 77, 78号住居址平面図, 78号住居址カマド実測図



縄文79号住居址セクション土層

1. 黒褐色土層 腐植層を押し、溜りもっている、粘り気なく粘らない
2. 褐色土層 ロームをブロック状に含む層に属し、粘性なし
3. 褐色土層 粘土粒子を含む成において2層と異なり、粘性は2層同様粘りがない。

79号住居址



縄文79号住居址カマド土層

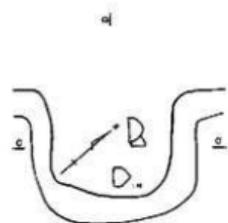
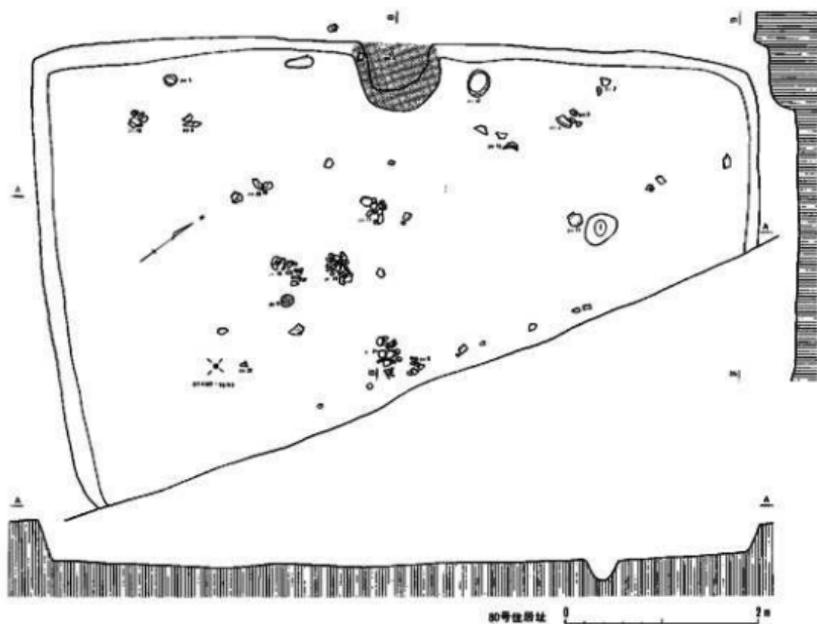
1. 黄褐色粘土
2. 暗褐色粘質土・塊土層(少量)
3. 暗褐色粘質土(少量より多い)・塊土ブロック(多数)
4. 塊土ブロック
5. 黄褐色粘土・塊土層(少量)



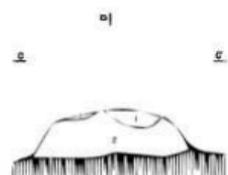
79号住居址カマド



第63図 79号住居址平面図、79号住居址カマド実測図

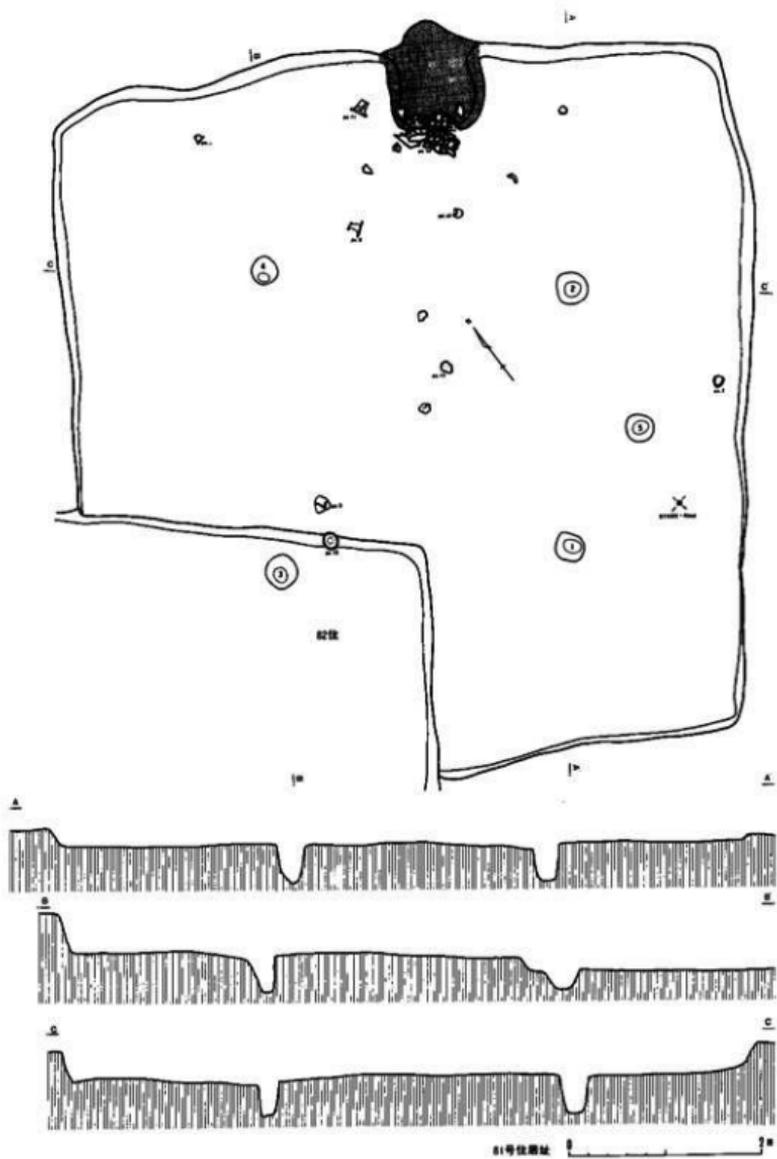


80号住居址カマド土層
 1. 黒褐色粘土
 2. 暗褐色粘土(多量)

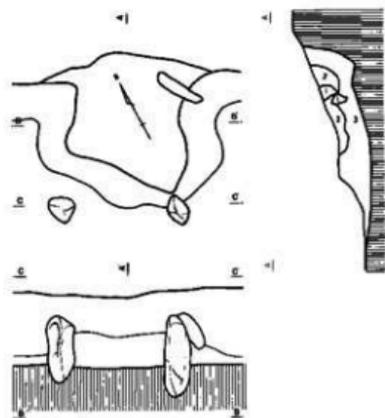


80号住居址カマド
 0 50cm

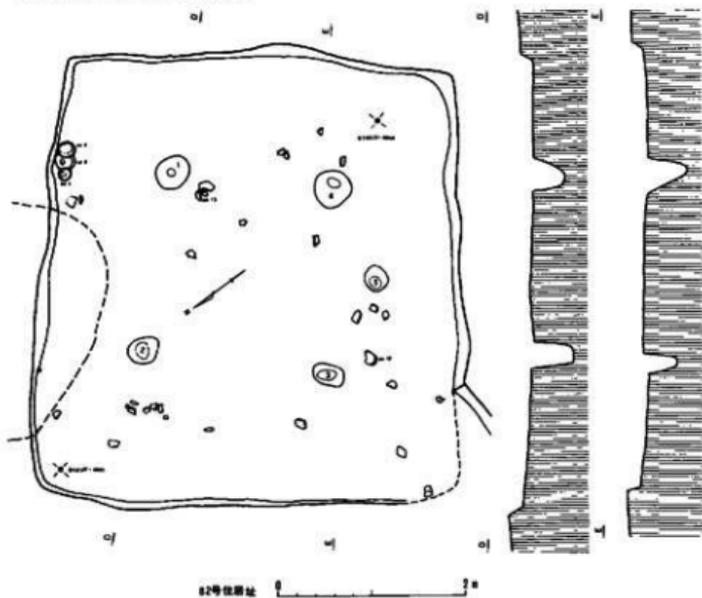
第64図 80号住居址平面図, 80号住居址カマド実測図



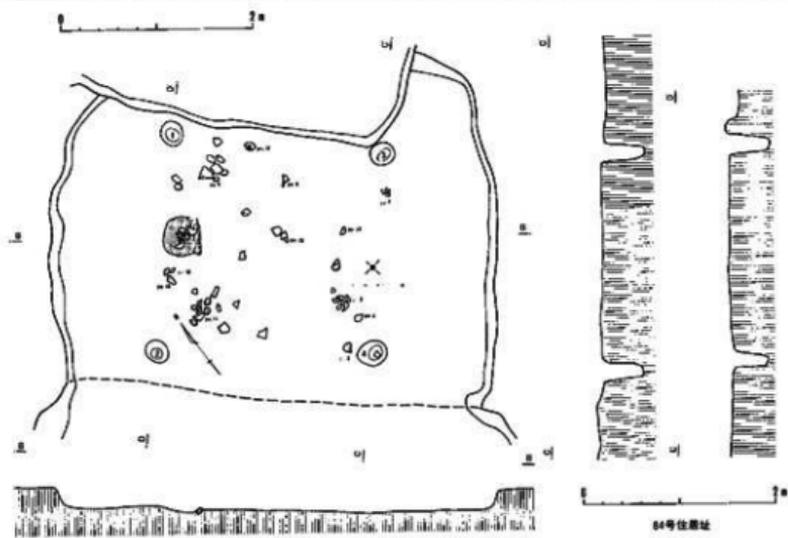
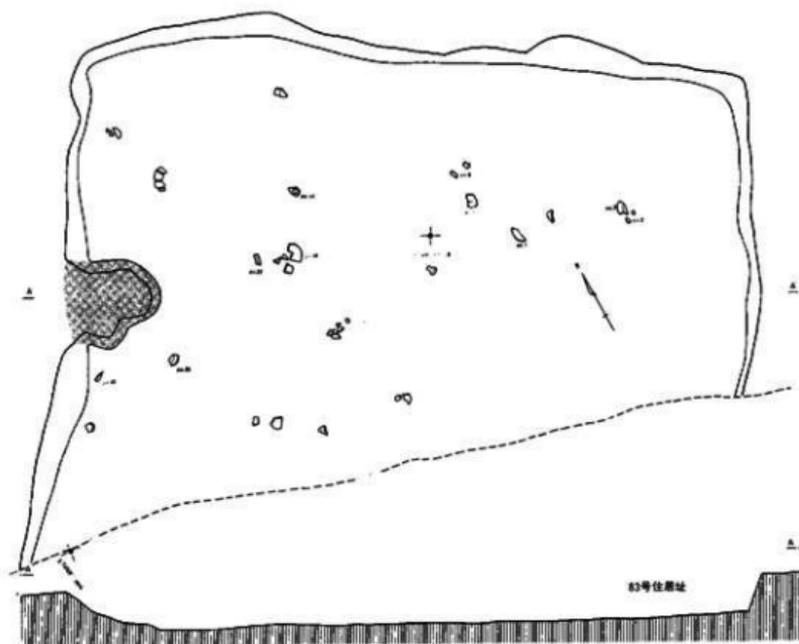
第65图 81号住居址平面图



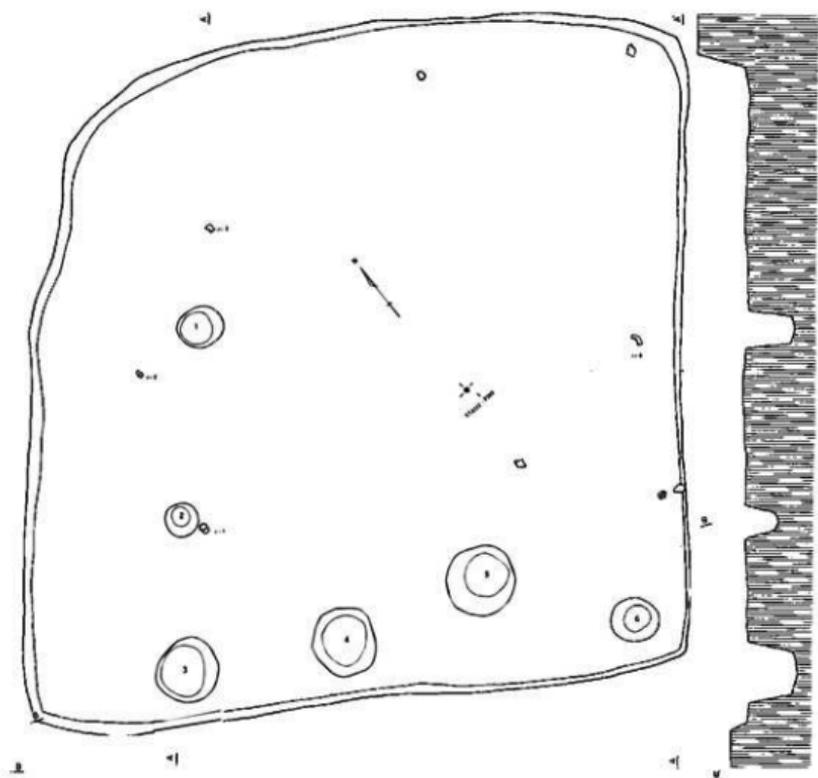
81号住居址カマド土層
 1. 土層
 2. 焼土層
 3. 焼土層に藁・粘土層(少量)



第66図 82号住居址平面図, 81号住居址カマド実測図



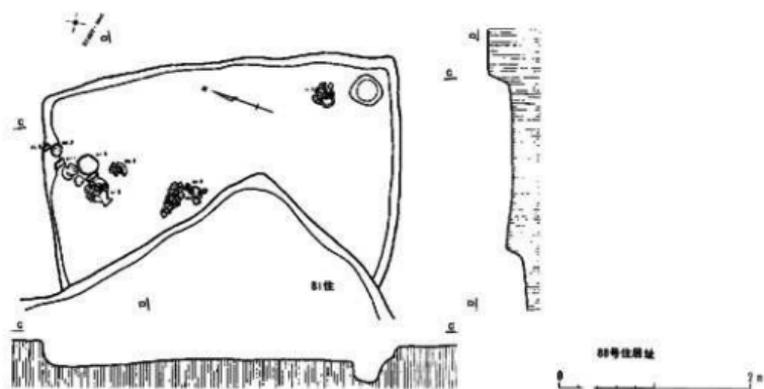
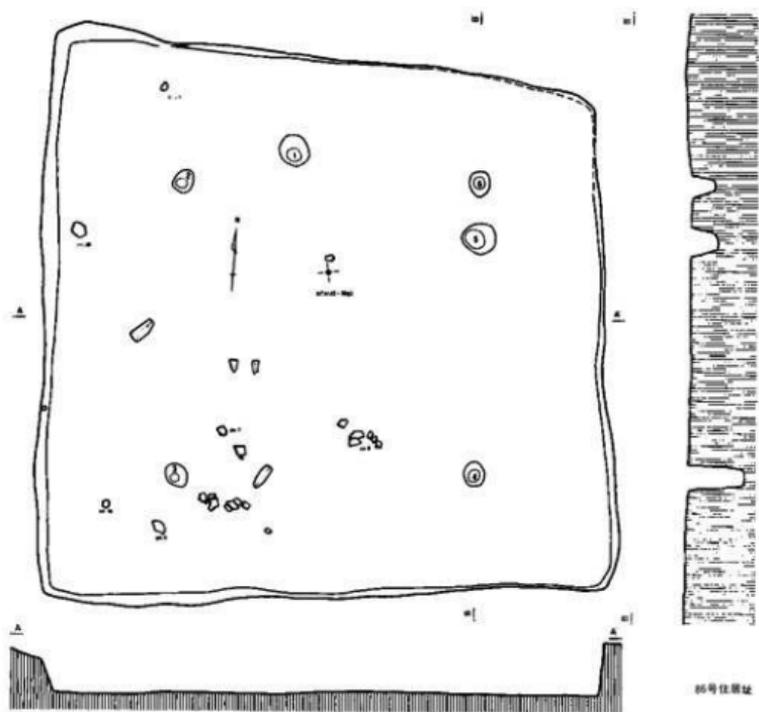
第67图 83, 84号住居址平面图



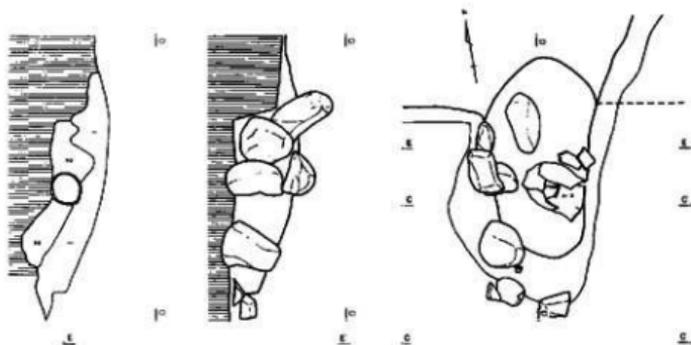
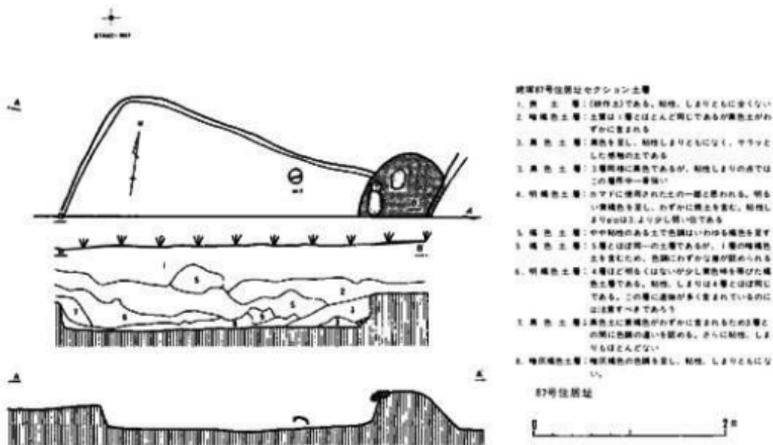
85号住居址



第68图 85号住居址平面图



第69图 86, 88号住居址平面图

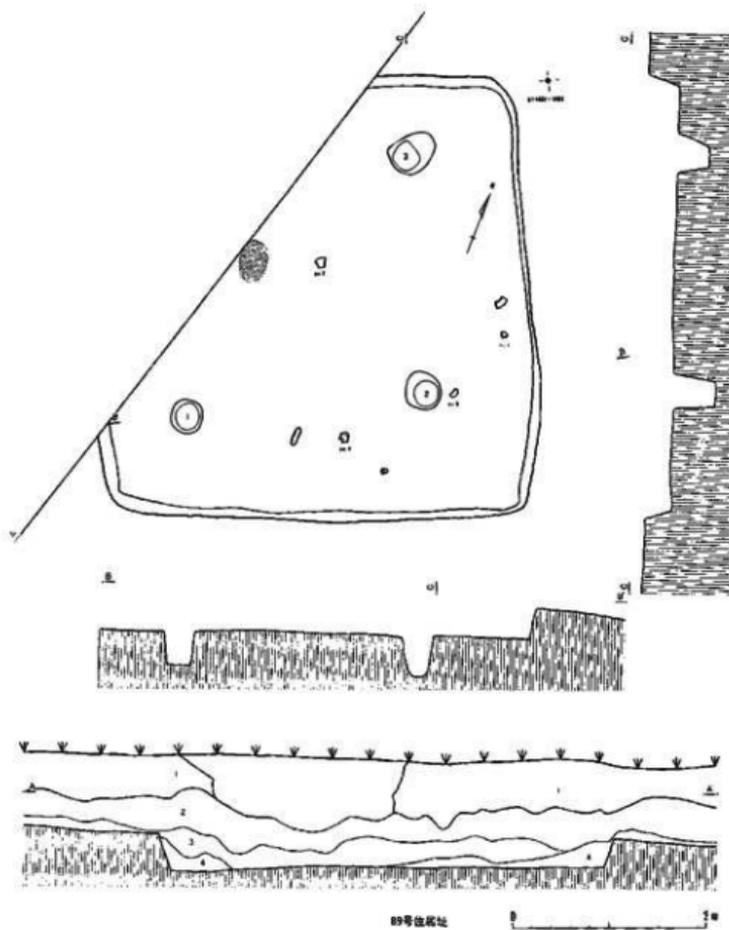


87号住居址カマド土層
 1. 埴輪粘土層(少量)
 2. 赤土

87号住居址カマド

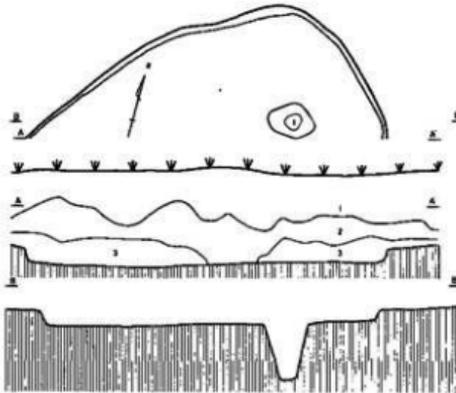


第70図 87号住居址平面図, 87号住居址カマド実測図



- 遺跡89号住居址セクション土層
1. 特殊色土層：いれゆる層と層であり、粘性は少ない
 2. 黄褐色土層：黄褐色を呈し、若干の礫あり、ブロック状に黄褐色を呈することはない
 礫を多く含むことは持たない
 3. 灰色土層：粘性は若干の礫の層と層とが混在してあるが黄褐色土の層と層の違いにより、色調に差が認められる
 4. 明褐色土層：明褐色を呈し、粘性はほとんどない
 ブロック状に黄褐色を呈す

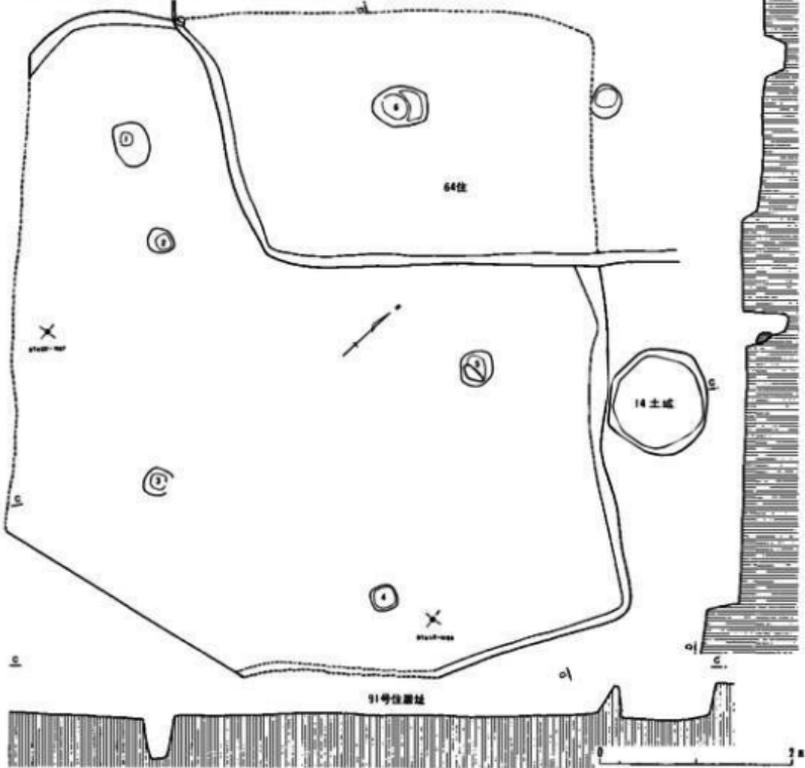
第71図 89号住居址平面図



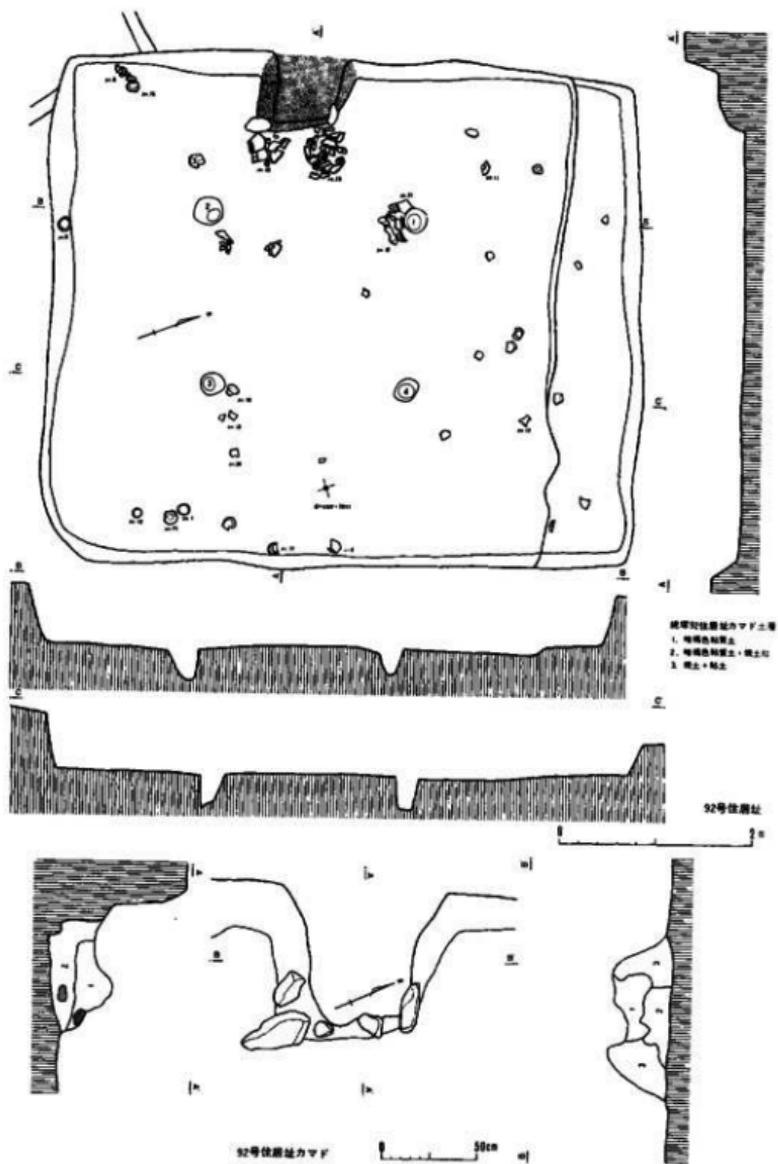
縄文90号住居址セクション図

1. 1層 土：黒褐色が混じったような褐色。粘性は強く、砂子は細かい。色の違いによって1層を上・下2層に分けることができるかもしれない。
2. 2層 土：黒よりわずかに粘性を持つ褐色土で土質が不均質の混入が最も多い層である。土の砂子は1層同様非常に細かい。
3. 基礎土：黒褐色と褐色の土が混ざり合った均質な感じの土層物があるが層よりは少ない。均質の混入がわずかに認められる。
4. 地 盤：原土中の土

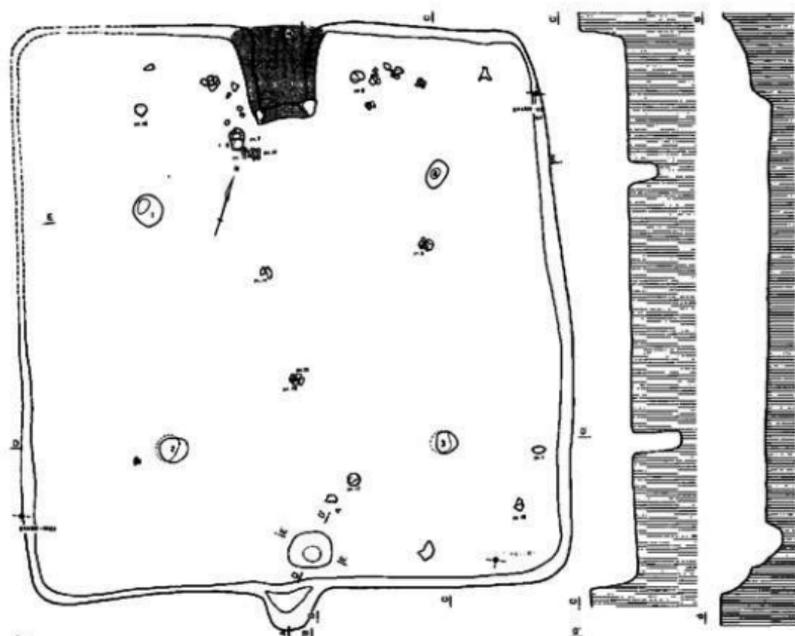
90号住居址



第72図 90, 91号住居址平面図



第73図 92号住居平面図、92号住居カマド実測図

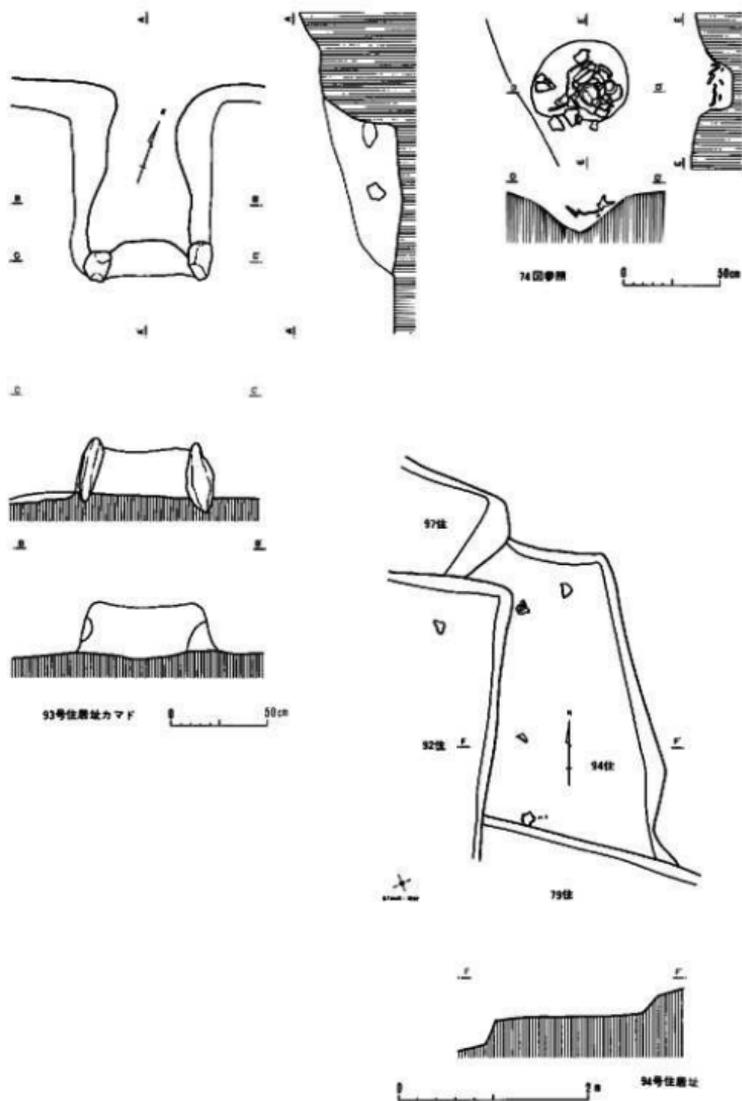


- △ 縄文時代前期近サケレン土層
1. 縄文土層 地味赤を呈し、2層と粗乱するが1層より細かい。地味は全くない。
 2. 縄文土層 灰を多く含み、2層の間、地味を全く持たない。固くしまっている。ローンプロップ状に歪むため、1・2層と区別するところがある。地味は全く持たない。
 3. 縄文土層 ローンプロップ状に歪むため、1・2層と区別するところがある。地味は全く持たない。
 4. 縄文土層 ローンプロップ状に歪むため、1・2層と区別するところがある。地味は全く持たない。
 5. 縄文土層 地味を呈し、2層とはほとんど区別がつかない。地味で灰を多く含み、1層より細かい。

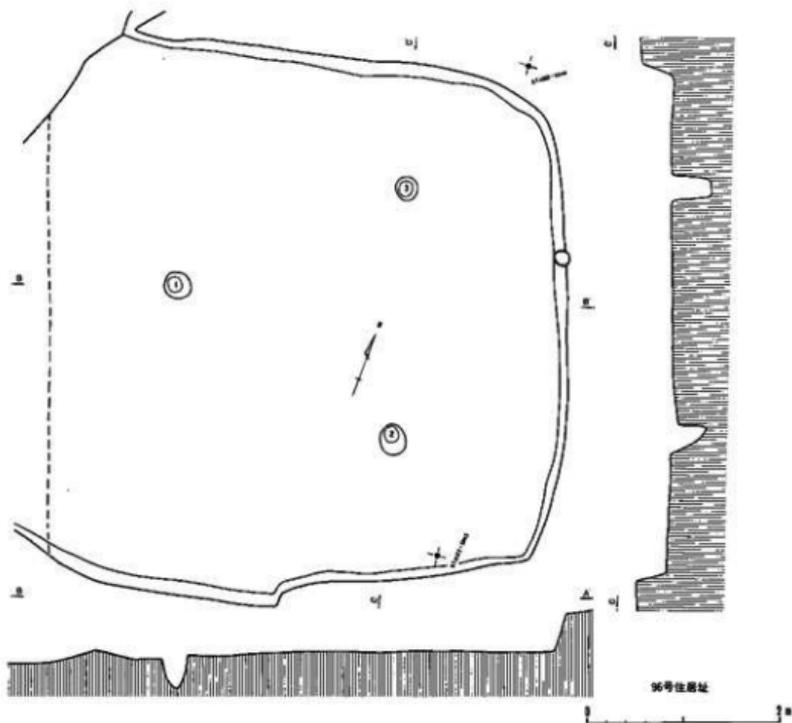
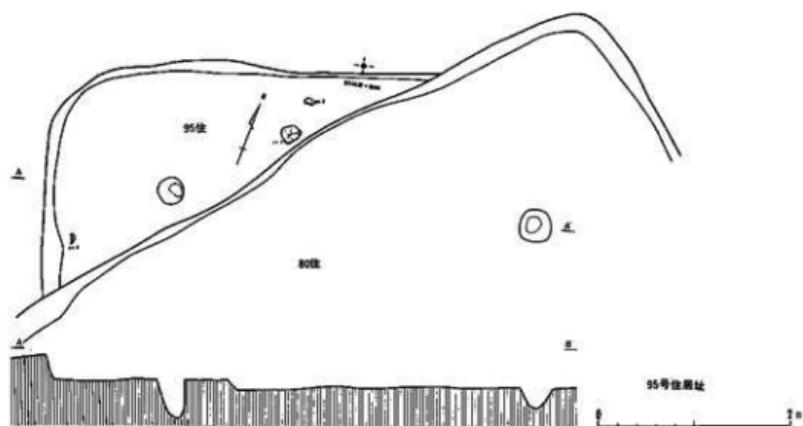
93号住居址



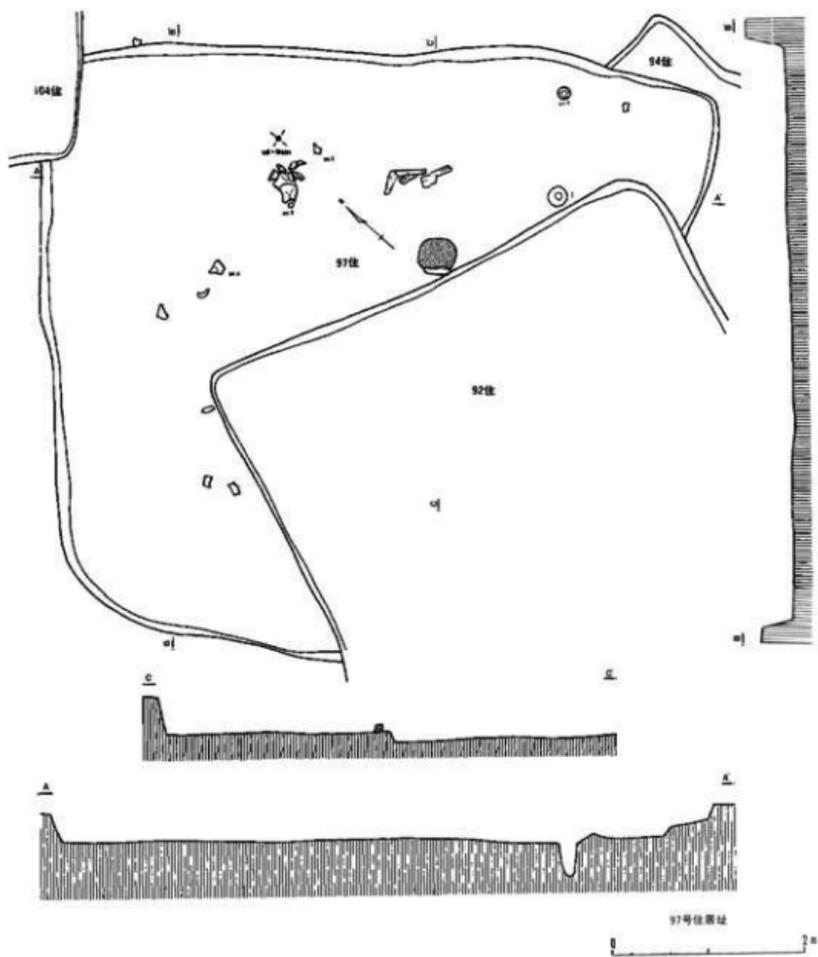
第74図 93号住居址平面図



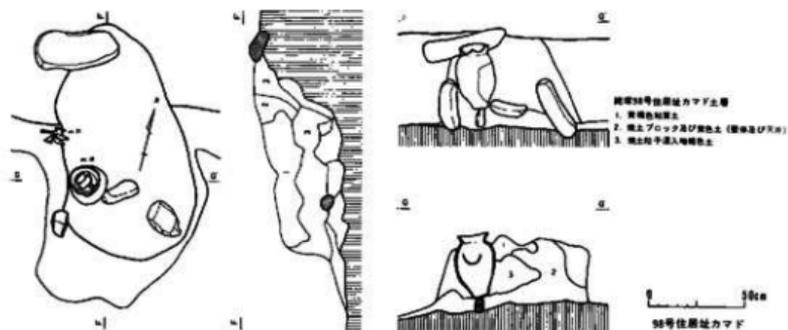
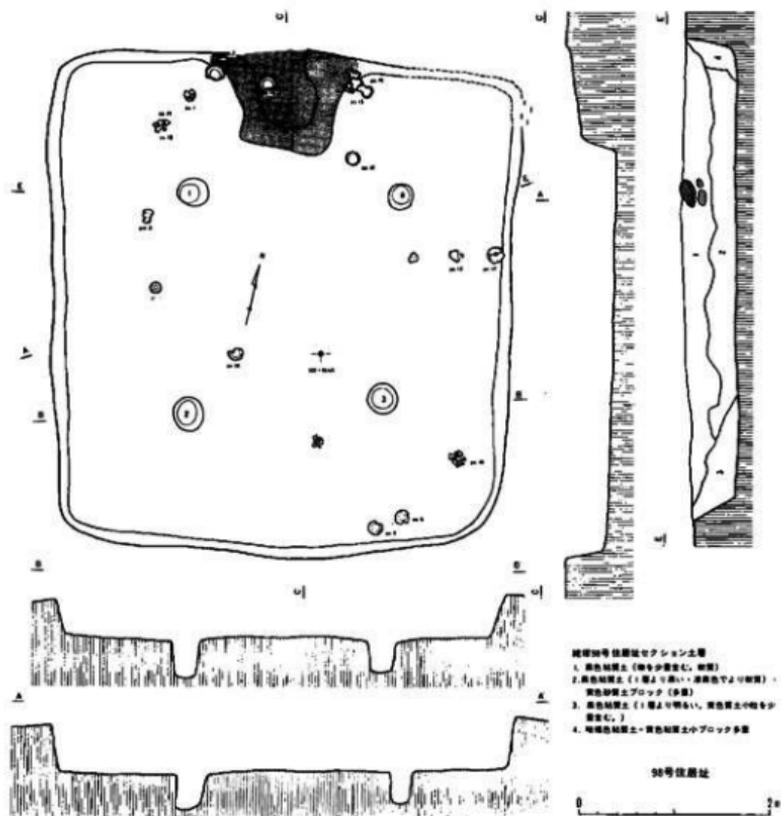
第75図 94号住居址平面図、93号住居址カマド実測図



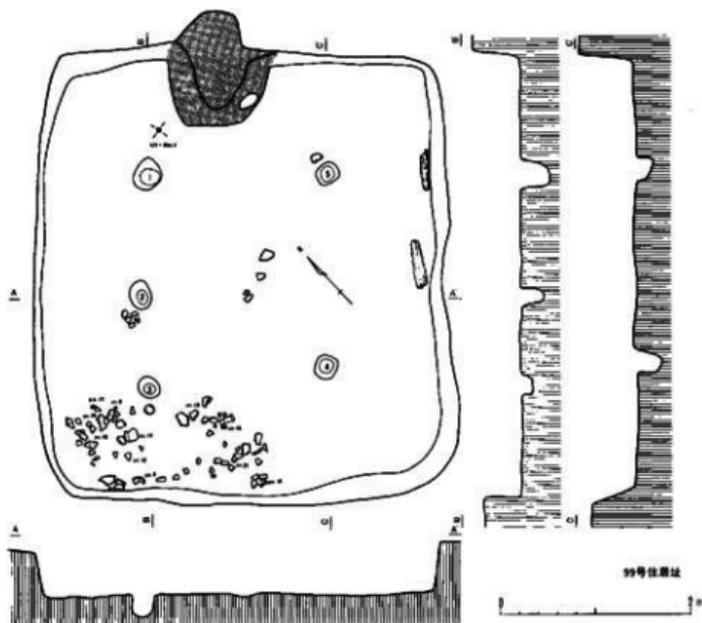
第76图 95、96号住居址平面图



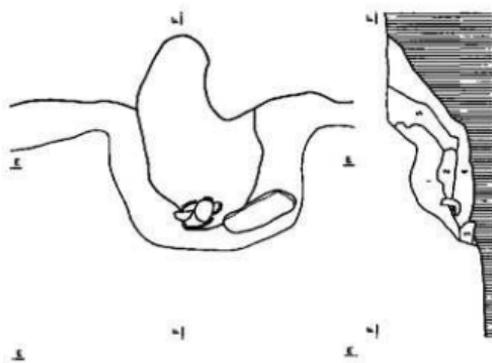
第77図 97号住居址平面図



第78図 98号住居址平面図、98号住居址カマド実測図

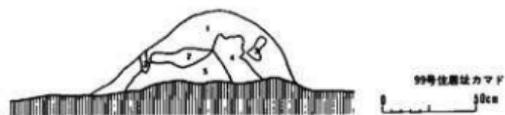


99号住居址



99号住居址カマド土層

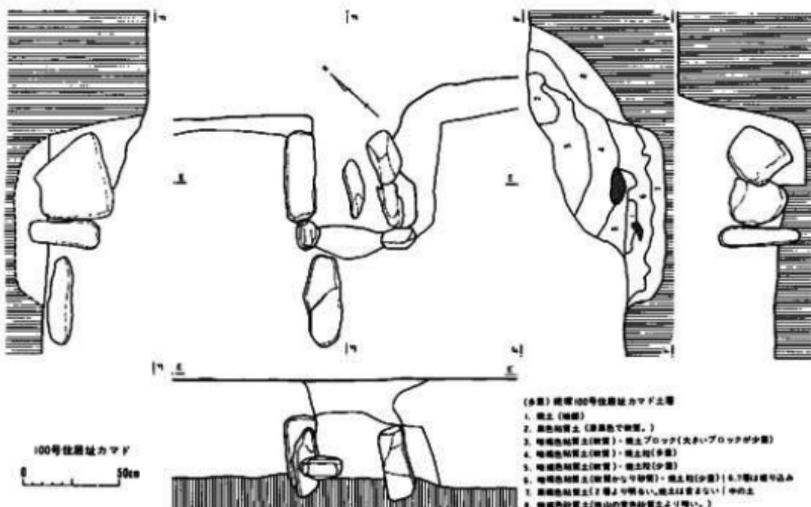
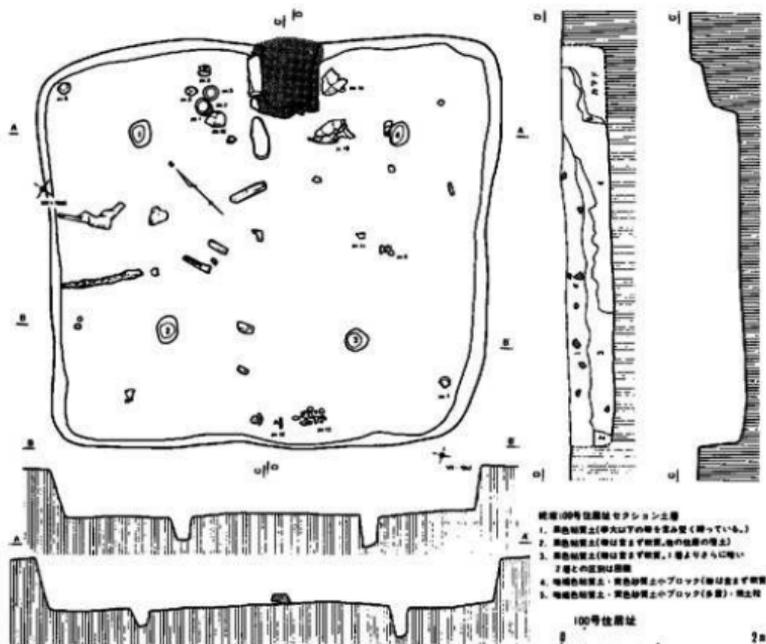
1. 焼褐色粘質土 (柳葉アケボノ、黄褐色の灰土の
カブツクも少量含む。)
2. 灰土ブロック・黄褐色粘質土
3. 黄褐色粘土ブロック
4. 灰土ブロック・黄褐色粘土 (柳葉骨)
5. 灰土塊 (少量)、黄褐色粘土ブロック・焼褐色粘質土
6. 灰土塊 (少量)、焼褐色粘質土



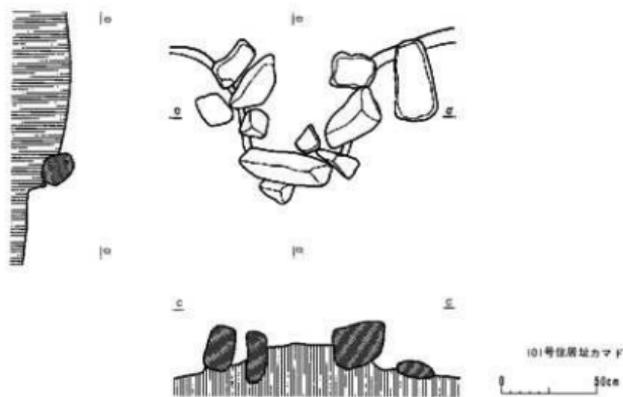
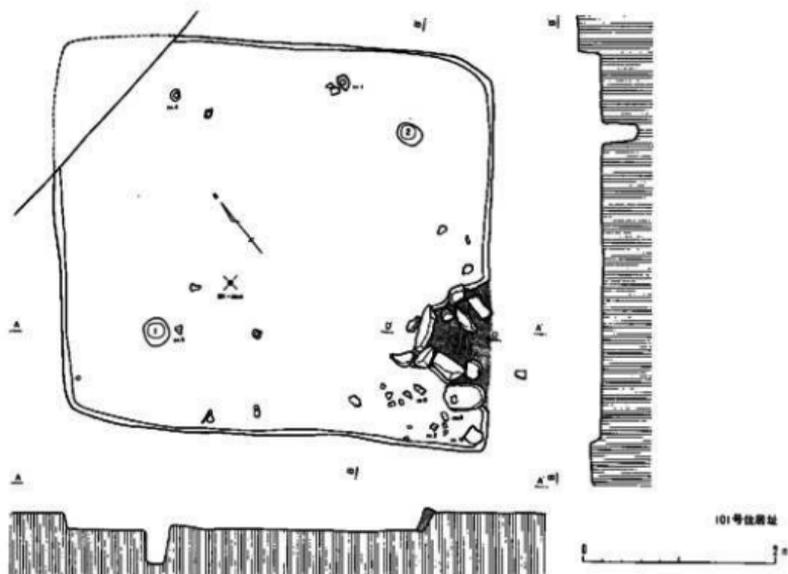
99号住居址カマド

0 10cm

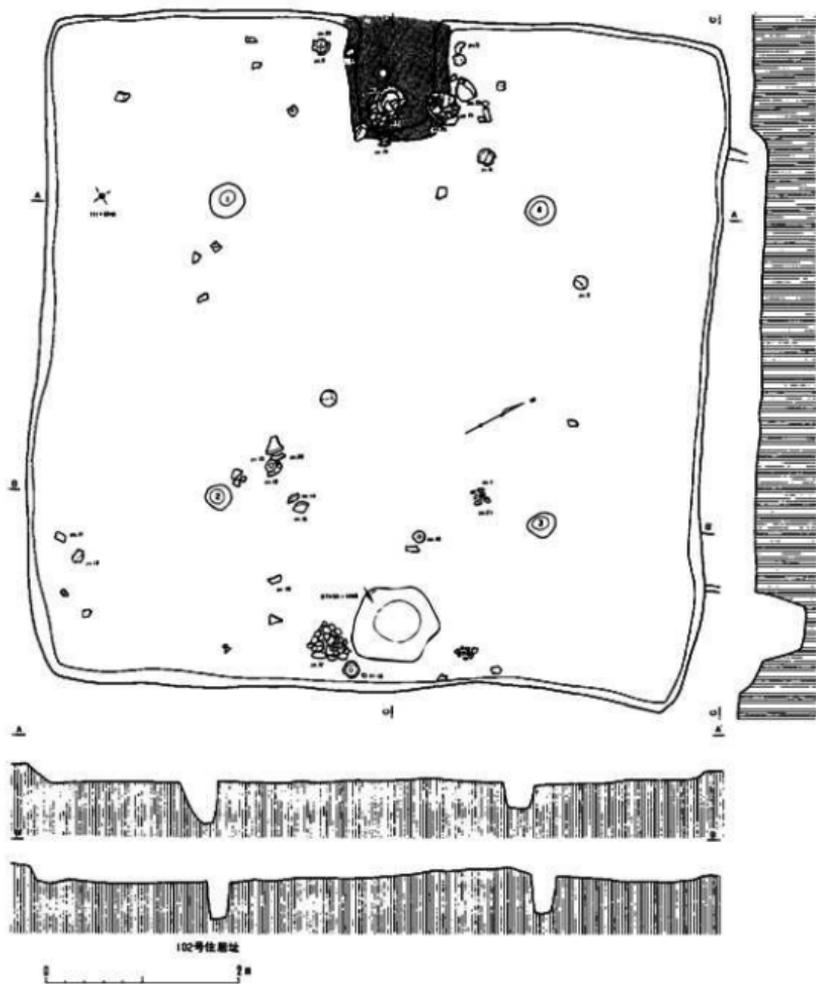
第79図 99号住居址平面図、99号住居址カマド実測図



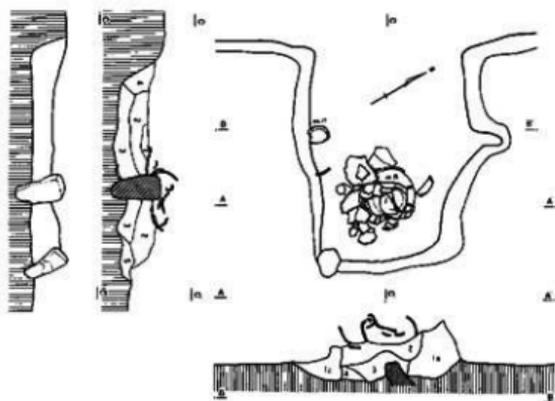
第80図 100号住居址平面図、100号住居址カマド実測図



第81図 101号住居址平面図、101号住居址カマド実測図



第82图 102号住居址平面图



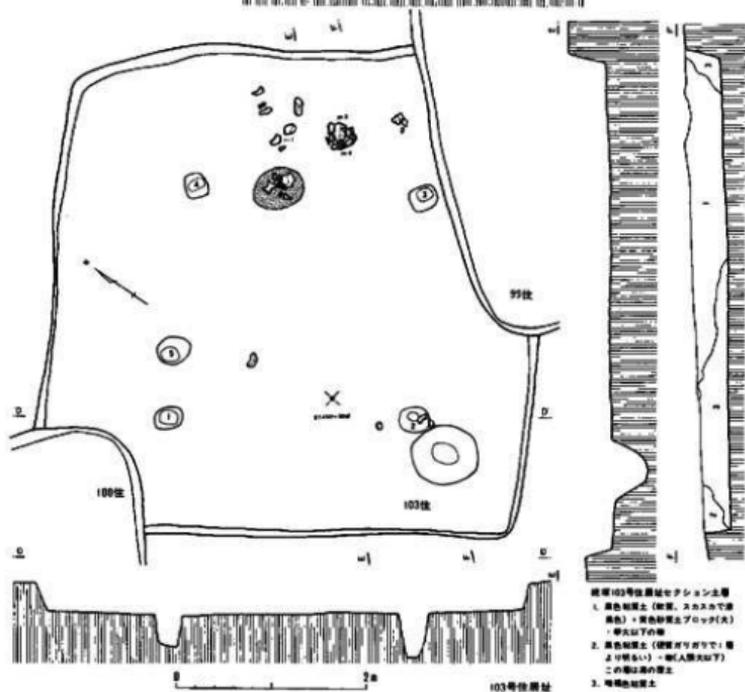
前期102号住居址のカマド土層

1. 埋土プロット土
- 1a. 埋土 (硬土・黄色粘土)
2. 埋土層下部土 (埋土層)
3. 埋土層下部土 (埋土層)
4. 埋土層土
5. 埋土

102号住居址カマド



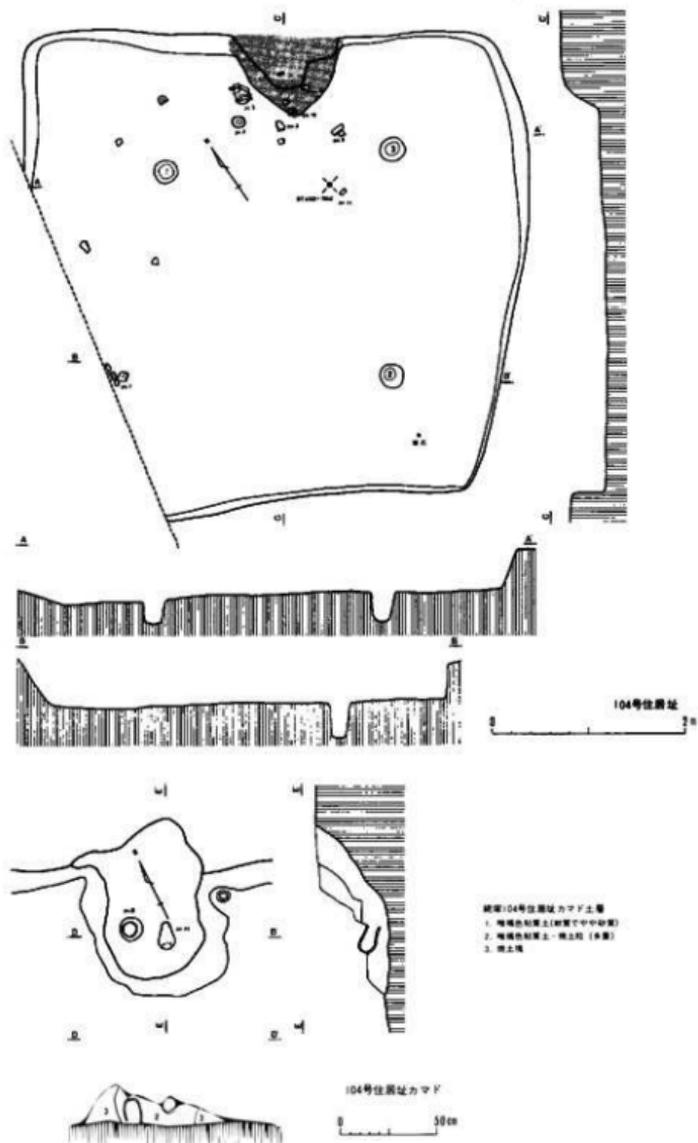
0 50cm



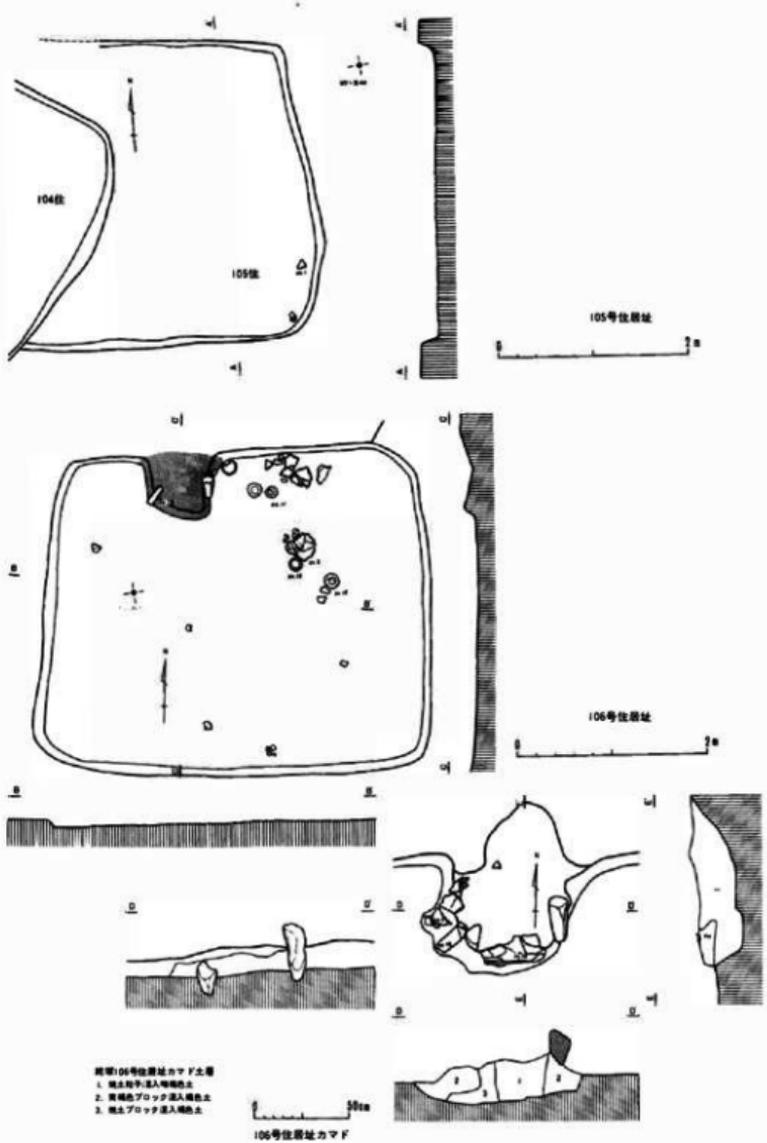
前期103号住居址セクション土層

1. 黄色粘土 (硬質、コシコシで赤褐色) + 黄色砂埋土プロット土 (厚土以下の層)
2. 黄色粘土 (硬質ゴリゴリで、層よけ効果あり) - 埋(入層)以下 (この層は埋土)
3. 埋土層粘土

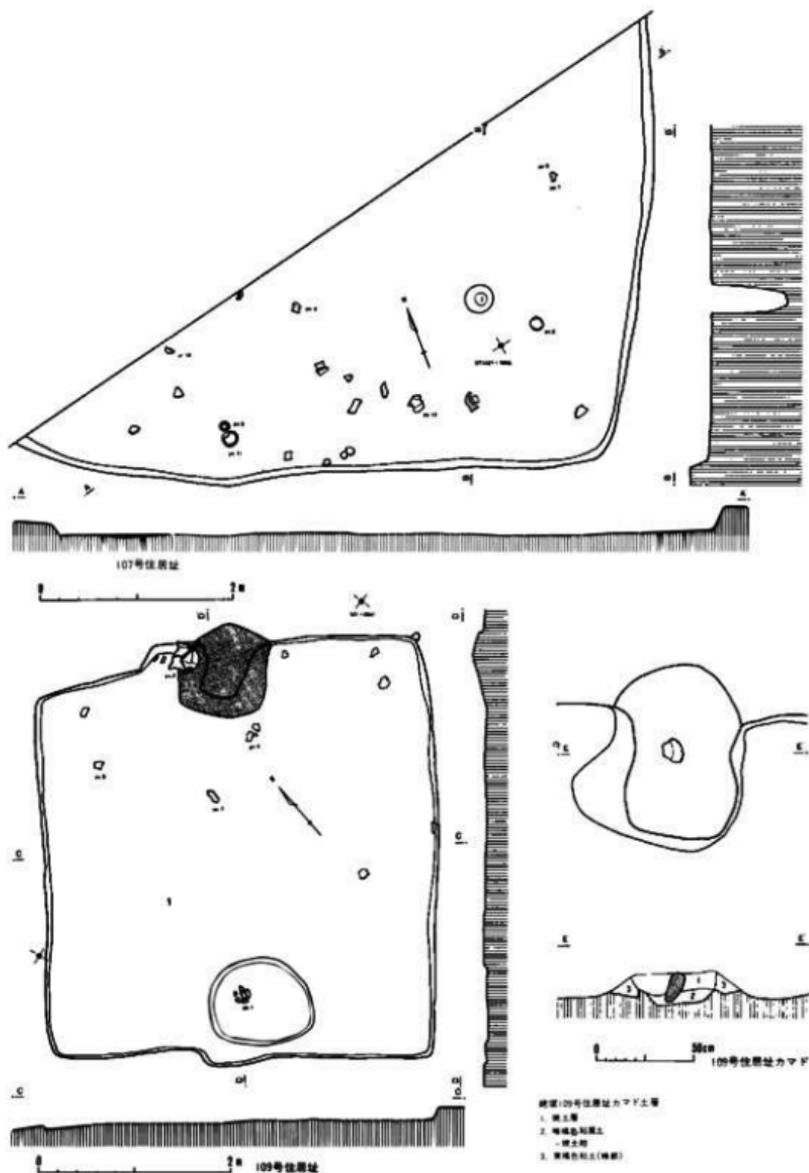
第83図 103号住居址平面図、102号住居址カマド実測図



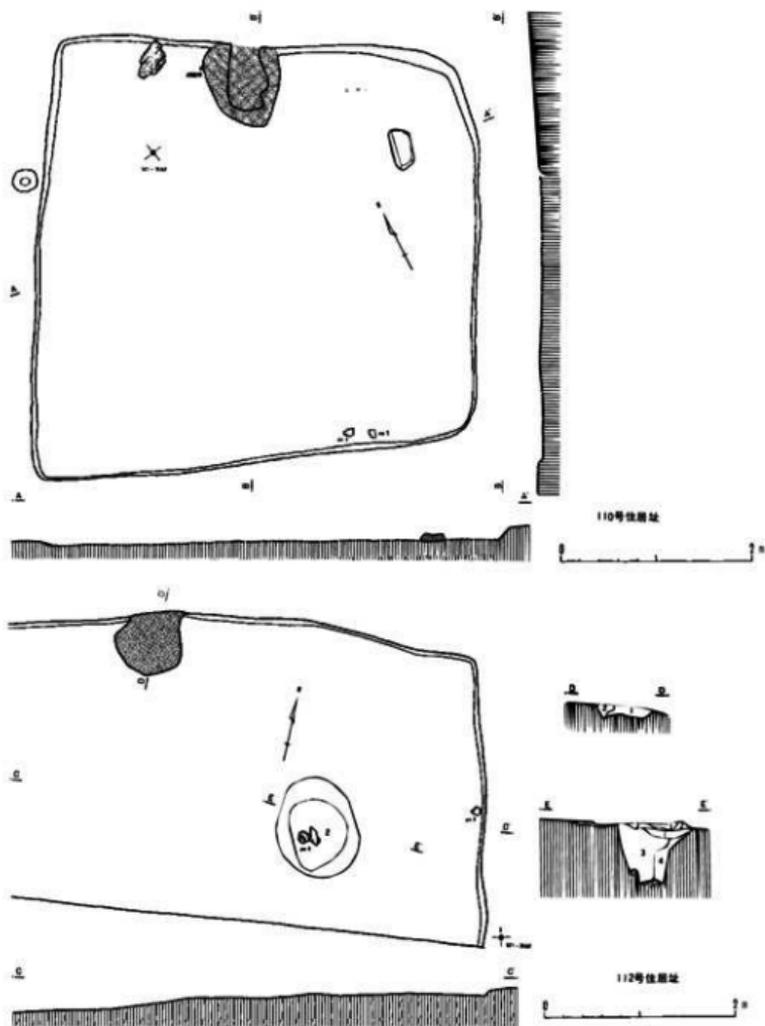
第84図 104号住居址平面図、104号住居址カマド実測図



第85図 105、106号住居址平面図、106号住居址カマド実測図

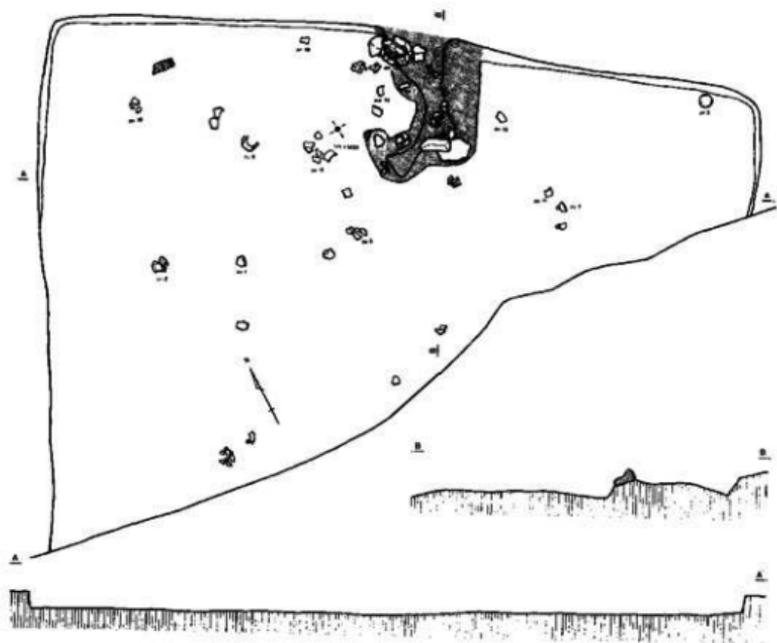


第86図 107、109号住居址平面図、109号住居址カマド実測図

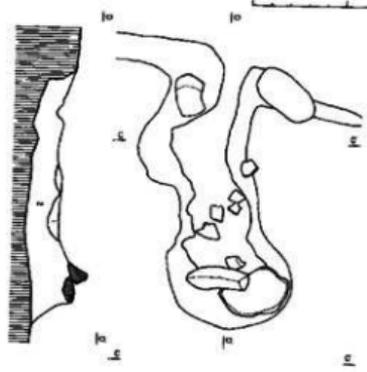


- 経度112号住居址セクション法層
1. 黄土
 2. 黄土粒(少量)・黒色粘質土(やや細かい塊で粘土層を形成)
 3. 黒色粘質土(2層の黒色粘質土と同じ)
 4. 黒褐色砂まった(砂)
 5. 黒褐色粘土

第87図 110、112号住居址平面図



0 2m 111号住居址

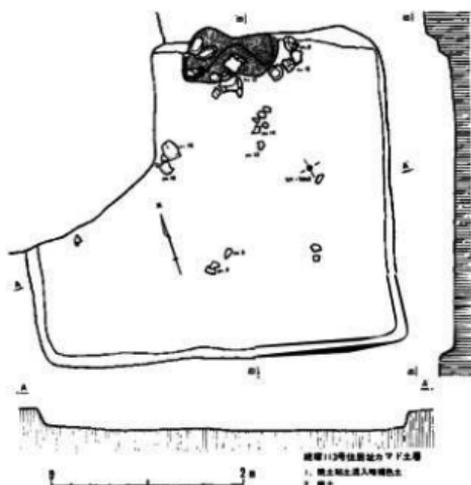


111号住居址カマド土器
 1. 灰土貯子透入時褐色土
 2. 灰土ブロック透入時褐色土



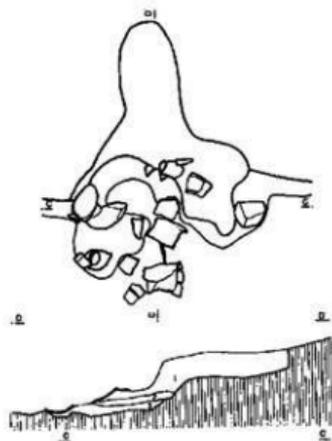
0 50cm 111号住居址カマド

第88図 111号住居址平面図、111号住居址カマド実測図

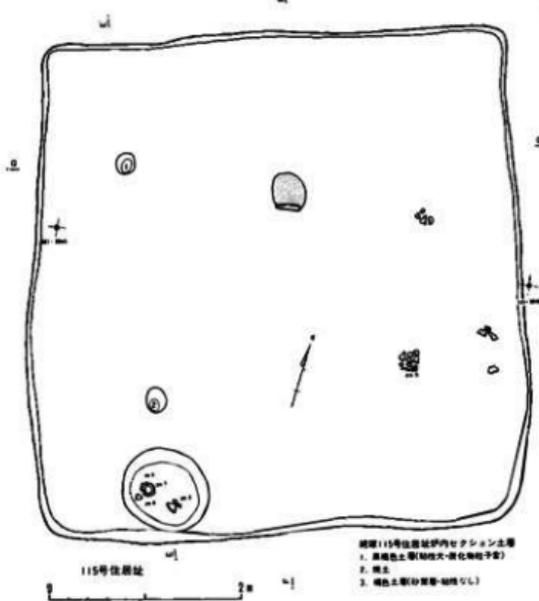


113号住居址

- 図解 113号住居址カマド土層
1. 焼土粘土混入焼色土
 2. 焼土
 3. 焼土粘土混入焼色土
 4. 黄褐色土混入焼色土
 5. 焼土プロック土
 6. 焼色土(5層との境界線が焼土)
 7. 4層に近い焼色土
- カマド断面



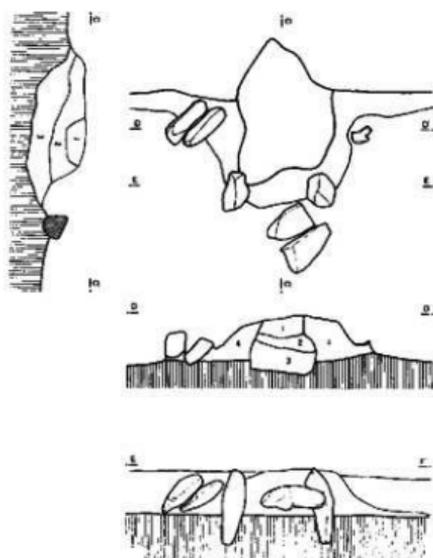
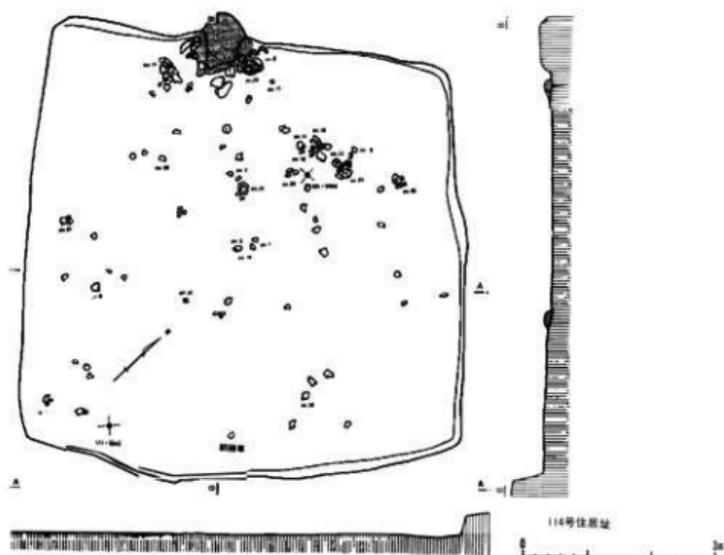
113号住居址カマド



115号住居址

- 図解 115号住居址伊内セクション土層
1. 黄褐色土(厚約20cm-40cm程度)
 2. 焼土
 3. 焼色土(厚約10cm程度)

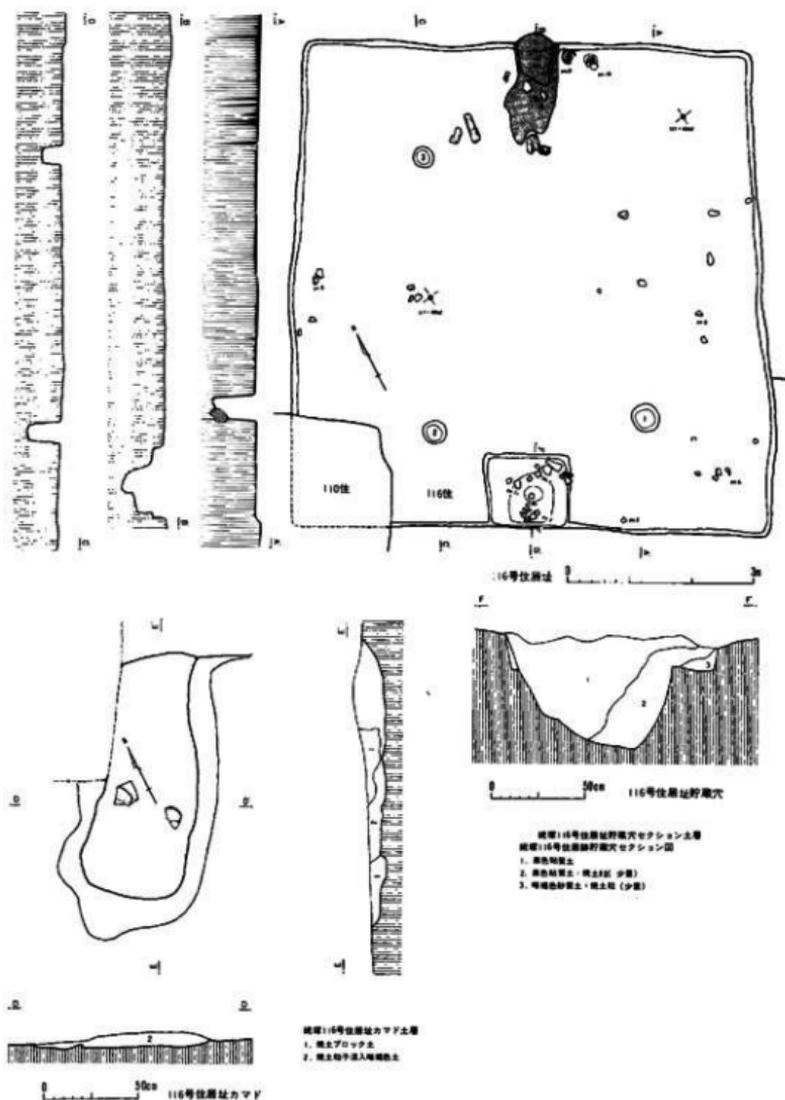
第89図 113、115号住居址平面図



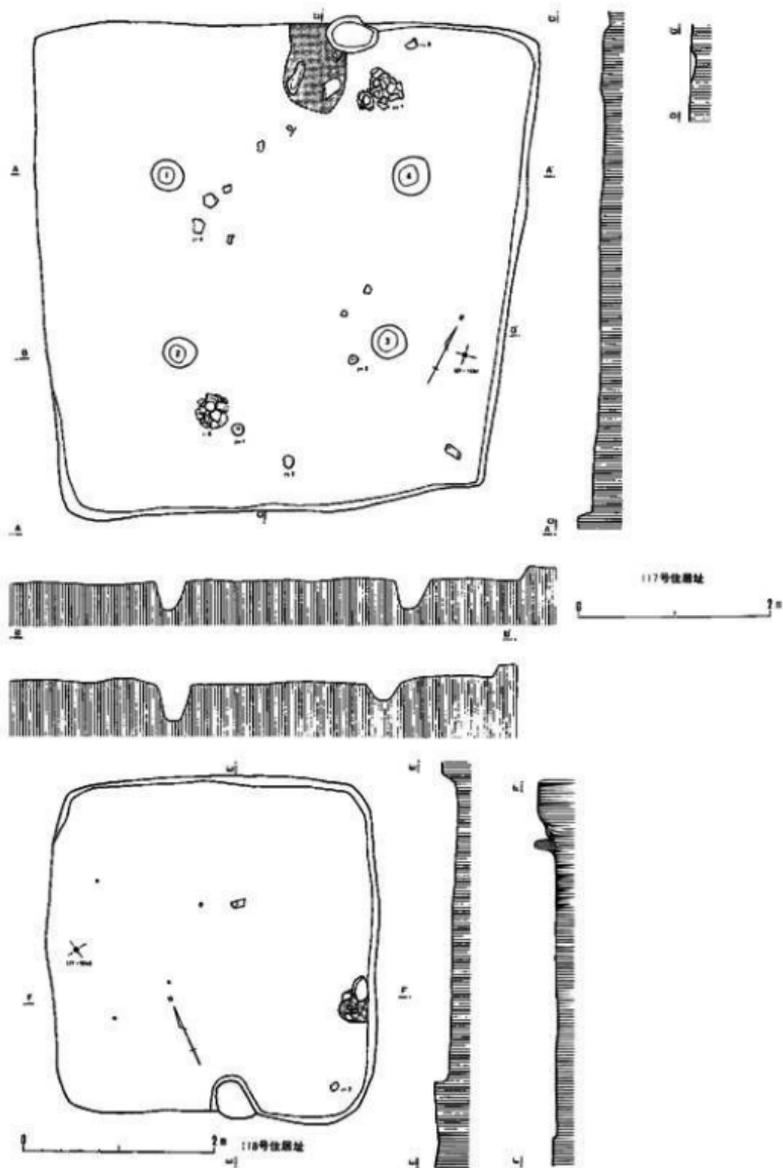
- 図解114号住居址カマド土層
1. 黄褐色粘土粒中炭入層褐色土(天井の一部)
 2. 褐色ブロック透入層褐色土
 3. 褐色粒中炭入層褐色土
 4. 黄褐色粘土、褐色ブロック透入褐色土(壁)

114号住居址カマド
0 30cm

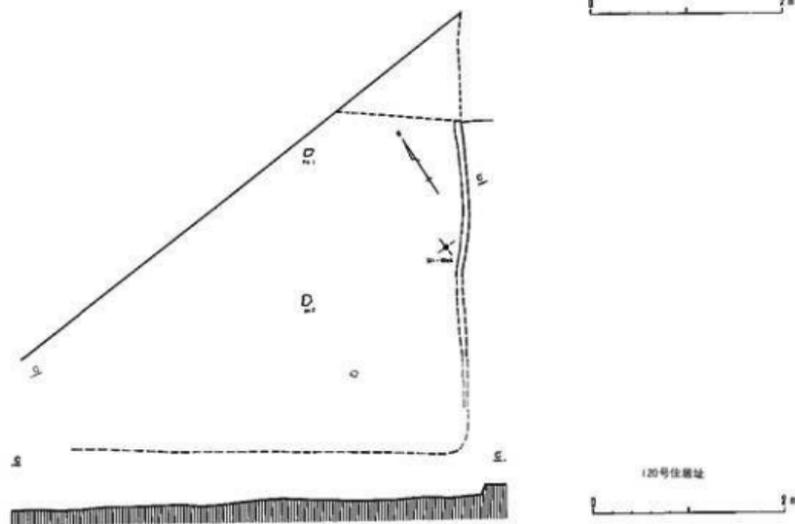
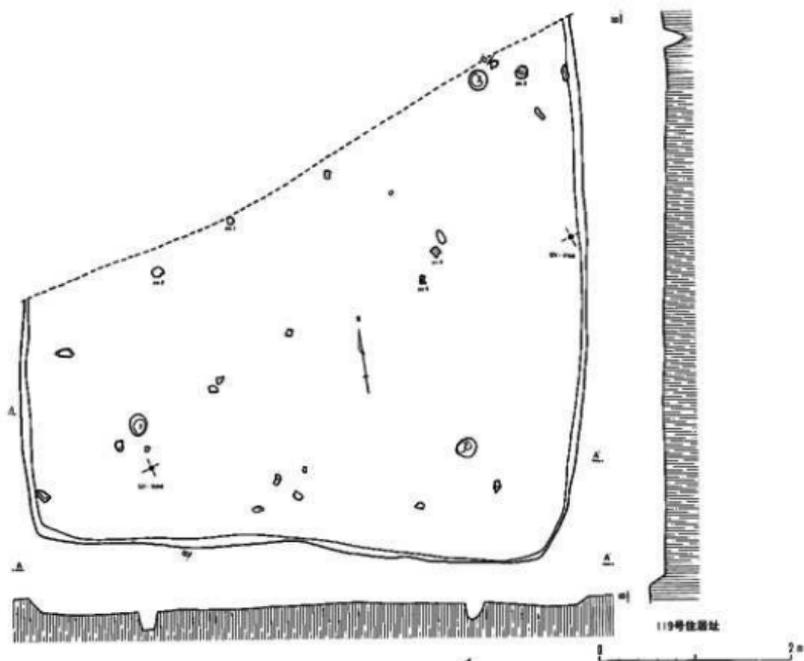
第90図 114号住居址平面図、114号住居址カマド実測図



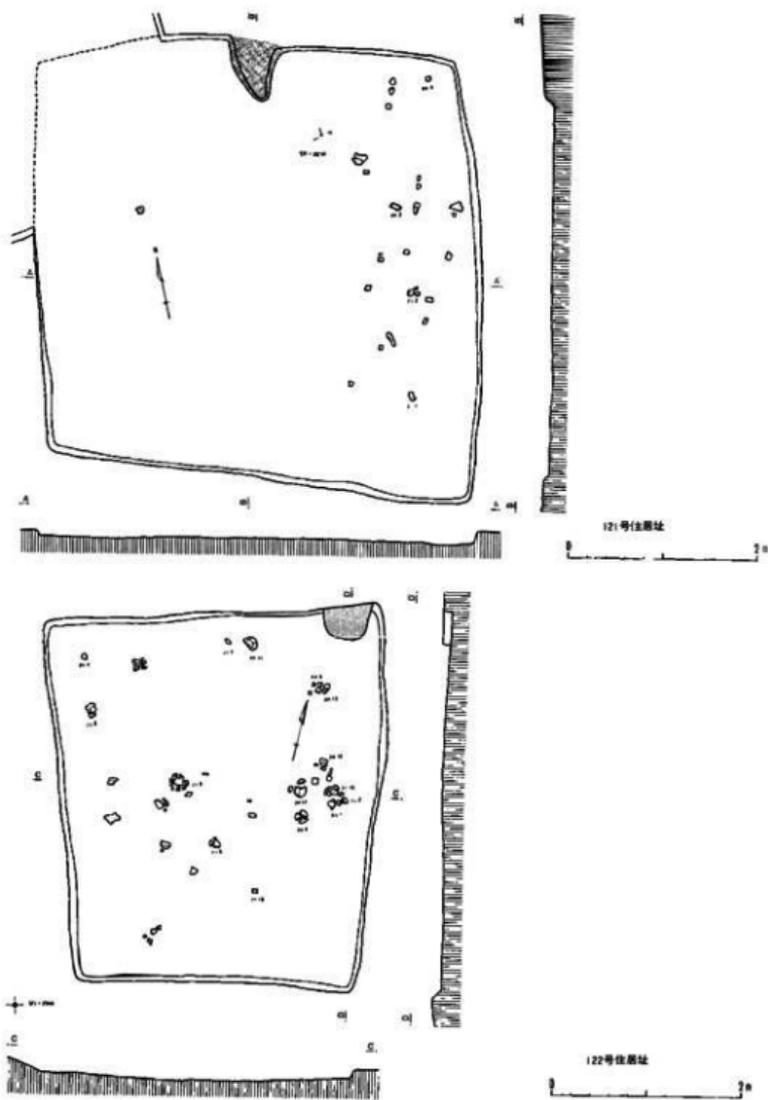
第91図 116号住居址平面図、カマド実測図、野蔵穴セクション図



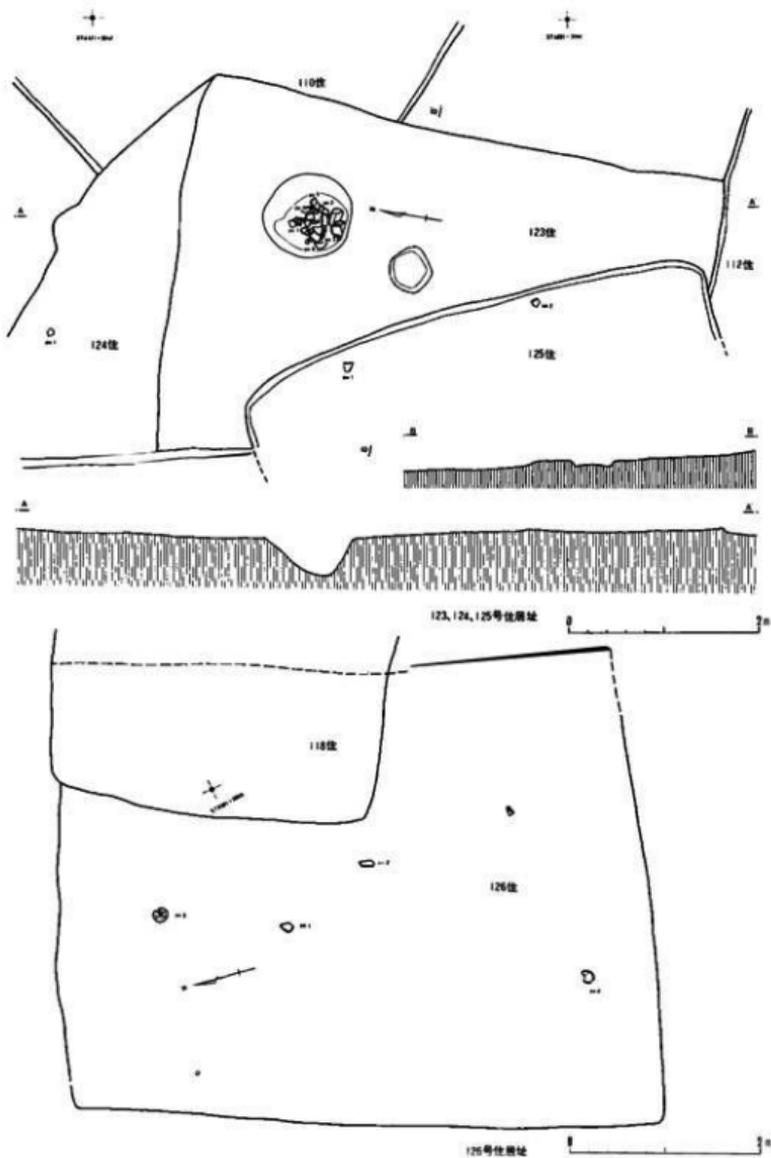
第92图 117、118号住居址平面图



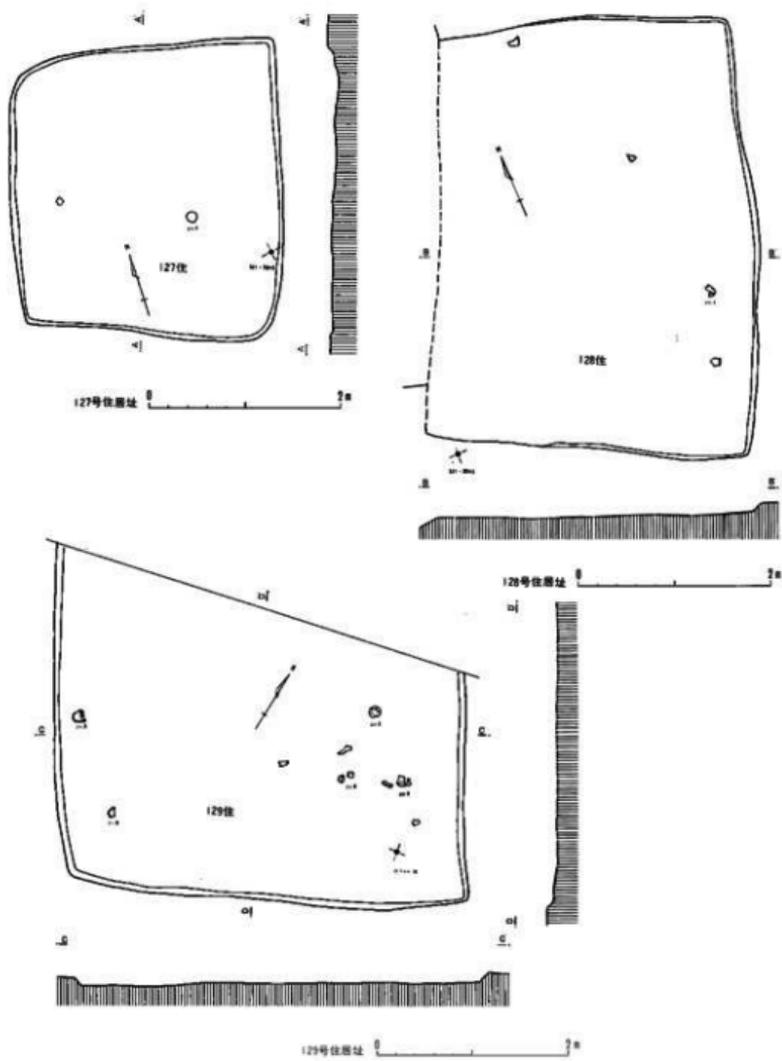
第93图 119、120号住居址平面图



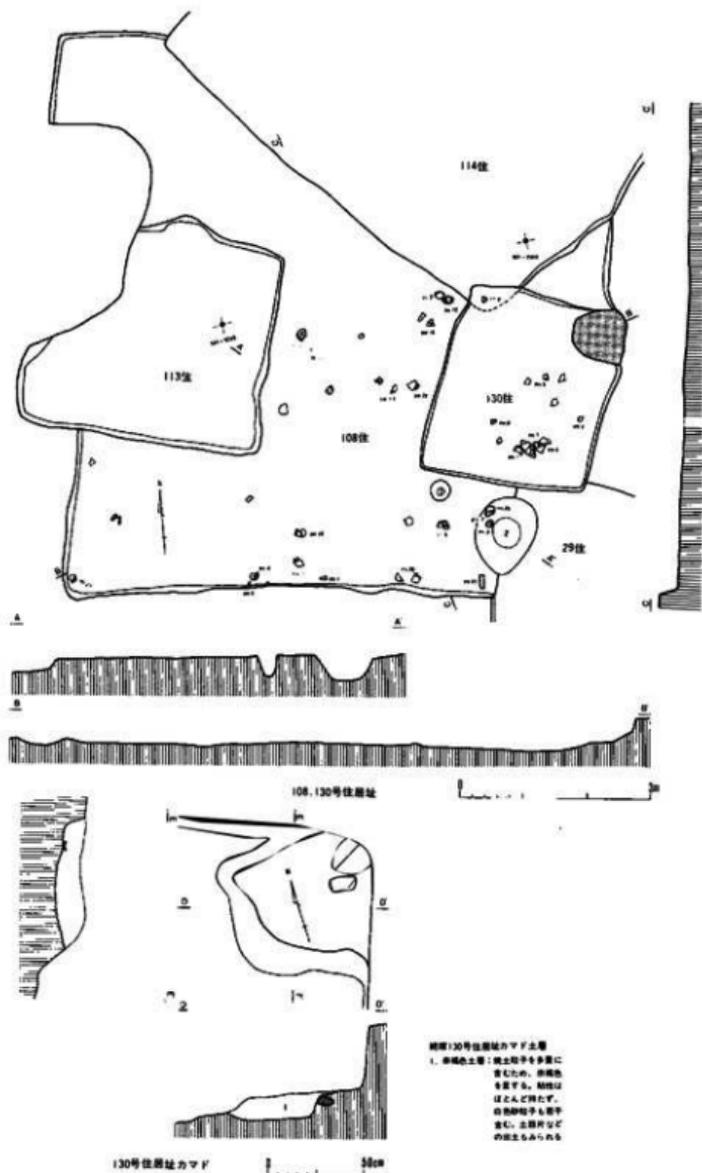
第94图 121、122号住居址平面图



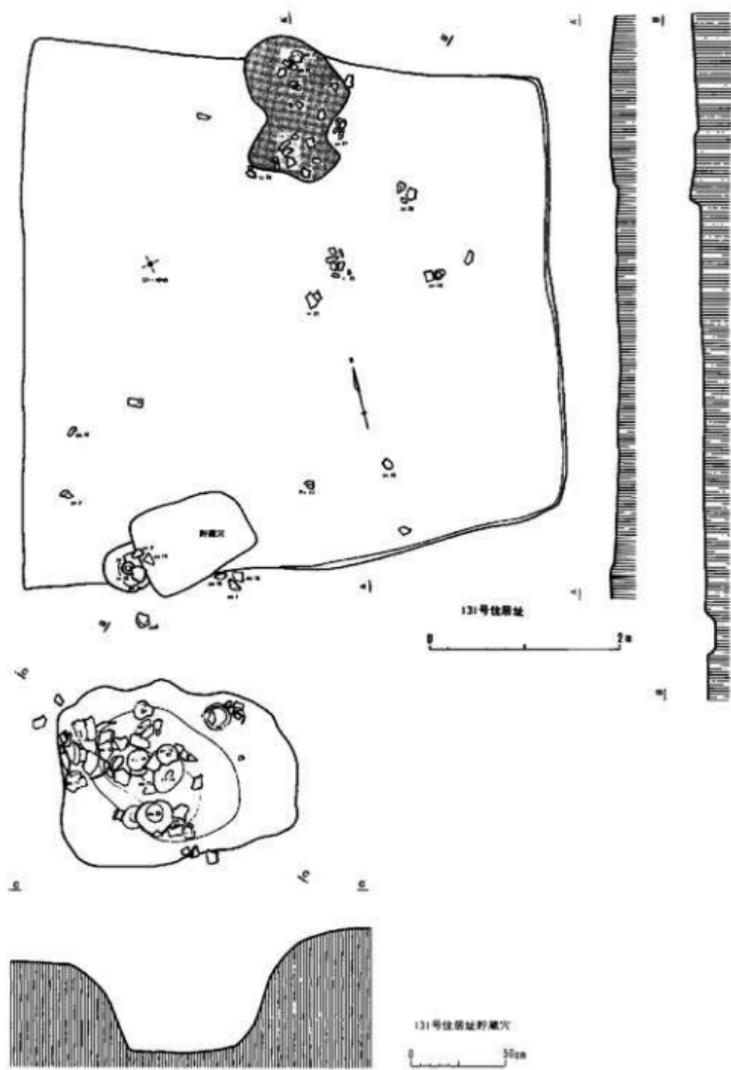
第95图 123、124、125、126号住居址平面图



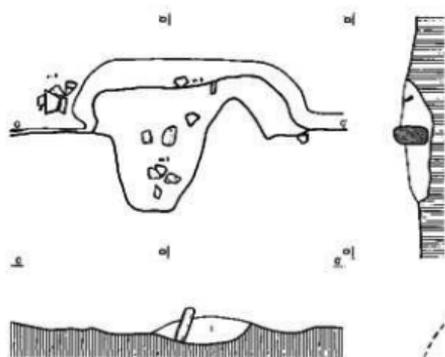
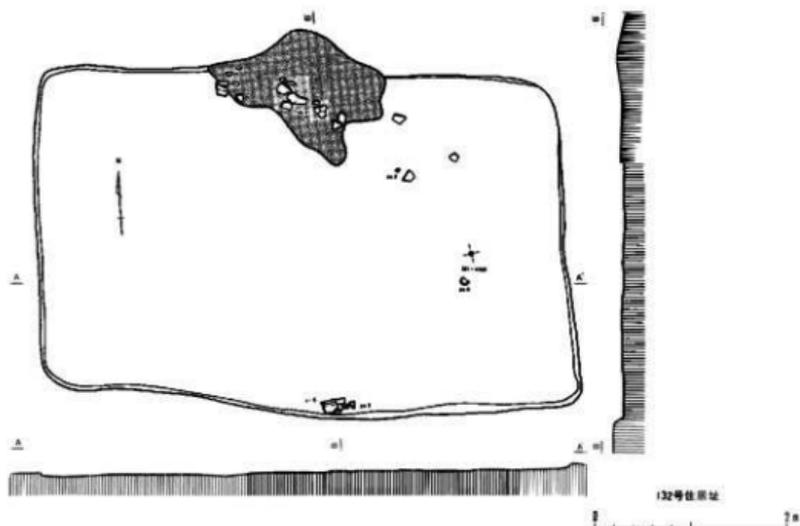
第96图 127、128、129号住居址平面图



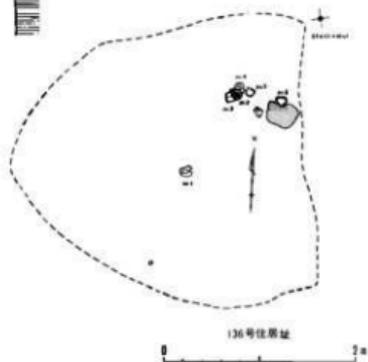
第97図 108, 130号住居址平面図、130号住居址実測図



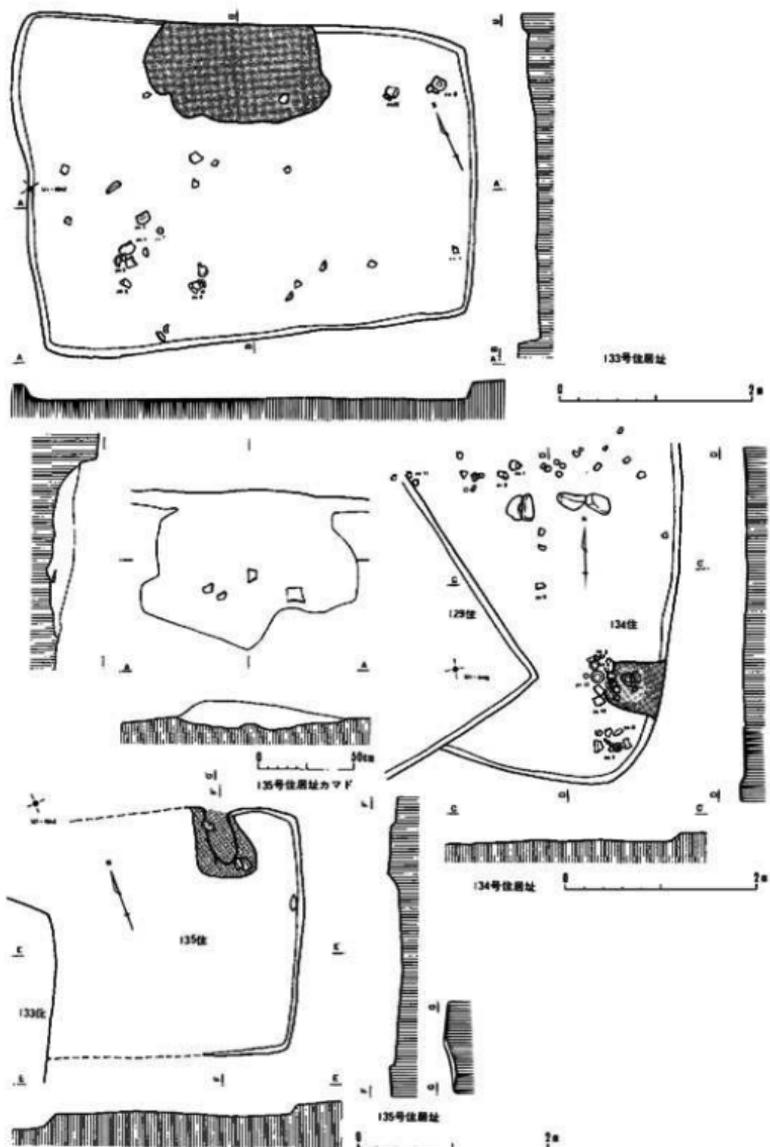
第98図 131号住居址平面図、131号住居址カマド実測図



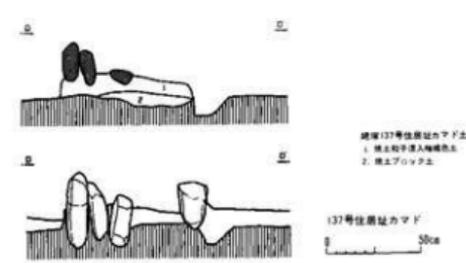
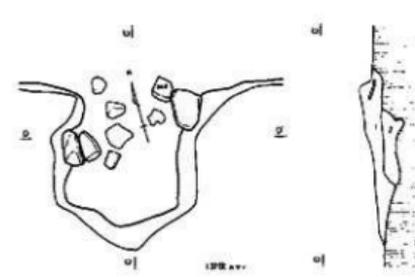
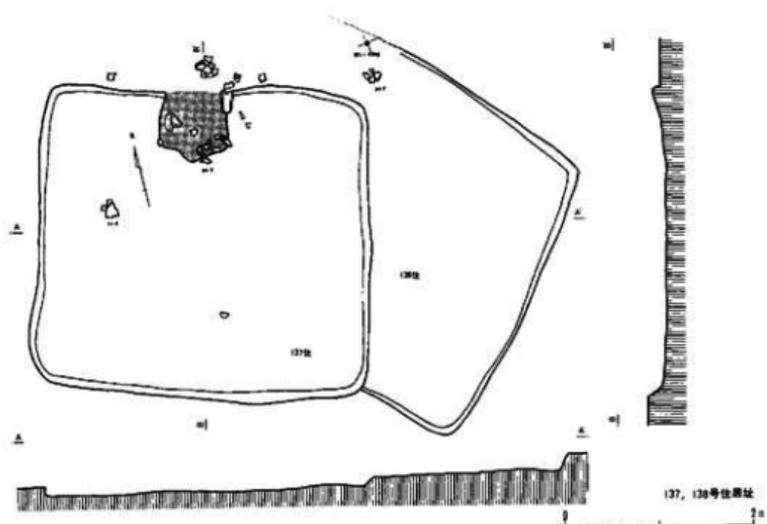
図解132号住居址カマド土層
 ① 黒色粘質土 (粘土質で硬い) ・焼土やブロック (多数)



第99図 132、136号住居址平面図、132号住居址カマド実測図

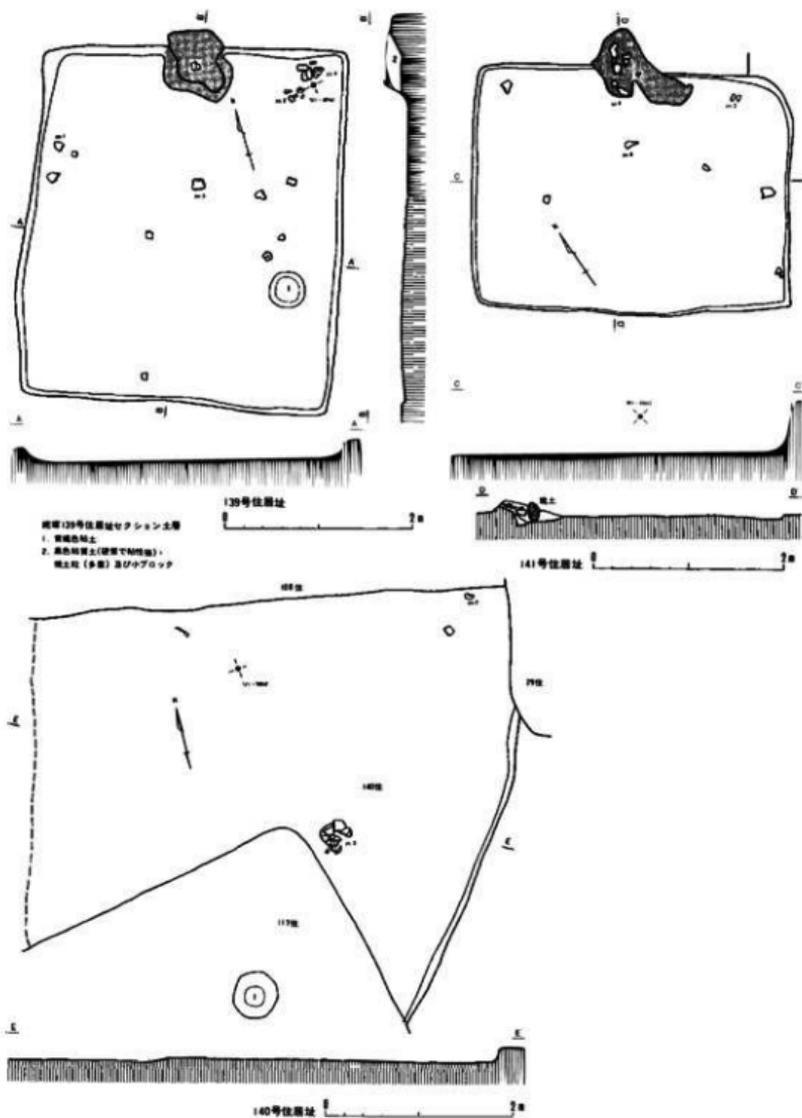


第100図 133、134、135号住居址平面図、135号住居址カマド実測図

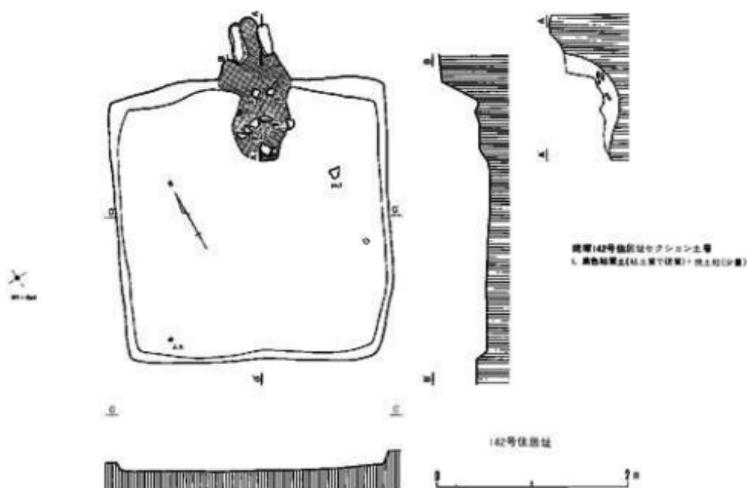


137号住居址カマド土層
 1. 築土和子土層
 2. 築土ブロック土

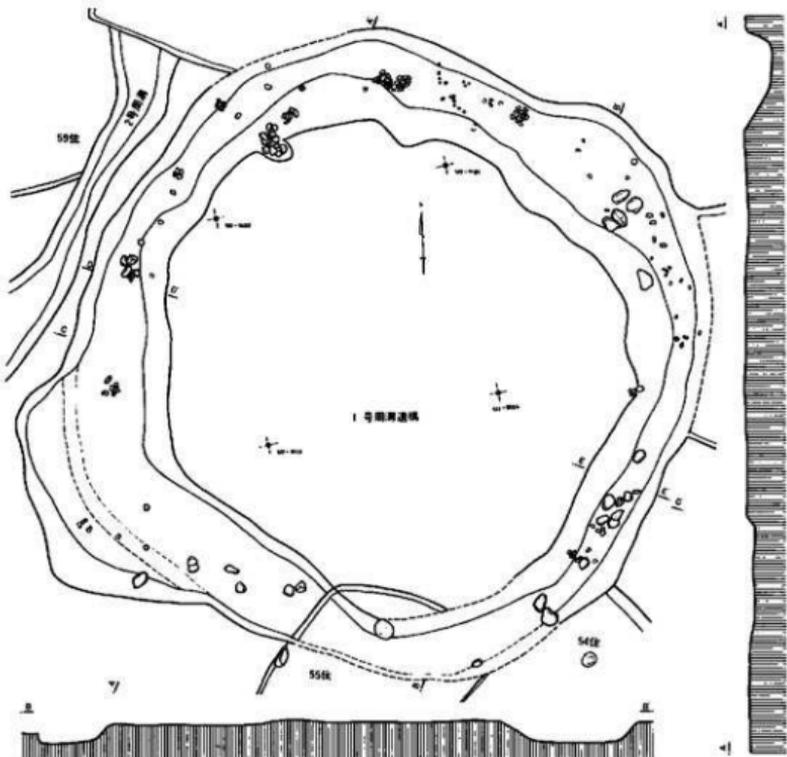
第101図 137, 138号住居址平面図、137号住居址カマド実測図



第102図 139、140、141号住居址平面図



第 103 図 142号住居址平面図

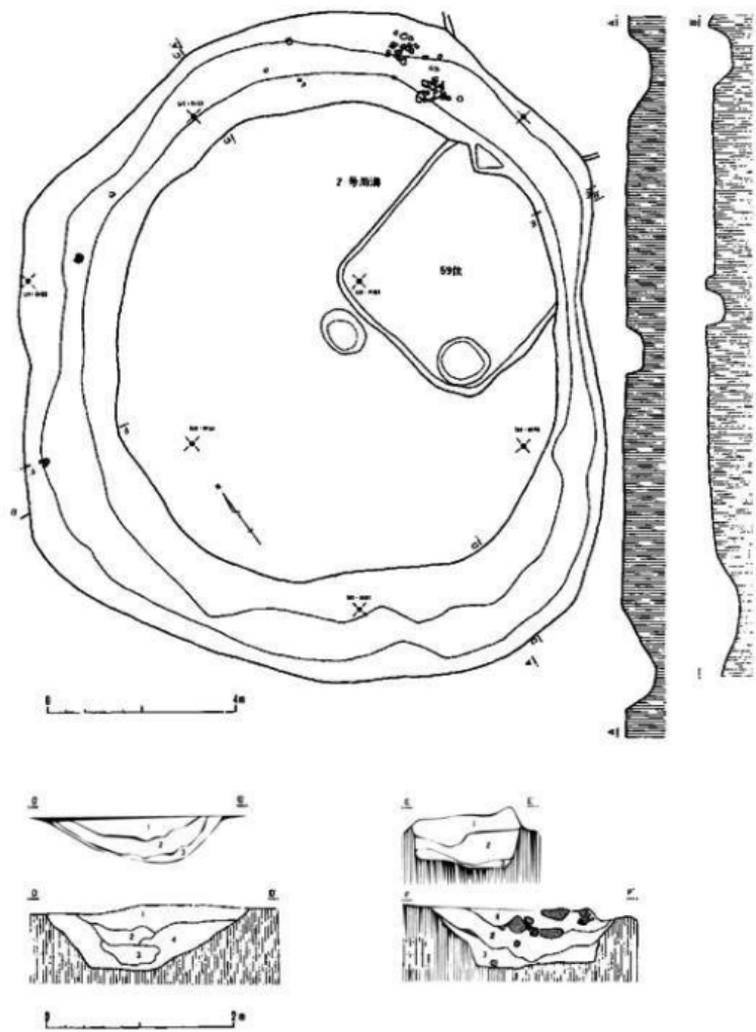


- (D-D)
1. 周溝土層：粘質なく固くしまっている。2層に比へ粘り強い色調
 2. 周溝土層：粘質多量に粘性なし。粘性なしで固くしまっている
 3. 周溝土層：2層より粘り強い。粘性はない。固くしまっている
 4. 周溝土層：粘質多量に。固くしまっている。粘性はないが粘り強くなる
 5. 周溝土層：アークツクリのロームが入るため粘り強い。粘り多くなる

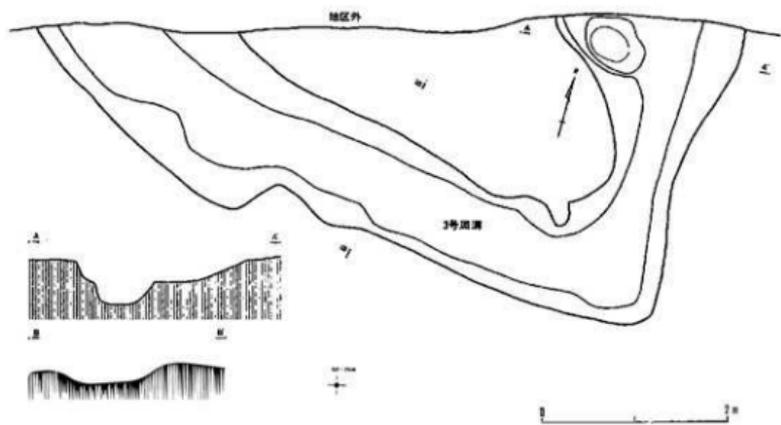


- (E-E)
1. 周溝土層：粘質で粘性なし。2層に比へ粘り強い。粘り強くなる
 2. 周溝土層：粘質多量に。粘性はない。粘り強くなるが粘り強くなる
 3. 周溝土層：ロームが多量に粘り強い。粘り多くなる。粘性なし

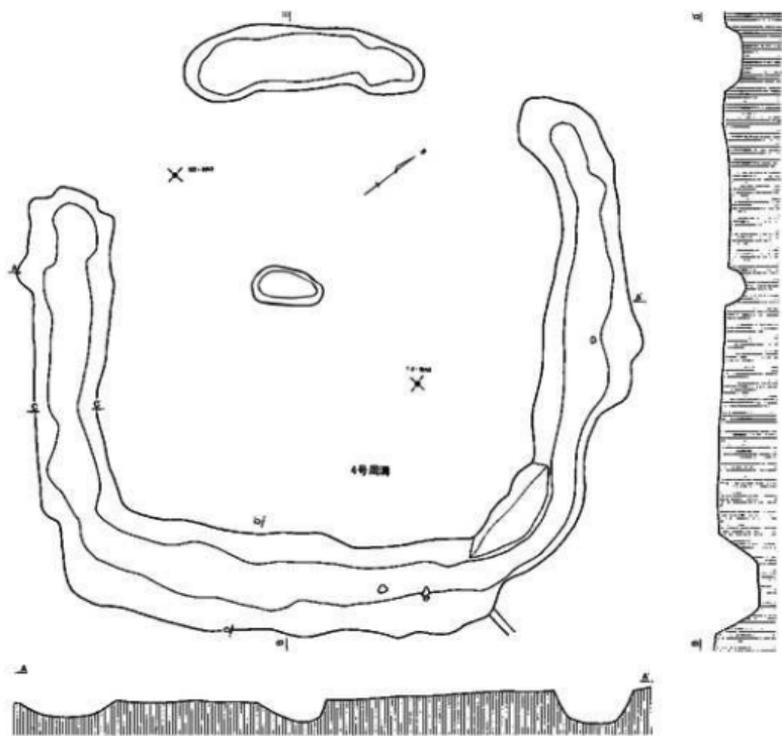
第104図 1号周溝遺構横断面図



第105图 2号周濠遗址平面图



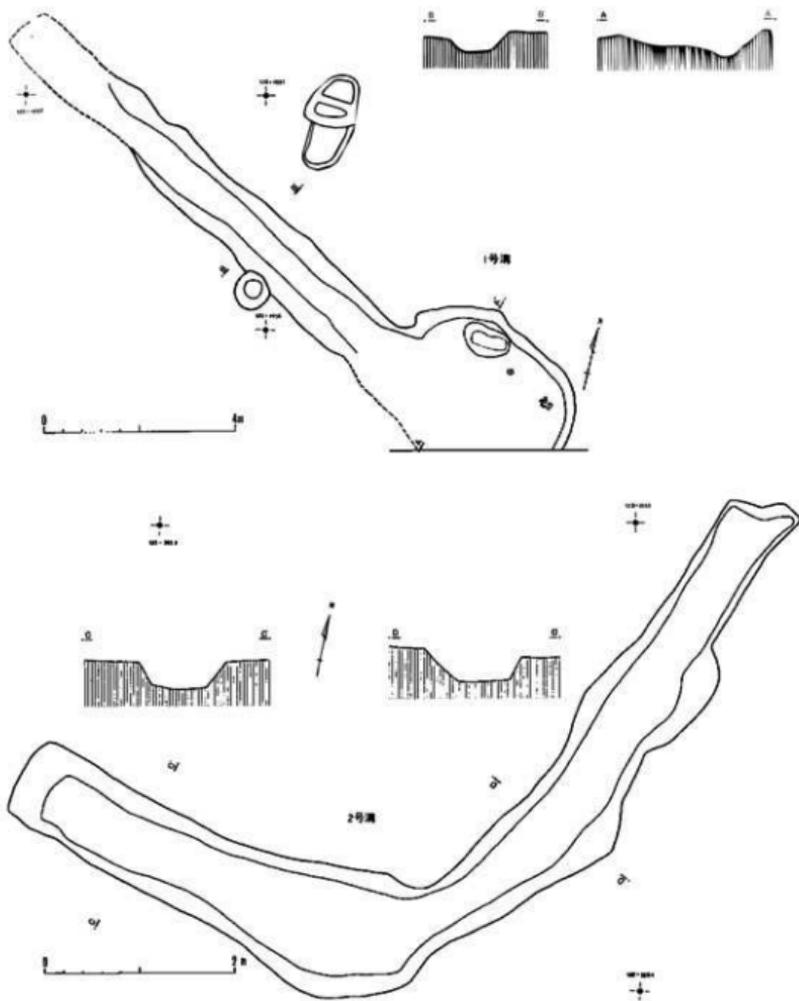
第106图 3号周溝遺構平面图



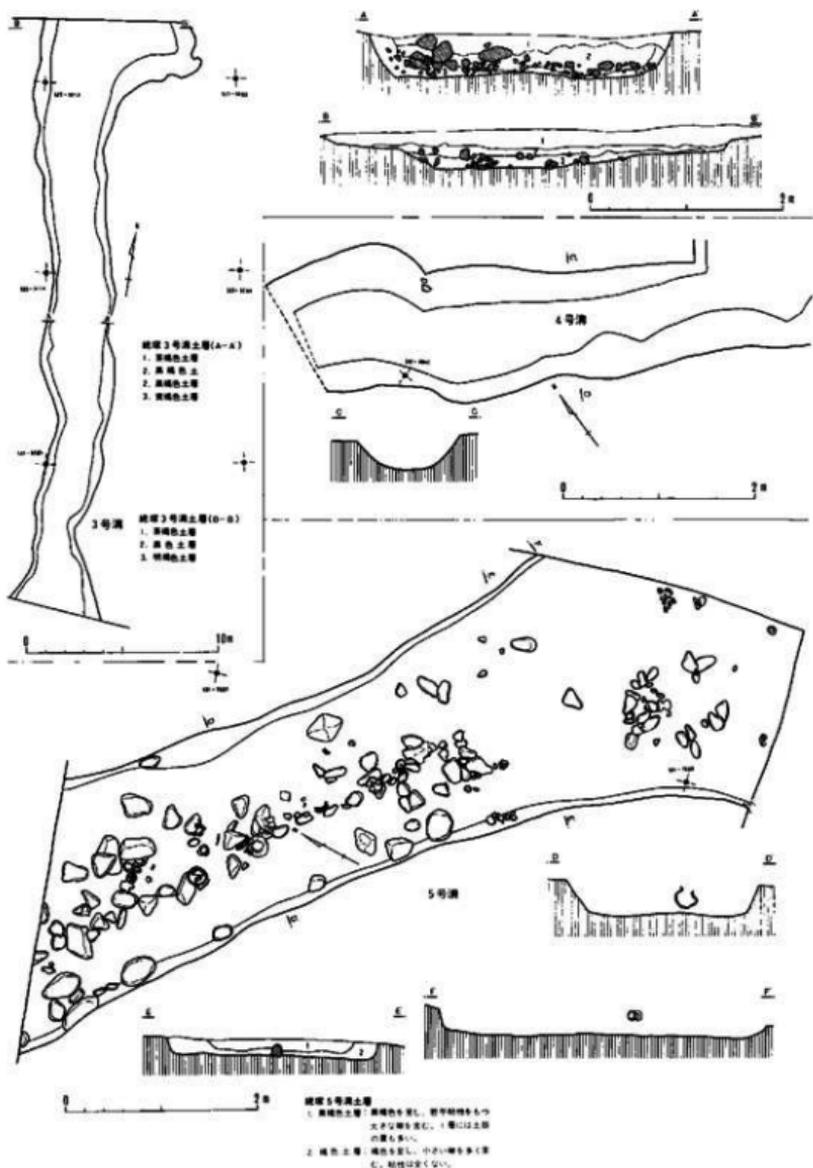
1. 原始粘層土(深奥部で粘層が少く)
2. 埋没粘層土(粘層が少くヤカヤカで中の砂層)
3. 埋没粘層土(ブロック状埋没粘層土(上層))



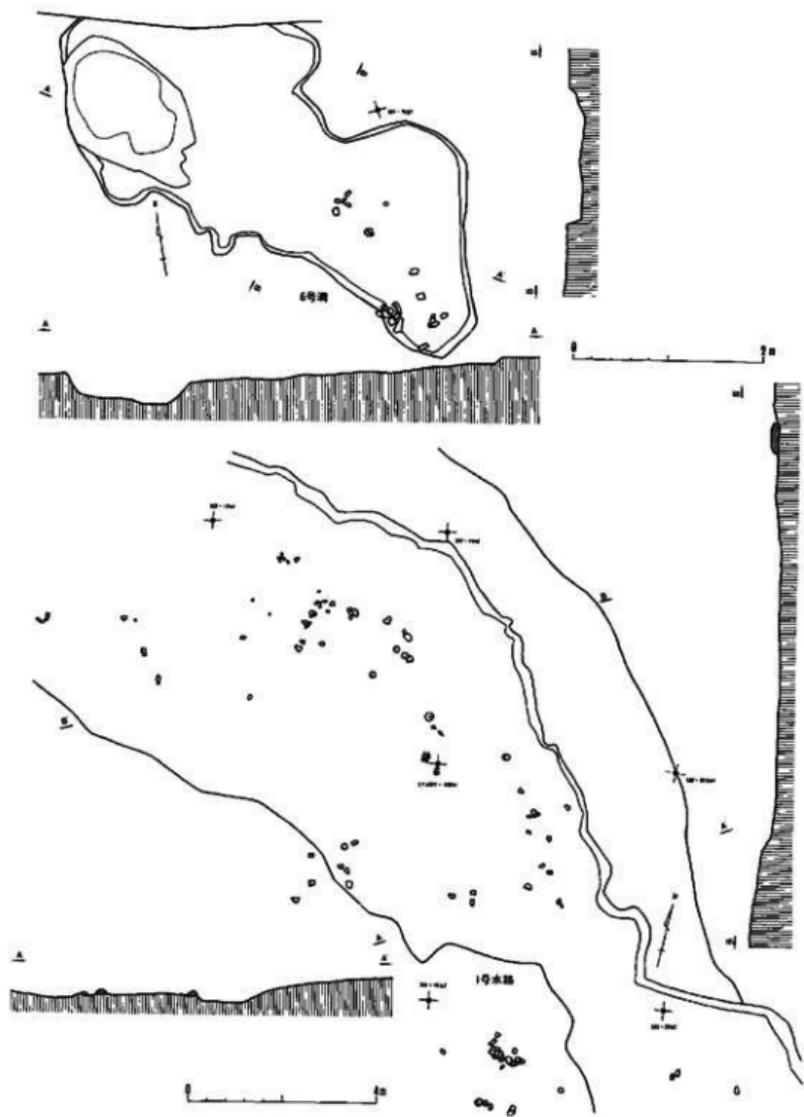
第 107 図 4号周溝遺構平面図



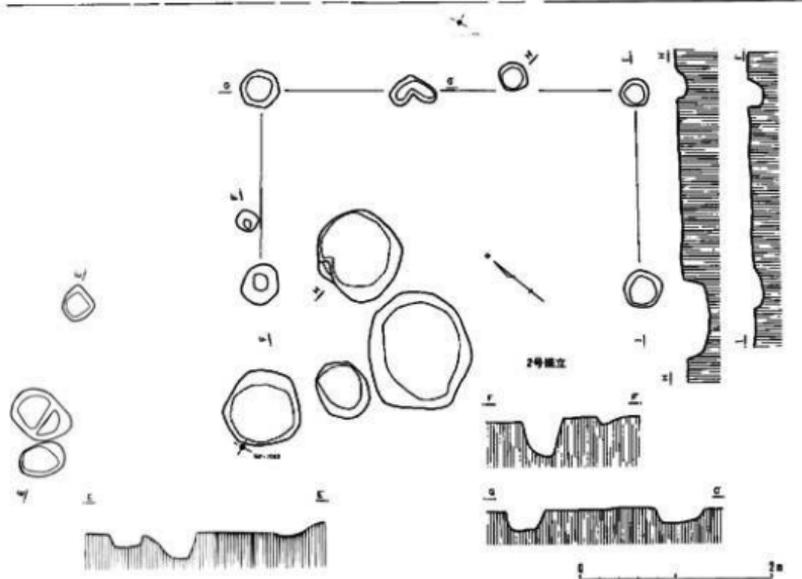
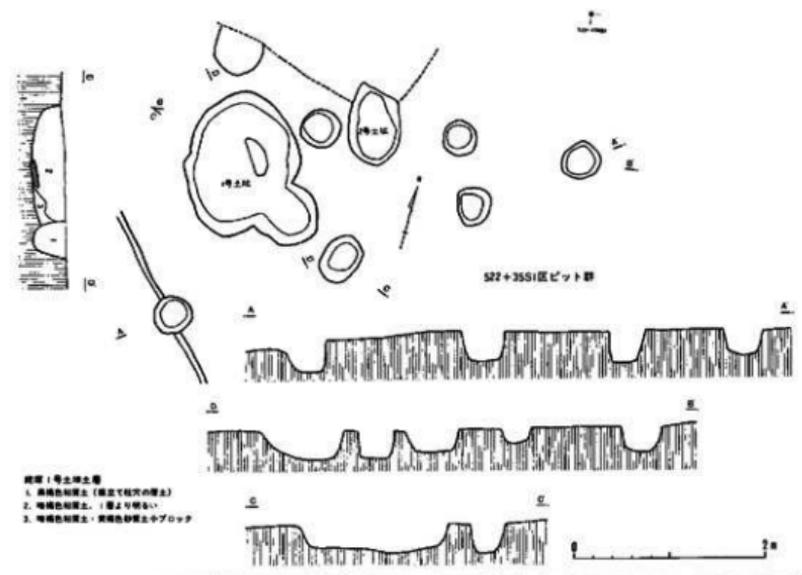
第108图 1、2号溝平面图



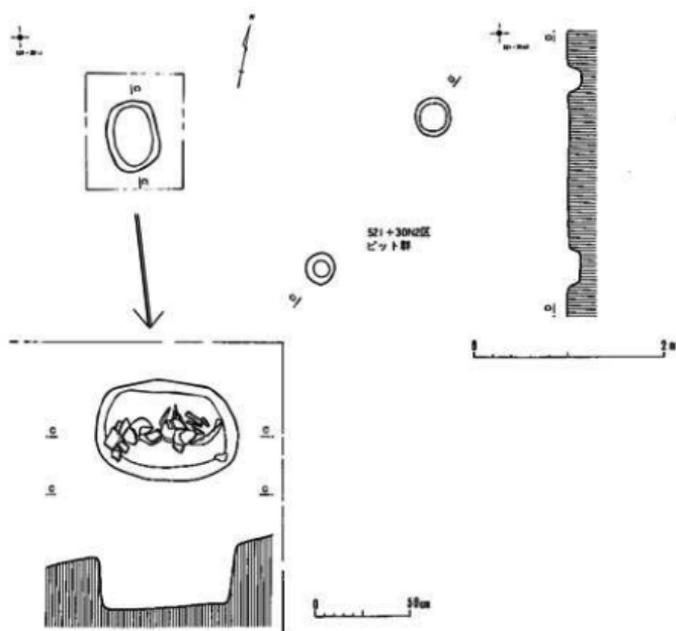
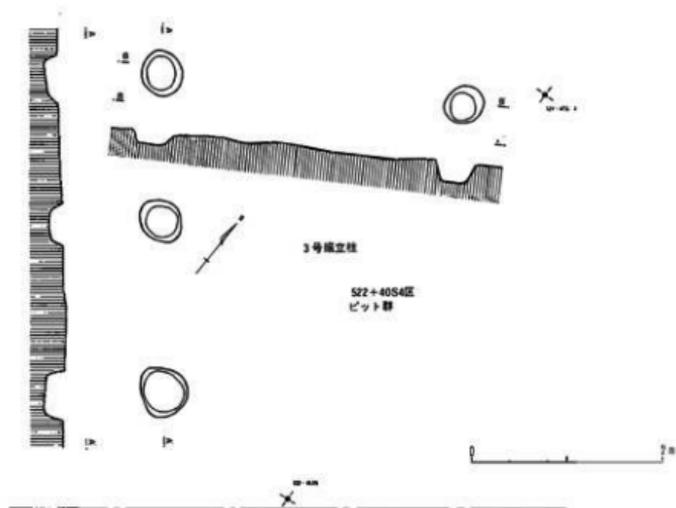
第109图 3、4、5号溝平面图



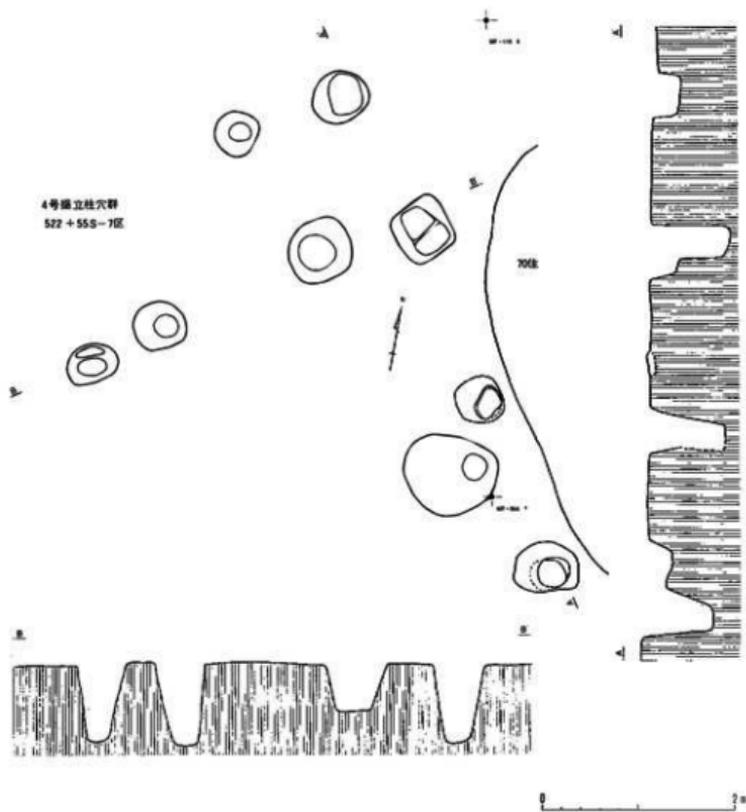
第110图 6号渠、1号水路平面图



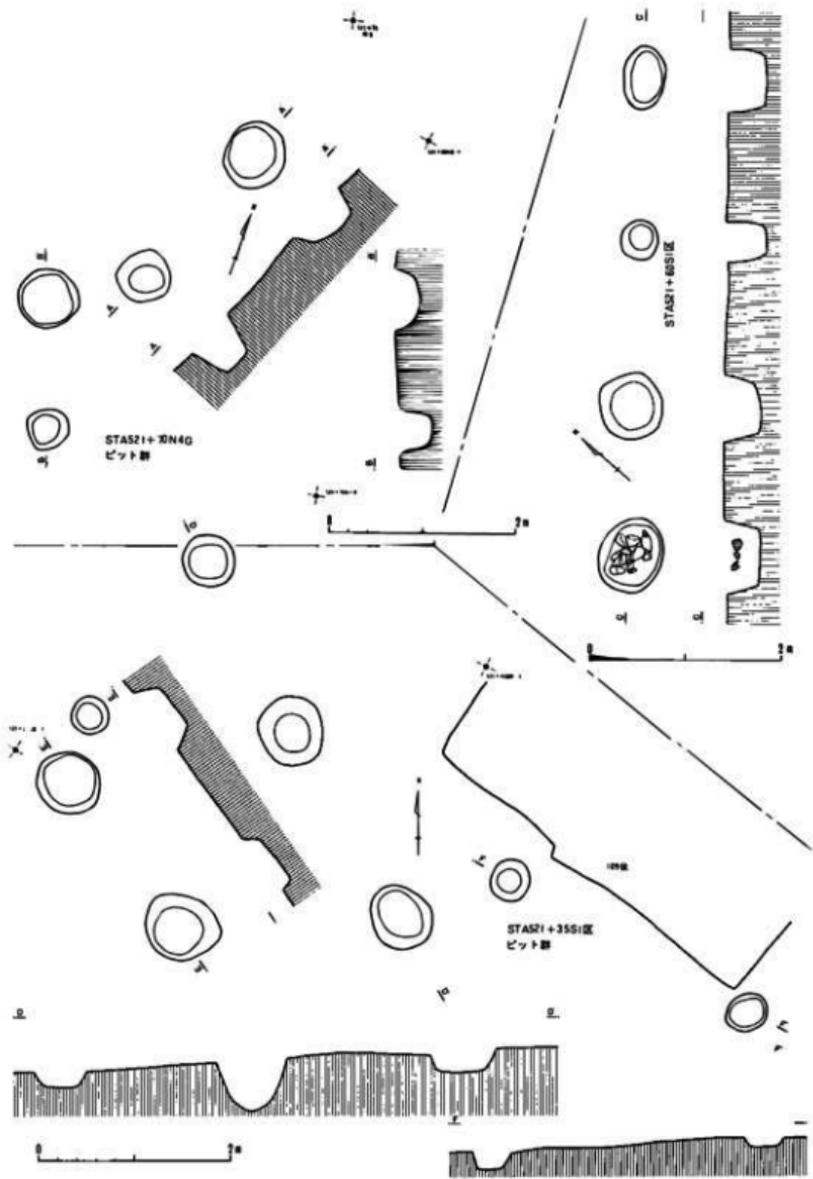
第111図 1、2号土層、STA 522+35SI区ビット群、2号掘立柱建物址平面図



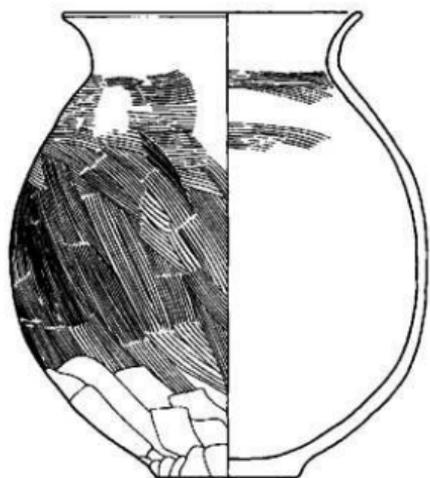
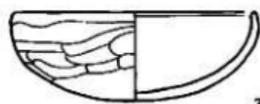
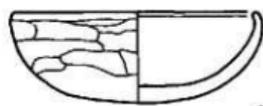
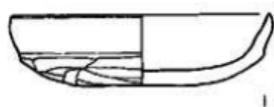
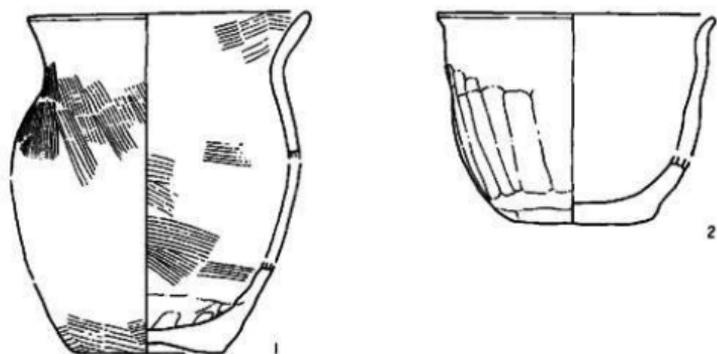
第113図 3号独立柱建物址STA 522+40S 4区ビット群



第114図 4号独立柱建物址、STA 522+55S 7区ピット群平面図

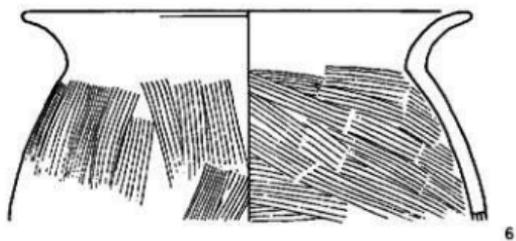


第 116 図 STA 521+70 N4G、STA 521+80SI 区、STA 521+35SI 区ビット群平面図

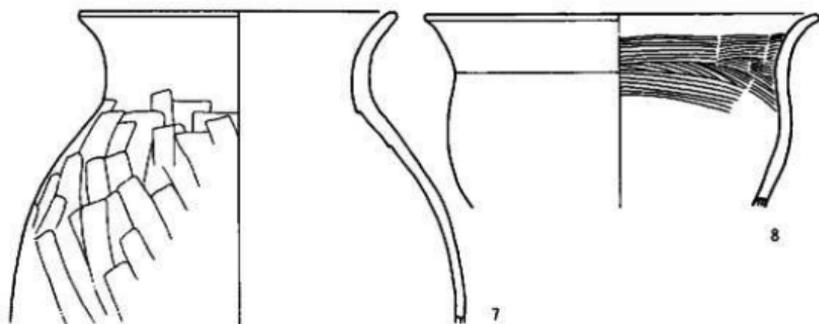


2-1

第116图 1、2号住居址出土土器



6



8

7

2-2



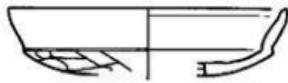
1



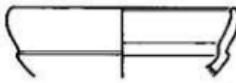
2



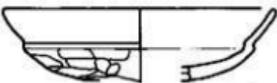
3



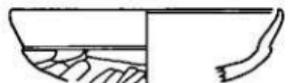
4



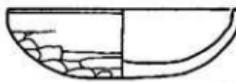
5



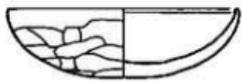
6



7



8

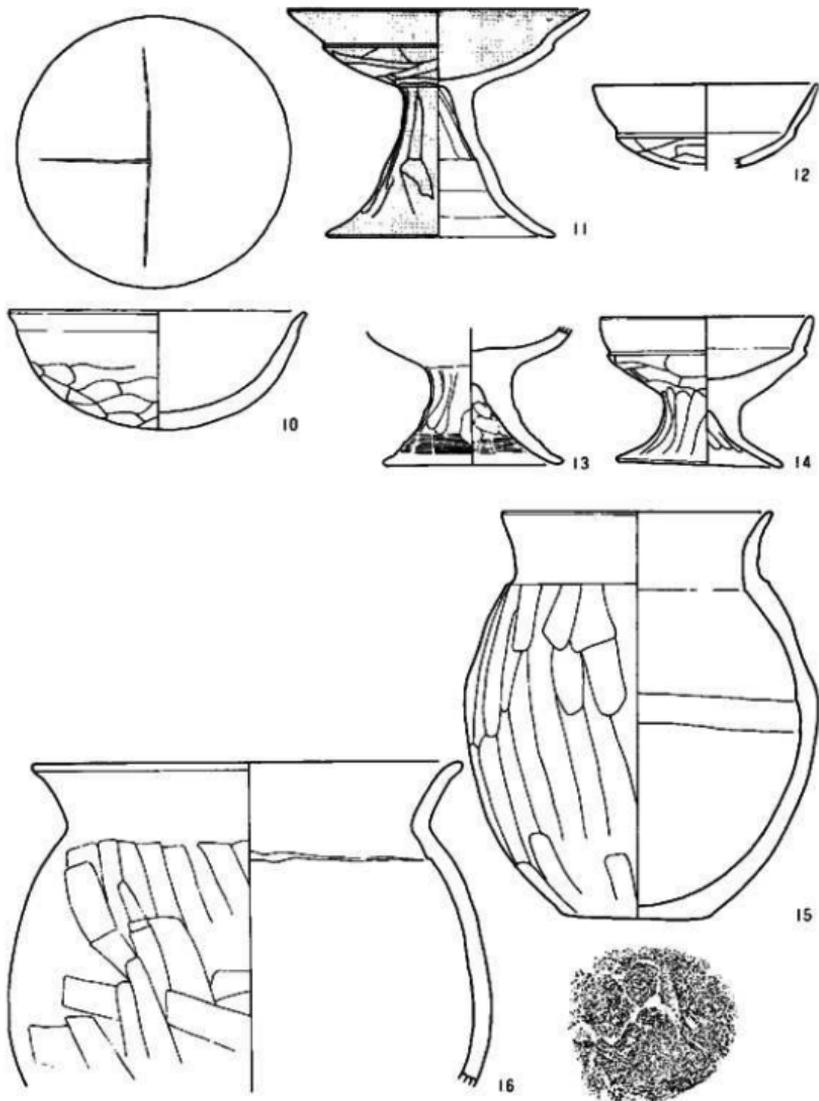


9

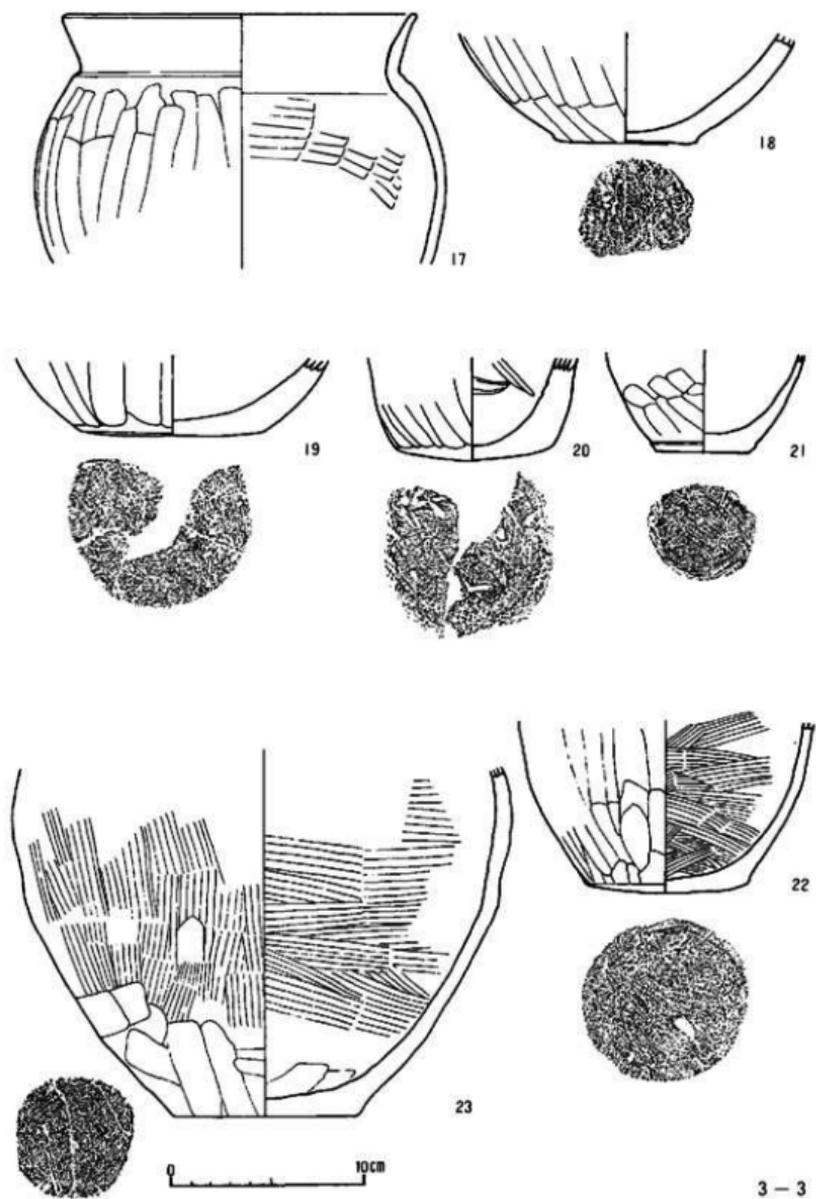


3-1

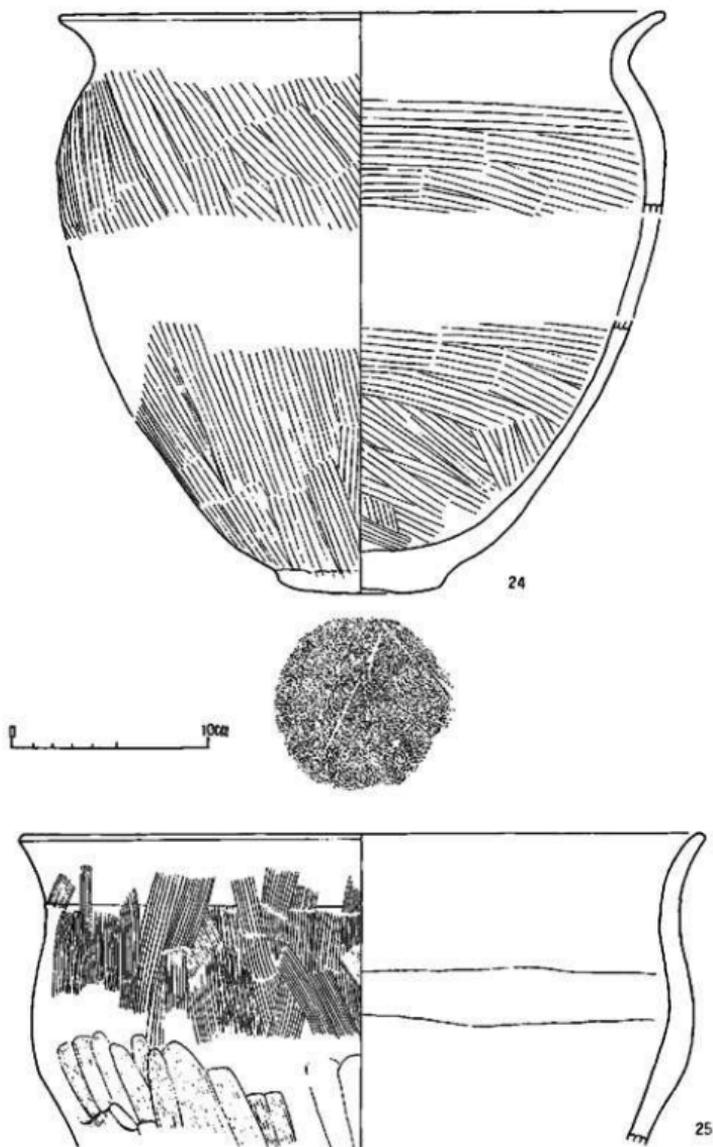
第117图 2、3号住居址出土土器



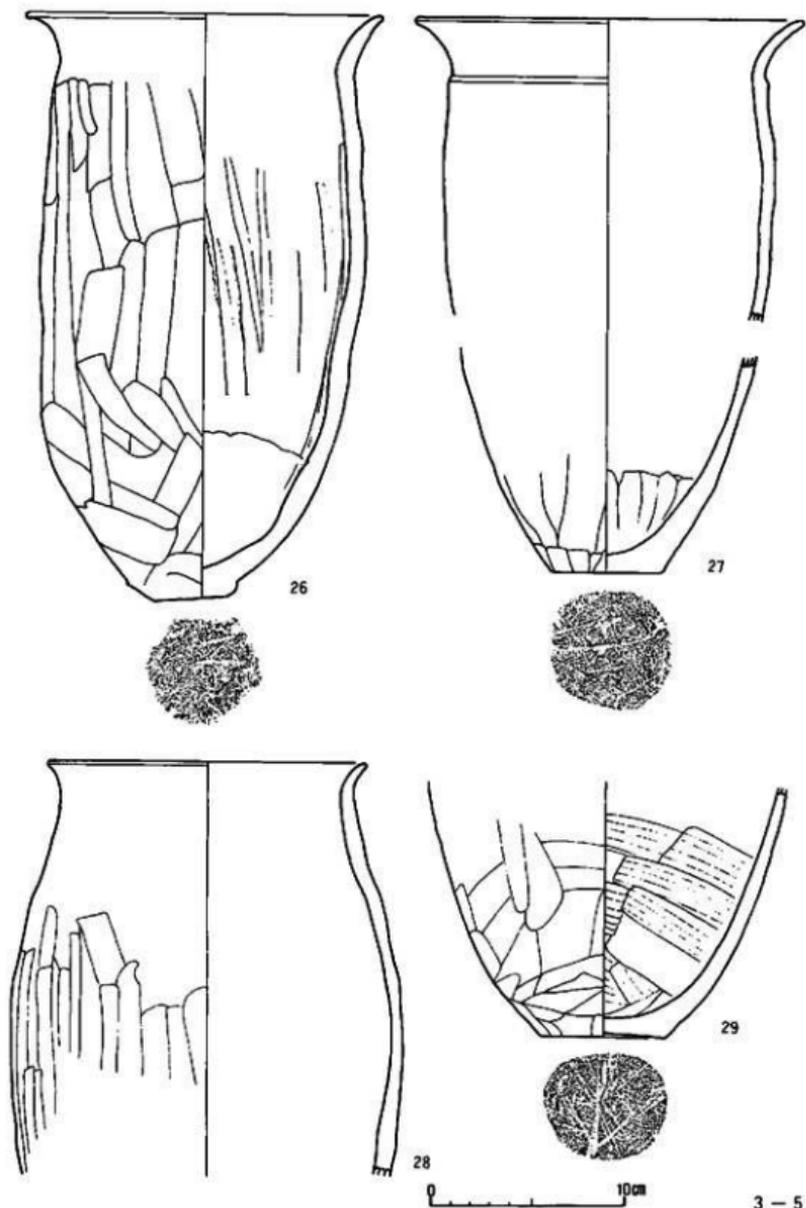
第 118 图 3 号住居址出土土器 (2)



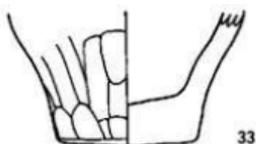
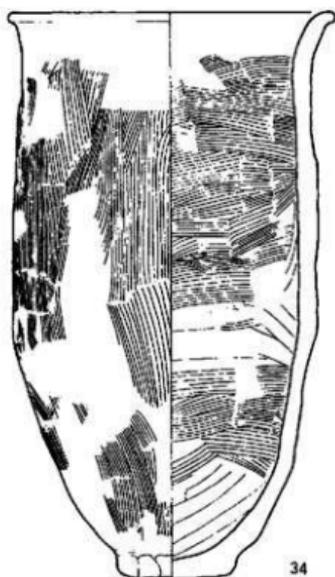
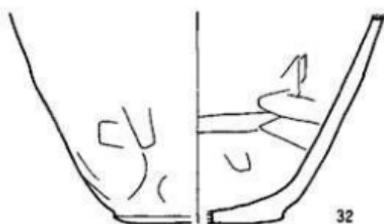
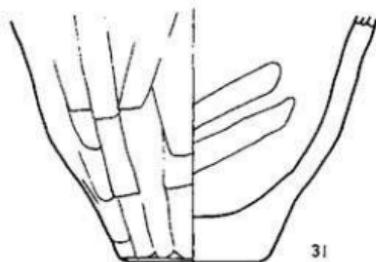
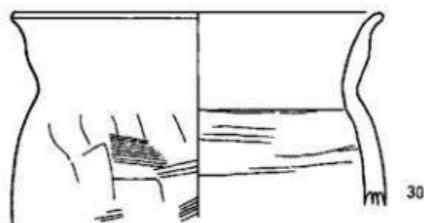
第 119 图 3号住居址出土土器 (3)



第 120 图 3号住居址出土土器 (4)

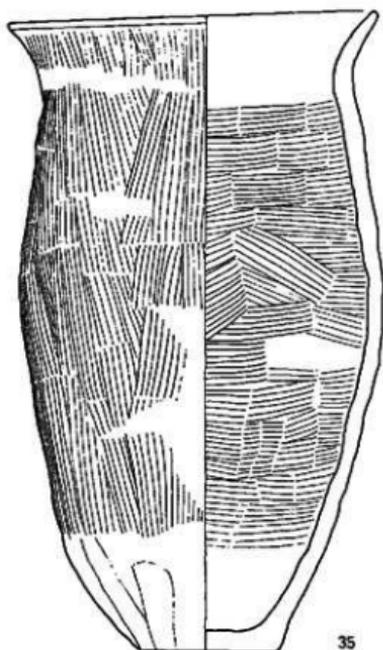


第 121 图 3 号住居址出土土器 (5)

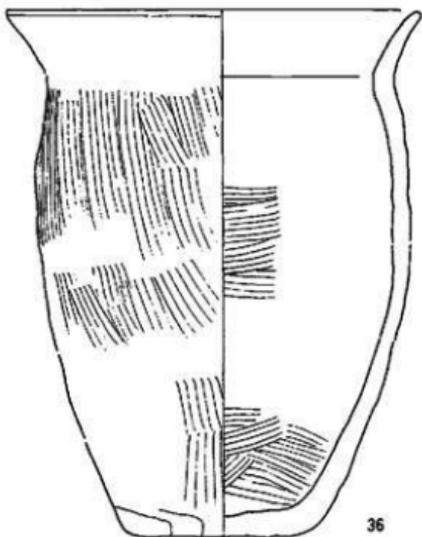


3-6

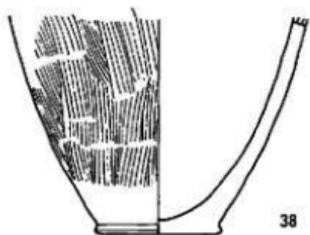
第122图 3号住居址出土土器(6)



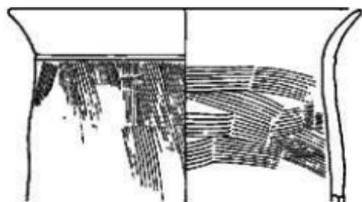
35



36



38

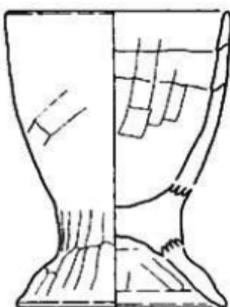
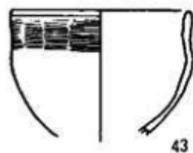
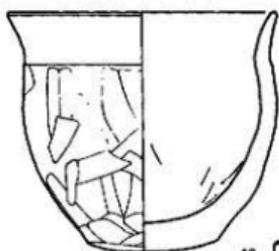
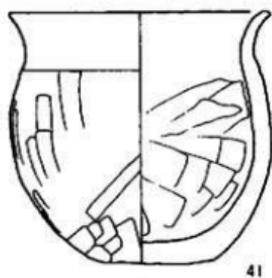
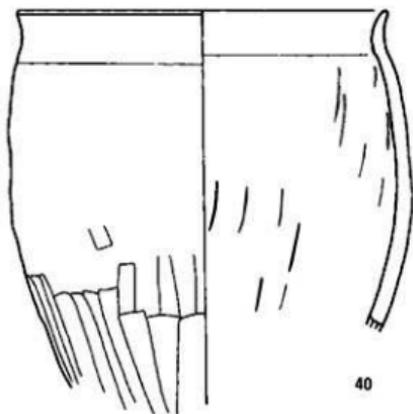
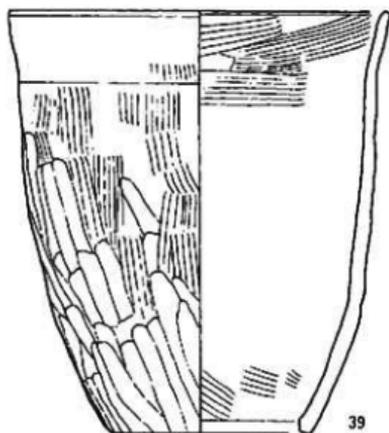


37



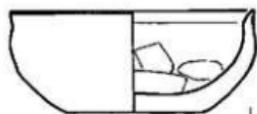
3-7

第 123 图 3号住居址出土土器 (7)



3-8

第 124 图 3 号住居址出土土器 (8)



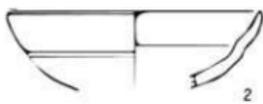
1



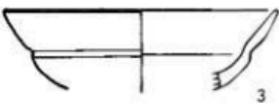
5



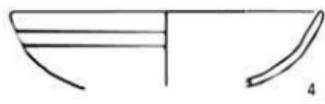
1



2



3



4



5

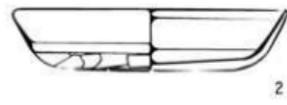


6

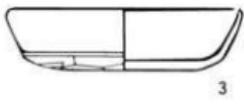
6



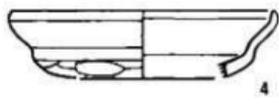
1



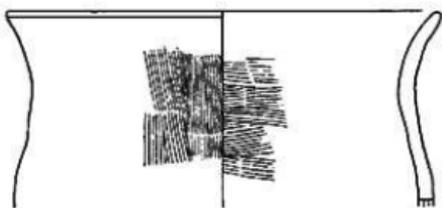
2



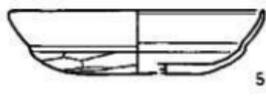
3



4



6

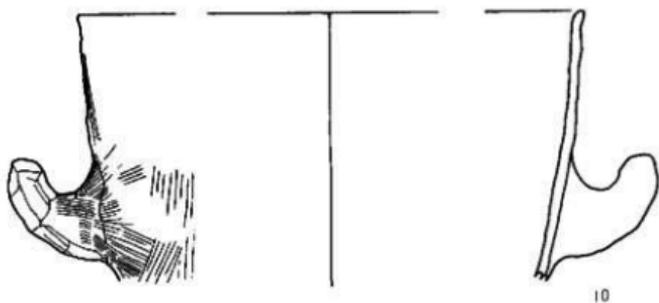
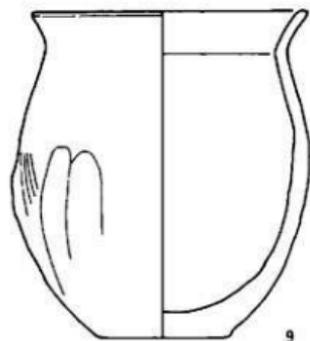


5



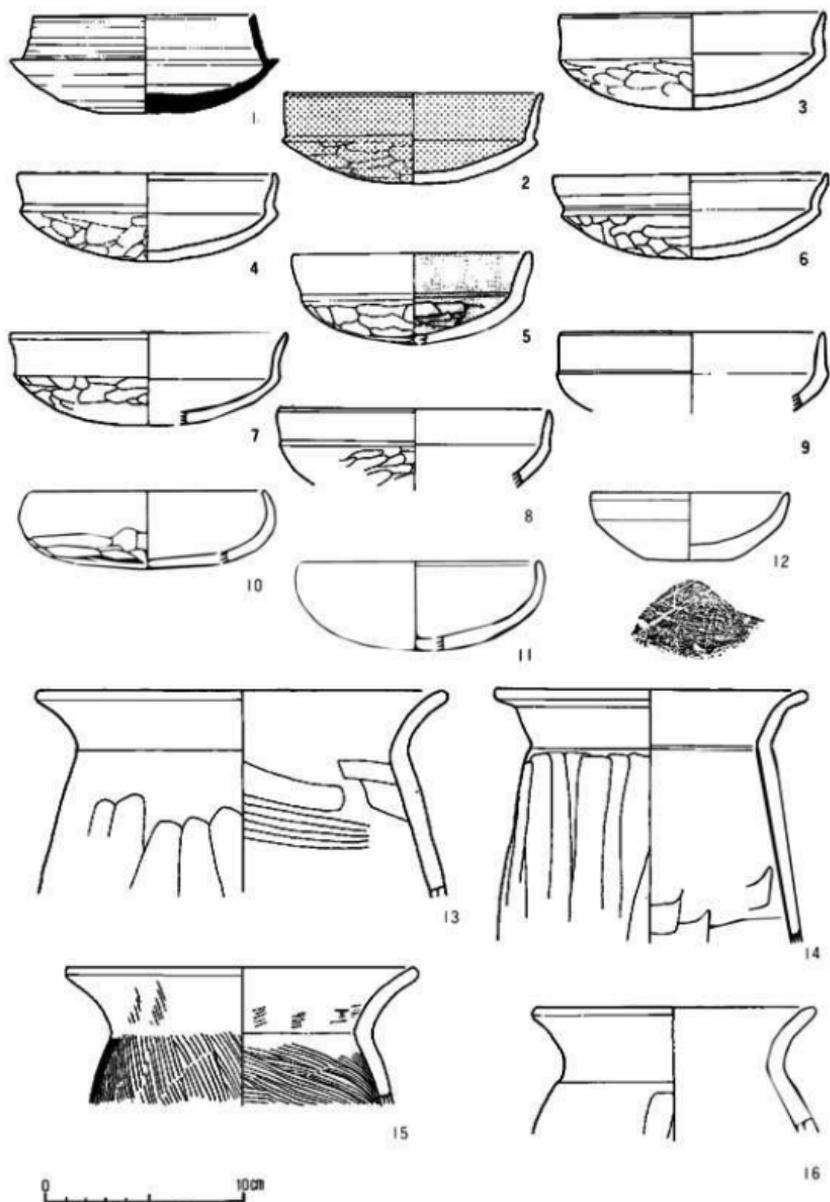
7-1

第125图 5、6、7号住居址出土土器



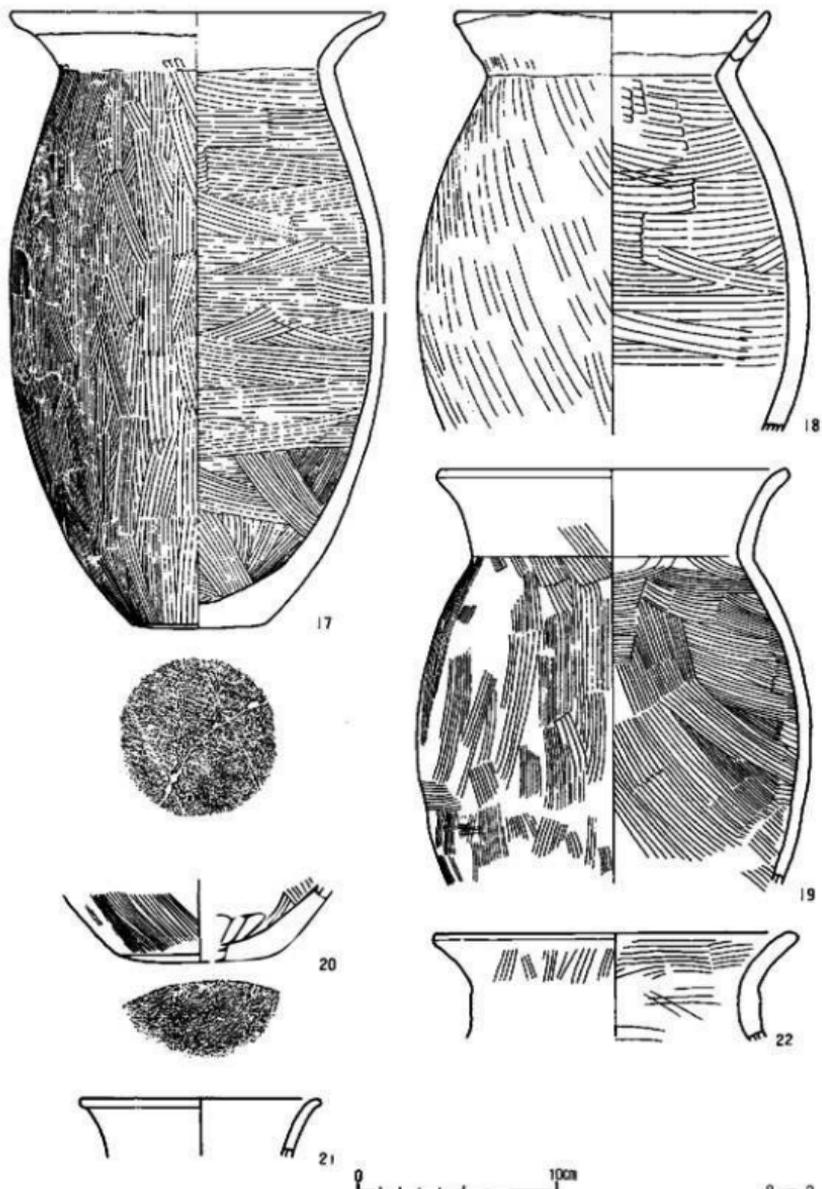
7-2

第 126 图 7 号住居址出土土器 (2)



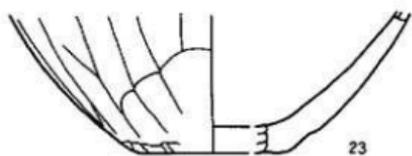
8-1

第127图 8号住居址出土土器(1)

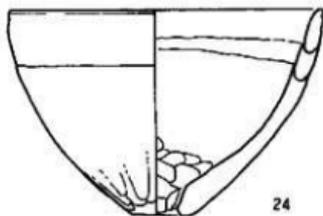


8-2

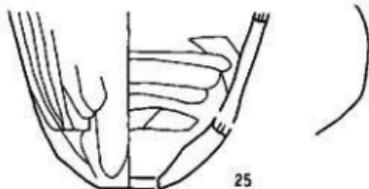
第128图 8号住居址出土土器(2)



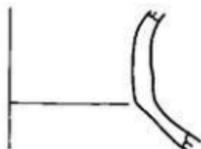
23



24



25



26

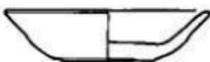


27

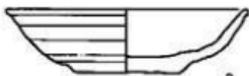
8-3



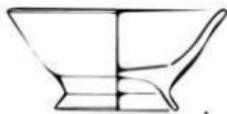
1



2



3

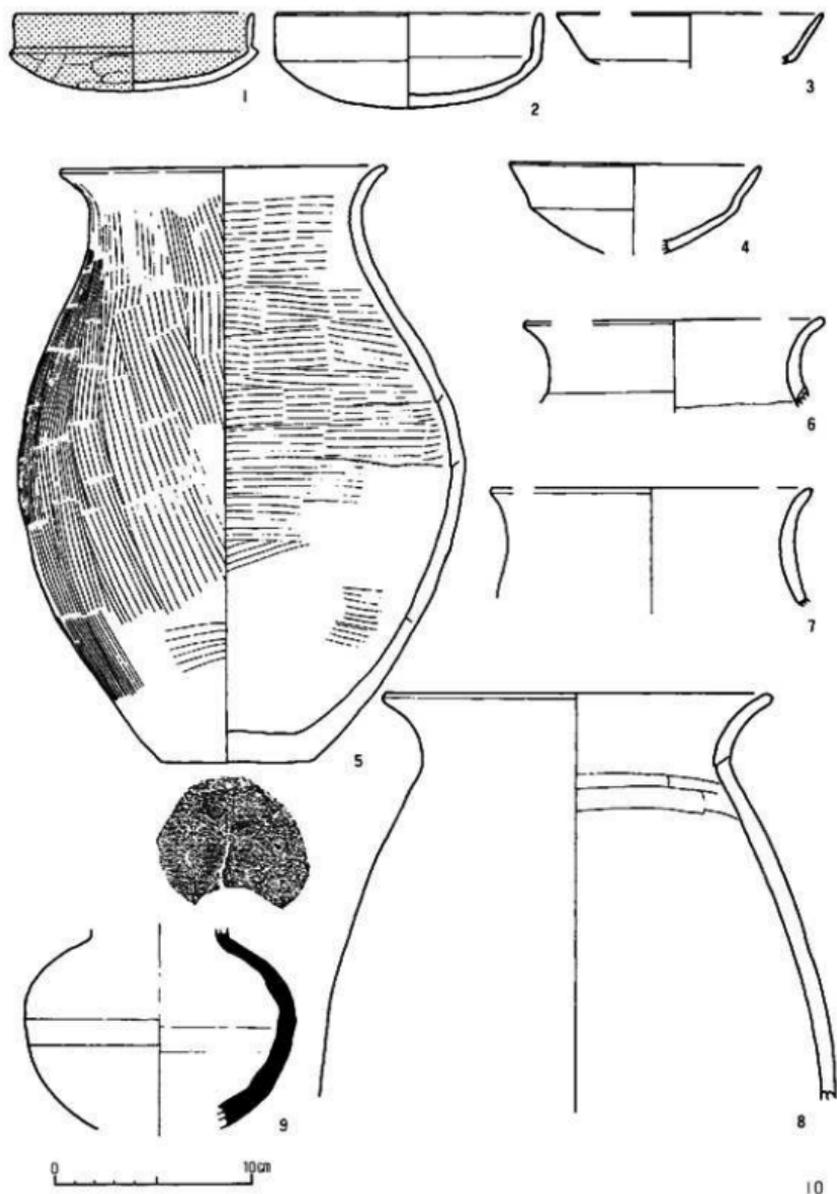


4

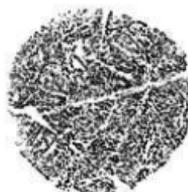
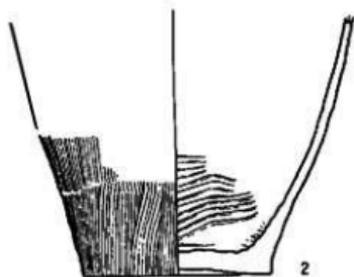
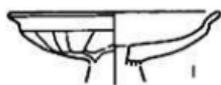


9

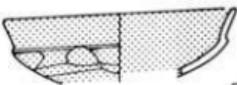
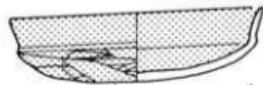
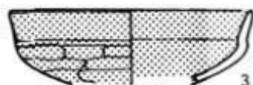
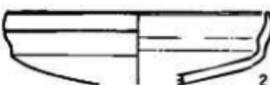
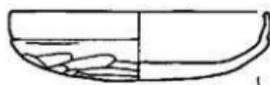
第129图 8、9号住居址出土土器



第 130 图 10号住居址出土土器



12



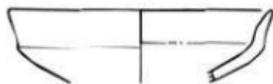
4

5

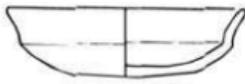
6



9



10



11

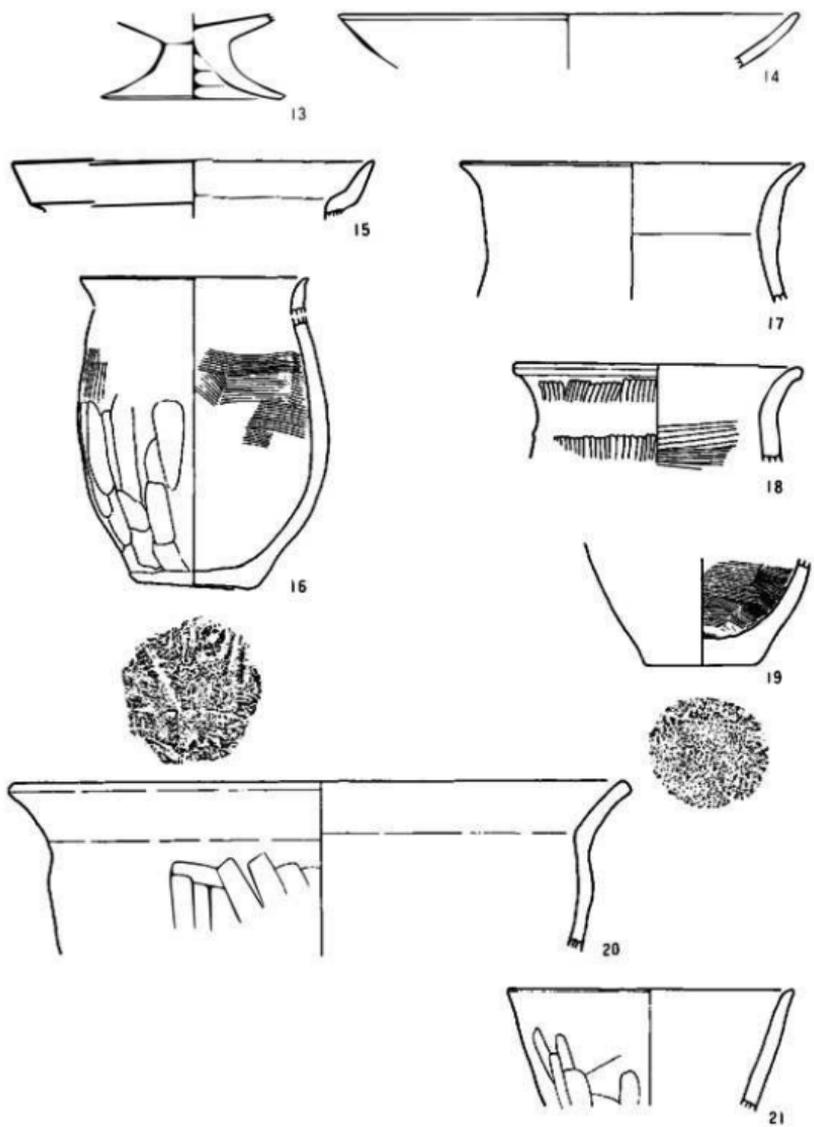


12



13-1

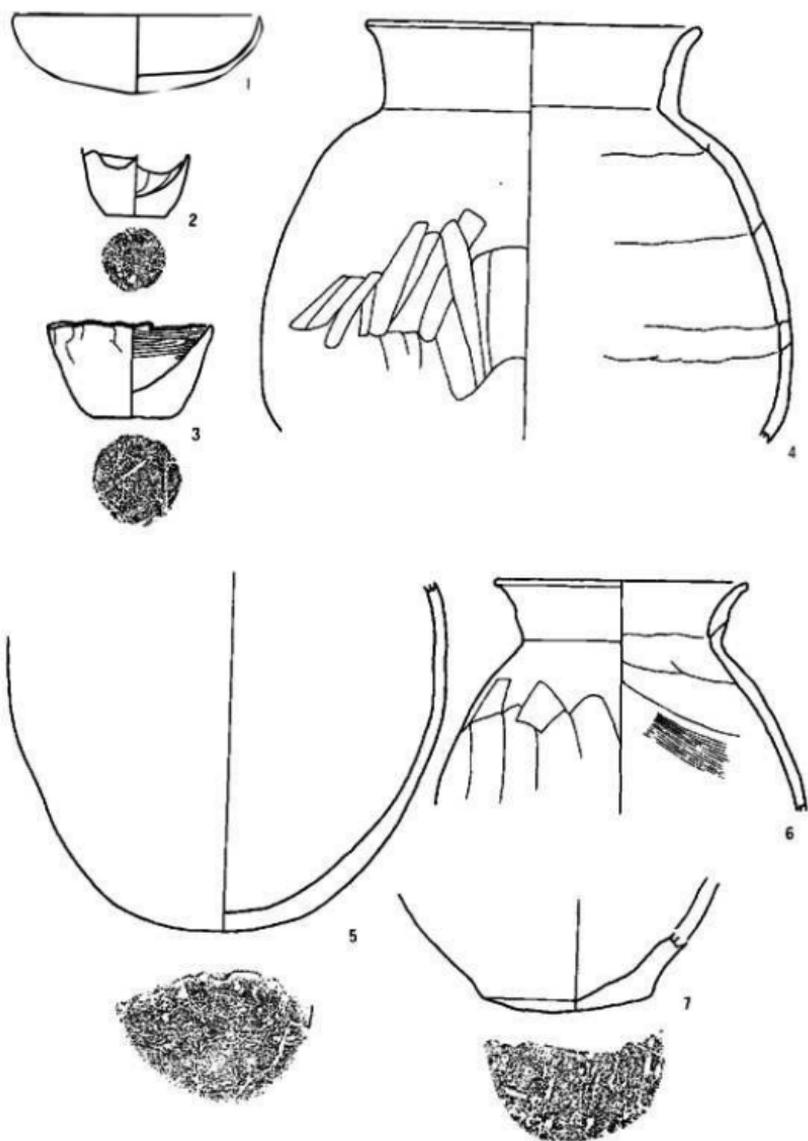
第 131 图 12、13号住居址出土土器



0 10 cm

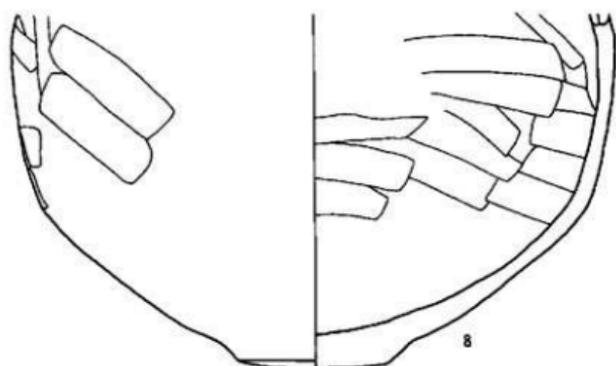
13-2

第132图 13号住居址出土土器(2)



14-1

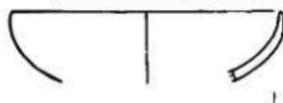
第 133 图 14号住居址出土土器 (1)



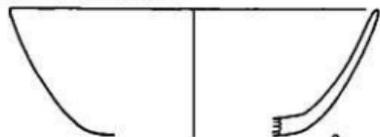
8



14-2



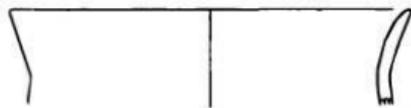
1



2



3



4



5

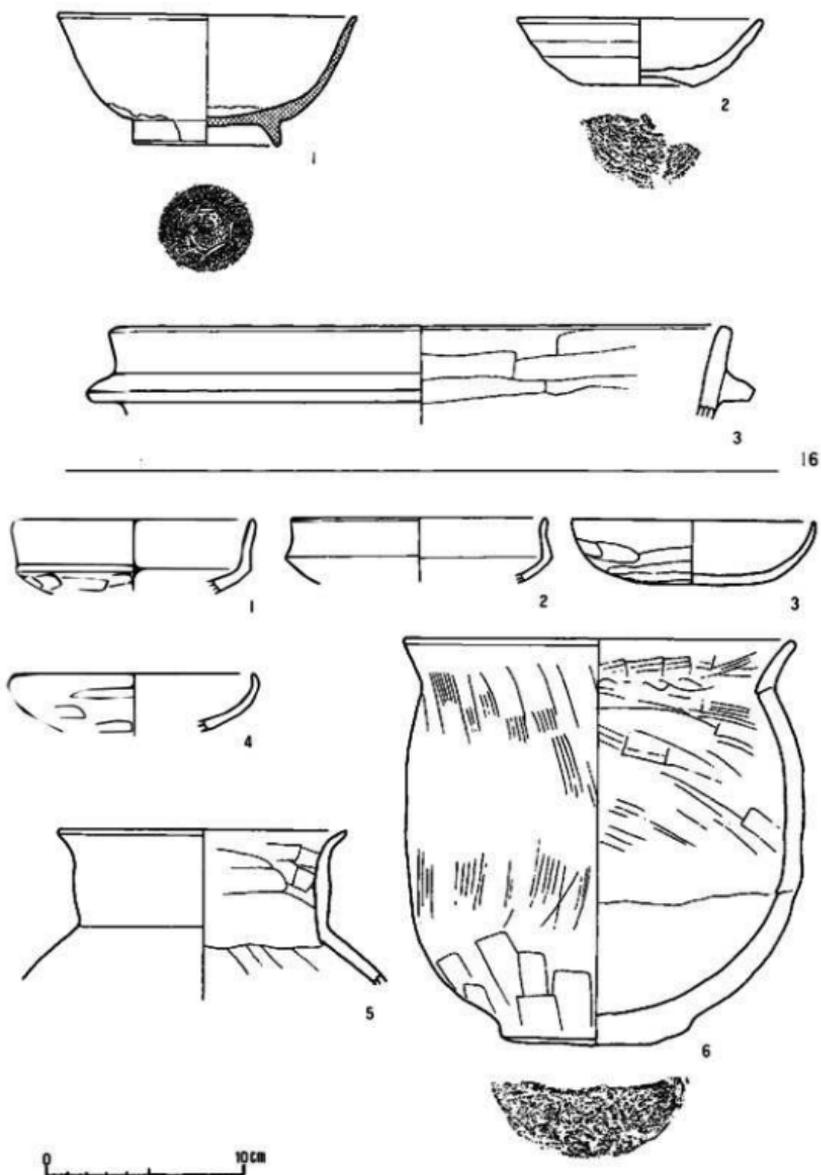


6

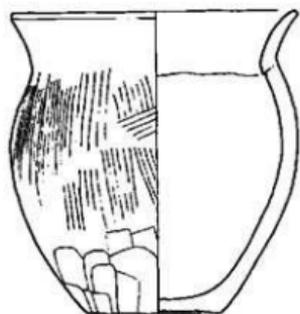


15

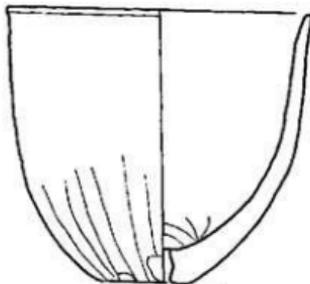
第 134 图 14、15号住居址出土土器



第 135 图 16、17 号住居址出土土器



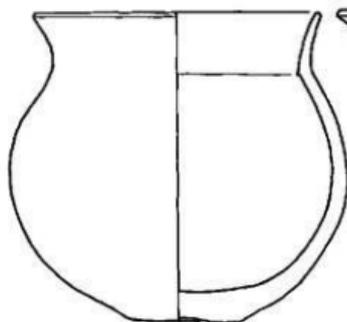
7



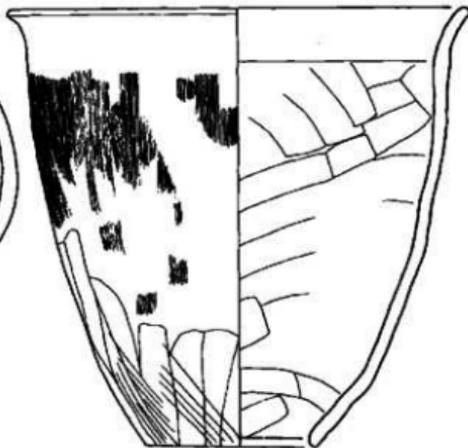
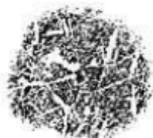
8



17-2



1

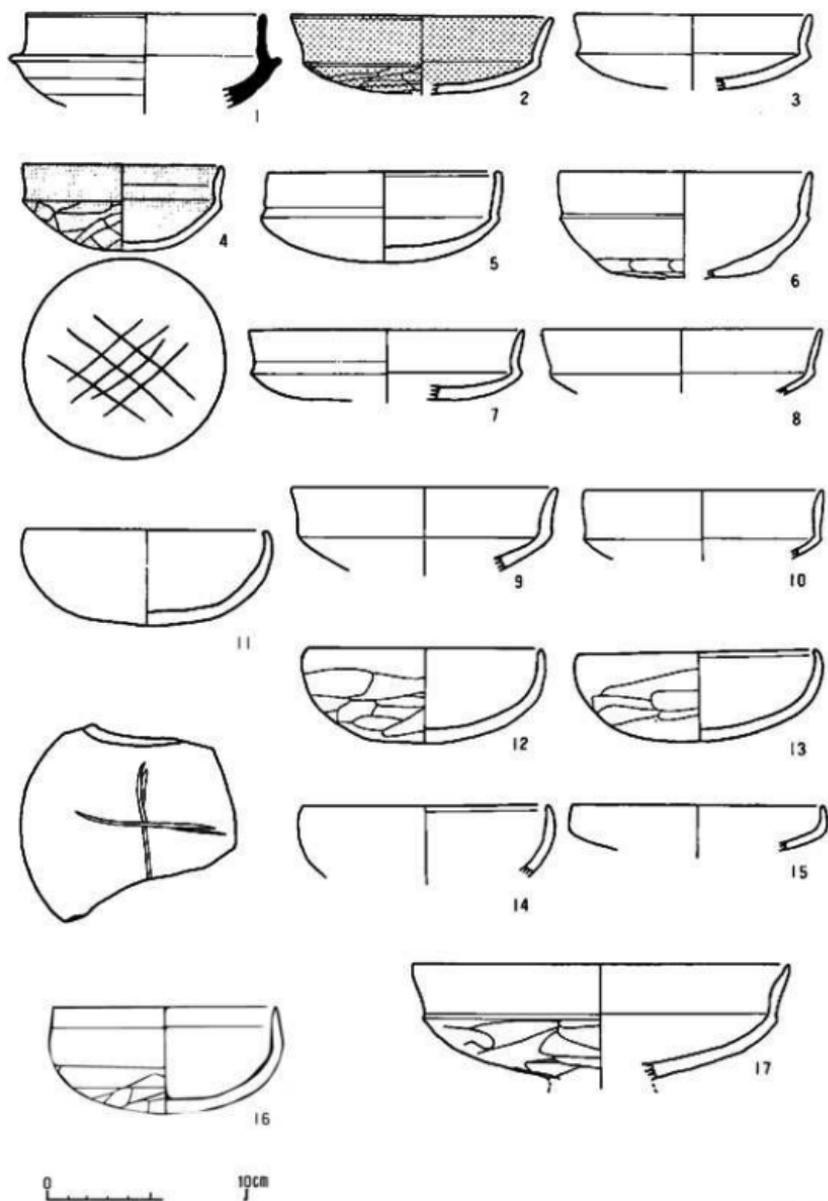


2



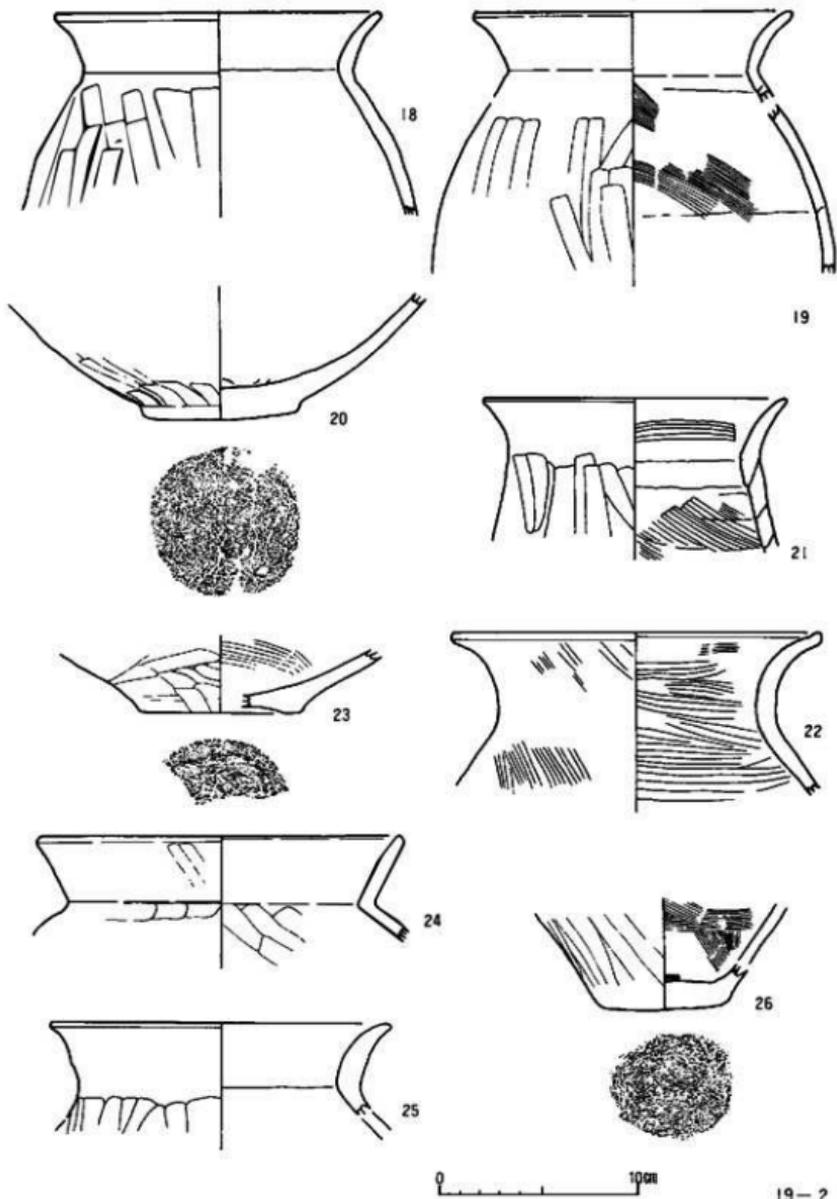
18

第136图 17、18号住居址出土土器



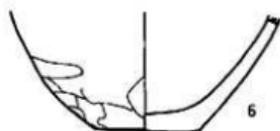
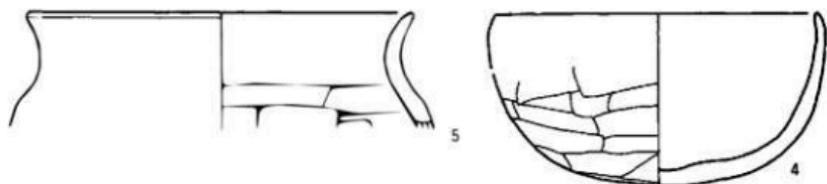
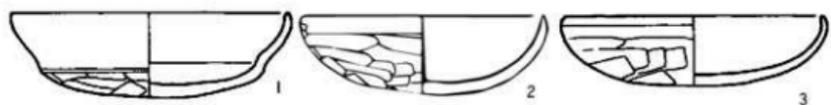
19-1

第 137 图 19号住居址出土土器 (1)

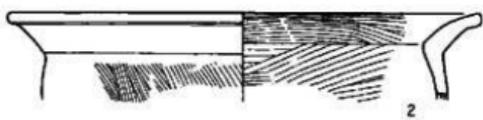


19-2

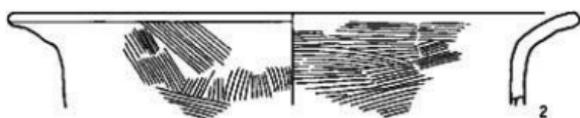
第138图 19号住居址出土土器(2)



20

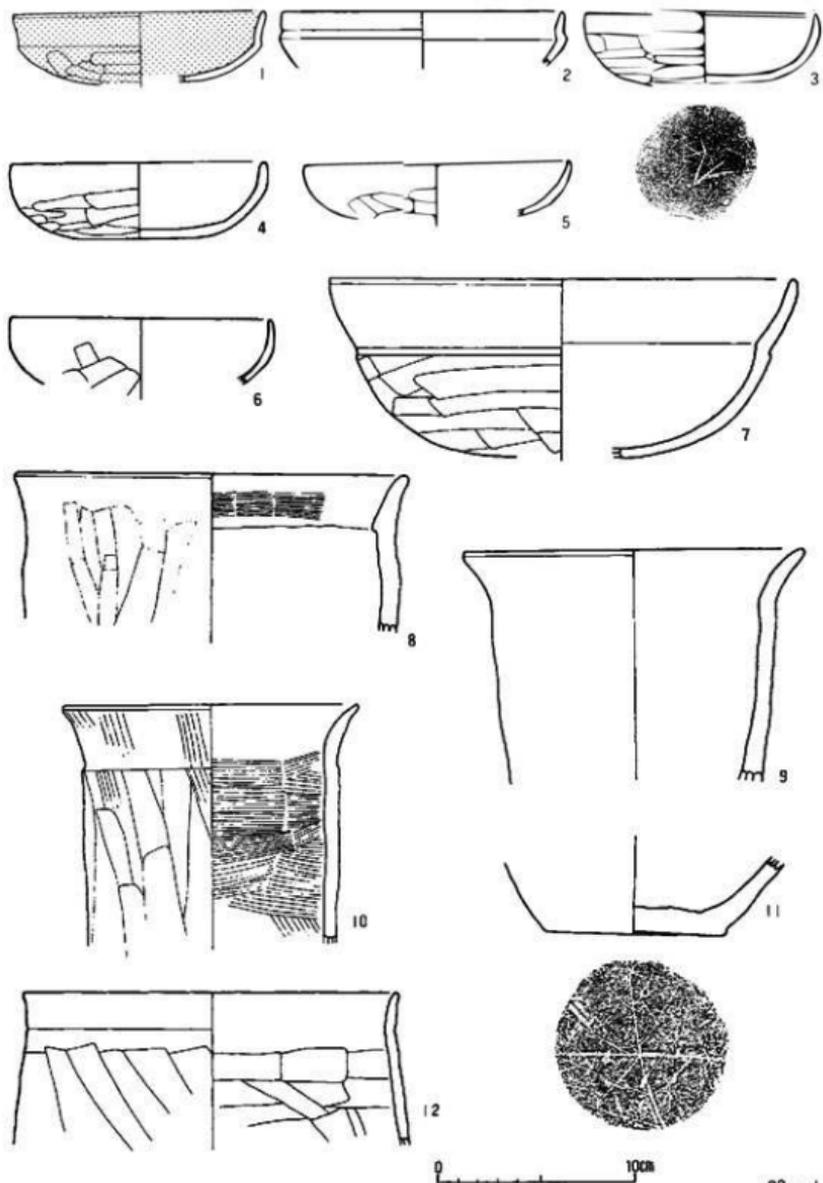


21



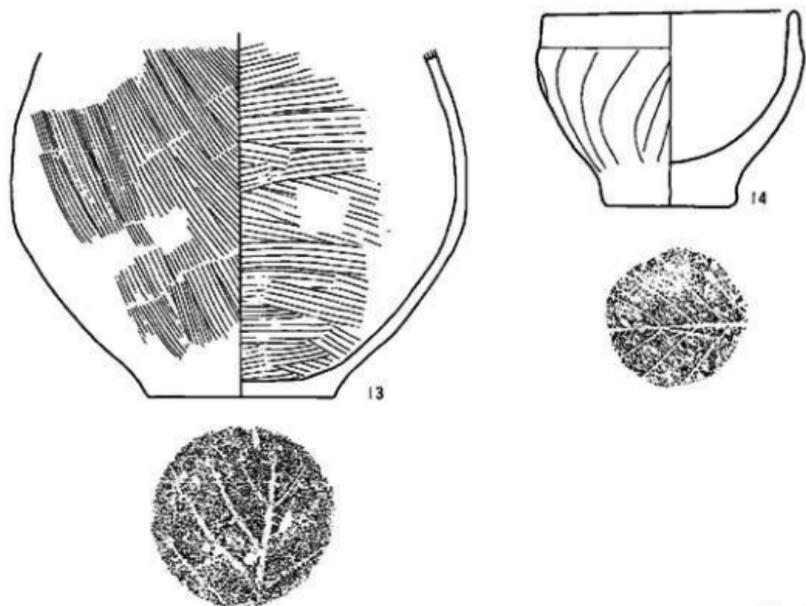
22

第139图 20、21、22号住居址出土土器

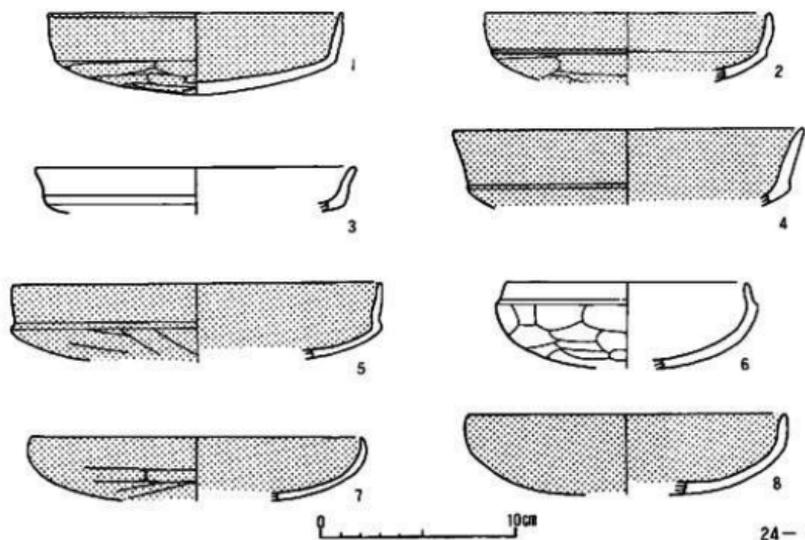


23-1

第140图 23号住居址出土土器(1)

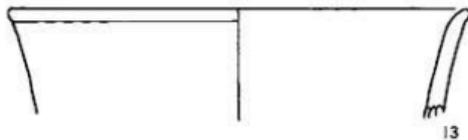
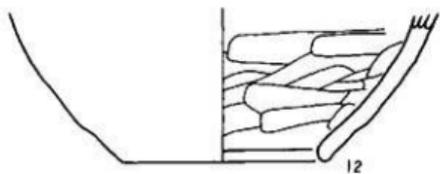
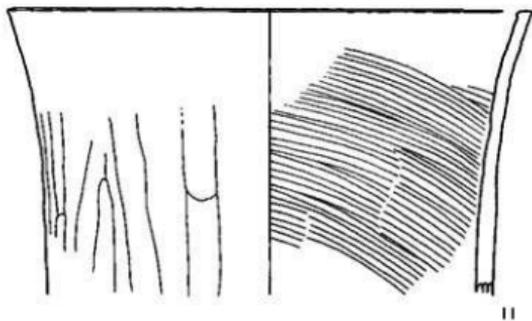
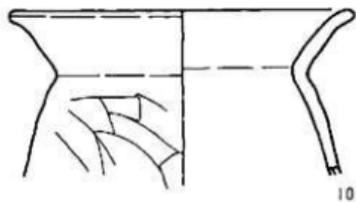
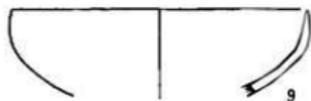


23-2



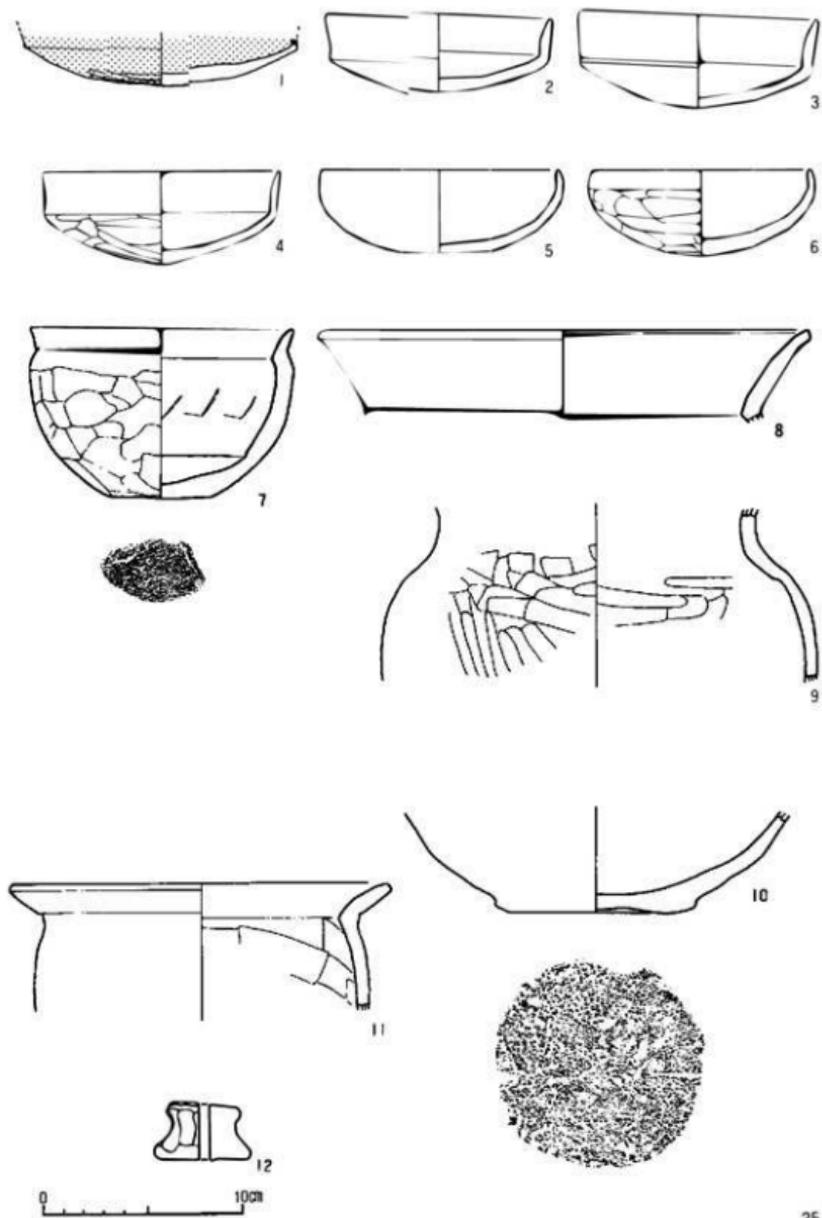
24-1

第 141 图 23、24号住居址出土土器

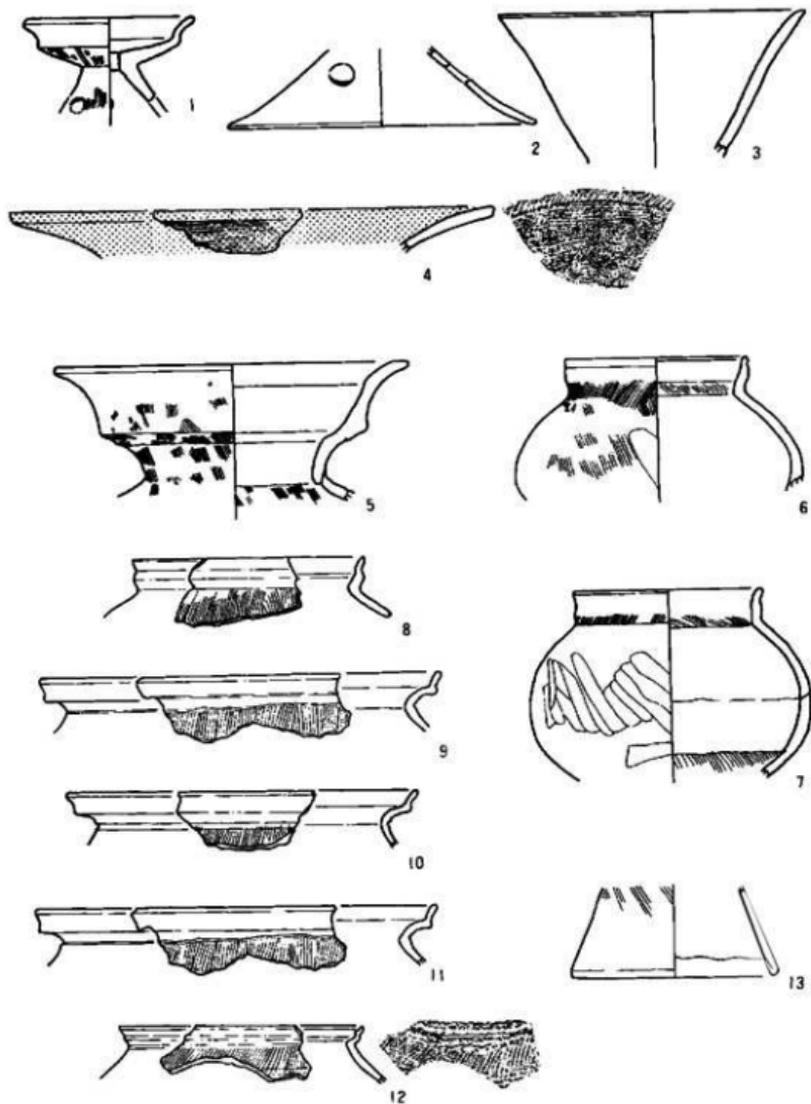


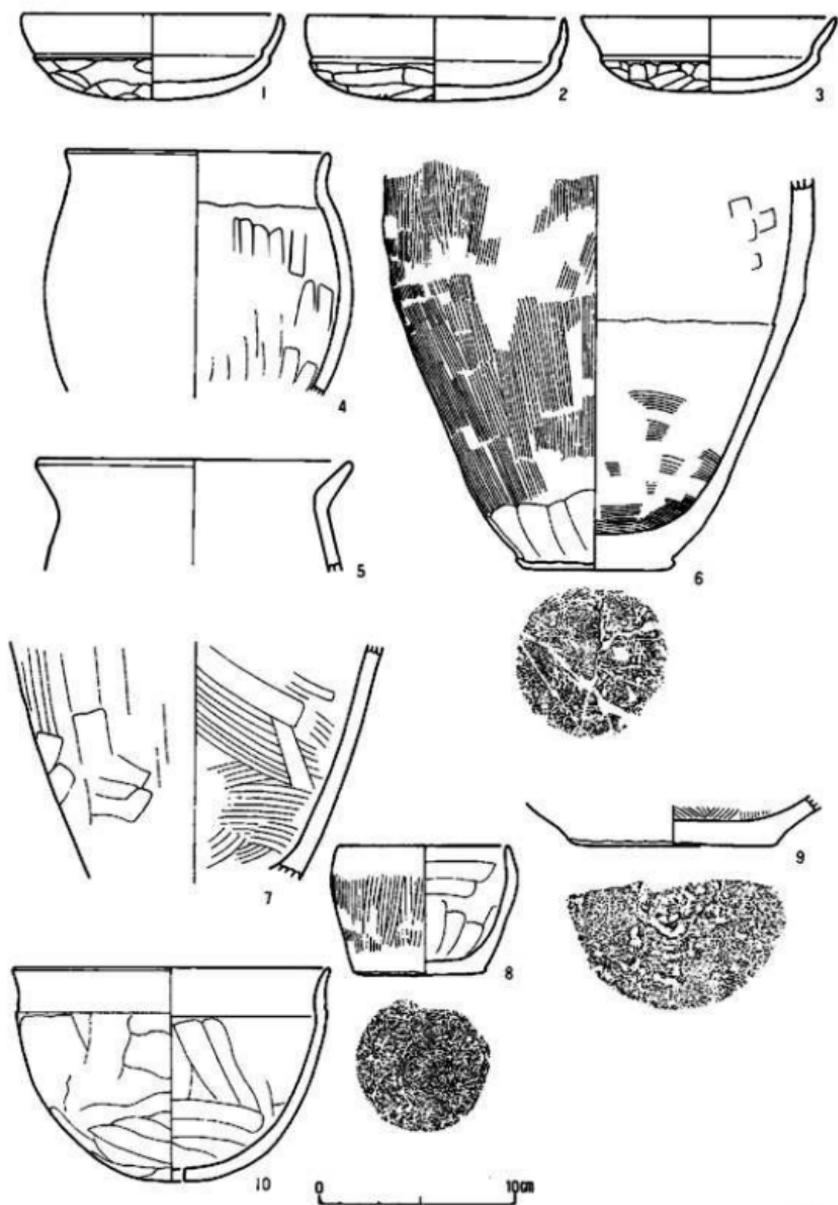
24-2

第 142 图 24号住居址出土土器 (2)

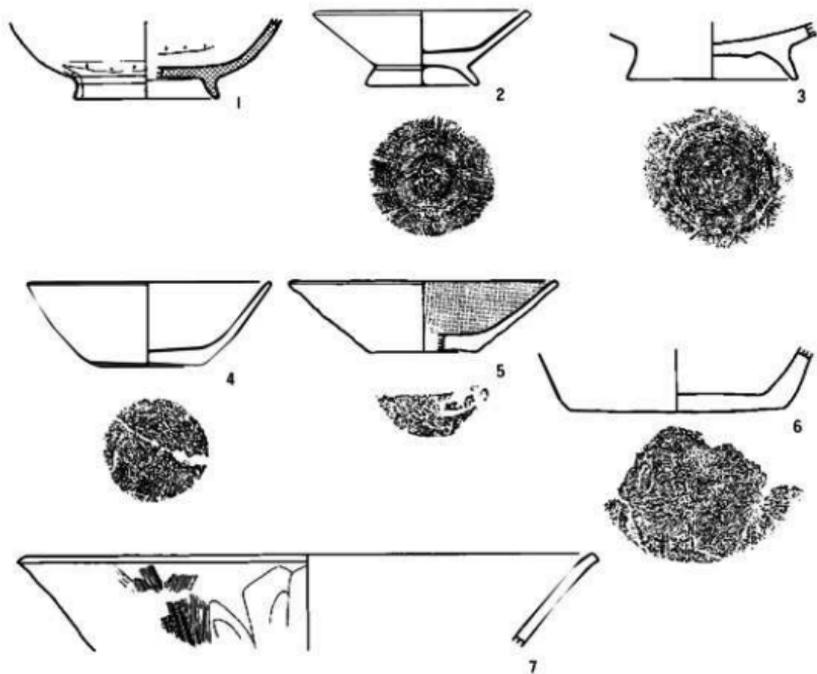


第143图 25号住居址出土土器





第145图 27号住居址出土土器

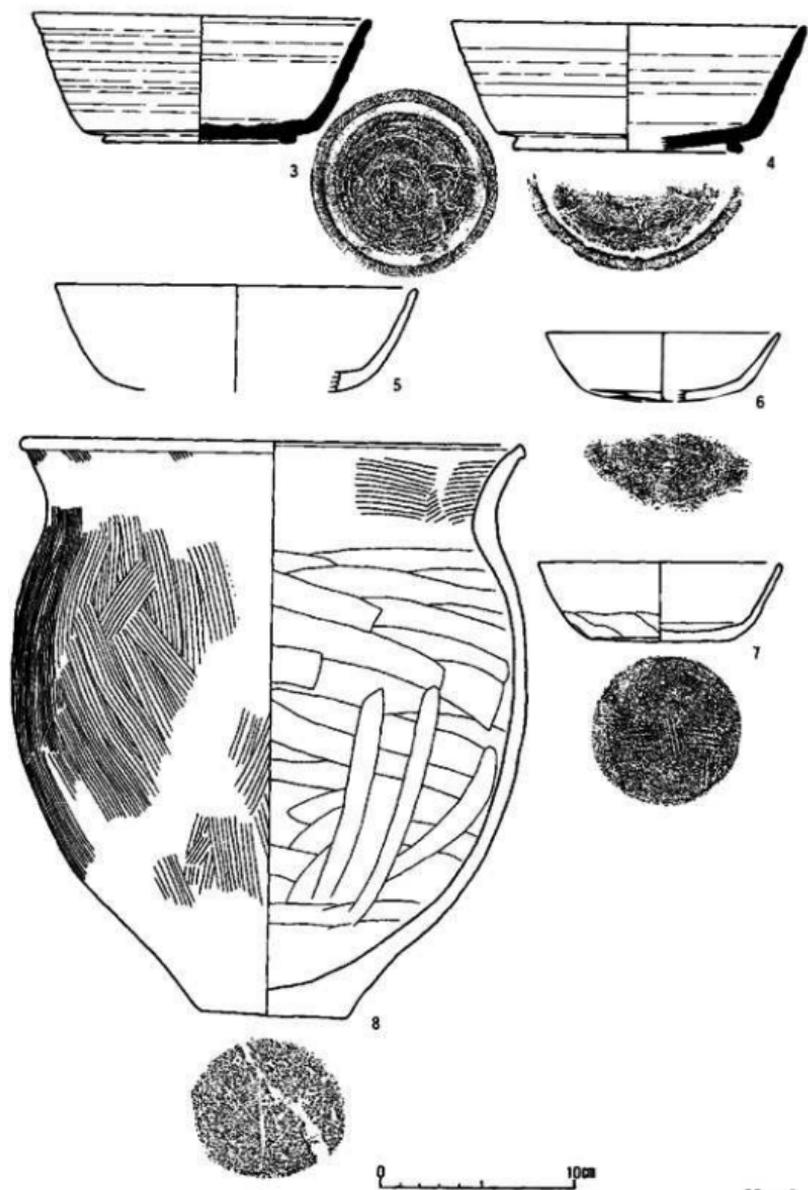


28



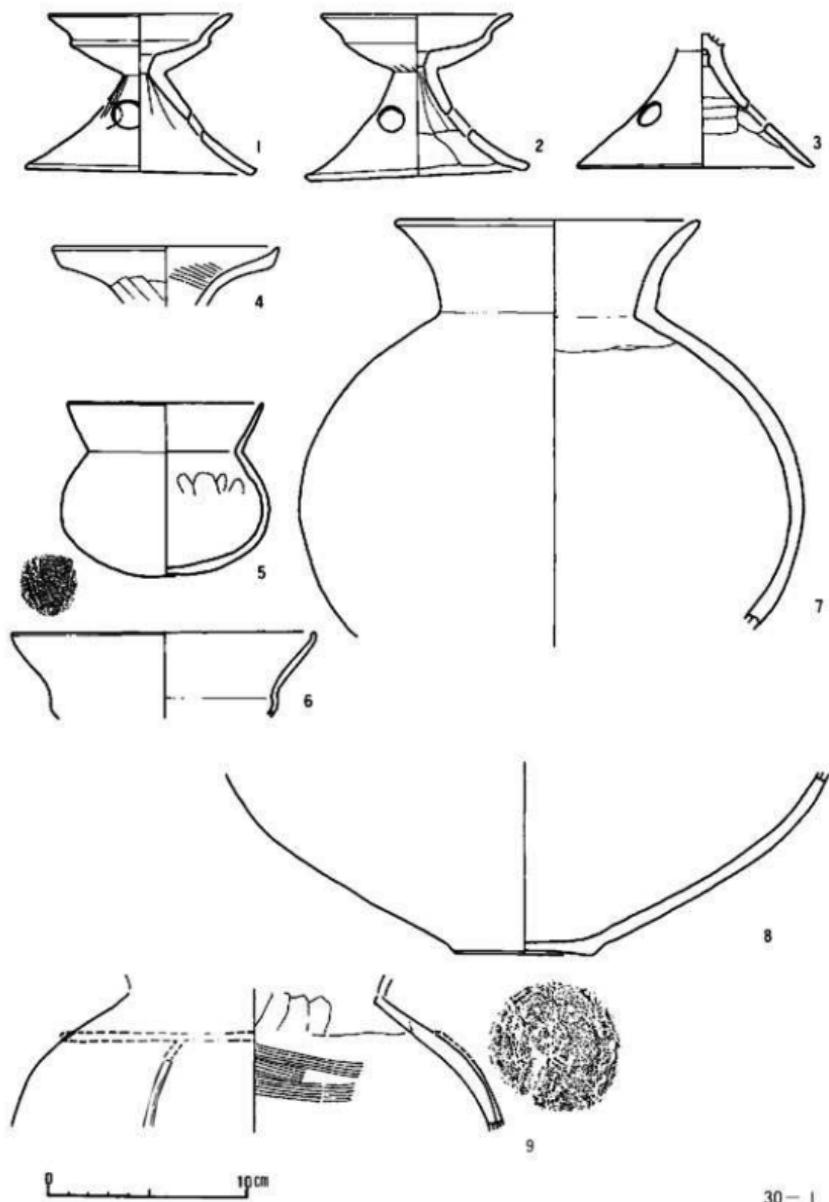
29-1

第 146 图 28、29号住居址出土土器

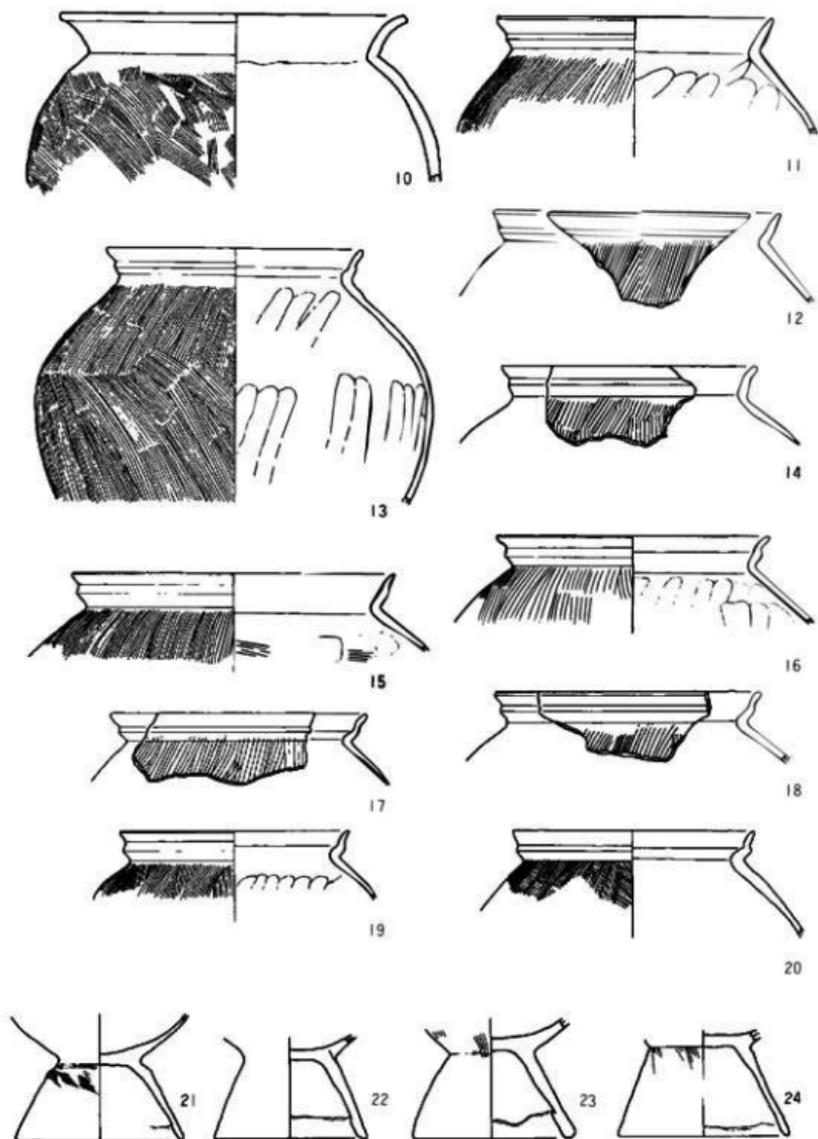


第 147 图 29号住居址出土土器 (2)

29-2

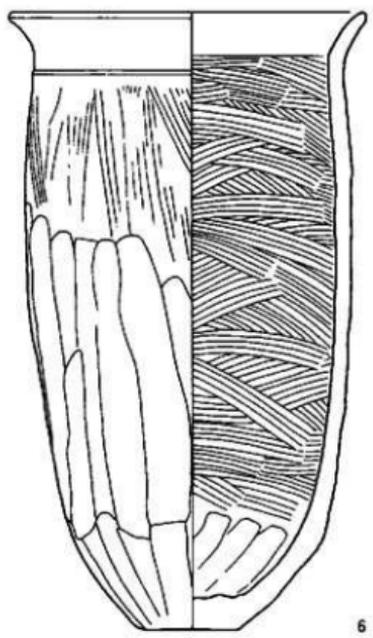
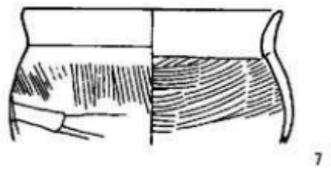
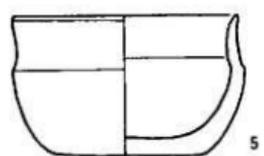
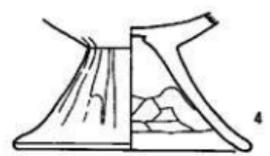
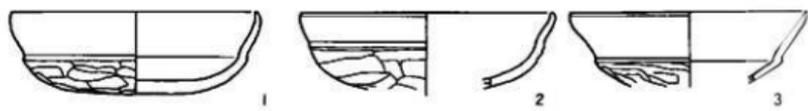
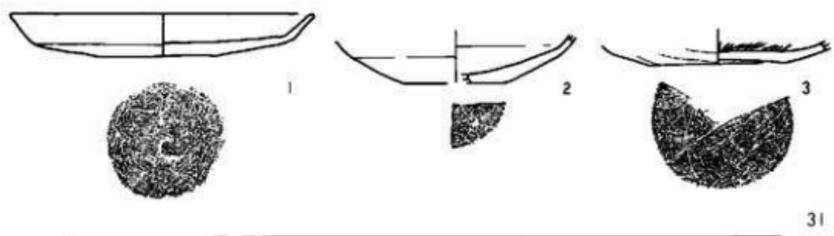


第 148 图 30号住居址出土土器 (1)



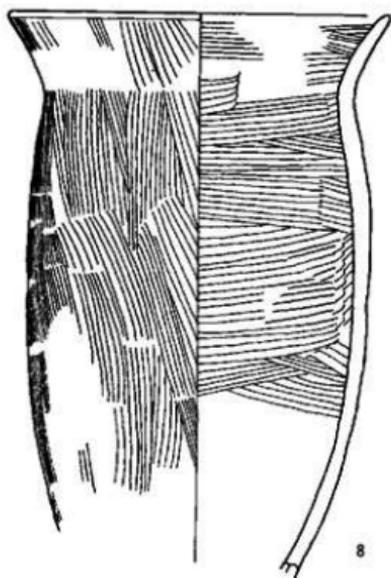
30-2

第149图 30号住居址出土土器(2)



32-1

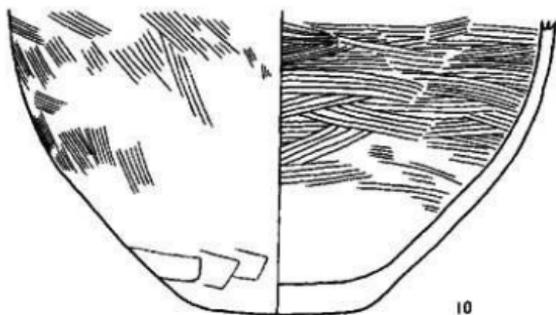
第150图 31、32号住居址出土土器



8



9

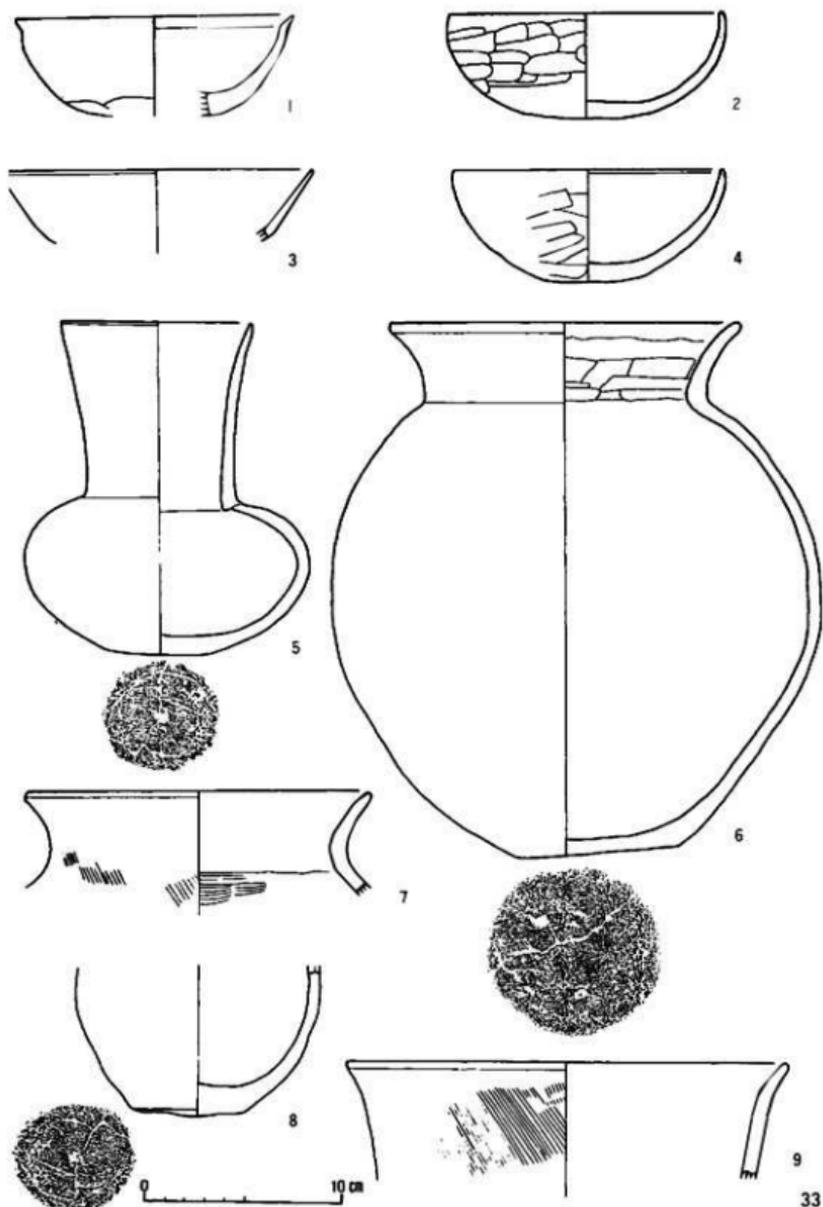


10

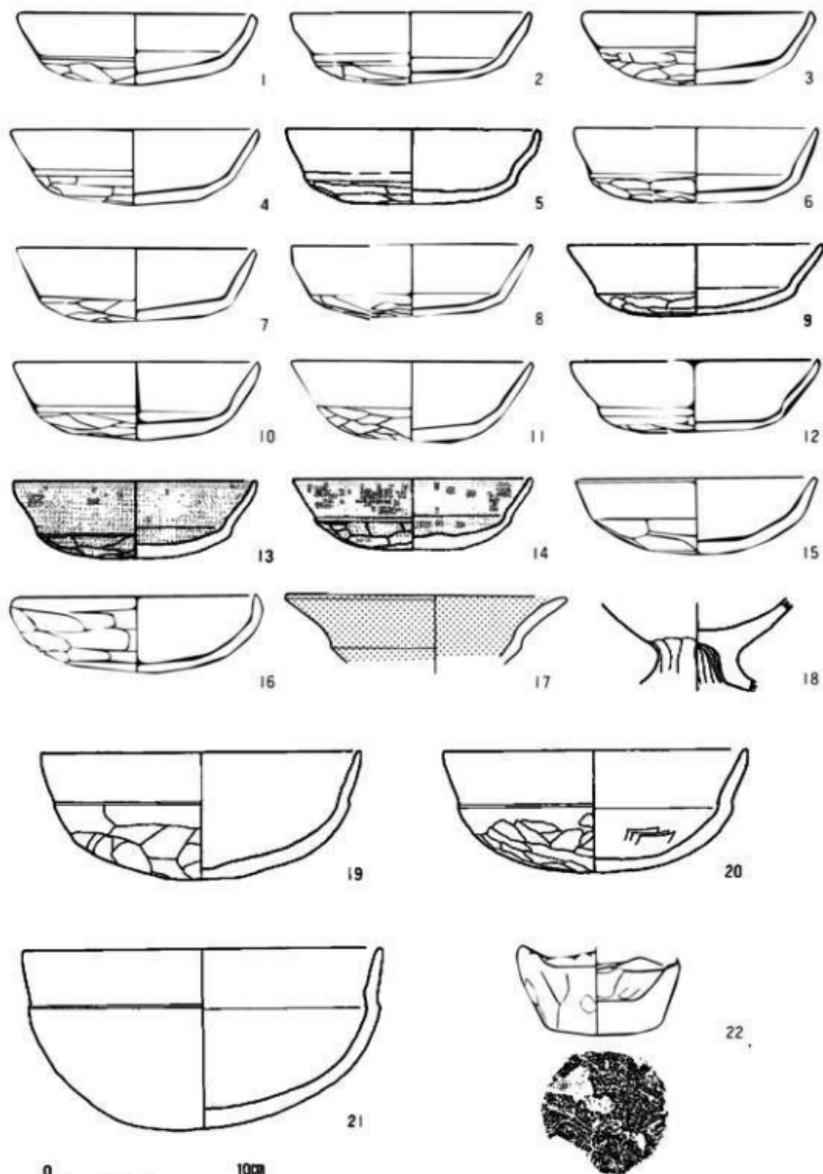


第151图 32号住居址出土土器(2)

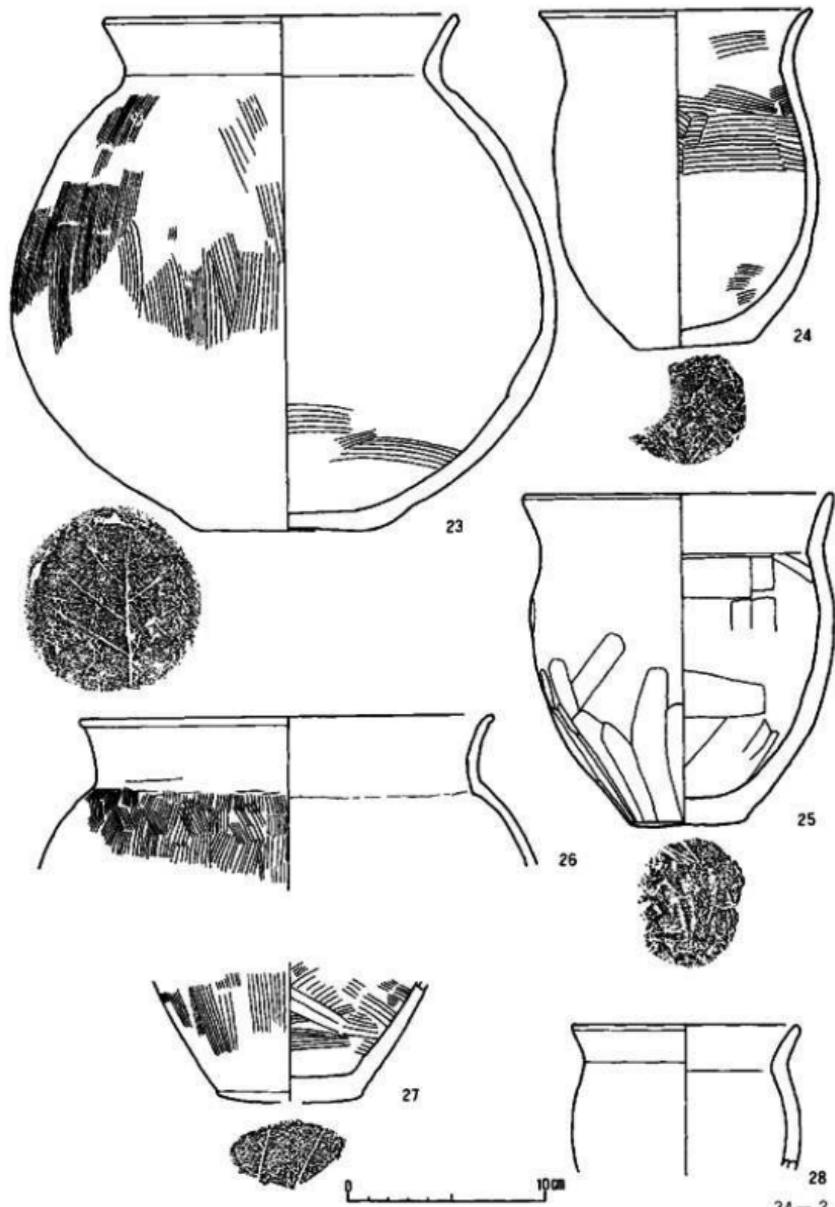
32-2



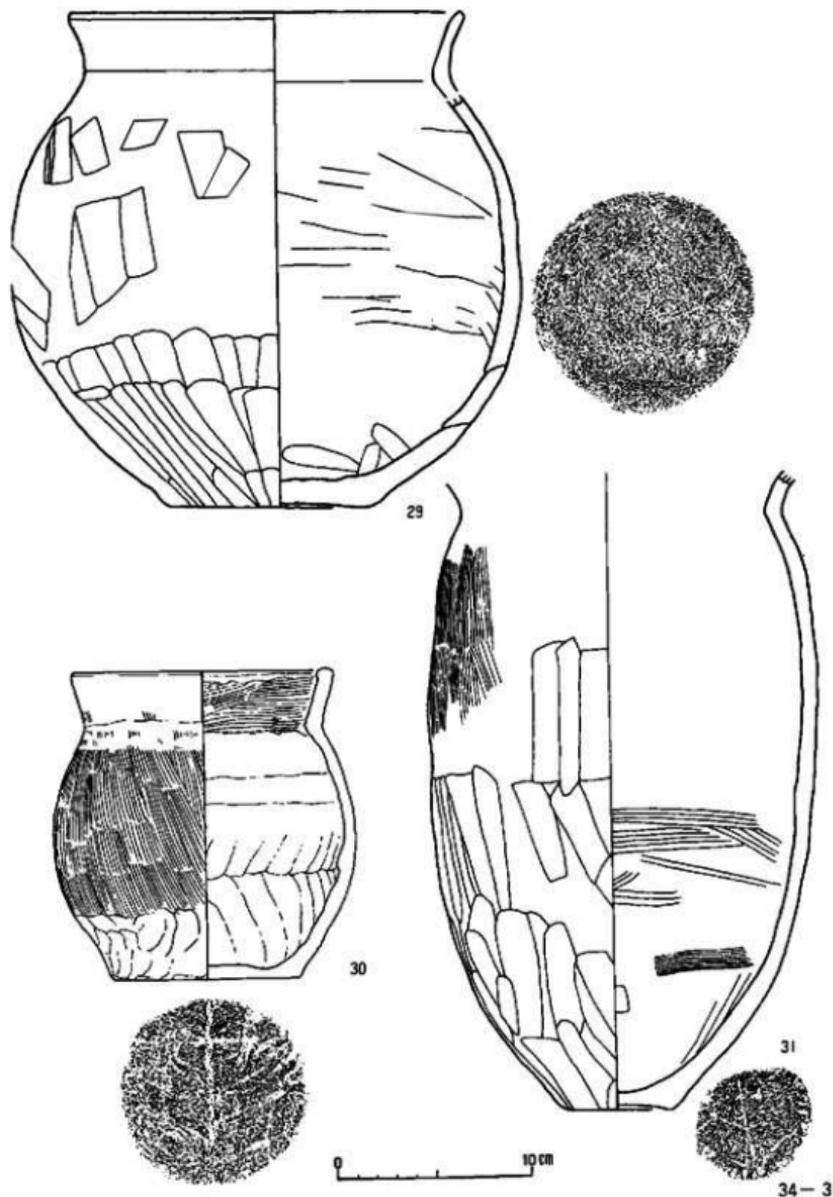
第 152 图 33号住居址出土土器



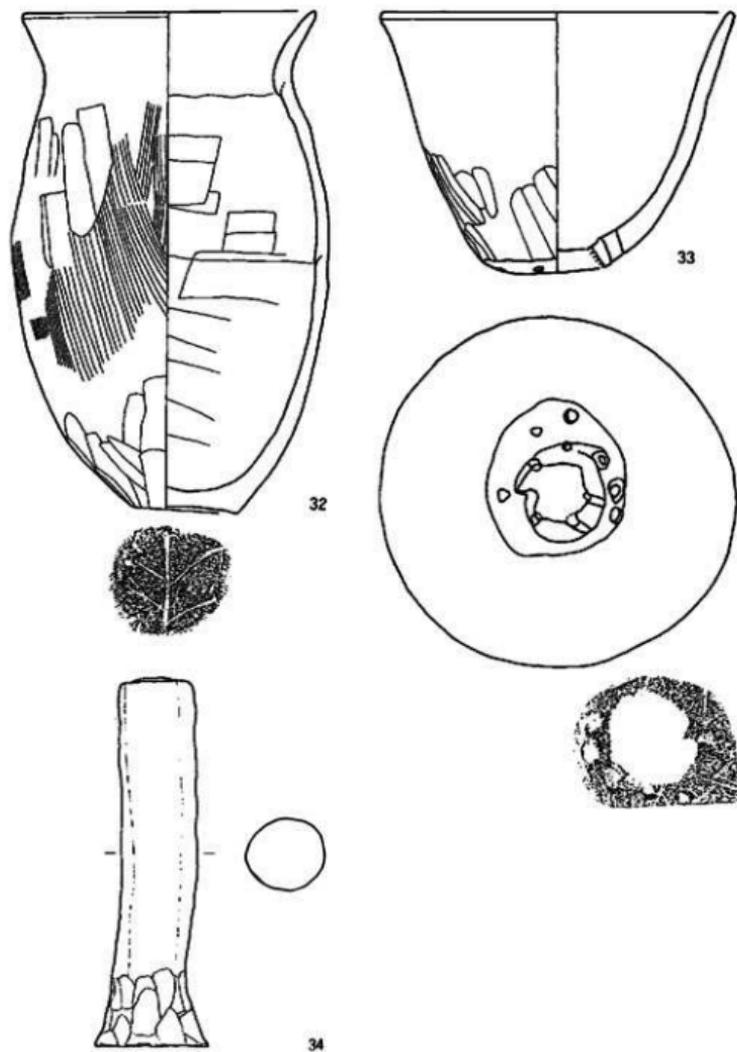
第 153 图 34号住居址出土土器 (1)



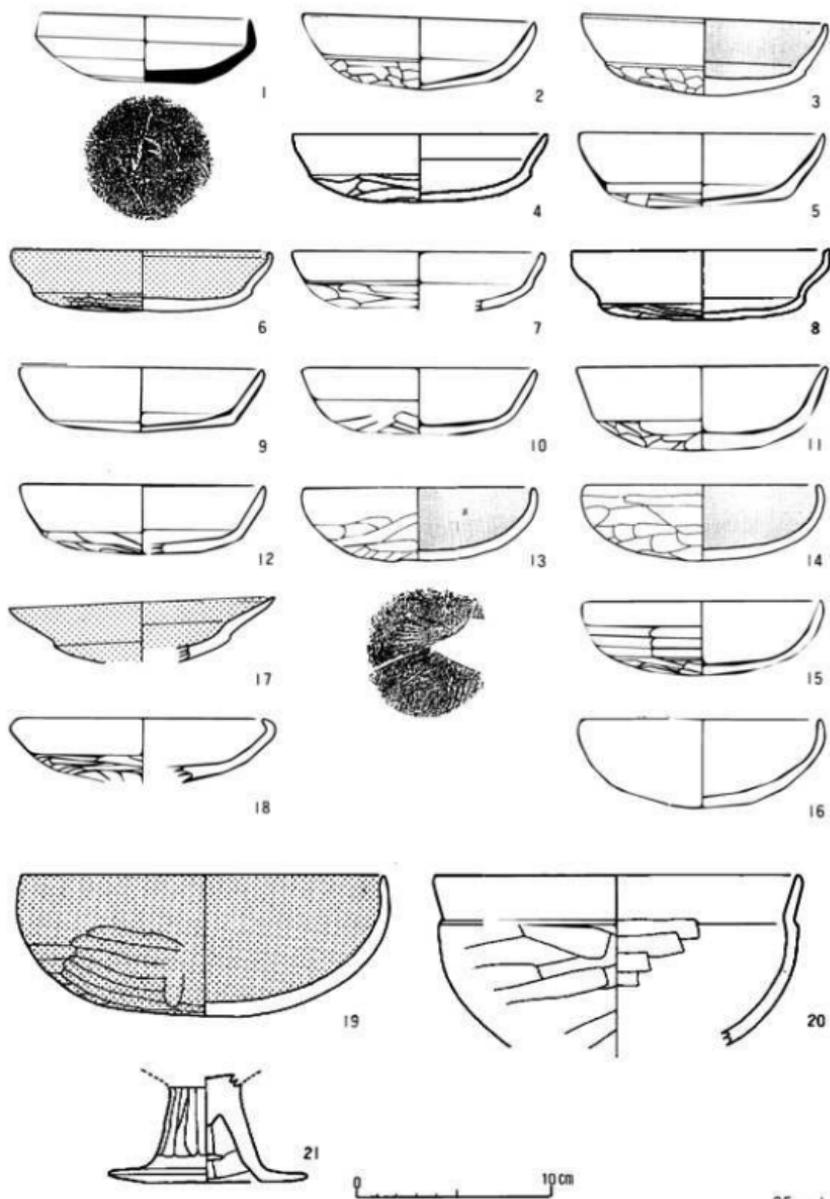
第 154 图 34号住居址出土土器 (2)



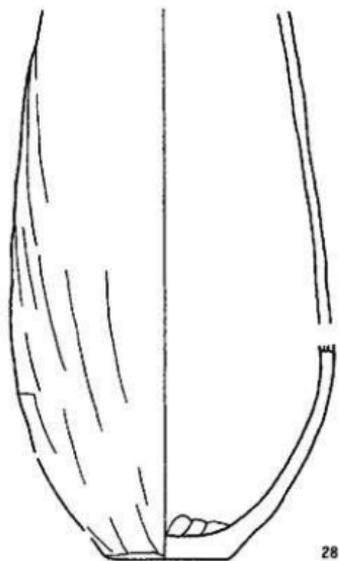
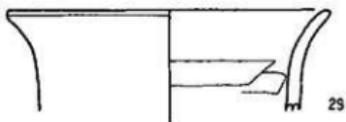
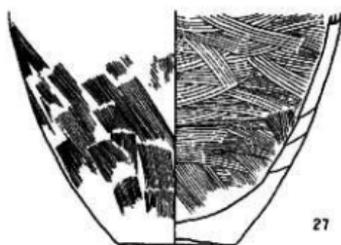
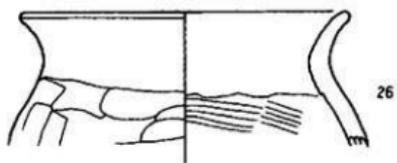
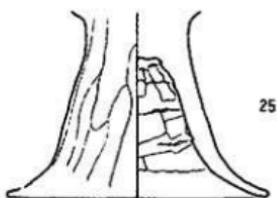
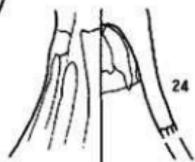
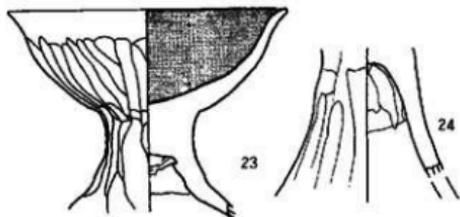
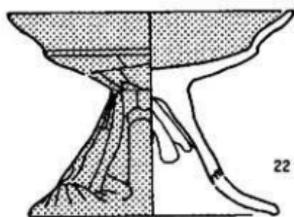
第 155 图 34号住居址出土土器 (3)



第156图 34号住居址出土土器 (4)

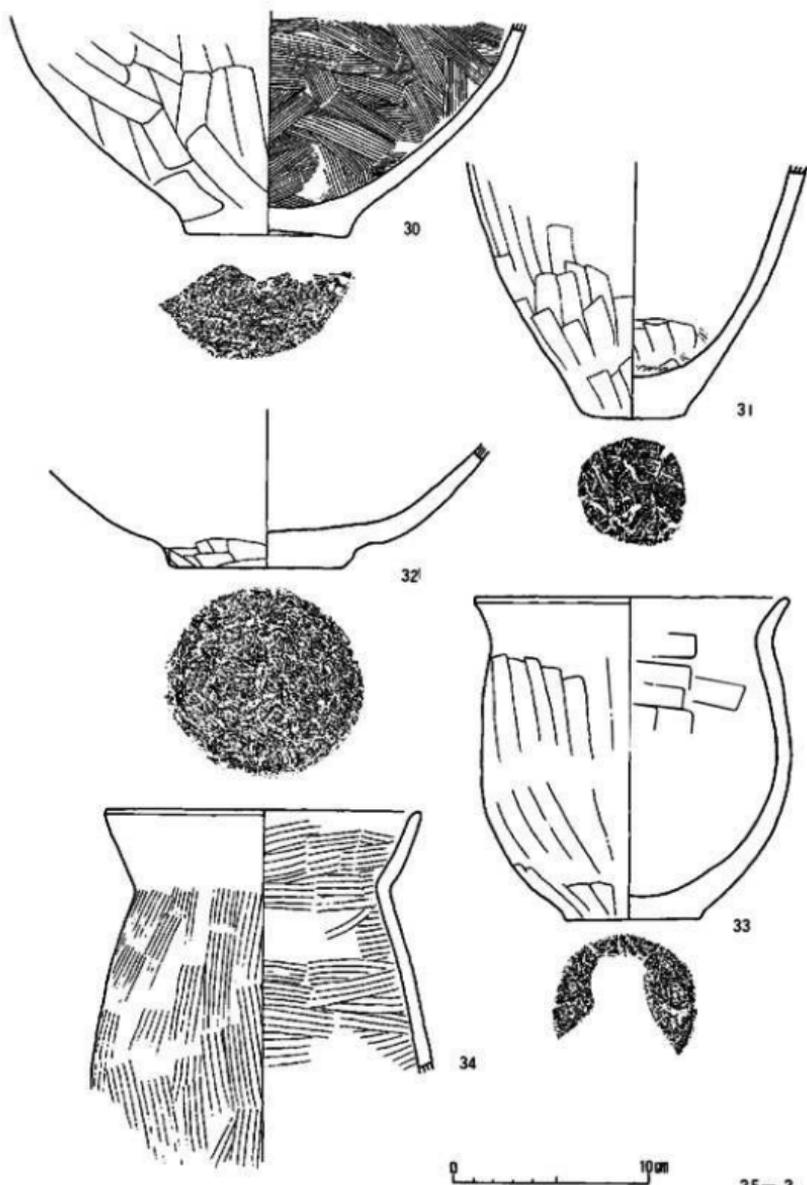


第157图 35号住居址出土土器(1)



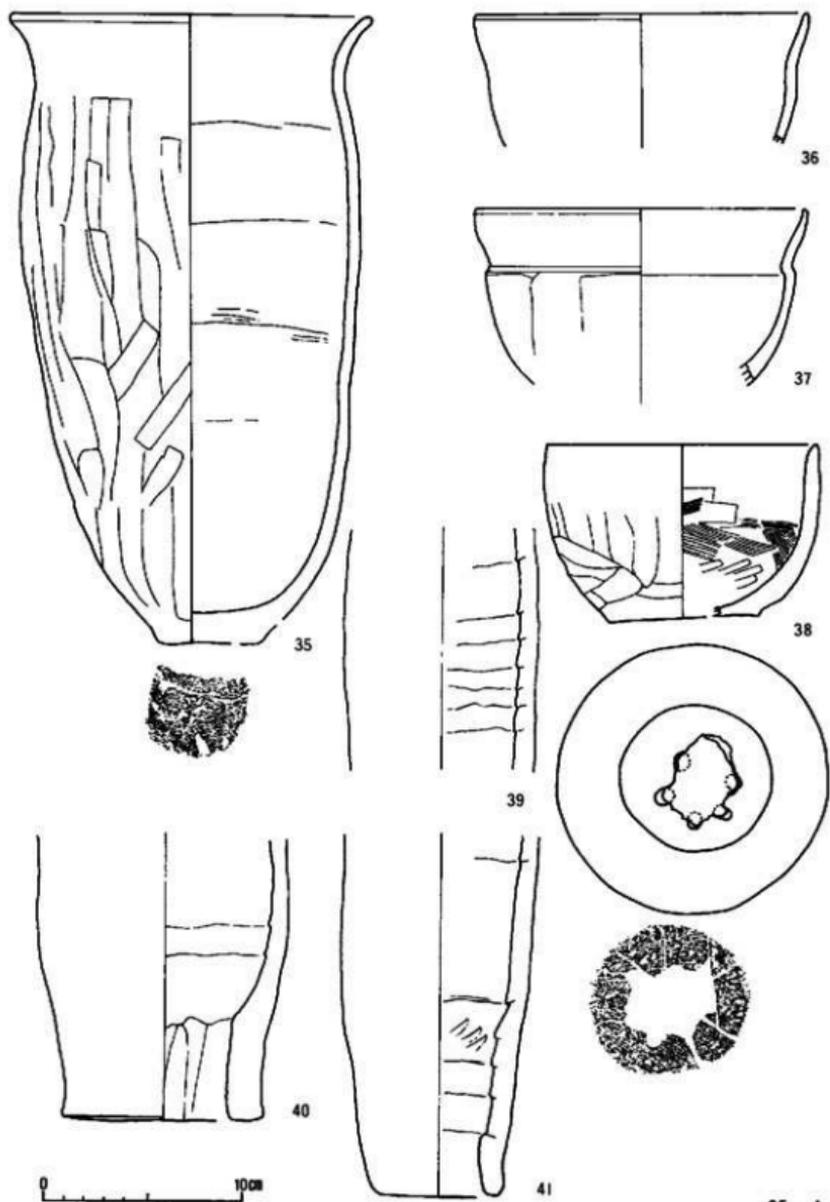
35-2

第 158 图 35号住居址出土土器 (2)



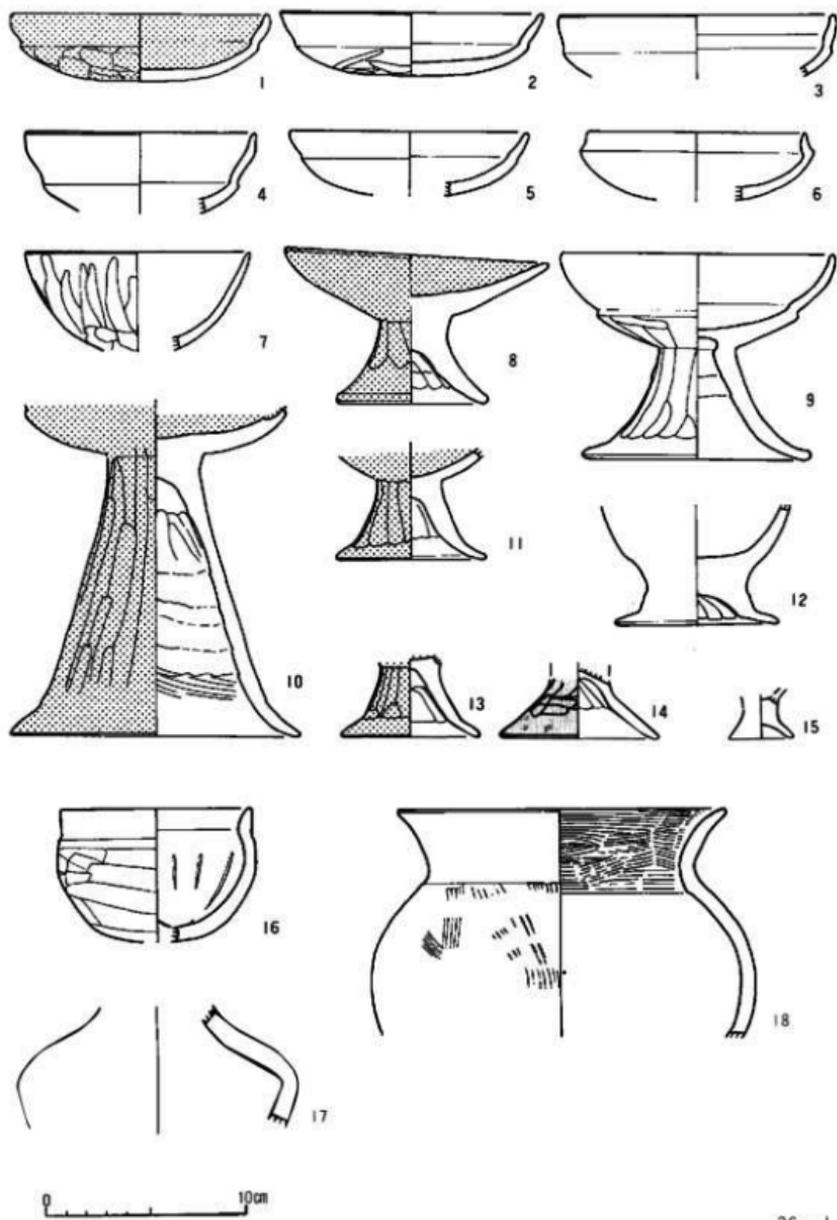
35-3

第159图 35号住居址出土土器(3)

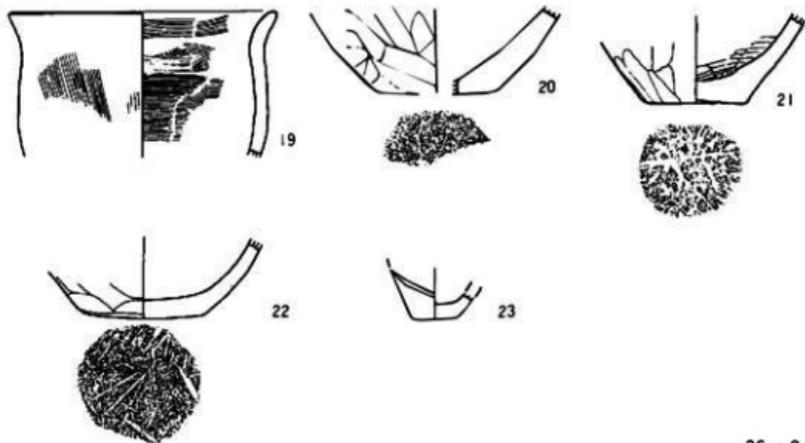


35-4

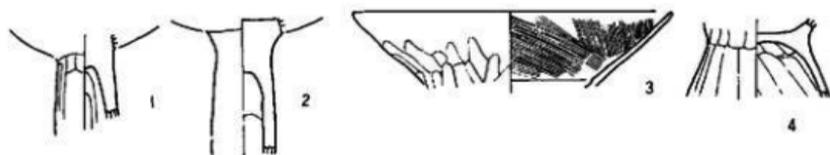
第160图 35号住居址出土土器 (4)



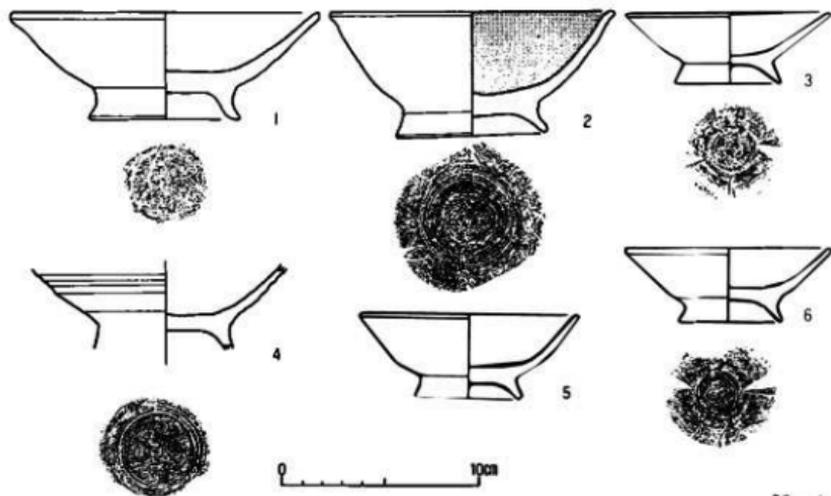
第 161 图 36号住居址出土土器 (1)



36-2

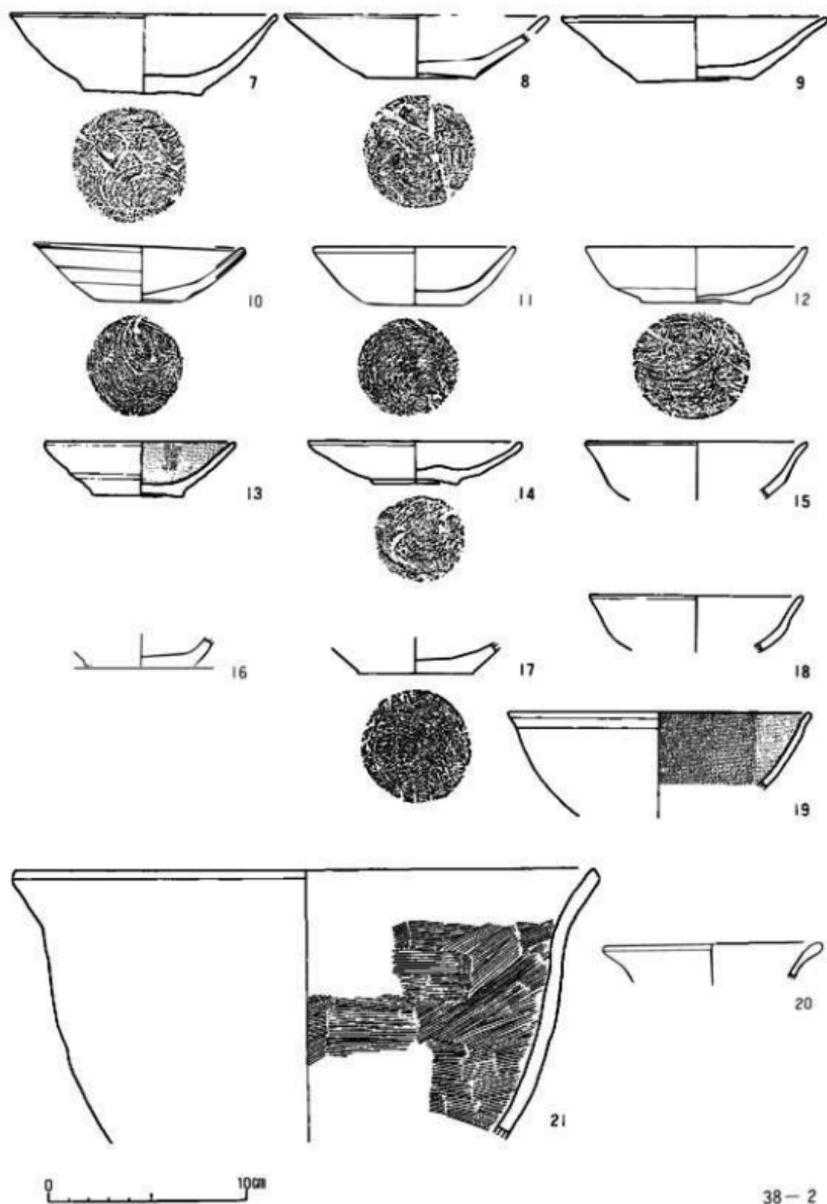


37

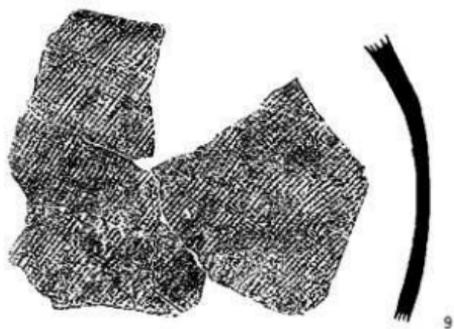
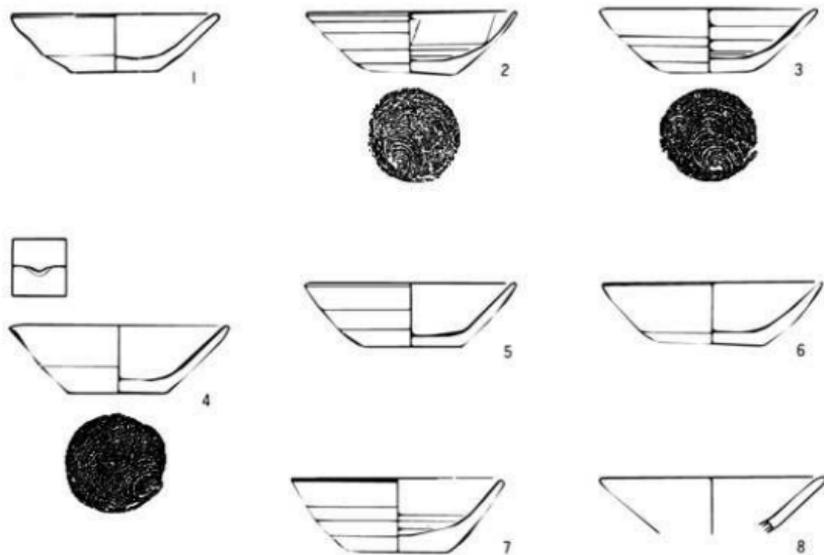


38-1

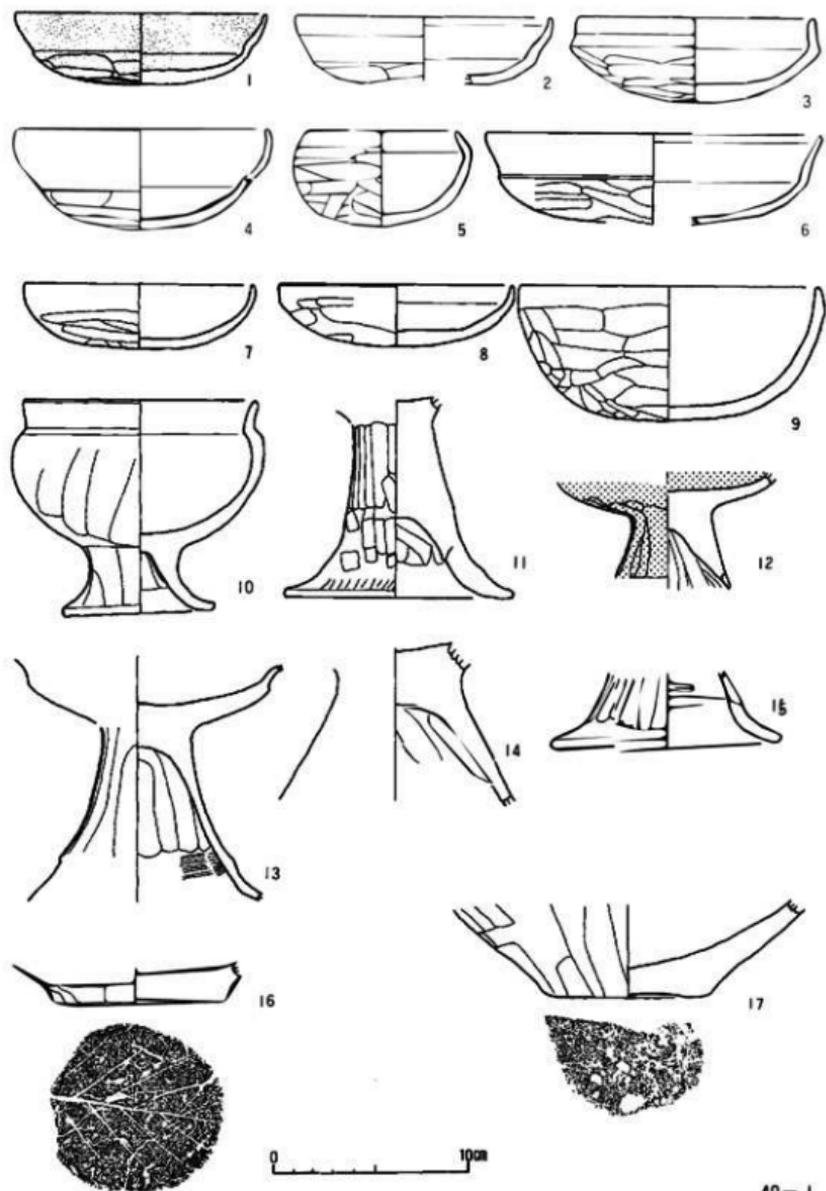
第162图 36、37、38号住居址出土土器



第163图 38号住居址出土土器 (2)

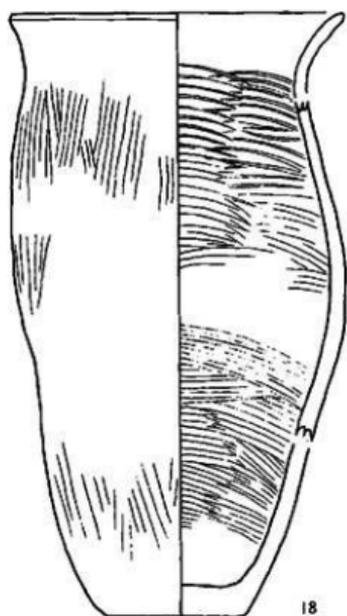


第 164 图 39号住居址出土土器

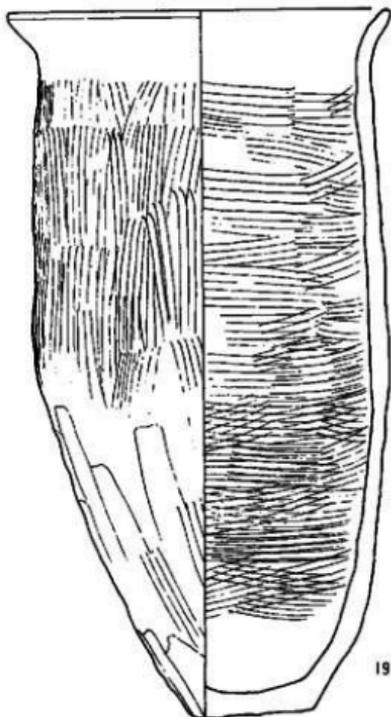


40-1

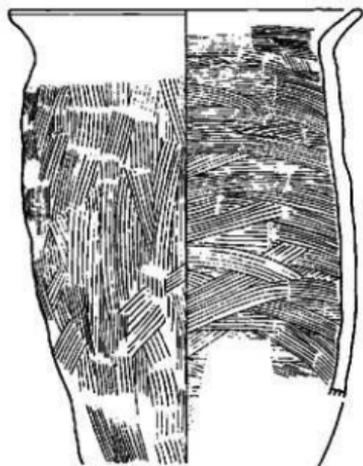
第 165 图 40号住居址出土土器 (1)



18



19



20

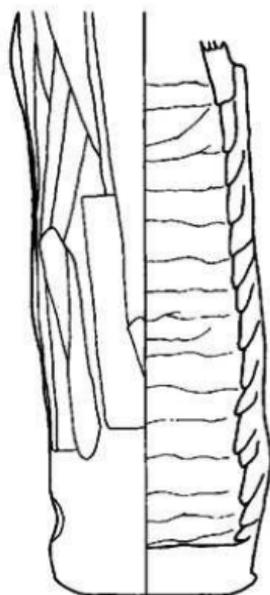


21

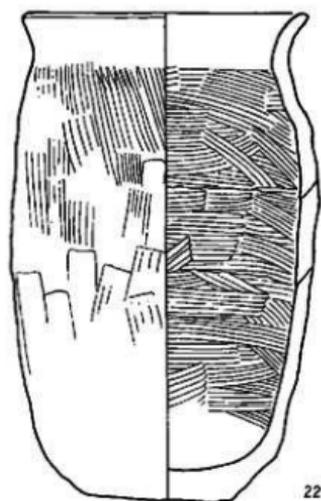


40-2

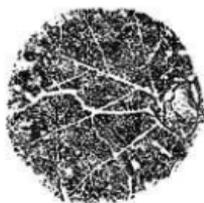
第 166 图 40号住居址出土土器 (2)



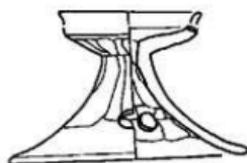
23



22



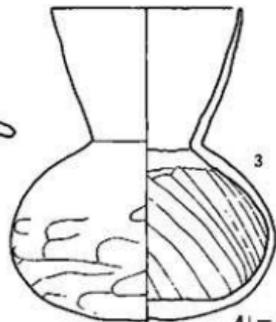
40-3



1



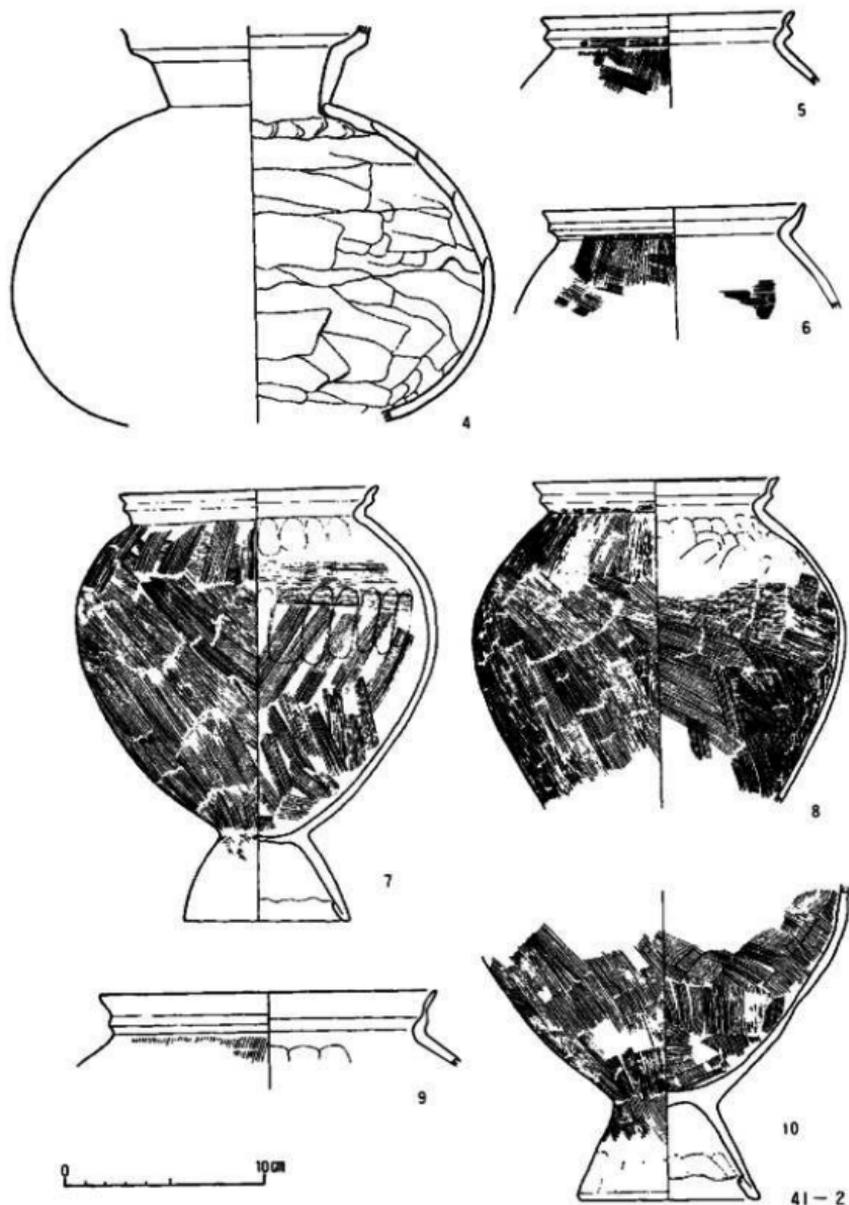
2



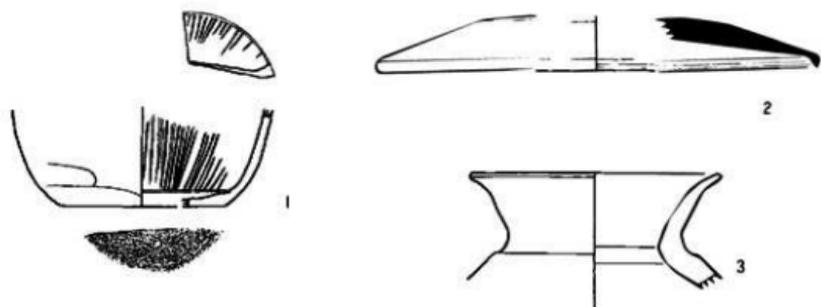
4 | - 1



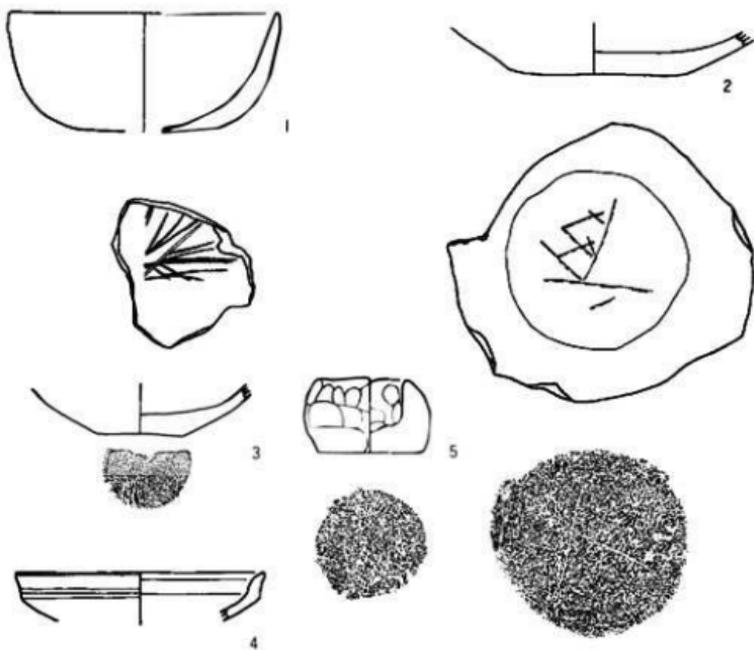
第 167 图 40、41号住居址出土土器



第 168 图 41号住居址出土土器 (2)

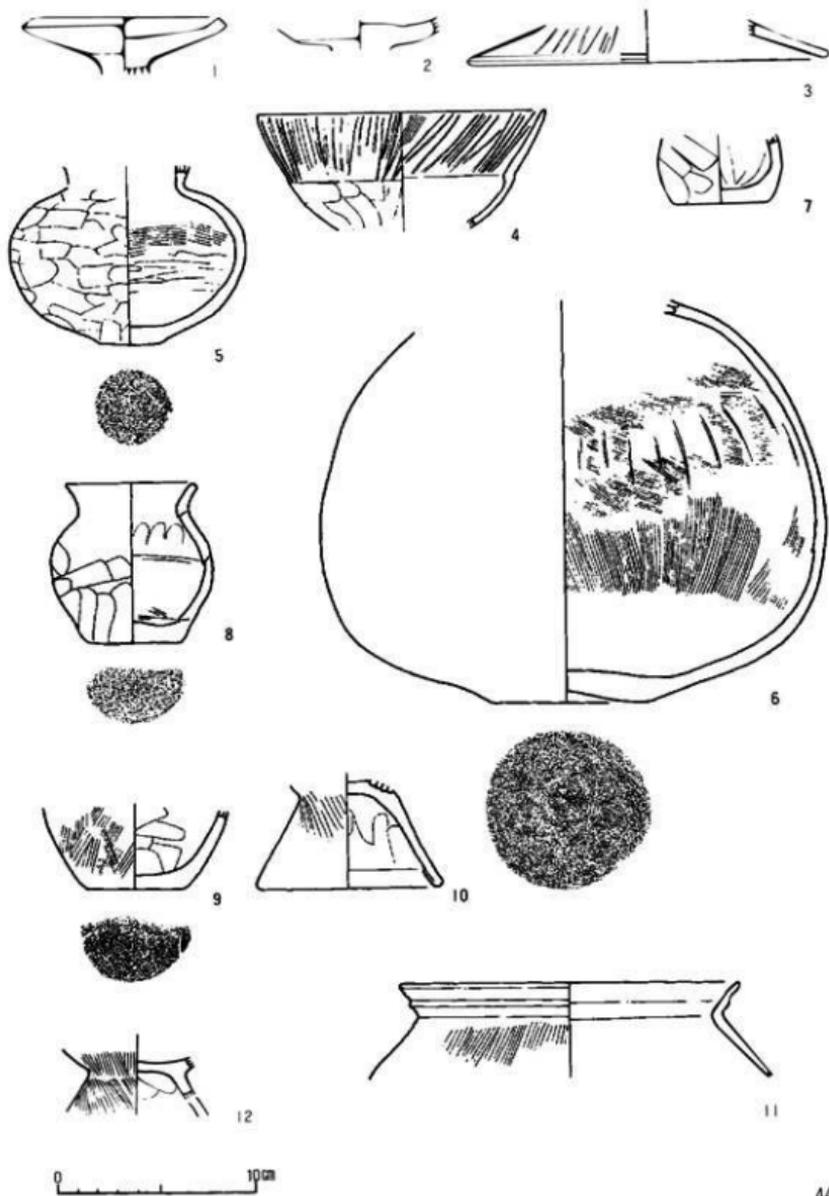


42

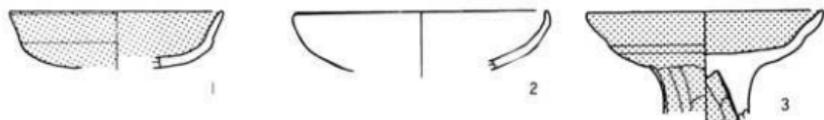


43

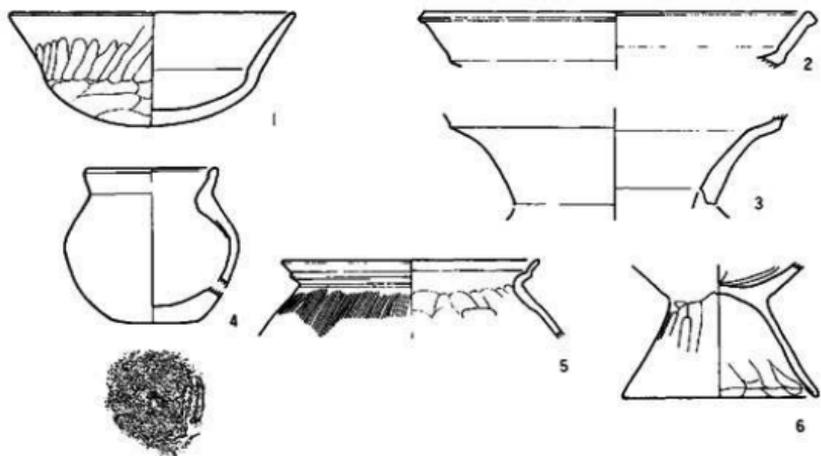
第169图 42、43号住居址出土土器



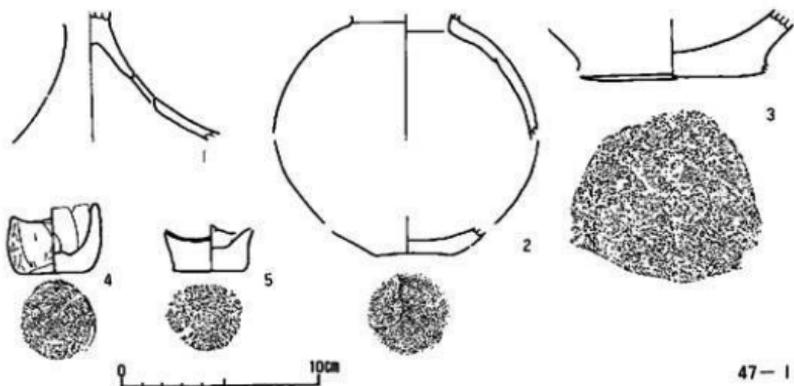
第 170 图 44号住居址出土土器



45

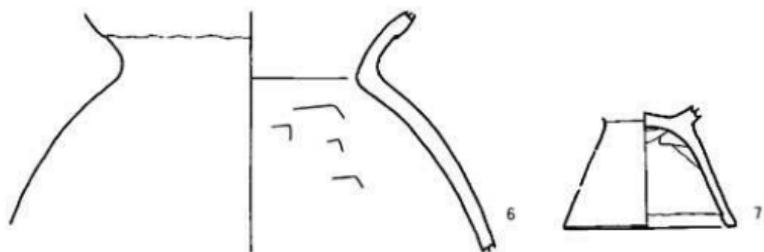


46

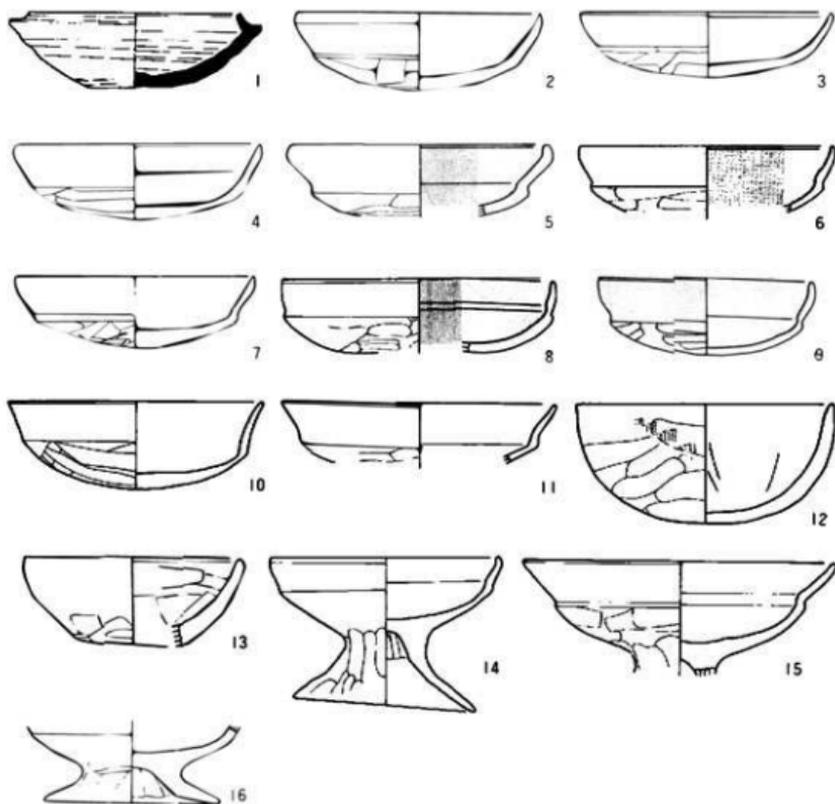


47-1

第 171 图 45、46、47号住居址出土土器

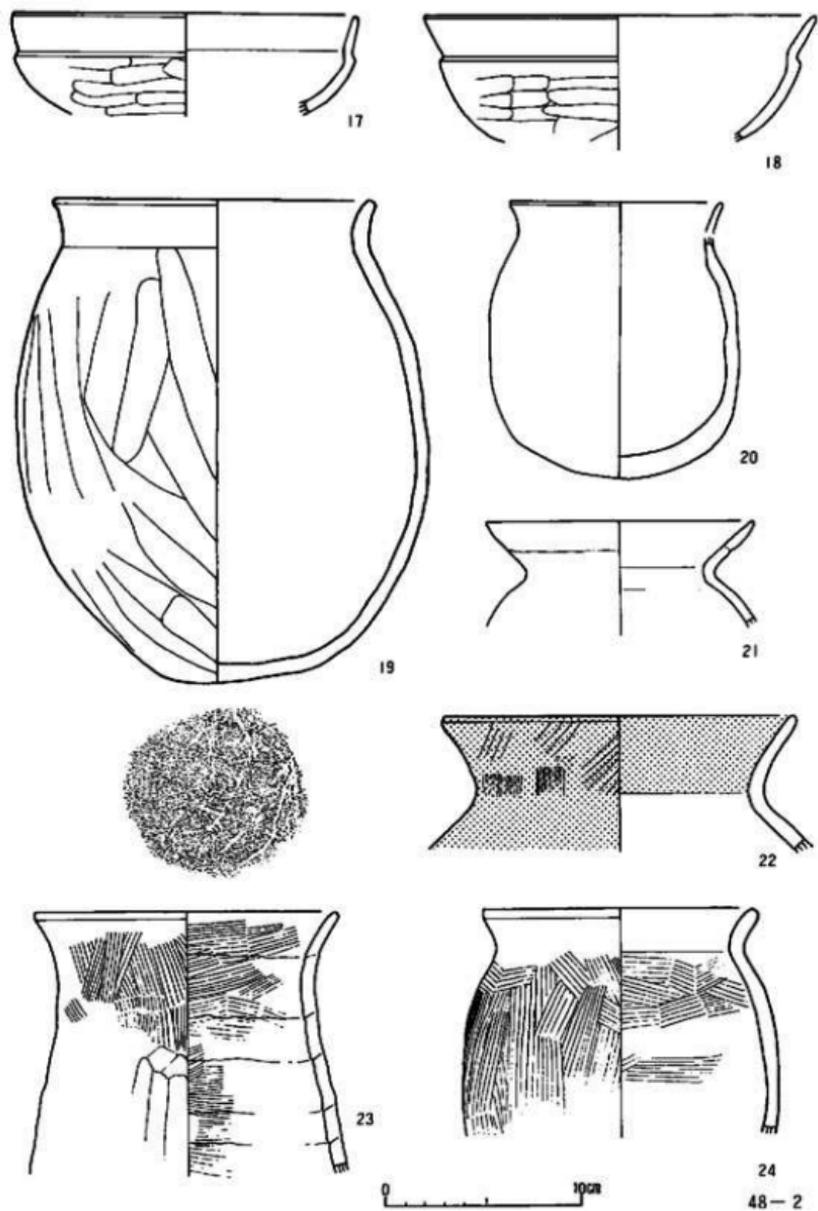


47-2

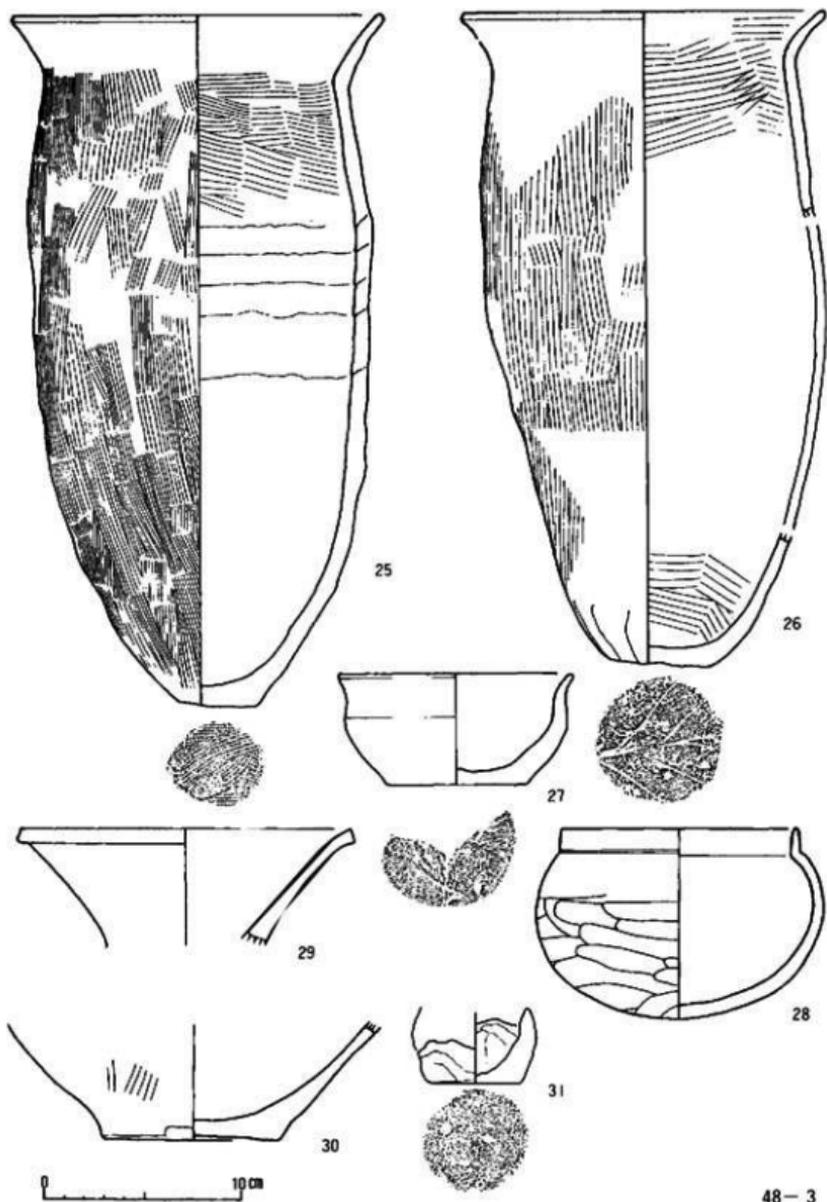


48-1

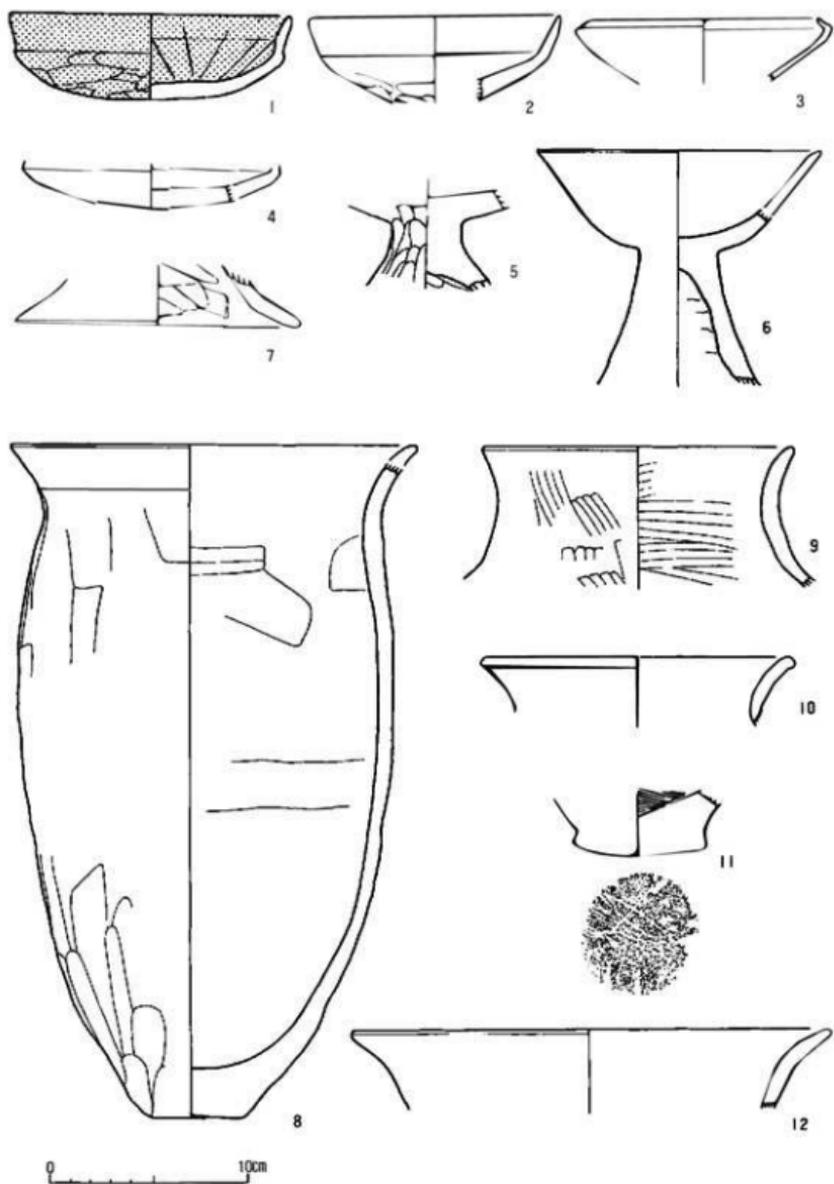
第172图 47、48号住居址出土土器



第 173 图 48号住居址出土土器 (2)

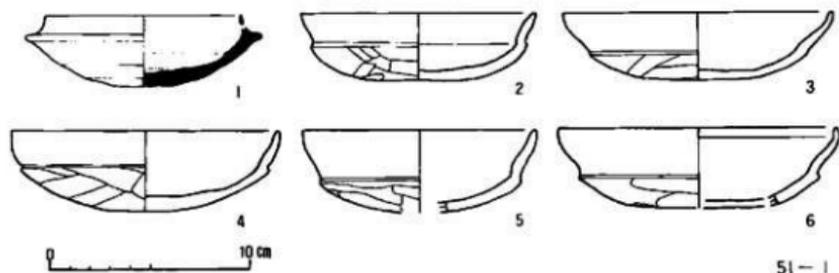
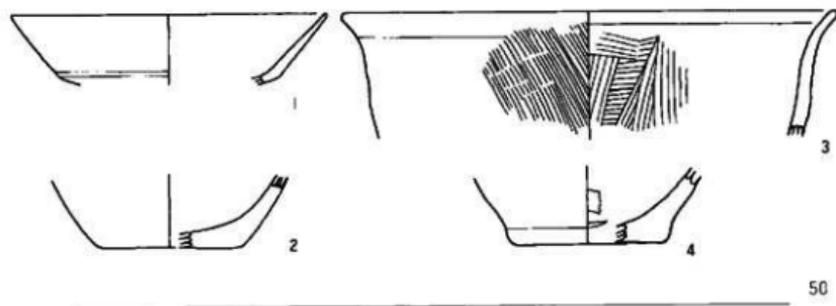
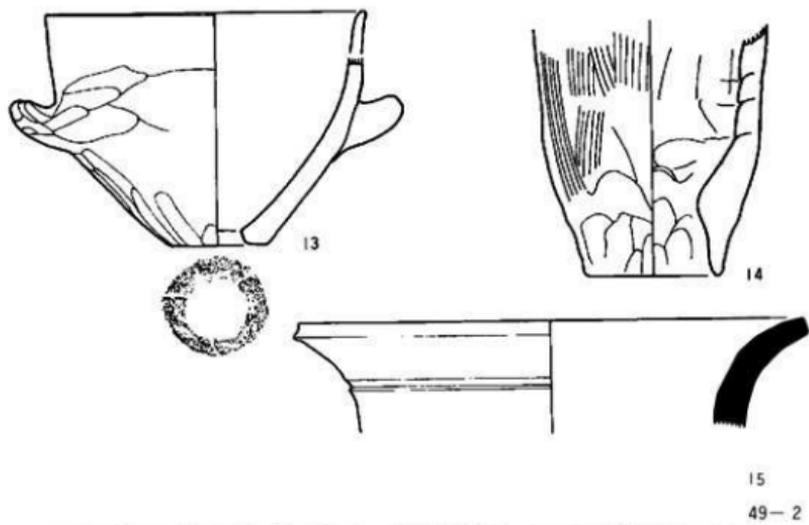


第174图 48号住居址出土土器 (3)

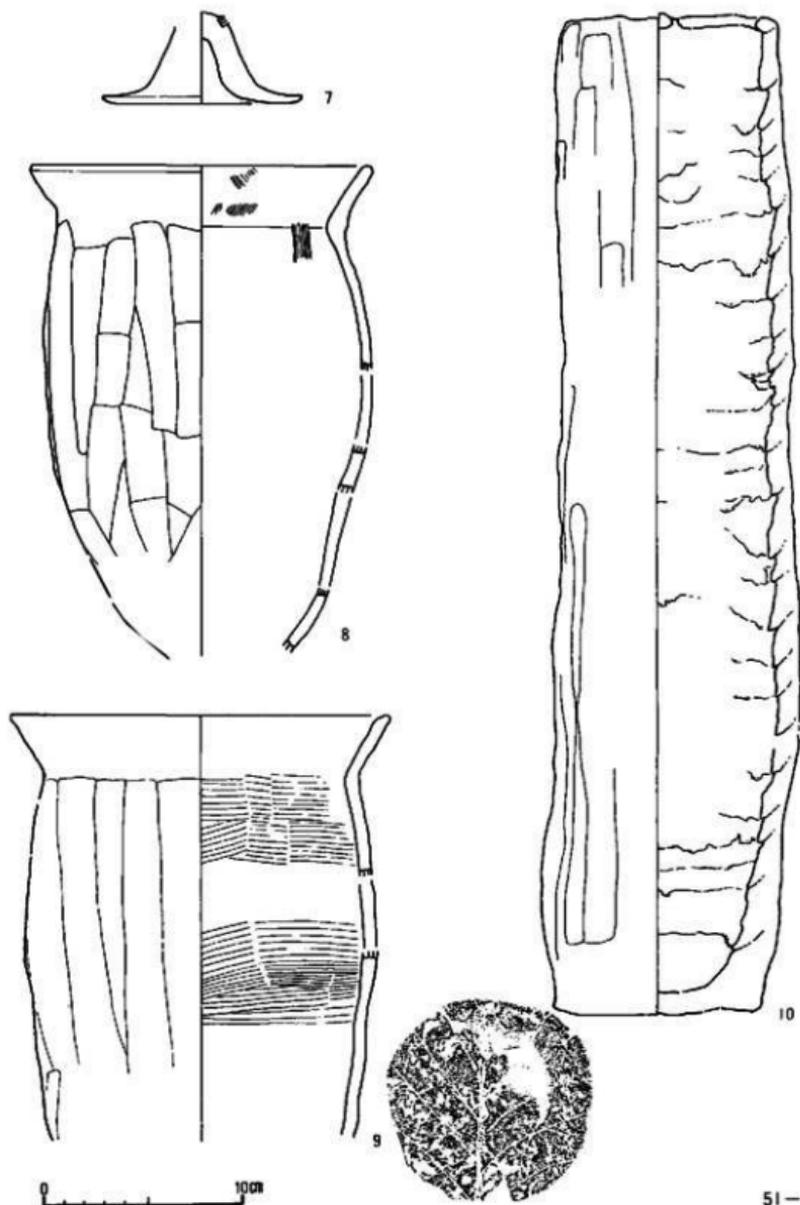


49-1

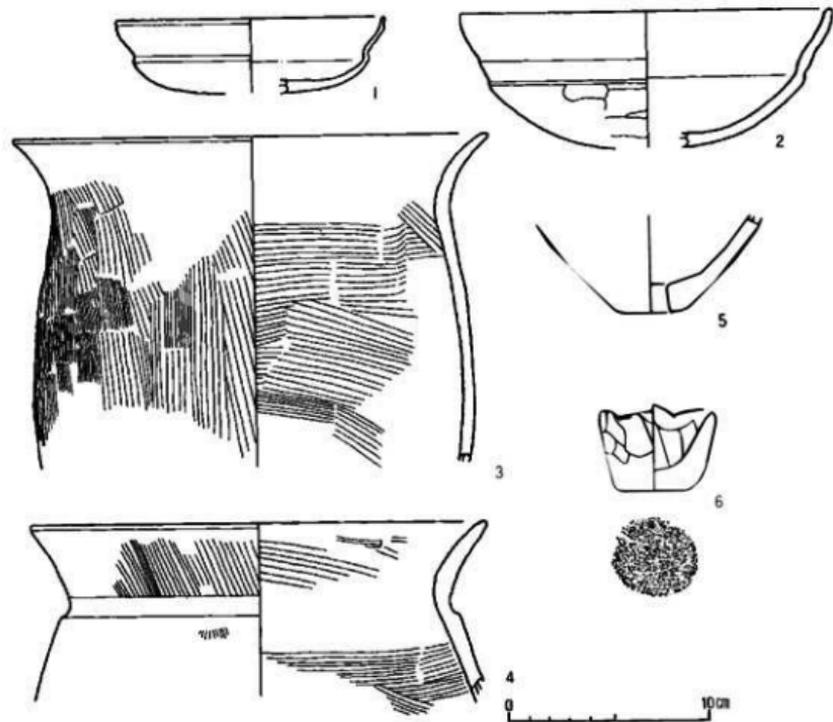
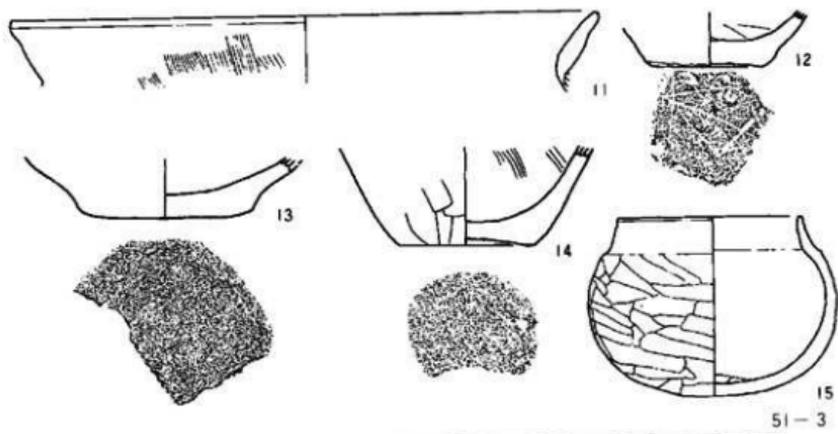
第 175 图 49号住居址出土土器 (1)



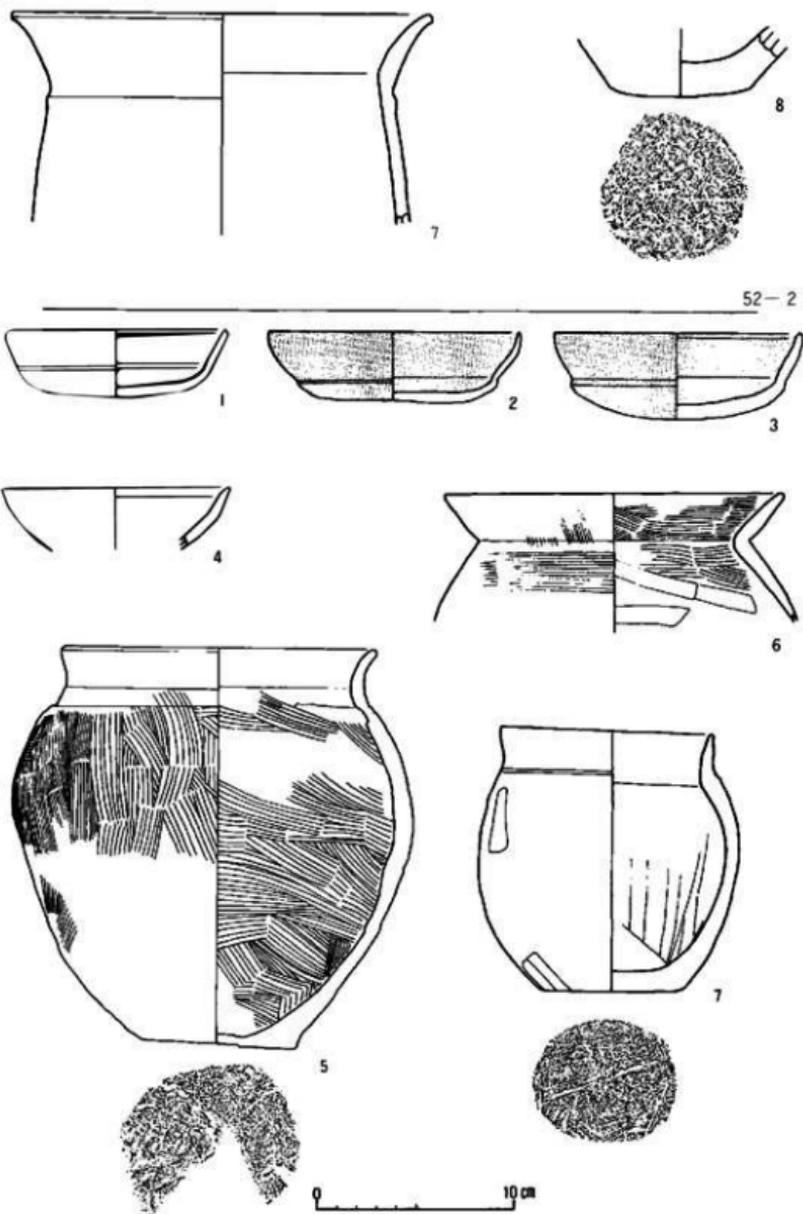
第 176 图 49、50、51号住居址出土土器



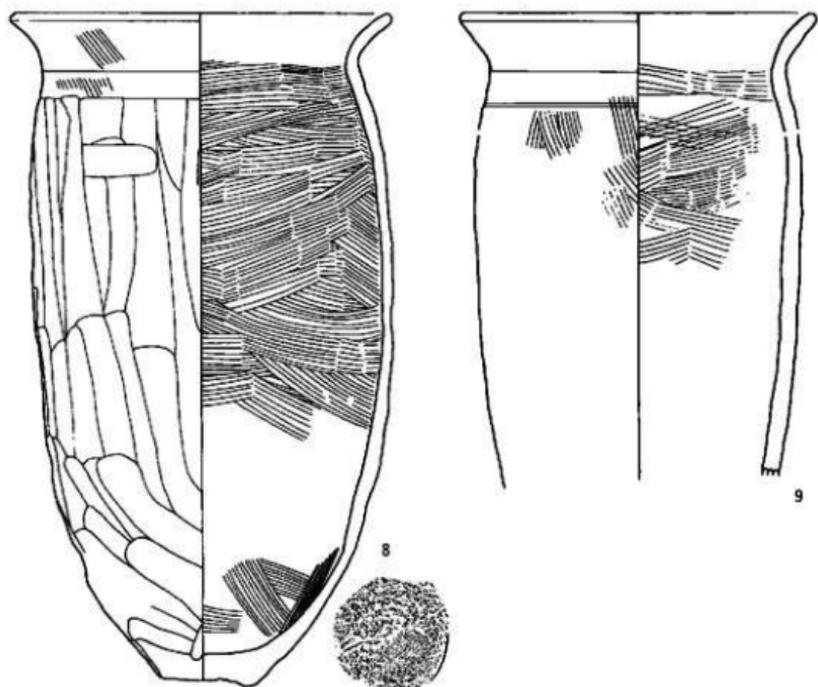
第 177 图 51号住居址出土土器 (2)



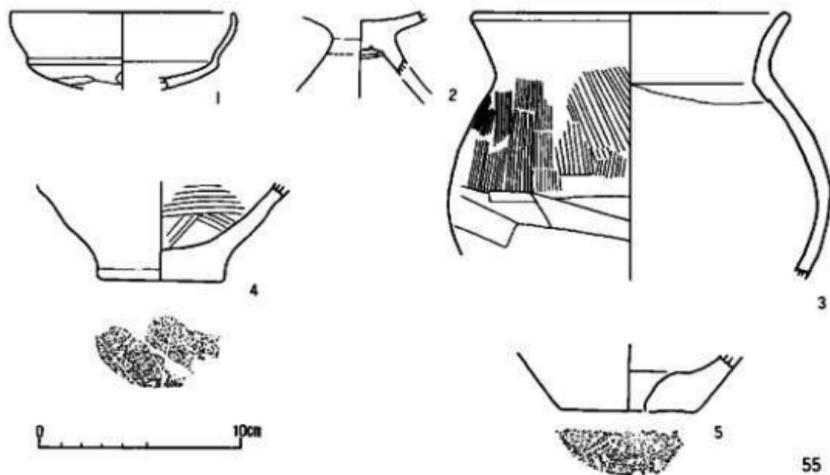
第 178 图 51、52号住居址出土土器



第 179 图 52、54号住居址出土土器

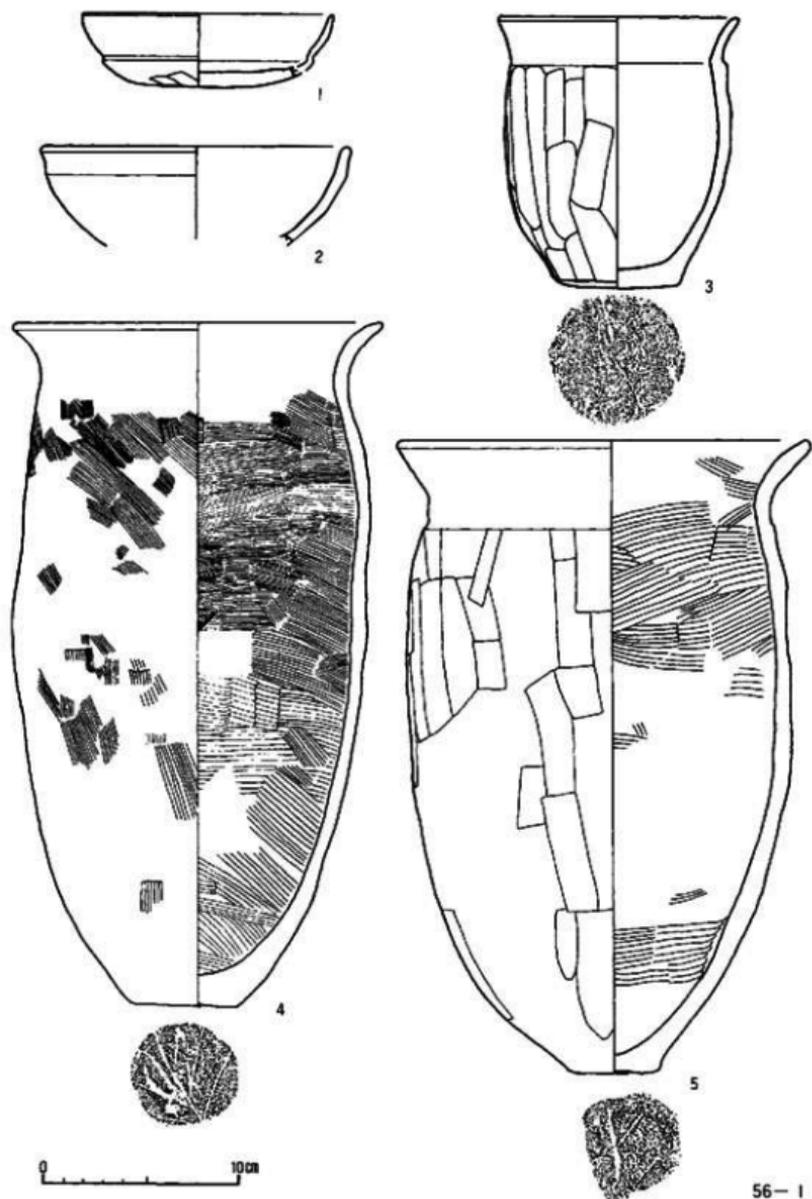


54-2

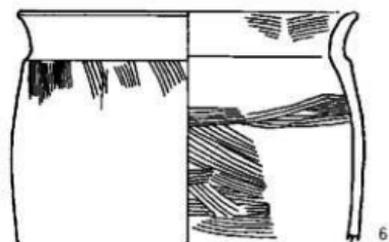


55

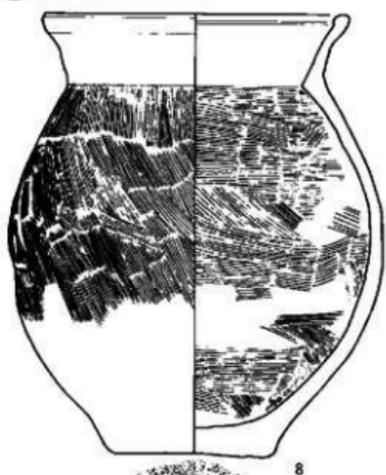
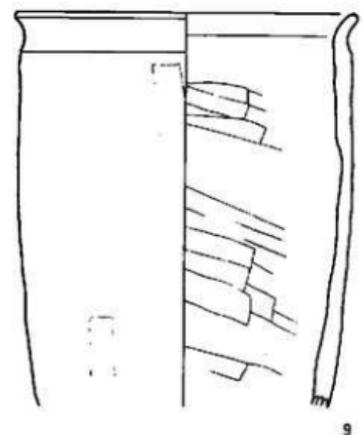
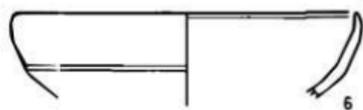
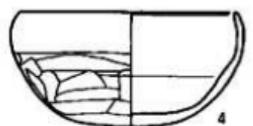
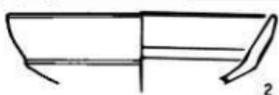
第180图 64、55号住居址出土土器



第181图 56号住居址出土土器(1)



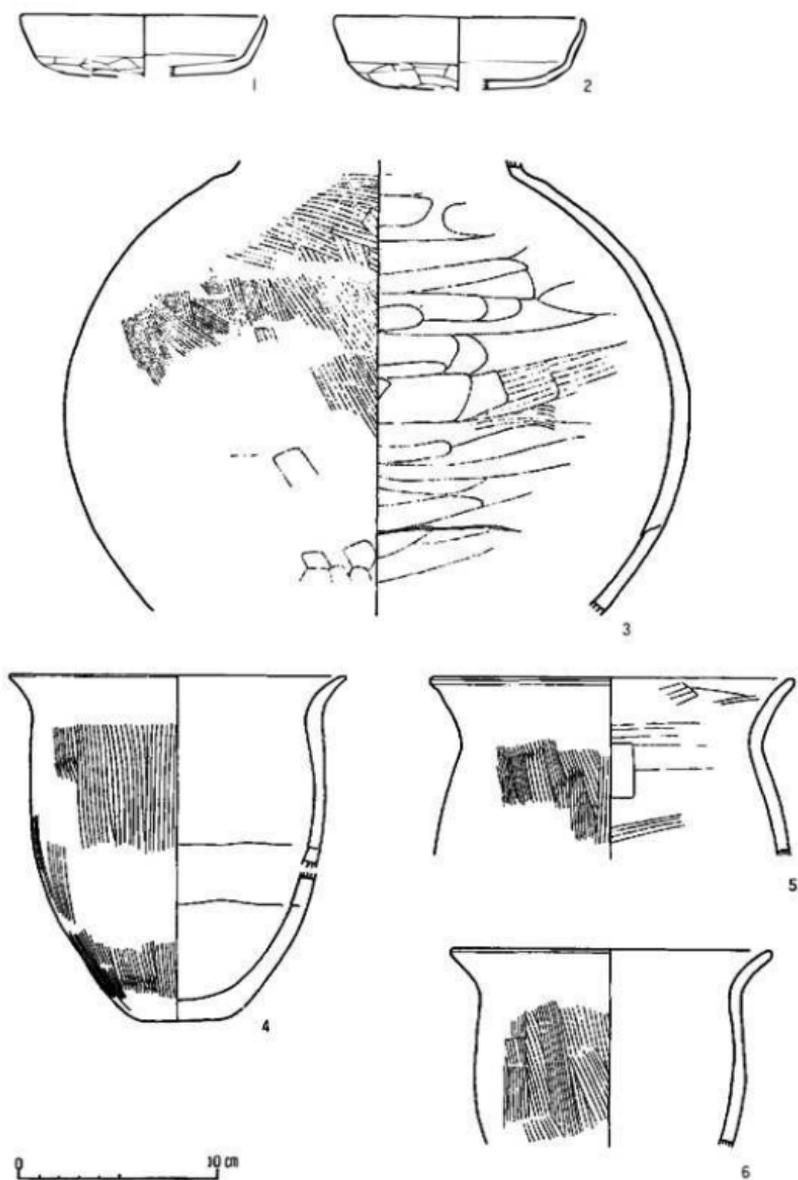
56-2



0 10CM

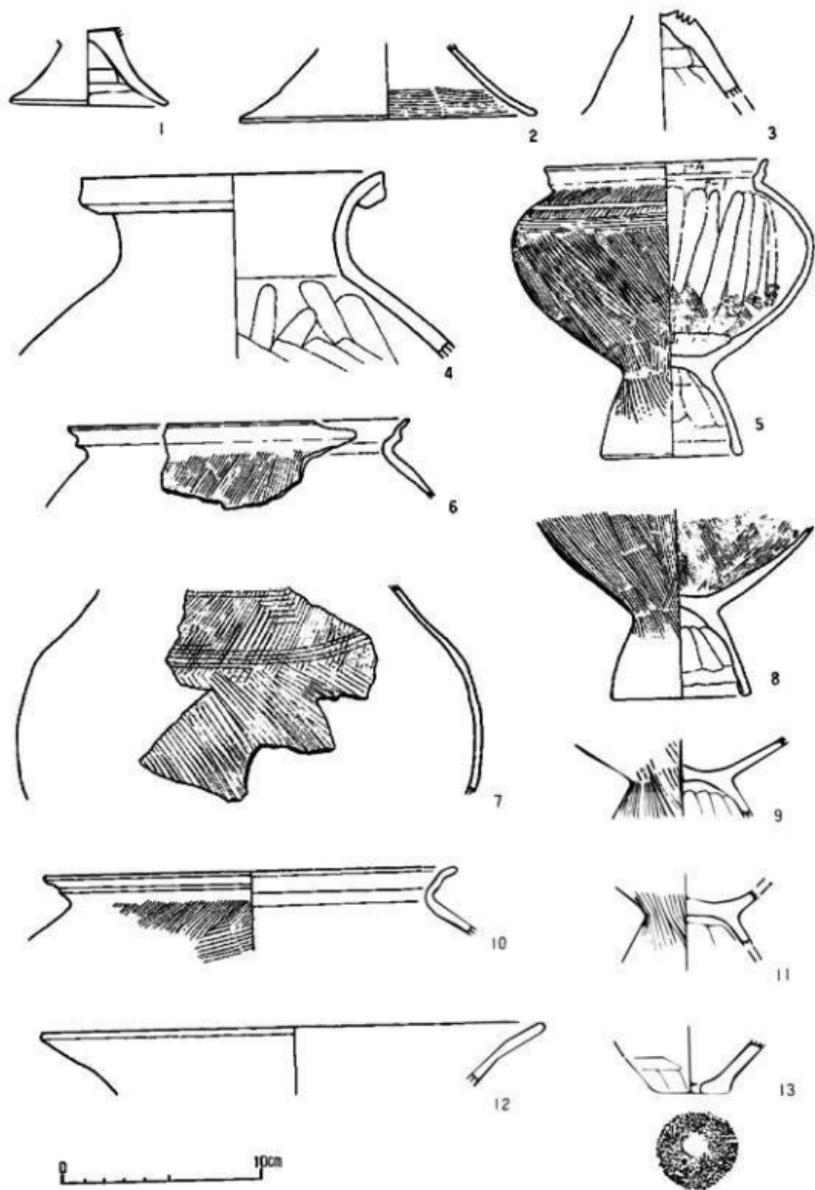
57

第182图 56. 57号住居址出土土器

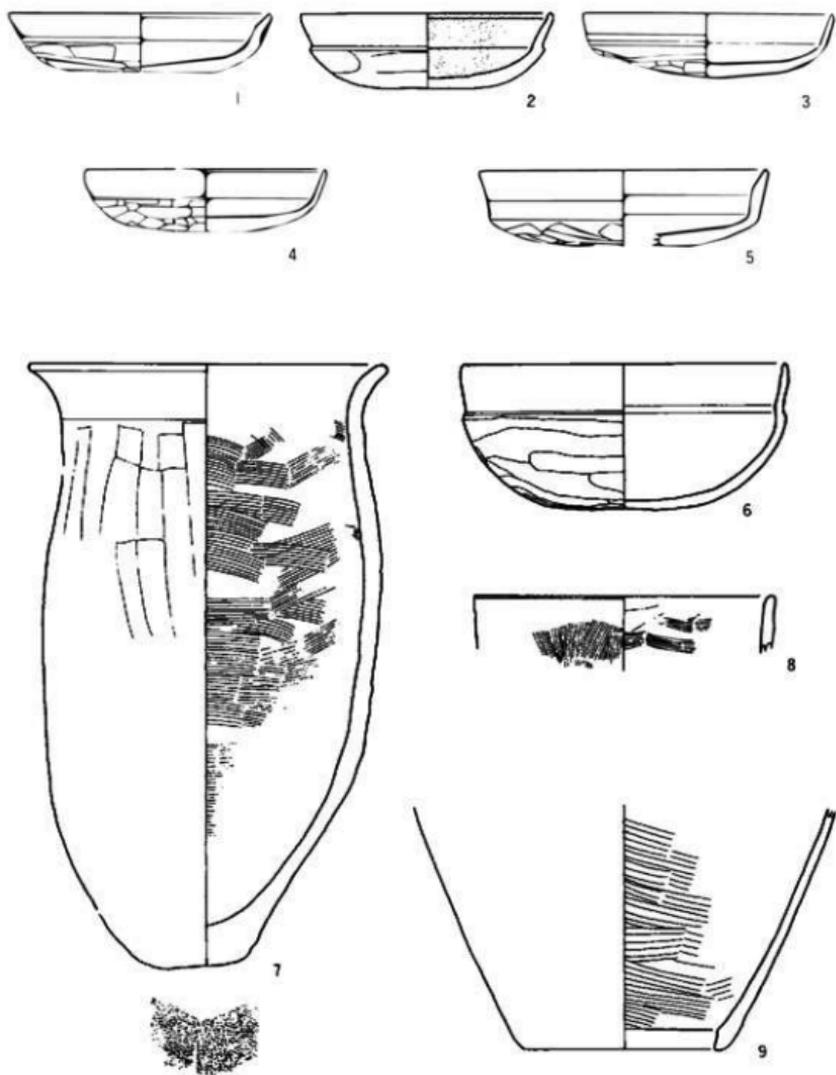


58

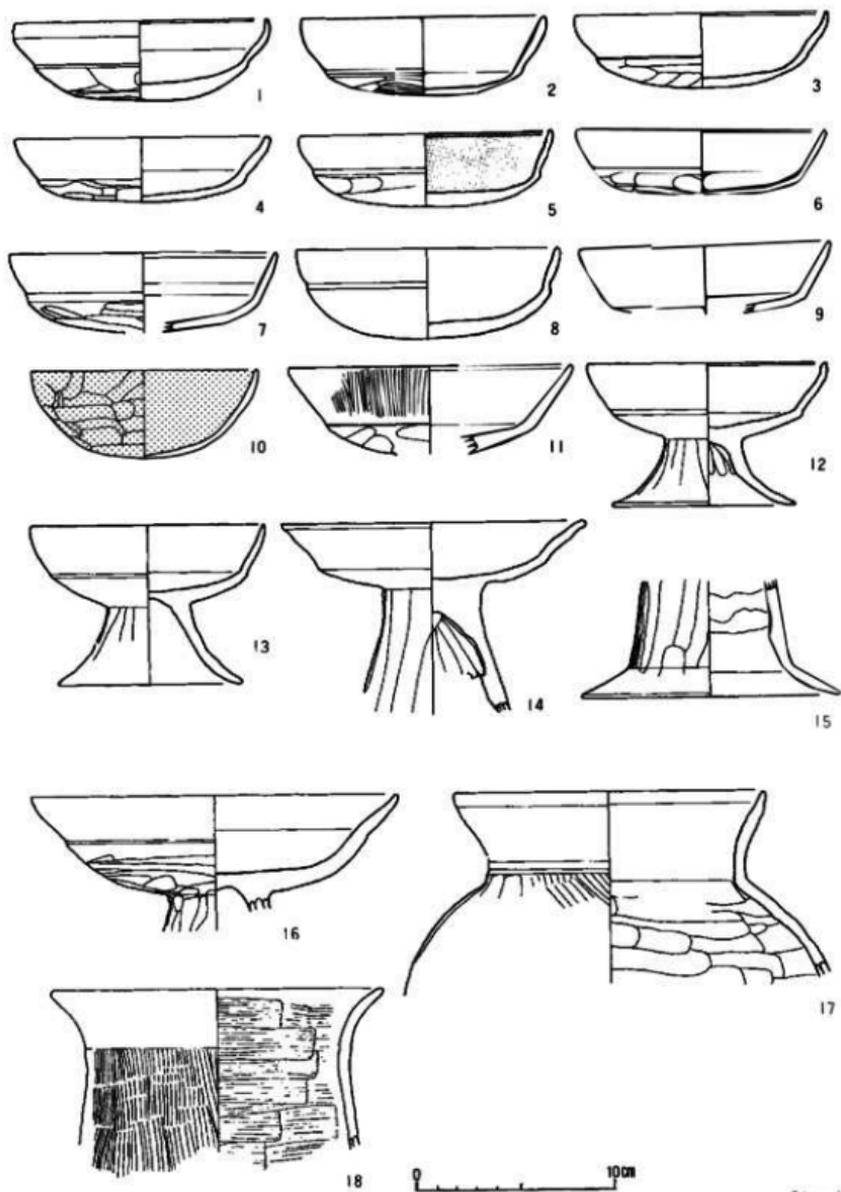
第 183 图 58 号住居址出土土器



第 184 图 59号住居址出土土器

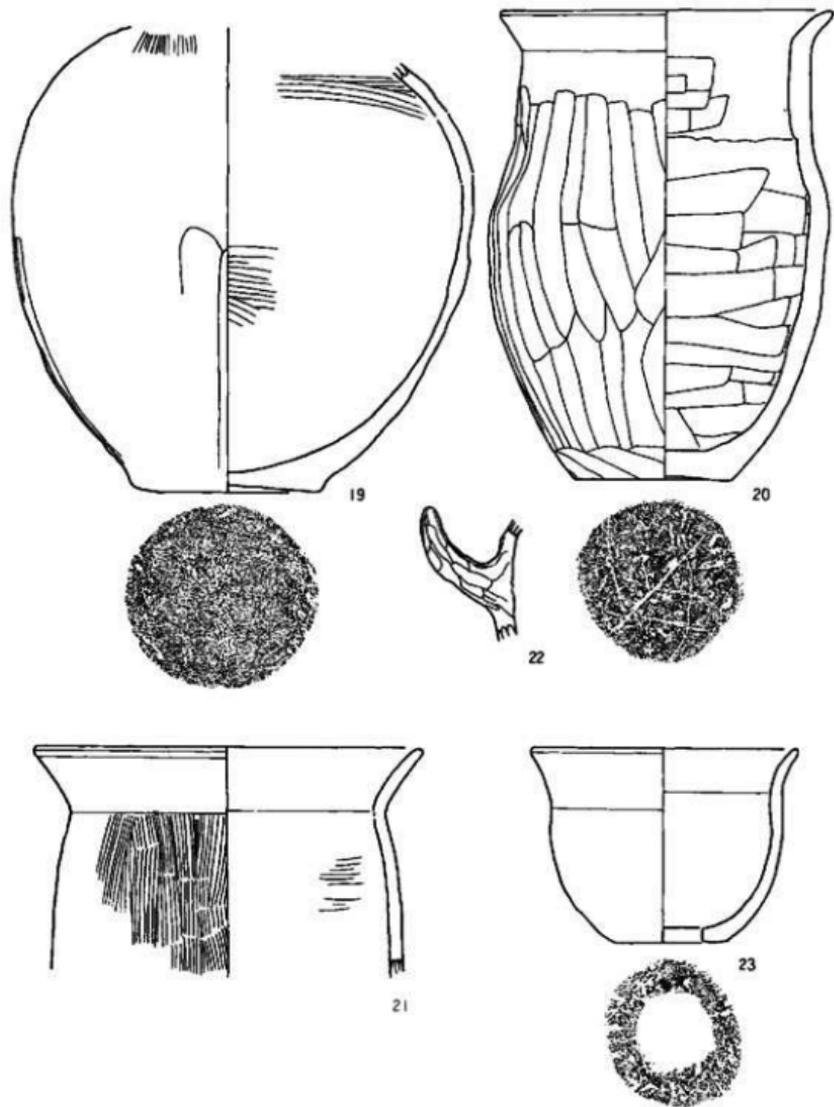


第 185 图 60号住居址出土土器

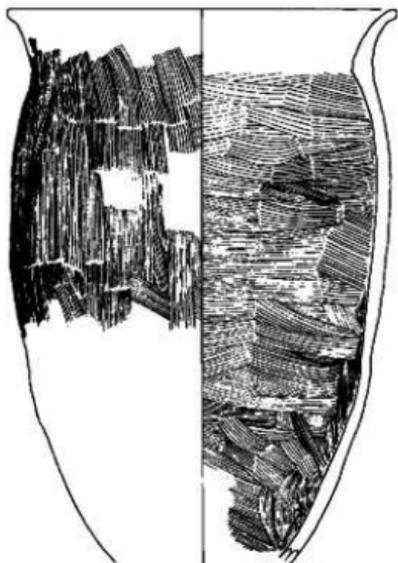


61-1

第186图 61号住居址出土土器 (1)

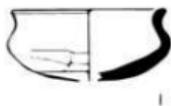


第187图 61号住居出土土器(2)

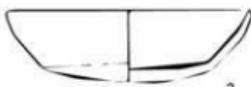


24

61-3



1



2



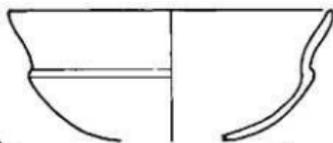
3



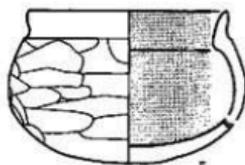
4



7



6

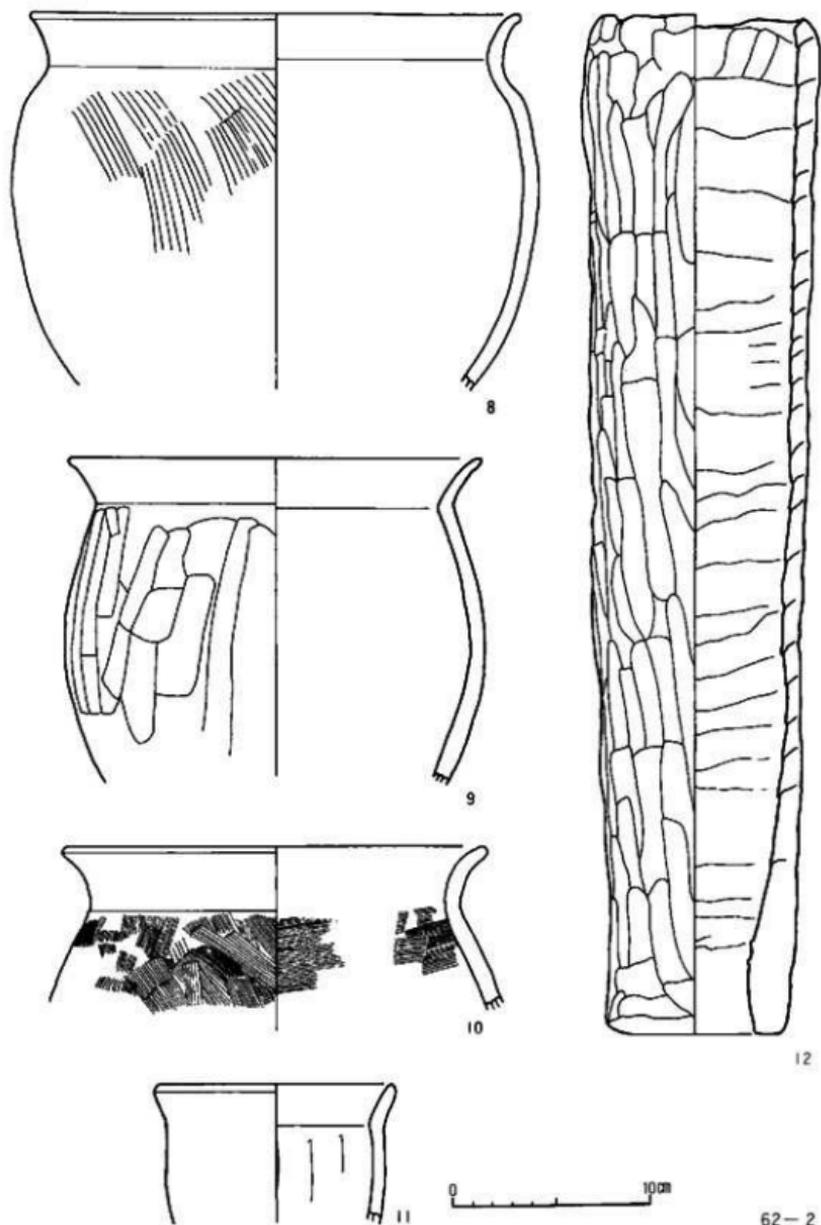


5

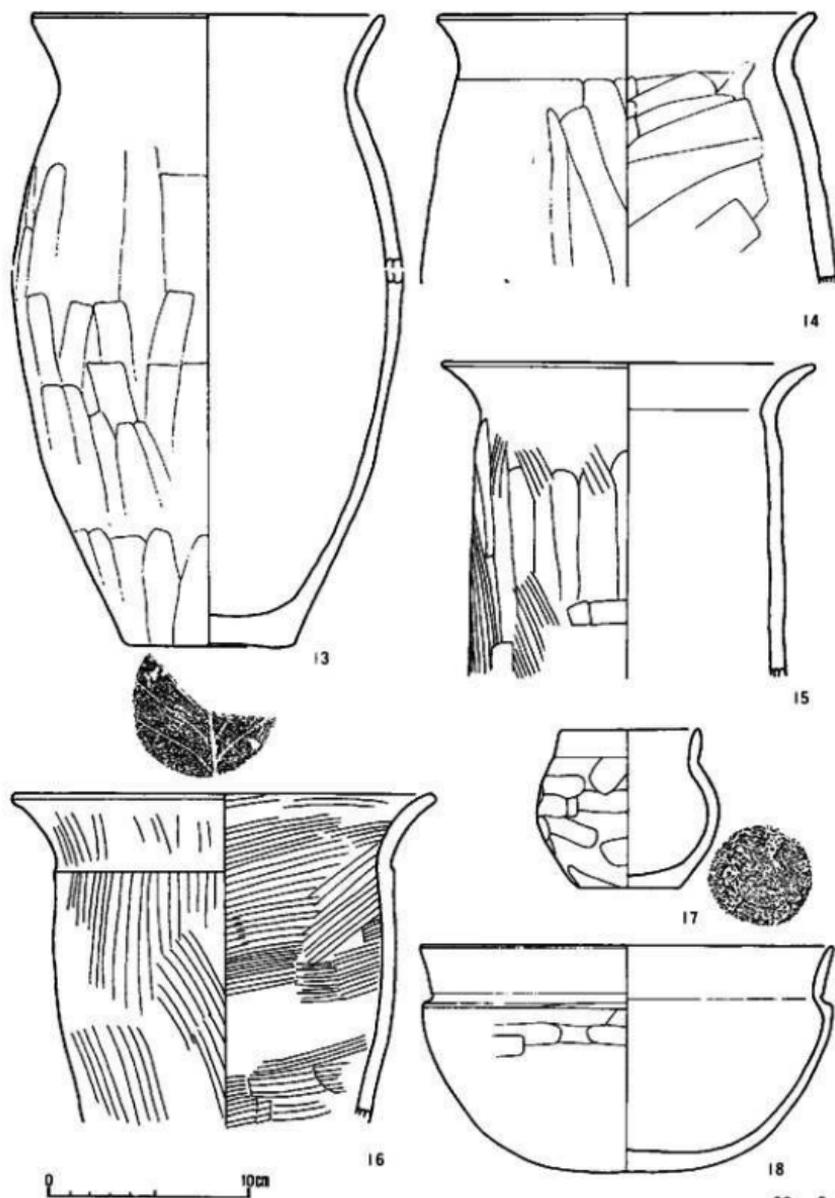


62-1

第 188 图 61、62号住居址出土土器

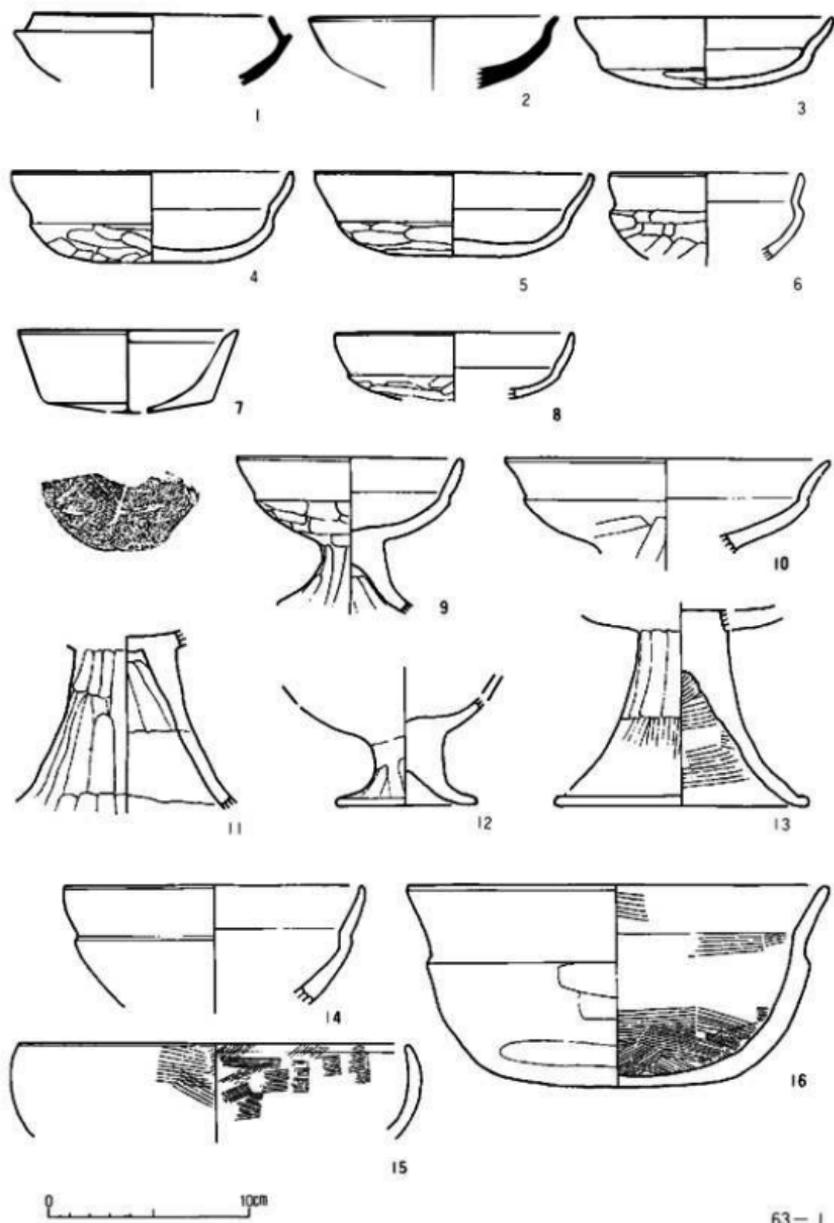


第 189 图 62号住居址出土土器 (2)



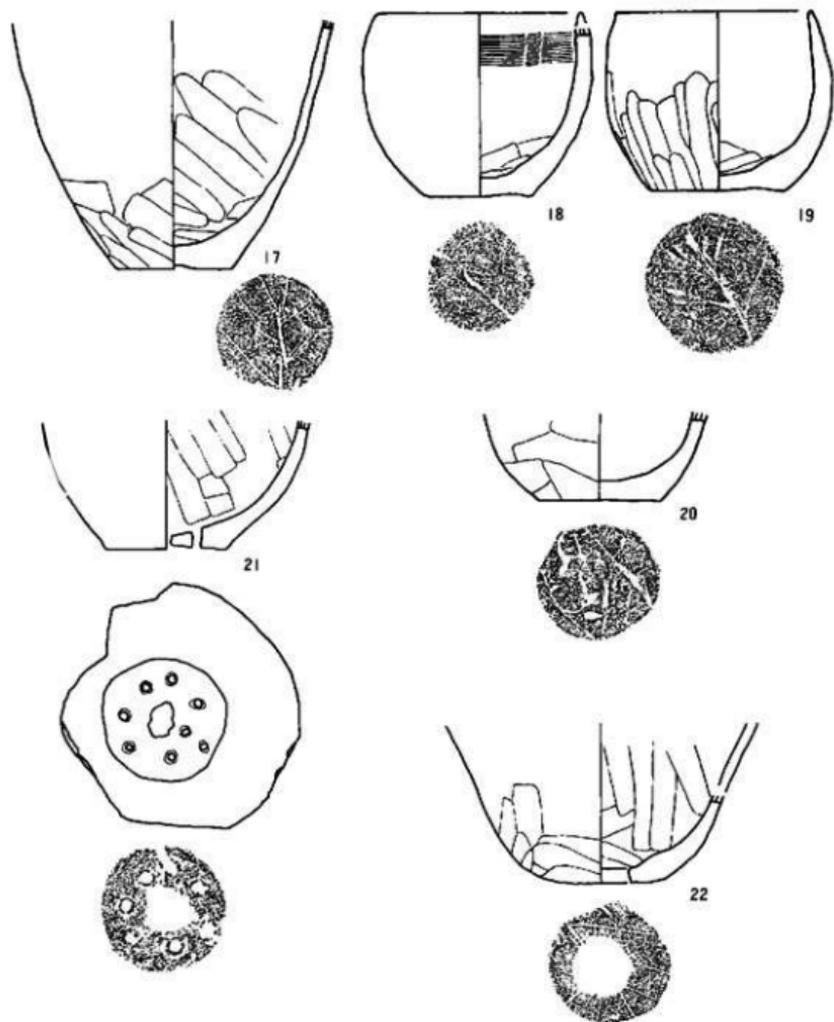
第190图 62号住居址出土土器 (3)

62-3

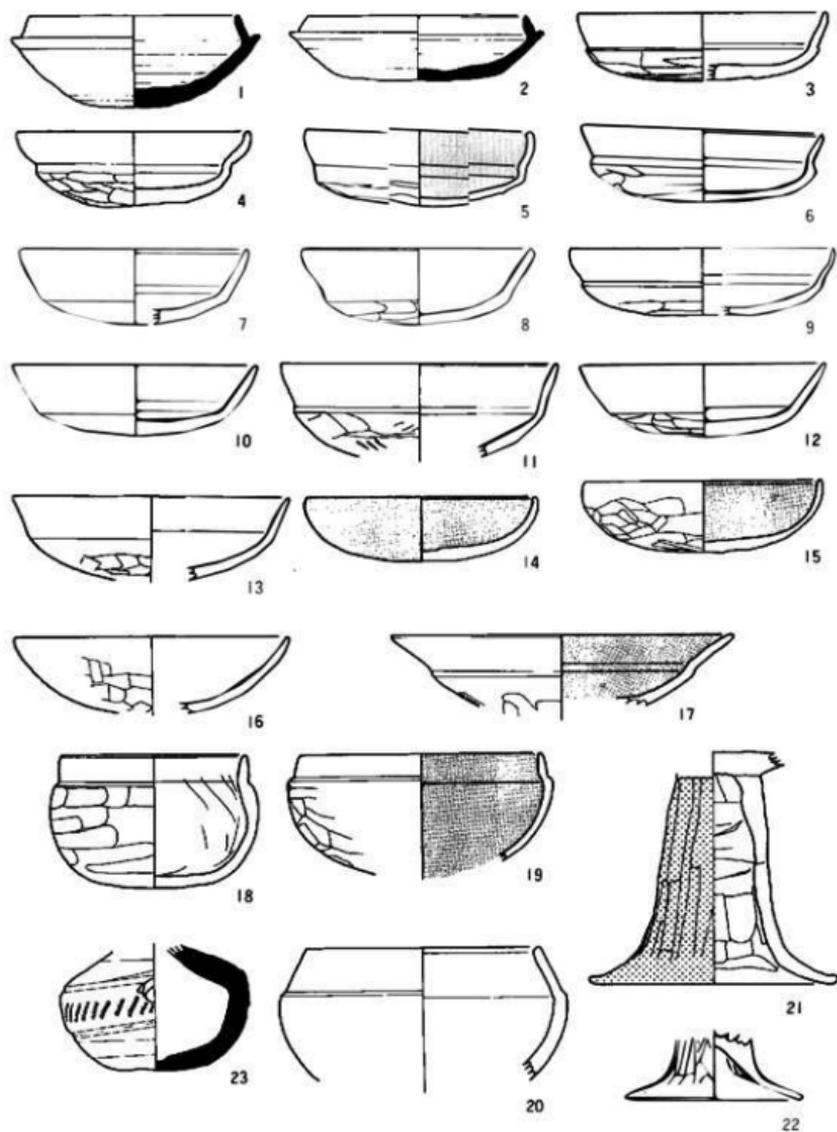


63-1

第191图 63号住居址出土土器 (1)



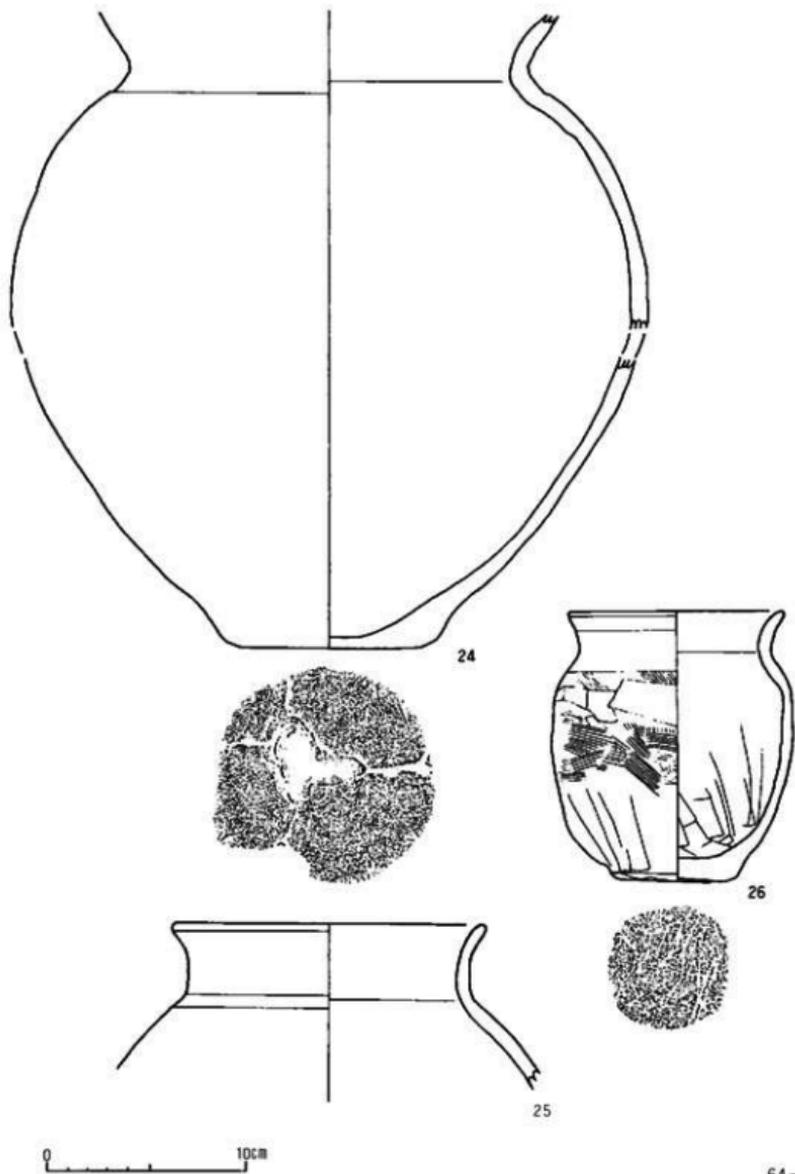
第 192 图 63号住居址出土土器 (2)



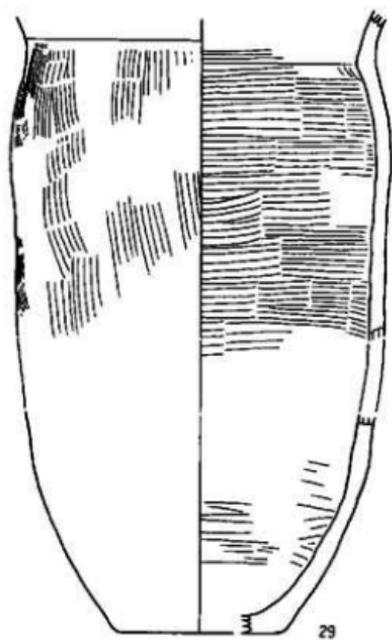
0 10 cm

64-1

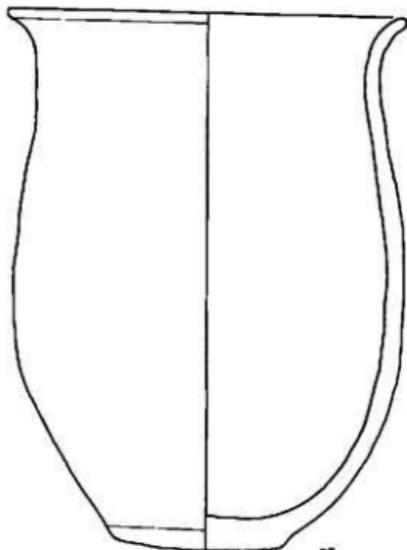
第193图 64号住居址出土土器(1)



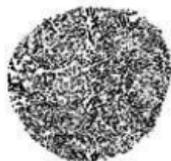
第194图 64号住居址出土土器(2)



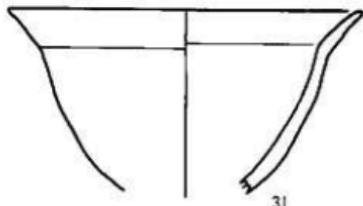
29



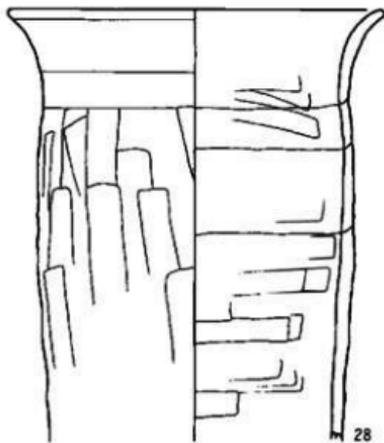
27



30



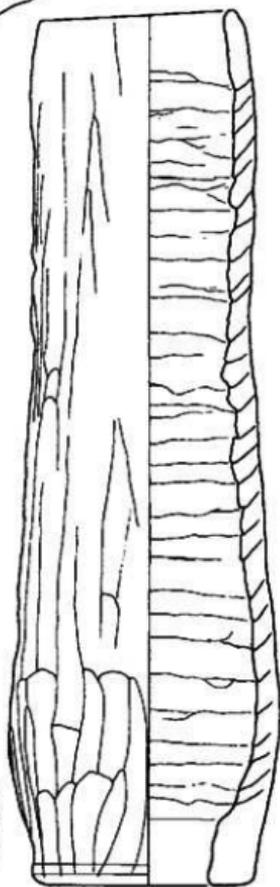
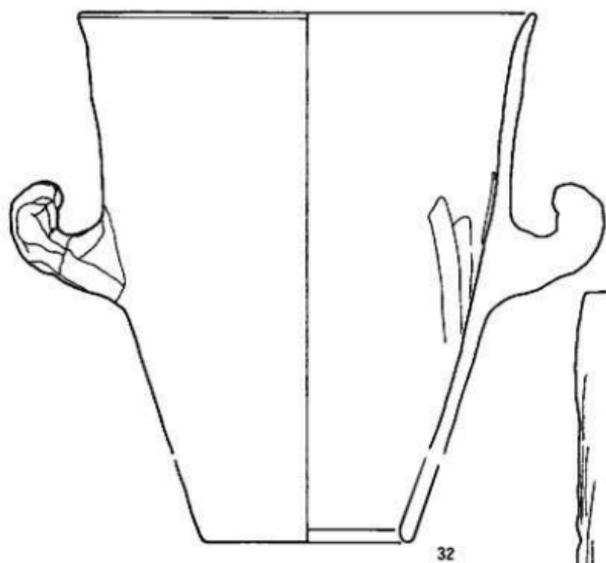
31



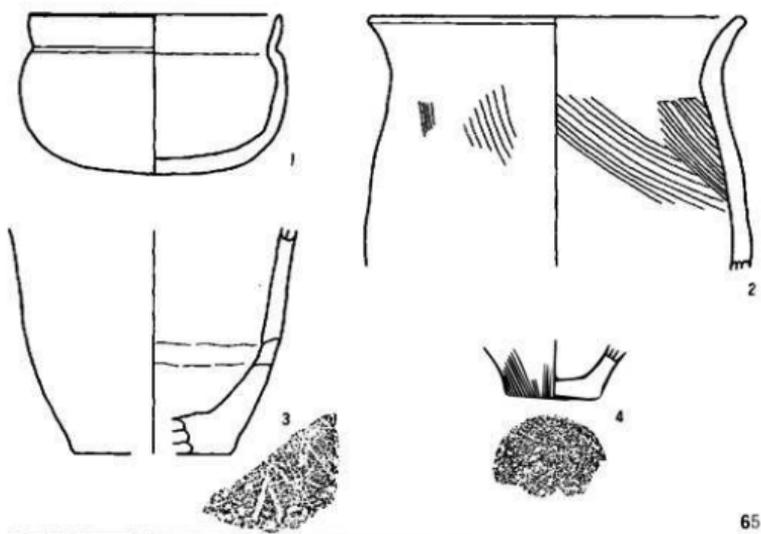
28

64-3

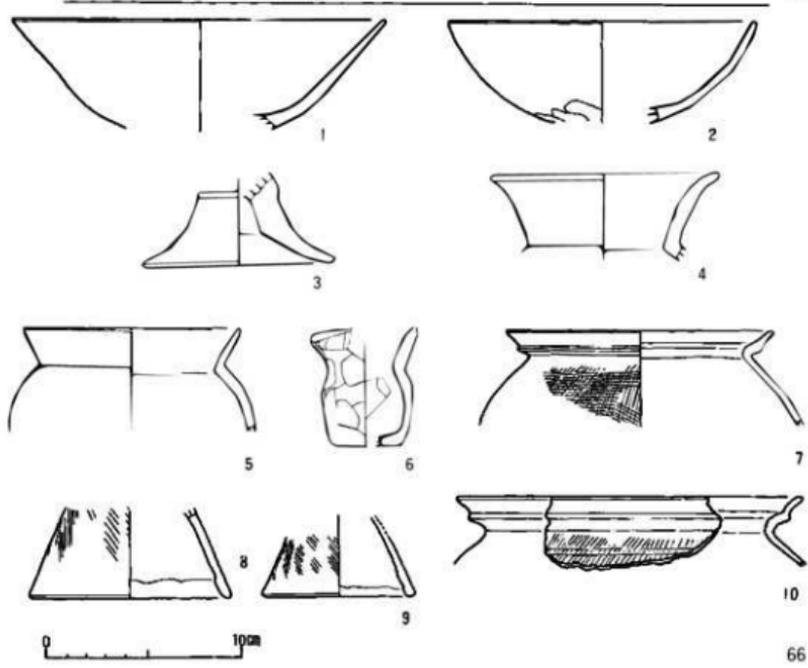
第195图 64号住居址出土土器(3)



第196图 64号住居址出土土器 (4)

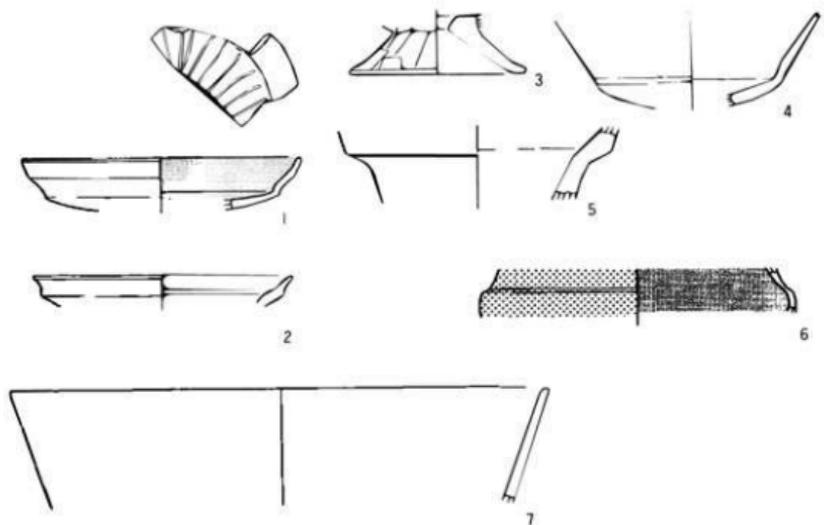


65

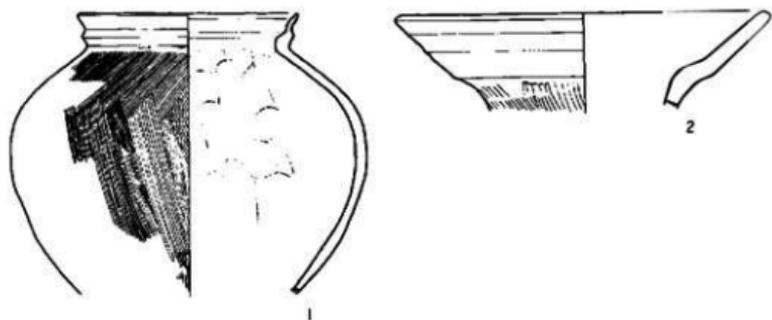


66

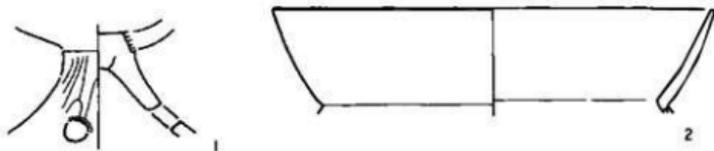
第197图 65、66号住居址出土土器



68

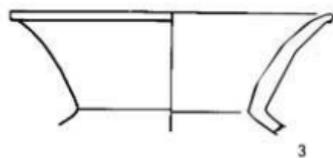


69



70-1

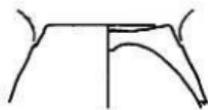
第 198 图 68、69、70号住居址出土土器



3



4



5

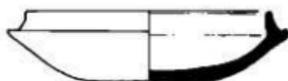


6

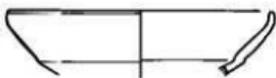


7

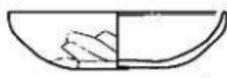
70-2



1



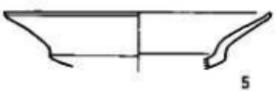
2



3



4



5



6

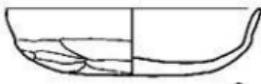
71



1



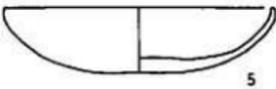
2



3



4



5

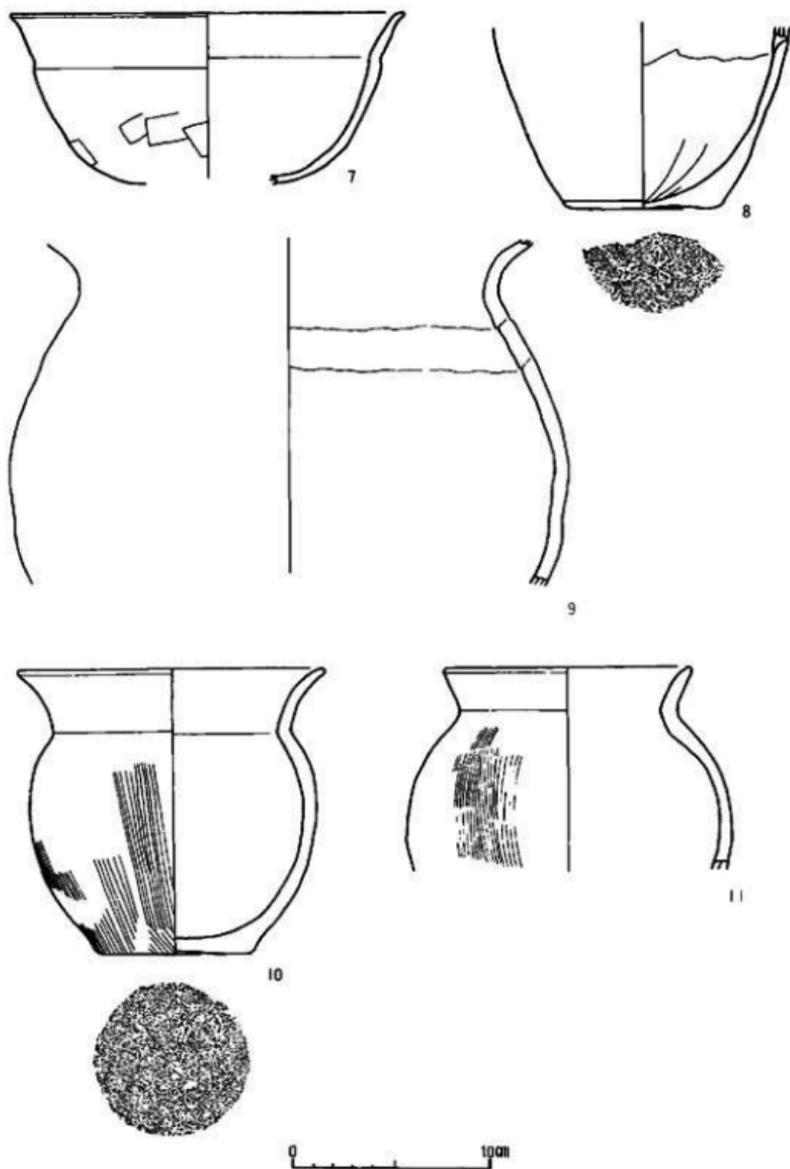


6

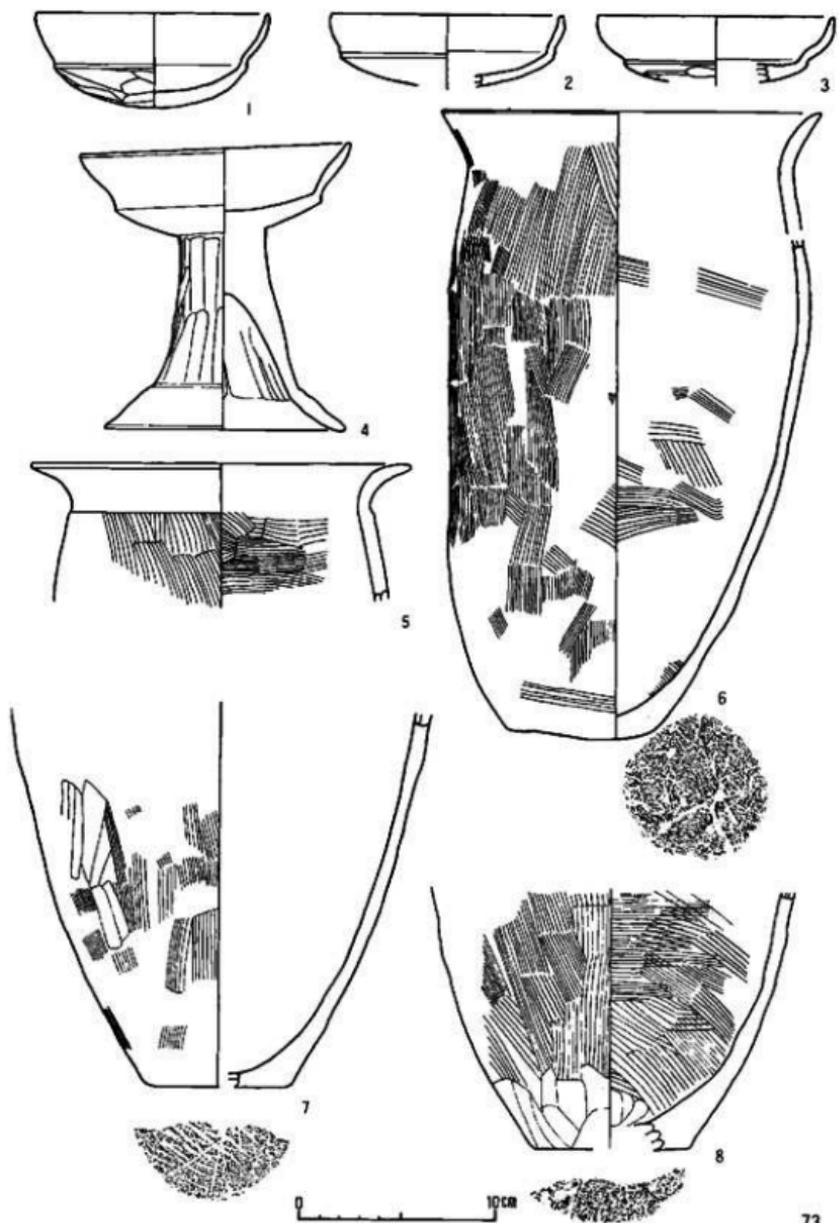


72-1

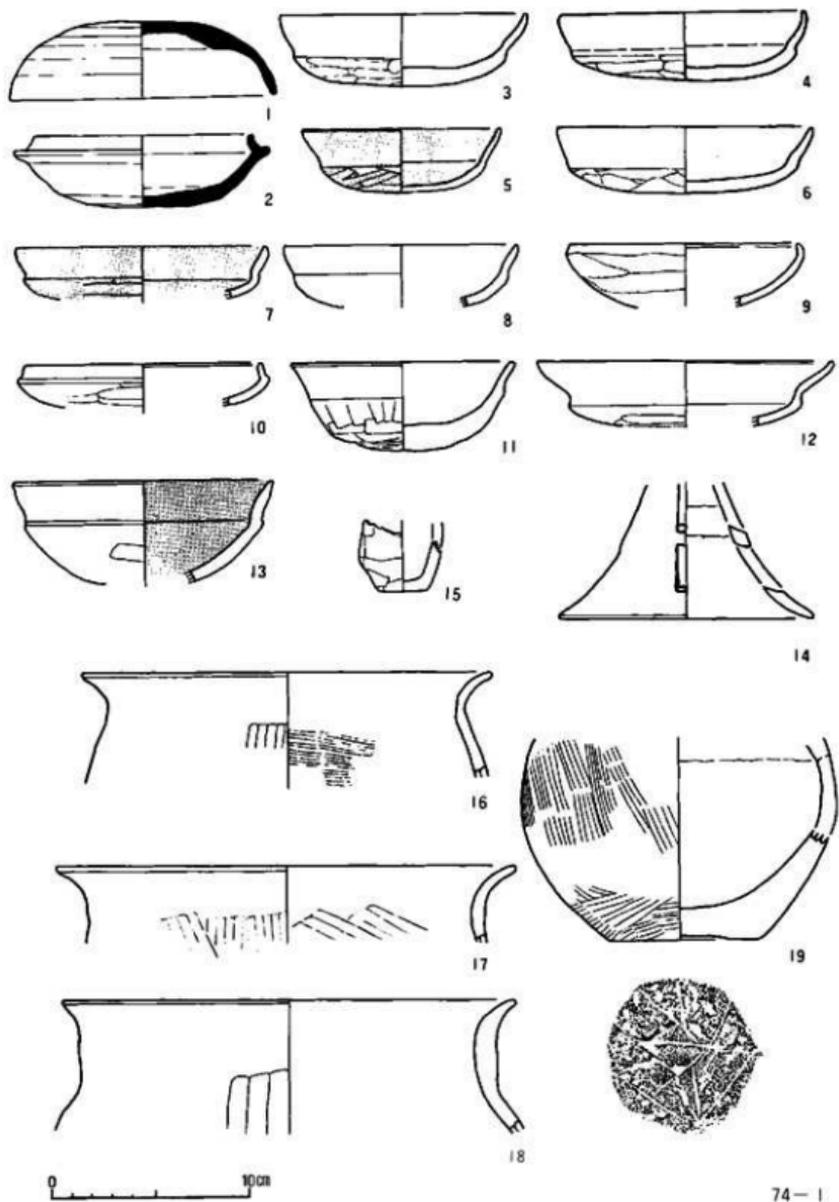
第199图 70、71、72号住居址出土土器



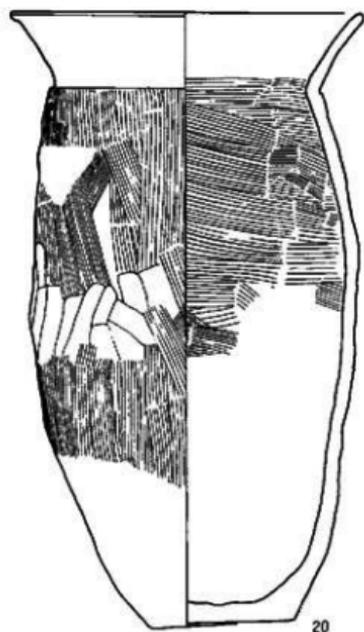
第 200 图 72号住居址出土土器 (2)



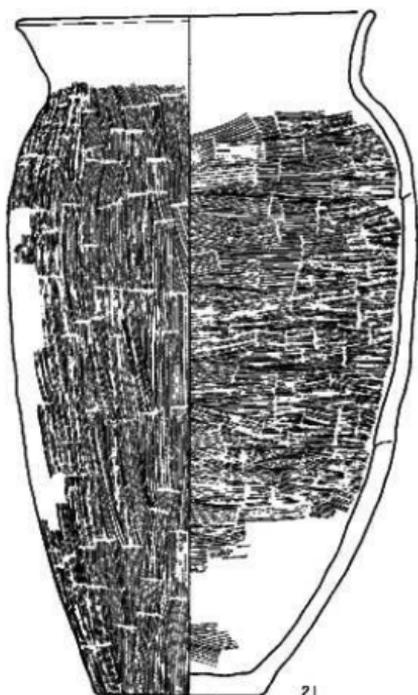
第 201 图 73号住居址出土土器



第 202 图 74号住居址出土土器 (1)



20



21

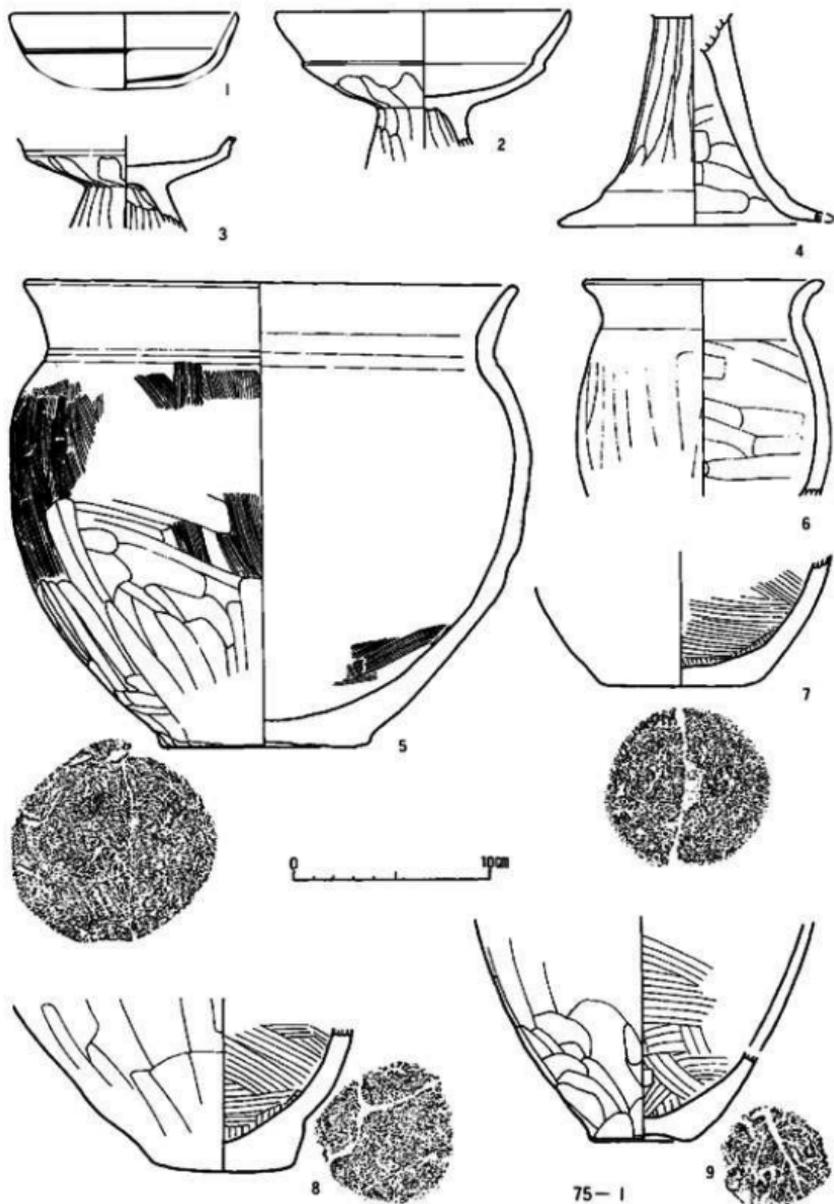


22

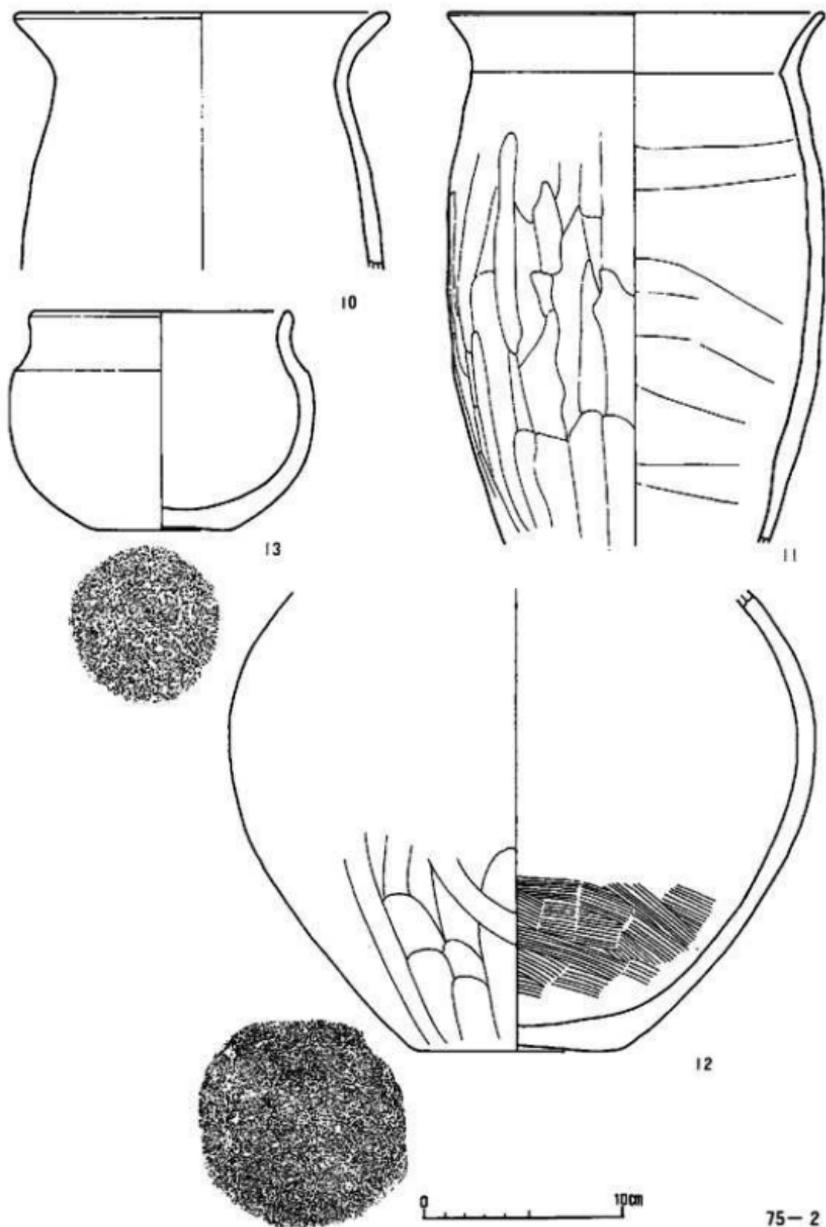


74-2

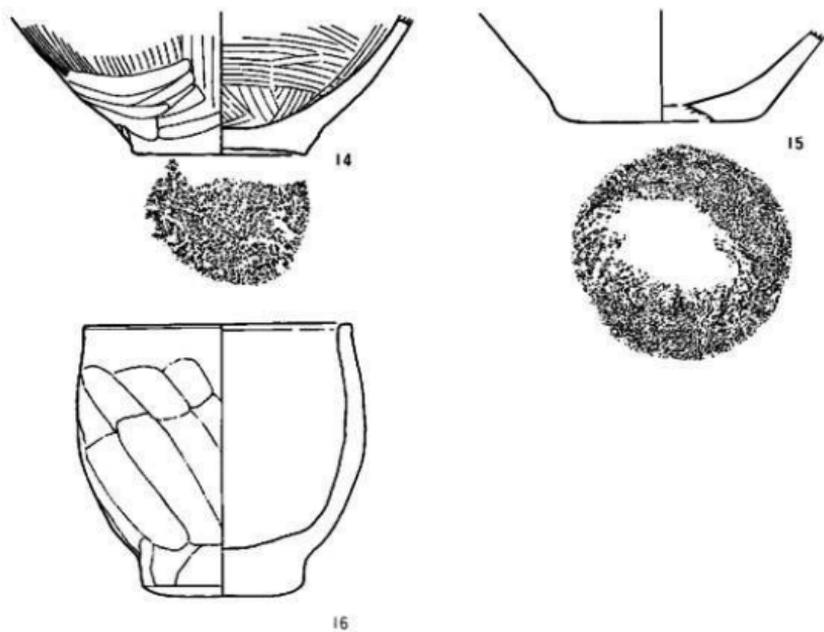
第 203 图 74号住居址出土土器 (2)



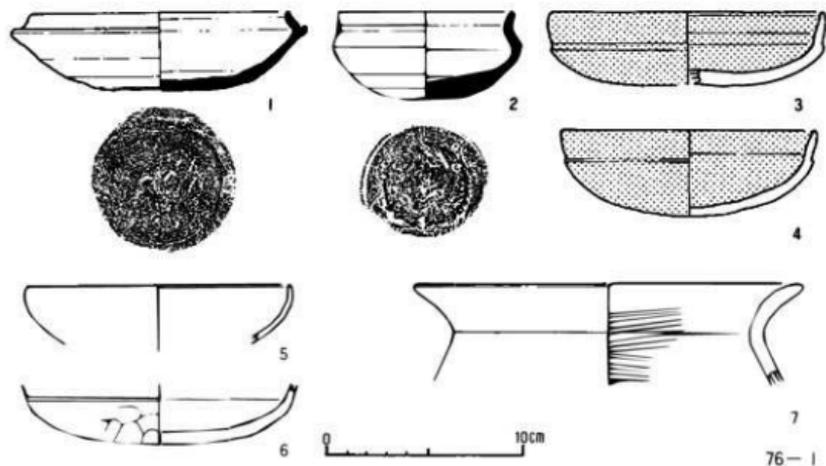
第 204 图 75号住居址出土土器 (1)



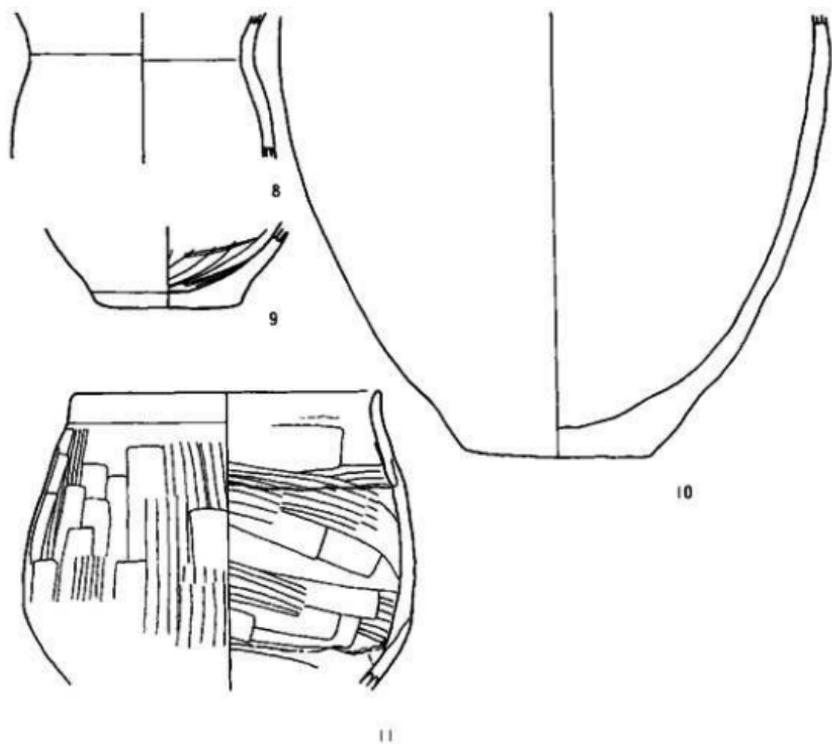
第 205 图 75号住居址出土土器 (2)



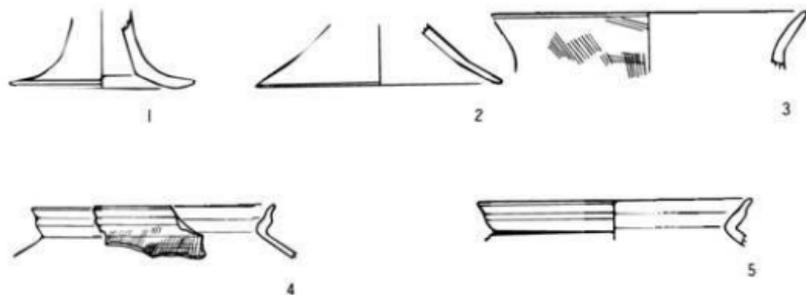
75-3



第 206 图 75、76号住居址出土土器

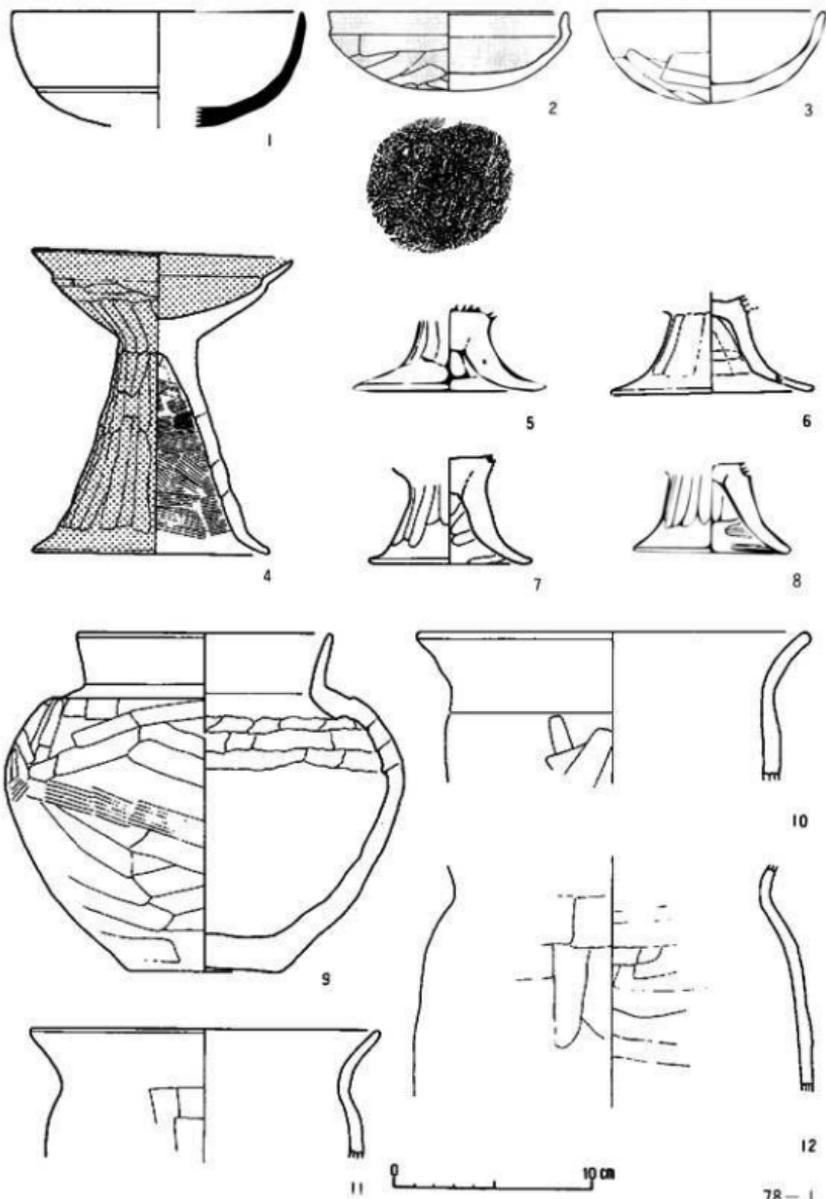


76-2

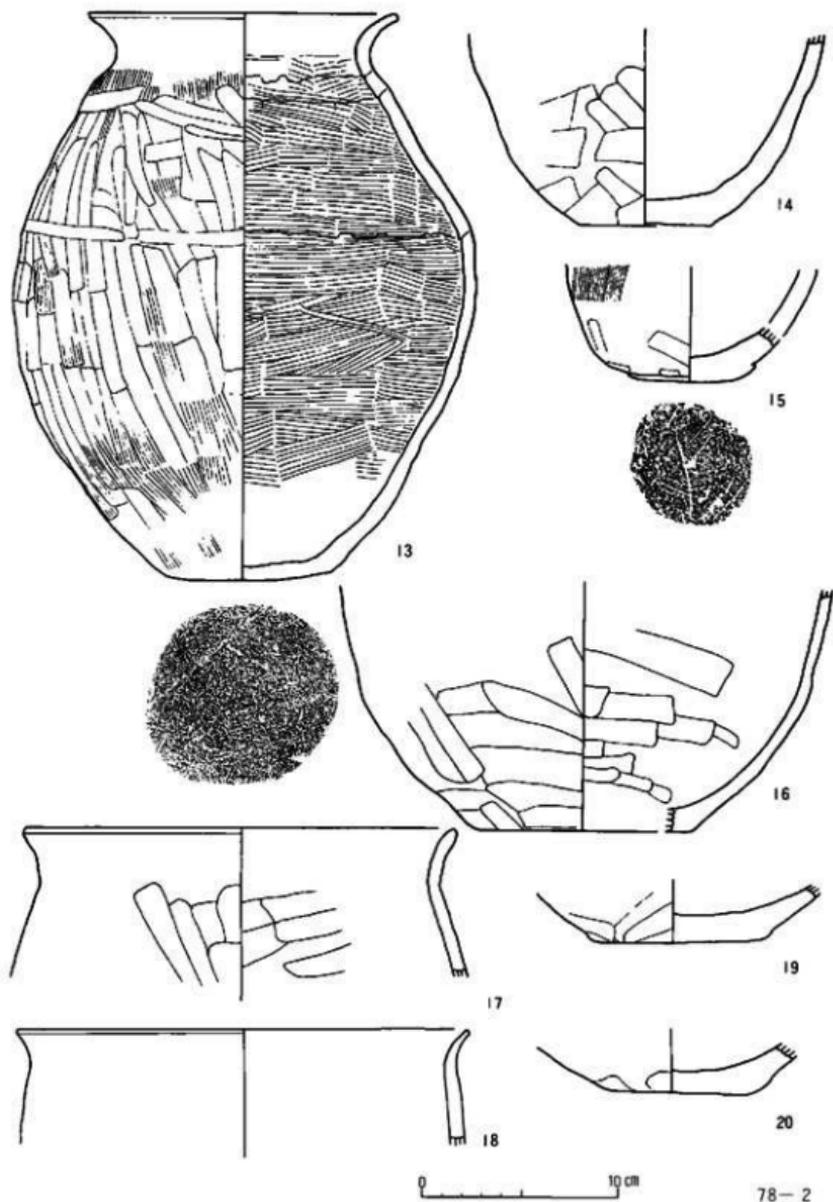


77

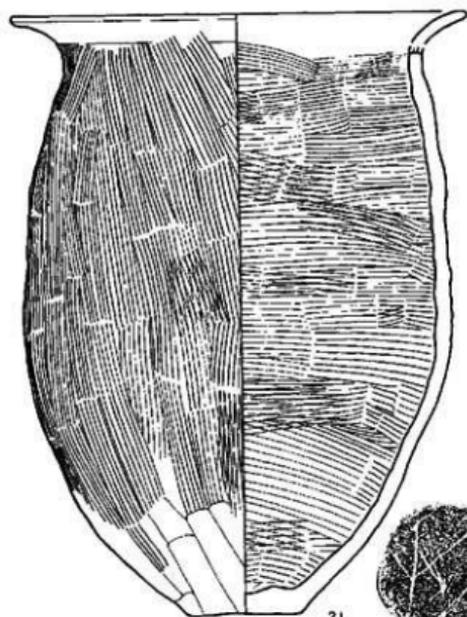
第 207 图 76、77号住居址出土土器



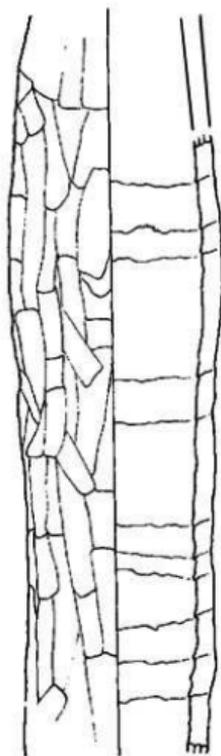
第 208 图 78 号住居址出土土器 (1)



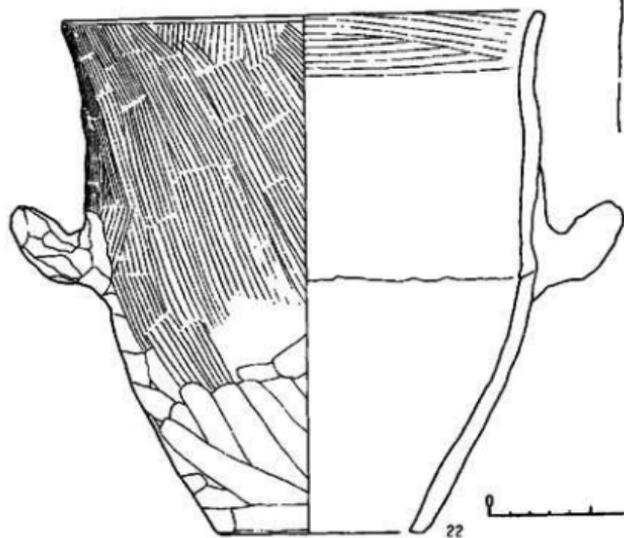
第 209 图 78号住居址出土土器 (2)



21



23

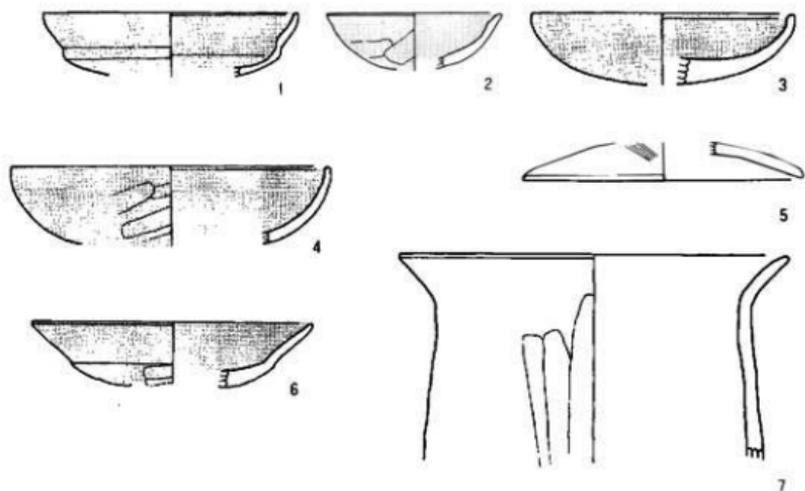


22

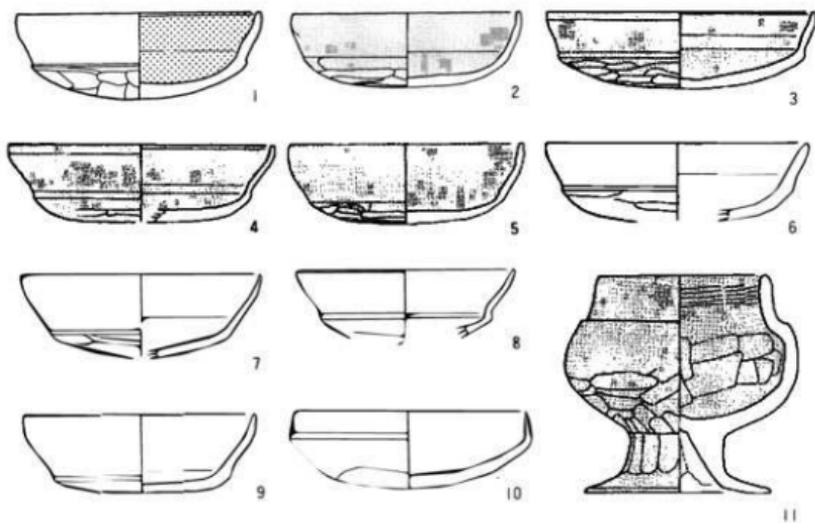
0 10 cm

78-3

第210图 78号住居址出土土器(3)

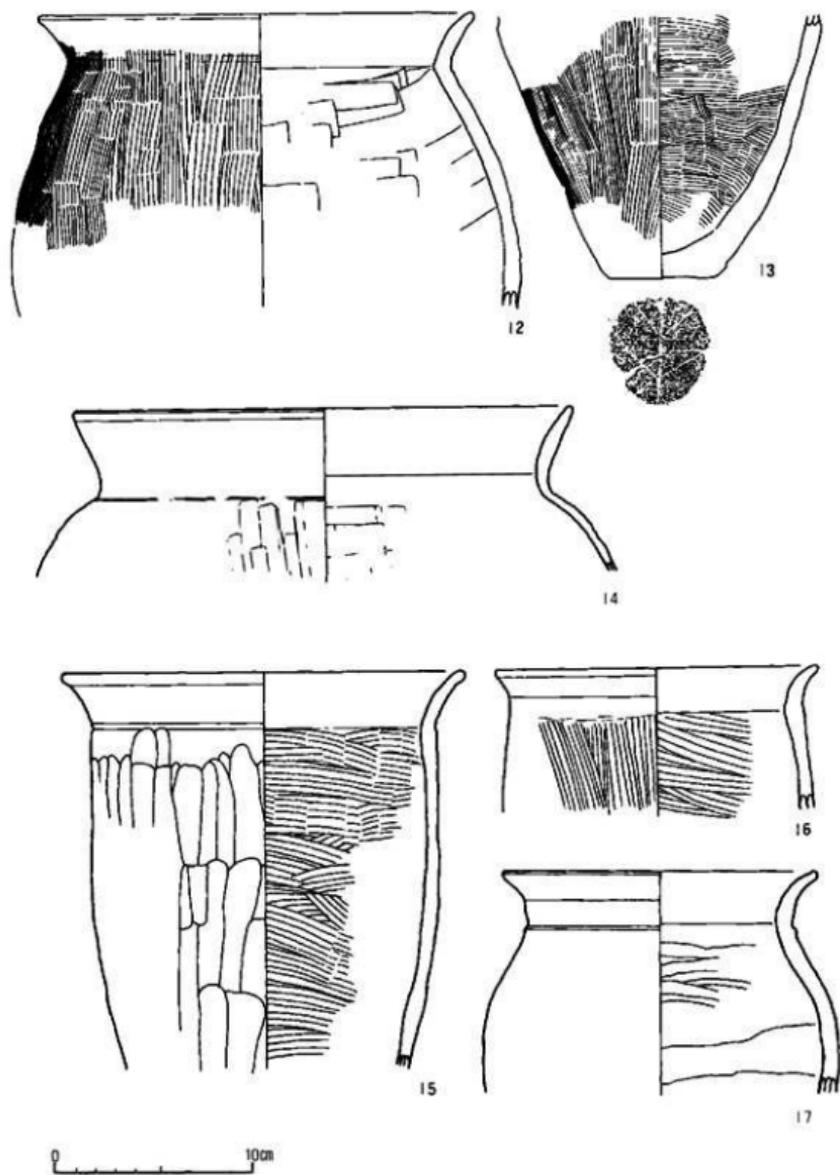


79



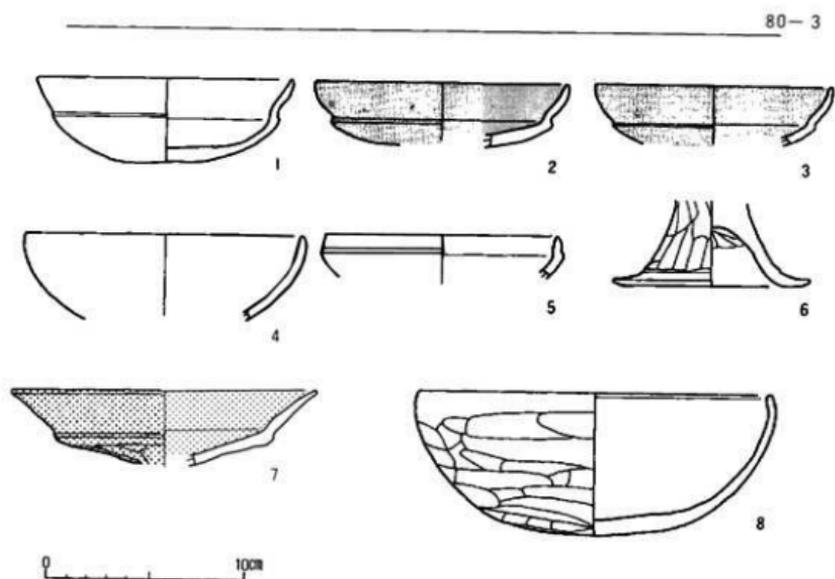
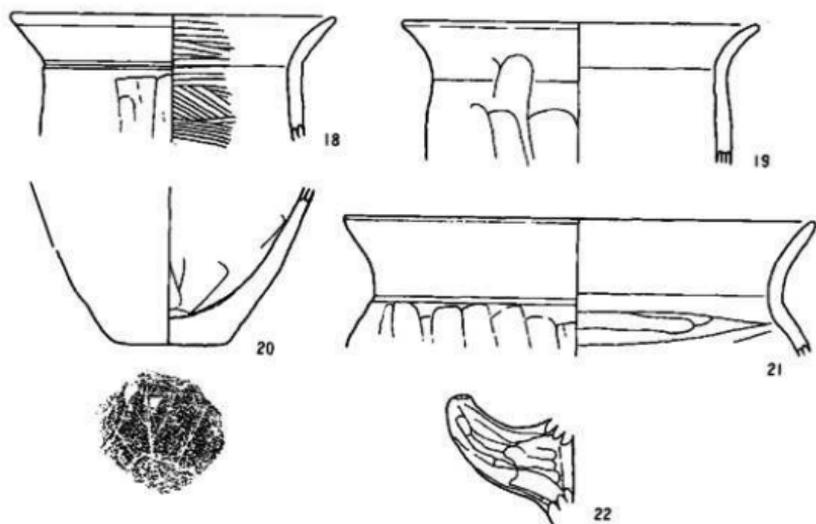
80-1

第 211 图 79、80号住居址出土土器

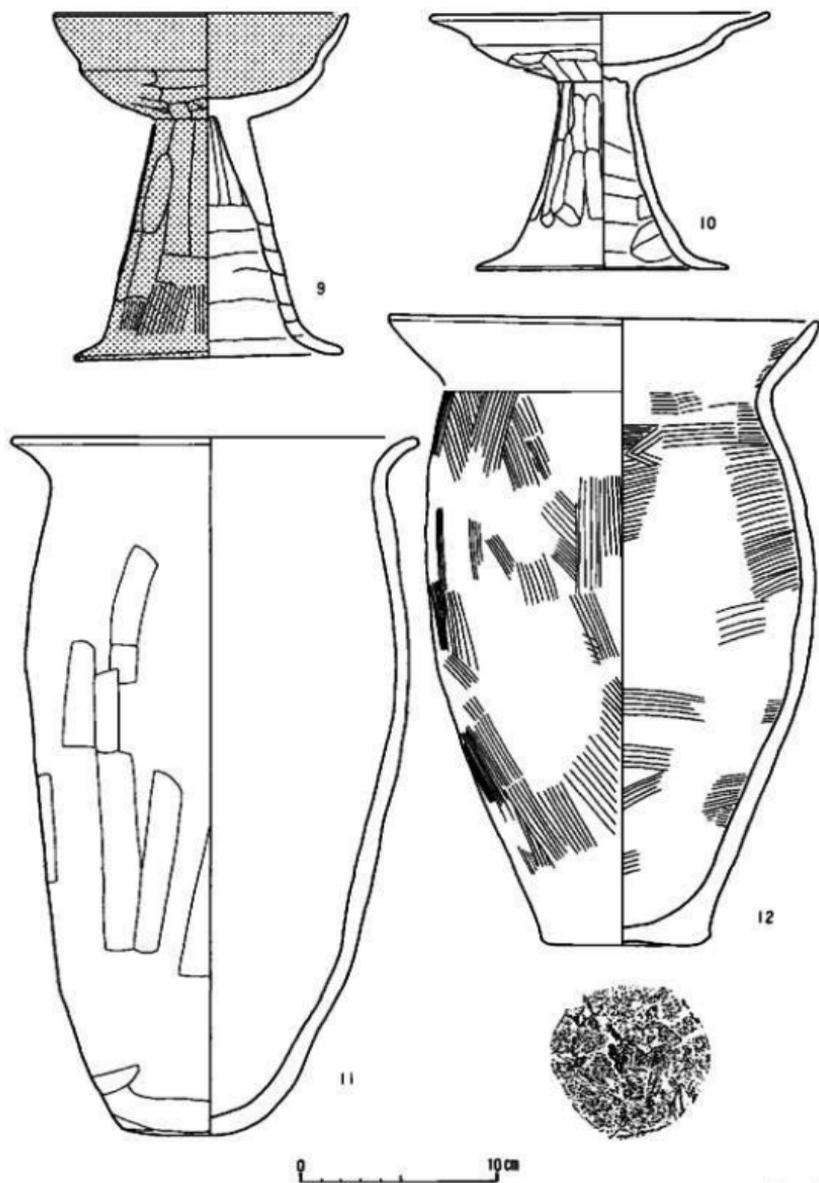


80-2

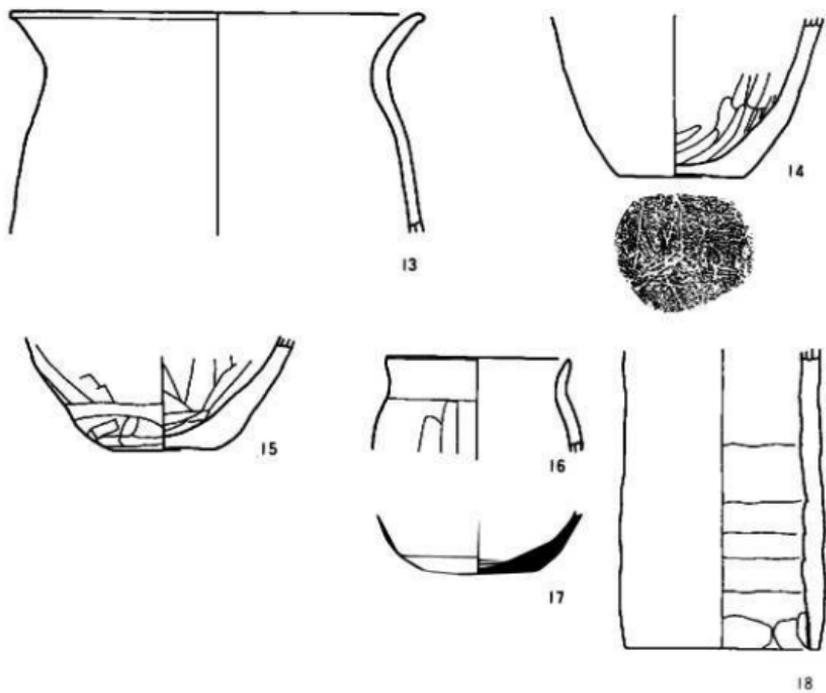
第212图 80号住居址出土土器(2)



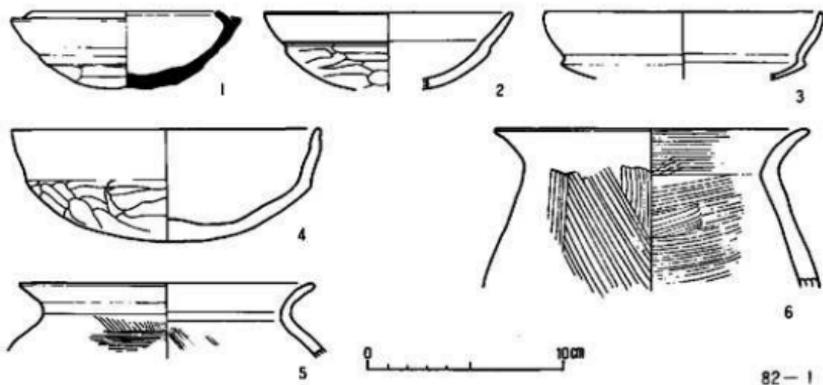
第 213 图 80、81号住居址出土土器



第 214 图 81号住居址出土土器 (1)

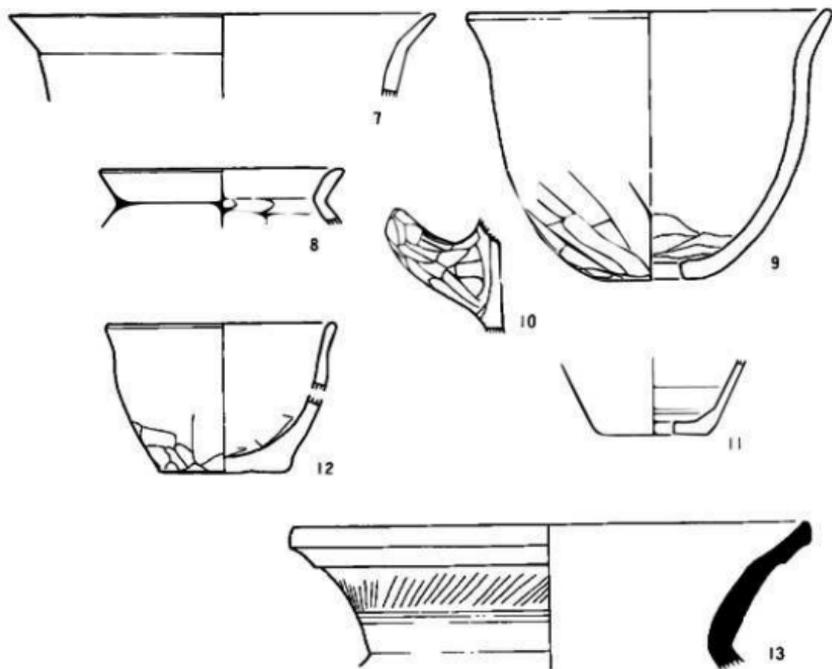


81-3

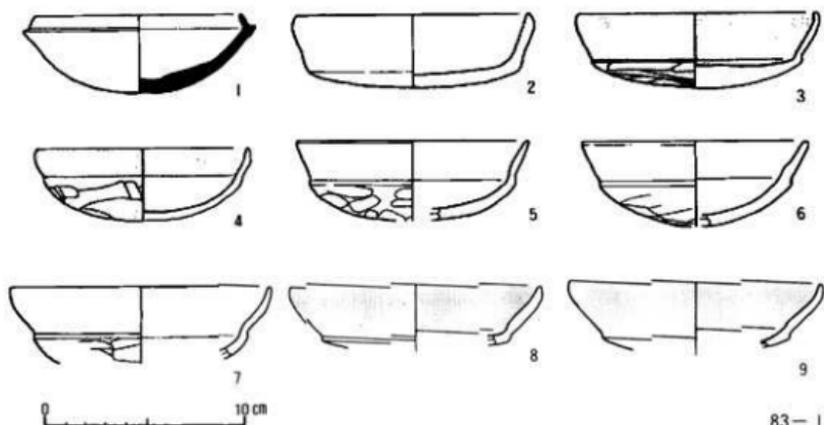


82-1

第 215 图 81、82号住居址出土土器

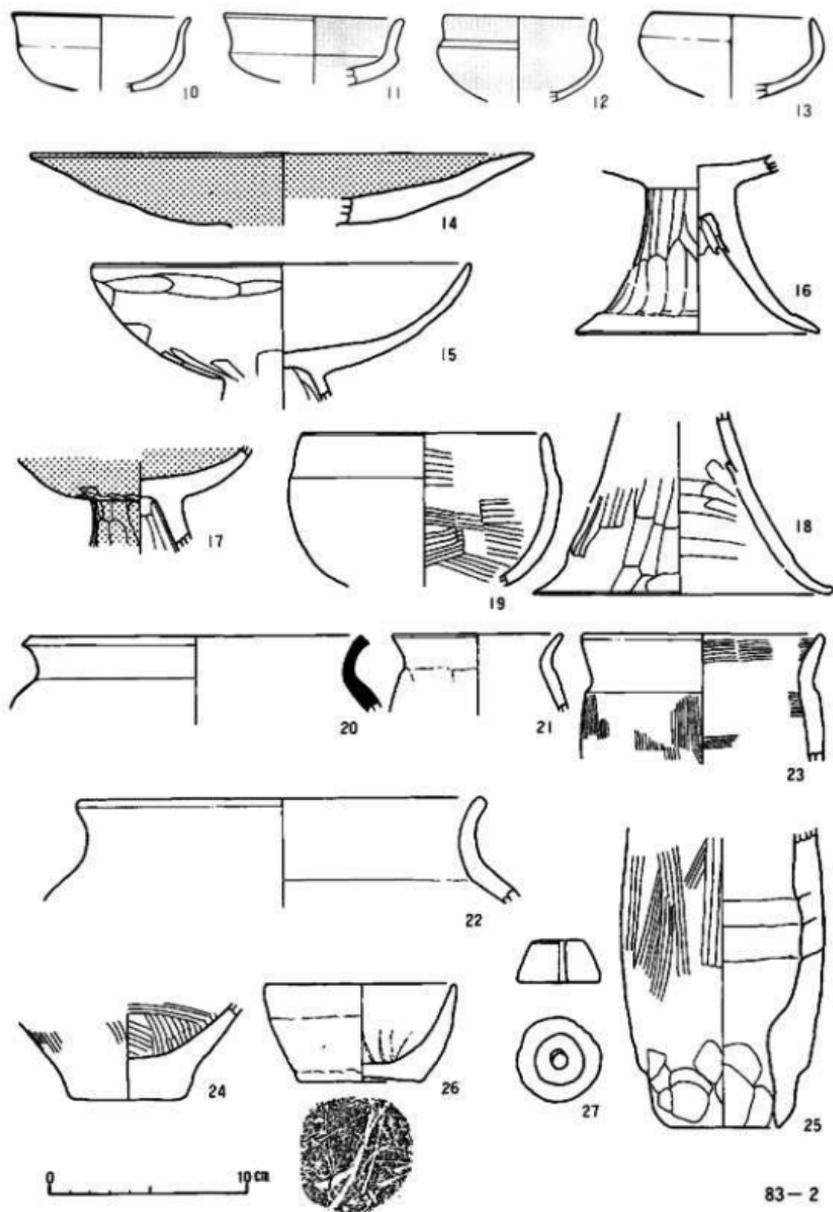


82-2

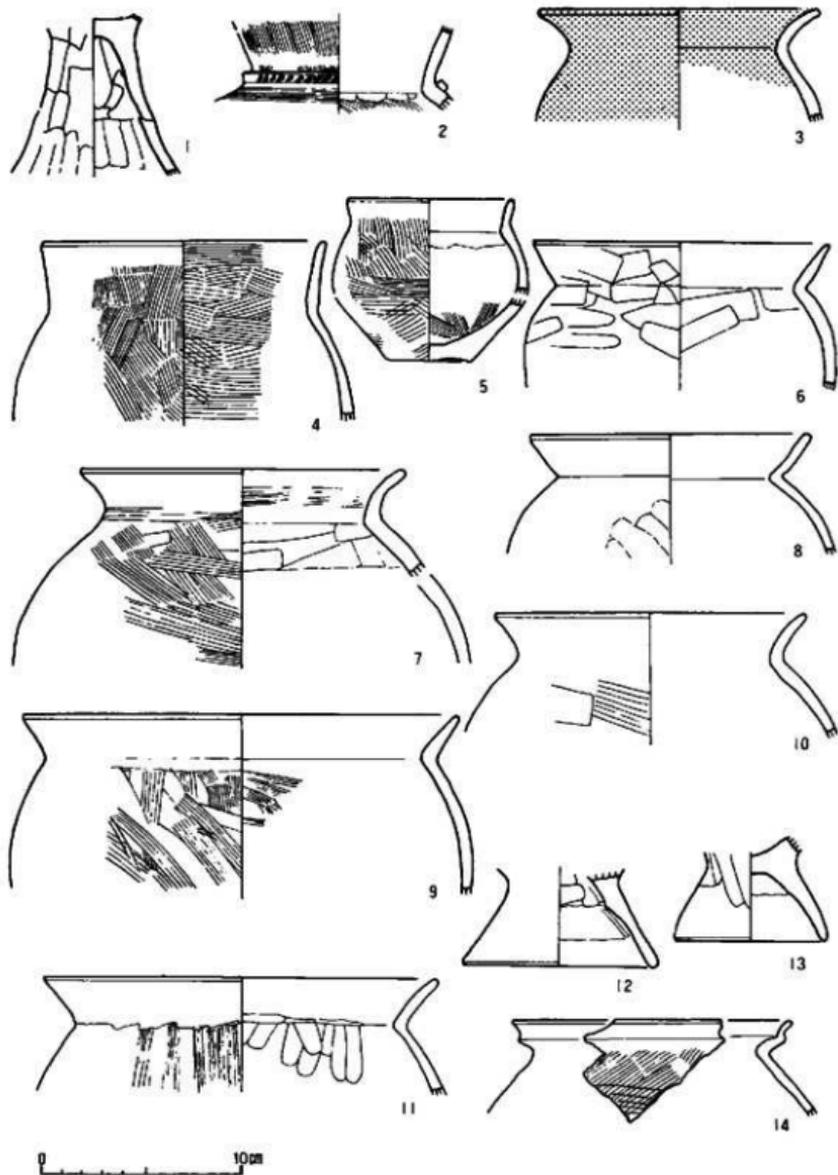


83-1

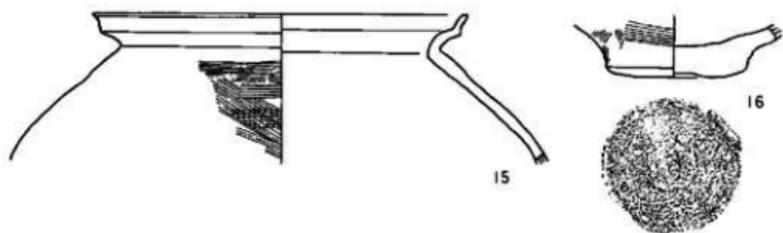
第 216 图 82、83号住居址出土土器



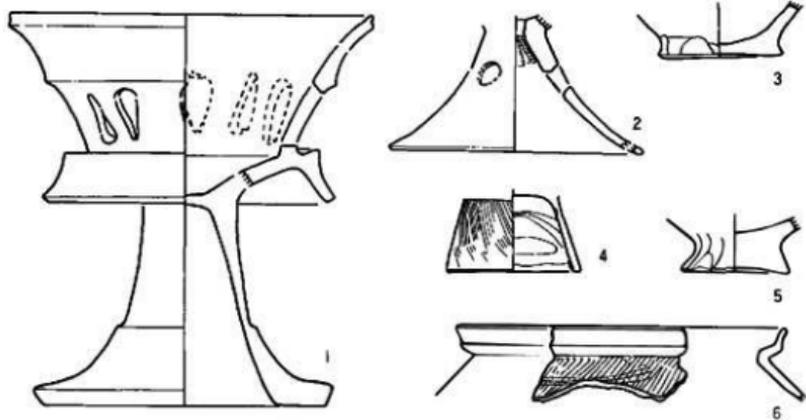
第 217 图 83号住居址出土土器 (2)



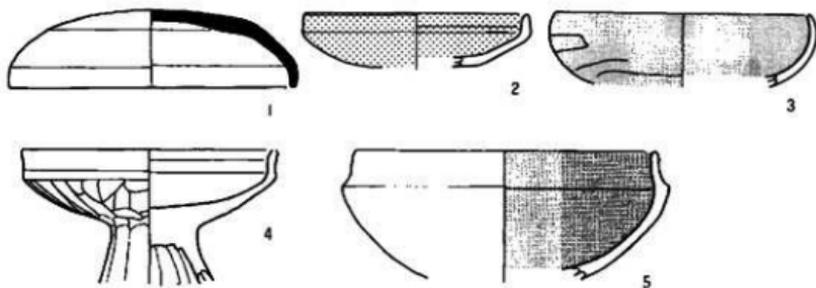
第 218 图 84号住居址出土土器 (1)



84-2



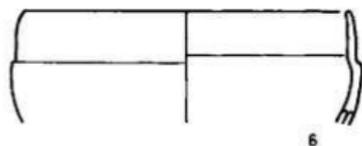
85



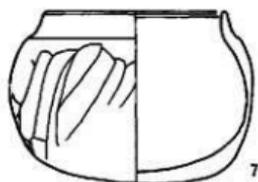
0 10 cm

86-1

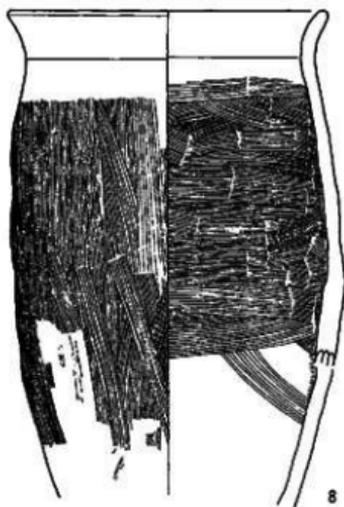
第219图 84、85、86号住居址出土土器



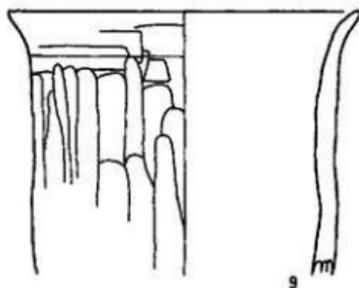
6



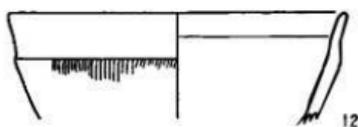
7



8



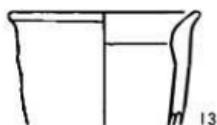
9



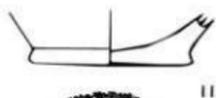
12



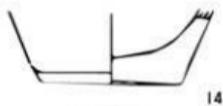
10



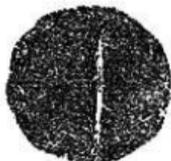
13



11

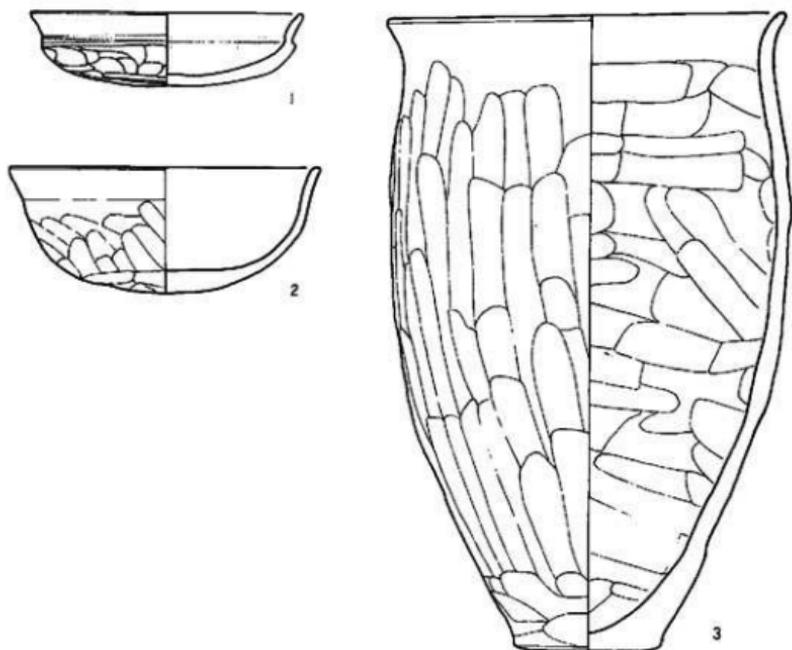


14

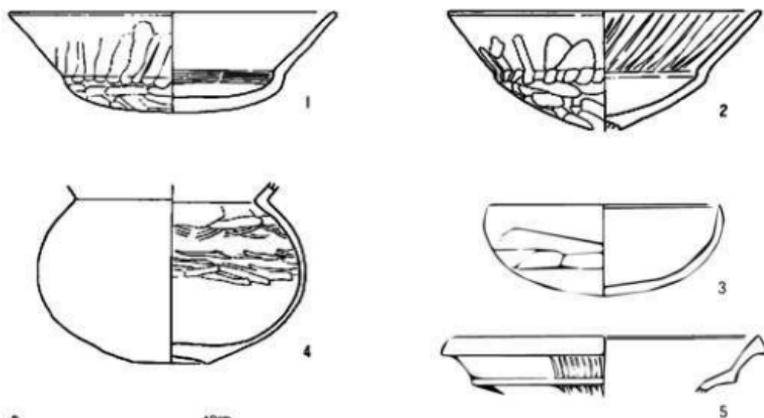


86-2

第 220 图 86号住居址出土土器 (2)

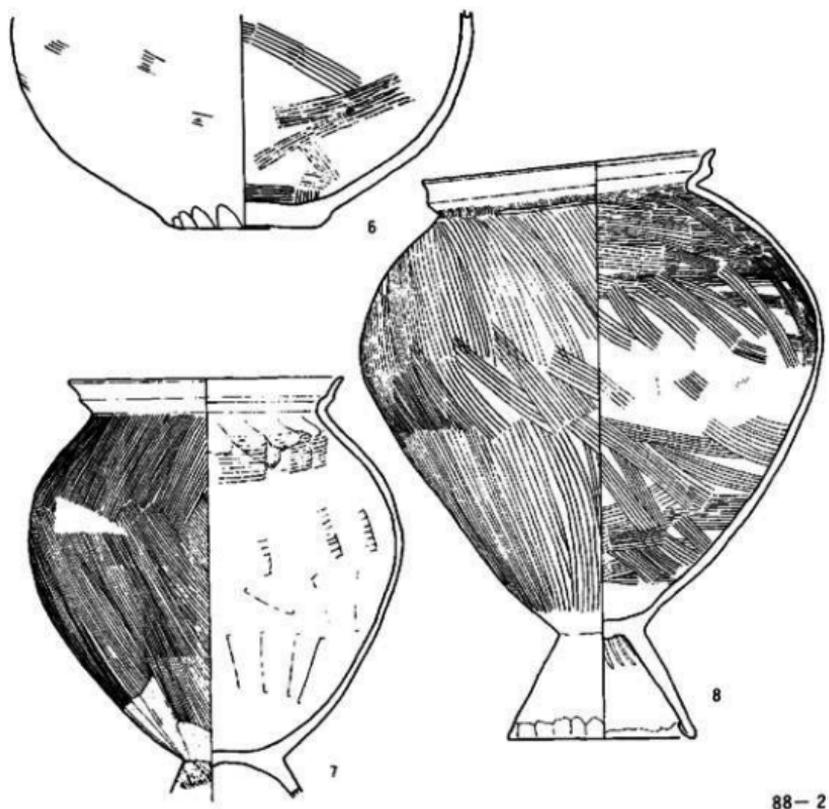


87

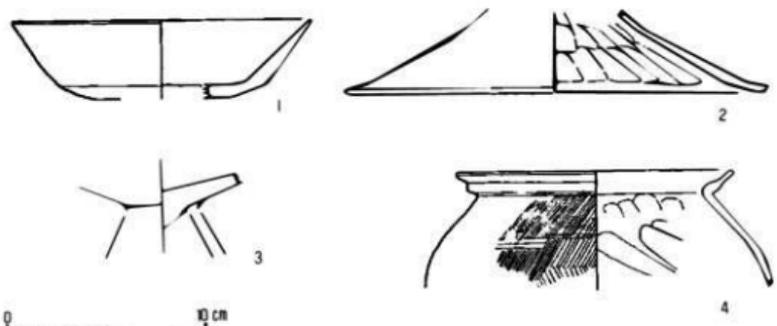


88-1

第 221 图 87、88号住居址出土土器

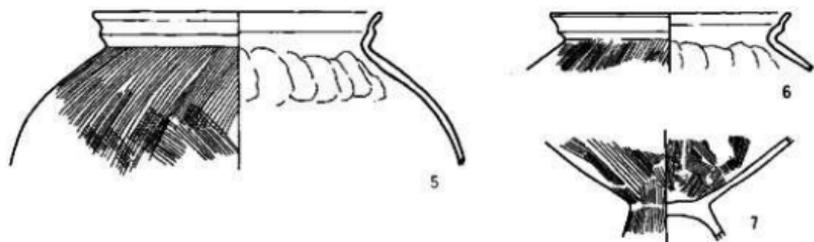


88-2

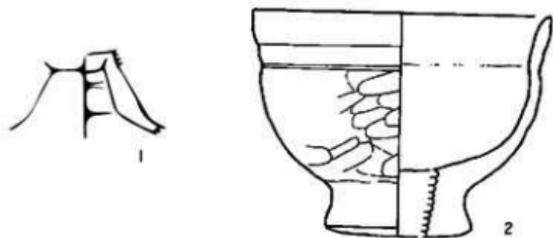


89-1

第 222 图 88、89号住居出土土器



89-2



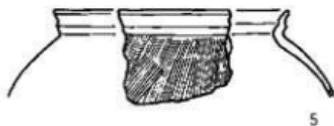
90



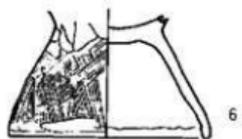
3



4



5

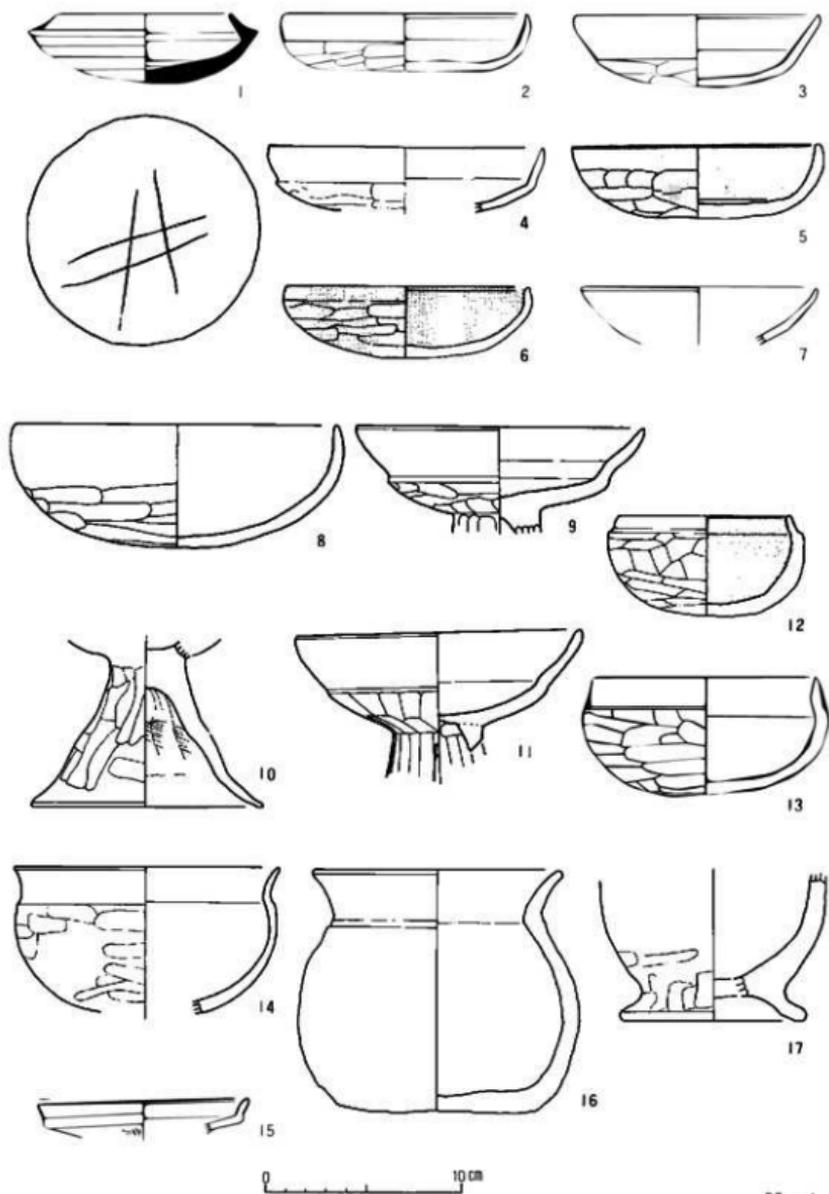


6



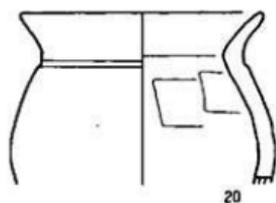
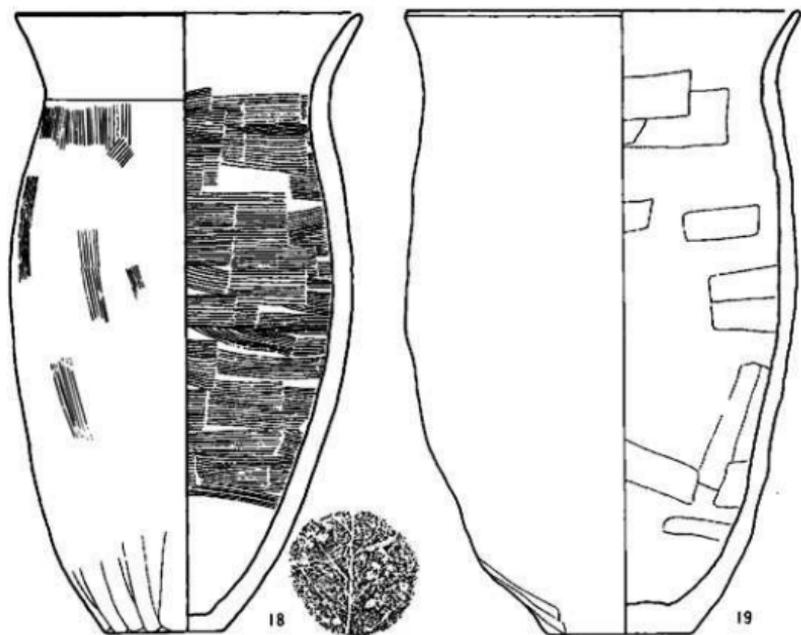
91

第 223 图 89、90、91号住居址出土土器

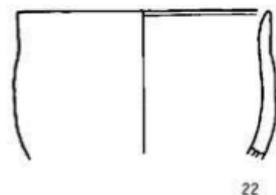


第 224 图 92 号住居址出土土器 (1)

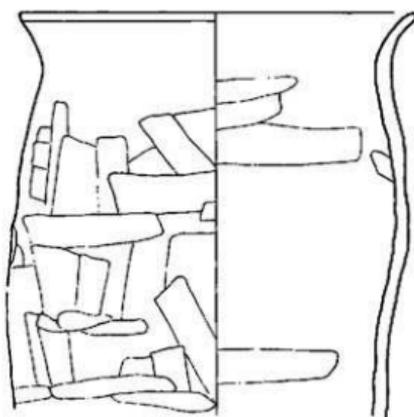
92-1



20



22

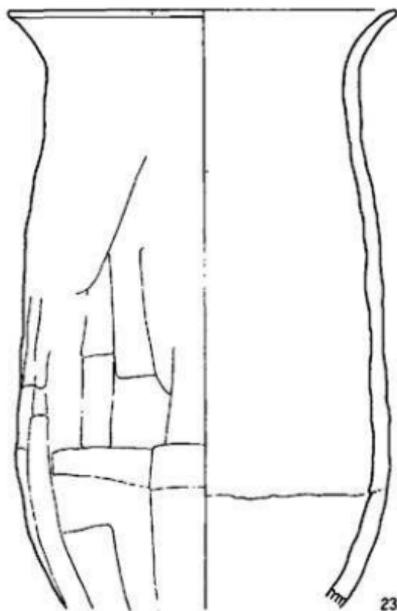


21

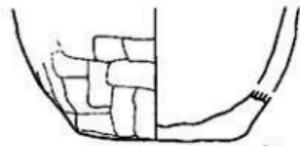


92-2

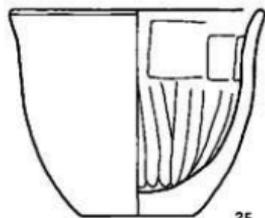
第 225 图 92号住居址出土土器 (2)



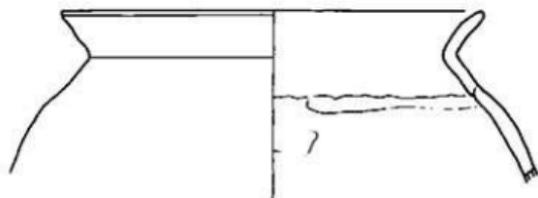
23



24



25

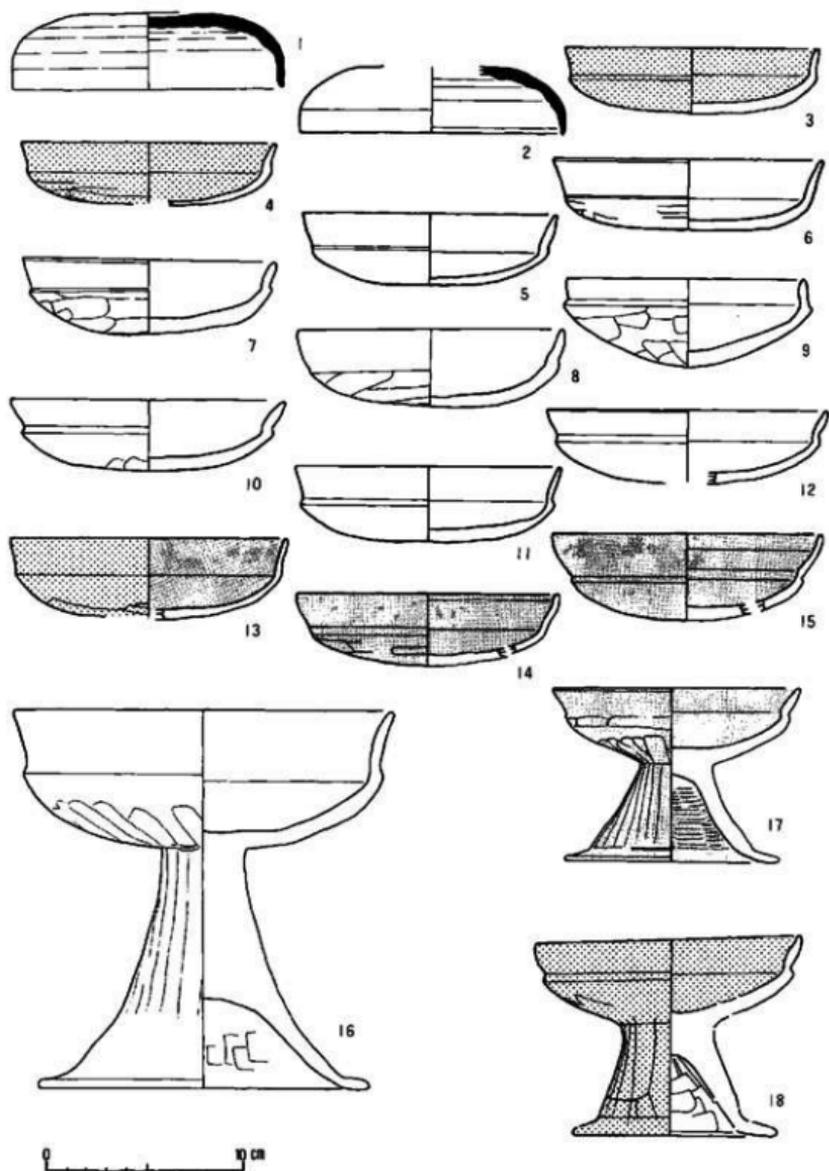


26



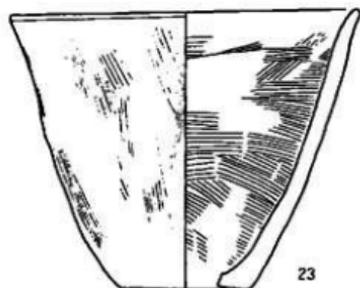
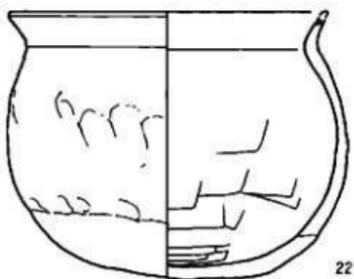
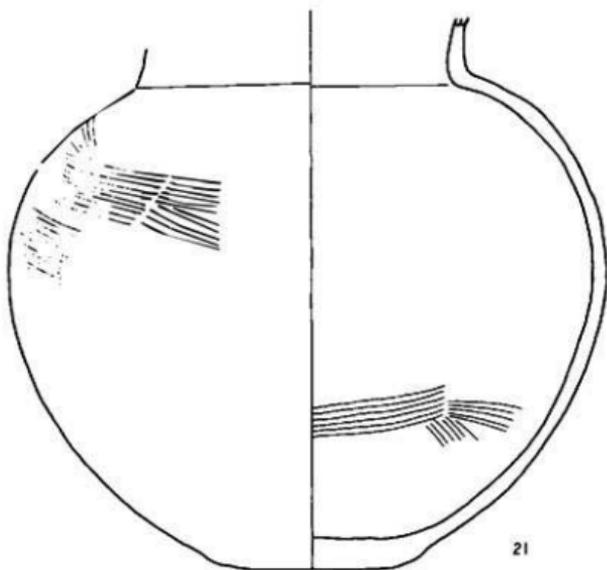
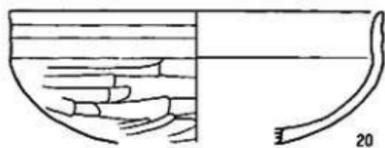
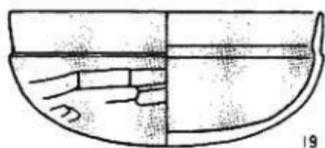
92-3

第 226 图 92号住居址出土土器 (3)



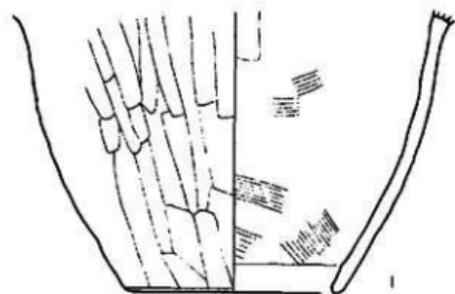
93-1

第 227 图 93 号住居址出土土器 (1)

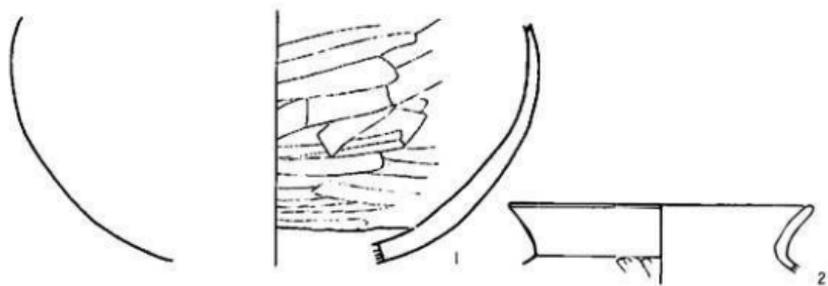


93-2

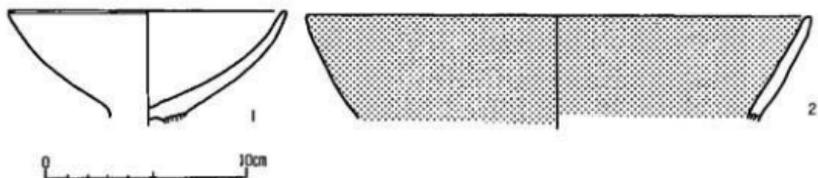
第 228 图 93号住居址出土土器 (2)



94

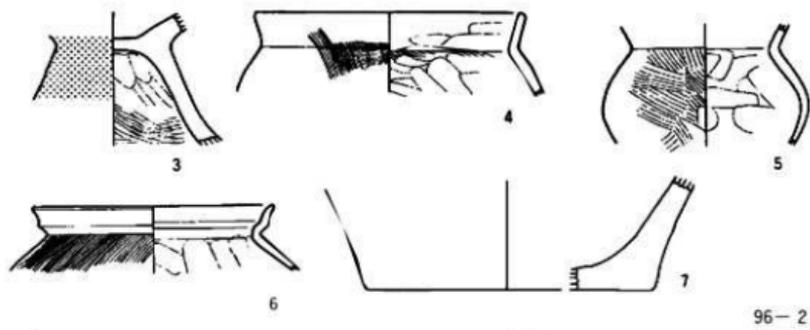


95

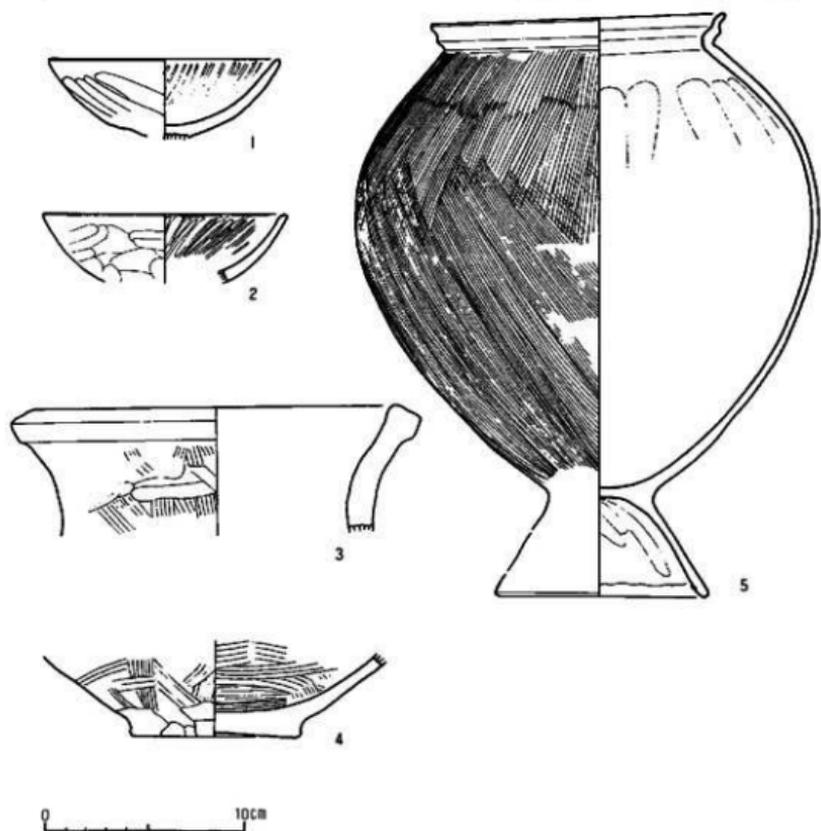


96-1

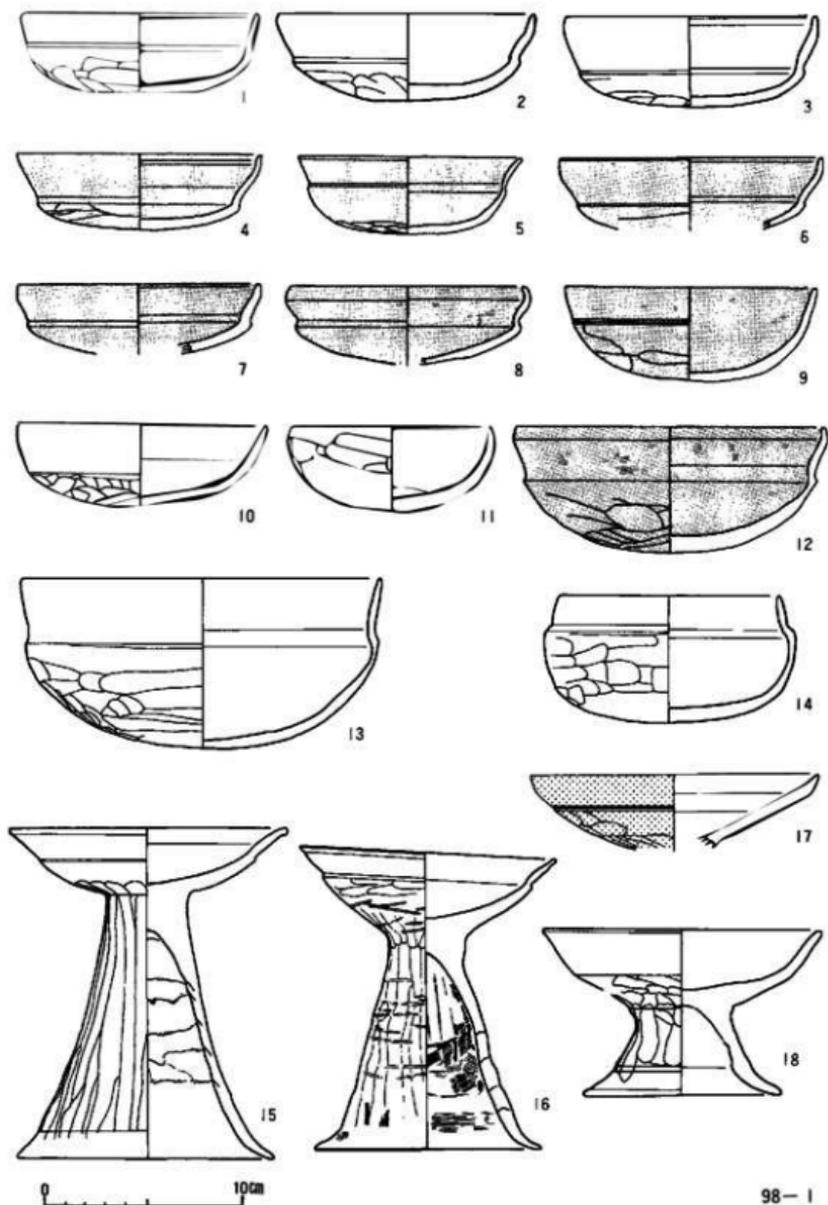
第229图 94、95、96号住居址出土土器



96-2

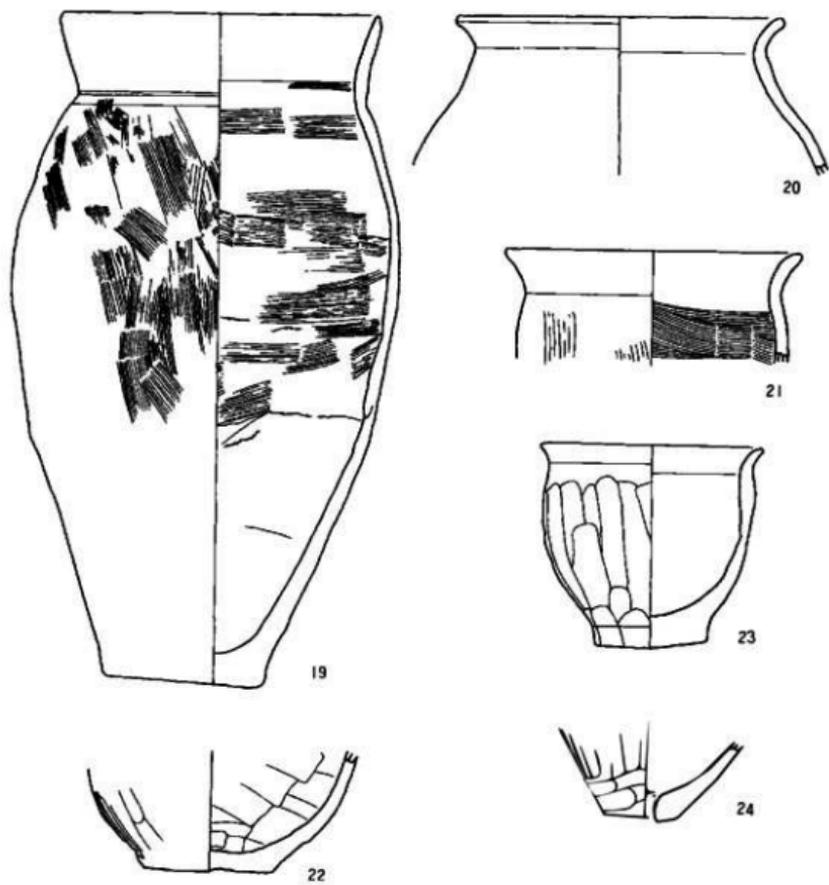


第230图 96、97号住居址出土土器

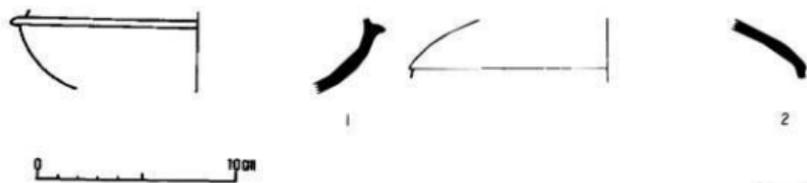


98-1

第 231 图 98 号住居址出土土器 (1)

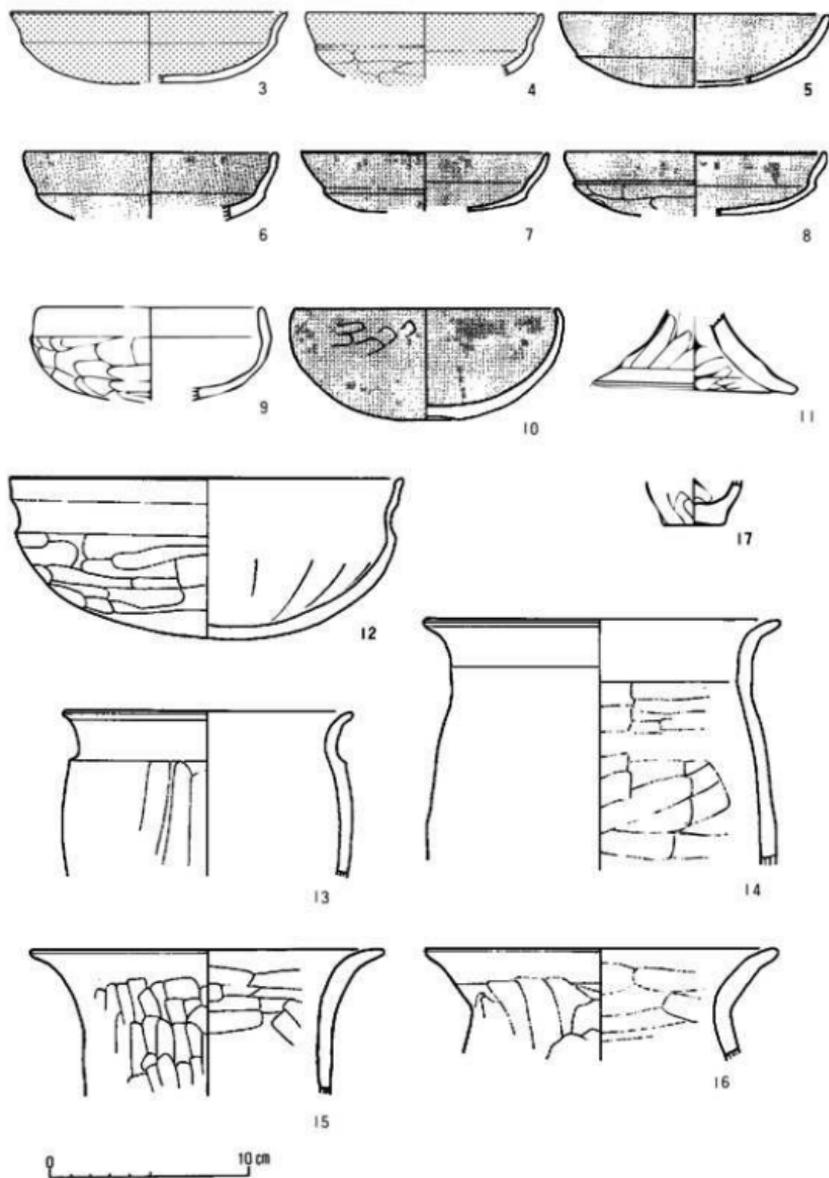


98-2



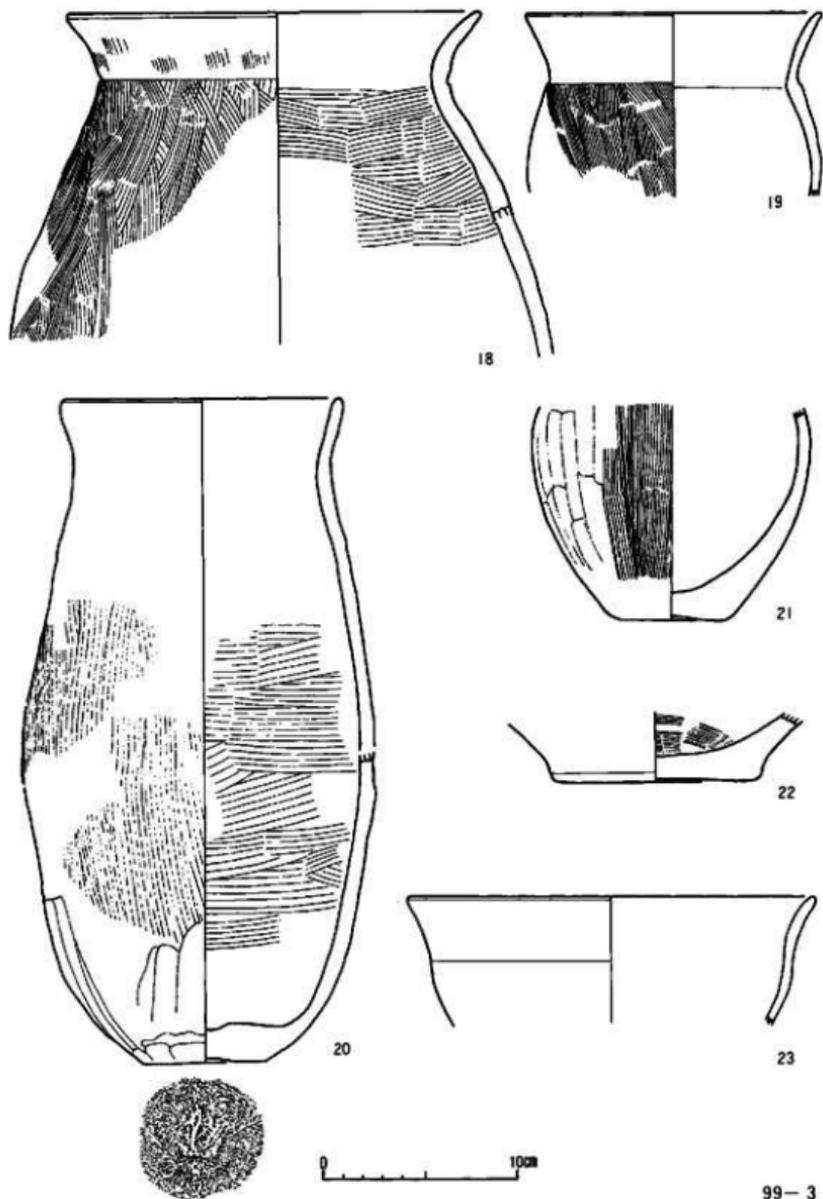
99-1

第 232 图 98、99号住居址出土土器



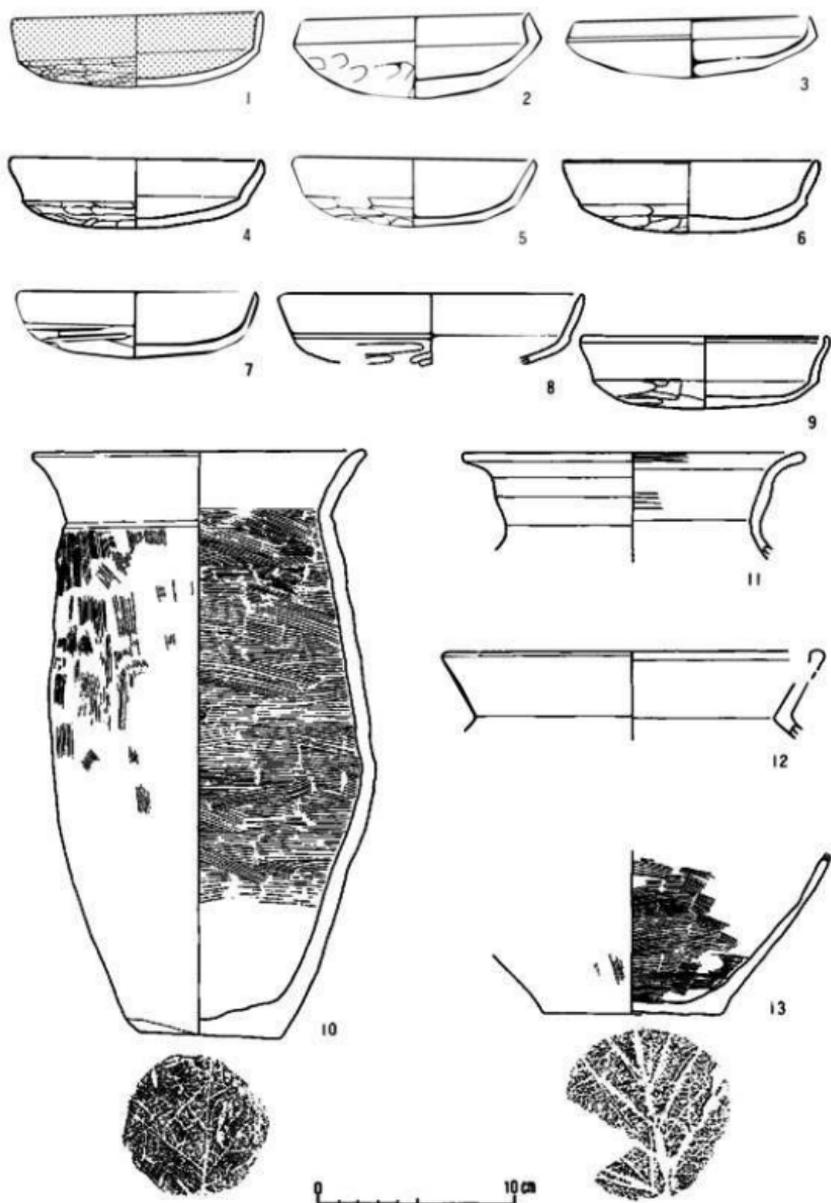
99-2

第 233 图 99号住居址出土土器 (2)



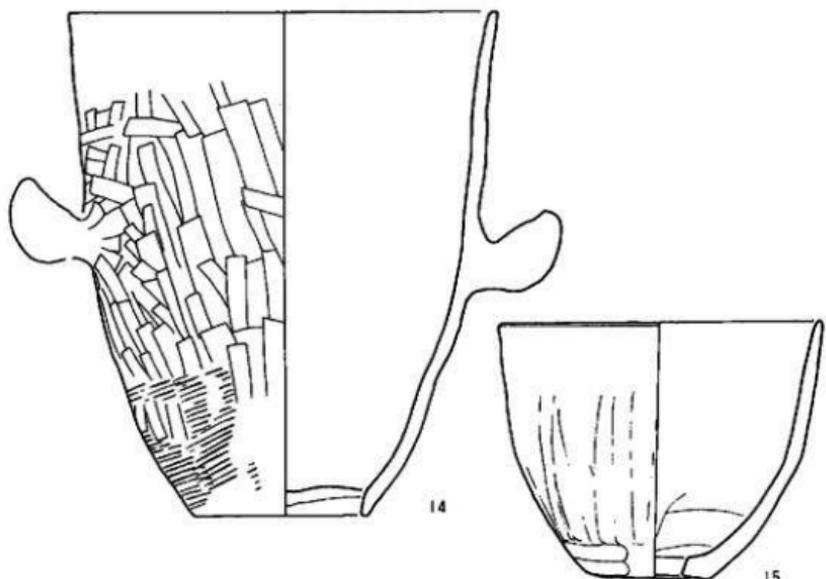
99-3

第 234 图 99号住居址出土土器 (3)

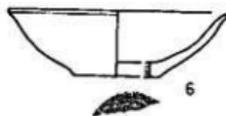
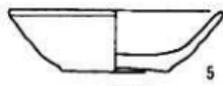
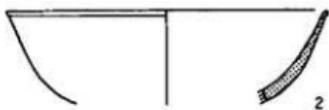
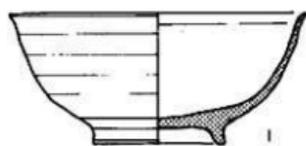


100-1

第 235 图 100 号住居址出土土器 (1)



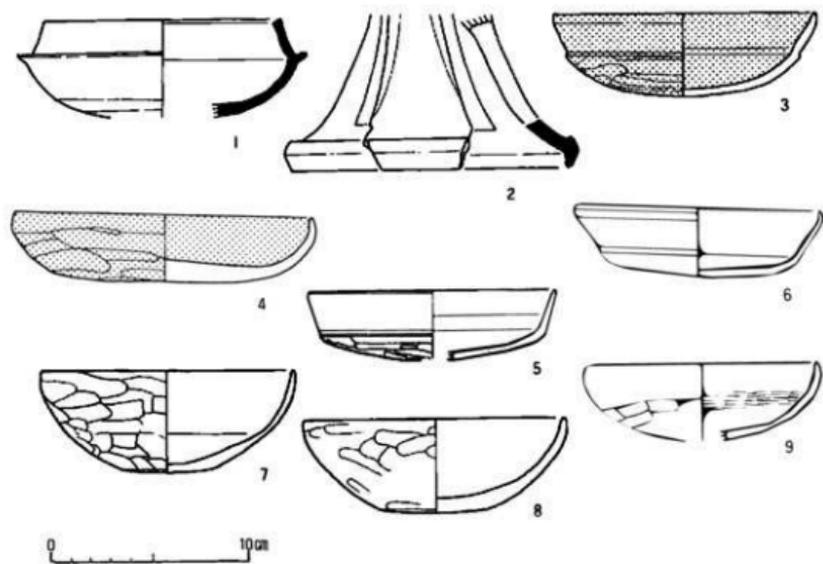
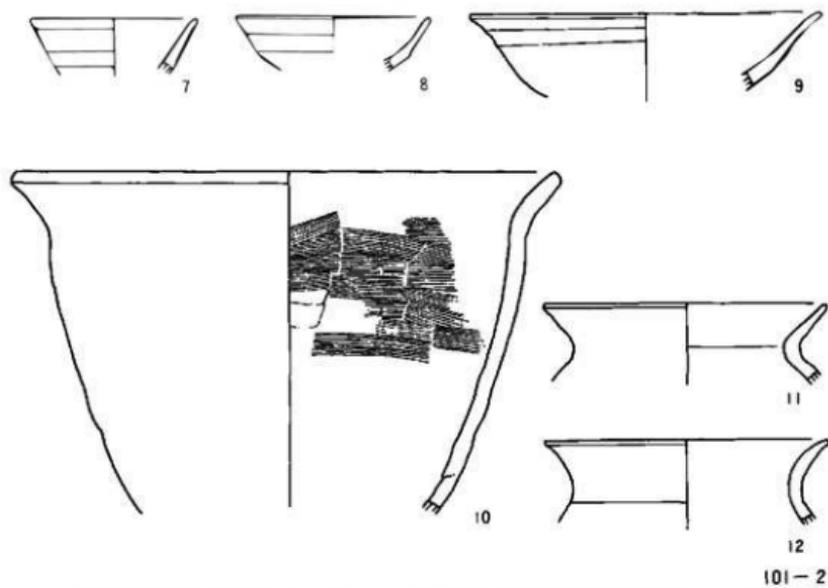
15
100-2



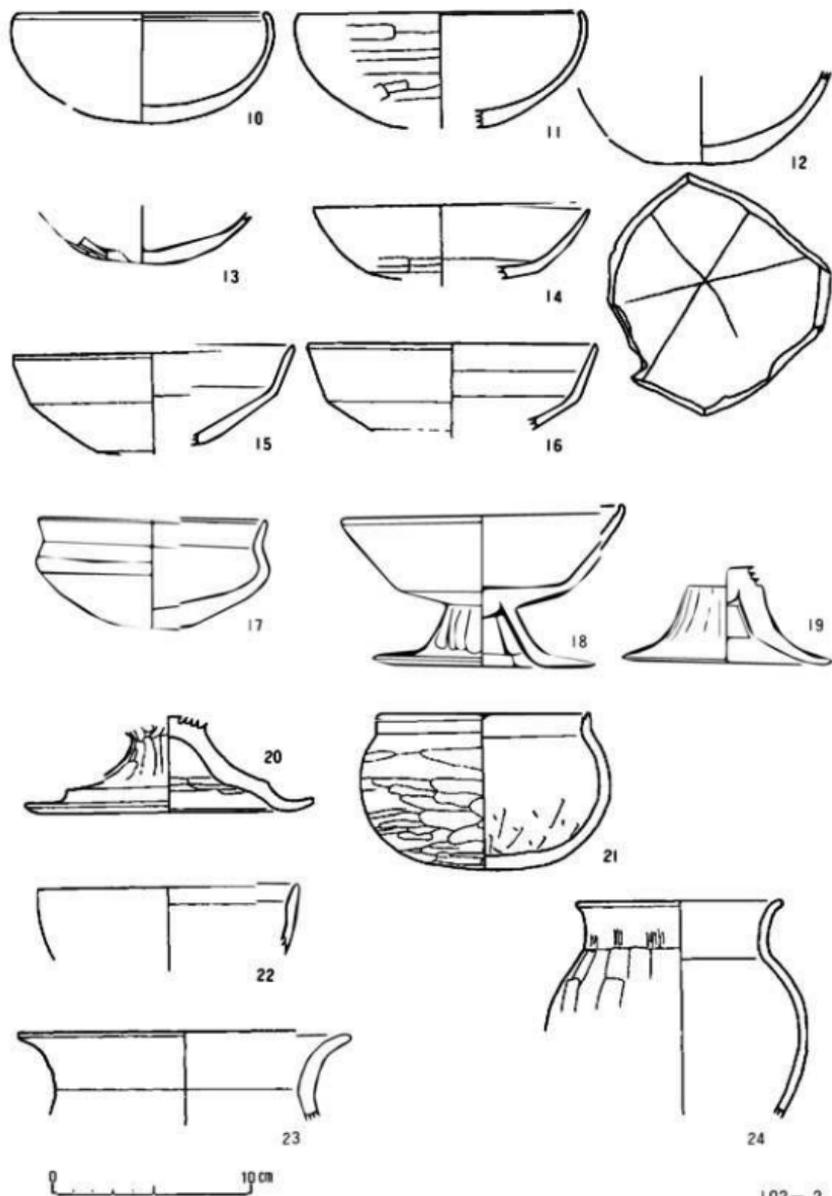
0 10cm

101-1

第 238 图 100、101 号住居址出土土器

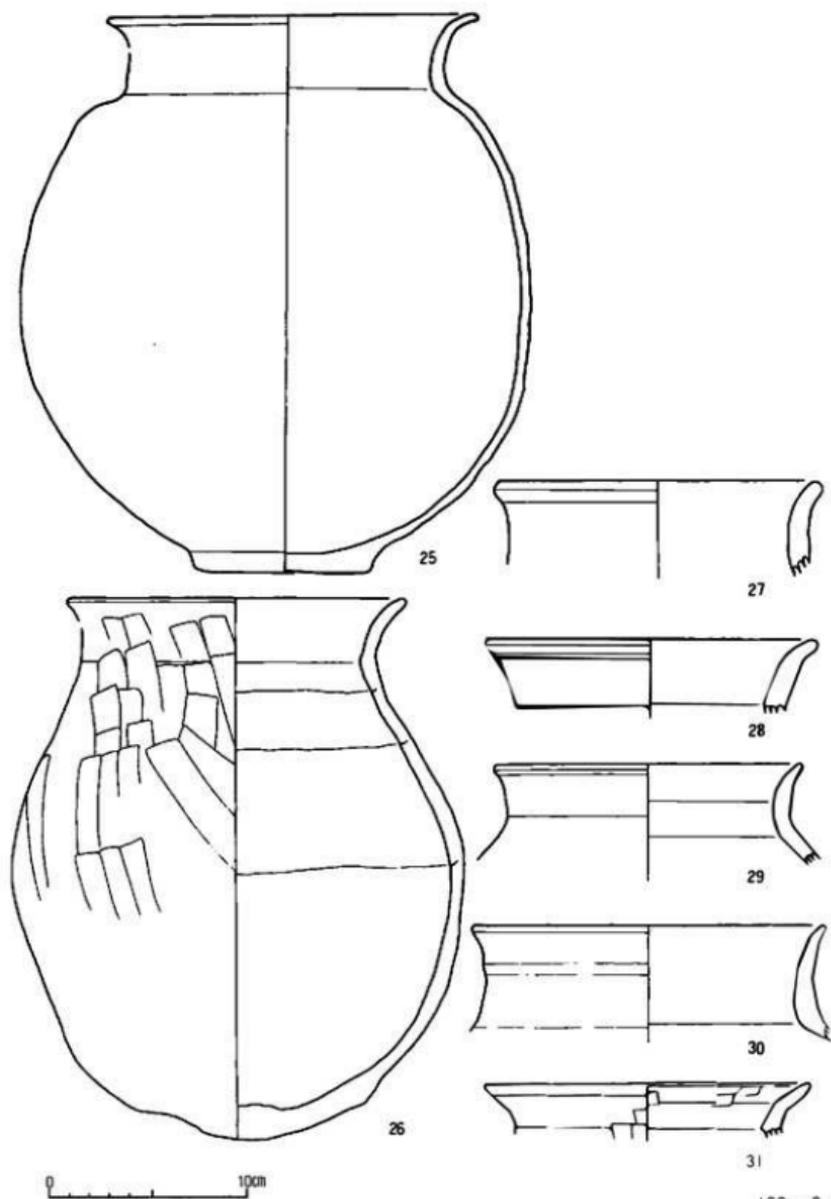


第 237 图 101、102 号住居址出土土器

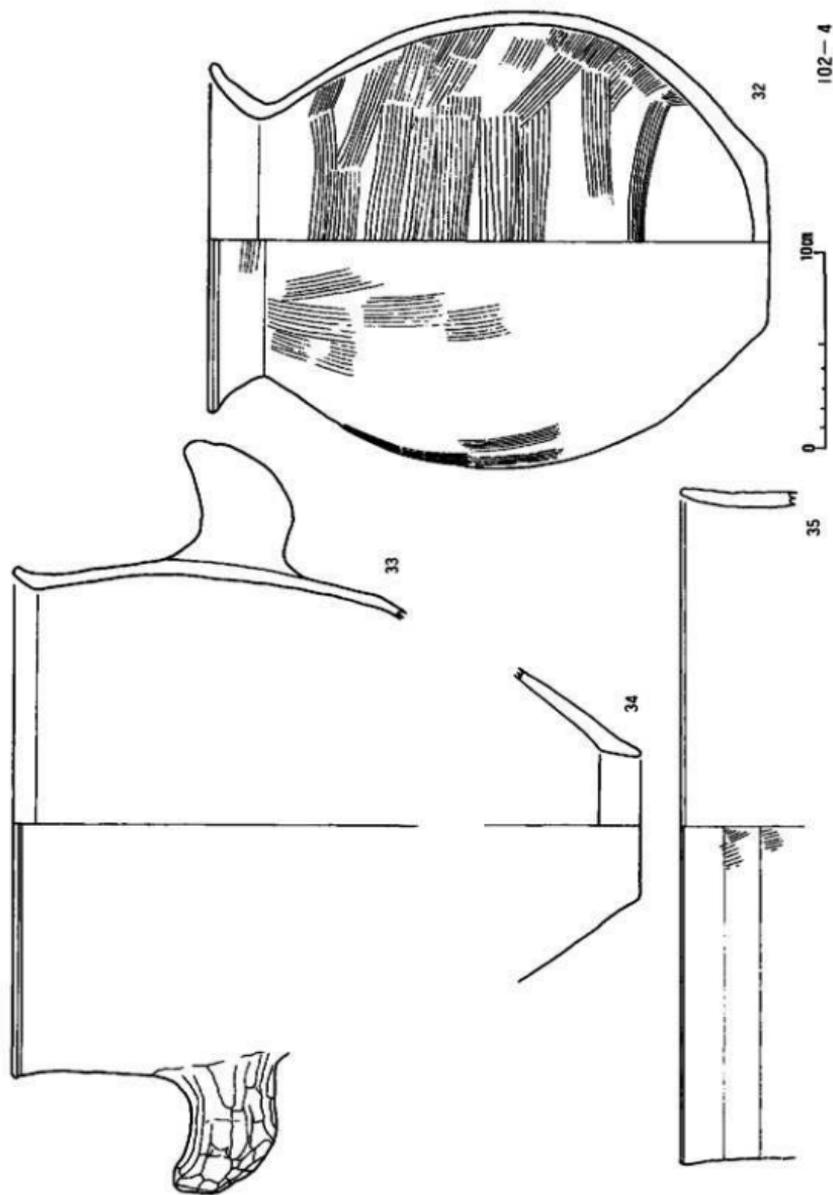


102-2

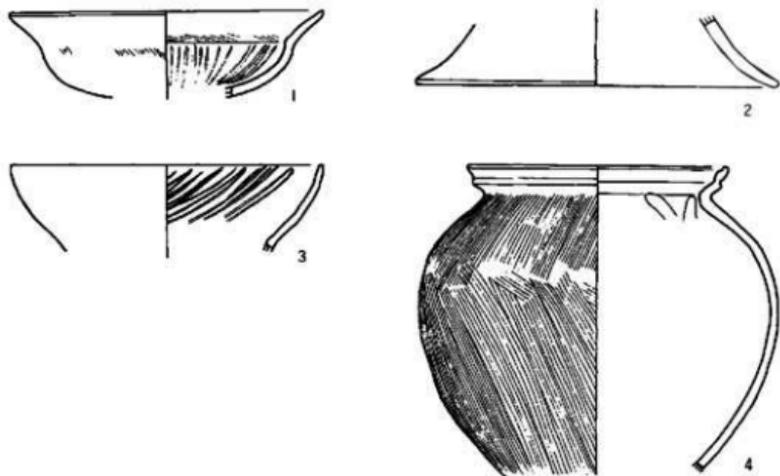
第 238 图 102 号住居址出土土器 (2)



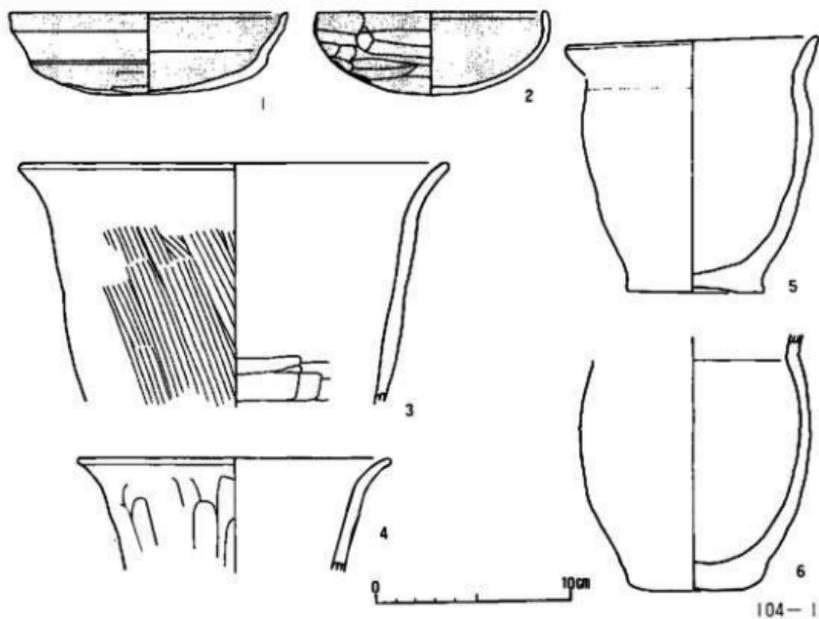
第 239 图 102 号住居址出土土器 (3)



第 240 图 102 号住居址出土土器 (4)

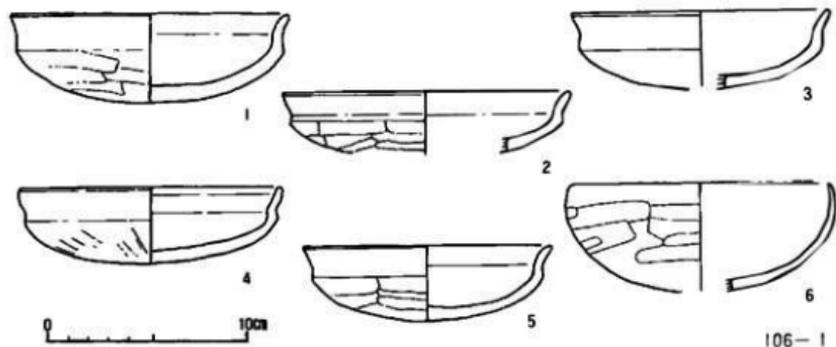
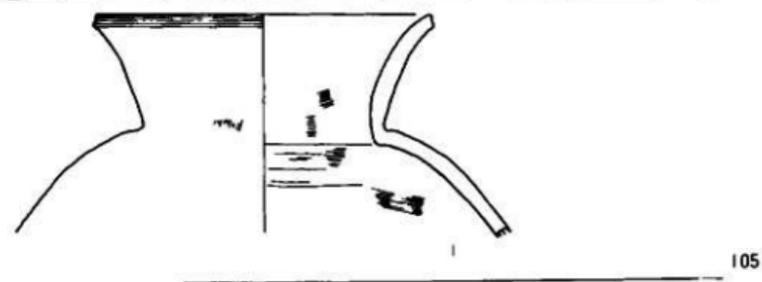
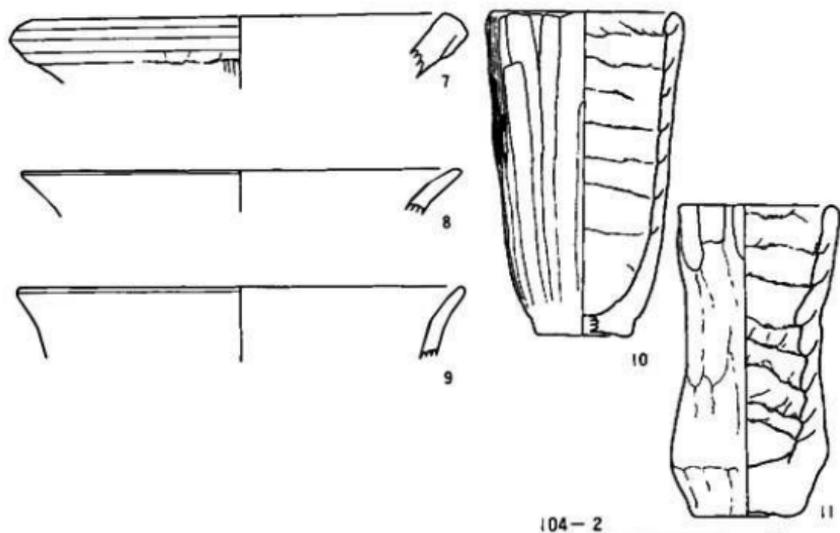


103

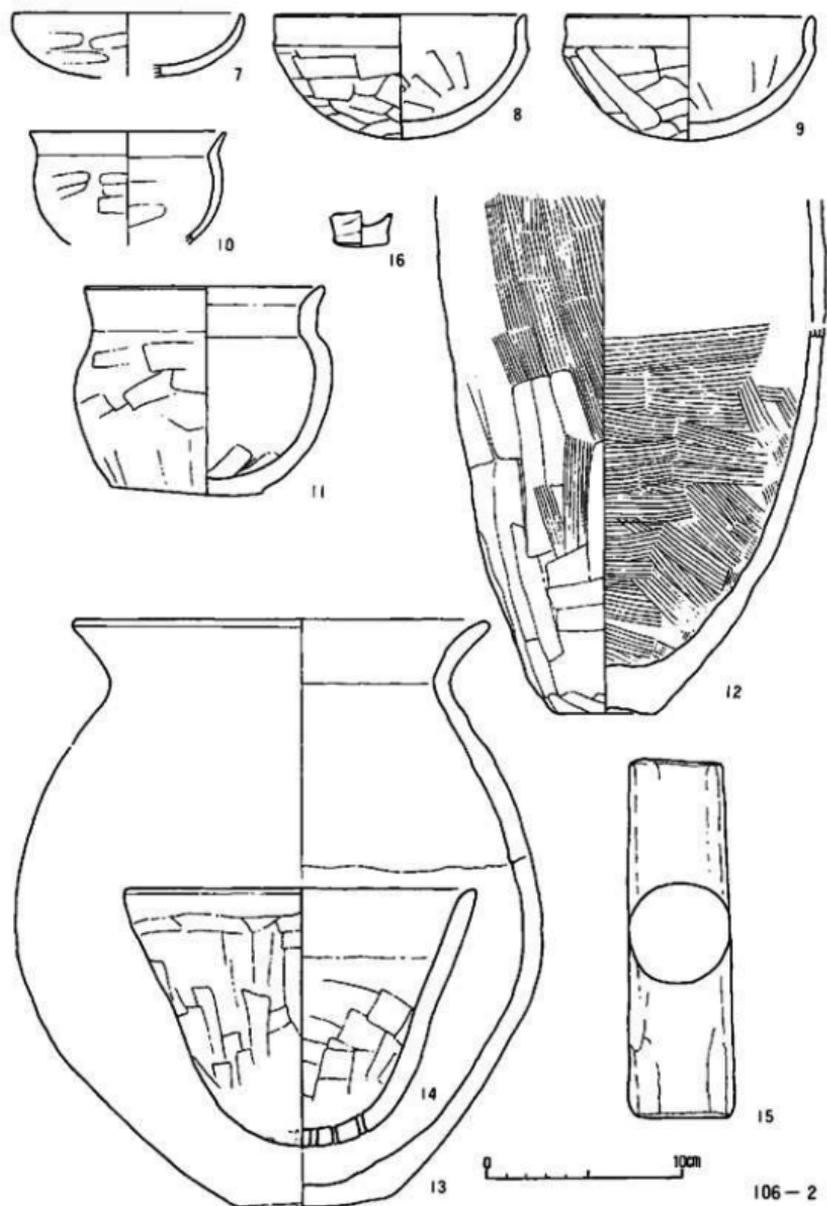


104-1

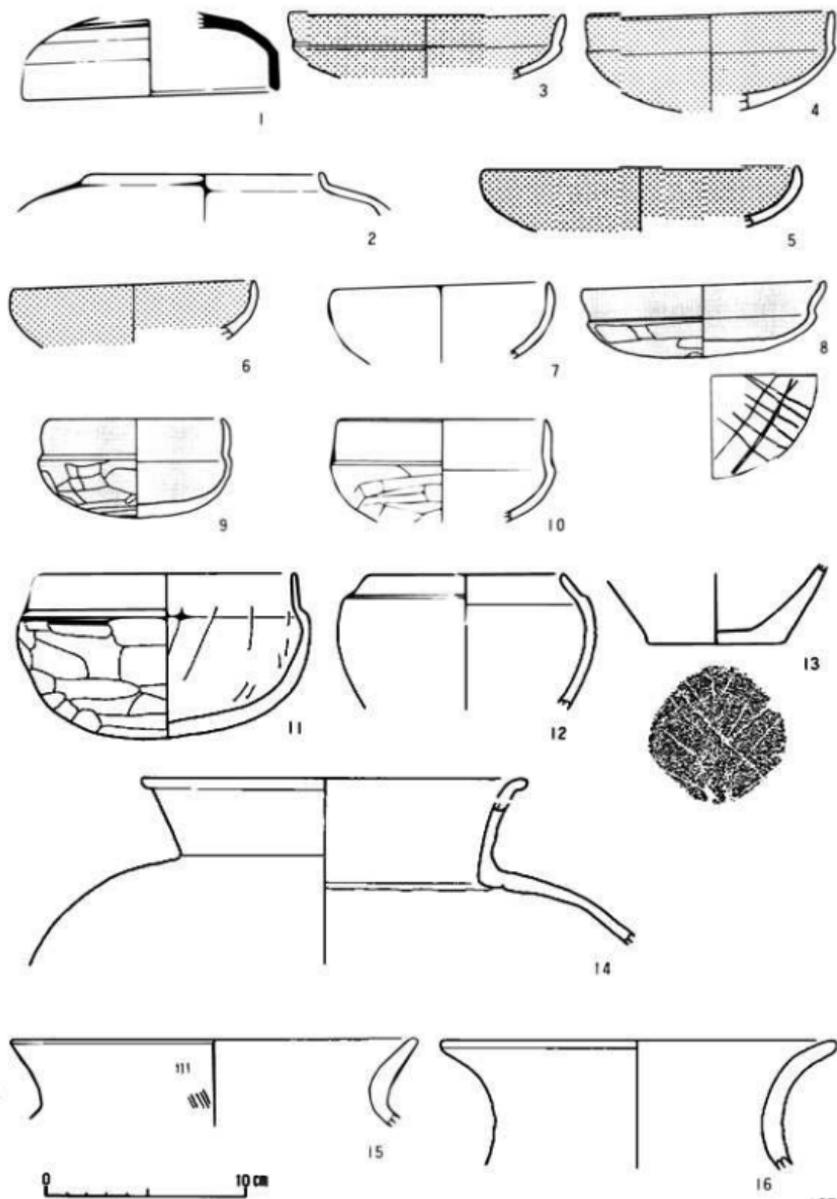
第241图 103、104号住居址出土土器



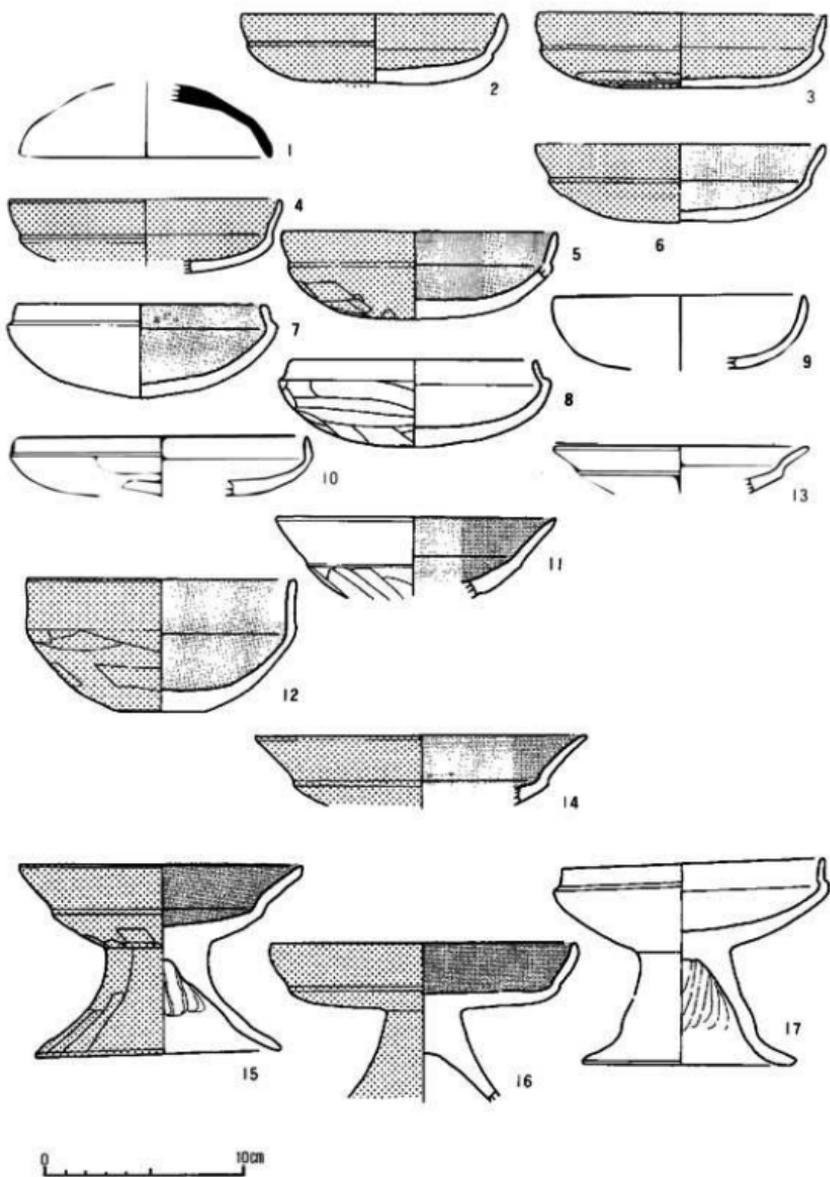
第 242 图 104、105、106 号住居址出土土器



第 243 图 106 号住居址出土土器 (2)

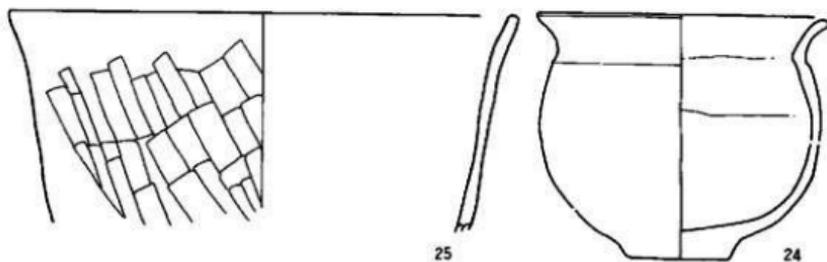
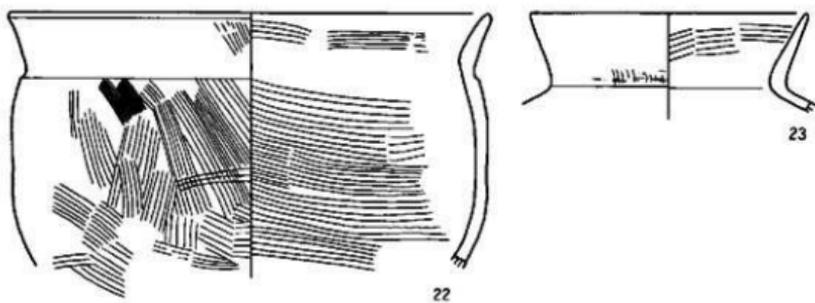
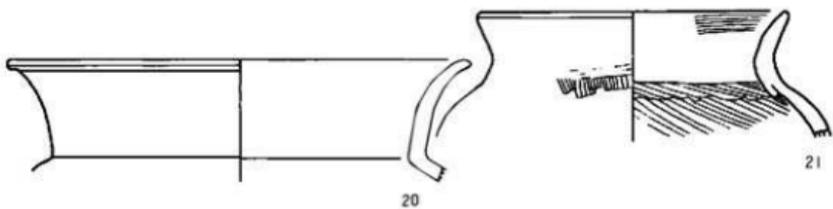
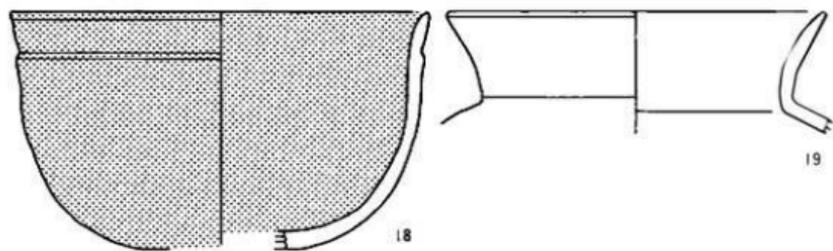


第 244 图 107 号住居址出土土器



108-1

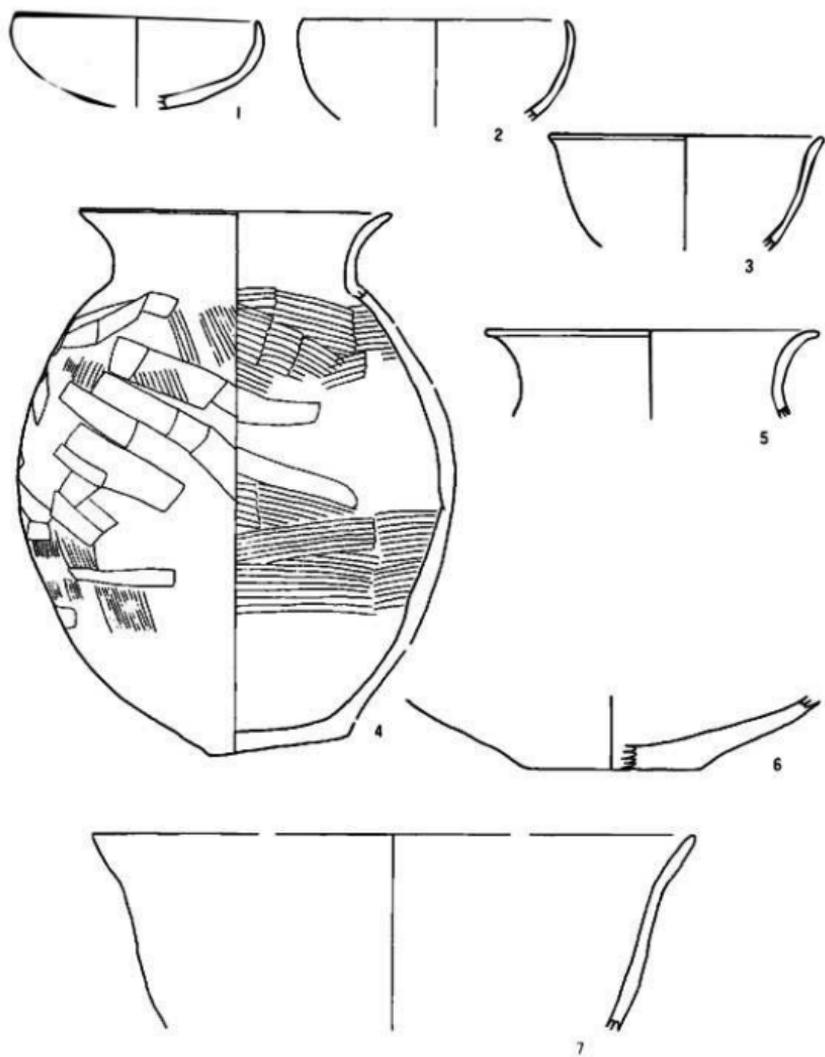
第 245 图 108 号住居址出土土器 (1)



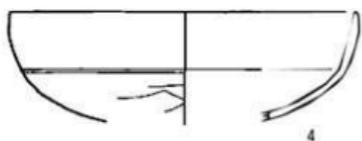
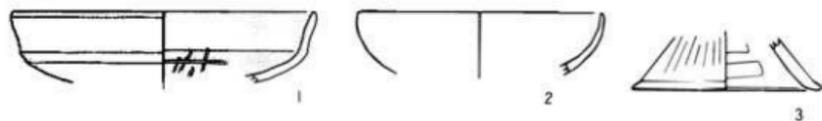
0 10cm

108-2

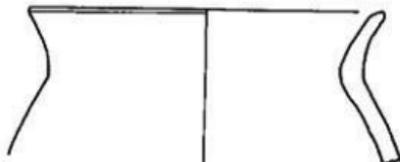
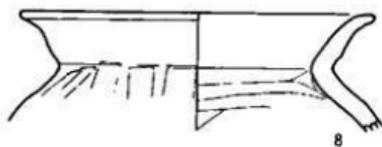
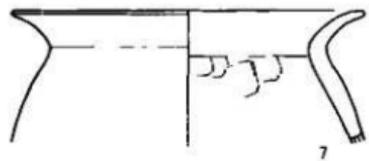
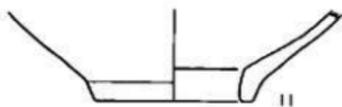
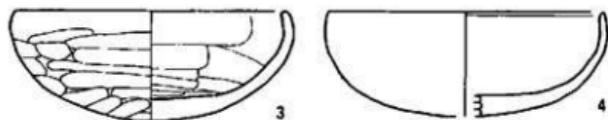
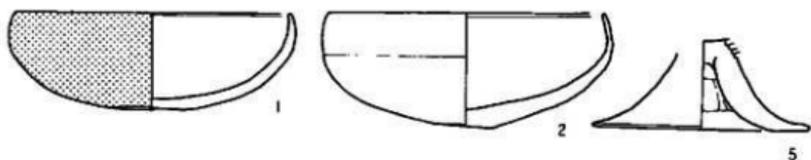
第 246 图 108 号住居址出土土器 (2)



第 247 图 109 号住居址出土土器



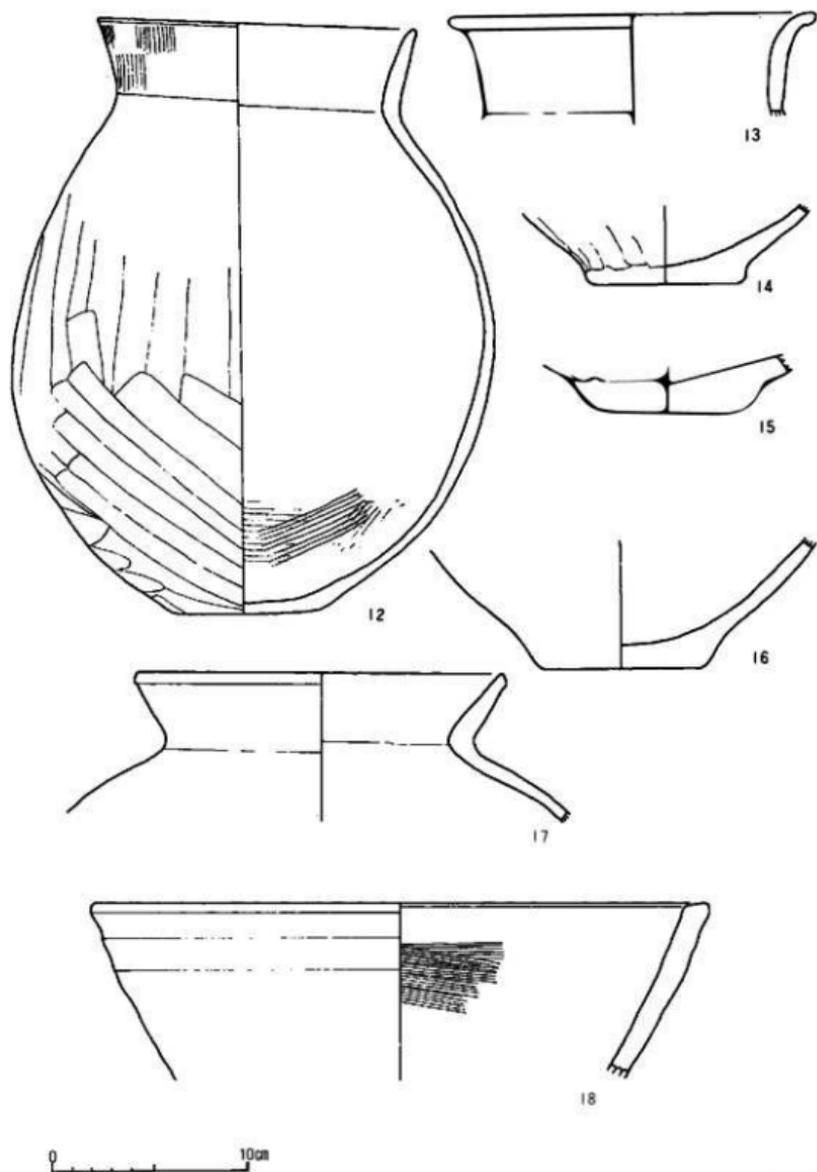
110



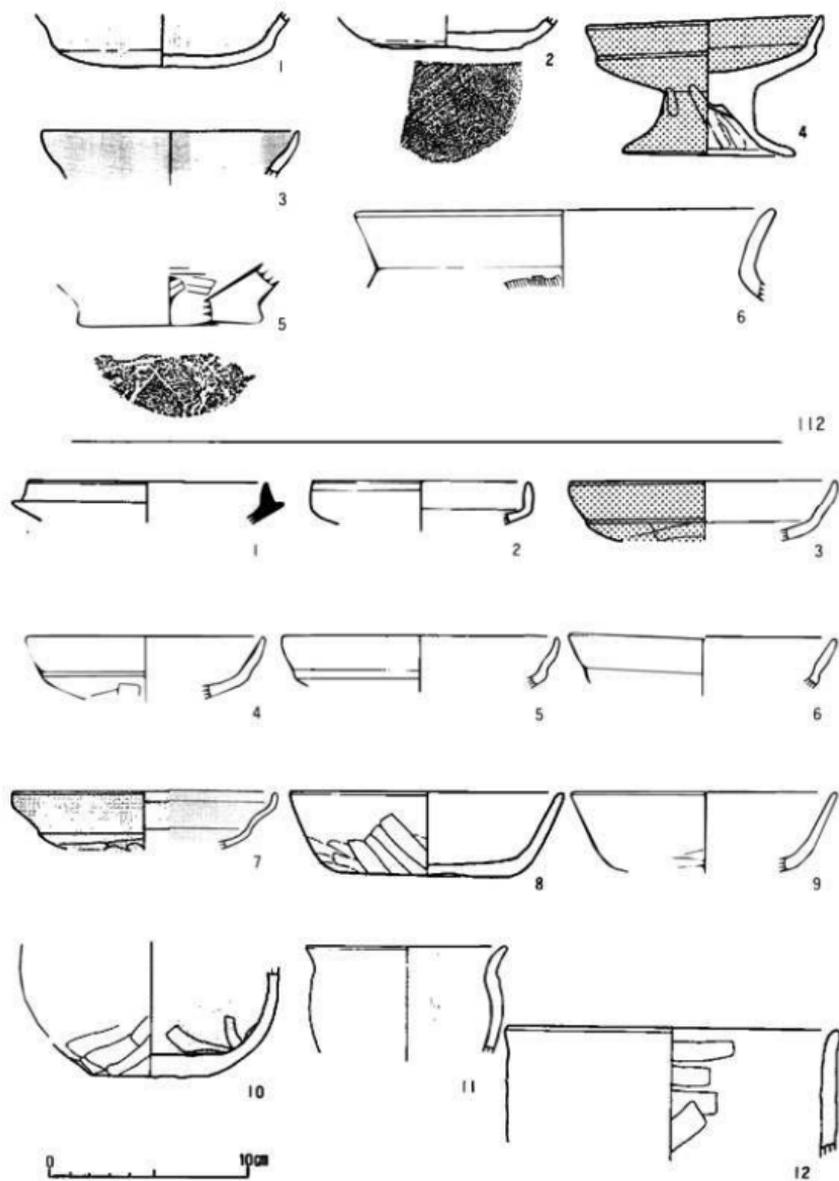
0 10 cm

10
111-1

第 248 图 110、111 号住质址出土土器



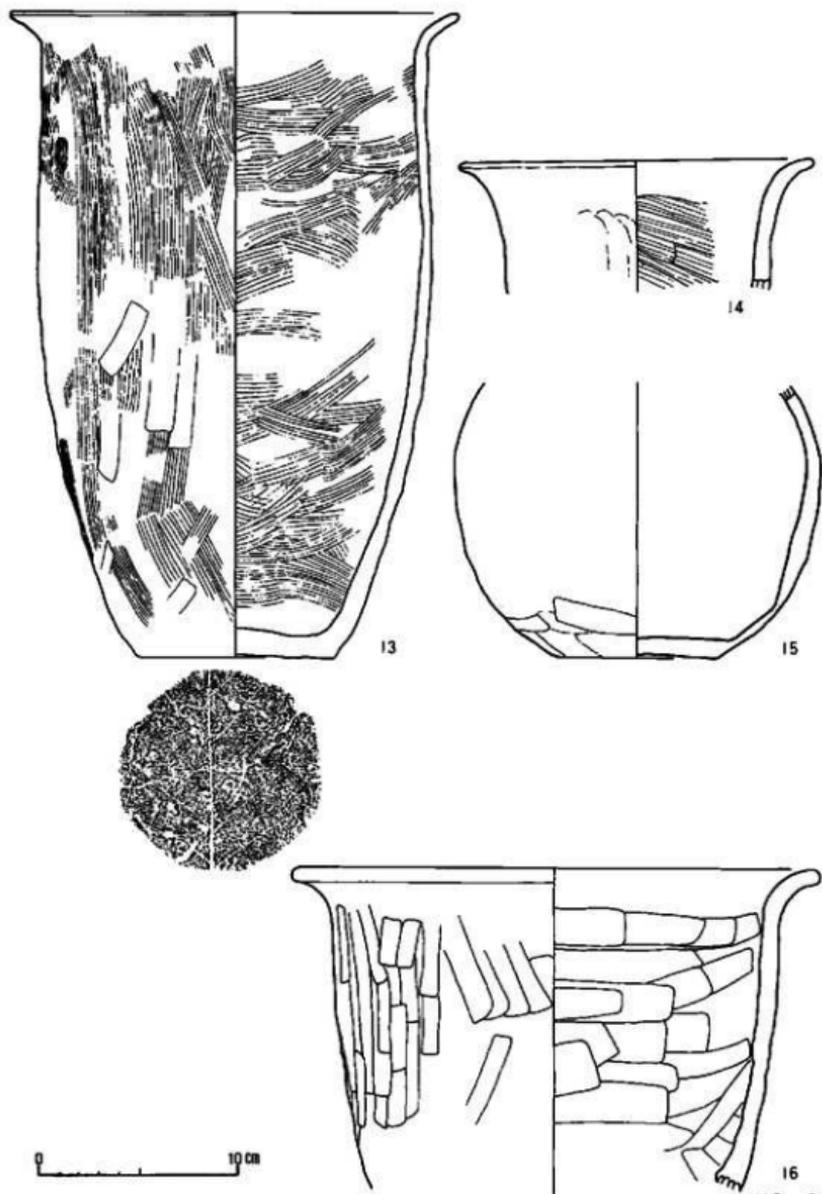
第 249 图 111 号住居址出土土器 (2)



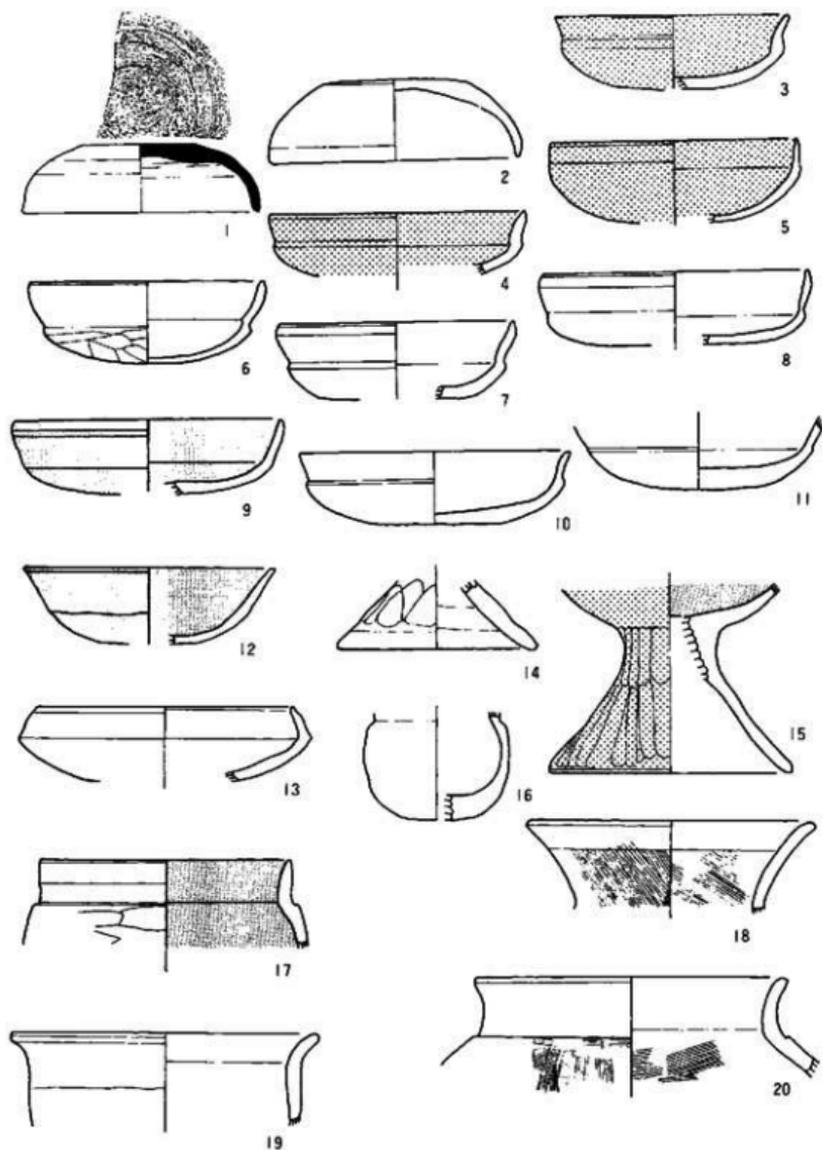
112

113-I

第250图 112、113号住居址出土土器



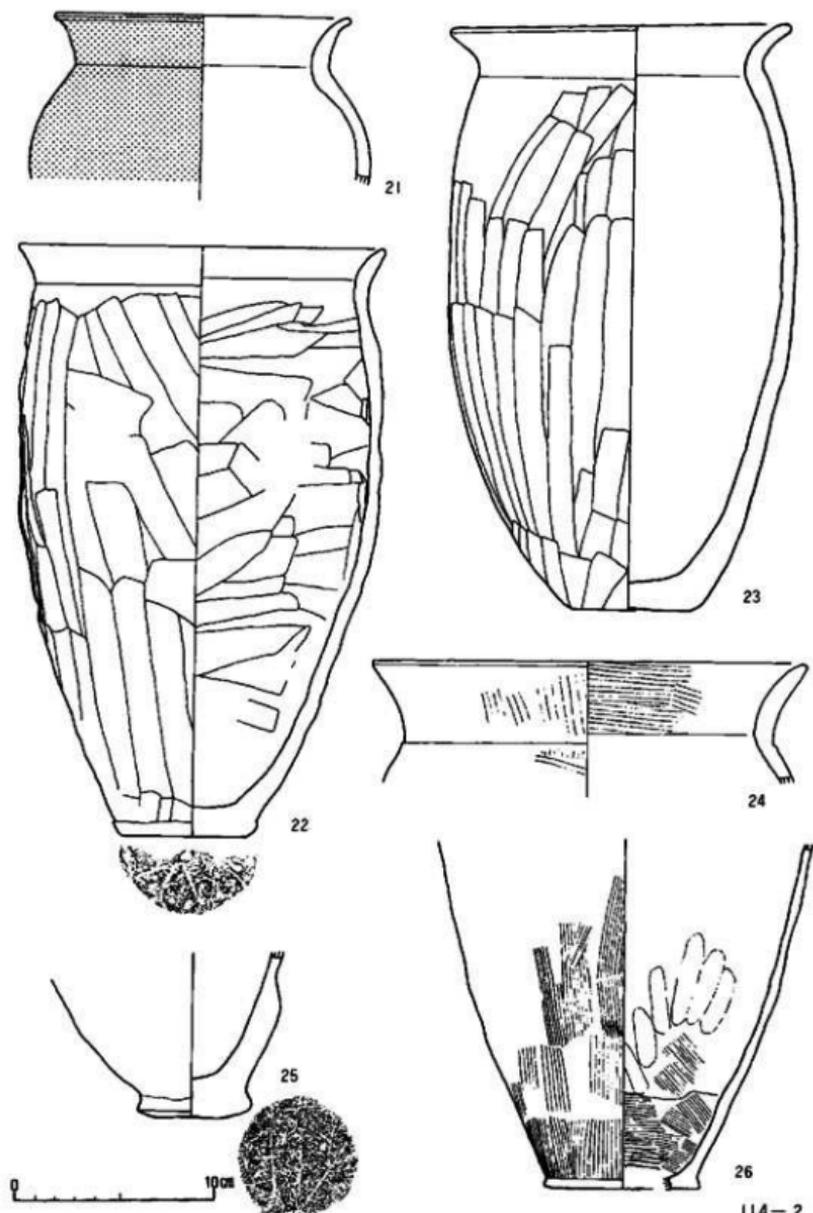
第 251 图 113 号住居址出土土器 (2)



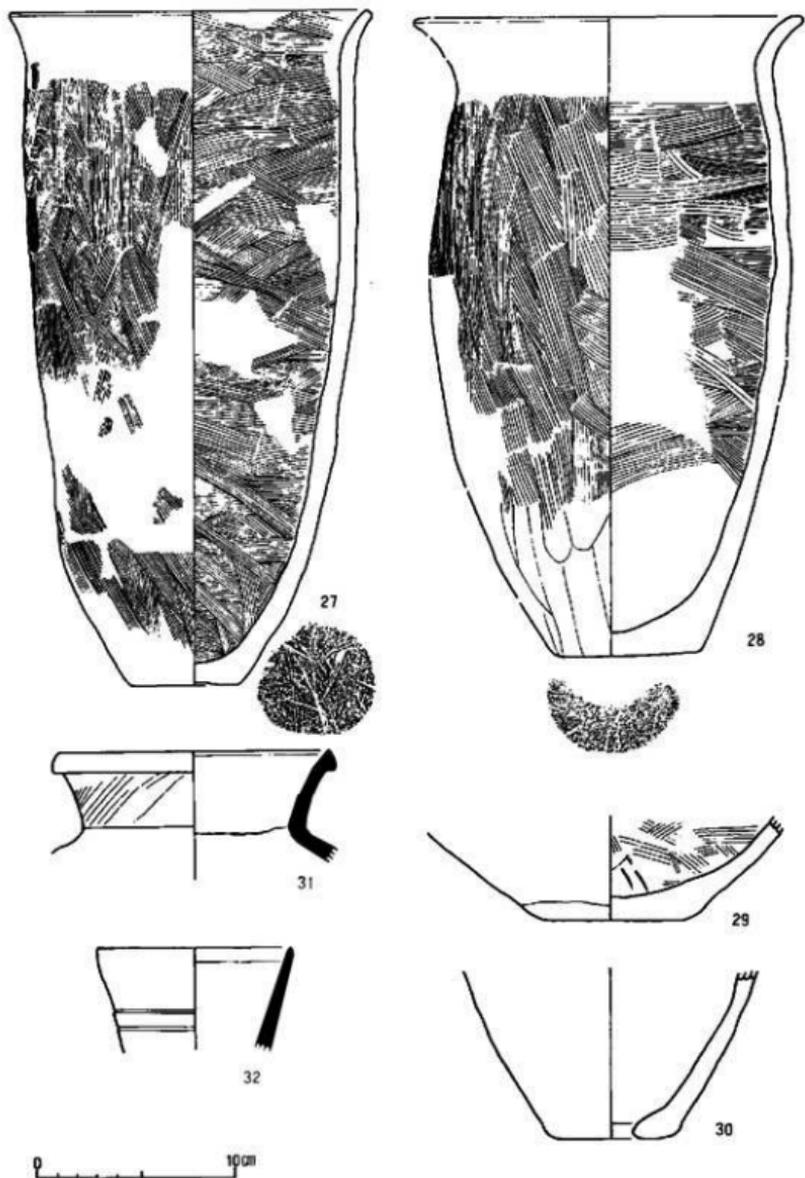
0 10cm

114-1

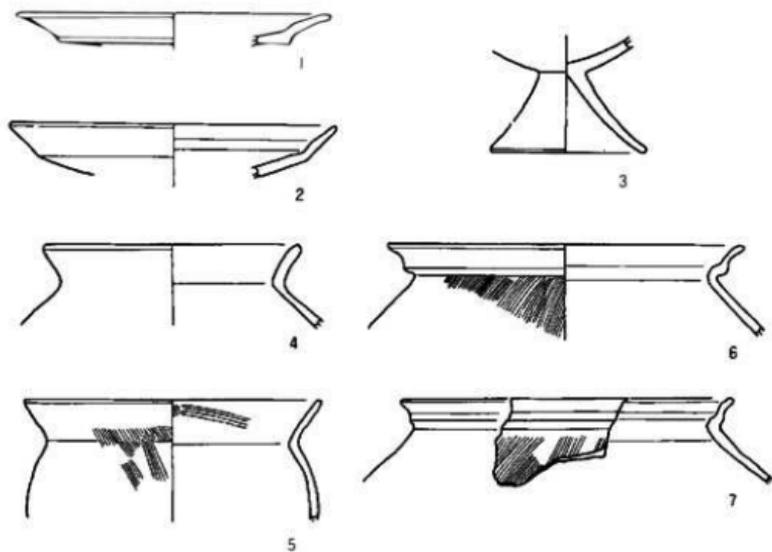
第 252 图 114 号住居址出土土器 (1)



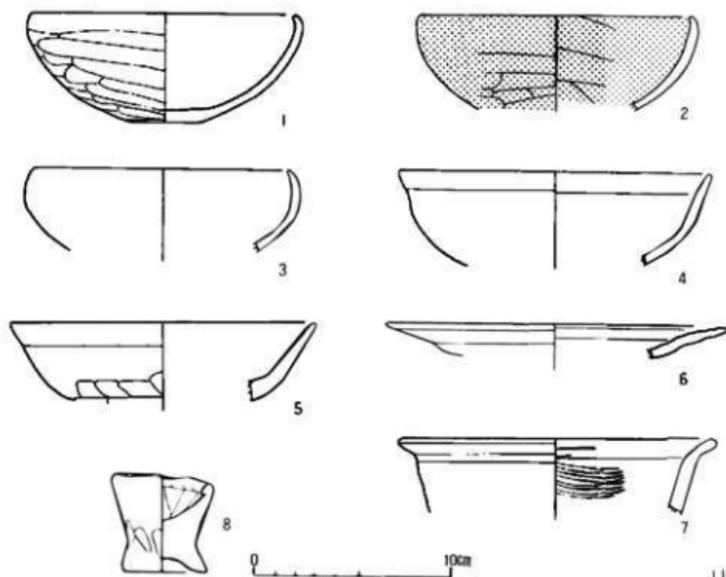
第 253 图 114 号住居址出土土器 (2)



第 254 图 114 号住居址出土土器 (3)

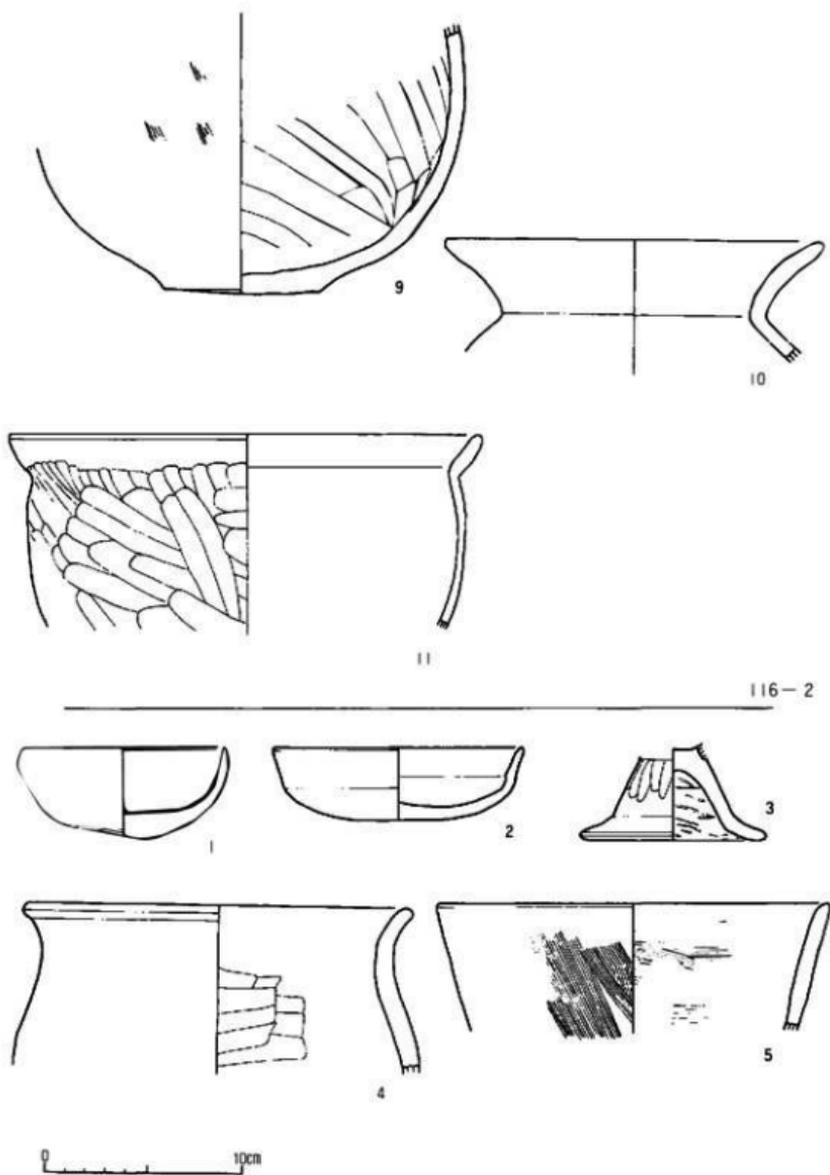


115



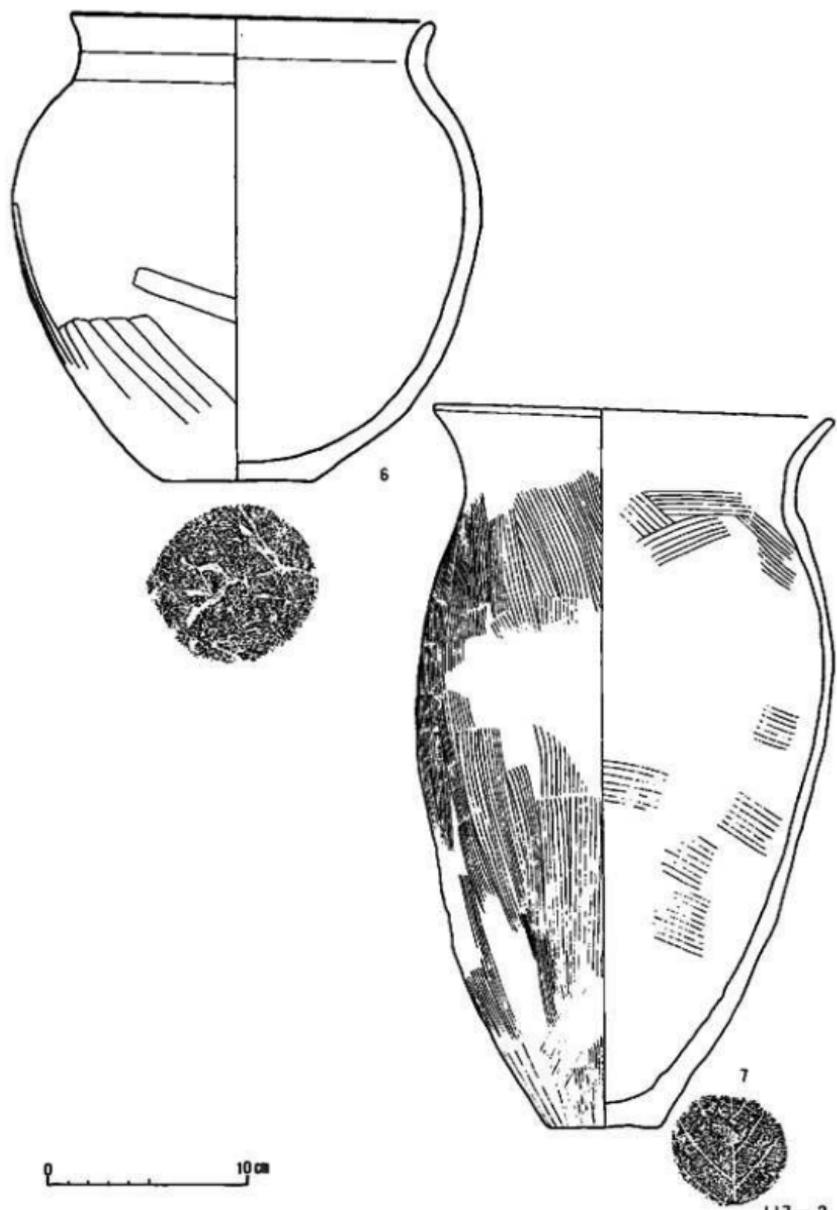
116-1

第 255 图 115、116 号住居址出土土器

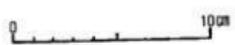
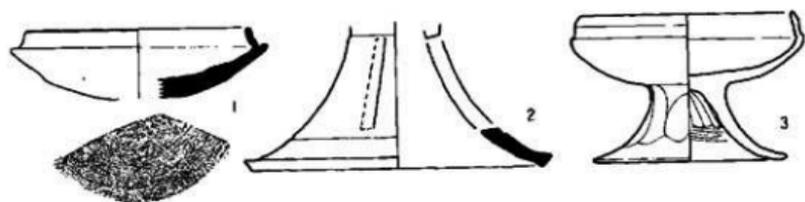
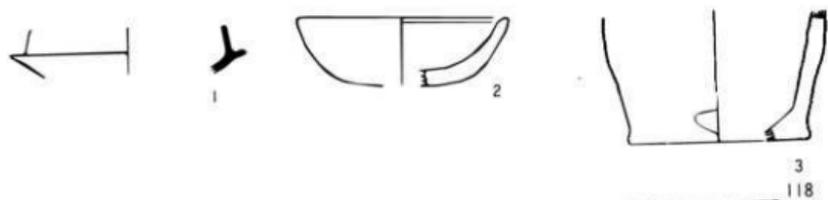


117-1

第256图 116、117号住居址出土土器

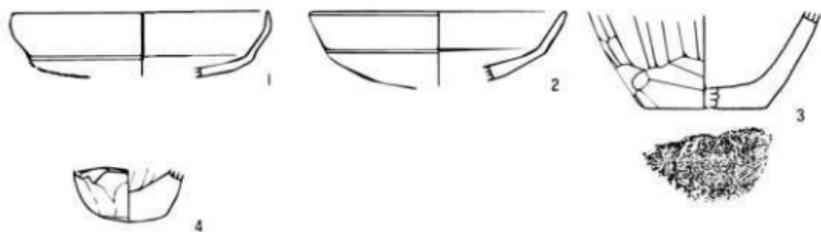


第 257 图 117 号住居址出土土器 (2)

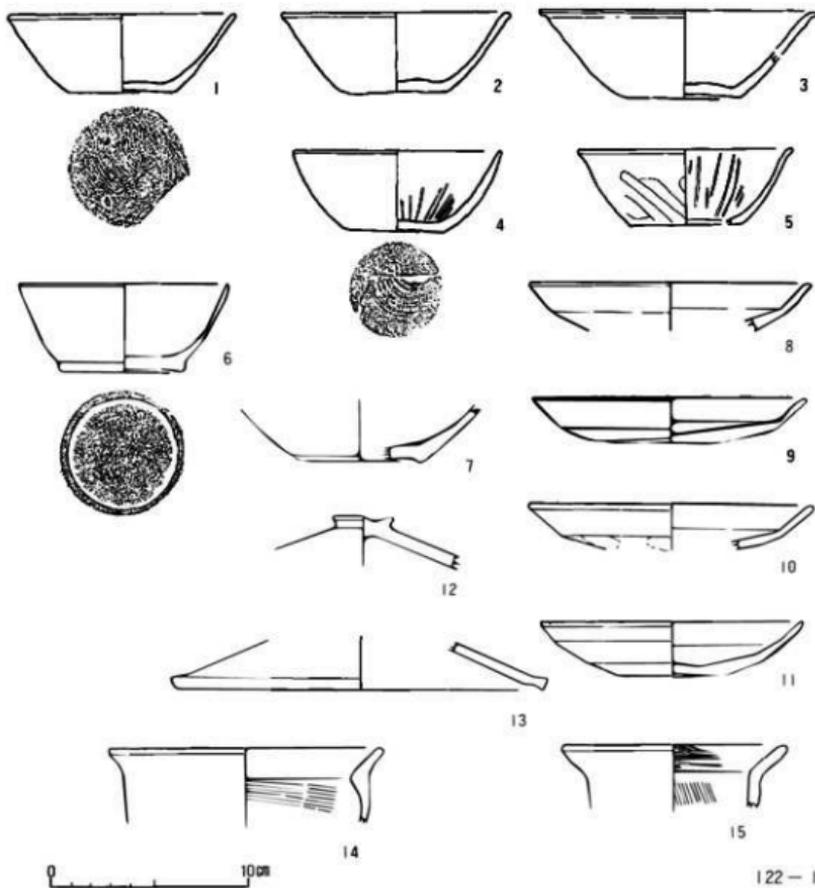


120

第 258 图 118、119、120 号住居址出土土器



121

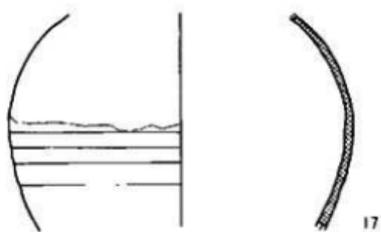


122-1

第259图 121、122号住居址出土土器

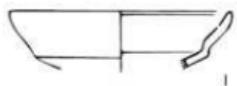


16



17

122-2



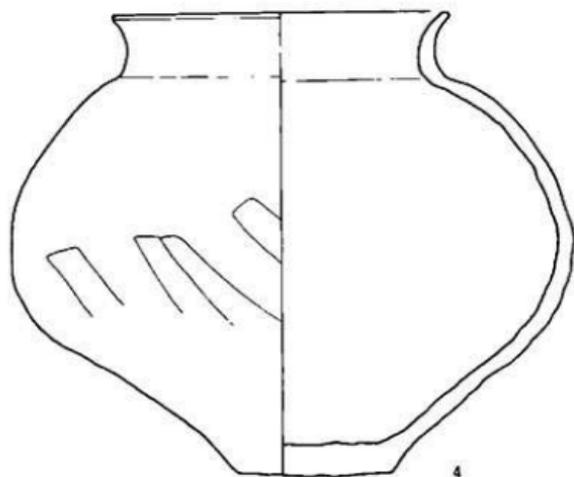
1



2



3

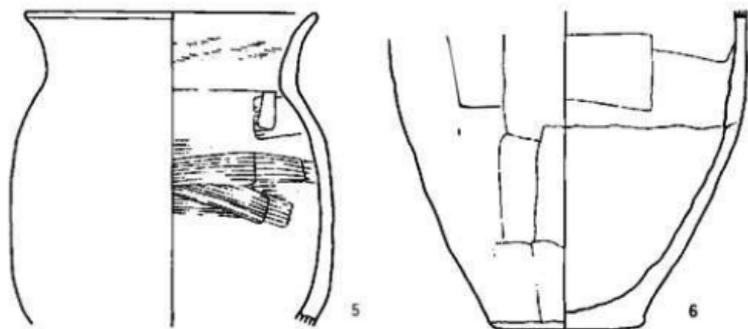


4



123-1

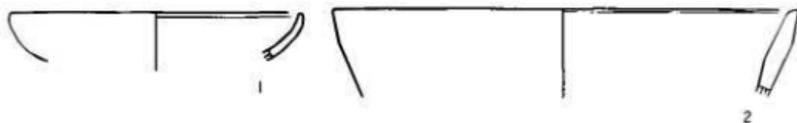
第 260 图 122、123 号住居址出土土器



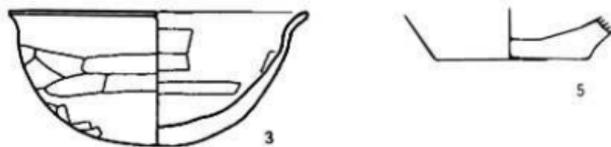
123-2



124



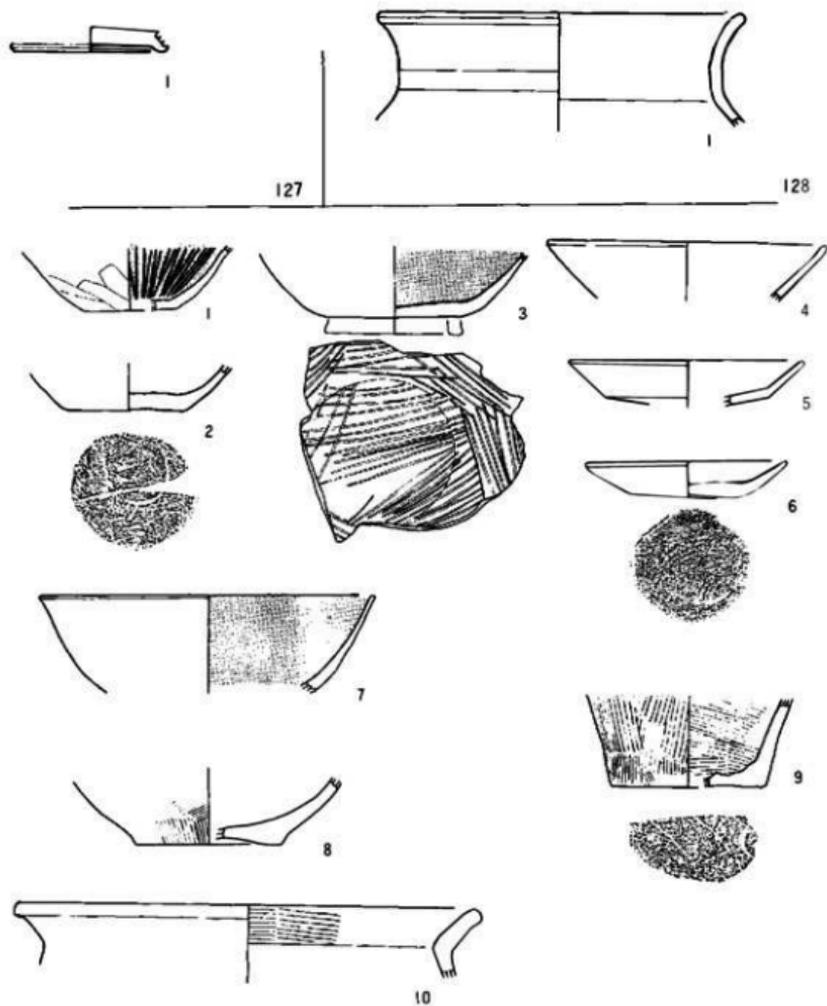
125



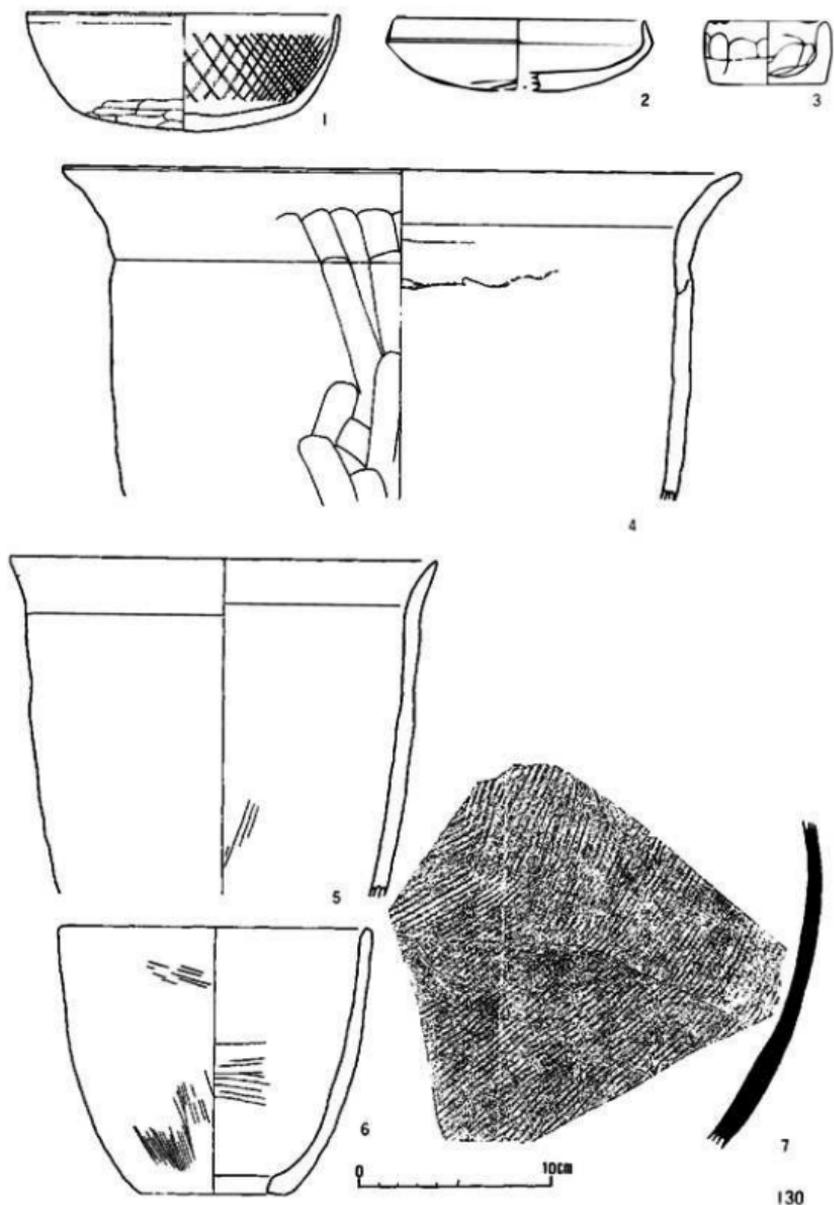
0 100mm

126

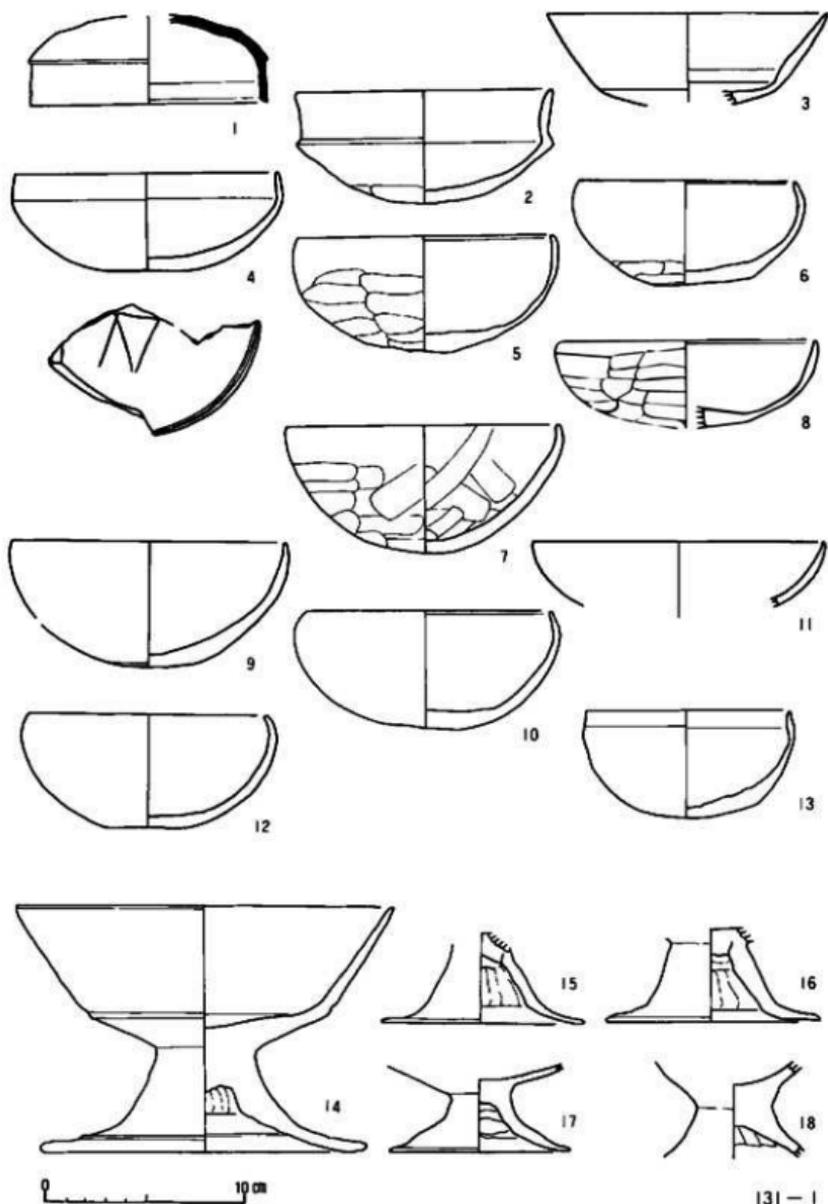
第 261 图 123、124、125、126 号住居址出土土器



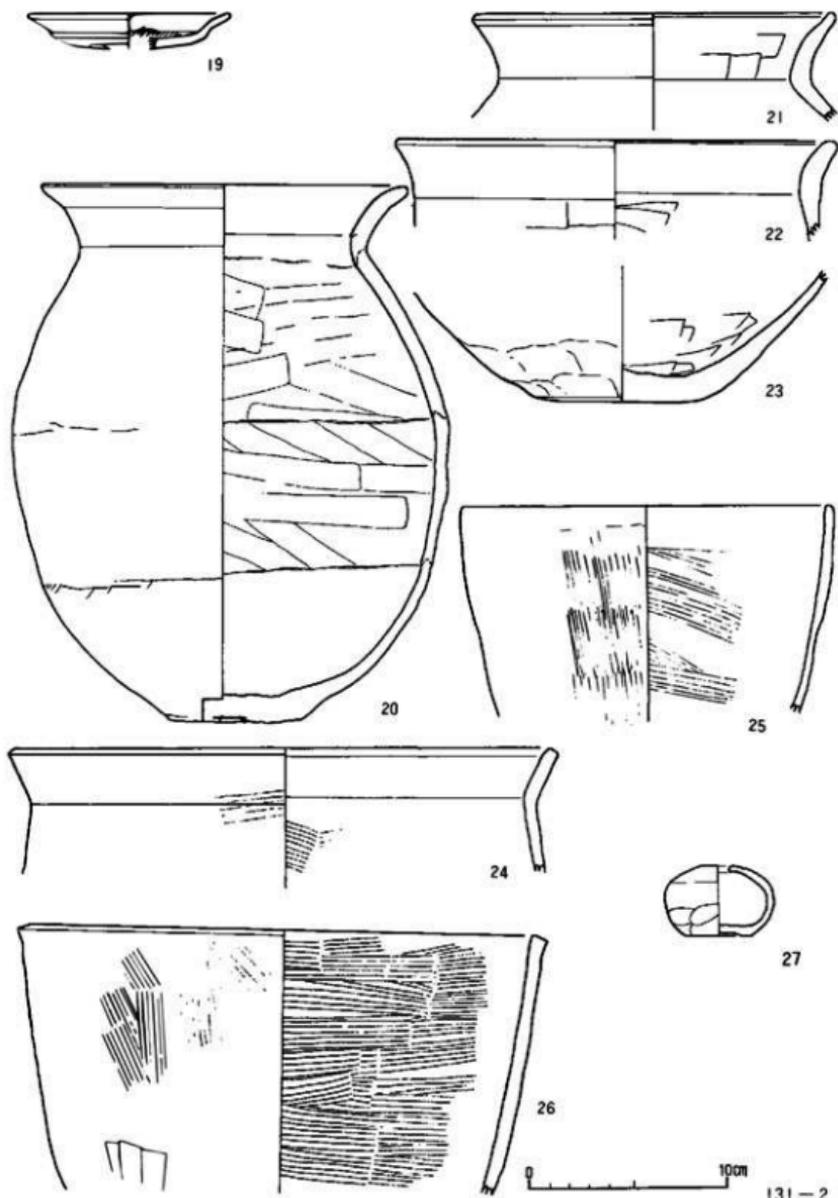
第 262 图 127、128、129 号住居址出土土器



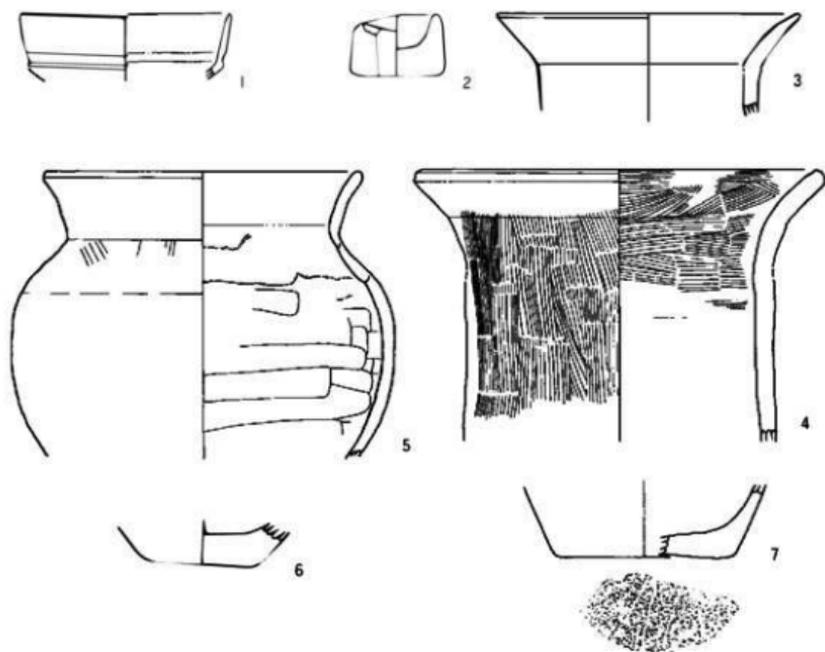
第 263 图 130 号住居址出土土器



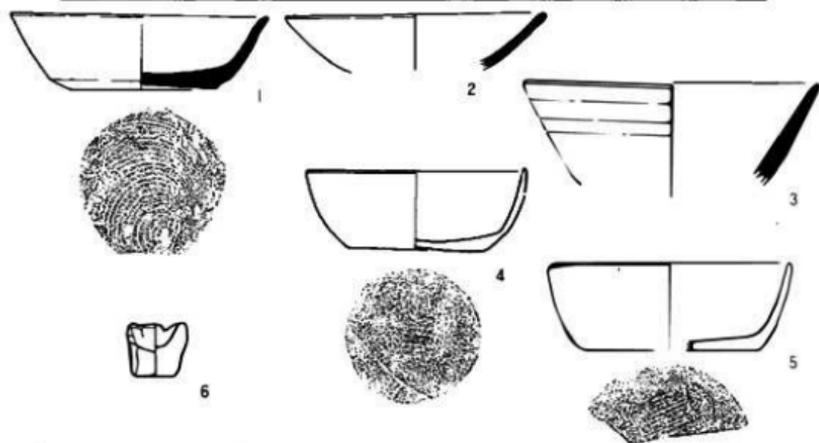
第 264 图 131 号住居址出土土器 (1)



第 265 图 131 号住居址出土土器 (2)



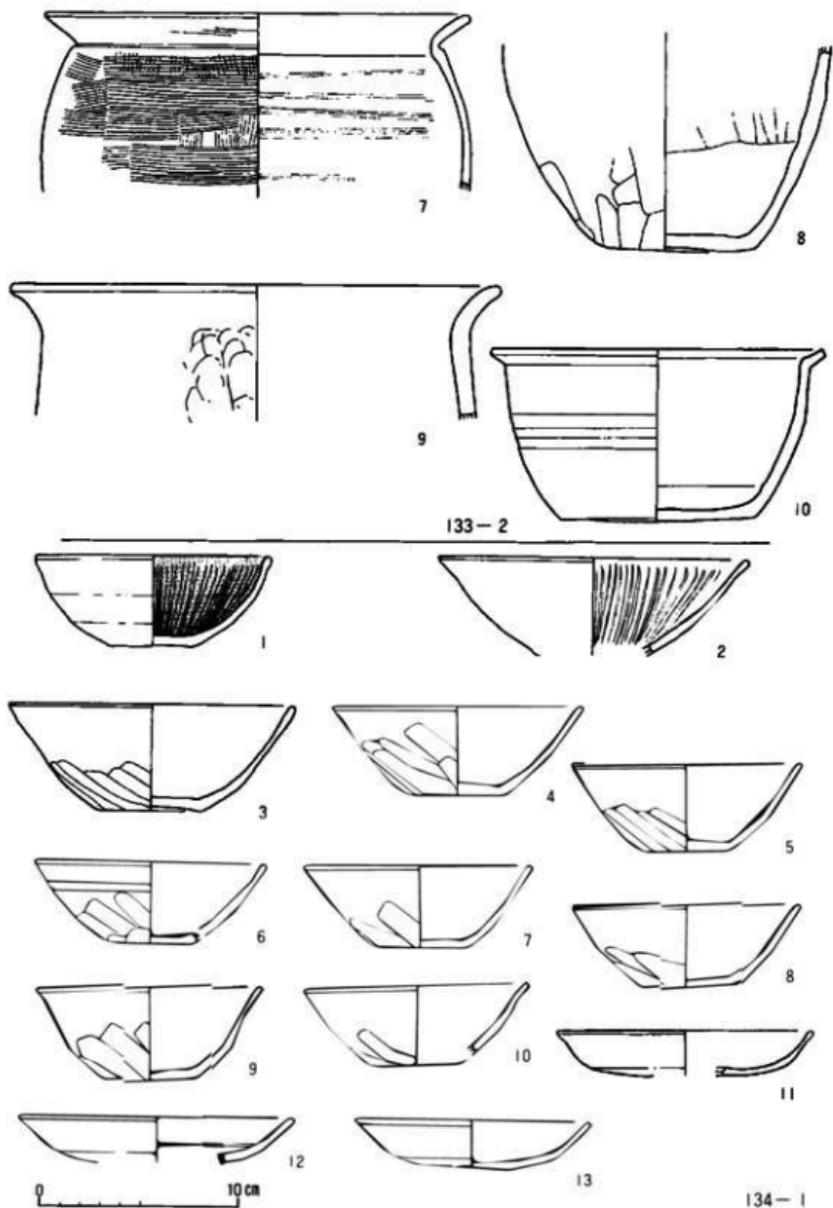
132



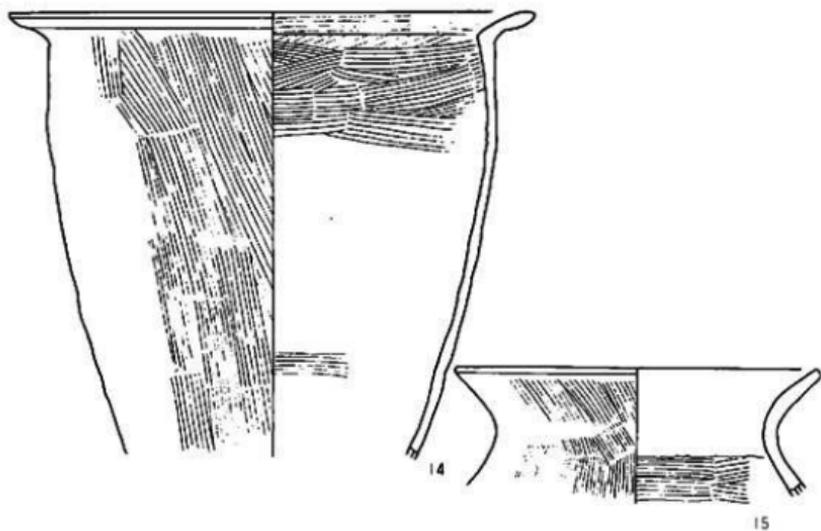
0 10cm

133-1

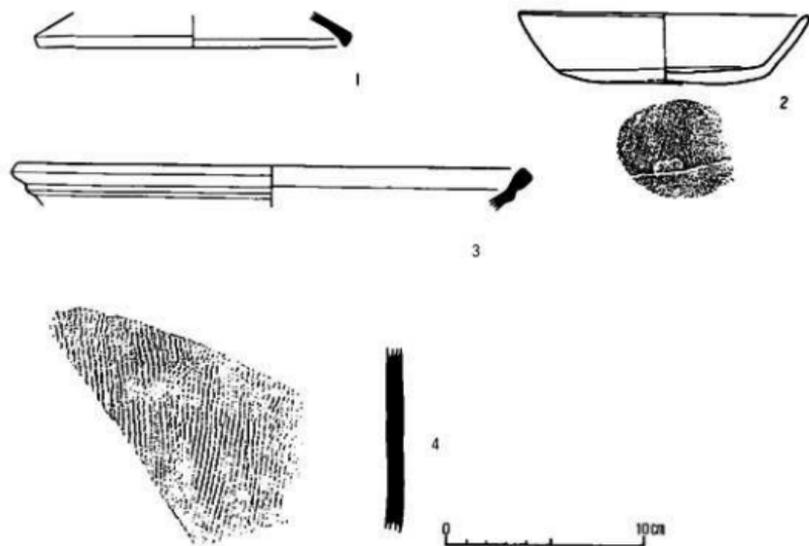
第 266 图 132、133 号住居址出土土器



第 267 图 133、134 号住居址出土土器

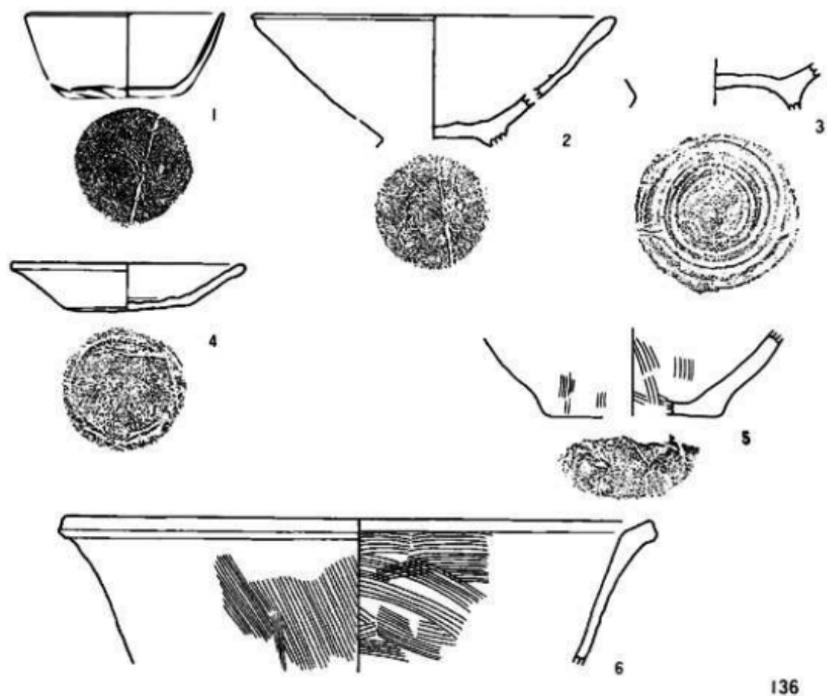


134-2

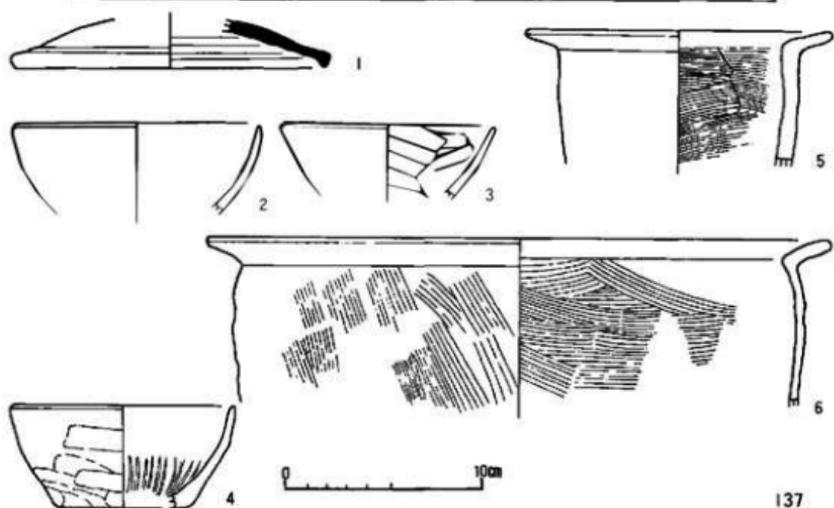


135

第 268 图 134、135 号住居址出土土器

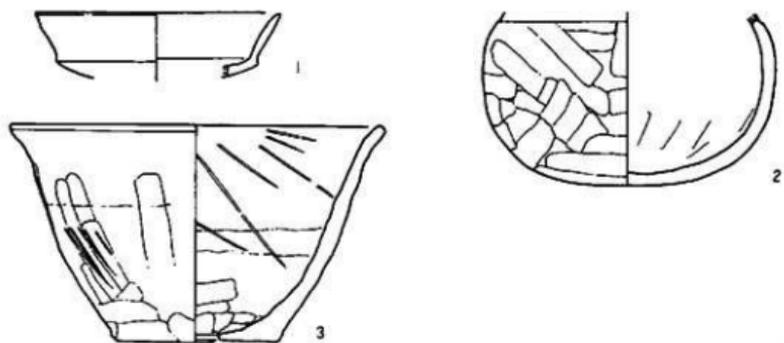


136

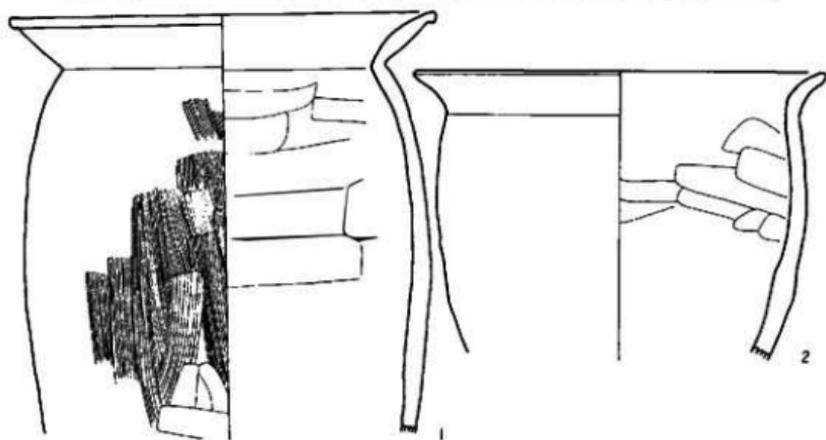


137

第 269 图 136、137 号住居址出土土器

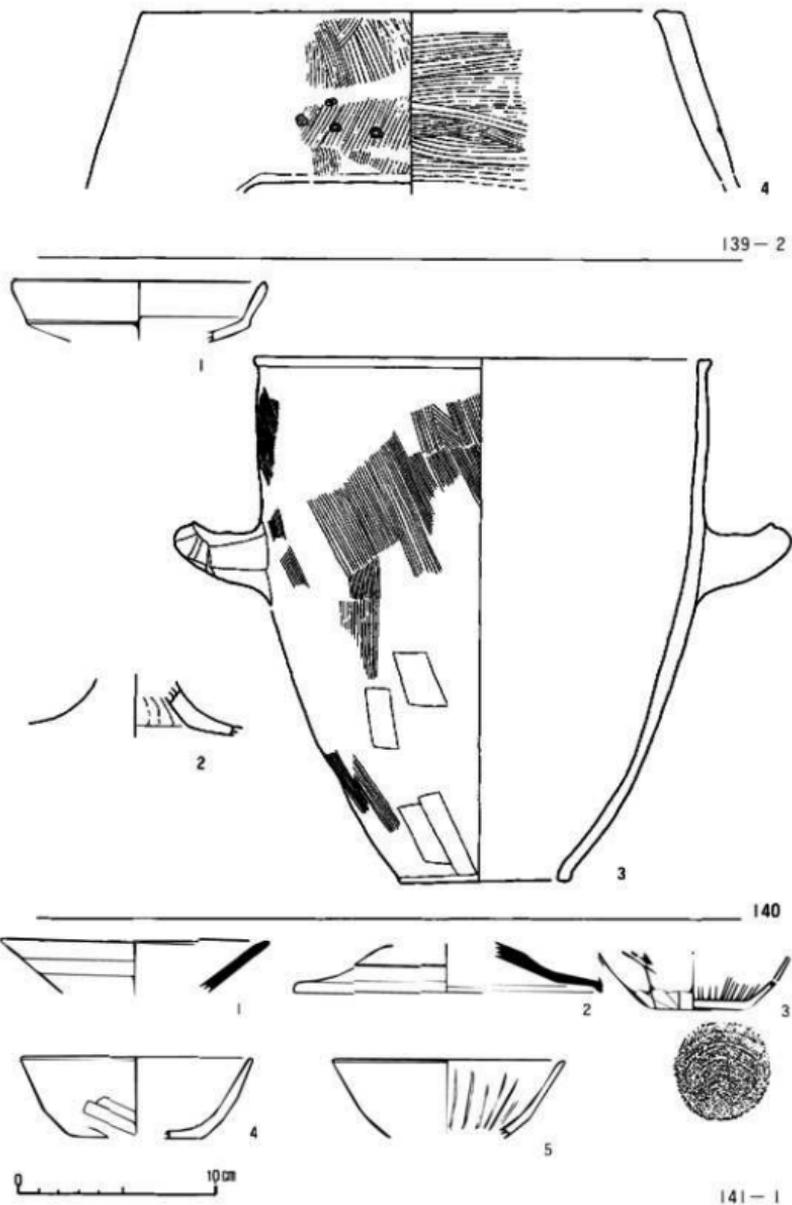


138

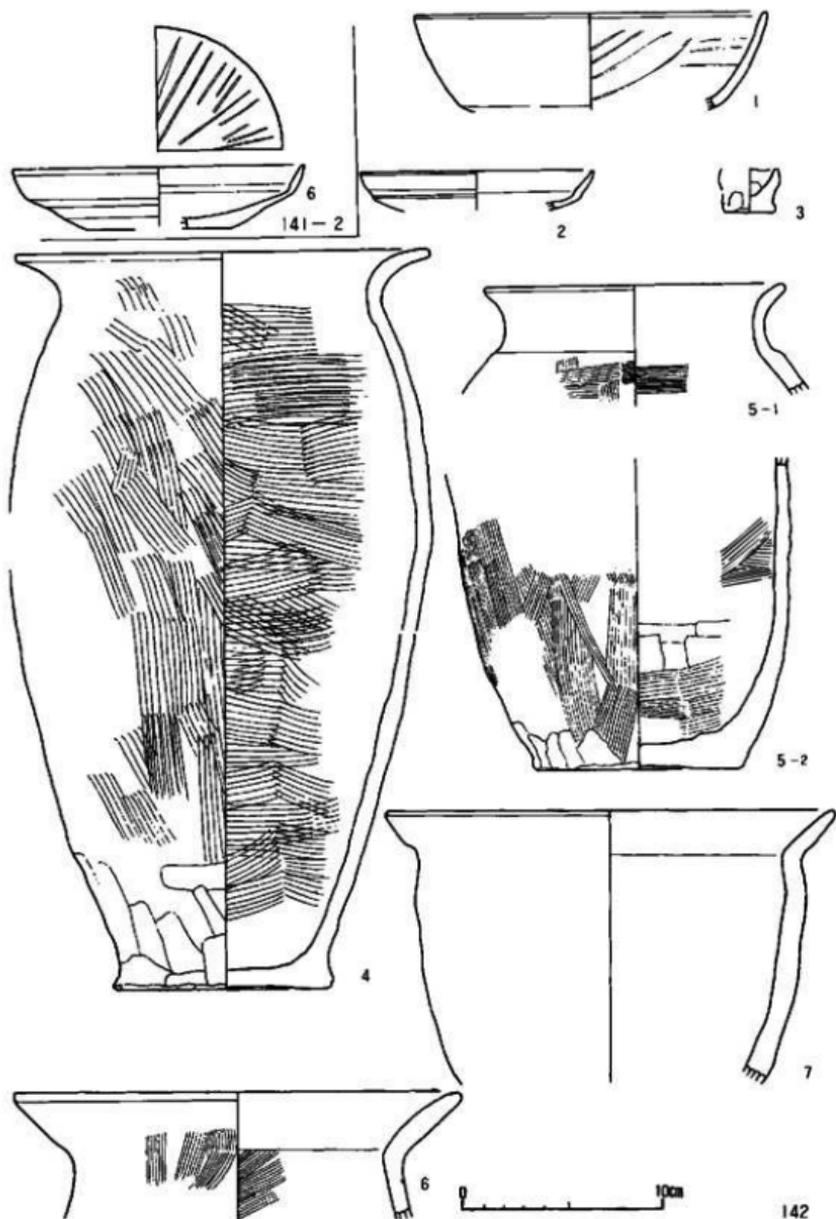


139-1

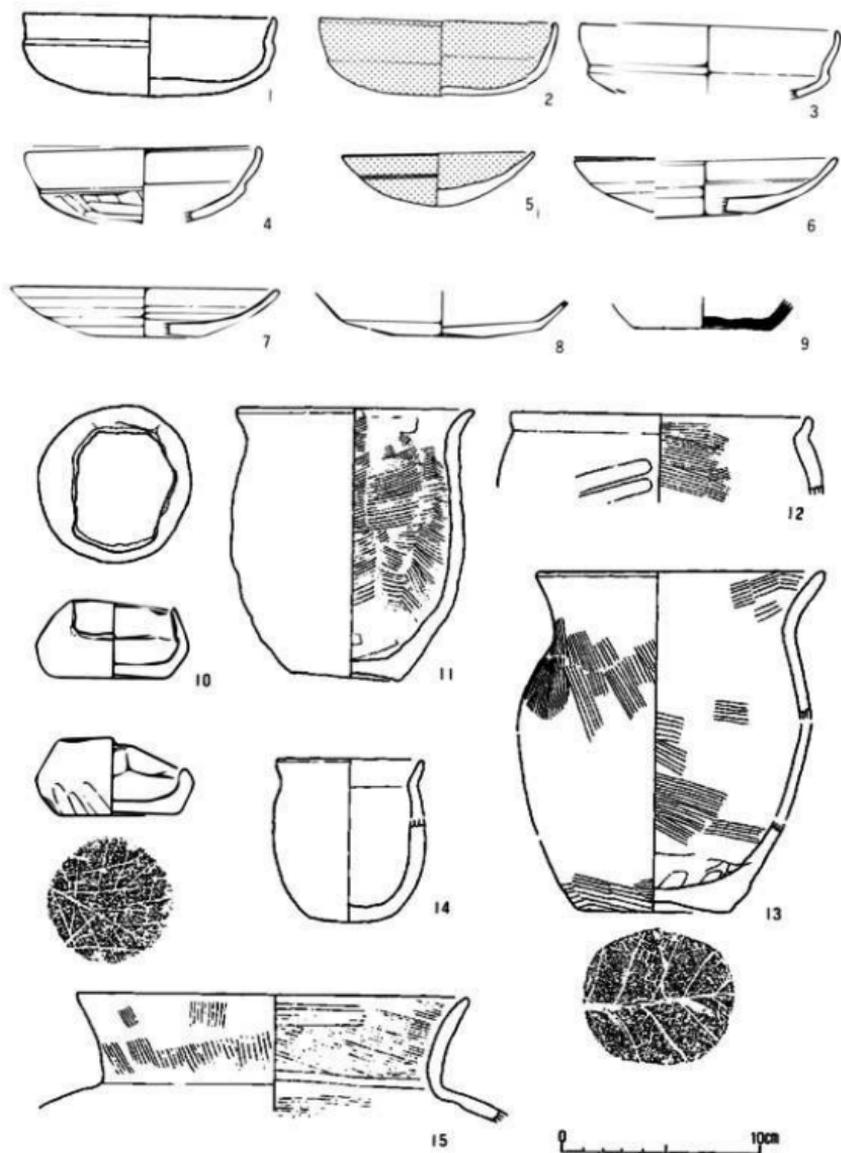
第 270 图 138、139 号住居址出土土器



第 271 图 139、140、141 号住居址出土土器

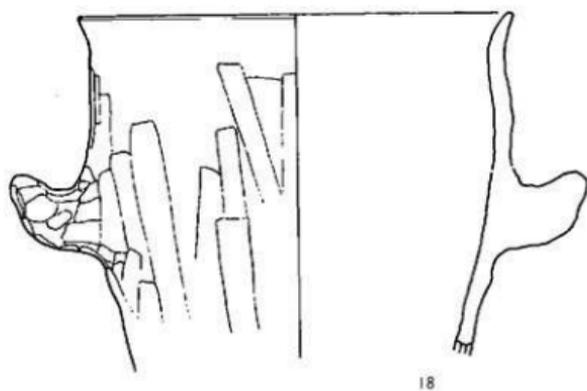
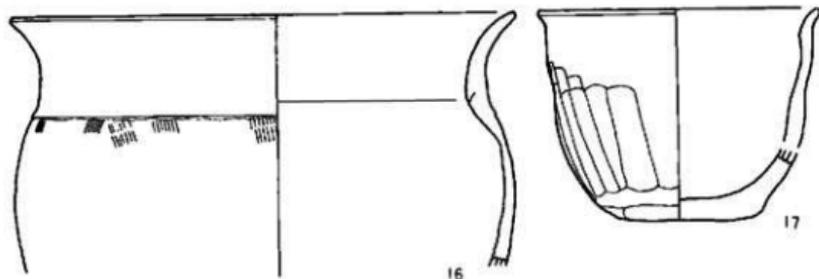


第 272 图 141、142 号住居址出土土器

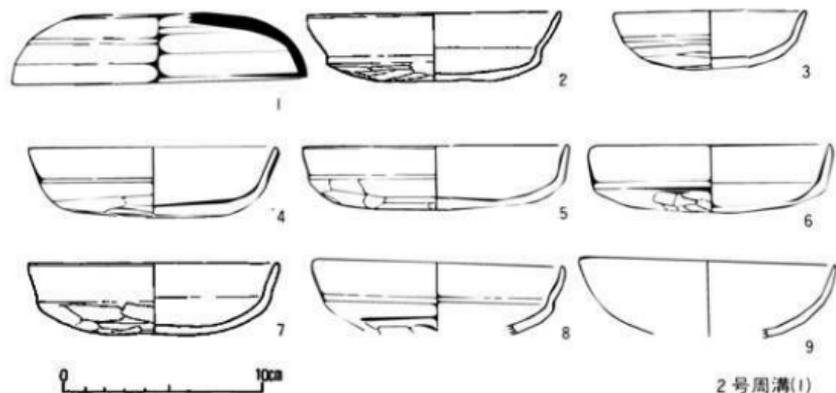


1号周满

第273图 1号周满出土土器 (1)

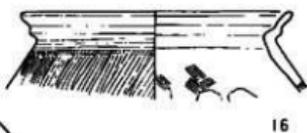
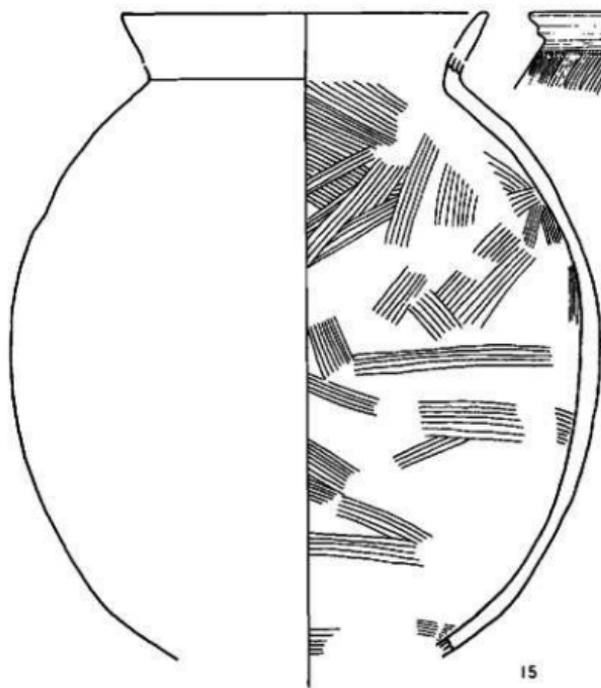
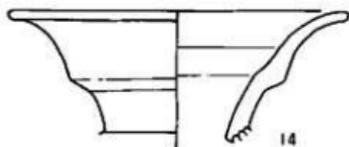
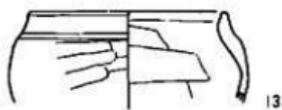
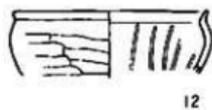
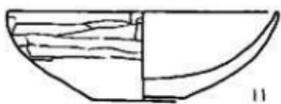
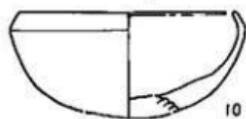


1号周满(2)



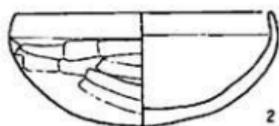
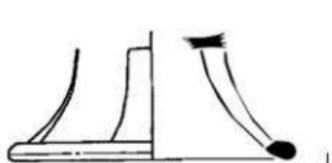
2号周满(1)

第 274 图 1、2号周满遗址出土土器

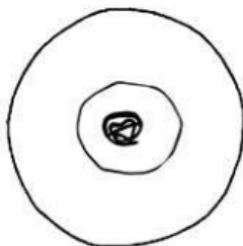
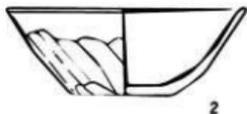
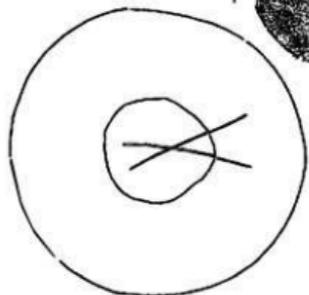


2号周溝(2)

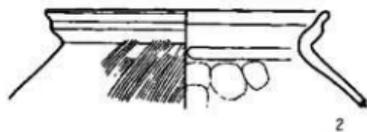
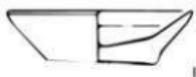
第275图 2号周溝遺構出土土器(2)



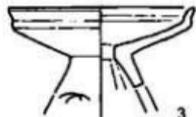
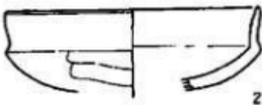
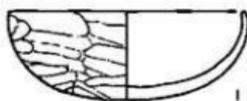
4号周溝



1号溝

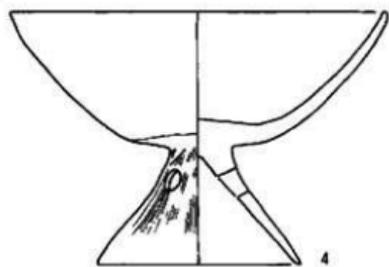


3号溝

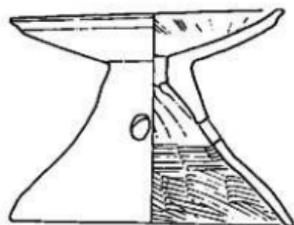


5号溝(1)

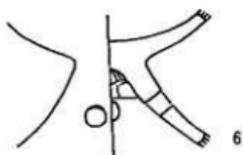
第 276 图 4号周溝遺構 1、3、5号溝出土土器



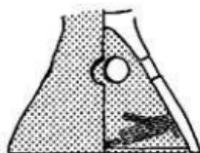
4



5



6



7



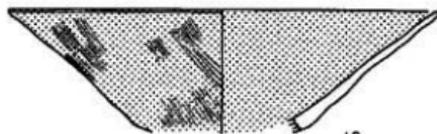
8



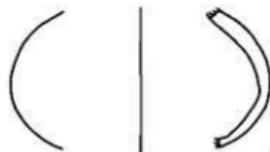
11



9



10



12

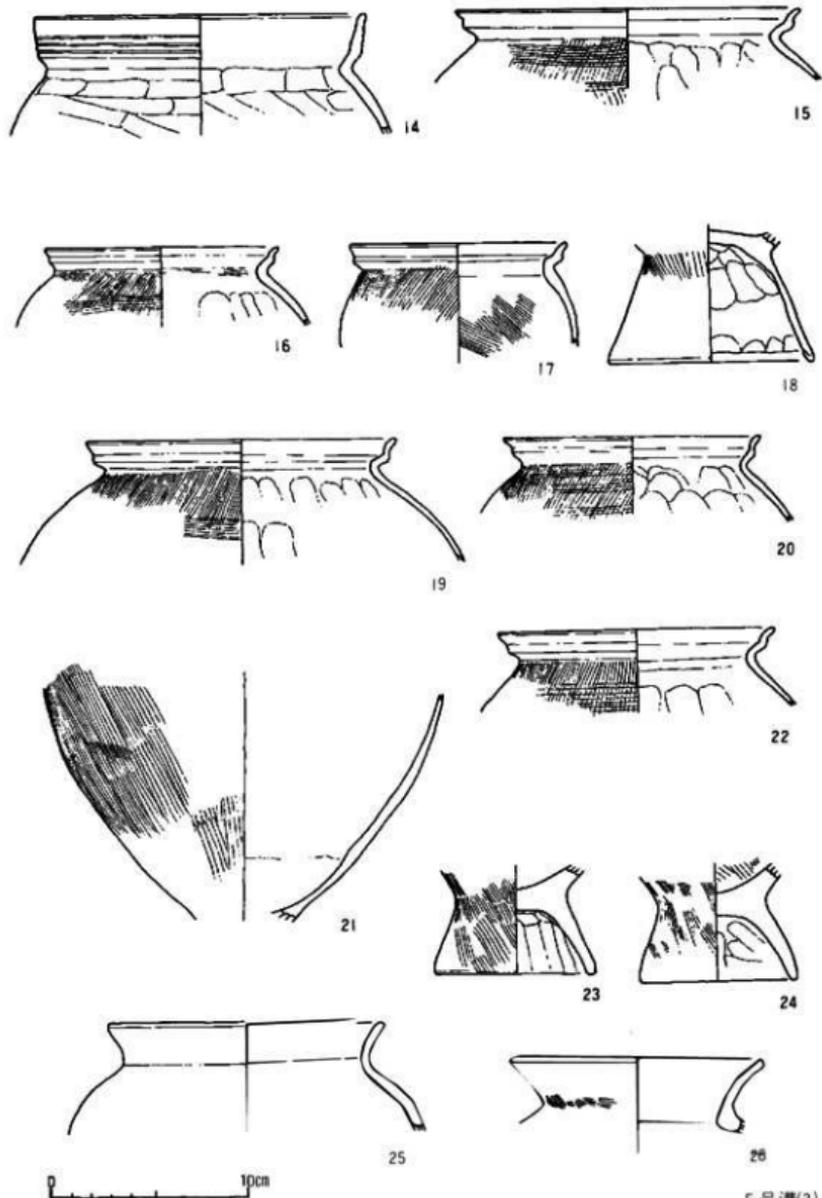


13



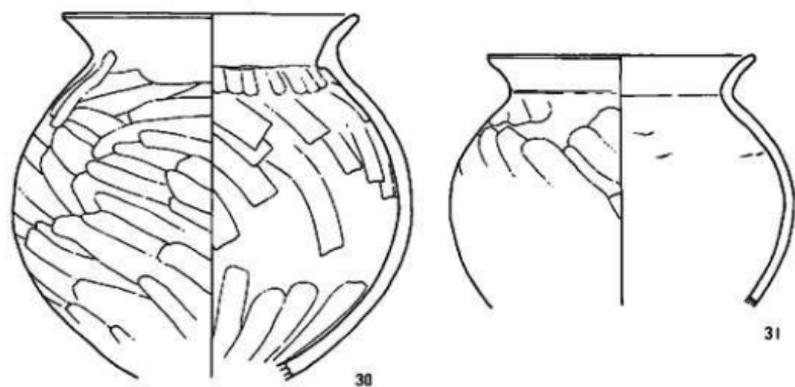
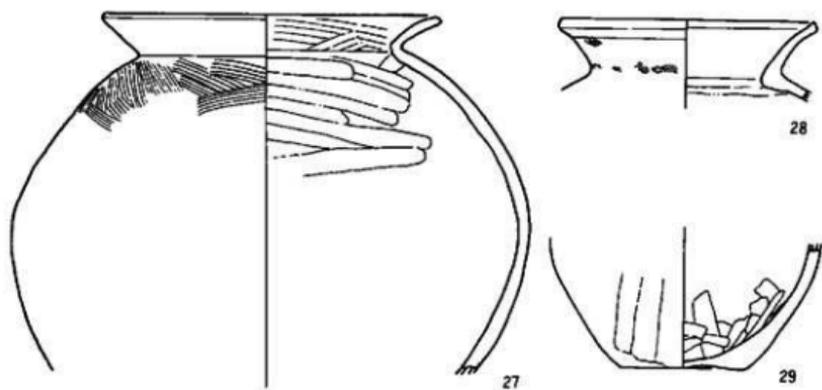
5号溝(2)

第277图 5号溝出土土器(2)



5号溝(3)

第278图 5号溝出土土器(3)



5号溝(4)



6号溝(1)

第279图 5、6号溝出土土器



3



4

6号溝(2)



1



2



3



4



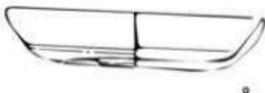
5



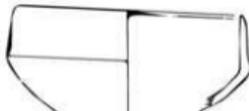
6



7



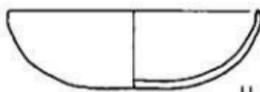
8



9



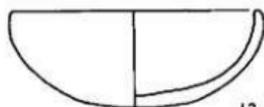
10



11



12



13



14



15



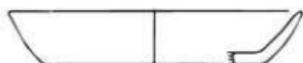
16



17



18

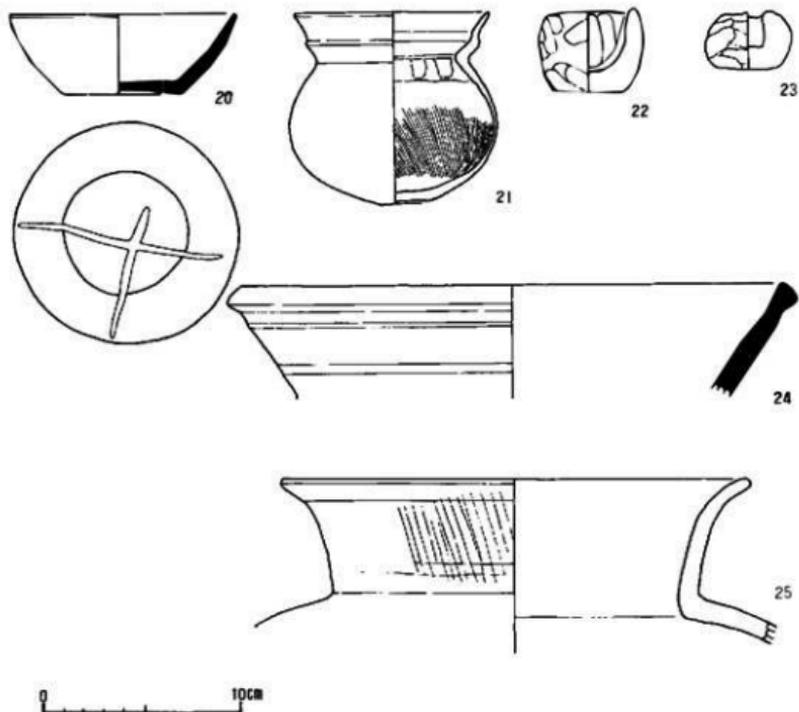


19



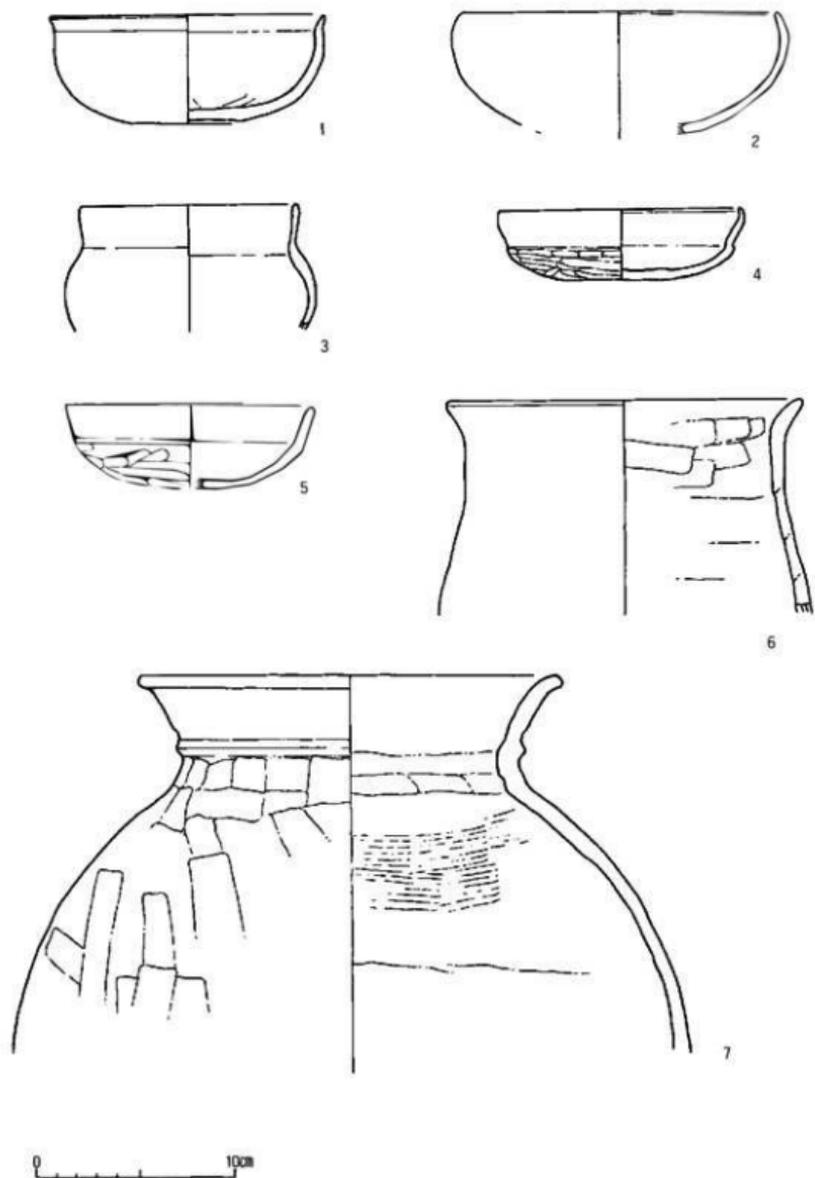
1号水路(1)

第 280 图 6号溝、1号水路出土土器

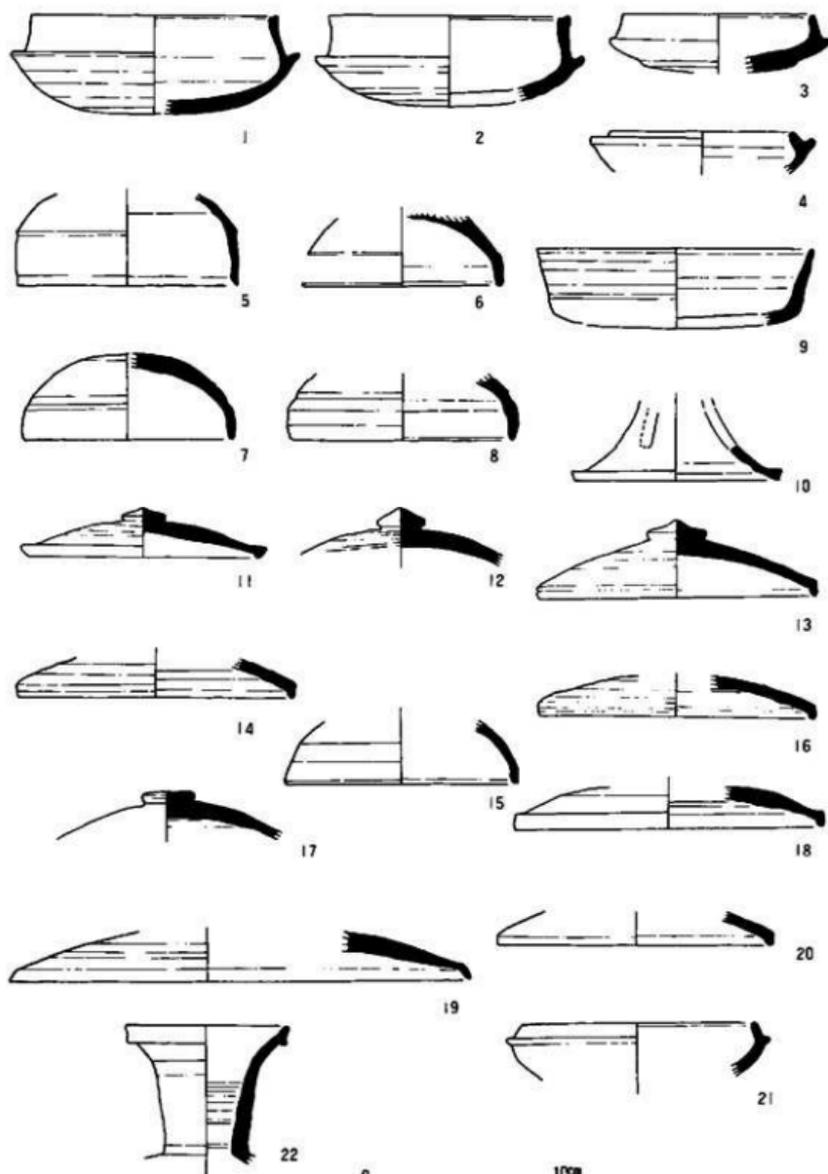


1号水路(2)

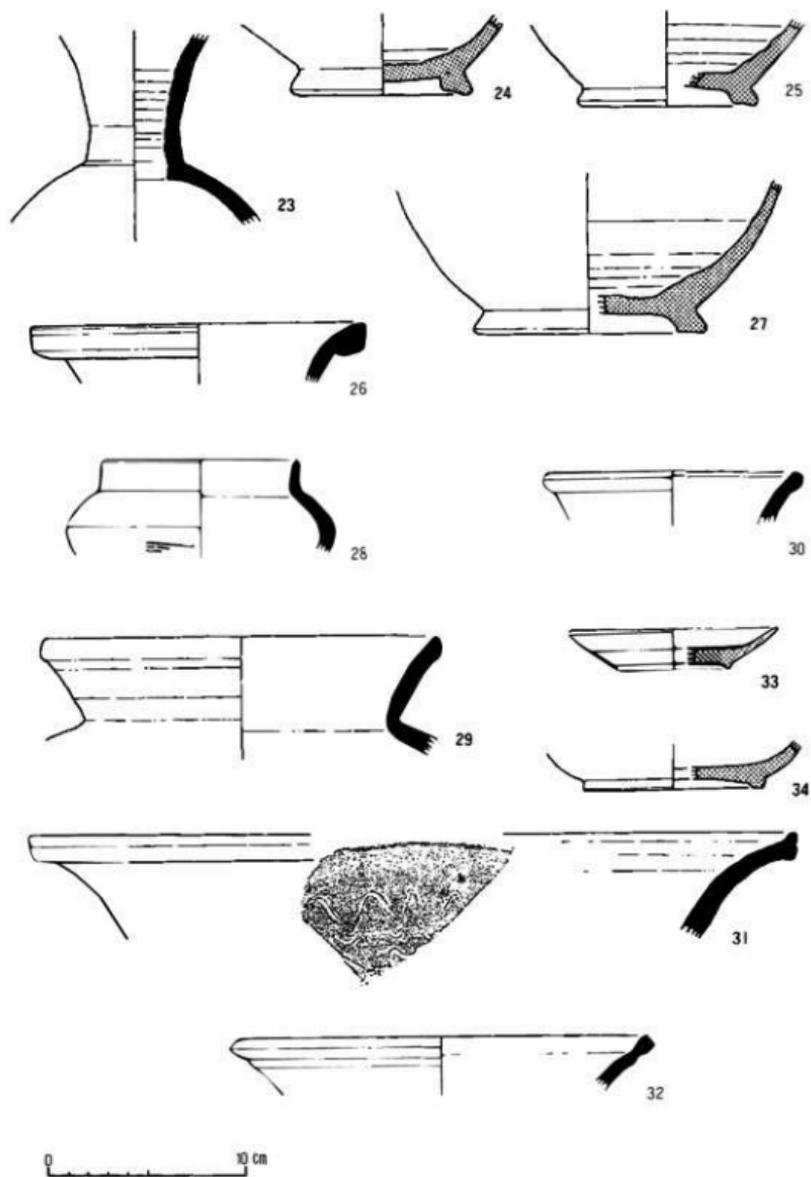
第281图 1号水路出土土器(2)



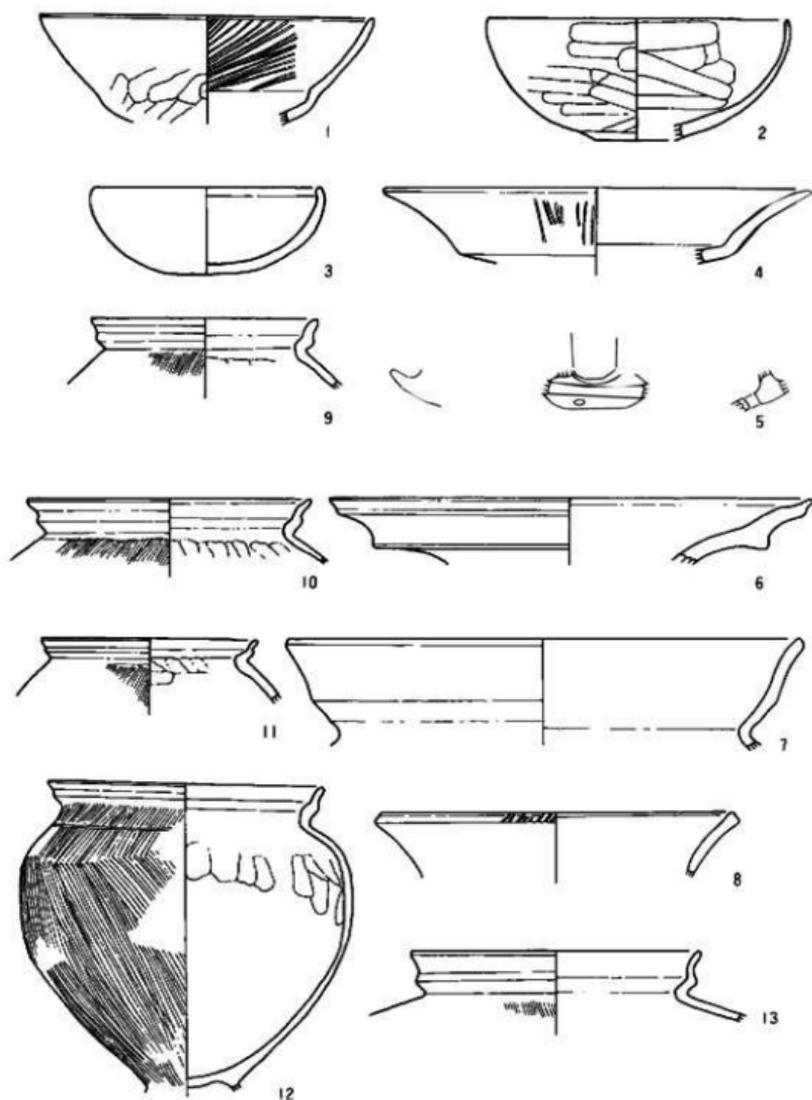
第282图 土壙出土土器



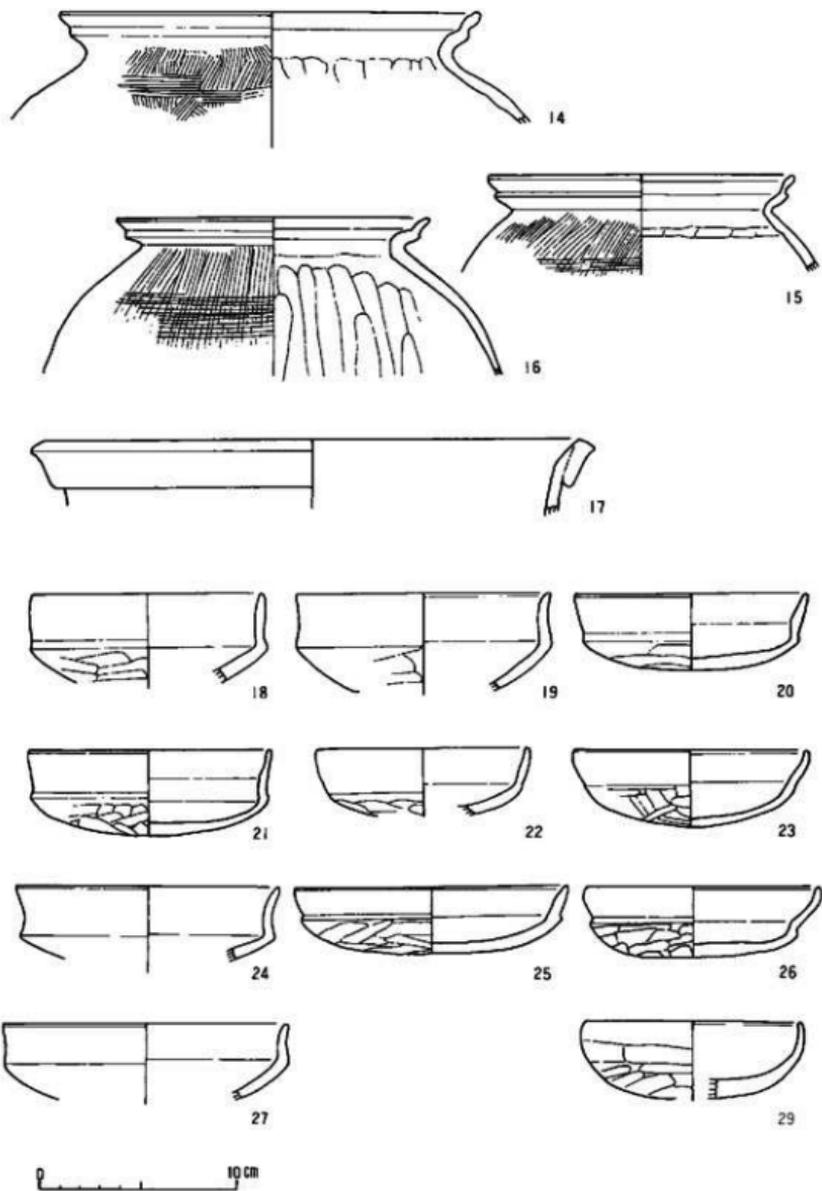
第283図 グリット出土須恵器



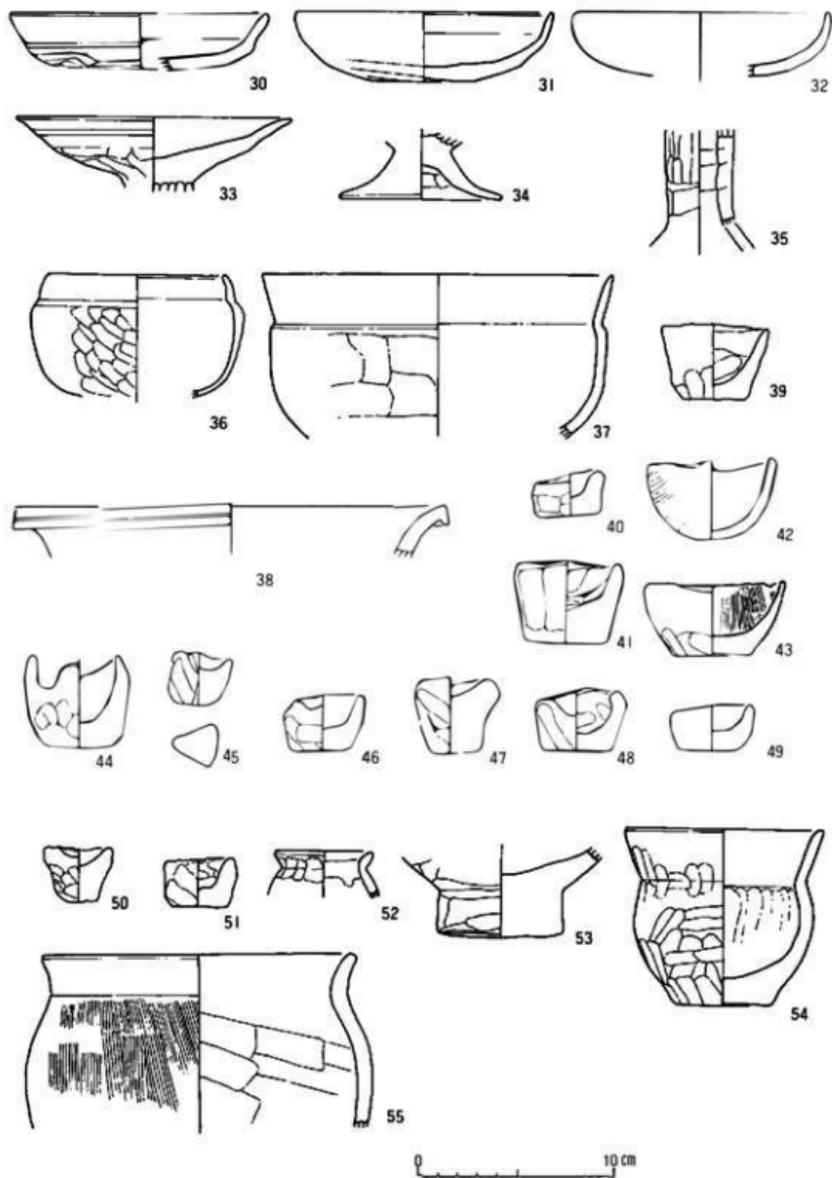
第 284 図 グリット出土須恵器、灰釉陶器



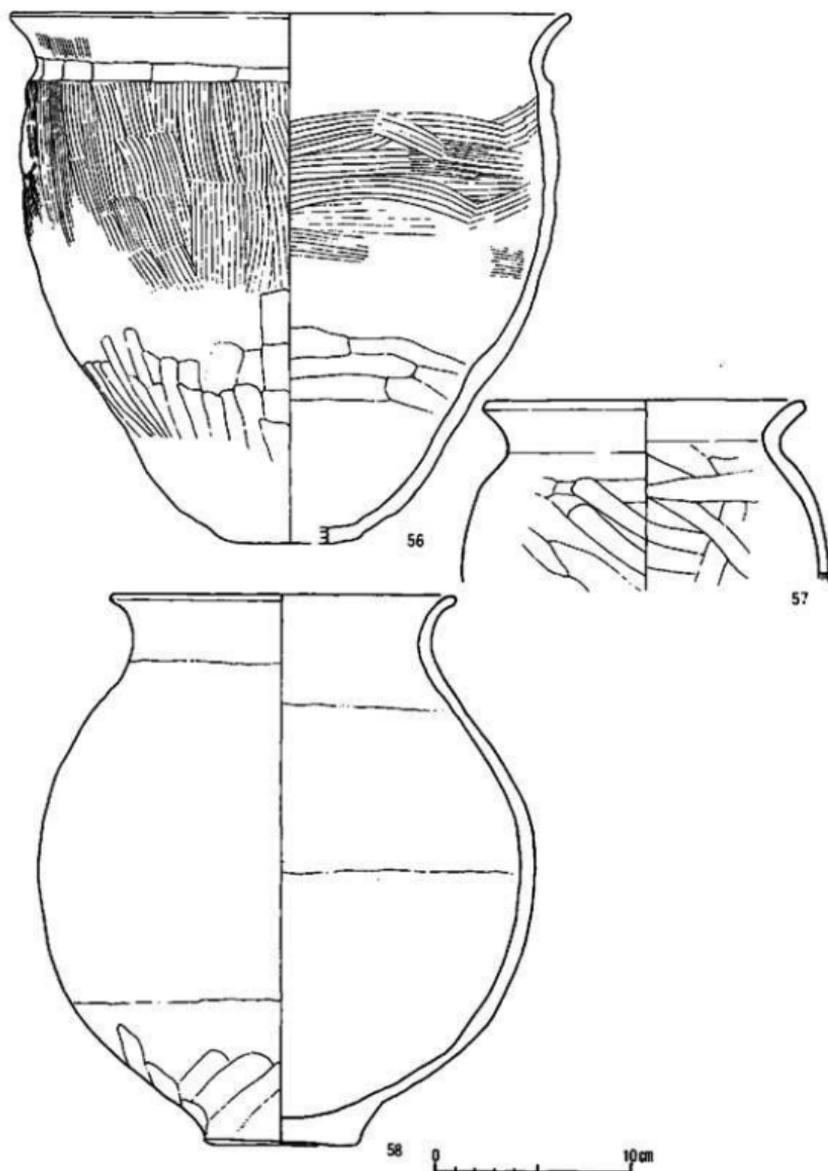
第 285 図 その他出土土器 (1)



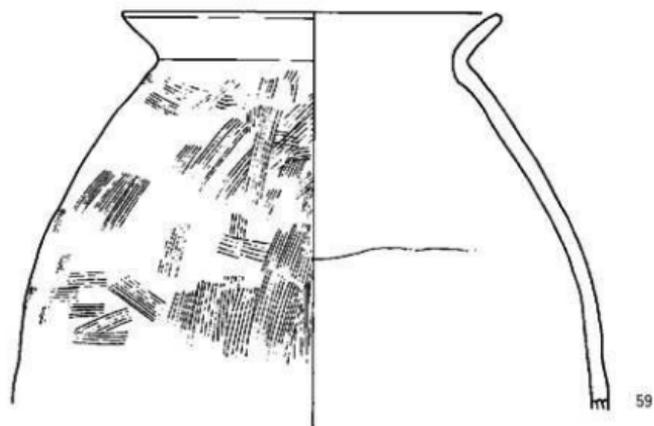
第 286 図 その他出土土器 (2)



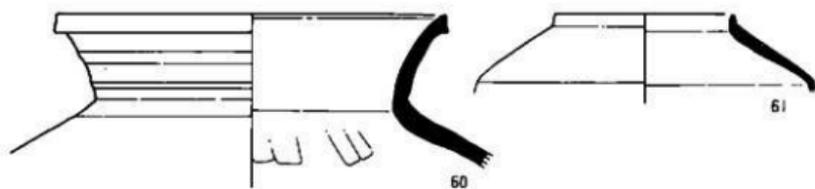
第 287 図 その他出土土器 (3)



第 288 図 その他出土土器 (4)

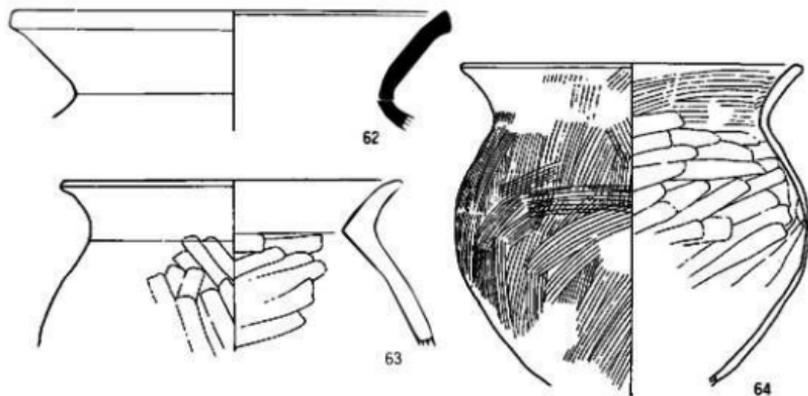


59



60

61



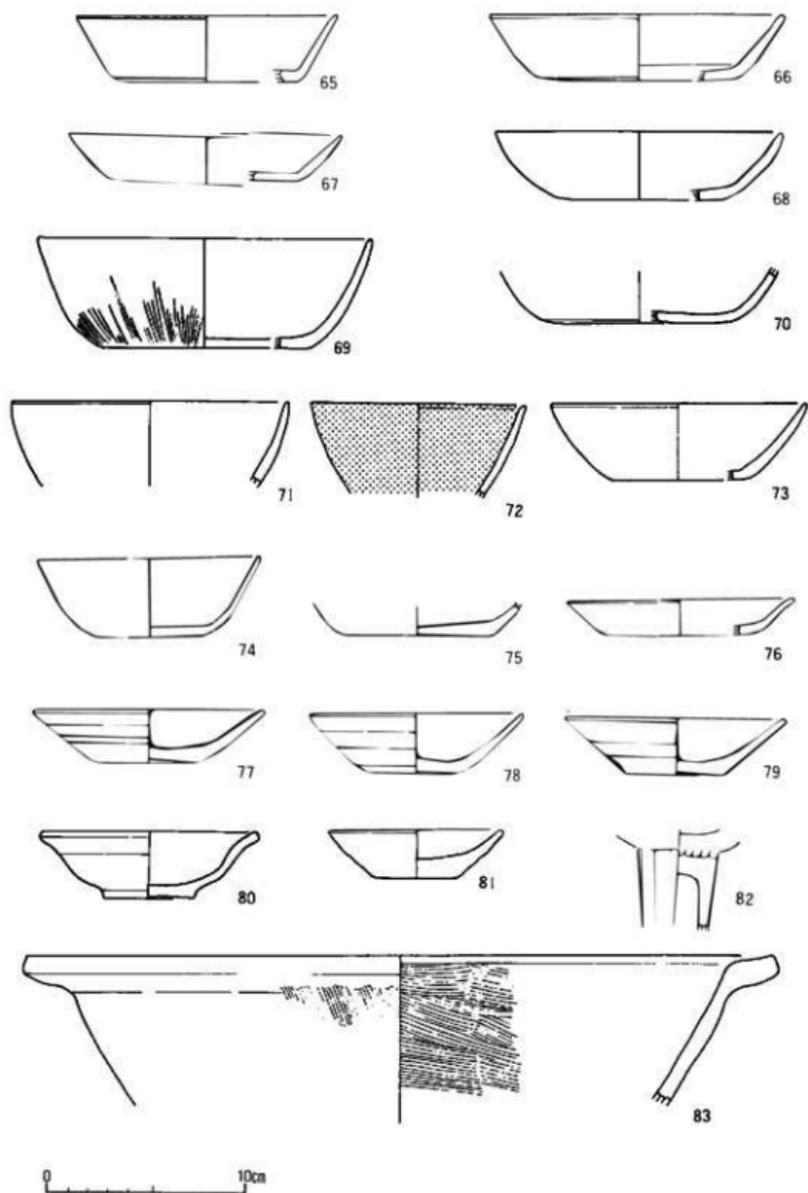
62

63

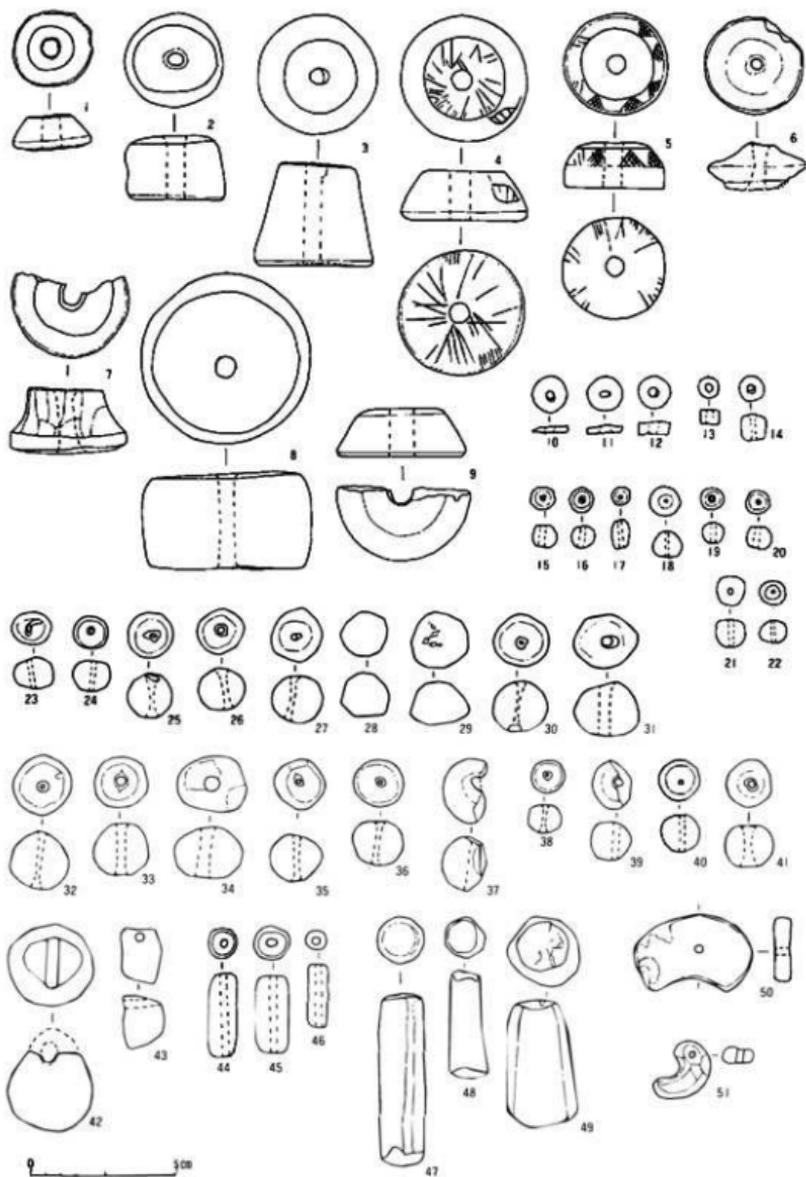
64



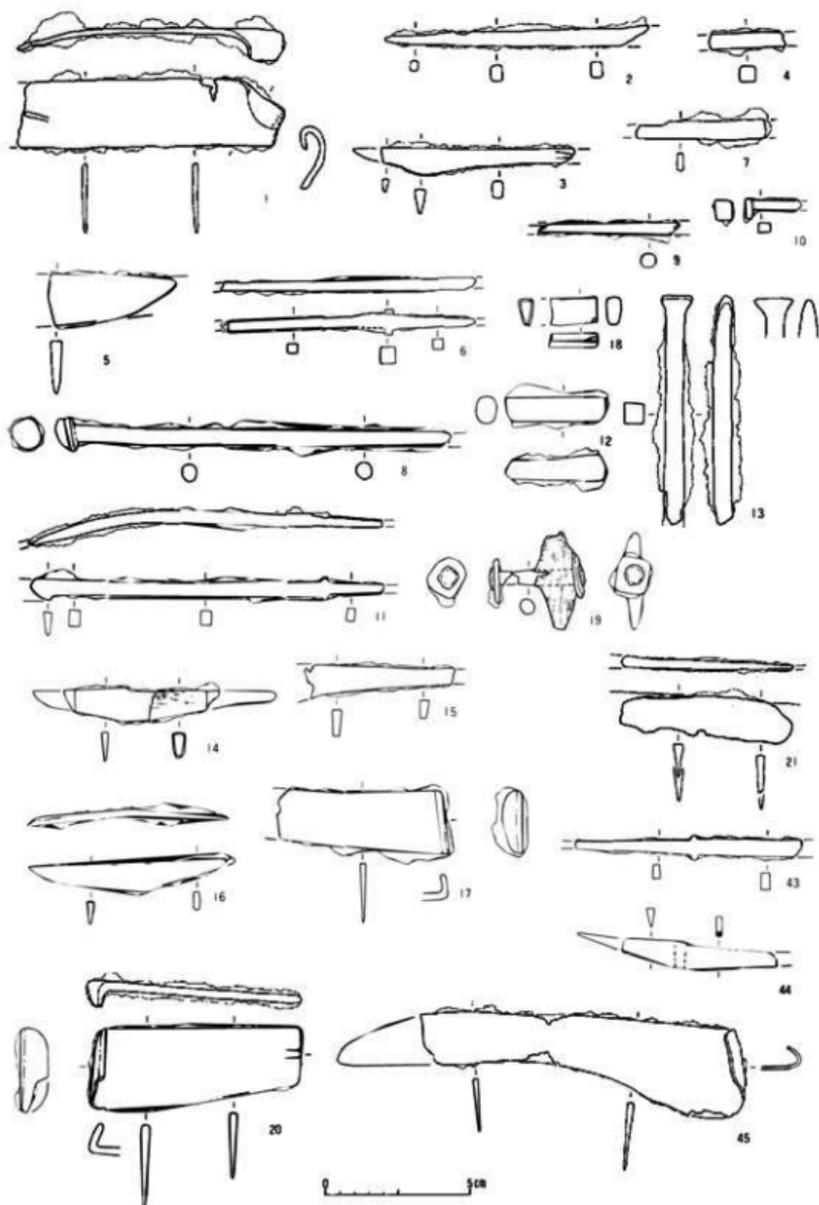
第289図 その他出土土器 (5)



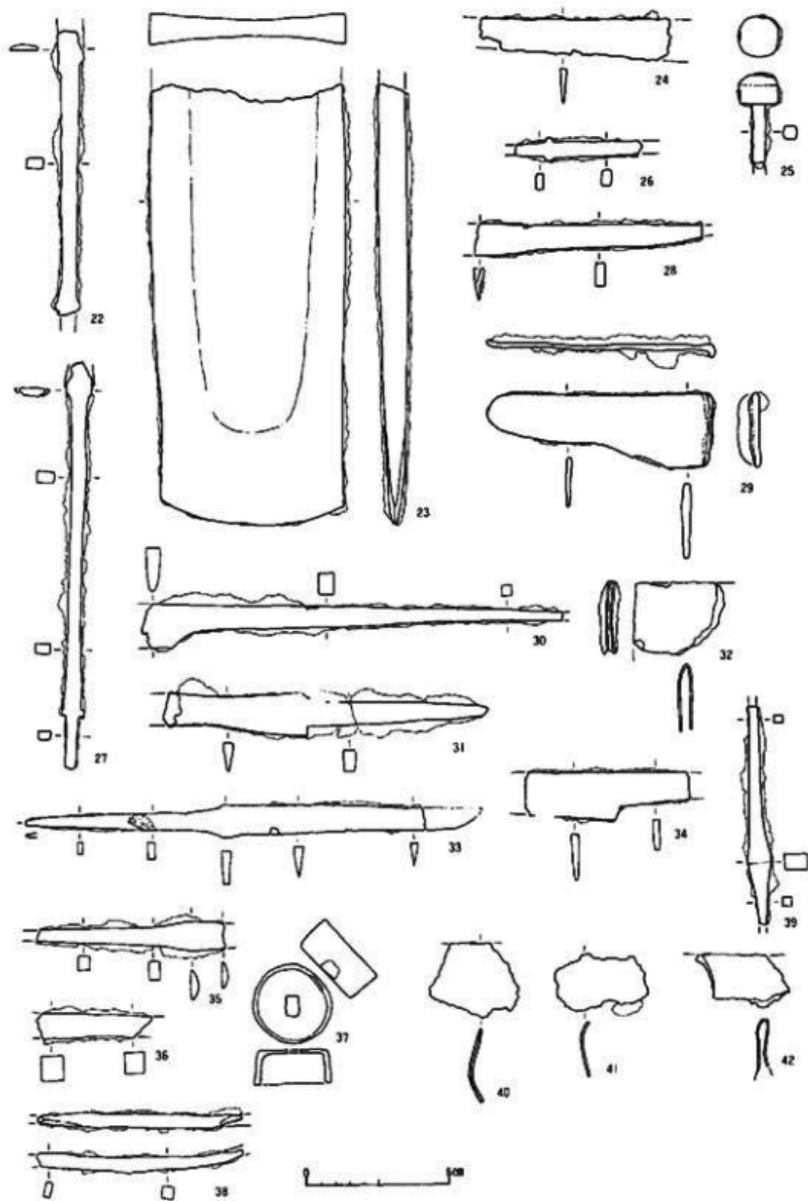
第 290 図 その他出土土器 (6)



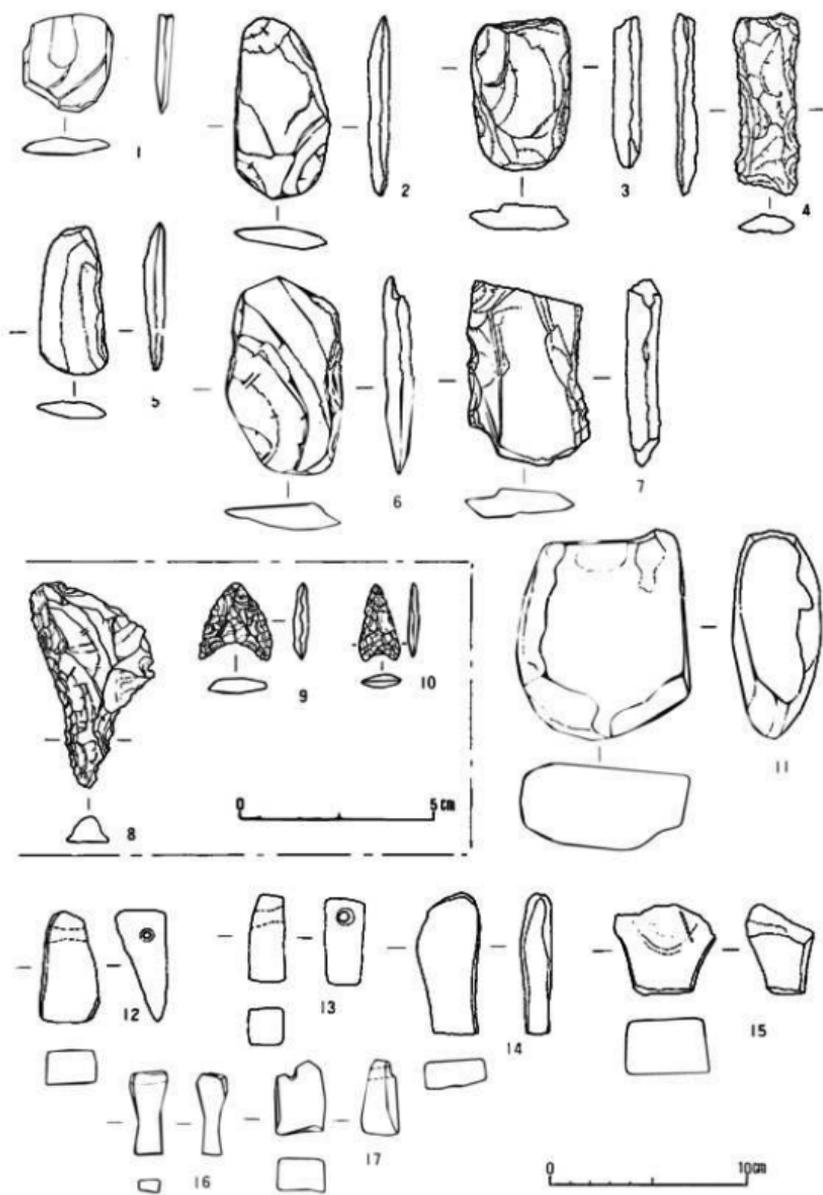
第 291 圖 遺跡內出土紡錘車、玉、土鏡、他



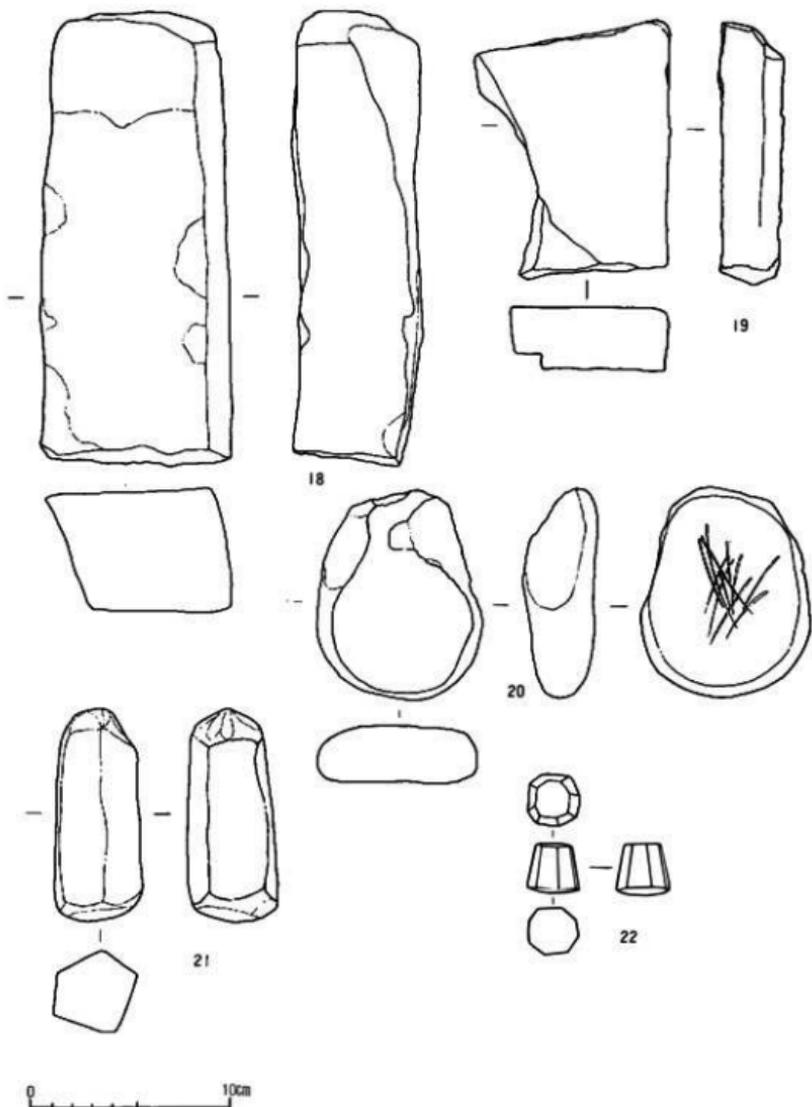
第 292 图 住居出土铁製品 (1)



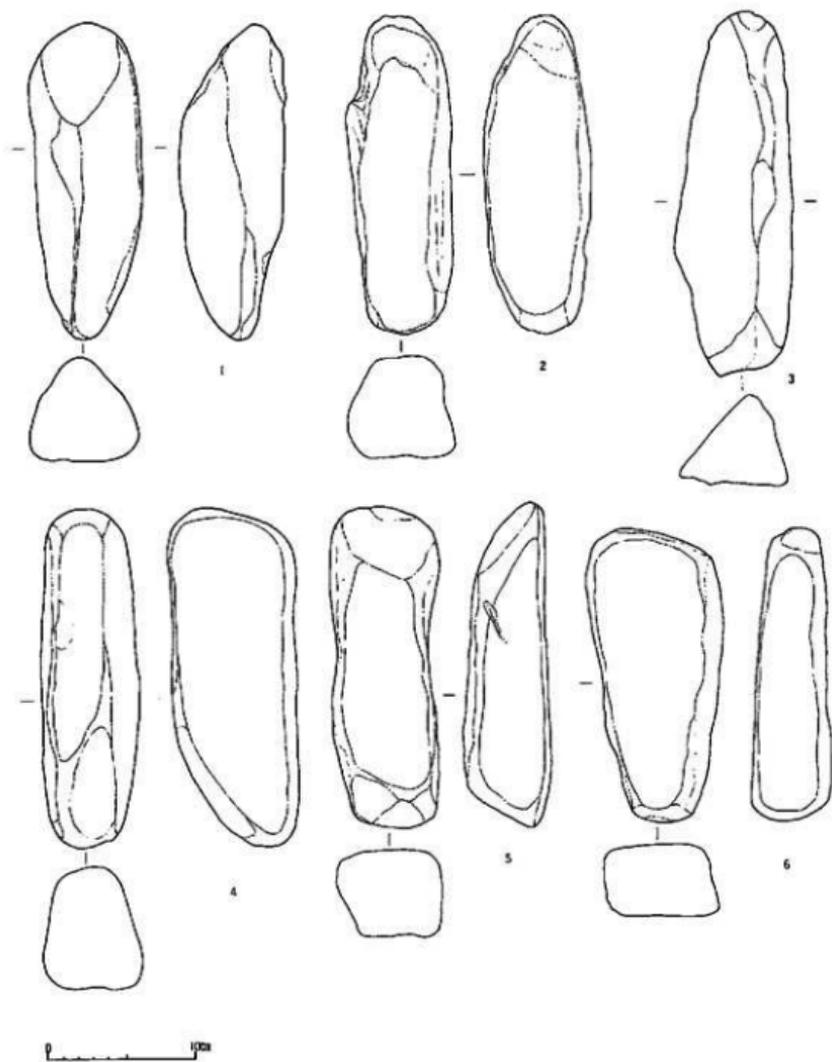
第 293 图 住居出土鉄製品 (2)



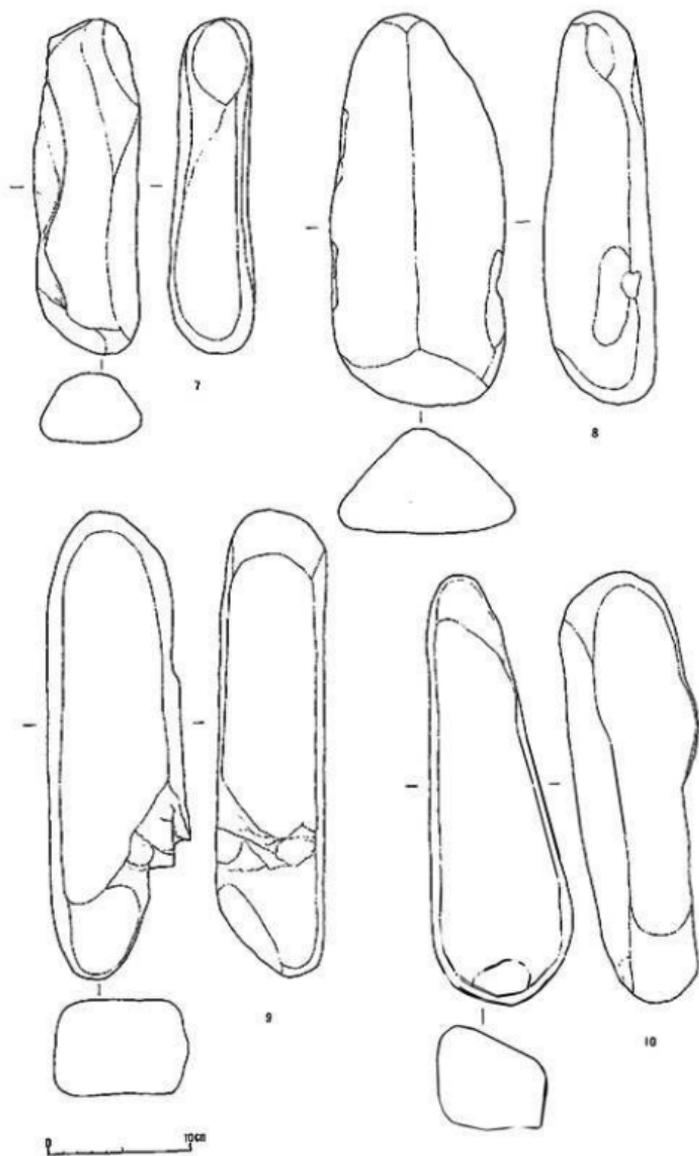
第294圖 打製石斧、石鏃、磁石 (1)



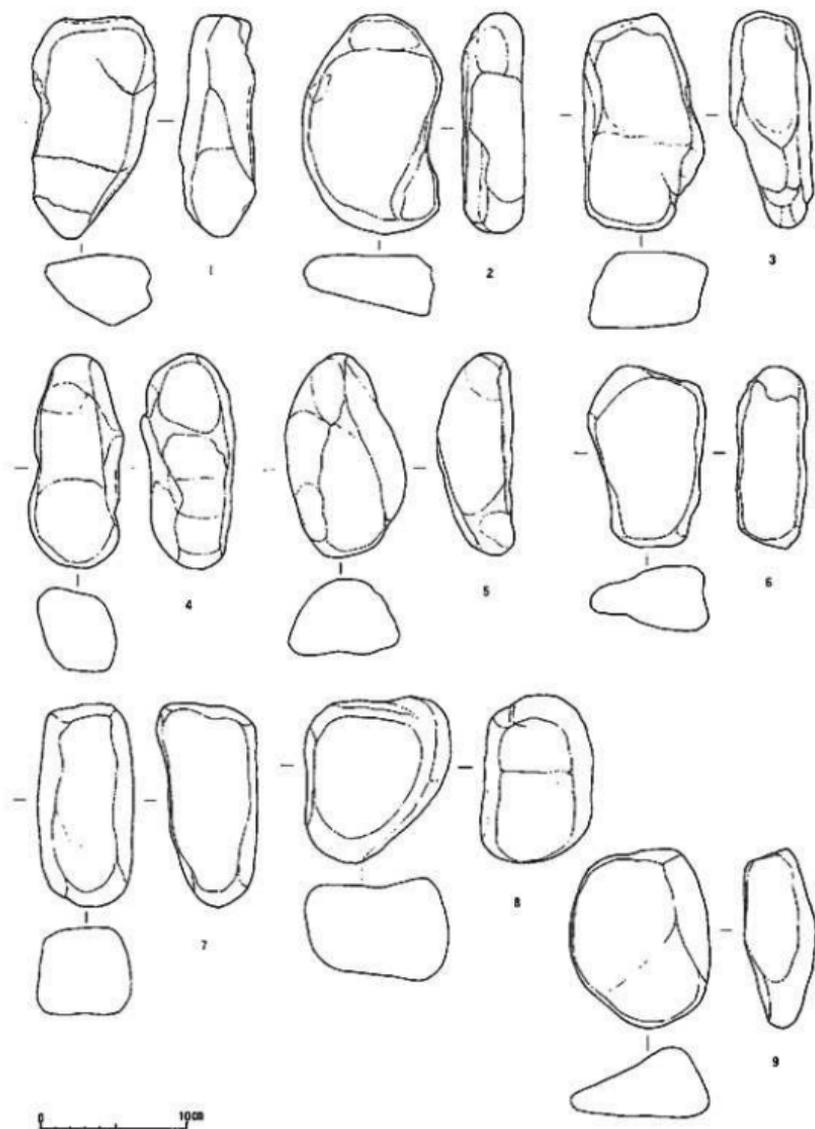
第 295 圖 磁石 (2)



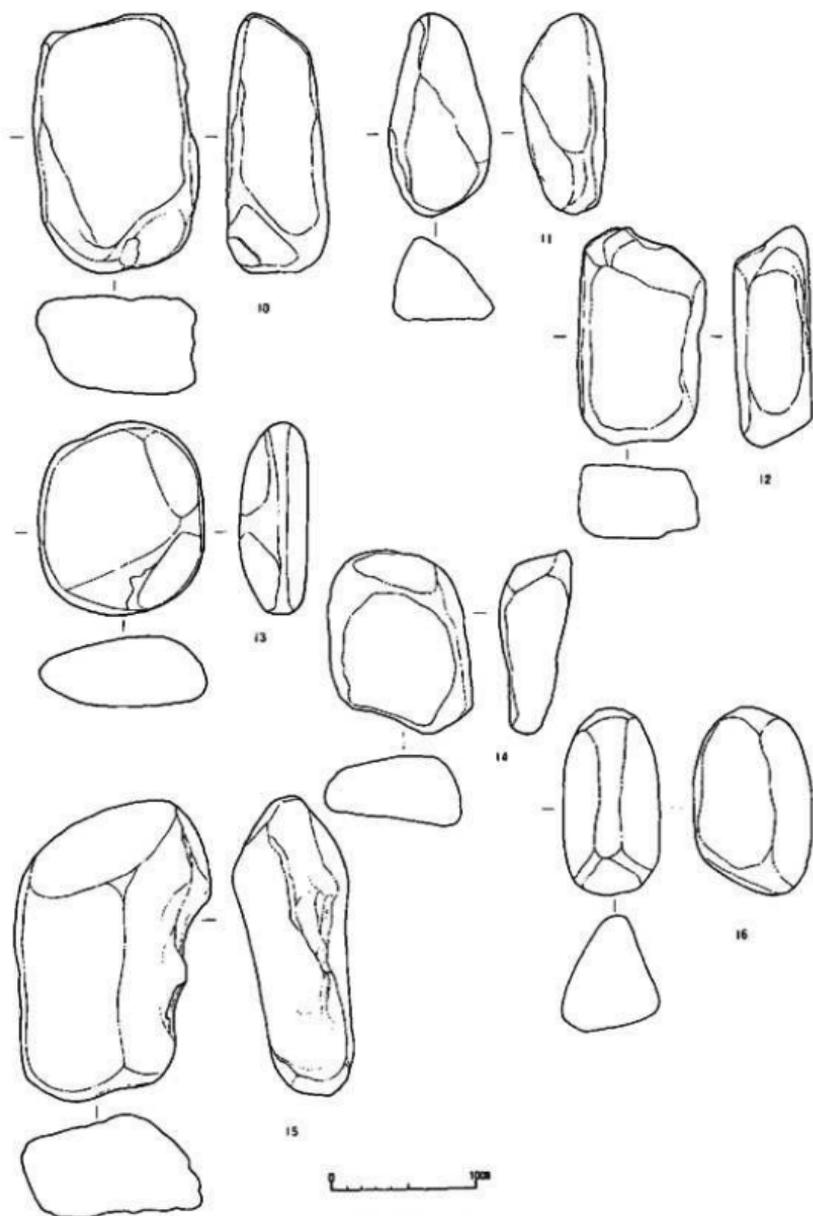
第296圖 竈内出土石製支脚 (1)



第 297 回 竈内出土石製支脚 (2)



第 298 图 住居内出土編物用石錘 (1)



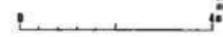
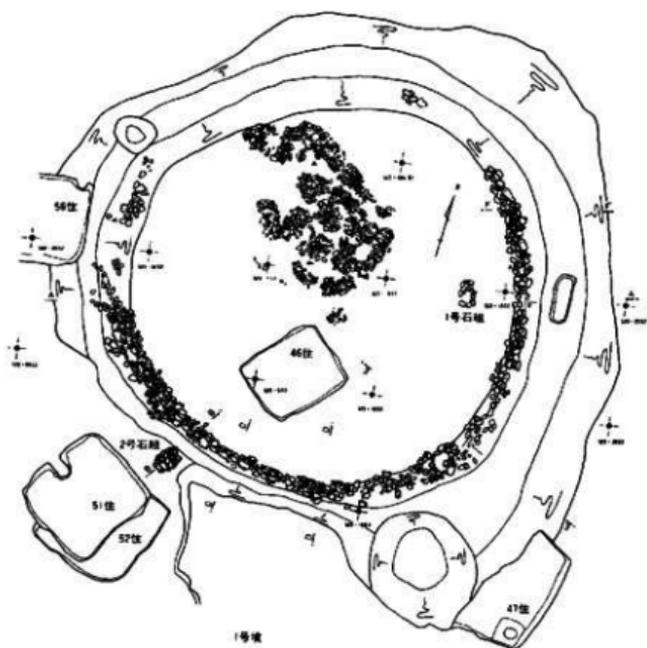
第 299 図 住居内出土編物用石錘 (2)



第 300 图 住居内出土縄物用石器 (3)

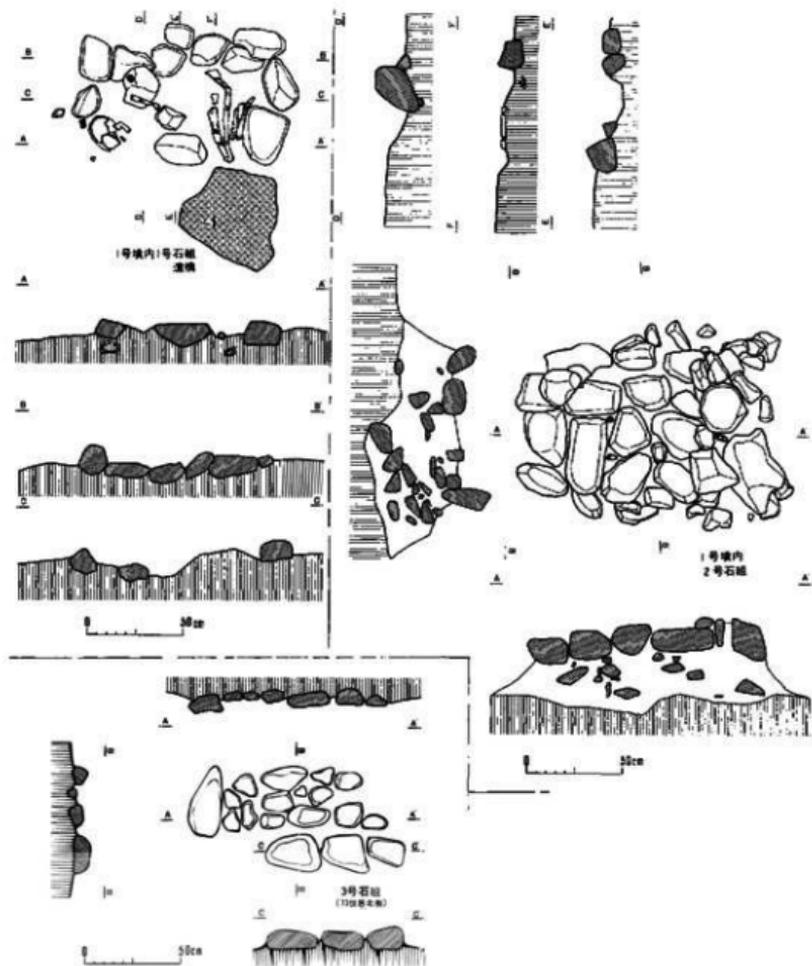


第 301 图 住居内出土編物用石器 (4)

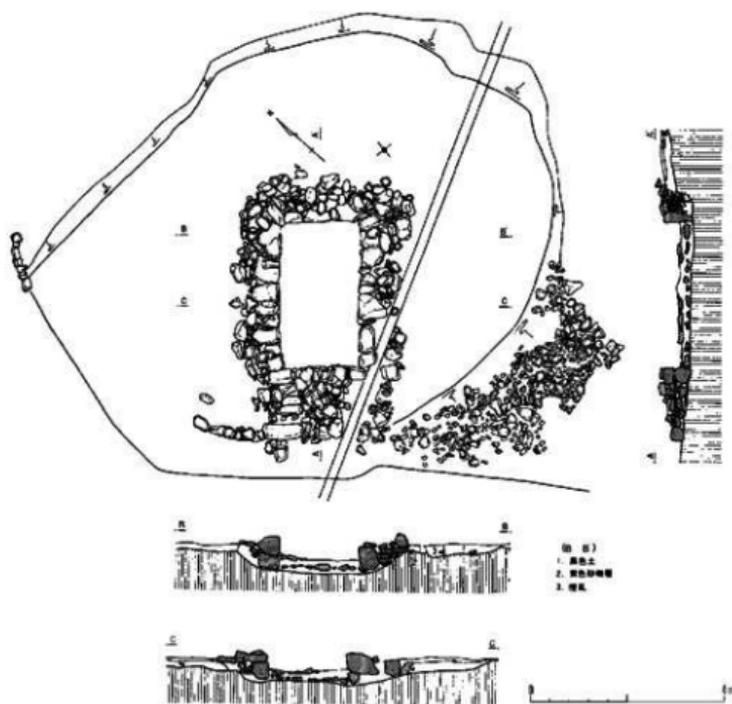


1 夯填土
 2 夯填土
 3 夯填土
 4 夯填土

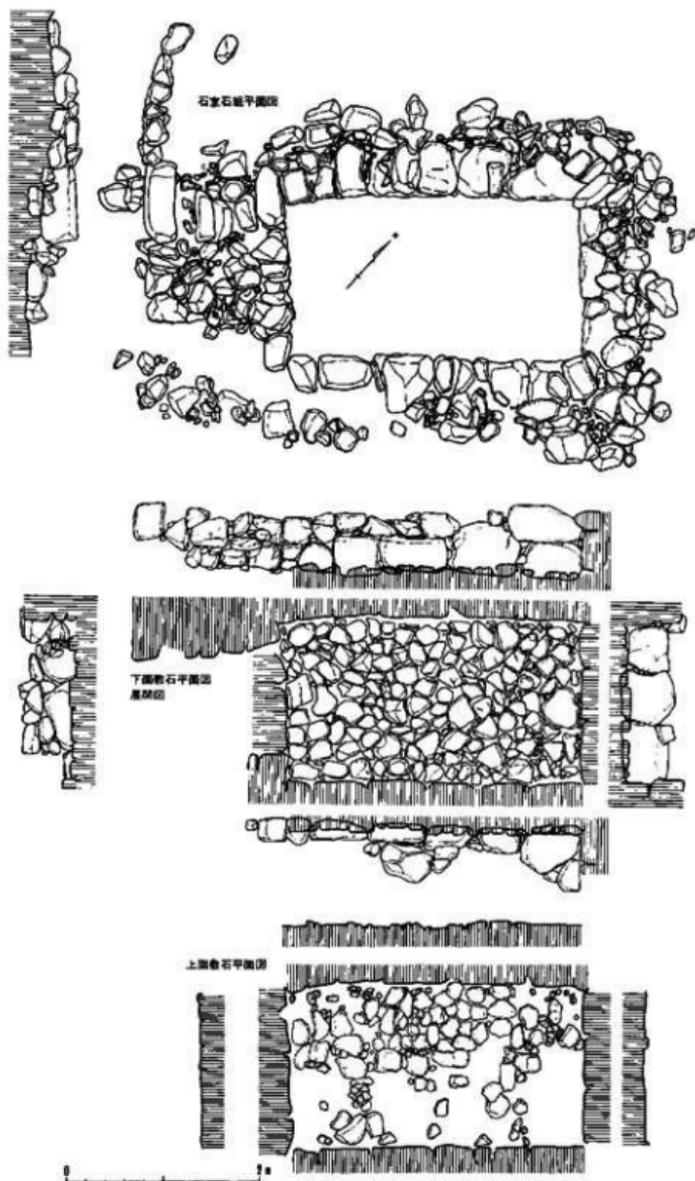
第 302 图 1 号填平面图



第 303 图 1号坑内1号石组遗物、1号坑丘2号石组遗物、3号石组遗物平面图



第 304 图 2 号填平面图



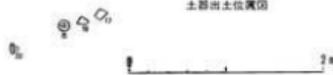
第 305 圖 2 号墳石室展開圖



鉄製品、玉類出土位置図

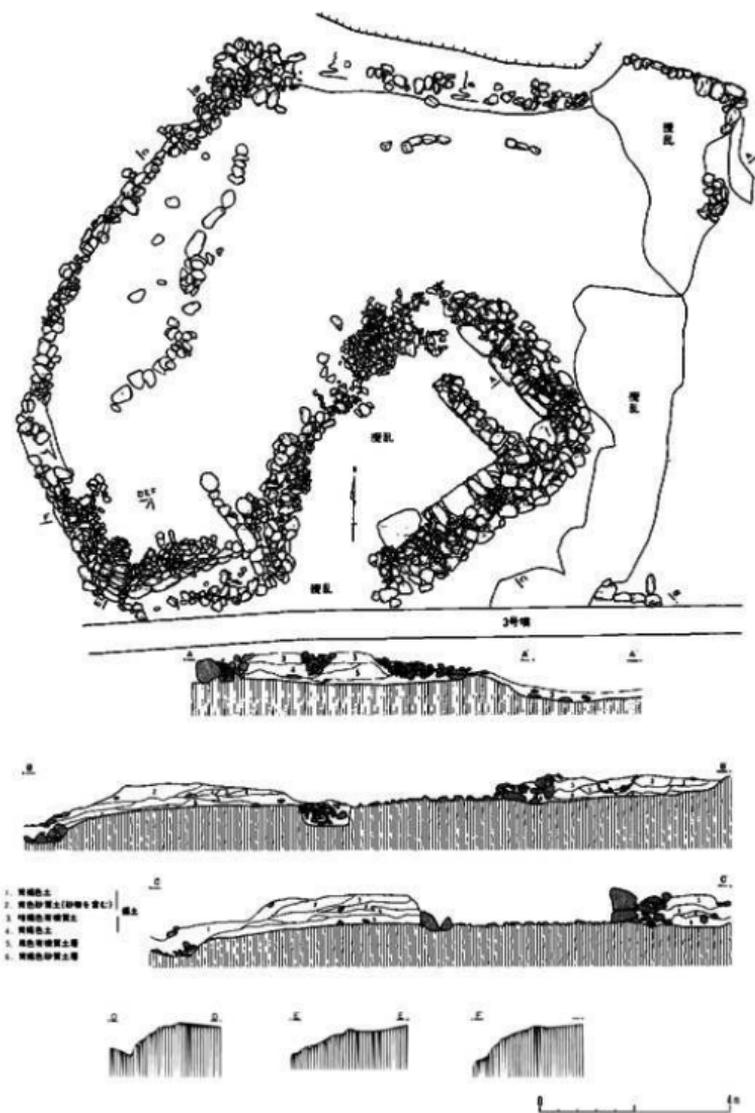


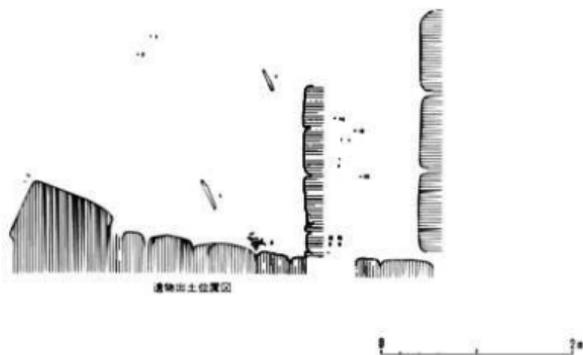
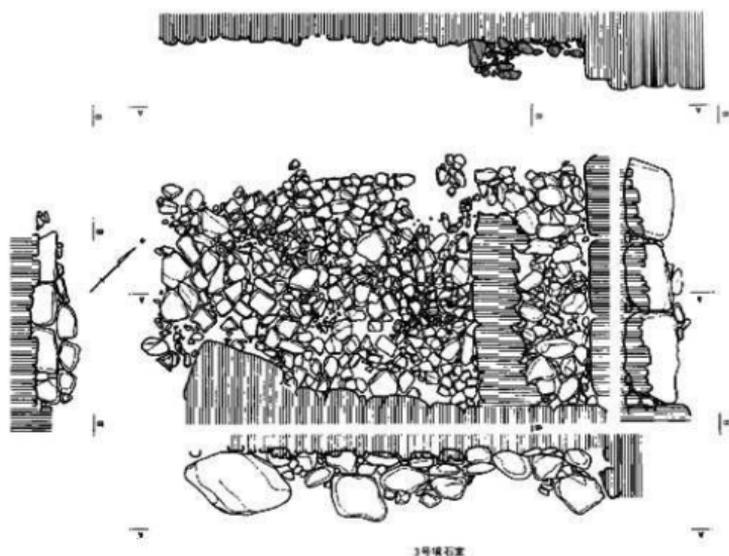
土器出土位置図



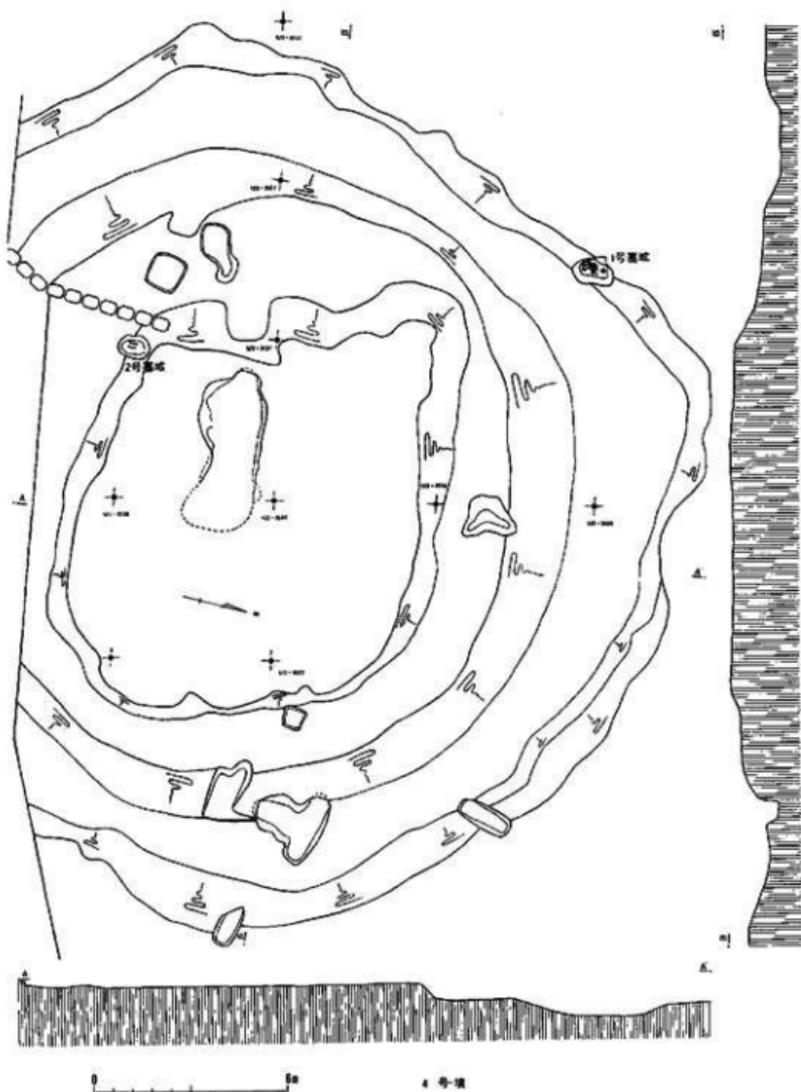
人骨出土位置図

第306図 2号墳、鉄製品、玉類、土器、人骨出土位置図

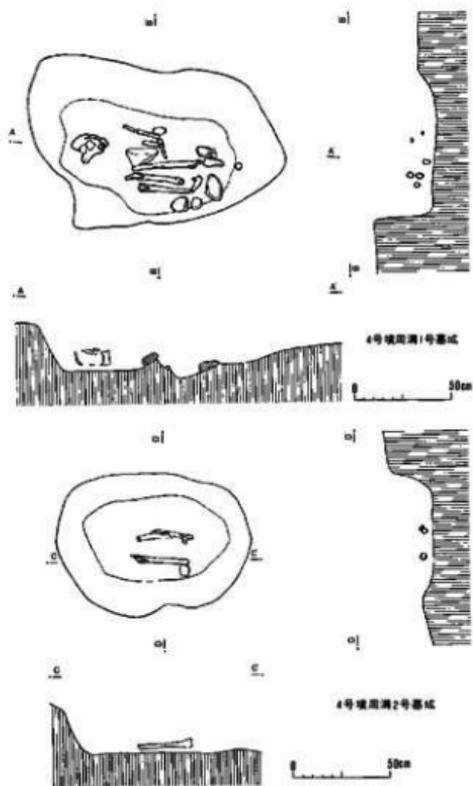




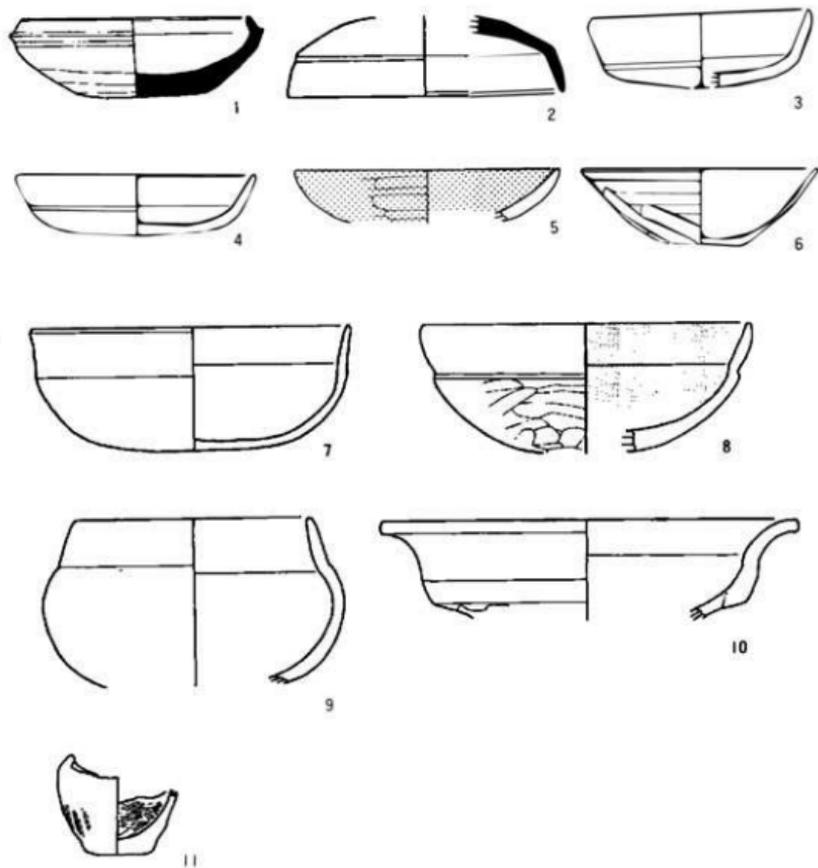
第 308 图 3号填石室展開図、遺物出土位置図



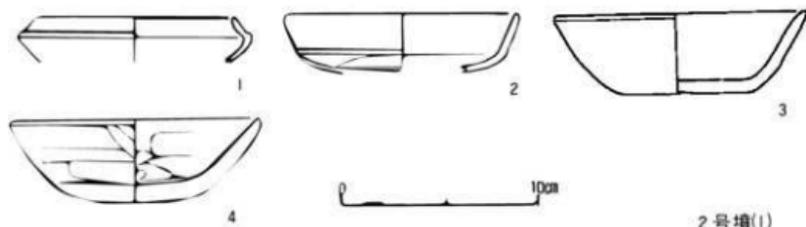
第309图 4号墳平面图



第310图 4号坟内、1、2号墓坟平面图

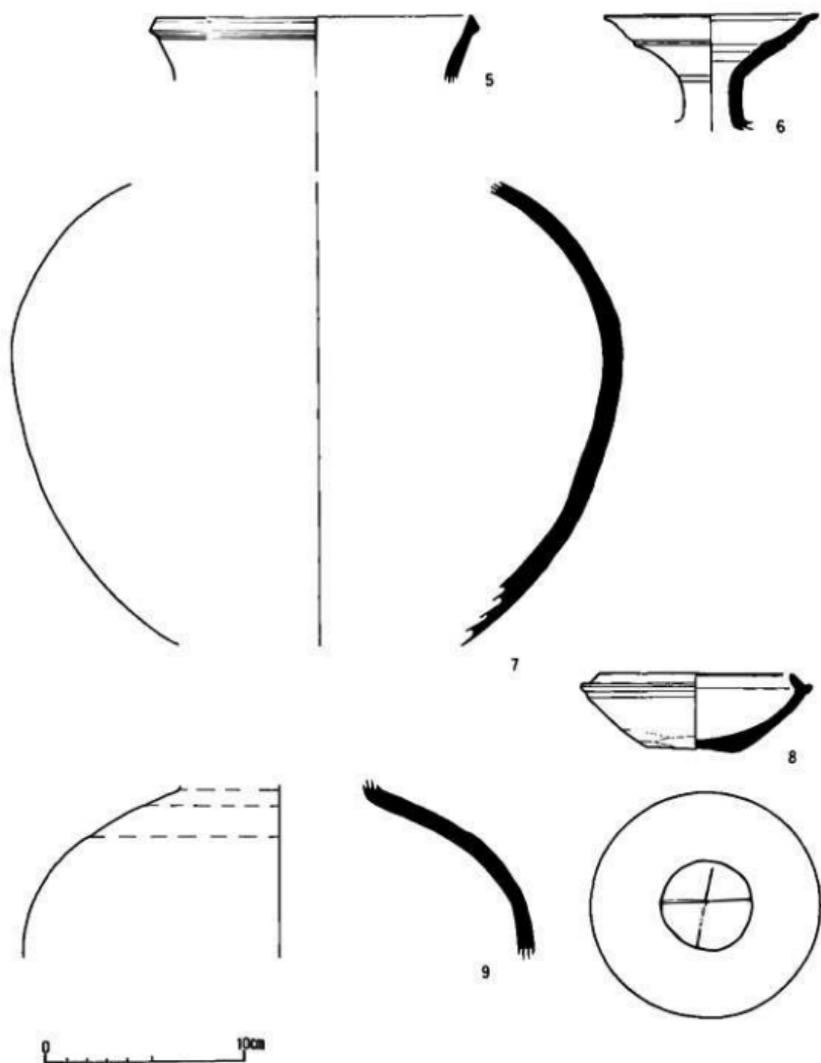


1号墳



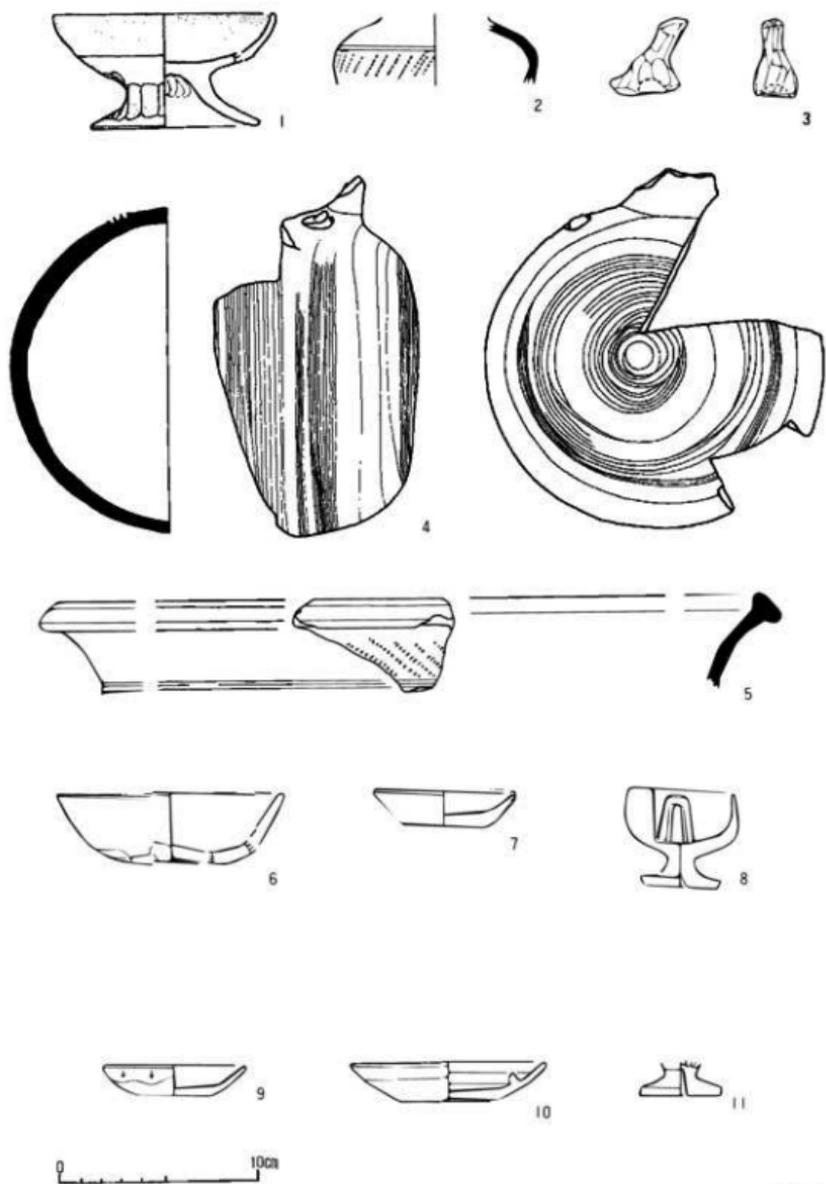
2号墳(1)

第311图 1、2号墳出土土器



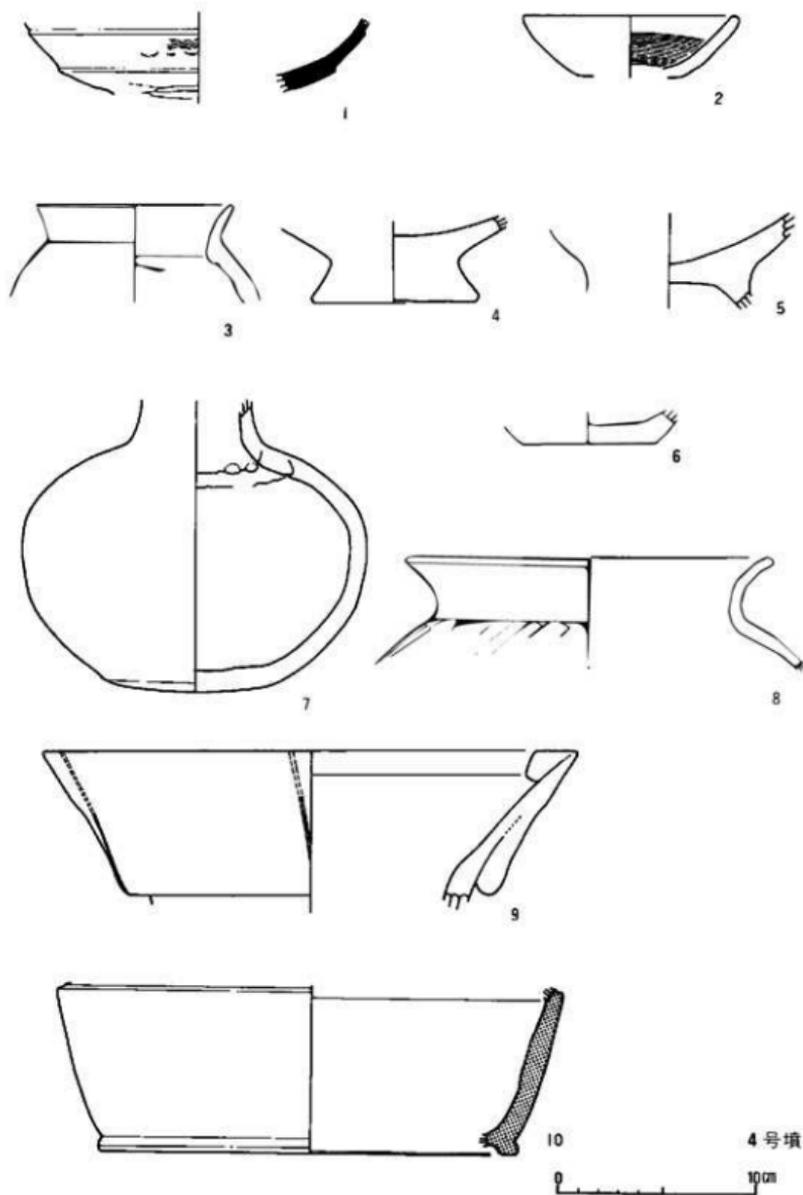
2号墳(2)

第312图 2号墳出土土器

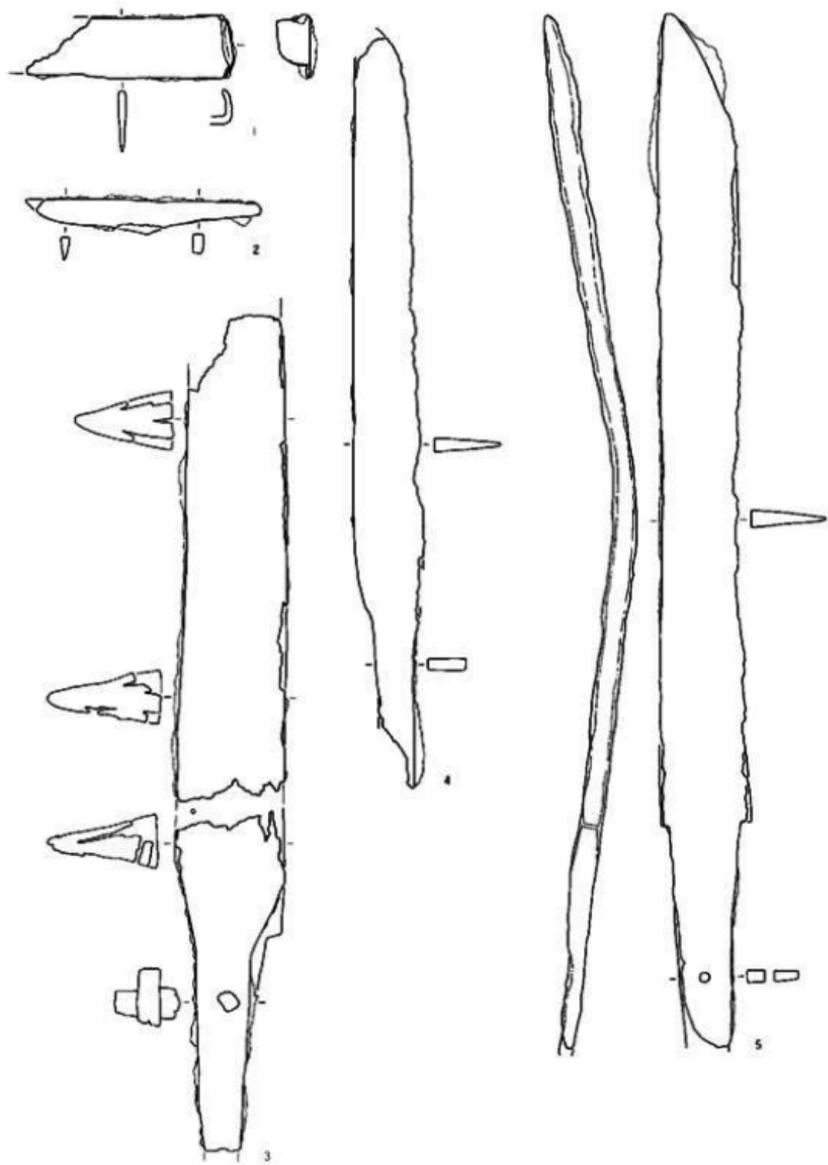


3号坑

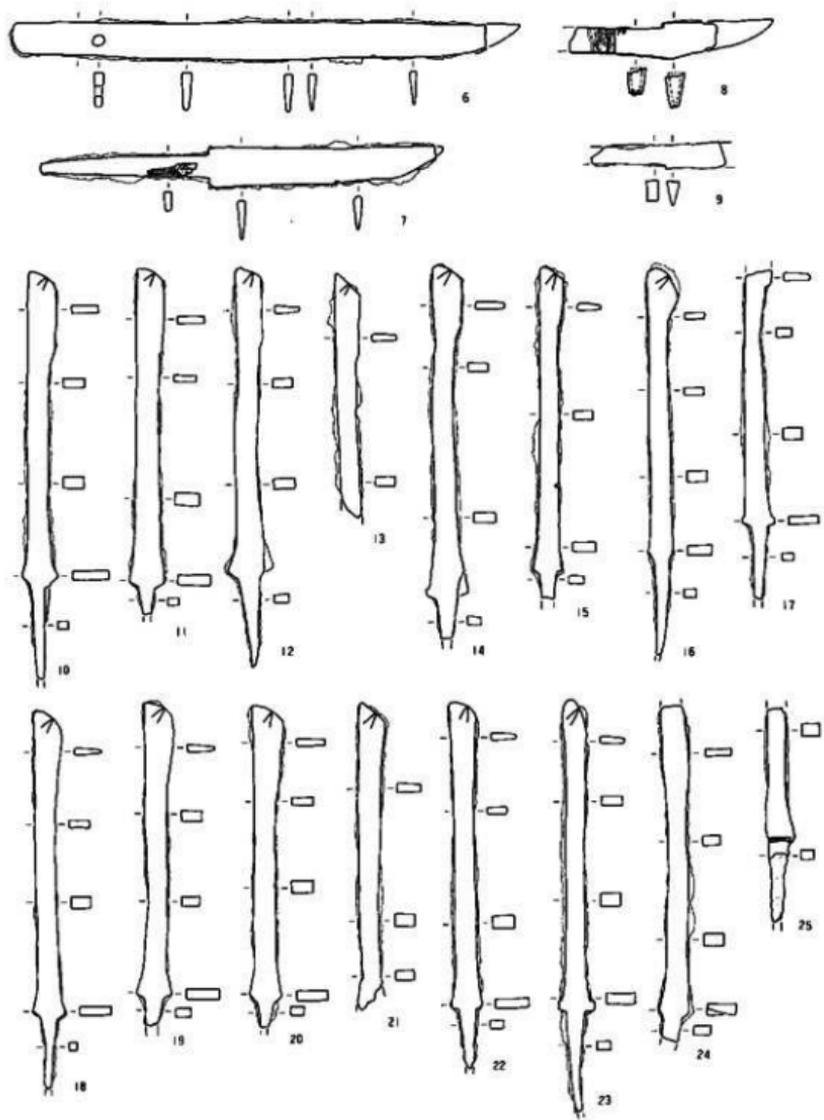
第313图 3号坑出土土器



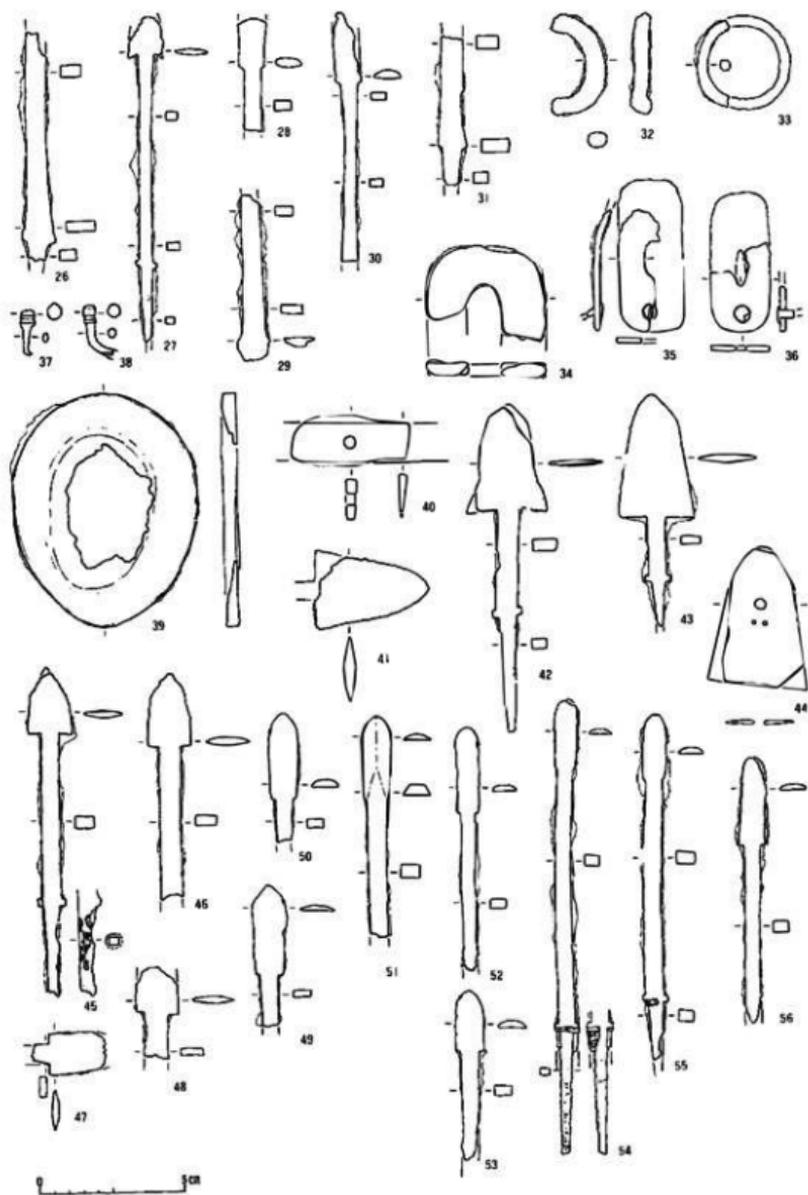
第314图 4号坑出土土器



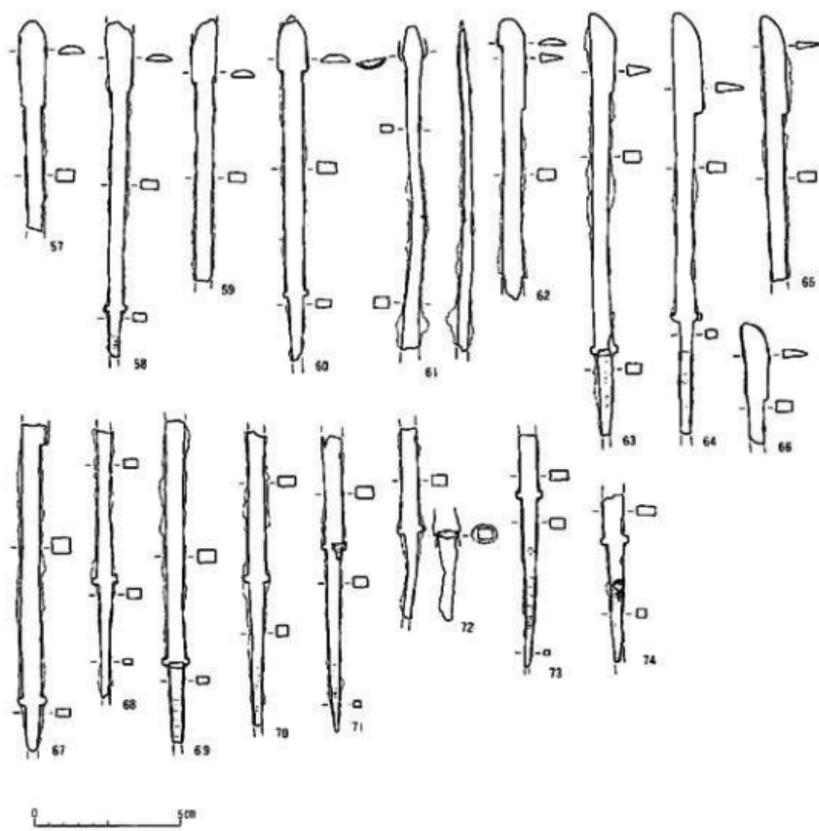
第315图 1、2号出土铁製品(1)



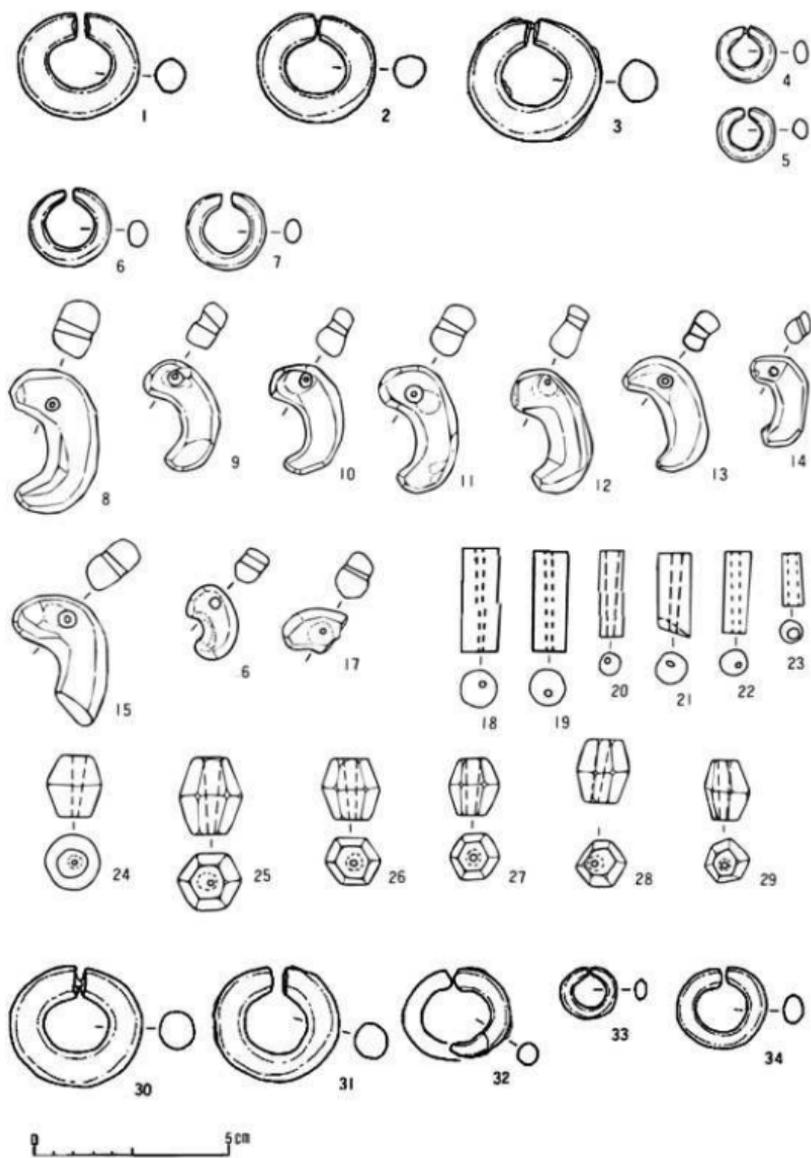
第 316 图 2 号出土铁製品 (2)



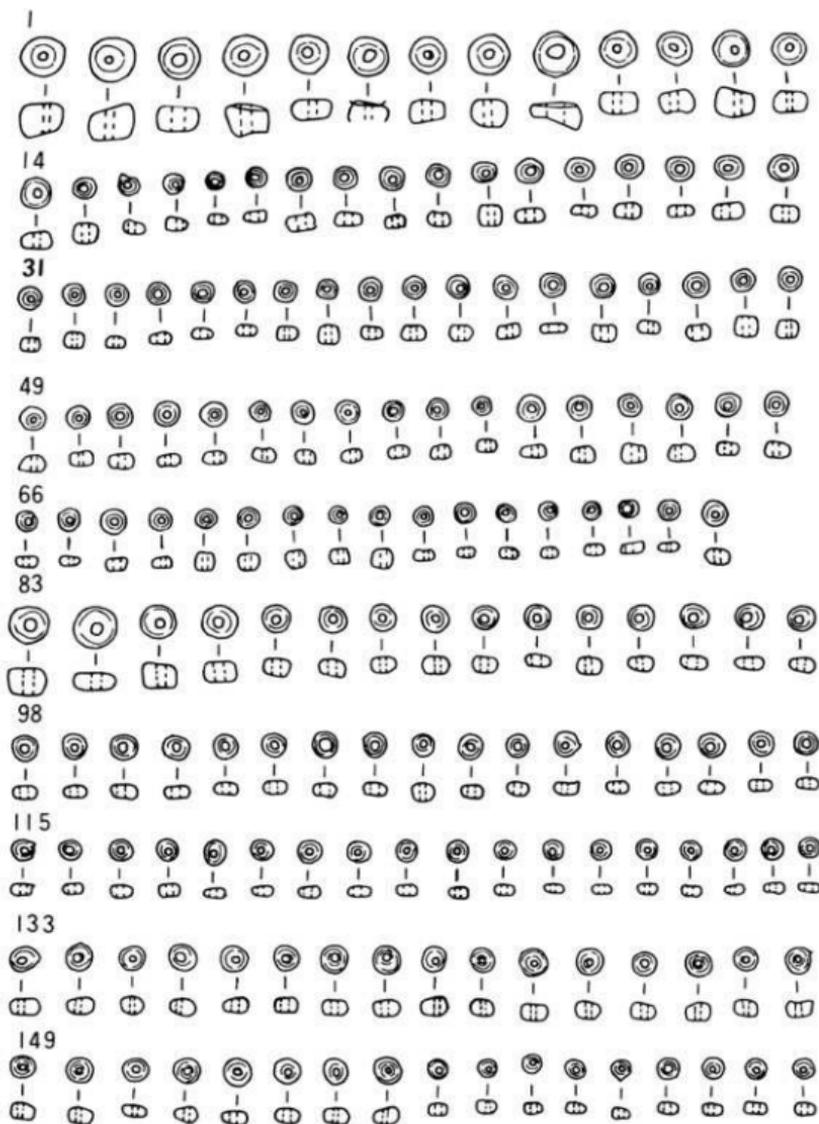
第 317 图 2、3号出土铁製品 (3)



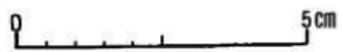
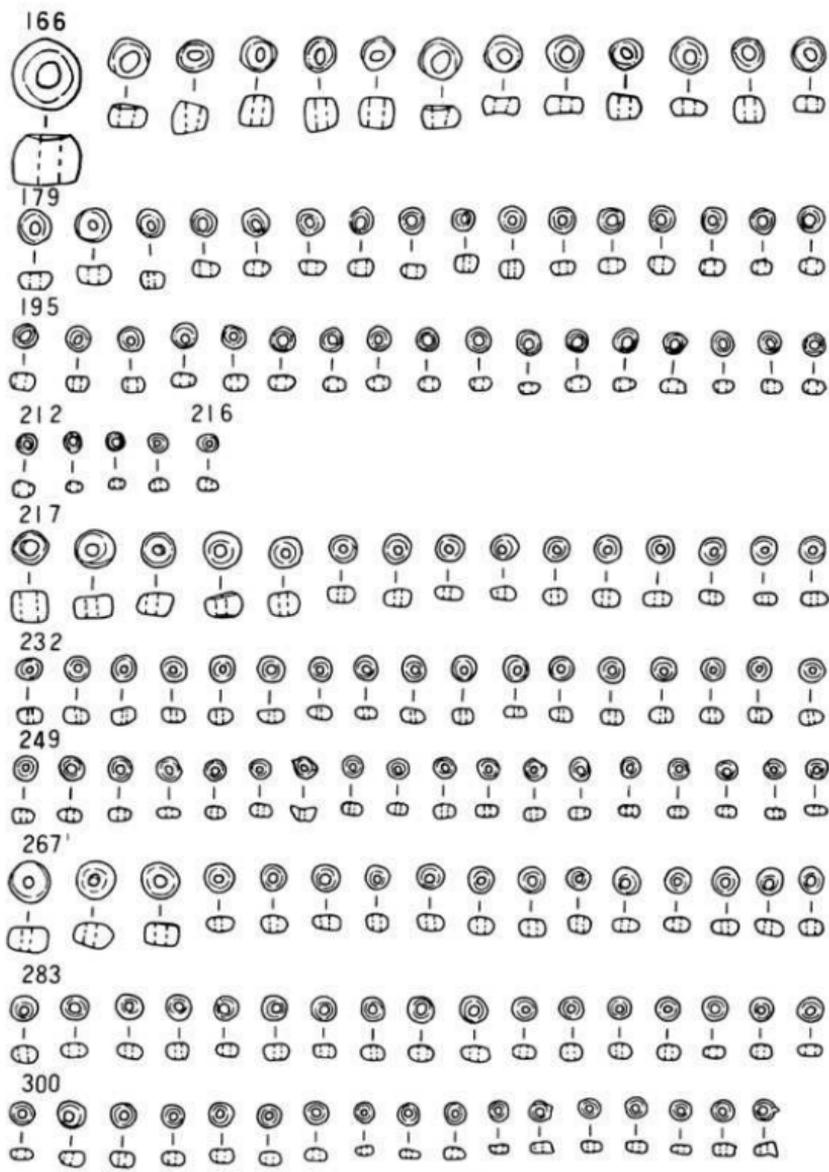
第318图 3号出土铁製品 (4)



第319图 2号墳出土金環、玉類、3、4号墳出土金環



第 320 图 2 号填出土玉類 (2)



第 321 图 2 号墳出土玉類 (3)



古墳時代
 前期前半 前期後半 中期前半



古墳時代
 中期後半 後期第1期 後期第2期

第322圖 城野遺跡集落配置圖(1)

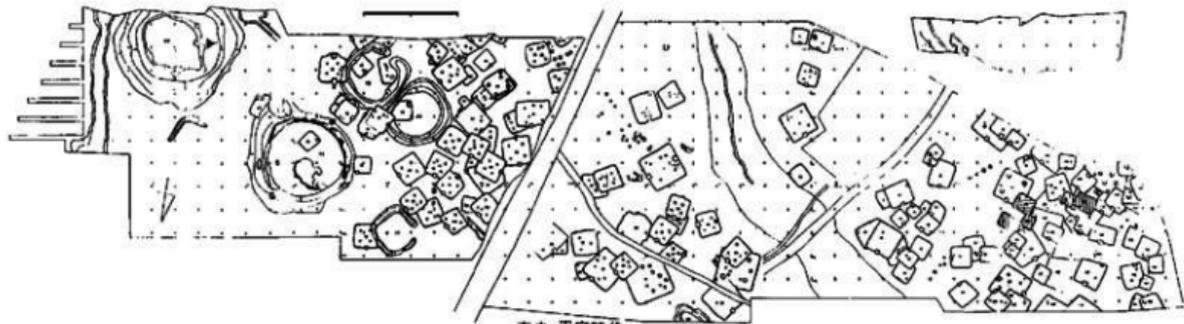


古墳時代
 後期第3期 後期第4期 末期第1期

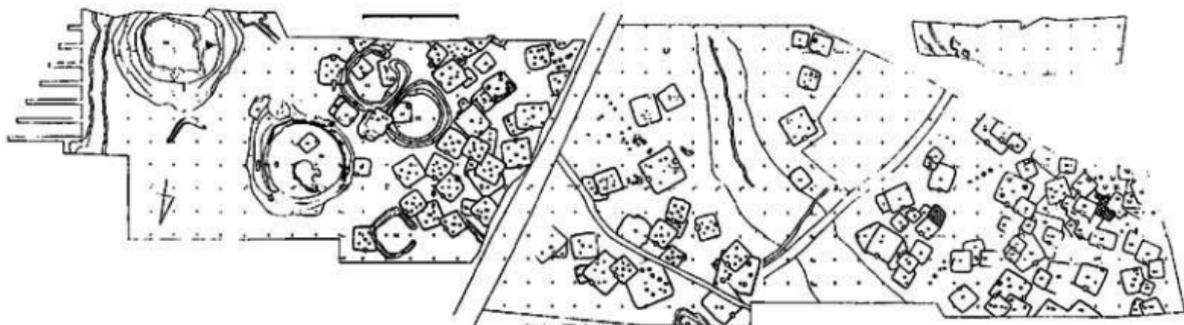


古墳時代
 末期第2期 末期第3期
 奈良・平安時代
 1

第323圖 陸奥瀧野遺跡平面圖(2)

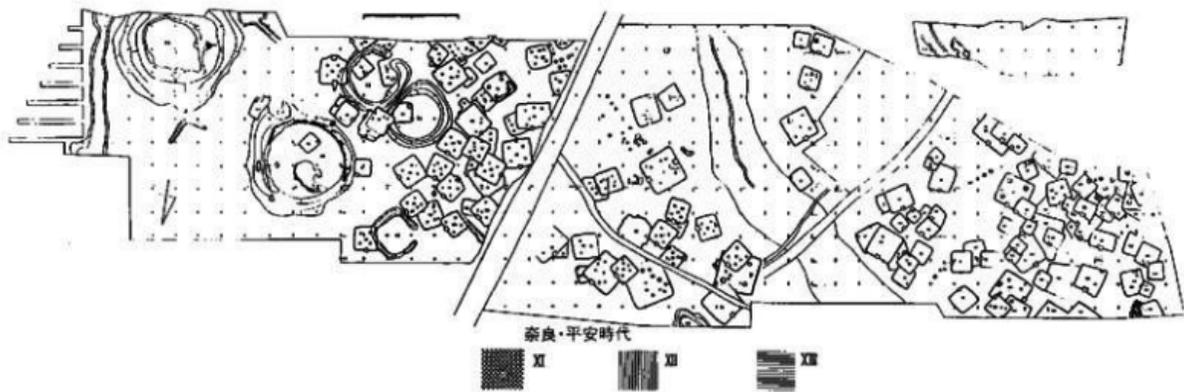
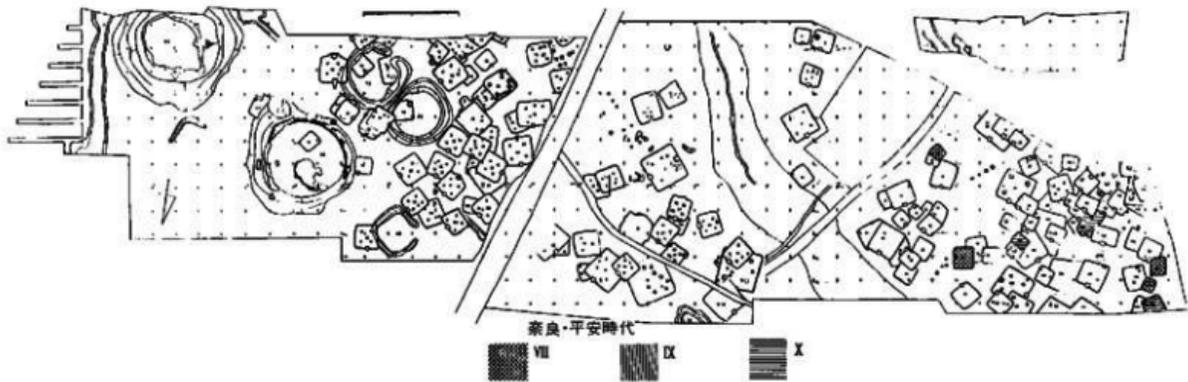


奈良・平安時代

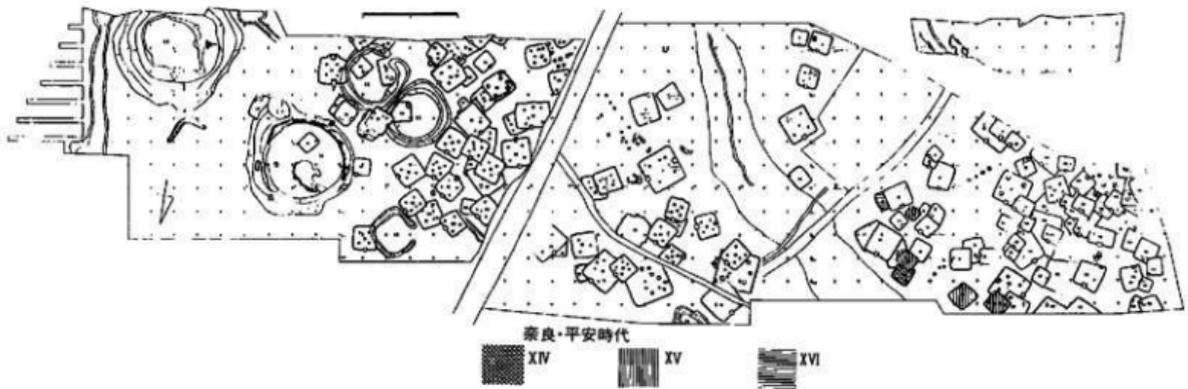


奈良・平安時代





第325図 雑司が谷遺跡平面図(4)



第326図 橿原遺跡集落平面図(5)



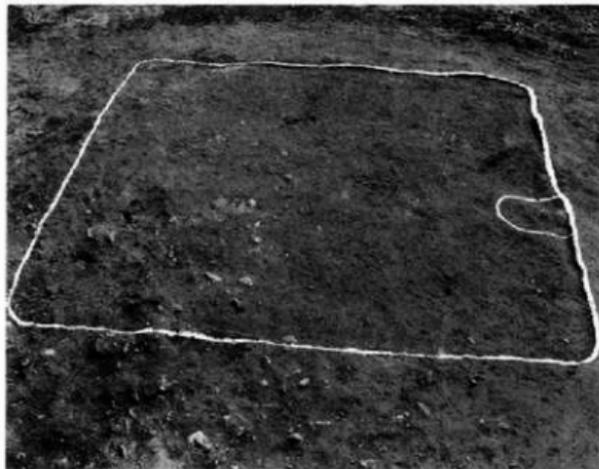
遺跡全景



1号周溝遺構及び
周辺住居群



全景



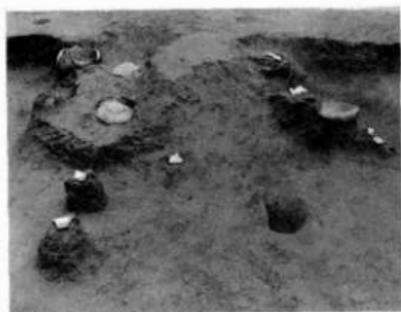
1号住居址



2号住居址遺物出土狀態



2号住居址



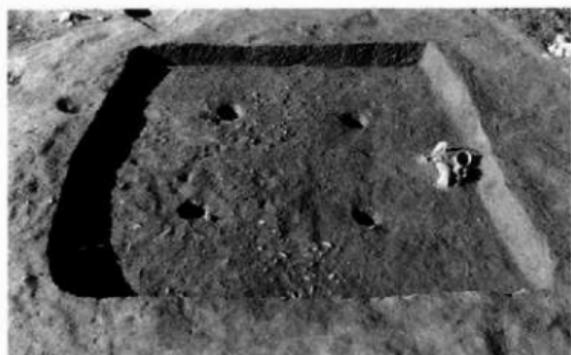
2号住居址カマド



2号住居址貯蔵穴



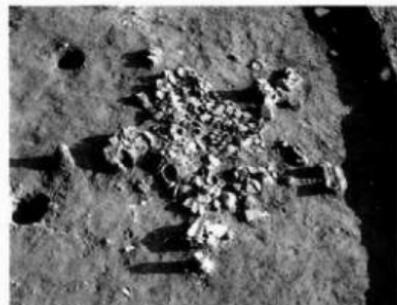
3号住居址



3号住居址



3号住居址カマド



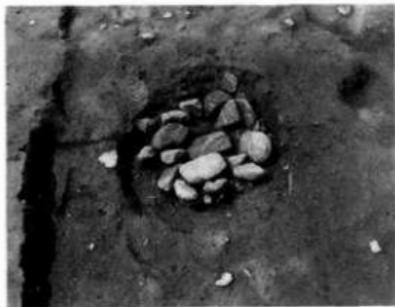
3号住居址



4号住居址



5号住居址



6号住居址内配石土壇



7号住居址



7号住居址



7号住居址カマド



7号住居址



8号住居址（遺物取上前）



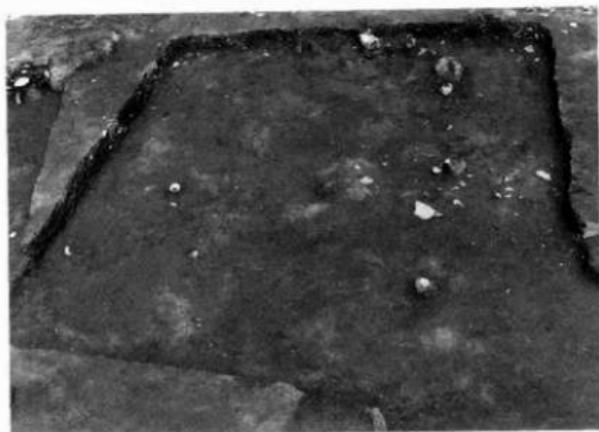
8号住居址（遺物取上後）



8号住居址



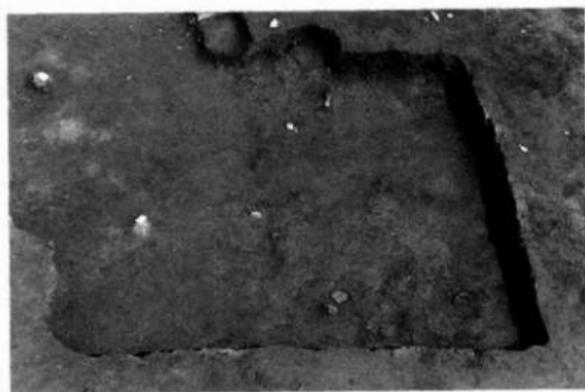
8号住居址



10号住居址



10号住居址カマド付近



12号住居址



13号住居址



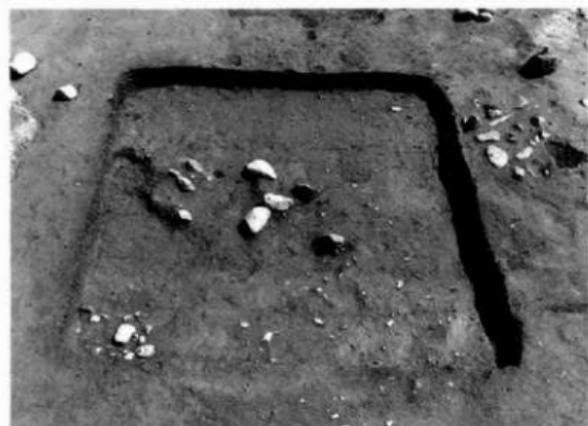
13号住居址遗物出土状态



14、17号住居址遺物出土
状態



14号住居址カマド



15号住居址



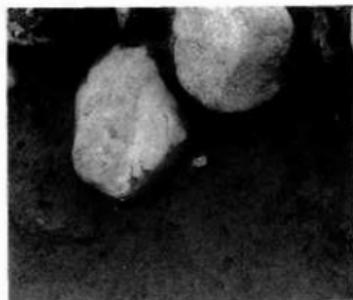
16号住居址



16号住居址カマド



16号住居址カマド（北から）



16号住居址金具



14、17号住居址



17号住居址カマド



17号住居址遺物



18号住居址



19号住居址



19号住居址カマド



19号住居址遺物出土状態



19号住居址



20号住居址



20号住居址



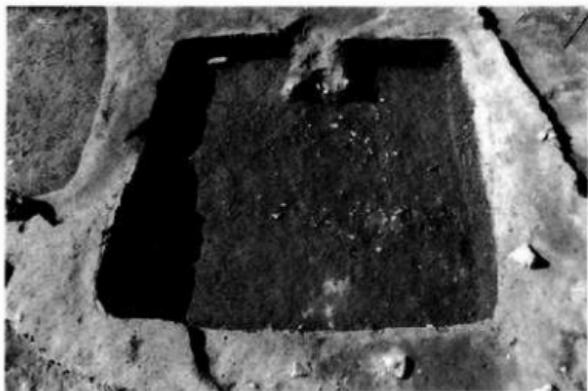
20号住居址



21号住居址



23号住居址



23号住居址



23号住居址カマド



23号住居址カマド



24号住居址



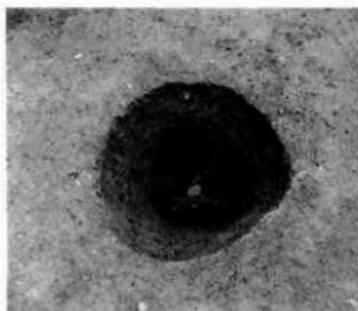
24号住居址カマド



24号住居址カマド



24号住居址

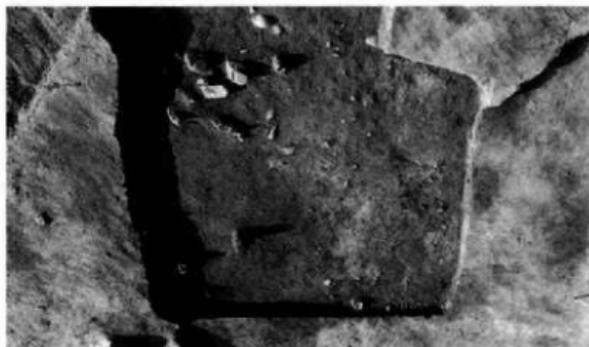


24号住居址柱穴内木炭

26号住居址



26号住居址



25号住居址





27号住居址



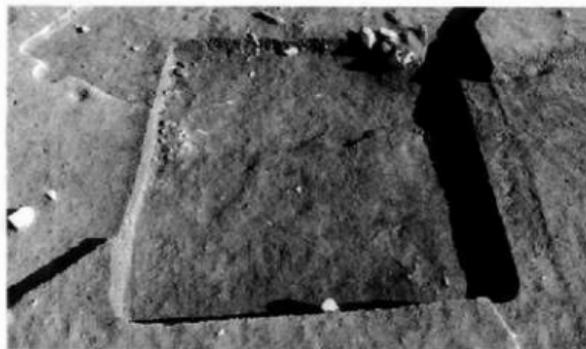
27号住居址



27号住居
址カマド



27号住居址



28号住居址



28号住居址カマド



29号住居址



29号住居址



29号住居址



30号住居址



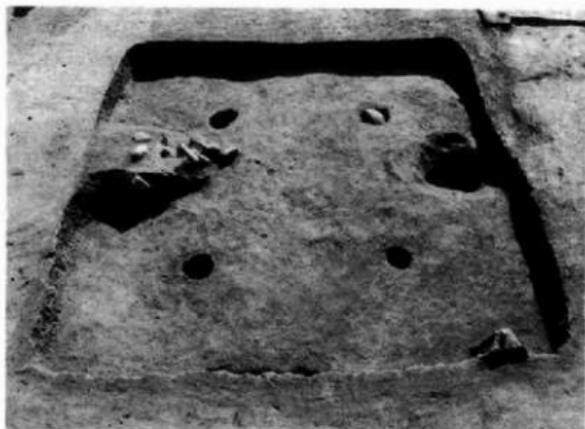
30号住居址

32号住居址



32号住居址

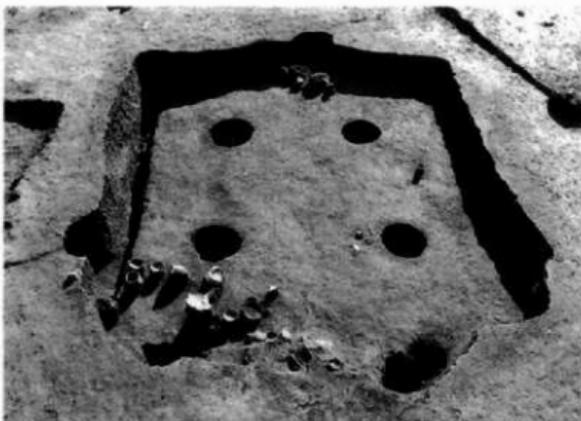




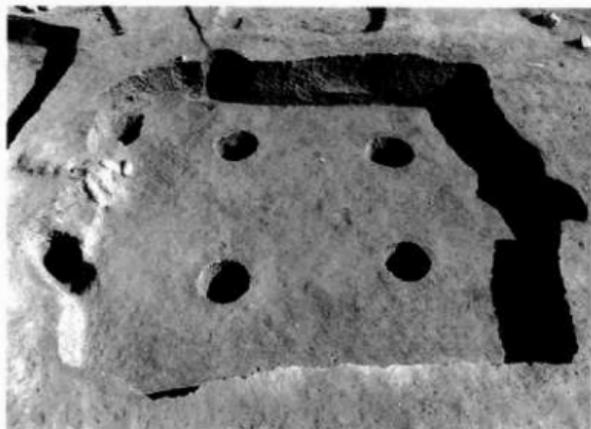
33号住居址



33号住居址カマド



34号住居址



34号住居址



34号住居址



34号住居址カマド



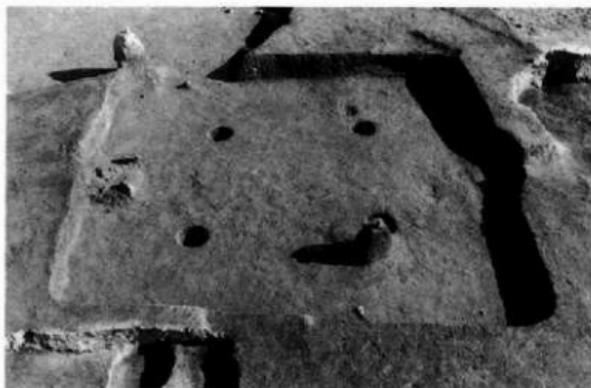
34号住居址カマド



34号住居址カマド



35号住居址



35号住居址



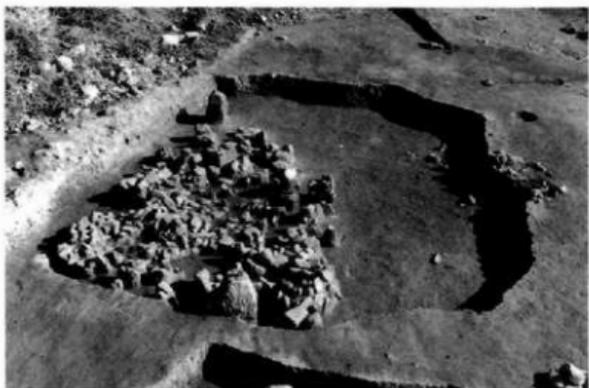
35号住居址カマド



35号住居址



36号住居址



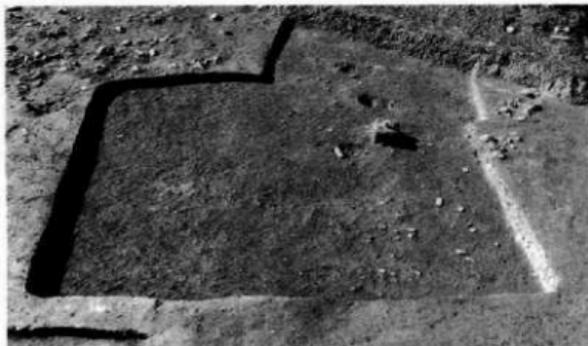
36号住居址



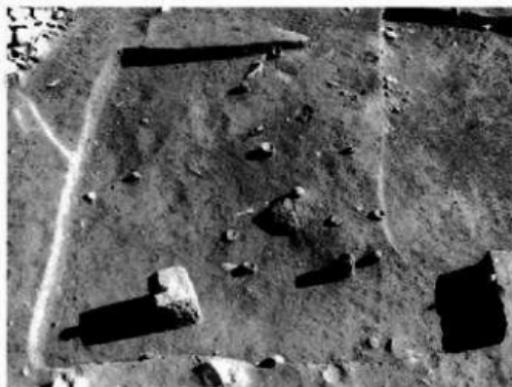
36号住居址



36号住居址



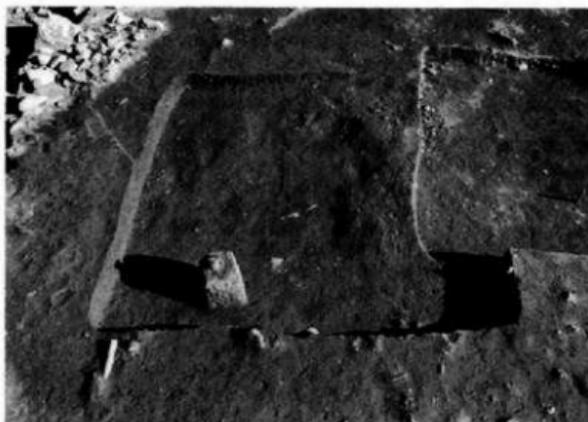
37号住居址



38号住居址



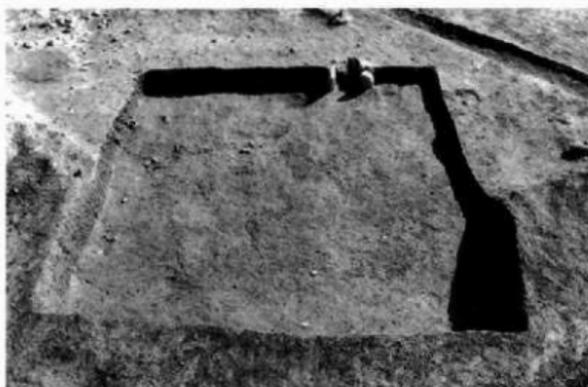
38号住居址



38号住居址



39号住居址



39号住居址



39号住居址カマド



39号住居址



40号住居址



40号住居址

40号住居址



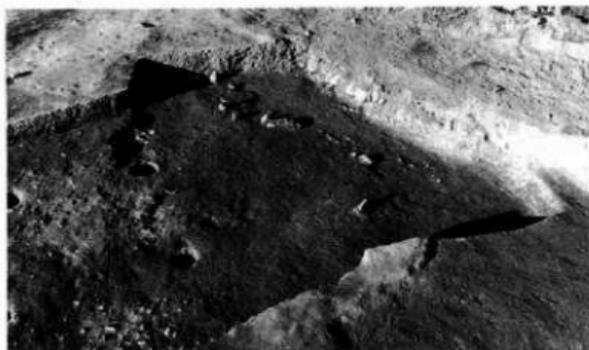
40号住居址カマド



40号住居址

40号住居址





41号住居址



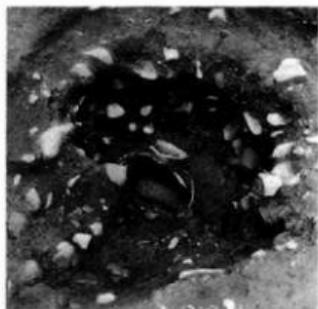
41号住居址



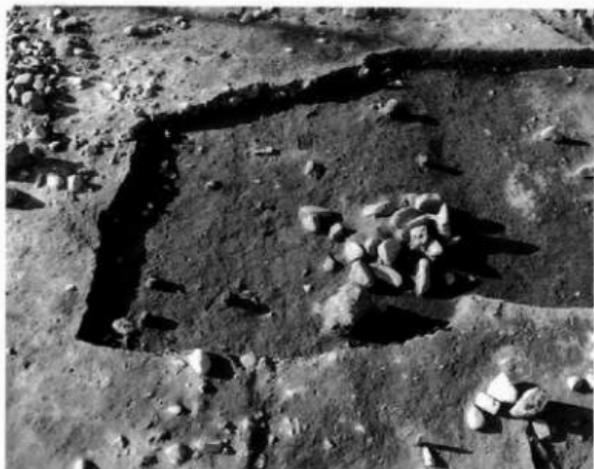
41号住居址



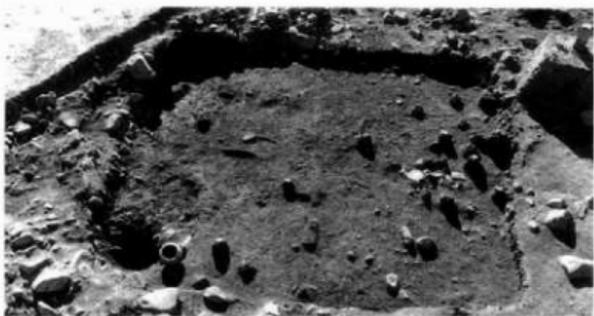
41号住居址



41号住居址内ピット



43号住居址



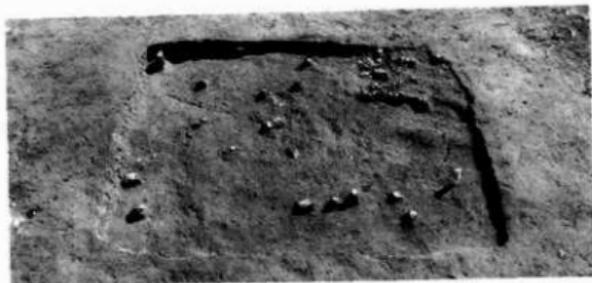
44号住居址



44号住居址



44号住居址



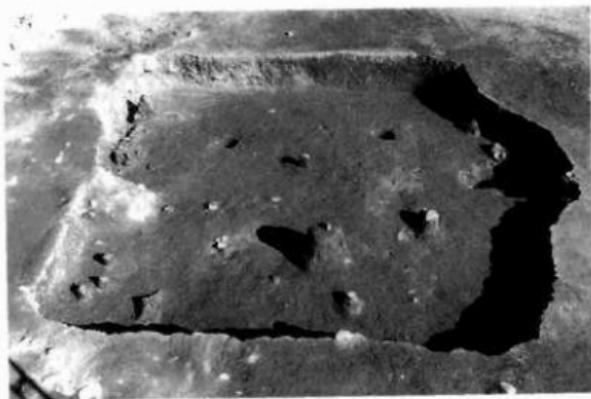
46号住居址



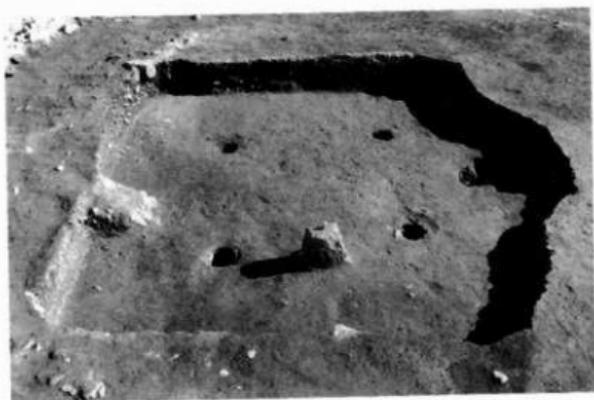
46号住居址



47号住居址、1号墳



48号住居址



48号住居址

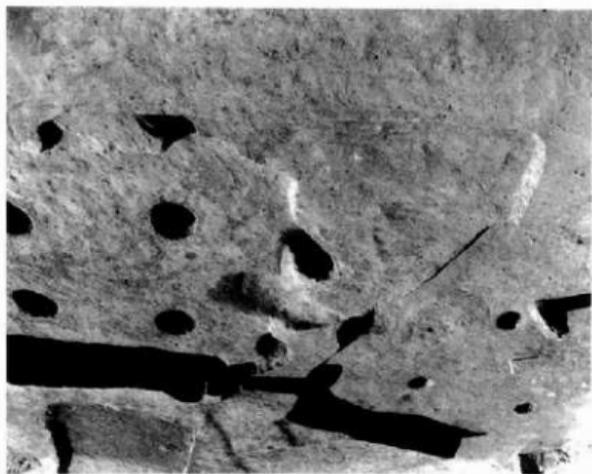


48号住居址カマド

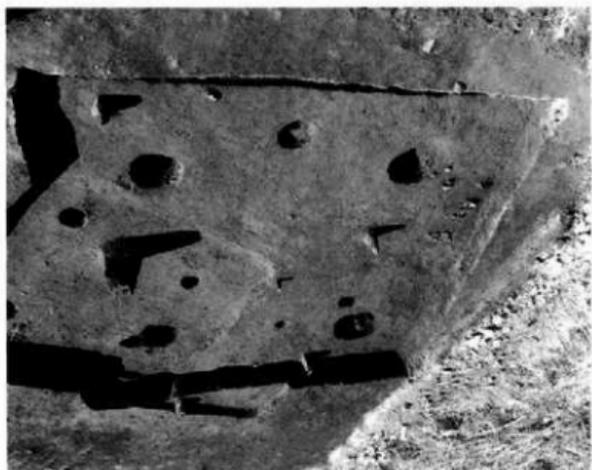


48号住居址

50号住居址



49号住居址





51、52号住居址



51号住居址カマド



54号住居址



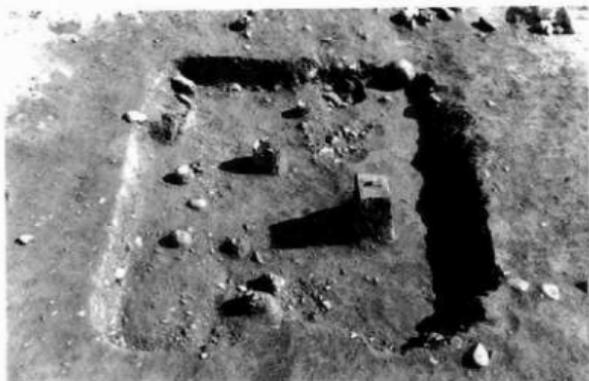
54号住居址カマド



54号住居址



55号住居址



56号住居址



56号住居址カマド



56号住居址カマド



57、58、61号住居址



57号住居址カマド



58号住居址カマド



59号住居址



59号住居址



59号住居址



60号住居址カマド



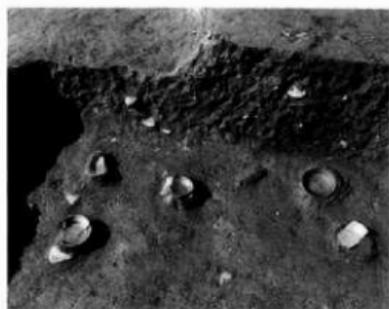
60号住居址



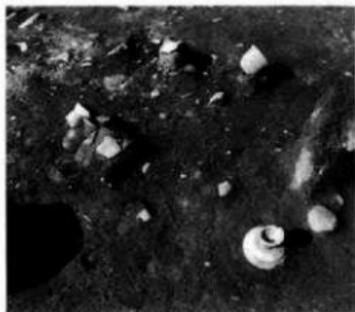
60号住居址



61号住居址カマド



61号住居址



61号住居址



62号住居址



62号住居址



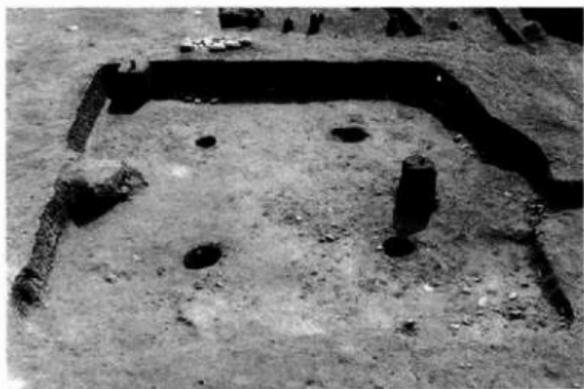
62号住居址カマド



63、71号住居址



63号住居址



64号住居址



64号住居址



64号住居址カマド



64号住居址カマド



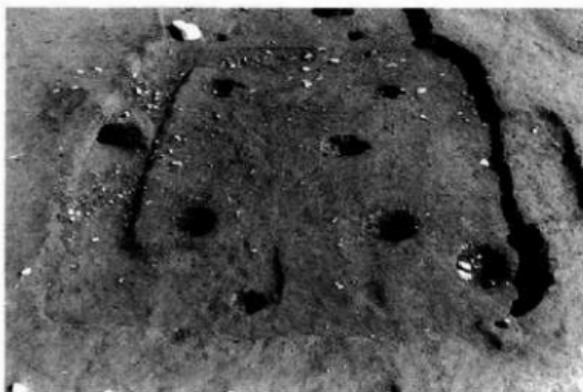
64号住居址



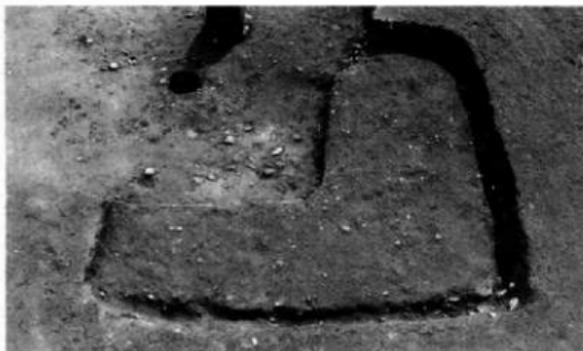
64号住居址



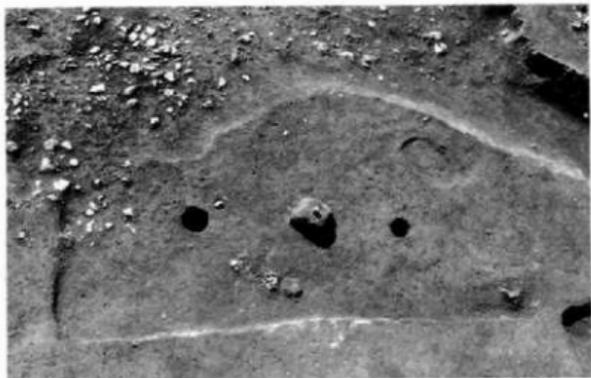
65号住居址



66号住居址



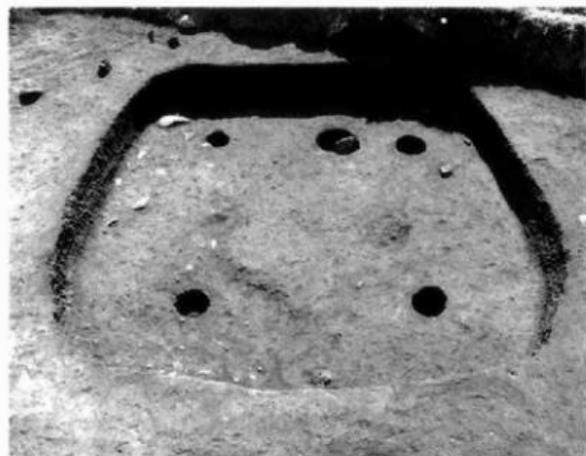
68号住居址



69号住居址



69号住居址鉄斧



70号住居址

73号住居址

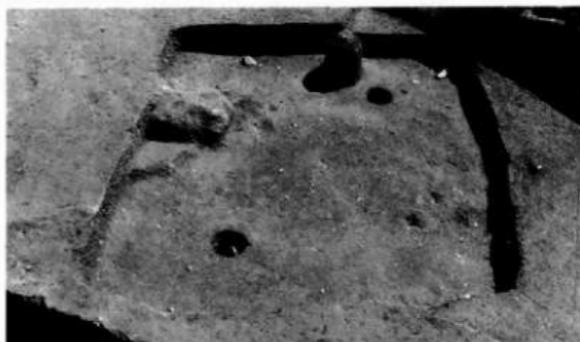


72号住居址カニク



72号住居址





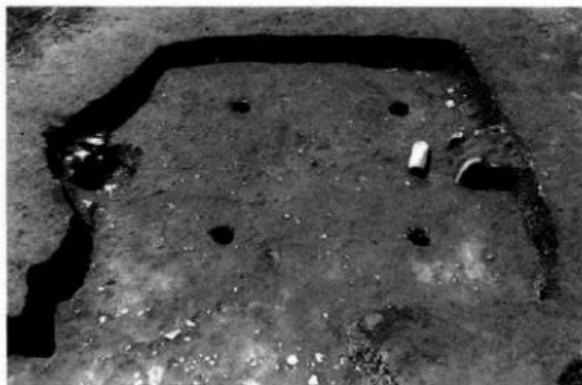
73号住居址



73号住居址カマド



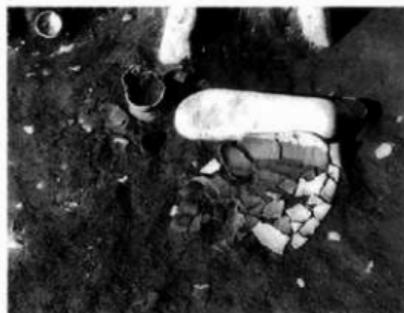
74号住居址



74号住居址



74号住居址



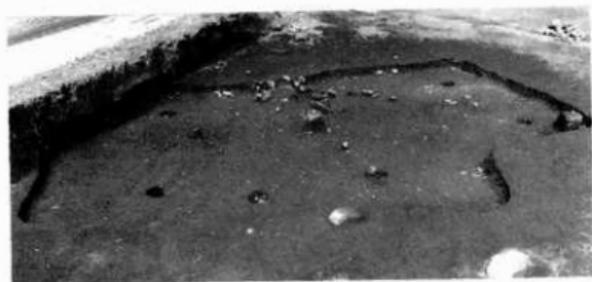
74号住居址



75号住居址カマド



75号住居址



76、77号住居址



76号住居址



78号住居址カマド



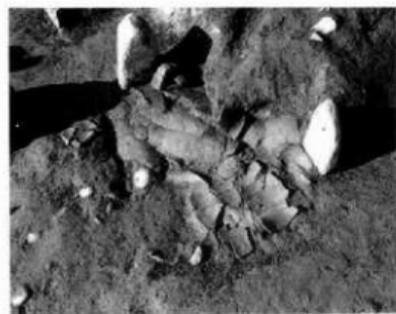
79号住居址



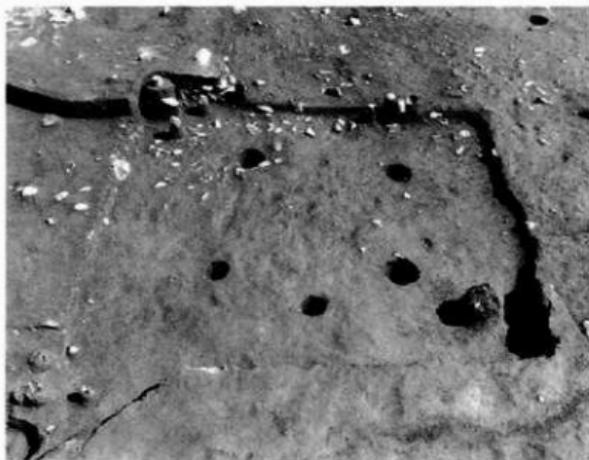
80号住居址



81号住居址



81号住居址



82号住居址



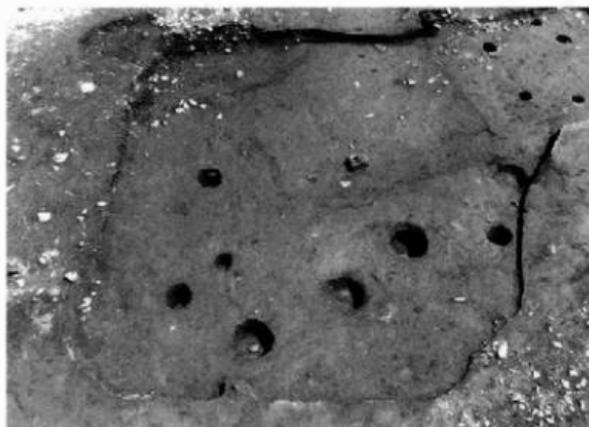
82号住居址



83号住居址



84号住居址



85号住居址



86号住居址



87号住居址カマド



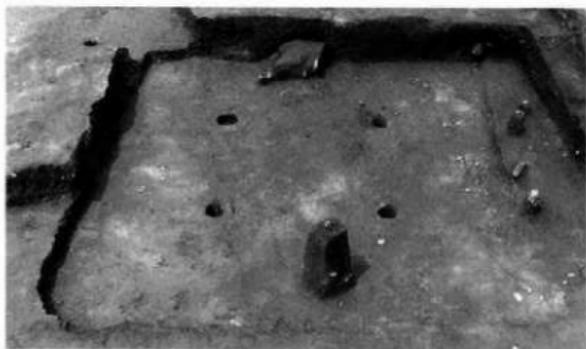
88号住居址



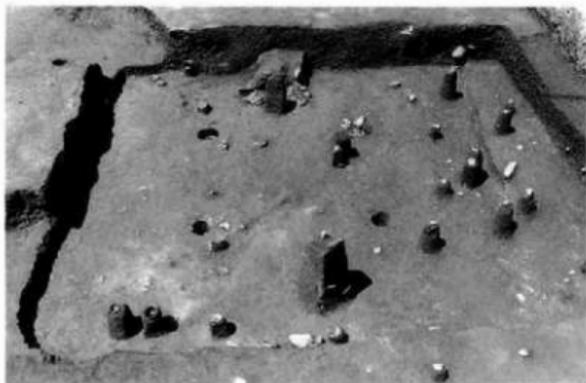
88号住居址



89号住居址



92号住居址



92号住居址



92号住居址 カマド



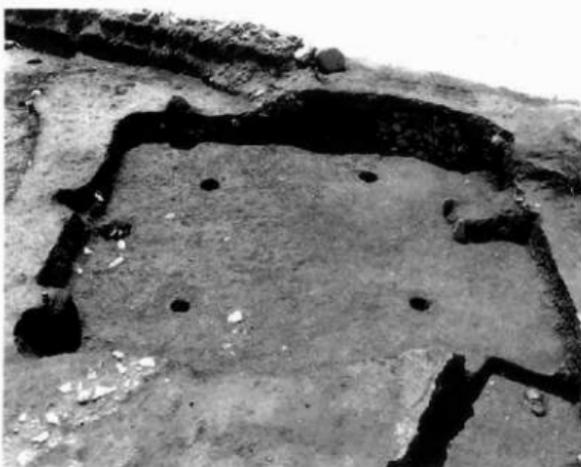
92号住居址



92号住居址



92号住居址



93号住居址



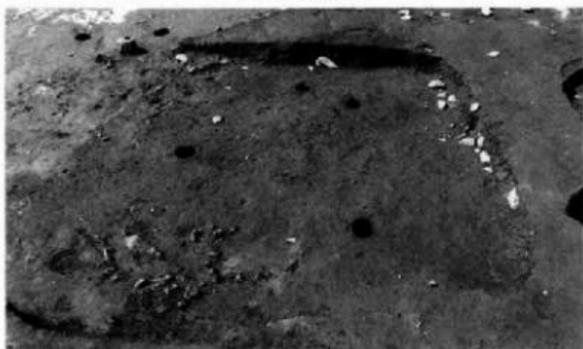
93号住居址



93号住居址カマド



93号住居址



96号住居址



97、94号住居址



97号住居址炉枕石



97号住居址



98号住居址



98号住居址



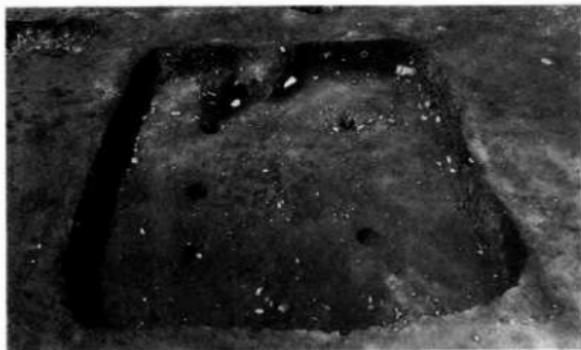
98号住居址



98号住居址カマド



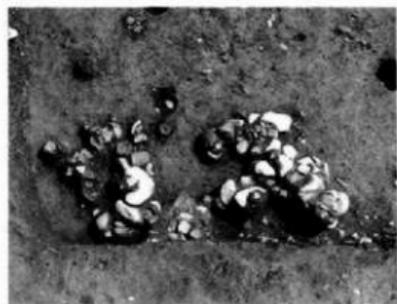
98号住居址



99号住居址



99号住居址



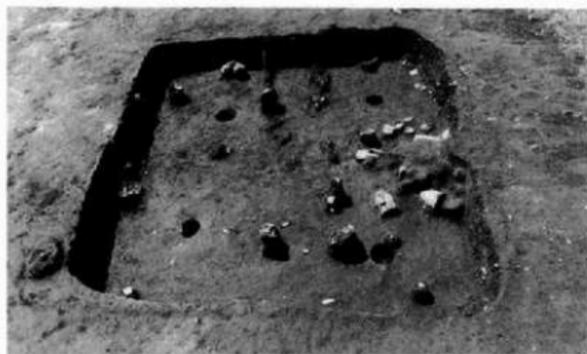
99号住居址



99号住居址カマド



100号住居址



100号住居址



100号住居址



100号住居址カマド



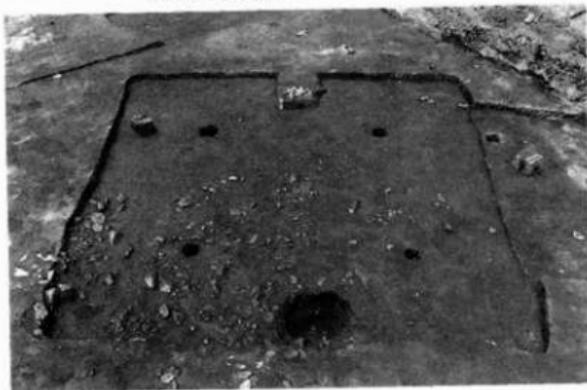
101号住居址



101号住居址カマド



102号住居址



102号住居址



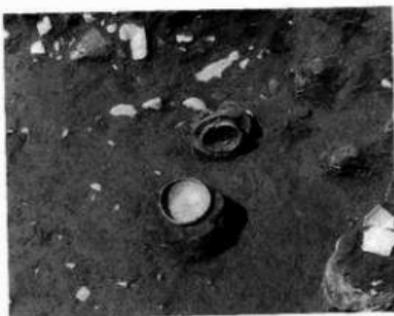
103号住居址



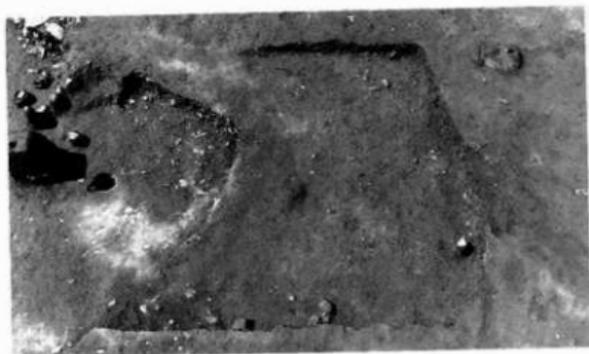
104号住居址



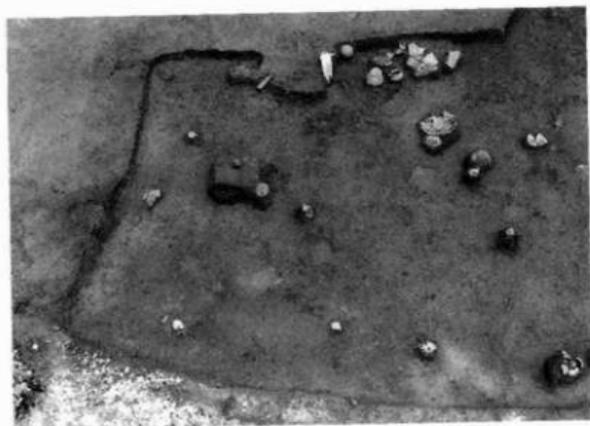
104号住居址カマド



104号住居址



105号住居址



106号住居址



106号住居址カマド



106号住居址



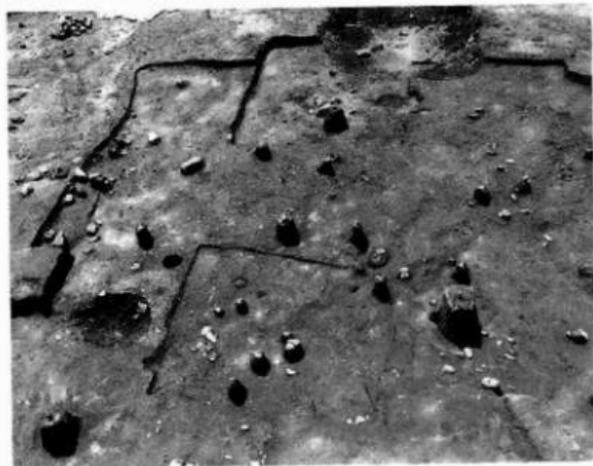
107号住居址



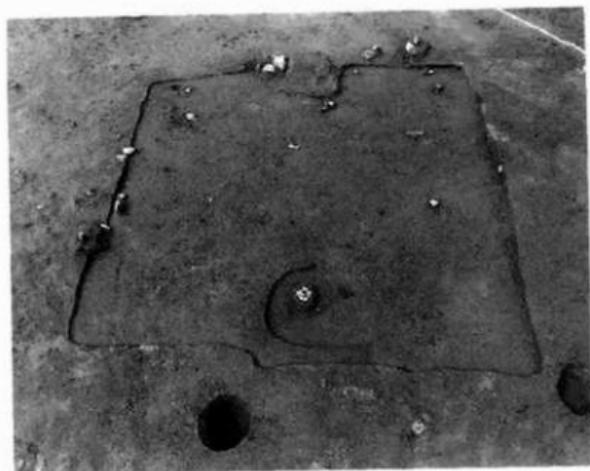
107号住居址



108号住居址内ピット



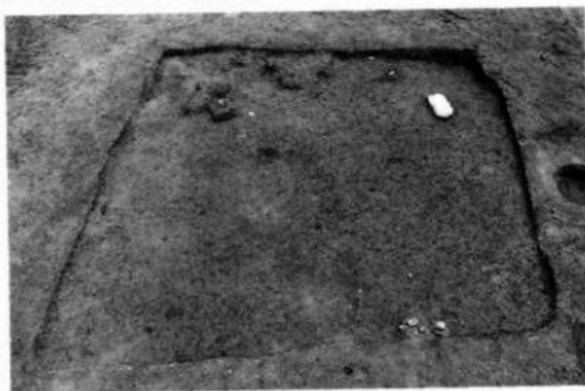
108号住居址



109号住居址



109号住居址



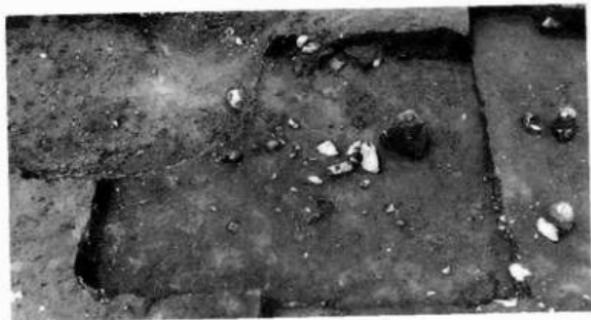
110号住居址



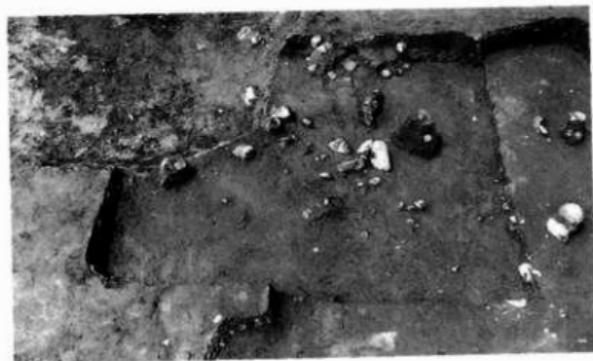
111号住居址



112号住居址



113号住居址



113号住居址



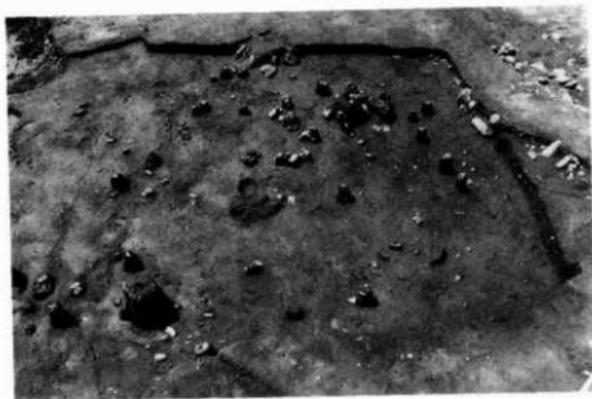
113号住居址カマド



113号住居址



114号住居址



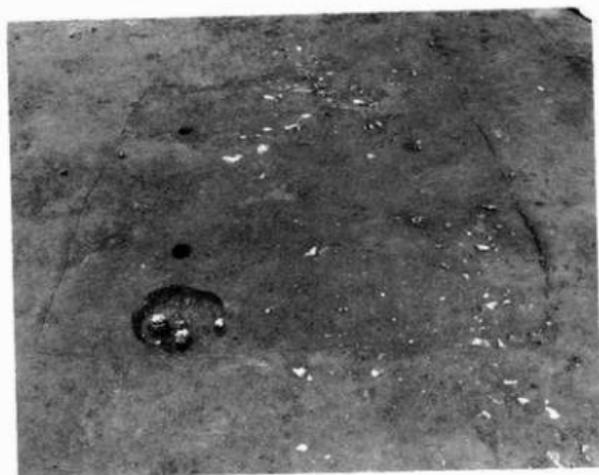
114号住居址



114号住居址



114号住居址



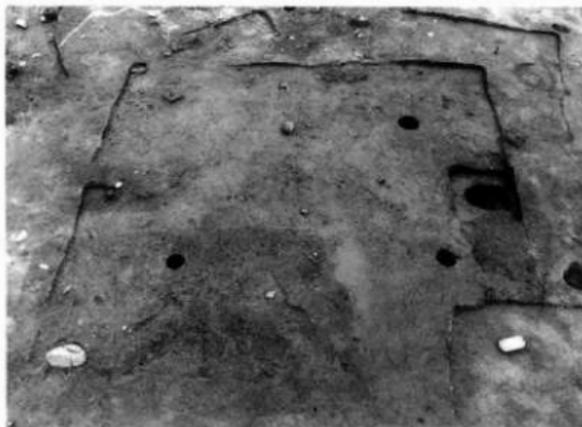
115号住居址



115号住居址炉



115号住居址内ビット



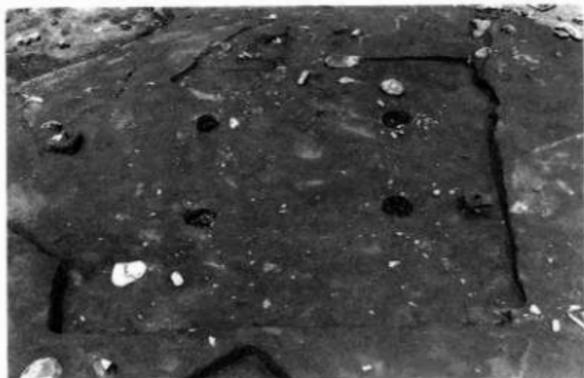
116号住居址



116号住居址



116号住居址貯藏穴



117号住居址



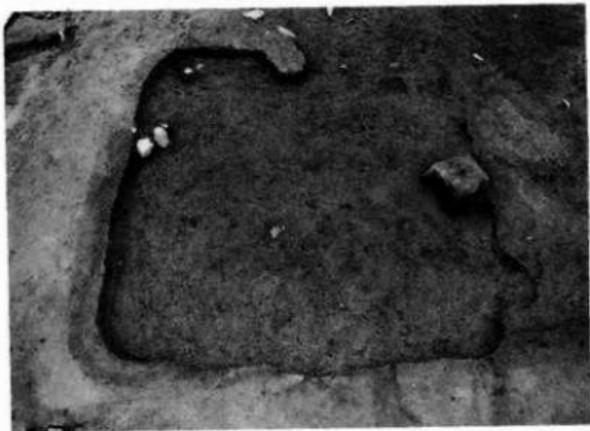
117号住居址



117号住居址カマド



117号住居址



118号住居址



119号住居址



121号住居址



122号住居址



122号住居址



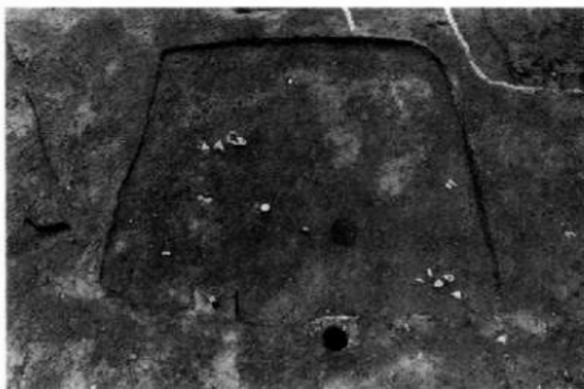
123号住居址内ビット



123、124、125号住居址



126号住居址



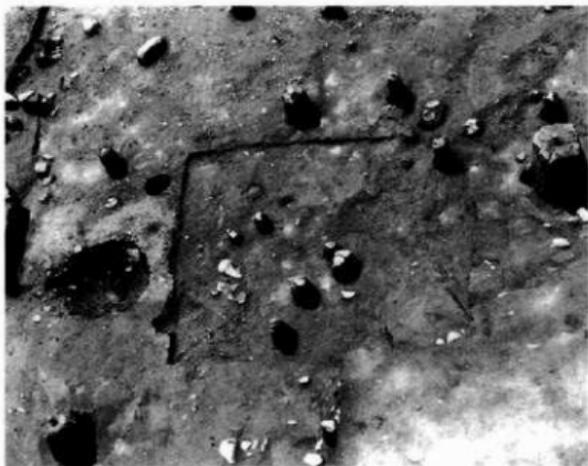
127号住居址



128号住居址



129号住居址



130号住居址



130号住居址



131号住居址



131号住居址内ピット



131号住居址



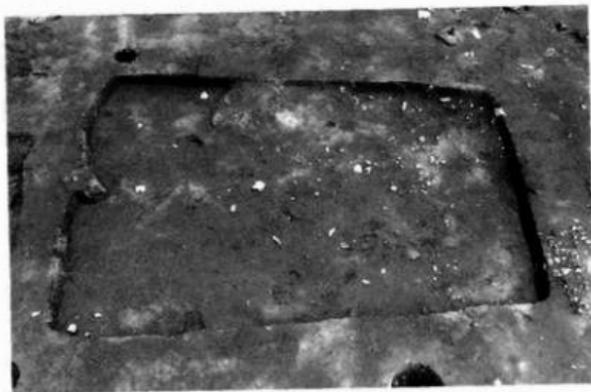
131号住居址内ピット



132号住居址



133号住居址



133号住居址



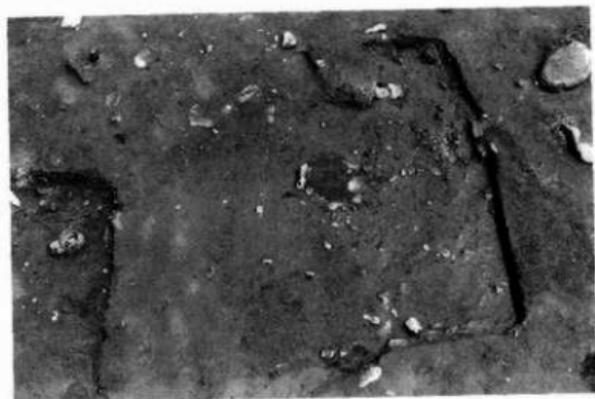
134号住居址



134号住居址



134号住居址



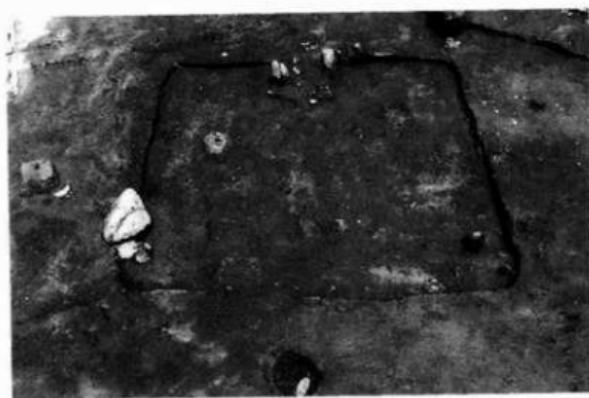
135号住居址



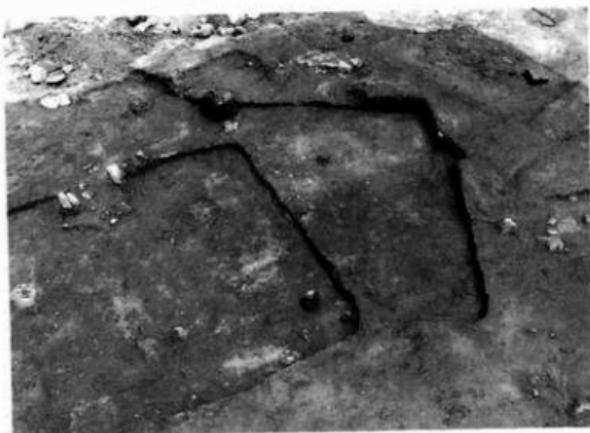
136号住居址



137号住居址カマド



137号住居址



138号住居址



139号住居址



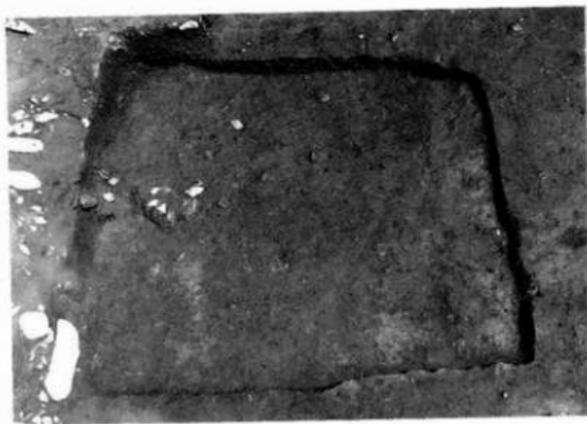
139号住居址カマド



140号住居址



141号住居址



142号住居址



1号周溝遺構遺物出土狀態



1号周溝遺構



2号周溝遺構



2号周溝遺構



2号周溝遺構



4号周溝遺構



4号周溝遺構



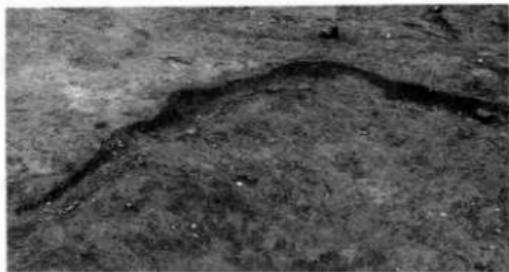
4号周溝遺構セクション



4号周溝遺構



1号沟



2号沟



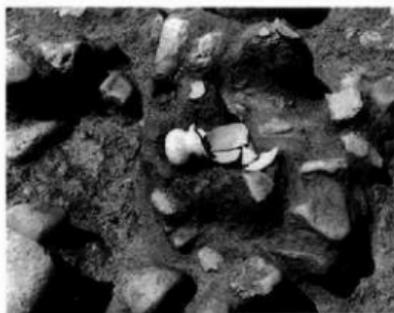
3号沟



3号沟



5号沟



5号沟



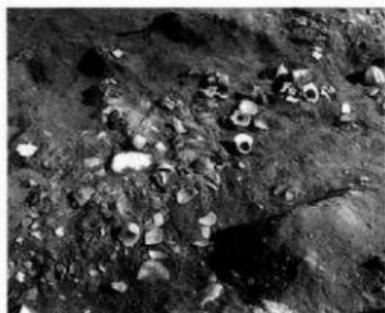
5号沟



6号沟



1号水路



1号水路下層土器集中部



1号水路下層土器集中ブロック(C)



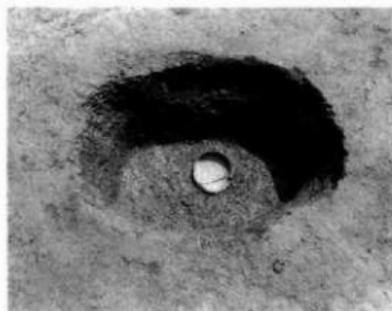
1号水路下層



2号配石土壇



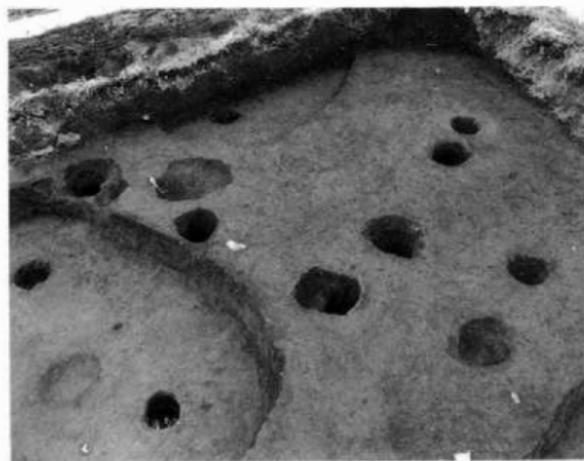
11号土壇 (137号住居カマド下)



STA521+30N2 (ピット群 pit 3)



STA521+30N2 (ピット群 pit3)



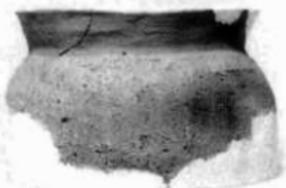
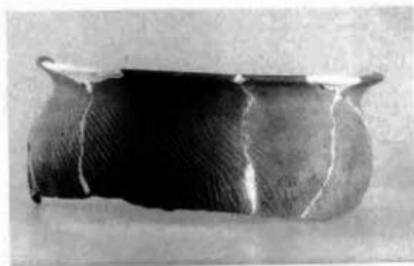
4号掘立柱群



2号住居址遺物



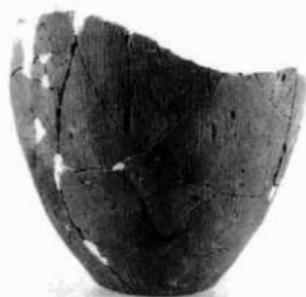
3号住居址遺物



3号住居址遺物



7号住居址遺物



8号住居址遺物



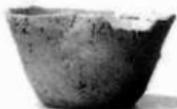
9号住居址遺物



10号住居址遺物



13号住居址遺物



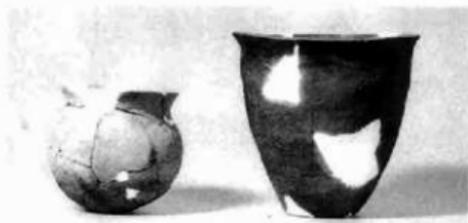
14号住居址遺物



16号住居址遺物



17号住居址遺物



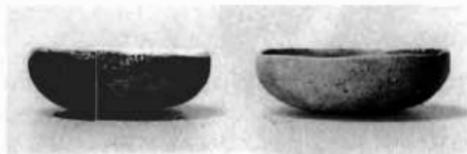
18号住居址遺物



19号住居址
遺物



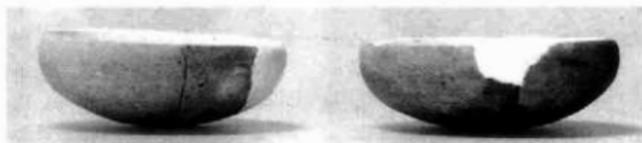
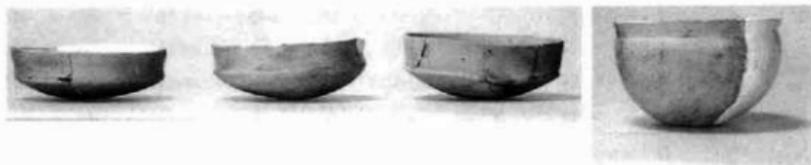
20号住居址遺物



23号住居址遺物



24号住居址遗物



25号住居址遗物



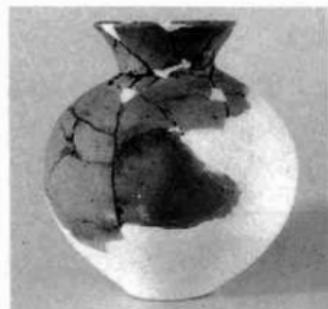
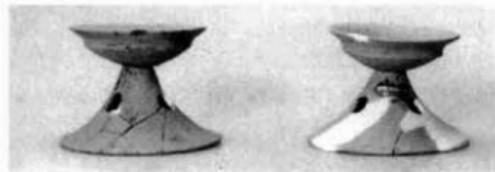
26号住居址遗物



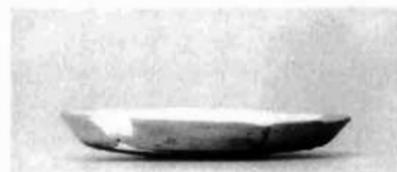
27号住居址遗物



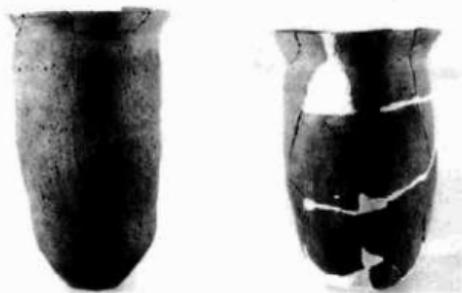
29号住居址遺物



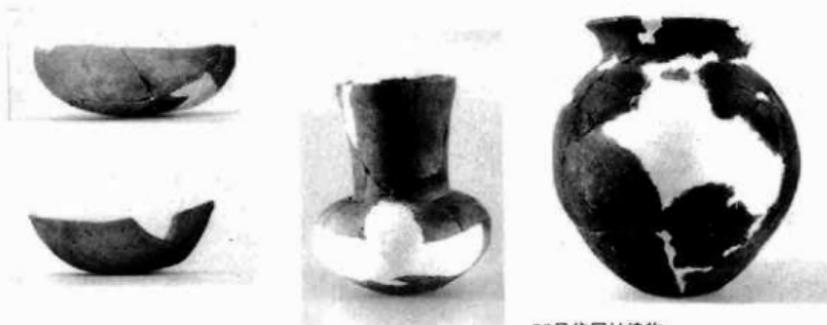
30号住居址遺物



31号住居址遺物



31号住居址遺物



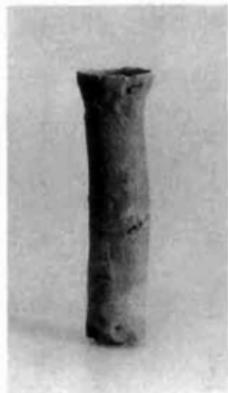
33号住居址遺物



34号住居址
遺物



34号住居址遺物



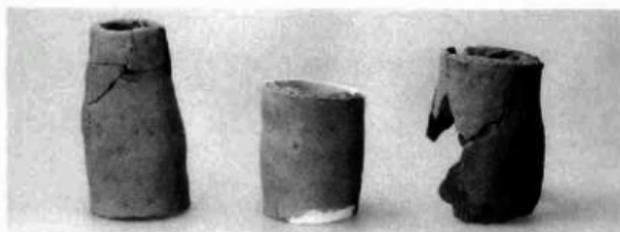


34号住居址遺物

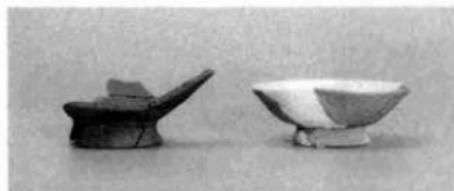


35号住居址遺物





35号住居址遺物



38号住居址遺物



39号住居址遺物



40号住居址遺物



40号住居址遺物



41号住居址遺物



43号住居址遺物



44号住居址遺物



46号住居址遺物



47号住居址遺物



48号住居址遺物



49号住居址遺物



51号住居址遺物



52号住居址遺物



54号住居址遺物





54号住居
址遺物



55号住居址遺物



56号住居址遺物

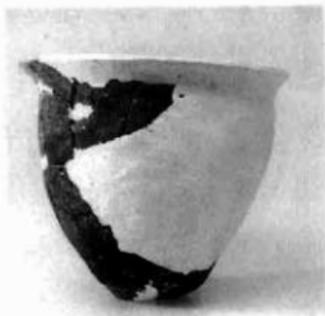


57号住居址遺物





58号住居址遺物



59号住居址遺物



60号住居址遺物



61号住居址遺物

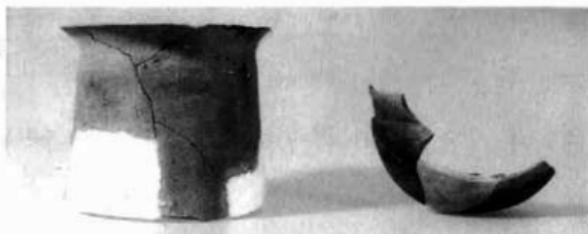


61号住居址遺物

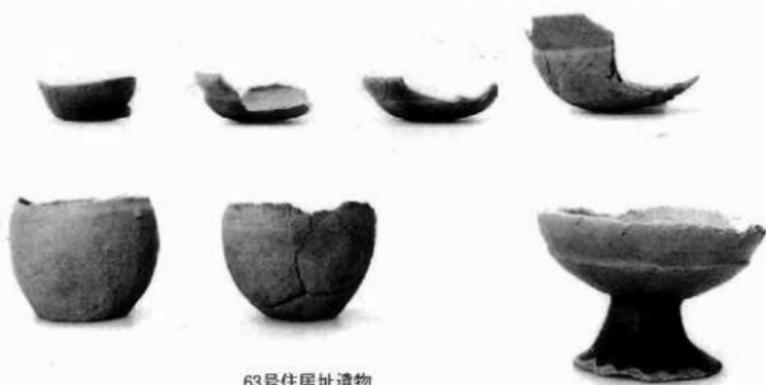


62号住居址遺物





62号住居址遺物



63号住居址遺物



64号住居址遺物



64号住居址遺物



65号住居址遺物



66号住居址遺物

69号住居址遺物





71号住居址遺物



72号住居址遺物



73号住居址遺物



74号住居址遺物



74号住居址遺物



75号住居址遺物



76号住居址遺物



76号住居址遺物



78号住居址遺物



80号住居址遺物



81号住居址遺物



82号住居址遺物



83号住居址遺物



85号住居址遺物



86号住居址遺物

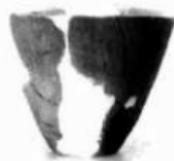


87号住居址遺物



88号住居址遺物

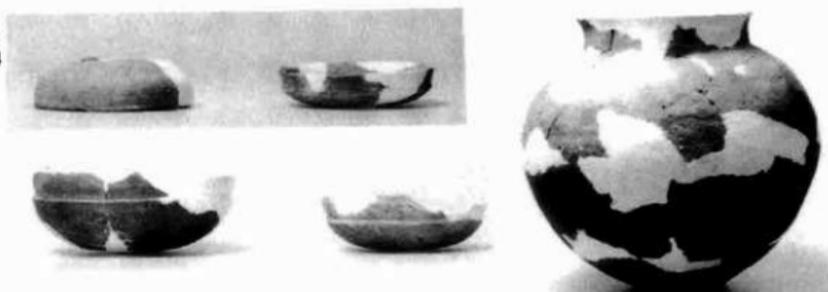




92号住居址遺物



93号住居址遺物



93号住居址遺物



97号住居址遺物



98号住居址遺物





99号住居址遺物



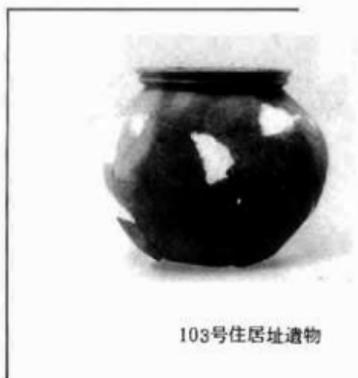
100号住居址遺物



101号住居址遺物



102号住居址遗物



103号住居址遗物



104号住居址遺物



106号住居址遺物



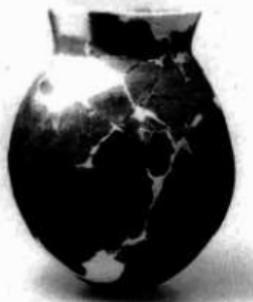
107号住居址遺物



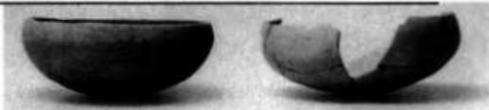
108号住居址遺物



108号住居址遺物



109号住居址遺物



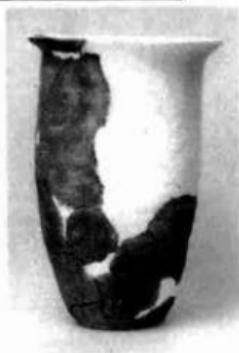
111号住居址遺物



112号住居址遺物



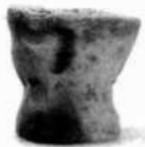
113号住居址遺物



114号住居址遺物



114号住居址遗物



116号住居址遗物



117号住居址遗物



119号住居址遺物



122号住居址遺物



123号住居址遺物



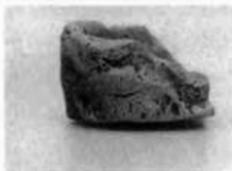
126号住居址遺物



129号住居址遺物



130号住居址遺物





131号住居址遺物



133号住居址遺物



134号住居址遺物



134号住居址遺物



135号住居址遺物



136号住居址遺物



138号住居址遺物

139号住居址遺物



140号住居址遺物



141号住居址遺物



29号住居址遺物



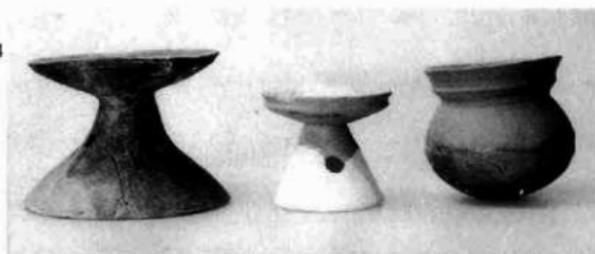
41号住居址遺物



44号住居址遺物



88号、47号住居址遺物



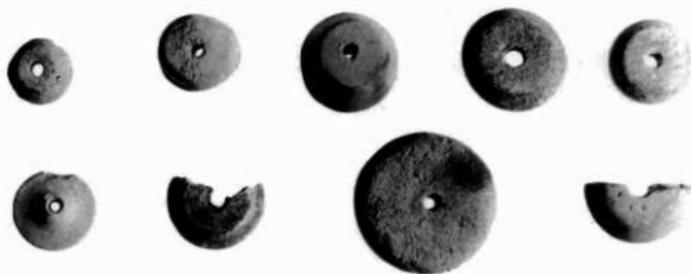
グリッド等出土遺物



34号、36号出土土師器底部糸切
(底部に糸切痕に類似した整形痕がある)



69号短冊形鉄斧



純塚遺跡出土紡錘車



遺跡内出土白土、土玉、
棒状土製品、勾玉



1号墳



1号墳南西部



1号墳石室部？



1号墳周溝（馬の歯？）



1号墳内1号石組遺構



1号墳内1号石組遺構



1号石組遺構出土人骨



2号石組遺構



3号石組遺構



2号墳



2号墳奥壁断面



2号墳



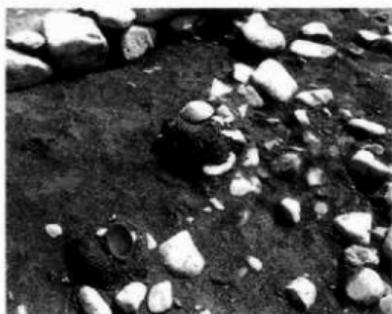
2号墳遺物取上前



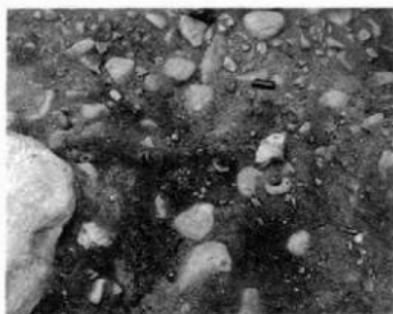
2号墳全景



2号墳



2号墳前庭部須恵器出土状態



2号墳 金環・管玉・勾玉・切子玉出土状態



2号墳 鉄鏃出土状態



2号墳 金環出土状態



3号墳



3号墳石室



3号墳



3号墳調査風景



3号墳



3号墳出土直刀



3号墳出土直刀



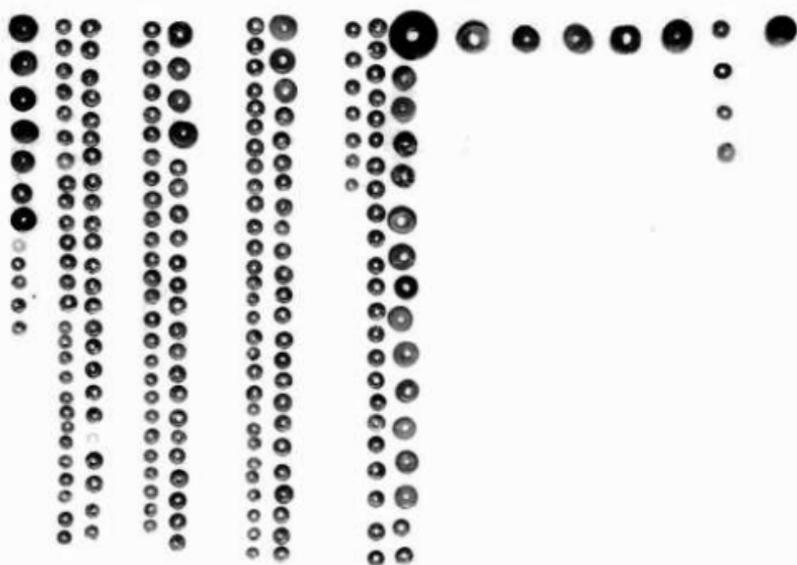
4号墳



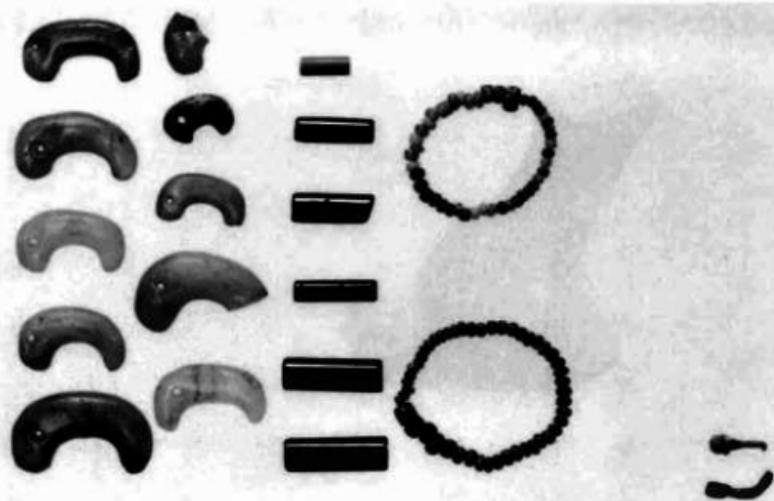
4号墳出土人骨(A)



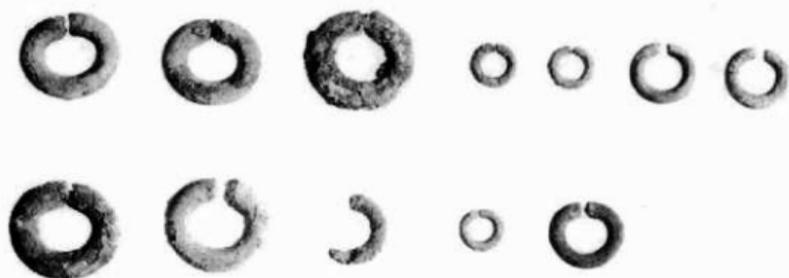
4号墳出土人骨(B)



2号墳出土ガラス玉等



2号墳出土勾玉・管玉・ガラス玉他



2号墳出土金環



3号墳出土鳥形土製品

山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第24集

姥 塚 遺 跡
姥 塚 無 名 墳

印刷日 昭和62年3月20日

発行日 昭和62年3月31日

発行所 山梨県教育委員会

印刷所 温故堂株式会社

